

Senju Service Manager 2024.0.0

コマンドリファレンス -CommandGuide-

株式会社野村総合研究所

Nomura Research Institute, Ltd.

- 本書は、Senju Service Manager システムバージョン 2024.0.0 が提供するコマンドについて使用方法、その他利用上での注意事項等の情報をまとめたものです。
- 本書は、Senju Service Manager システムをインストールまたは利用する前に一読して下さい。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- 本書に記載した内容は予告無く変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断でコピーすることは法律で禁止されています。
- Senju Operation Conductor、Senju DevOperation Conductor、EX 千手/EXSENJU、千手/SENJU および e-千手/e-SENJU は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。

Adobe 及び Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。

ORACLE は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Developer/2000 は、米 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Applications は、オラクル社の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

iPhone は Apple Inc.の登録商標です。

Mattermost は、Mattermost, Inc. の登録商標です。

Redmine は、Jan Schulz-Hofen 及び Jean-Philippe Lang の商標または登録商標です。

JIRA は、Atlassian Pty Ltd. の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。

PostgreSQL は、PostgreSQL の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他のすべての会社名や製品名は、それぞれの会社の商標、登録商標または、サービスマークです。

- 本書では、便宜上 Microsoft 社の Windows ファミリーを Windows と表記しています。
また、特に断りが無い場合、Windows NT とは”Windows NT Workstation”, “Windows NT Server”を、Windows 2000 とは”Windows 2000 Professional”, “Windows 2000 Server”, “Windows 2000 Advanced Server”を、Windows XP とは”Windows XP Professional”を、Windows Server 2003 とは”Windows Server 2003 Standard Edition”, “Windows Server 2003 Enterprise Edition”を、Windows Vista とは”Windows Vista Ultimate”, “Windows Vista Business”を、Windows 7 とは”Windows 7 Ultimate”, “Windows 7 Professional”を、Windows 8.1 とは”Windows 8.1 Pro”を、Windows 10 とは”Windows 10 Pro”を、Windows Server 2008 とは”Windows Server 2008 Standard Edition”, “Windows Server 2008 Enterprise Edition”, Windows Server 2012 とは”Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition”を、Windows Server 2016 とは”Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition”を、Windows Server 2019 とは”Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition”, “Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition”を、Windows Server 2022 とは”Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition”, “Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition”, “Microsoft Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition”を指します。
- 本書では、便宜上、Senju Service Manager を SSM、Senju Operation Conductor を SOC、Senju Enterprise Navigator を SEN と表記している箇所があります。また、Senju DevOperation Conductor と Senju Operation Conductor を合わせて Senju Operation Conductor と表記しています。

発行日 2024年 6月 1日

第 1.0.0 版

著作、編集、発行 **株式会社野村総合研究所**

クラウドインテグレーション事業本部

クラウド運用ソリューション事業部

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-4-1 横浜野村ビル

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd.

本マニュアルの一部又は全部を無断で複製する事を禁じます。

Senju Service Manager 2024.0.0	1-1
1 コマンドリファレンス	1-16
1.1 コマンド仕様一覧	1-16
1.1.1 稼働環境とファイル仕様	1-17
1.1.2 画面 ID	1-20
1.2 標準コマンドリファレンス	1-21
1.2.1 システム登録コマンド (sjSPU_ImportSystem.exe)	1-24
1.2.1.1 使用方法	1-24
1.2.1.2 実行結果	1-27
1.2.1.3 ファイルの説明	1-31
1. インポートファイル	1-31
2. ユーザーログ	1-32
1.2.1.4 設定ケーススタディ	1-35
1. システム基本情報の旧フォーマットを用いて新規に登録する	1-35
2. システム管理者情報を更新する	1-40
1.2.1.5 指定可能フィールド情報	1-43
1. システム基本情報	1-43
2. システム管理者情報	1-43
1.2.2 コード登録コマンド (sjSPU_ImportCode.exe)	1-44
1.2.2.1 使用方法	1-44
1.2.2.2 実行結果	1-46
1.2.2.3 ファイルの説明	1-50
1. インポートファイル	1-50
2. ユーザーログ	1-51
1.2.2.4 設定ケーススタディ	1-54
1. コードを新規に登録する	1-54
2. 登録済コードの更新を行う	1-56
1.2.2.5 指定可能フィールド情報	1-58
1.2.3 マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportMst.exe)	1-64
1.2.3.1 使用方法	1-64

1.2.3.2 実行結果.....	1-68
1.2.3.3 ファイルの説明.....	1-71
1. インポートファイル.....	1-72
2. マッピングアイテムファイル.....	1-74
3. 定義ファイル.....	1-75
1.2.3.4 設定ケーススタディ.....	1-76
1. 会社マスタを新規に登録する.....	1-76
2. 組織マスタへのマスタ追加と登録済マスタの更新を行う.....	1-79
3. グループマスタを新規に登録する.....	1-82
4. 職責マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する(フォーマット変換を行う).....	1-86
5. 承認フロールートマスタをマッピングアイテムファイルを用いて更新する.....	1-98
6. 承認フローマスタを新規に登録する.....	1-103
7. 問合せ元マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する.....	1-105
8. 問合せ元マスタ 2 の旧フォーマットを用いて新規に登録する.....	1-108
9. 表項目問合せ元を新規に登録する.....	1-111
10. チームマスタを新規に登録する.....	1-115
11. メンテナンス(共通)マスタを新規登録する.....	1-117
12. メンテナンス(システム別)マスタを新規登録する.....	1-128
1.2.3.5 指定可能フィールド情報.....	1-133
1. 会社マスタ.....	1-133
2. 組織マスタ.....	1-133
3. グループマスタ.....	1-133
4. 職責マスタ.....	1-133
5. 承認フローマスタ.....	1-133
6. 承認フロールートマスタ.....	1-133
7. 問合せ元情報マスタ.....	1-134
8. 問合せ元情報 2 マスタ.....	1-134
9. 表項目問合せ元情報マスタ.....	1-134
10. チームマスタ.....	1-134
11. メンテナンス権限(共通)マスタ.....	1-134

12. メンテナンス権限(システム別)マスタ	1-134
1.2.3.6 フォーマット変換情報	1-135
1. 職責マスタ	1-136
2. 承認フロールートマスタ	1-139
3. 問合せ元情報マスタ	1-141
4. 問合せ元 2 情報マスタ	1-142
1.2.4 分類マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportCat.exe)	1-143
1.2.4.1 使用方法	1-143
1.2.4.2 実行結果	1-145
1.2.4.3 ファイルの説明	1-147
1. インポートファイル	1-147
2. 実行ログファイル	1-149
3. 再登録対象ファイル	1-149
1.2.4.4 設定ケーススタディ	1-150
1. 2 連分類マスタを新規に登録する	1-150
2. 3 連分類マスタを更新する	1-153
3. 5 連分類マスタの分類-4 と分類-5 に分類を追加する	1-157
1.2.4.5 指定可能フィールド情報	1-161
1.2.5 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)	1-163
1.2.5.1 使用方法	1-163
1.2.5.2 実行結果	1-171
1.2.5.3 ファイルの説明	1-175
1. インポートファイル	1-176
2. マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)	1-177
3. マッピングルールファイル (MappingRule.xml)	1-180
4. 再登録対象ファイル	1-184
1.2.5.4 データ登録時の動作設定	1-185
1.2.5.5 再登録方法	1-186
1. 再登録手順 1	1-187
2. 再登録手順 2	1-190

1.2.5.6 構成管理の登録可否一覧	1-197
1.2.5.7 設定ケーススタディ	1-199
1. プロセス管理のレコードを新規に登録する	1-202
2. プロセス管理のレコードをクローズ更新する	1-207
3. プロセス管理のレコードに経過を追加する	1-211
4. プロセス管理のレコードに表項目に登録する	1-214
5. イベント管理のレコードを新規に登録する	1-217
6. イベント管理のレコードに表項目に登録する	1-221
7. 要員情報を新規に登録する	1-224
8. ユーザー情報を新規に登録する	1-228
9. ユーザー情報に職責・グループを追加する	1-232
10. ユーザー情報を更新する	1-235
11. 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票する	1-238
12. 構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新する	1-242
13. 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する	1-248
14. 構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新、即反映する	1-252
15. 構成アイテム(構成管理)のレコード(削除予定)を起票、即反映する	1-259
16. 構成アイテム管理(ID管理)のレコードを新規に登録する	1-263
17. 構成アイテム管理(ID管理)のレコードを更新する	1-267
1.2.5.8 クローズ解除	1-270
1.2.5.9 クローズチケットの更新	1-271
1.2.5.10 指定可能フィールド情報	1-271
1. プロセス管理	1-273
2. イベント管理	1-273
3. 要員管理	1-273
4. 構成管理	1-273
5. 構成アイテム管理	1-273
6. ユーザー管理	1-273
1.2.5.11 指定可能フィールド情報の対応一覧	1-274
1. プロセス管理/インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理	1-275

2. イベント管理／インシデント候補	1-300
1.2.6 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録	1-320
1.2.6.1 使用方法	1-320
1.2.6.2 経過自動追加機能について	1-326
1. 登録モード「113」の場合	1-327
2. 登録モード「114」の場合	1-327
3. 登録モード「115」の場合	1-327
4. 登録モード「116」の場合	1-328
1.2.6.3 指定可能フィールド情報	1-329
1.2.7 構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe)	1-332
1.2.7.1 使用方法	1-332
1.2.7.2 実行結果	1-333
1.2.7.3 ファイルの説明	1-336
1.2.8 申請状況通知コマンド (sjSPX_ChkEscaCond.exe)	1-339
1.2.8.1 使用方法	1-339
1.2.8.2 実行結果	1-343
1.2.8.3 ファイルの説明	1-348
1. コメントファイル	1-348
2. ユーザーログ	1-349
1.2.8.4 テンプレートの説明	1-357
1.2.9 自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe)	1-358
1.2.9.1 使用方法	1-358
1.2.9.2 実行結果	1-363
1.2.9.3 送信種別の説明	1-369
1.2.9.4 ファイルの説明	1-375
1. コメントファイル	1-375
2. ユーザーログ	1-376
1.2.9.5 テンプレートの説明	1-387
1.2.10 データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe)	1-388
1.2.10.1 使用方法	1-388

1.2.10.2 実行結果.....	1-392
1. プロセス管理.....	1-395
2. イベント管理.....	1-411
1.2.10.3 ファイルの説明.....	1-422
1. 検索条件ファイル.....	1-423
2. マッピングアイテムファイル.....	1-424
1.2.10.4 指定可能フィールド情報.....	1-452
1.2.11 リミットチェックコマンド (sjSPU_ChkLimit_Ex.exe)	1-453
1.2.11.1 使用方法.....	1-453
1.2.11.2 実行結果.....	1-455
1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU_GetAuditLog.exe)	1-460
1.2.12.1 使用方法.....	1-460
1.2.12.2 実行結果.....	1-463
1.2.13 データ移行コマンド (sjSPU_MigrateData.exe) (Oracle 用).....	1-468
1.2.13.1 使用方法.....	1-468
1.2.13.2 事前準備.....	1-474
1. ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリの確認.....	1-474
2. ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」へユーザーアカウントの操作権限付与.....	1-474
1.2.13.3 OracleDatabase サーバーが LinuxOracle の場合の事前準備.....	1-476
1. 実行権限に「0」を指定した場合.....	1-476
2. 実行権限に「1」を指定した場合.....	1-477
1.2.13.4 実行結果.....	1-478
1.2.13.5 移行対象マスタ情報.....	1-482
1.2.14 データ移行コマンド (sjSPU_MigrateData.exe) (PostgreSQL 用).....	1-485
1.2.14.1 使用方法.....	1-485
1.2.14.2 実行結果.....	1-489
1.2.14.3 移行対象マスタ情報.....	1-491
1.2.15 IVR 連携コマンド (sjSPX_LinkDBData.ocx)	1-494
1.2.15.1 使用方法.....	1-494
1.2.15.2 ファイルの説明.....	1-498

1. 初期化情報ファイル	1-498
2. ユーザーログ	1-500
1.2.15.3 指定可能フィールド情報	1-502
1.2.16 過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe)	1-503
1.2.16.1 使用方法	1-503
1.2.16.2 実行結果	1-508
1.2.16.3 ファイルの説明	1-513
1. 実行ログファイル	1-513
2. 削除対象ファイル	1-517
1.2.16.4 設定ケーススタディ	1-518
1. イベント取込みを実施したイベントデータを含むイベント管理の削除件数参照	1-519
2. プロセス管理のシステム指定削除	1-521
3. 構成管理の削除対象基準構成指定削除	1-523
4. プロセス管理の添付ファイルの削除	1-525
5. ファイルライブラリのシステム指定削除	1-527
6. プロセス管理の削除対象ファイル名指定削除	1-529
1.2.17 マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteMst.exe)	1-531
1.2.17.1 使用方法	1-531
1.2.17.2 実行結果	1-534
1.2.17.3 ファイルの説明	1-536
1. 削除対象ファイル	1-537
1.2.17.4 設定ケーススタディ	1-538
1. 組織マスタのシステムを指定して削除する	1-538
2. 組織マスタの組織を指定して削除する	1-540
3. 組織マスタの組織とシステムを指定して削除する	1-542
4. 会社マスタを全て削除する	1-544
5. 会社マスタの会社を指定して削除する	1-545
6. 問合せ元情報マスタを全て削除する	1-547
7. 表項目問合せ元情報マスタを全て削除する	1-549
8. ユーザー情報に設定されないチームを削除する	1-552

9. グループマスタのグループ名を指定して削除する	1-553
1.2.17.5 指定可能フィールド情報	1-554
1.2.18 分類マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteCat.exe)	1-555
1.2.18.1 使用方法	1-555
1.2.18.2 実行結果	1-557
1.2.18.3 ファイルの説明	1-559
1. 削除対象ファイル	1-560
2. 実行ログファイル	1-561
3. 再実行対象ファイル	1-561
1.2.18.4 設定ケーススタディ	1-562
1. 3連分類マスタの分類-1 から紐づく全ての分類を削除する	1-562
2. 5連分類マスタの分類-3 から紐づく全ての分類を削除する	1-565
1.2.18.5 指定可能フィールド情報	1-568
1.2.19 システム削除コマンド (sjSPU_DeleteSystem.exe)	1-569
1.2.19.1 使用方法	1-569
1.2.19.2 実行結果	1-571
1.2.19.3 ファイルの説明	1-575
1.2.19.4 設定ケーススタディ	1-577
1. 現在の構成と最新の構成が削除される	1-578
2. 現在の構成のみ削除される	1-580
3. 最新の構成のみ削除される	1-582
4. 全ての履歴のみ削除される	1-584
1.2.20 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle用)	1-586
1.2.20.1 使用方法	1-586
1.2.20.2 実行結果	1-588
1.2.21 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL用)	1-590
1.2.21.1 使用方法	1-590
1.2.21.2 実行結果	1-591
1.2.22 SSMWEBホスト登録コマンド (SetupSSMWEBHOST.vbs)	1-593
1.2.22.1 使用方法	1-593

1.2.22.2	実行結果	1-597
1.2.22.3	ファイルの説明	1-601
1.2.22.4	設定ケーススタディ	1-602
1.	SSM WEB サーバー情報の登録	1-603
2.	SSM WEB サーバー情報の更新	1-605
3.	SSM WEB サーバー情報の削除	1-607
1.2.23	コマンド実行デーモン (sjSPX_CmdMgr.exe)	1-609
1.2.23.1	使用方法	1-609
1.2.23.2	実行結果	1-610
1.2.23.3	ファイルの説明	1-612
1.	稼働定義ファイル (sjSPX_CmdMgrConf.xml)	1-612
1.2.24	トレースログ出力設定コマンド (SetupTraceLog.cmd)	1-614
1.2.24.1	使用方法	1-614
1.2.24.2	実行結果	1-616
1.2.25	ElasticSearch データ削除モジュール(sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs)	1-618
1.2.25.1	使用方法	1-618
1.2.25.2	実行結果	1-619
1.2.25.3	ファイルの説明	1-619
1.2.25.4	設定ケーススタディ	1-621
1.	手動で直接モジュールを呼び出して削除する	1-621
2.	タスクスケジューラより、定期的に自動実行して削除する	1-622
1.3	指定可能フィールド情報一覧	1-626
1.3.1	凡例	1-626
1.3.2	システム登録コマンド (sjSPU_ImportSystem.exe)	1-634
1.	システム基本情報	1-635
2.	システム管理者情報	1-638
1.3.3	コード登録コマンド (sjSPU_ImportCode.exe)	1-639
1.3.4	マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportMst.exe)	1-641
1.3.4.1	標準フォーマット	1-642
1.	会社マスタ	1-643

2. 組織マスタ	1-644
3. グループマスタ	1-645
4. 職責マスタ	1-646
5. 承認フローマスタ	1-654
6. 承認フロールートマスタ	1-655
7. 問合せ元情報マスタ	1-658
8. 問合せ元情報 2 マスタ	1-660
9. 表項目問合せ元情報マスタ	1-662
10. チームマスタ	1-665
11. メンテナンス権限(共通)	1-666
12. メンテナンス権限(システム別)	1-681
1.3.4.2 旧フォーマット	1-686
1. 職責マスタ	1-687
2. 承認フロールートマスタ	1-691
3. 問合せ元情報マスタ	1-692
4. 問合せ元 2 情報マスタ	1-693
1.3.5 分類マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportCat.exe)	1-694
1.3.6 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)	1-696
1. プロセス管理	1-697
2. イベント管理	1-731
3. 要員管理	1-751
4. 構成管理	1-753
5. 構成アイテム管理	1-762
6. ユーザー管理	1-766
1.3.7 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録	1-769
1. プロセス管理	1-769
1.3.8 データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe)	1-790
1. プロセス管理	1-790
1.3.9 マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteMst.exe)	1-794
1.3.10 分類マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteCat.exe)	1-795

1.4	旧コマンドリファレンス	1-797
1.4.1	イベント送信コマンド (sjSPX_SendEvent.exe)	1-798
1.4.1.1	使用方法	1-798
1.4.1.2	実行結果の確認	1-801
1.4.1.3	指定可能フィールド情報	1-803
1	インシデント管理	1-803
2	インシデント候補	1-809
1.4.2	データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)	1-814
1.4.2.1	使用方法	1-814
1.4.2.2	実行結果	1-818
1.4.2.3	ファイルの説明	1-821
1	インポートファイル	1-823
2	マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)	1-824
3	マッピングルールファイル (MappingRule.xml)	1-827
4	再登録対象ファイル	1-830
1.4.2.4	データ登録時の動作設定	1-830
1.4.2.5	再登録方法	1-831
1	再登録手順 1	1-832
1.4.2.6	設定ケーススタディ	1-832
1	プロセス管理の「新規登録処理」	1-832
1.4.2.7	クローズ解除	1-835
1	サービス要求	1-836
1.4.2.8	指定可能フィールド情報	1-836
1	インシデント管理	1-838
2	インシデント候補	1-847
3	サービス要求	1-855
4	問題管理	1-864
5	変更管理	1-873
6	構成管理	1-883
1.4.3	Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録	1-891

1.4.3.1	使用方法.....	1-891
1.4.3.2	経過自動追加機能について.....	1-894
1.4.3.3	指定可能フィールド情報.....	1-894
1.	インシデント管理.....	1-896
1.4.4	過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe)	1-902
1.4.4.1	使用方法.....	1-902

1 コマンドリファレンス

1.1 コマンド仕様一覧

本章では、Senju Service Manager のコマンド仕様について記載します。

1.1.1 稼働環境とファイル仕様

コマンドの稼働環境、入出力ファイル有無、Web 画面のラベル項目に連動しているかを以下の一覧に記載します。

列	説明
区分	標準コマンドか旧コマンド（※）か示します。 標準…プロセス管理/イベント管理に対応したコマンドです。 ※…インシデント管理/サービス要求/問題管理/変更管理に対応したコマンドです。
コマンド名	コマンドの名称を示します。
環境	コマンドの稼働環境を示します。 DB 該当のコマンドが SSM DB サーバーで稼働することを示します。 WEB 該当のコマンドが SSM WEB サーバーで稼働することを示します。
再構築の推奨	コマンド実行後に、改めて DB 再構築コマンドを実行することを推奨するか否かを示します。 ○ DB 再構築コマンドの実行を推奨することを示します。 × DB 再構築コマンドの実行は不要であることを示します。
以降は入力ファイル、出力ファイルの指定有無、ファイル内の項目名称のラベル名称変更有無を示します。	
入力ファイル	入力ファイルの指定可否を示します。 指定可否 ◎ コマンド実行時に入力ファイルの指定が可能か否かを示します。 ◎ 入力ファイルの指定は必須であることを示します。 指定しない場合、エラーとなります。 ○ 入力ファイルの指定は任意であることを示します。 指定しない場合、入力ファイルに指定した内容は取り込まれません。 × ファイルを使用しないことを示します。 ラベル ○ 入力ファイルの中のカラム名として画面上のラベル名の指定が必要か否かを示します。 ○ ラベル項目に連動しているため、カスタマイズが可能であることを示します。 × ラベル項目に連動しておらず固定名称となるため、カスタマイズできないことを示します。 - ファイルを使用しないため対象外であることを示します。
出力ファイル	出力ファイルの指定可否を示します。 出力ファイルにユーザーログは含みません。 指定可否 ◎ コマンド実行時に出力ファイルの指定が可能か否かを示します。 ◎ 出力ファイルの指定は必須であることを示します。 指定しない場合、エラーとなります。 ○ 出力ファイルの指定はしませんが、コマンドが自動で出力ファイルを作成することを示します。

列	説明
ラベル	× 出力ファイルを指定およびコマンドが自動で作成しないことを示します。
	○ 出力ファイルの中のカラム名として画面上のラベル名が出力されるか否かを示します。
	○ ラベル項目に連動しているため、カスタマイズが可能であることを示します。
	× ラベル項目に連動しておらず固定名称となるため、カスタマイズできないことを示します。
	- ファイルを使用しないため対象外であることを示します。
二重起動制御	コマンドの二重起動を制御することが可能か否かを示します。
	○ 二重起動が可能であることを示します。
	× 二重起動が不可であることを示します。
データベース	Oracle 版または PostgreSQL 版で該当機能がサポートされるか否かを示します。
	○ サポート対象であることを示します。
	× サポート対象外であることを示します。

Senju Service Manager のデータベースには ORACLE 社の Oracle、または、PostgreSQL を使用します。

本マニュアルの各コマンドについて、サポート状況をデータベース毎に記します。

下記の表において「×」となっているコマンドは PostgreSQL ではサポート対象外です。

区分	コマンド名称	環境	再構築の 推奨	入力ファイル		出力ファイル		二重起 動制御	データベース	
				指定可否	ラベル	指定可否	ラベル		Oracle	PostgreSQL
標準	システム登録コマンド	DB	×	◎	×	×	—	×	○	○
	コード登録コマンド	DB	×	◎	×	×	—	×	○	○
	マスタ登録コマンド	DB	×	◎	×	×	—	×	○	○
	分類マスタ登録コマンド	WEB	×	◎	○	○	○	×	○	○
	データ登録コマンド	DB	○	◎	×	×	—	×	○	○
	SenjuEnterpriseNavigator	DB	×	×	—	×	—	○	○	○
	構成管理反映コマンド	DB	○	×	—	○	○	○	○	○
	申請状況通知コマンド	WEB	×	○	×	×	—	○	○	○
	自動メール通知コマンド	WEB	×	○	×	×	—	○	○	○
	データ出力コマンド	WEB	×	◎/○※1	○	◎	○	○	○	○
	リミットチェックコマンド	DB	×	×	—	○	○	×	○	○
	操作ログ取得コマンド	DB	×	×	—	○	○	×	○	○
	データ移行コマンド	DB	×	◎	×	◎	×	○	○	○
	IVR 連携コマンド	WEB	×	◎	○	×	—	×	○	×
	過去データ削除コマンド	DB	○	×	—	○	×	×	○	○
	マスタ削除コマンド	DB	○	○	×	×	×	○	○	○
	分類マスタ削除コマンド	WEB	○	◎	○	○	○	×	○	○
	システム削除コマンド	WEB	×	×	—	○	×	×	○	○
DB 再構築コマンド	DB	×	×	—	×	—	○	○	○	
旧	イベント送信コマンド	DB	×	○	×	×	—	×	○	×
	データ登録コマンド	DB	×	◎	×	×	—	×	○	×
	データ出力コマンド	WEB	×	◎/○※1	○	◎	○	○	○	×
	リミットチェックコマンド	DB	×	×	—	○	○	×	○	×
	過去データ削除コマンド	DB	○	×	—	○	×	×	○	×

※1 指定する案件種別により入力ファイルの指定可否が異なります。各コマンドの章を参照してください。

1.1.2 画面 ID

各コマンドで指定する画面 ID(データ種別 ID)を以下の一覧に記載します。

画面名	指定値
プロセス管理 1~103	01000001~01000103
イベント管理	03000001
構成アイテム 1~50	04000001~04000050
構成アイテム管理	06000001
アカウント管理	07000001
既知エラー	08000001
FAQ	09000001
ファイルライブラリ	10000001
リンク集	11000001
ToDo	99000004
分類	99000019
承認フロールート	99000025
送信メール設定	99000027
ユーザースケジュール	99000037
システムスケジュール	99000038
コード値別必須制御	99000060

1.2 標準コマンドリファレンス

本章では、プロセス管理、イベント管理に対応したコマンドについて記載します。



要注意

製品をインストールした各サーバーで、SenjuService Manager の各種コマンドを利用する場合、Administrators グループに所属するユーザーで Windows にログオンして操作を行ってください。

上記ユーザー以外で各種コマンドを利用した場合、コマンドが正常に動作しない恐れがあります。



要注意

コマンドプロンプトから Senju Service Manager のコマンドを実施する場合、各コマンドが格納されているフォルダ配下でコマンドに対しファイル出力(">")を実施しますとコマンドが起動できなくなります。

例)

C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\bin に格納されているデータ登録コマンドに対しファイル出力を実施する。

C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\bin> 【ファイル出力内容】>sjSPU_ImportData.exe

上記のようにコマンドを実行した場合、「sjSPU_ImportData.exe」が起動できなくなります。

Administrator ではない通常ユーザーでコマンド実行する場合、以下の権限が必要です。
※権限を保有していない場合、コマンド実行時に想定外の動作を行う可能性があります。
必ず権限設定をご確認の上、コマンドを実行してください。

①%CCFRSPDBHOME%配下のコマンドを実行する場合、%CCFRSPDBHOME%フォルダに対して下記権限が必要です。

- ・ 変更
- ・ 読み取りと実行
- ・ フォルダの内容の一覧表示
- ・ 読み取り
- ・ 書込み



要注意

②%CCFRSPWEBHOME%配下のコマンドを実行する場合、%CCFRSPWEBHOME%フォルダに対して下記権限が必要です。

- ・ 変更
- ・ 読み取りと実行
- ・ フォルダの内容の一覧表示
- ・ 読み取り
- ・ 書込み

また、①～②どちらのコマンドを実行する場合も、
各コマンドで指定した入出力ファイルが配置されたフォルダに対して下記権限が必要です。

- ・ 変更
- ・ 読み取りと実行
- ・ フォルダの内容の一覧表示
- ・ 読み取り
- ・ 書込み



制限事項

使用可能な漢字コードは、第一水準および第二水準、および Windows-31J (MS932) で表示可能なそれ以外の漢字です。



制限事項

他のプログラムから Senju Service Manager のコマンドを実行した場合、正常に動作しない恐れがあります。



制限事項

コマンドは多言語表示非対応です。制御情報で表示言語を English に設定した場合も、コマンドは日本語で表示されます。



制限事項

Senju Service Manager のコマンドは Senju Operation Conductor の千手エージェントでのジョブ実行は可能ですが、千手センサーでのジョブ実行はできません。



仕様補足

Senju Service Manager バージョン 2013.0.0 からインシデント管理/サービス要求/問題管理/変更管理を「プロセス管理」として統合しました。また、インシデント候補の名称を「イベント管理」に変更しました。
詳細については、リリースノートを参照してください。
インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理に対応したコマンドについては、「1.4 旧コマンドリファレンス」を参照してください。



仕様補足

Senju Service Manager バージョン V12.0.0 以前の指定方法（インシデント管理/インシデント候補/サービス要求/問題管理/変更管理）については、対応項目の拡張は行われません。Senju Service Manager バージョン 2013.0.0 から新規に追加された項目を使用する場合には、プロセス管理/イベント管理を指定してご使用ください。

1.2.1 システム登録コマンド (sjSPU_ImportSystem.exe)

システム登録コマンドは、指定したシステムのデータを Oracle Database/ PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録する場合に使用します。

1.2.1.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportSystem.exe△-T△登録情報△-f△インポートファイル名△[-m△インポートファイル形式]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-T: 登録情報**

登録するシステムの情報を指定します。
省略することはできません。
指定できる情報を以下に記載します。

001: システム基本情報
101: システム管理者情報

- **-f: インポートファイル名**

インポートの対象となるデータが記述されたファイルのフルパスを指定します。
省略できません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※インポートファイルの詳細については、後述の「1.2.1.3 ファイルの説明」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-m: インポートファイル形式**

インポートファイルに記載するデータのフォーマットを指定します。

項目がダブルクォートで囲われたファイルの場合は 0 を指定してください。

項目がダブルクォートで囲われていないファイルの場合は 1 を指定してください。

この引数は省略可能です。

省略された場合は「0:ダブルクォートあり」として動作します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

操作説明



システム登録コマンドにてデータを登録した場合、

DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。

DB 再構築コマンドの使用方法につきましては

「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。

制限事項



以下のコマンドを同時実行する場合に、各コマンドで指定するデータは同時実行するコマンド同士で関連性のないデータを指定してください。

データ不整合が発生する可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド

制限事項



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・ 過去データ削除コマンド
- ・ マスタ削除コマンド
- ・ 分類マスタ削除コマンド
- ・ システム削除コマンド
- ・ データ移行コマンド
- ・ DB 再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、
予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.1.2 実行結果

システム登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例) システム基本情報を登録した場合

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 001 -f "C:¥TEMP¥ImportSystem.txt" -m 0
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

システム登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合。
0	正常終了	インポートファイル内の全てのマスタデータが取り込めた場合。
1	異常終了	引数の指定に誤りがある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。
2	異常終了	
3	異常終了	
4	異常終了	
5	異常終了	
291	異常終了	インポートファイルのデータに誤りがある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。
292	異常終了	
293	異常終了	
294	異常終了	
295	異常終了	
500	異常終了	データベース接続に異常がある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。
607	異常終了	システム数が上限値に達していた場合。 上限値を超えたデータの取り込みは行われません。
901	異常終了	データの登録に失敗した場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。

終了コード	説明	状況
902	警告終了	新規登録する時、「SSA 共通」と「業務グループ起動時刻変更」ブロックの項目について、インポートファイルで値が指定しない場合、デフォルト値で登録されます。 また、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれますが、ログに警告を出力します。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	処理が正常に終了しました。	システム登録コマンドが正常終了した場合	なし
1	「-」のみの不正な引数が指定されました。	コマンドオプションが“-”のみ指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.1.1 使用方法」を参照してください。
2	引数の先頭は「-」にて指定してください。	コマンドオプションが“-”以外で指定されました。	
3	引数を指定せずコマンドを実行し、Usageを参照してください。	コマンドにて指定できるオプション以外が指定されました。	
4	引数([引数])に指定された値が不正です。([不正な値])	コマンドオプションに不正な値が指定されました。	
5	引数([引数])が指定されていません。	必須コマンドオプションが指定されませんでした。	
291	インポートファイルが存在しません。	存在しないインポートファイルが指定されました。	引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。
292	インポートファイルに情報が存在しません。	インポートファイル内にデータが存在しません。	インポートファイルの中身を確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.1.3 ファイルの説明」を参照してください。
293	インポートファイルに登録対象の情報が存在しません。	インポートファイル内にコメント行だけ指定されています。	
294	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 ユーザーログをご確認の上、インポートファイルを修正してください。	インポートファイル内に不正なデータが指定されました。 (対象外の値が指定されました。) インポートファイル内に不正なデータが指定されました。 (値が最大桁数を超えています。)	

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
		インポートファイル内に不正なデータが指定されました。 (指定項目数が不正です。)	
295	インポートファイルが開けません。	インポートファイルが参照できません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
500	DB に接続できませんでした。	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上のDB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
607	システムの登録数が上限を超えました。	システム数が上限値に達しているため登録できません。	Web 画面に登録されているシステムを確認してください。 不要なシステムがある場合は削除を実施してください。
901	処理が異常終了しました。	DB の登録に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上のDB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
902	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータを補完し登録を行いました。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目をデフォルト値として登録しました。	ログに出力された項目名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。

1.2.1.3 ファイルの説明

システム登録コマンドで実行に必要なファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象のレコードを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	ユーザーログ	sjSPU_User_ImportSystem.log[.世代数]	システム登録コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダに出力されます。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象のシステムデータを記述します。

インポートファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- 登録するレコードを1行1レコードで指定します。
- CSV形式（カンマ区切り）で指定します。
- インポートファイルの1レコードには決められた順序で指定します。
順序は後述「1.2.1.5 指定可能フィールド情報」の指定順序列を参照してください。
- 複数のシステム情報を登録する場合は、その個数分、行を分けて記述します。
- 登録を行わない項目へは何も指定しません。
- 行の先頭に「#」を指定した場合はその行はコメントとして扱われ、処理の対象から除かれます。
- 1つの項目に複数の値を設定する必要がある場合は、区切り文字「@\$@」で各項目を区切って指定します。
区切り文字「@\$@」は変更することはできません。
- 値を改行することはできません。
- 全ての項目において、値としてカンマ(,)を指定することはできません。
- インポートファイルに指定されたシステム名が複数件登録されている場合、登録することはできません。
- 更新時、インポートファイルに半角または全角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目をクリアできません。

システム名が一意になるように変更し、実行してください。

インポートファイルの記述例は「**1.2.1.4 設定ケーススタディ**」を参照してください。

2. ユーザーログ

システム登録コマンドの実行結果やエラー情報等のログ情報が出力されるファイルです。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

「%CCFSPDBHOME%log」 フォルダ

出力ファイル名

sjSPX_User_ImportSystem.log[. 世代数]

[. 世代数] : なし、または 1~7 の数値が付加される。
最新のログは世代数なし。
以降、新しい順に 1~7 の世代数がファイル名に付加される。
ファイルは、1MB 毎に 1 つ古い世代へシフトされ 7 世代を超えると削除される。

以降にユーザーログに出力されるログの内容を示します。

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
1	INFO	ログの初期化が完了しました。ログ出力を開始します。	ログ出力開始を意味します。	なし
2	INFO	処理が正常に終了しました。	コマンドが正常に終了したことを意味します。	
3	ERROR	「-」 のみの不正な引数が指定されました。	コマンドオプションに「-」のみを指定しています。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
4	ERROR	引数の先頭は「-」にて指定してください。	コマンドオプションの先頭を「-」以外で指定しています。	
5	ERROR	引数を指定せずコマンドを実行し、Usage を参照してください。	“-I”、“-f”、“-m”以外のコマンドオプションを指定しています。	
6	ERROR	引数([引数])に指定された値が不正です。([不正な値])	コマンドオプションに指定した値に誤りがあります。	

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
7	ERROR	引数([引数])が指定されていません。	指定が必須である“-I”および“-f”が指定されていません。	
8	ERROR	インポートファイルが存在しません。	指定したインポートファイルが存在しません。	ファイル有無、ファイルパスをもう一度確認し正しい値を指定してください。
9	ERROR	インポートファイルに情報が存在しません。	指定したインポートファイルのサイズが 0 です。	インポートファイルの内容を確認してください。
10	ERROR	インポートファイルに登録対象の情報が存在しません。	指定したインポートファイルにコメント行のみが存在しています。	
11	ERROR	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 正しく指定してください。 [不正な項目]の値が不正です。([不正な値]) N 件目 異常終了しました。	インポートファイルに指定した値に誤りがあります。	
12	ERROR	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 正しく指定してください。 [不正な項目]は半角 XXX 桁以内で指定してください。([不正な値]) N 件目 異常終了しました。	インポートファイルに指定した値が登録可能最大値を超えています。	マニュアルを参照して値を正しく指定してください。
13	ERROR	DB に接続できませんでした。 ([Oracle/PostgreSQL のエラーメッセージ]) DB との接続に失敗しました。 DB 接続情報を確認してください。	Senju/SM DB に接続できませんでした。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。
14	ERROR	DB との接続が遮断されました。 ([Oracle/PostgreSQL のエラーメッセージ]) DB との接続が遮断されました。 DB 接続情報を確認してください。	Senju/SM DB との接続が遮断されました。	上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
15	ERROR	システムの登録可能な最大件数[XXX 件]を越えました。 N 件目 異常終了しました。	Senju/SM にて登録可能なシステム数を越えました。	Senju/SM へログインし、登録されているシステムを確認してください。

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
16	ERROR	処理が異常終了しました。	Senju/SM DB への登録に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.1.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な登録手順を示します。

No	タイトル
1	システム基本情報の旧フォーマットを用いて新規に登録する
2	システム管理者情報を更新する

1. システム基本情報の旧フォーマットを用いて新規に登録する

前提条件：

指定する登録情報は「001」（システム基本情報）とします。

旧フォーマットを用いて、フォーマット変換処理を行わず、不足項目をデフォルト値として登録を行います。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥SystemBasicData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するシステム情報を記載します。

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象システム名	(なし)
システム名	営業システム
システム名略称	SYS1
概要	営業に関するシステム
運用開始日	20100101
運用時間帯 (開始時刻)	0100
運用時間帯 (終了時刻)	2330
サービス開始日	20100401
サービス時間帯 (開始時刻)	0845

サービス時間帯（終了時刻）	1800
サービス提供日（月）	1
サービス提供日（火）	1
サービス提供日（水）	1
サービス提供日（木）	1
サービス提供日（金）	1
サービス提供日（土）	0
サービス提供日（日）	0
サービス提供日（祝祭日）	0
最終リリース日	20100331
目標 MTBF	3
表示順	1
オープン FAQ 公開システム名	営業システム
オープン FAQ 公開	1
利用者組織	営業部
代表者氏名	野村太郎
代表者メールアドレス	t-nomura@xxx.jp
代表者電話番号	00-1111-0000
管理者組織	経営戦略部
管理責任者氏名	野村花子
管理責任者メールアドレス	h-nomura@xxx.jp
管理責任者電話番号	00-2222-0000
登録者/最終更新者	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"" , "営業システム", "SYS1", "営業に関するシステム",  
", "20100101", "0100", "2330", "20100401", "0845", "1800", "1", "1", "1", "1", "1", "0", "0", "0", "20100331", "3", "1", "営業システム",  
", "1", "営業部", "野村太郎", "t-nomura@xxx.jp", "00-1111-0000", "経営戦略部", "野村花子", "h-nomura@xxx.jp", "00-2222-0000", "a-nomura"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.1.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 001 -f "C:¥SystemBasicData.csv" -m 0
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 001 -f "C:¥SystemBasicData.csv" -m 0  
指定されたインポート対象ファイルの内容を新フォーマットとして出力しました。  
出力ファイル名：C:¥TEMP¥SystemBasicData.csv  
処理が正常に終了しました。  
  
C:¥>
```

変換後のインポートファイル：

「フォーマット変換する情報」で示したマスタデータの内容が新フォーマットに変換されます。
以下にコマンド実行後のシステム情報を記載します。

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象システム名	(なし)
システム名	営業システム
システム名略称	SYS1
概要	営業に関するシステム
運用開始日	20100101
運用時間帯 (開始時刻)	0100
運用時間帯 (終了時刻)	2330
サービス開始日	20100401
サービス時間帯 (開始時刻)	0845
サービス時間帯 (終了時刻)	1800
サービス提供日 (月)	1
サービス提供日 (火)	1
サービス提供日 (水)	1
サービス提供日 (木)	1
サービス提供日 (金)	1
サービス提供日 (土)	0
サービス提供日 (日)	0
サービス提供日 (祝祭日)	0
最終リリース日	20100331
目標 MTBF	3
表示順	1
オープン FAQ 公開システム名	営業システム
オープン FAQ 公開	1
SSA 共通>申請時の運用日付制御設定	1
SSA 共通>申請時のリミット日時制御設定	180
SSA 共通>承認時のリミット日時制御設定	60
業務グループ起動時刻変更>申請時の運用日付制御設定	0

業務グループ起動時刻変更>申請時の制限時間設定	30
業務グループ起動時刻変更>承認時の制限時間設定	20
業務グループ起動時刻変更>リミット日時初期値	15
業務グループ起動時刻変更>最大延長時刻+相対時刻の制限時刻	48
業務グループ起動時刻変更>運用日付指定可能日数	10
業務グループ起動時刻変更>前倒し時刻の入力制御設定	0
業務グループ起動時刻変更>変更対象時刻	0000001
利用者組織	営業部
代表者氏名	野村太郎
代表者メールアドレス	t-nomura@xxx.jp
代表者電話番号	00-1111-0000
管理者組織	経営戦略部
管理責任者氏名	野村花子
管理責任者メールアドレス	h-nomura@xxx.jp
管理責任者電話番号	00-2222-0000
登録者/最終更新者	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"" , "営業システム" , "SYS1" , "営業に関するシステム" ,  
"20100101" , "0100" , "2330" , "20100401" , "0845" , "1800" , "1" , "1" , "1" , "1" , "1" , "0" , "0" , "0" , "20100331" , "3" , "1" , "営業システム" ,  
"1" , "1" , "180" , "60" , "0" , "30" , "20" , "15" , "48" , "10" , "0" , "00000001" , "営業部" , "野村太郎" , "t-nomura@xxx.jp" , "00-1111-0000" , "経  
営戦略部" , "野村花子" , "h-nomura@xxx.jp" , "00-2222-0000" , "a-nomura"
```

フォーマット変換後に追加される項目に設定される値については「**1.2.1.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

※コマンドシーケンスに変更はありません。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 001 -f "C:¥SystemBasicData.csv" -m 0
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 001 -f "C:¥SystemBasicData.csv" -m 0  
処理が正常に終了しました。  
  
C:¥TEMP>
```

「変換後のインポートファイル」で示したデータの内容にてシステムへ新規登録されます。

2. システム管理者情報を更新する

前提条件：

指定する登録情報は「101」（システム管理者情報）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:¥SystemAdministratorData.csv」とします。

対象システム名に指定されるデータは「**1 システム基本情報の旧フォーマットを用いて新規に登録する**」にて登録されたシステムを使用します。

職責、メールテンプレート、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	営業システム	営業システム
画面 ID	01000001	01000002	01000010
担当 ID 種別 (オーナー)	1	2	2
オーナー	全機能利用可能	t-nomura	t-nomura@\$@h-nomura
担当 ID 種別 (主担当)	(なし)	2	1
主担当	(なし)	h-nomura	職責 A@\$@職責 B
担当 ID 種別 (一時停止解除実施者)	(なし)	2	(なし)
一時停止解除実施者	(なし)	j-nomura	(なし)
メールテンプレート	プロセス 1 テンプレート	(なし)	プロセス 10 テンプレート

更新する情報：

以下に更新するシステム管理者情報を記載します。

営業システムのプロセス管理 1、プロセス管理 2、プロセス管理 10 の情報を登録します。

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
営業システム, 01000001, 1, 全機能利用可能, , , , プロセス 1 テンプレート  
営業システム, 01000002, 2, t-nomura, 2, h-nomura, 2, j-nomura,  
営業システム, 01000010, 2, t-nomura@$@h-nomura, 1, 職責 A@$@職責 B, , , プロセス 10 テンプレート
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.1.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 101 -f "C:¥SystemAdministratorData.csv" -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportSystem.exe -T 101 -f "C:¥SystemAdministratorData.csv" -m 1  
処理が正常に終了しました。  
  
C:¥TEMP>
```

「更新する情報」で示したシステム管理者情報の内容にてシステムへ登録されます。

1.2.1.5 指定可能フィールド情報

システム登録コマンドで指定可能なフィールドの情報について記載します。



補助設定

更新時、対象システム名に指定したシステムが複数存在していた場合、エラーとなり登録されません。
システムが一意に定まるようにシステムを修正してください。



仕様補足

新規登録時、システム名に指定したシステムが既に登録されている場合、エラーとなり登録されません。

1. システム基本情報

一覧は「1.3.2-1 システム基本情報」を参照してください。

2. システム管理者情報

一覧は「1.3.2-2 システム管理者情報」を参照してください。

1.2.2 コード登録コマンド (sjSPU_ImportCode.exe)

コード登録コマンドは、指定したコードマスタのデータを Oracle Database / PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録/更新を行う場合に使用します。

1.2.2.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportCode.exe△-f△インポートファイル名△[-m△インポートファイル形式]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-f: インポートファイル名**
インポートファイル名はインポート対象となるレコードが記述されたファイルのフルパスを指定します。
省略することはできません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※インポートファイルの詳細については、後述の「1.2.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-m: インポートファイル形式**
インポートファイルに記載するデータのフォーマットを指定します。
項目がダブルクォートで囲われたファイルの場合は0を指定してください。
項目がダブルクォートで囲われていないファイルの場合は1を指定してください。
この引数は省略可能です。省略された場合は「0:ダブルクォートあり」として動作します。
「1:ダブルクォートなし」が指定された場合は項目に指定するデータに区切り文字に指定される文字（カンマ）を含めることはできません。



制限事項

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

コード登録コマンドにてデータを登録した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

コード登録コマンドと以下コマンドは同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・過去データ削除コマンド
- ・マスタ削除コマンド
- ・システム削除コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB 再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.2.2 実行結果

コード登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportCode.exe -f "C:¥ImportCodeData.txt" -m 0
処理が正常に終了しました。

C:¥TEMP>
```

コード登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合。
0	正常終了	インポートファイル内の全てのマスターデータが取り込めた場合。
1	異常終了	引数の指定に誤りがある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。
2		
3		
4		
5		
291	インポートファイルのデータに誤りがある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。	
292		
293		
294		
295		
500	データベース接続に異常がある場合。 結果としてデータの取り込みは行われません。	
501		
608		

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	処理が正常に終了しました。	コード登録コマンドが正常終了しました。	なし
1	「-」のみの不正な引数が指定されました。	コマンドオプションが“-”のみ指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.2.1使用方法」を参照してください。
2	引数の先頭は「-」にて指定してください。	コマンドオプションが“-”以外で指定されました。	
3	引数を指定せずコマンドを実行し、Usageを参照してください。	コマンドにて指定できるオプション以外が指定されました。	
4	引数([引数])に指定された値が不正です。([不正な値])	コマンドオプションに不正な値が指定されました。	
5	引数([引数])が指定されていません。	必須コマンドオプションが指定されませんでした。	
291	インポートファイルが存在しません。	存在しないインポートファイルが指定されました。	引数-f で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。
292	インポートファイルに情報が存在しません。[インポートファイルパス]	インポートファイル内にデータが存在しません。	インポートファイルの中身を確認してください。
293	インポートファイルに登録対象の情報が存在しません。[インポートファイルパス]	インポートファイル内にコメント行だけ指定されています。	インポートファイルについては、「1.2.2.3ファイルの説明」を参照してください。
294	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 ユーザーログをご確認の上、インポートファイルを修正してください。	インポートファイル内に指定された項目数が不正です。	インポートファイルの中身を確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.2.3ファイルの説明」を参照してください。
		インポートファイル内に対象外の値が指定されました。	
		インポートファイル内に指定したデータの値が最大桁数を超過しています。	
		インポートファイル内に指定したシステム名が複数Web画面に登録されています。	
		インポートファイル内にシステムが「全システム共通」のみしか指定できないコードに「全システム共通」以外が指定されています。	

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
		更新時、インポートファイル内に指定した「画面ID」、「コード種別」、「対象コード名」、「システム」の組み合わせが Web 画面またはインポートファイル自体に複数登録されています。 インポートファイル内に新規登録できないコード種別が指定されています。 インポートファイル内、ステータスを無効にできないコードに対し、無効が指定されています。	
295	インポートファイルが開けません。	インポートファイルが参照できません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
500	DB に接続できませんでした。	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
501	DB との接続が遮断されました。	DB との接続が遮断されました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
608	登録可能なコード数を超えています。(画面 ID: [画面 ID]、コード種別:[コード種別])	コードが上限値に達しているため登録できません。	Web 画面に登録されているコードを確認してください。 不要なコードがある場合は削除を実施してください。
	ステータスを「有効」に指定可能なコード数を超えています。(画面 ID: [画面 ID]、コード種別:[コード種別])	ステータスが“有効”であるコードが上限値に達しているため登録できません。	Web 画面に登録されているコードを確認してください。 不要なコードがある場合は削除または“無効”に修正を実施してください。

1.2.2.3 ファイルの説明

コード登録コマンドで実行に必要なとなるファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。
以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象のレコードを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	ユーザーログ	sjSPU_User_ImportCode. log[. 世代数]	コード登録コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダに出力されます。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象のコードデータを記述します。
インポートファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- 登録、更新するコードを1行1レコードで指定します。
 - 複数のコード情報を登録する場合は、その個数分、行を分けて記述します。
 - 1つのインポートファイルに「画面 ID」、「コード種別」、「コード名」、「システム」の組み合わせが一意になる様に記述してください。
複数存在する場合は更新はできません。
 - 1つのインポートファイルで、1つのレコードに対して登録及び更新は1回しかできません。
 - CSV形式（カンマ区切り）で指定します。
 - インポートファイルの1レコードには決められた順序で指定します。
順序は後述「1.2.2.5 指定可能フィールド情報」の指定順序列を参照してください。
 - 登録を行わない項目へは何も指定しません。
 - 更新時、インポートファイルに半角または全角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目をクリアできます。
・行の先頭に「#」を指定した場合はその行はコメントとして扱われ、処理の対象から除かれます。
 - 値を改行することはできません。
 - インポートファイル形式が1(ダブルクォートなし)である場合、全ての項目において値としてカンマ(,)を指定することはできません。
 - インポートファイル指定できる登録データの上限は500,000件です。
 - インポートファイル内に不正な値が存在した場合、全てのデータの登録を行いません。
- インポートファイルの記述例は「1.2.2.4 設定ケーススタディ」を参照してください。

2. ユーザーログ

コード登録コマンドの実行結果やエラー情報等のログ情報が出力されるファイルです。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

「%CCFSPDBHOME%log」フォルダ

出力ファイル名

sjSPU_User_ImportCode.log[.世代数]

[.世代数] : なし、または1~7の数値が付加される。
最新のログは世代数なし。
以降、新しい順に1~7の世代数がファイル名に付加される。
ファイルは、1MB 毎に1つ古い世代へシフトされ7世代を超えると削除される。

以降にユーザーログに出力されるログの内容を示します。

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
1	INFO	処理が正常に終了しました。	コマンドが正常に終了したことを意味します。	なし
3	ERROR	「-」のみの不正な引数が指定されました。	コマンドオプションに「-」のみを指定していません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
4	ERROR	引数の先頭は「-」にて指定してください。	コマンドオプションの先頭を「-」以外で指定していません。	
5	ERROR	引数を指定せずコマンドを実行し、Usageを参照してください。	“-f”、“-m”以外のコマンドオプションを指定していません。	
6	ERROR	引数([引数])に指定された値が不正です。 ([不正な値])	コマンドオプションに指定した値に誤りがあります。	
7	ERROR	引数([引数])が指定されていません。	指定が必須である“-f”が指定されていません。	
8	ERROR	インポートファイルが存在しません。	指定したインポートファイルが存在しません。	ファイル有無、ファイルパスをもう一度確認し正しい値を指定してください。
9	ERROR	インポートファイルに情報が存在しません。	指定したインポートファイルのサイズが0です。	インポートファイルの内容を確認してください。

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
10	ERROR	インポートファイルに登録対象の情報が存在しません。	指定したインポートファイルにコメント行のみが存在しています。	
11	ERROR	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 正しく指定してください。 [不正な項目]の値が不正です。([不正な値]) N 件目 異常終了しました。	インポートファイルに指定した値に誤りがあります。	インポートファイルの内容を確認してください。
12	ERROR	インポートファイル内の情報に誤りがあります。 正しく指定してください。 [不正な項目]は半角 XXX 桁以内で指定してください。([不正な値]) N 件目 異常終了しました。	インポートファイルに指定した値が登録可能最大値を超えています。	マニュアルを参照して値を正しく指定してください。
13	ERROR	DB に接続できませんでした。 ([Oracle/PostgreSQL のエラーメッセージ]) DB との接続に失敗しました。 DB 接続情報を確認してください。	Senju/SM DB に接続できませんでした。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。
14	ERROR	DB との接続が遮断されました。 ([Oracle/PostgreSQL のエラーメッセージ]) DB との接続が遮断されました。 DB 接続情報を確認してください。	Senju/SM DB との接続が遮断されました。	DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
15	ERROR	システムの登録可能な最大件数[XXX 件]を越えました。 N 件目 異常終了しました。	Senju/SM にて登録可能なシステム数を越えました。	Senju/SM へログインし、登録されているシステムを確認してください。

項番	レベル	出力ログ	意味	対応
16	ERROR	処理が異常終了しました。	Senju/SM DB への登録に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.2.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な登録手順を示します。

No	タイトル
1	コードを新規に登録する
2	登録済コードの更新を行う

1. コードを新規に登録する

前提条件：

プロセス管理 1、構成管理 5、承認フロールートのコードに登録します。
 インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥ImportCodeData.csv」とします。
 システムおよび登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するコードを記載します。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)	(4件目)
(項目名)	(値)			
登録モード	1	1	1	1
画面 ID	01000001	01000001	04000005	99000025
コード種別	種別	ラジオボタン1	用途	タイトル
対象コード名	(なし)	(なし)	(なし)	(なし)
コード名	新規顧客	年間契約	ラック管理	申請ルート
システム	営業システム	全システム共通	営業システム	全システム共通
色	Black	Red	Fuchsia	Purple
ステータス	1	1	0	1
表示順	1	2	3	4
登録者/最終更新者	a-nomura	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"1","01000001","種別","","新規顧客","営業システム","Black","1","1","a-nomura"  
"1","01000001","ラジオボタン1","","年間契約","全システム共通","Red","1","2","a-nomura"  
"1","04000005","用途","","ラック管理","営業システム","Fuchsia","0","3","a-nomura"  
"1","99000025","タイトル","","申請ルート","全システム共通","Purple","1","4","a-nomura"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.2.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjsPU_ImportCode.exe -f "C:¥ImportCodeData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjsPU_ImportCode.exe -f "C:¥ImportCodeData.csv"  
処理が正常に終了しました。  
  
C:¥>
```

「新規登録する情報」で示した内容にてコードマスタへ新規登録されます。

2. 登録済コードの更新を行う

前提条件：

コード値別必須制御、承認フロールート、プロセス管理 1、アカウント管理のコードを登録します。
 インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\UpdateCodeData.csv」とします。
 システムおよび登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

登録済の組織マスタの情報：

以下に登録済の組織マスタを記載します。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)	(4件目)
(項目名)	(値)			
画面 ID	99000060	99000025	01000001	07000001
コード種別	必須入力制御	カタログ	ラジオボタン 1	権限
コード名	必須制御 1	カタログ 2	年間契約	管理者権限
システム	全システム共通	全システム共通	全システム共通	営業システム
色	Black	Black	Red	Yellow
ステータス	1	1	1	0
表示順	10	20	2	4
登録者/最終更新者	a-nomura	a-nomura	a-nomura	a-nomura

更新する情報：

以下に更新するコードを記載します。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)	(4件目)
(項目名)	(値)			
登録モード	2	2	2	2
画面 ID	99000060	99000025	01000001	07000001
コード種別	必須入力制御	カタログ	ラジオボタン 1	権限
対象コード名	必須制御 1	カタログ 2	年間契約	管理者権限
コード名	新規制御	受付	(なし)	実行権限
システム	全システム共通	全システム共通	全システム共通	営業システム
色	Black	(なし)	Fuchsia	(なし)
ステータス	(なし)	(なし)	0	1

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)	(4件目)
(項目名)	(値)			
表示順	(なし)	11	(なし)	10
登録者/最終更新者	a-nomura	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
2, 99000060, 必須入力制御, 必須制御 1, 新規制御, 全システム共通, Black, , , a-nomura
2, 99000025, カタログ, カタログ 2, 受付, 全システム共通, , , 11, a-nomura
2, 01000001, ラジオボタン 1, 年間契約, , 全システム共通, Fuchsia, 0, , a-nomura
2, 07000001, 権限, 管理者権限, 実行権限, 営業システム, , 1, 10, a-nomura
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.2.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportCode.exe -f "C:¥UpdateCodeData.csv" -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportCode.exe -f "C:¥UpdateCodeData.csv" -m 1
```

処理が正常に終了しました。

「更新する情報」で示した内容にてコードマスタへ更新されます。

1.2.2.5 指定可能フィールド情報

インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧および指定可能な『コード種別』を以下に示します。

一覧は「1.3.3 コード登録コマンド (sjSPU_ImportCode.exe)」を参照してください。

1. コード登録/更新時に指定可能な『コード種別』の一覧

画面	コード種別	システム選択可否※1	新規登録可否※2
ToDo	重要度	×	○
ユーザースケジュール	予定	×	○
システムスケジュール	予定	○	○
プロセス管理	ステータス	×	○
	サブステータス	○	○
	種別	○	○
	インパクト	○	○
	緊急度	○	○
	優先度	○	○
	コンボボックス 1	○	○
	コンボボックス 2	○	○
	コンボボックス 3	○	○
	コンボボックス 4	○	○
	コンボボックス 5	○	○
	コンボボックス 6	○	○
	コンボボックス 7	○	○
	コンボボックス 8	○	○
	コンボボックス 9	○	○
	コンボボックス 10	○	○
コンボボックス 11	○	○	
コンボボックス 12	○	○	
コンボボックス 13	○	○	
コンボボックス 14	○	○	
コンボボックス 15	○	○	

画面	コード種別	システム選択可否※1	新規登録可否※2
	コンボボックス 16	○	○
	コンボボックス 17	○	○
	コンボボックス 18	○	○
	コンボボックス 19	○	○
	コンボボックス 20	○	○
	種別設定元コンボボックス 1	○	○
	種別設定元コンボボックス 2	○	○
	種別設定元コンボボックス 3	○	○
	種別設定元コンボボックス 4	○	○
	種別設定元コンボボックス 5	○	○
	種別設定元コンボボックス 6	○	○
	種別設定元コンボボックス 7	○	○
	種別設定元コンボボックス 8	○	○
	種別設定元コンボボックス 9	○	○
	種別設定元コンボボックス 10	○	○
	ブロック制御コンボボックス 1	○	○
	ブロック制御コンボボックス 2	○	○
	ブロック制御コンボボックス 3	○	○
	ラジオボタン 1 ※3	×	○
	ラジオボタン 2 ※3	×	○
	コンボテキスト 1	○	○
	コンボテキスト 2	○	○
	チェックボックス 1	○	○
	チェックボックス 2	○	○
	チェックボックス 3	○	○
	チェックボックス 4	○	○
	チェックボックス 5	○	○
	チェックボックス 6	○	○
	チェックボックス 7	○	○
	チェックボックス 8	○	○
	チェックボックス 9	○	○
	チェックボックス 10	○	○
	チェックボックス 11	○	○

画面	コード種別	システム選択可否※1	新規登録可否※2
	チェックボックス 12	○	○
	チェックボックス 13	○	○
	チェックボックス 14	○	○
	チェックボックス 15	○	○
	チェックボックス 16	○	○
	チェックボックス 17	○	○
	チェックボックス 18	○	○
	チェックボックス 19	○	○
	チェックボックス 20	○	○
	チェックボックス 21	○	○
	チェックボックス 22	○	○
	チェックボックス 23	○	○
	クローズ種別	○	○
	確認種別	○	○
	チェックリスト進捗ステータス	○	○
	表項目 1:コンボボックス 1	○	○
	表項目 1:コンボボックス 2	○	○
	表項目 1:コンボボックス 3	○	○
	表項目 2:コンボボックス 1	○	○
	表項目 2:コンボボックス 2	○	○
	表項目 2:コンボボックス 3	○	○
	表項目 3:コンボボックス 1	○	○
	表項目 3:コンボボックス 2	○	○
	表項目 3:コンボボックス 3	○	○
	表項目 4:コンボボックス 1	○	○
	表項目 4:コンボボックス 2	○	○
	表項目 4:コンボボックス 3	○	○
	表項目 5:コンボボックス 1	○	○
	表項目 5:コンボボックス 2	○	○
	表項目 5:コンボボックス 3	○	○
	経過コンボボックス 1	○	○
	経過コンボボックス 2	○	○
	経過コンボボックス 3	○	○

画面	コード種別	システム選択可否※1	新規登録可否※2
	経過コンボボックス 4	○	○
	連携ステータス	×	×
	連携ステータス(個別)	×	×
	接続先名	○	○
	ブック名	○	○
構成アイテム管理	用途	○	○
	区分	○	○
	利用区分	○	○
	ラジオボタン 1 ※3	×	○
	ラジオボタン 2 ※3	×	○
	コンボボックス 1	○	○
	コンボボックス 2	○	○
	コンボボックス 3	○	○
	コンボボックス 4	○	○
	コンボボックス 5	○	○
	コンボボックス 6	○	○
	コンボボックス 7	○	○
	コンボボックス 8	○	○
	コンボボックス 9	○	○
	コンボボックス 10	○	○
	コンボテキスト 1	○	○
	コンボテキスト 2	○	○
	コンボテキスト 3	○	○
	コンボテキスト 4	○	○
	コンボテキスト 5	○	○
構成管理	用途	○	○
	区分	○	○
	コンセント形状	○	○
	プラグ形状	○	○
	ラジオボタン 1 ※3	×	○
	ラジオボタン 2 ※3	×	○
	コンボボックス 1	○	○
	コンボボックス 2	○	○

画面	コード種別	システム選択可否※1	新規登録可否※2
	コンボボックス 3	○	○
	コンボボックス 4	○	○
	コンボボックス 5	○	○
	コンボボックス 6	○	○
	コンボボックス 7	○	○
	コンボボックス 8	○	○
	コンボボックス 9	○	○
	コンボボックス 10	○	○
	コンボテキスト 1	○	○
	コンボテキスト 2	○	○
	コンボテキスト 3	○	○
	コンボテキスト 4	○	○
	コンボテキスト 5	○	○
	アカウント管理	用途	○
区分		○	○
利用区分		○	○
権限		○	○
コード値別必須制御	必須入力制御	×	×
分類	分類区分	×	○
承認フロールート	タイトル	×	○
	カタログ	×	×



インポートファイルに指定するコード種別は、
 管理者メニュー>マスタ>コードの検索条件入力画面にて表示されるラベル名に追隨していません。
 仕様補足 上記コード種別を指定してください。

※の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	システム選択可否列の説明は以下の通りです。 「○」となっているコード種別…任意のシステムおよび「全システム共通」のコードを登録できます。 「×」となっているコード種別…「全システム共通」のコードのみ登録できます。 「×」となっているコード種別に任意のシステムを指定した場合、エラーとなります。
※2	新規登録可否列の説明は以下の通りです。

注意事項	説明
	「○」となっているコード種別…新規にコードを登録できます。 「×」となっているコード種別…新規にコードを登録できません。登録されているコードの更新のみ行えます。 「×」となっているコード種別に対し、登録モードを新規登録とした場合、エラーとなります。
※3	ラジオボタンにおけるステータスが「有効」であるコードの登録上限数は2件です。

1.2.3 マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportMst.exe)

マスタ登録コマンドは、指定したマスタ名のデータを Oracle Database/PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録/更新を行う場合に使用します。



職責、承認フロールート、問合せ元情報の登録ではバージョン 2013.0.0.0 よりインポートファイルのフォーマットが変更されています。

注意事項 今後使用する場合には新フォーマットにて使用してください。



本マニュアルではバージョン 2013.0.0.0 より変更となったマスタ情報のみ旧フォーマットとして記載します。

注意事項 バージョン 2013.0.0.0 以前よりフォーマットが変更になっているマスタの登録について、2013.0.0.0 以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。



バージョン 2022.0.2 では、サブルート of 登録更新について、承認フローマスタ・承認フロールートマスタの登録はサポートしていません。

制限事項

1.2.3.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportMst.exe△-c△マスタ名△[-M△登録モード]△-f△インポートファイル名△[-m△インポートファイル形式]△
[-T△マッピングアイテムファイル名]△[-s]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- c : マスタ名

登録対象とするマスタを指定します。省略できません。
指定できるマスタを以下に記載します。

マスタ区分	マスタ名	登録モード(-M) 指定
権限	グループ	※2
	職責	※2
	チーム	※2
	メンテナンス権限(共通)	※2
	メンテナンス権限(システム別)	※2
会社・組織	会社	新規登録、更新 ※1
	組織	新規登録、更新 ※1
承認フロー	承認フロー	新規登録※1
	承認フロールート	※2
問合せ元情報	問合せ元	新規登録 ※1
	問合せ元 2	新規登録 ※1
	表項目問合せ元	新規登録 ※1

※1. 省略した場合、新規登録モードで動作します。

※2. 処理対象のキー項目に指定された値によって、新規登録と更新を制御します。

「-M : 登録モード」に引数を指定しても無視されるため、省略してください。

- ・ 処理対象のキー項目と一致するマスタデータは更新されます。
- ・ 処理対象のキー項目の値が未指定、もしくは、処理対象のキー項目に一致しないマスタデータは新規登録されます。

- M : 登録モード

指定したマスタのデータをどのように一括登録するかを指定します。

以下に登録モードの動作内容とその設定値を記載します。

登録モード	動作内容	設定値
新規登録	インポートファイル内に指定されるマスタデータは全て新規登録されます。	0
更新	インポートファイル内に指定される処理対象キー項目によって以下のように、新規登録と更新を実行します。 処理対象キー項目に一致するマスタデータは更新されます。 処理対象キー項目に一致しないマスタデータは新規登録されます。	1

※処理対象キー項目の詳細については、後述の「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。

- **-f : インポートファイル名**
インポートの対象となるデータが記述されたファイルのフルパスを指定します。
省略することはできません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※インポートファイルの詳細については、後述の「**1.2.3.3 ファイルの説明**」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-m : インポートファイル形式**
インポートファイルに記載するデータのフォーマットを指定します。
項目がダブルクォートで囲われた CSV ファイルの場合は0を指定してください。
項目がダブルクォートで囲われていない CSV ファイルの場合は1を指定してください。
この引数は省略可能です。省略された場合は「0:ダブルクォートあり」として動作します。「1:ダブルクォートなし」が指定された場合は項目に指定するデータに区切り文字に指定される文字（カンマ）を含めることはできません。
- **-T : マッピングアイテムファイル名**
インポート対象となる項目が記述されたマッピングアイテムファイルをフルパスで指定します。
マスタ名が「メンテナンス権限(共通)」もしくは「メンテナンス権限(システム別)」以外の時にはこの引数は省略可能です。
省略した場合、後述の「**1.3.4 マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportMst.exe)**」に記載される全項目をすべてインポートファイルに指定してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-s**
過去バージョンのフォーマットのインポートファイルを指定して実行した際に、
変換後不足している項目を補足値として取込む場合に指定します。
最新バージョンのフォーマットのインポートファイルを指定した場合、指定できません。
マスタ名が「問合せ元」、「問合せ元2」の場合、指定可能です。
マスタ名が「問合せ元」、「問合せ元2」以外の時には指定できません。
- **--help**
Usage を表示します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

操作説明



仕様補足

各マスタの登録・更新処理において、指定されたマスタの登録可能最大件数を越えた場合、ログにその旨を出力し終了します。
インポート対象データの取込みは行われません。



仕様補足

-s を指定する場合、変換後不足している項目の補足値は下記となります：

不足項目名	補足値
・問合せ元 ID 補助	(空白)
・システム	全システム共通



制限事項

マスタ登録コマンドにてデータを登録した場合、
DB再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB再構築コマンドの使用方法につきましては
「1.2.20 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle用)」と「1.2.21 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL用)」を参照してください。



制限事項

マスタ登録コマンドと以下コマンドは同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・過去データ削除コマンド
- ・マスタ削除コマンド
- ・分類マスタ削除コマンド
- ・システム削除コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、
予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.3.2 実行結果

マスタ登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportMst.exe -c 会社 -M 0 -f "C:¥CompanyData.txt"
処理が正常に終了しました。

C:¥TEMP>
```

マスタ登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	・インポートファイル内の全てのマスタデータが取り込めた場合。
1	異常終了	・引数やマスタ登録コマンドが利用するファイル、データベース接続に異常がある場合。 ・別のマスタ登録コマンドで現在取り込み処理を実施している最中のインポートファイルを、取り込み対象として指定した場合。 ・結果としてデータの取り込みは行われません。
2	異常終了	・インポートファイル内のマスタデータに不備があり取り込みに失敗した場合。 ・結果としてデータの取り込みは行われません。
3	警告終了	・インポートファイル内の全てのマスタデータが取り込まれたが、一部または全てのマスタデータで値が補完され登録された場合。 ・例えば、項目に指定可能なサイズを超える値が指定された場合は、項目によってはデフォルト値を採用して登録処理を続行します。この場合、該当のマスタデータについてログファイルに警告が出力されます。この様な登録が行われた場合は警告終了となります。 ・各項目に対する動作やデフォルト値は、「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。
7	異常終了	・マッピングアイテムファイル内のデータに不備があり取り込みに失敗した場合。 ・結果としてデータの取り込みは行われません。



仕様補足

警告終了の場合は、全てのマスタデータが取り込まれます。
異常終了の場合は、全てのマスタデータが取り込まれません。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	処理が正常に終了しました。	マスタ登録コマンドが正常終了しました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.3.1 使用方法」を参照してください。
	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	インポートファイルの読み込みに失敗しました。	インポート対象として設定されたファイルの読み込みに失敗しました。	インポートファイルの中身を確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。
	インポートファイルに情報が存在しません。	インポート対象として指定されたファイルにデータが記述されていません。	引数で指定したインポートファイルの中身を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。
	インポートファイルに存在しない表項目を指定されています。(指定された表項目種別)	インポートファイルに指定された表項目種別が存在していません。	インポートファイルに表項目種別の指定値を確認してください。
	指定されたインポートファイルは処理を実行中です。	指定されたインポートファイルは現在マスタ登録コマンドによって登録処理を実行中なので実行せずに終了しました。	特にありません。
2	データベース登録に失敗しました。	インポート対象データ（指定した案件情報）のデータベース登録に失敗しました。	データベースが正常に稼動しているかを確認してください。 インポート対象のデータが記述されているファイルの内容に誤りが無いか確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。
3	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータを補完し登録を行いました。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目をデフォルト値として登録しました。	ログに出力された項目名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。
7	マッピングアイテムファイルが存在しません。(ファイルパス)	(ファイルパス)に表示されたマッピングアイテムファイルが存在しません。	引数に指定したマッピングアイテムファイルのパスに誤りがないかを確認してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
	マッピングアイテムファイルに不正な項目名が設定されています。(項目名)	マッピングアイテムファイル内、(項目名)に表示された項目名が不正です。	マッピングアイテムファイルに記述されている項目名に誤りが無いか確認してください。マッピングアイテムファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルとインポート対象ファイルの項目数が一致しません。	マッピングアイテムファイルに指定した項目数とインポートファイルに指定したインポート対象データの数が異なります。	マッピングアイテムファイルに記述されている項目数とインポートファイルに指定されているインポート対象データの数が一致しているか確認してください。
	必須項目がマッピングアイテムファイルに設定されていません。(項目名)	マッピングアイテムファイル内、(項目名)に表示された必須項目が指定されていません。	マッピングアイテムファイルに必須項目が指定されているか確認してください。マッピングアイテムファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルに同じ項目名が複数存在します。(項目名)	マッピングアイテムファイル内、(項目名)に表示された項目が複数指定されています。	マッピングアイテムファイル内に重複して指定している項目がないか確認してください。
	マッピングアイテムファイルの読み込み処理に失敗しました。	マッピングアイテムファイルとして設定されたファイルの読み込みに失敗しました。	マッピングアイテムファイルの中身を確認してください。マッピングアイテムファイルについては、「1.2.3.3 ファイルの説明」を参照してください。

1.2.3.3 ファイルの説明

マスタ登録コマンドで必要となる「インポートファイル」、「マッピングアイテムファイル」、「ログファイル」、「定義ファイル」のファイル名と出力先または格納先を記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象のマスタデータを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	マッピングアイテム ファイル	任意のファイル名	インポート対象のレコードの各値に紐付く項目名を記述するファイルです。 フィールド名とは各マスタ画面で確認できる各項目に対応した名前です。 各項目に対する項目名は「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。 コマンドオプションの「マッピングアイテムファイル名」で指定します。
3	ログファイル	sjSPU_ImportMst.log	マスタ登録コマンドから出力されるログ情報が格納されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダ下に出力されます。
4	定義ファイル	sjSPU_ImportMstConf.xml	ログファイルの定義を設定するファイルです。 「%CCFSPDBHOME%dat%\$pu¥importmst」配下に格納されています。

以降に各ファイルの内容を記述する為のルールを記載します。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象のマスタデータを記述します。

なお、基本的な記述のルールは以下となります

- 1行に1つのマスタデータを指定します。
- 1行のマスタデータに指定する項目は、新規登録処理・更新処理を実行する際のキー項目を設定する処理対象キー項目用の項目と、各マスタの登録項目に対応する設定値用の項目から構成されます。
- 複数のマスタデータを登録する場合は、データ件数分、行を記述します。
- 行の先頭に「#」を指定した場合はその行はコメントとして扱われ、処理の対象から除かれます。
- 1つの項目に複数の値を設定する必要がある場合は区切り文字「@\$@」で各項目内の値を区切って指定します。この文字は変更することはできません。
- 更新時、インポートファイルに半角または全角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目をクリアできます。

処理対象キー項目について

「新規登録処理」、「更新処理」ともに処理対象キー項目は必須となります。

「更新処理」を行う場合、処理対象キー項目に指定される値により登録対象のマスタを検索し、対象データの登録を実行するか、更新を実行するかを決定します。

以下に、各マスタの登録における処理対象キー項目を示します。

■ 処理対象キー項目一覧

マスタ名称	処理対象キー項目	登録モードによる指定有無	
		新規登録	更新
会社 ※1	対象システム名	○	○
	対象会社名	※3	※3
組織 ※1	対象システム名	○	○
	対象会社名	○	○
	対象組織名	※3	※3
グループ ※2	対象グループ名	※3	※3
職責 ※2	対象職責名	※3	※3
メンテナンス権限 (共通)※2	対象管理権限名	※3	※3
メンテナンス権限 (システム別)※2	対象管理権限名	※3	※3

マスタ名称	処理対象キー項目	登録モードによる指定有無	
		新規登録	更新
承認フロー	なし	×	—
承認フロールート ※2	対象ルート名	※3	※3
問合せ元	なし	×	—
問合せ元2	なし	×	—
表項目問合せ元	なし	×	—
チーム ※2	対象チーム名	※3	※3

- ※1. 同一のキーとなるデータが登録対象のマスタ上に複数存在する場合は、一致する全てのデータが更新処理の対象となります。
- ※2. 同一のキーとなるデータが登録対象のマスタ上に複数存在する場合は、先に登録されたデータのみが更新処理の対象となります。
- ※3. 新規登録時は対象キーを指定しないでください。更新時のみ対象キーを指定してください。

各項目への値の指定方法について

- ・「更新処理」を行う場合に、変更する必要がない項目については空文字（"）を指定します。

インポートファイルの記述例は「**1.2.3.4 設定ケーススタディ**」を参照してください。

2. マッピングアイテムファイル

本ファイルはインポートファイルに記述された各項目を、各マスタのどの項目に対応させるかの対応を記述したファイルです。インポートファイルの各項目の並びにあわせて、各項目に対応させるフィールド名を記述します。各フィールドは1つずつダブルクォートで囲い、カンマ区切りで列挙します。本ファイルは「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importmst¥sample」に全項目記載されているサンプルファイルがインストールされますので、任意のパスにコピーして使用してください。

項番	ファイル名	記載内容
1	Company_MappingItem.txt	会社マスタの全項目が記載されています。
2	Organization_MappingItem.txt	組織マスタの全項目が記載されています。
3	Group_MappingItem.txt	グループマスタの全項目が記載されています。
4	Duty_MappingItem.txt	職責マスタの全項目が記載されています。
5	WorkFlow_MappingItem.txt	承認フローマスタの全項目が記載されています。
6	WorkFlowRoute_MappingItem.txt	承認フロールートマスタの全項目が記載されています。
7	Inquiry_MappingItem.txt	問合せ元情報マスタの全項目が記載されています。
8	Inquiry_2_MappingItem.txt	問合せ元2情報マスタの全項目が記載されています。
9	TableItemInquiry_MappingItem.txt	表項目問合せ元情報マスタの全項目が記載されています。
10	Team_MappingItem.txt	チームマスタの全項目が記載されています。
11	MaintenanceAuthorityCommon_MappingItem.txt	メンテナンス権限(共通)マスタの全項目が記載されています。
12	MaintenanceAuthoritySystem_MappingItem.txt	メンテナンス権限(システム別)マスタの全項目が記載されています。

マッピングアイテムファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- マッピングアイテムファイルに記載する各項目名は固定項目名のため Web 画面上のラベル項目に連動していません。項目名は「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」の「フィールド名」列に記載されているフィールド名通りに指定してください。
- 各フィールドは1つずつダブルクォートで囲い、カンマ区切りで列挙します。
- 正しく設定されていない場合、エラーとなり出力することはできません。
- マッピングアイテムファイルに空("")設定されている場合、エラーとなり出力することはできません。
- マッピングアイテムファイルに同一項目を複数指定した場合、エラーとなり登録することはできません。
- マッピングアイテムファイルに指定した項目数とインポートファイルの項目数が一致しない場合、エラーとなり登録することはできません。

3. 定義ファイル

本ファイルは、ログファイルに出力されるメッセージレベル、1つのログファイルのサイズ、世代数の定義を設定するファイルです。

動作設定値	役割
logLevel	ログレベルを設定します。 初期値は"6"です。 各ログレベルの設定できる値は以下の通りです。 ログファイルに出力したいレベルに合わせ変更してください。 3: エラーのみ出力します。 4: エラーと警告を出力します。 5: エラー、警告、通知を出力します。 6: エラー、警告、通知、登録情報を出力します。
logSize	1つのログファイルのサイズを設定します。 初期値は"1048576" (1MB) です。
logBackup	ログファイルを管理する世代数を設定します。 初期値は"7"です。

例) 1 ログファイルのサイズを 3MB、管理する世代数を 20 世代とする場合

```
<sp:ImportMst
  LogLevel="6"
  LogSize="3145728"
  LogBackup="20"
  ...他項目省略...
/>
```



制限事項

問合せ元情報マスタを 20 万件登録する等、大量データを登録する場合は、本手順に則り定義ファイルを変更してください。

1.2.3.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な登録手順を示します。

No	タイトル
1	会社マスタを新規に登録する
2	組織マスタへのマスタ追加と登録済マスタの更新を行う
3	グループマスタを新規に登録する
4	職責マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する(フォーマット変換を行う)
5	承認フロールートマスタをマッピングアイテムファイルを用いて更新する
6	承認フローマスタを新規に登録する
7	問合せ元マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する
8	問合せ元マスタ2の旧フォーマットを用いて新規に登録する
9	表項目問合せ元を新規に登録する
10	チームマスタを新規に登録する
11	メンテナンス(共通)マスタを新規登録する
12	メンテナンス(システム別)マスタを新規登録する

1. 会社マスタを新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「会社」とします。

登録モードは「0」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥CompanyData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)	(3 件目)
対象システム名	営業システム	全システム共通	運用管理統合システム
対象会社名	(なし)	(なし)	(なし)
会社名	会社 ABC	会社 OPQ	会社 XYZ
会社名カナ	カイシャ ABC	カイシャ OPQ	カイシャ XYZ
会社略称	ABC	OPQ	(なし)
色	Black	Black	Black
表示順	1	2	3
会社 URL	Http://ABC/ccfsp	Http://OPQ/ccfsp	Http://XYZ/ccfsp
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"営業システム", "", "会社 ABC", "カイシャ ABC", "ABC", "Black", "1", "Http://ABC/ccfsp", "a-nomura"
"全システム共通", "", "会社 OPQ", "カイシャ OPQ", "OPQ", "Black", "2", "Http://OPQ/ccfsp", "a-nomura"
"運用管理統合システム", "", "会社 XYZ", "カイシャ XYZ", "", "Black", "3", "Http://XYZ/ccfsp", "a-nomura"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 会社 -M 0 -f "C:¥CompanyData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 会社 -M 0 -f "C:¥CompanyData.csv"
処理が正常に終了しました。

C:¥>
```

「新規登録する情報」で示したマスタデータの内容にて会社マスタへ新規登録されます。

2. 組織マスタへのマスタ追加と登録済マスタの更新を行う

前提条件：

指定するマスタ名は「組織」とします。

登録モードは「1」（更新処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥OrganizationData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

登録済の組織マスタの情報：

以下に登録済の組織マスタを記載します。

登録済データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
システム名	営業システム	営業システム
会社名	会社 ABC	会社 ABC
組織名	営業部	経理部
組織名カナ	エイギョウブ	ケイリブ
組織略称	S1	S2
色	Black	Black
表示順	1	2
登録者	a-nomura	a-nomura

追加する情報：

以下に追加するマスタデータを記載します。

追加対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象システム名	営業システム
対象会社名	会社 ABC
対象組織名	(なし)
組織名	人事部
組織名カナ	ジンジブ
組織略称	S3
色	Black
表示順	3
登録者	a-nomura

更新する情報：

以下に更新するマスタデータを記載します。

- ① 1 件目に登録されている組織「営業部」の組織名を「営業戦略部」へ変更し、併せて組織名カナも変更、組織名略称を削除します。
- ② 2 件目に登録されている組織「経理部」は変更しません。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象システム名	営業システム
対象会社名	会社 ABC
対象組織名	営業部
組織名	営業戦略部
組織名カナ	エイギョウセンリャクブ
組織略称	(全角または半角スペース)
色	Black
表示順	1
登録者	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
営業システム, 会社 ABC, , 人事部, ソシキメイ 3, S3, Black, 3, a-nomura  
営業システム, 会社 ABC, 営業部, 営業戦略部, エイギョウセンリヤクブ, , , a-nomura
```

「エイギョウセンリヤクブ」の次項目は全角または半角スペースを設定します。
各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 組織 -M 1 -f "C:¥OrganizationData.csv" -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 組織 -M 1 -f "C:¥OrganizationData.csv" -m 1  
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

「追加する情報」で示したマスタデータの内容にて組織マスタへ新規登録されます。
「更新する情報」で示したマスタデータの内容にて組織マスタが更新されます。

3. グループマスタを新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「グループ」とします。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥GroupData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)	(3 件目)
(項目名)	(値)		
対象グループ名	(なし)	(なし)	(なし)
グループ名	グループ 1	グループ 2	グループ 3
グループ内公開	公開	公開	非公開
表示順	1	2	3
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura
プロセス 1>グループ主担当	a-nomura	a-nomura	a-nomura
プロセス N>グループ主担当 N : 2~103	a-nomura	a-nomura	a-nomura

- ・ マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt) の具体的な記述内容

“対象グループ名”, “グループ名”, “グループ内公開”, “表示順”, “登録者”, “プロセス 1>グループ主担当”, “プロセス 2>グループ主担当”, “プロセス 3>グループ主担当”, “プロセス 4>グループ主担当”, “プロセス 5>グループ主担当”, “プロセス 6>グループ主担当”, “プロセス 7>グループ主担当”, “プロセス 8>グループ主担当”, “プロセス 9>グループ主担当”, “プロセス 10>グループ主担当”, “プロセス 11>グループ主担当”, “プロセス 12>グループ主担当”, “プロセス 13>グループ主担当”, “プロセス 14>グループ主担当”, “プロセス 15>グループ主担当”, “プロセス 16>グループ主担当”, “プロセス 17>グループ主担当”, “プロセス 18>グループ主担当”, “プロセス 19>グループ主担当”, “プロセス 20>グループ主担当”, “プロセス 21>グループ主担当”, “プロセス 22>グループ主担当”, “プロセス 23>グループ主担当”, “プロセス 24>グループ主担当”, “プロセス 25>グループ主担当”, “プロセス 26>グループ主担当”, “プロセス 27>グループ主担当”, “プロセス 28>グループ主担当”, “プロセス 29>グループ主担当”, “プロセス 30>グループ主担当”, “プロセス 31>グループ主担当”, “プロセス 32>グループ主担当”, “プロセス 33>グループ主担当”, “プロセス 34>グループ主担当”, “プロセス 35>グループ主担当”, “プロセス 36>グループ主担当”, “プロセス 37>グループ主担当”, “プロセス 38>グループ主担当”, “プロセス 39>グループ主担当”, “プロセス 40>グループ主担当”, “プロセス 41>グループ主担当”, “プロセス 42>グループ主担当”, “プロセス 43>グループ主担当”, “プロセス 44>グループ主担当”, “プロセス 45>グループ主担当”, “プロセス 46>グループ主担当”, “プロセス 47>グループ主担当”, “プロセス 48>グループ主担当”, “プロセス 49>グループ主担当”, “プロセス 50>グループ主担当”, “プロセス 51>グループ主担当”, “プロセス 52>グループ主担当”, “プロセス 53>グループ主担当”, “プロセス 54>グループ主担当”, “プロセス 55>グループ主担当”, “プロセス 56>グループ主担当”, “プロセス 57>グループ主担当”, “プロセス 58>グループ主担当”, “プロセス 59>グループ主担当”, “プロセス 60>グループ主担当”, “プロセス 61>グループ主担当”, “プロセス 62>グループ主担当”, “プロセス 63>グループ主担当”, “プロセス 64>グループ主担当”, “プロセス 65>グループ主担当”, “プロセス 66>グループ主担当”, “プロセス 67>グループ主担当”, “プロセス 68>グループ主担当”, “プロセス 69>グループ主担当”, “プロセス 70>グループ主担当”, “プロセス 71>グループ主担当”, “プロセス 72>グループ主担当”, “プロセス 73>グループ主担当”, “プロセス 74>グループ主担当”, “プロセス 75>グループ主担当”, “プロセス 76>グループ主担当”, “プロセス 77>グループ主担当”, “プロセス 78>グループ主担当”, “プロセス 79>グループ主担当”, “プロセス 80>グループ主担当”, “プロセス 81>グループ主担当”, “プロセス 82>グループ主担当”, “プロセス 83>グループ主担当”, “プロセス 84>グループ主担当”, “プロセス 85>グループ主担当”, “プロセス 86>グループ主担当”, “プロセス 87>グループ主担当”, “プロセス 88>グループ主担当”, “プロセス 89>グループ主担当”, “プロセス 90>グループ主担当”, “プロセス 91>グループ主担当”, “プロセス 92>グループ主担当”, “プロセス 93>グループ主担当”, “プロセス 94>グループ主担当”, “プロセス 95>グループ主担当”, “プロセス 96>グループ主担当”, “プロセス 97>グループ主担当”, “プロセス 98>グループ主担当”, “プロセス 99>グループ主担当”, “プロセス 100>グループ主担当”, “プロセス 101>グループ主担当”, “プロセス 102>グループ主担当”, “プロセス 103>グループ主担当”

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c グループ -f "C:¥GroupData.csv" -m 0 -T "C:¥MappingItem.txt"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c グループ -f "C:¥GroupData.csv" -m 0 -T "C:¥MappingItem.txt"
```

処理が正常に終了しました。

「新規登録する情報」で示したマスタデータの内容にてグループマスタへ新規登録されます。

4. 職責マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する(フォーマット変換を行う)

前提条件：

指定するマスタ名は「職責」とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥DutyData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

フォーマット変換する情報：

以下にフォーマット変換するマスタデータを記載します。

フォーマット変換対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象職責名	(なし)
職責名	職責 A
概要	プロセス・構成管理を ON とします。
登録者	a-nomura
システムスケジュール/データの操作	ON
イベント管理/データの参照	OFF
イベント管理/データの削除	OFF
イベント管理/データの振分	OFF
プロセス管理 1/データの参照	ON
プロセス管理 1/データの追加	ON
プロセス管理 1/データの編集	ON
プロセス管理 1/データの削除	ON
プロセス管理 1/データのクローズ	ON
プロセス管理 1/データのクローズ解除	ON
プロセス管理 1/データのエスカレーション	ON
プロセス管理 1/データの確認	ON
プロセス管理 1/データの変更履歴参照	ON
プロセス管理 1/経過情報の参照	ON
プロセス管理 1/経過情報の追加	ON
プロセス管理 1/経過情報の編集	ON
プロセス管理 1/経過情報の削除	ON

フォーマット変換対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
プロセス管理 1/データの分析	ON
プロセス管理 1/データの特別編集	ON
プロセス管理 1/データのイベント戻し	ON
プロセス管理 1/チェックリストの編集	ON
プロセス管理 1/チェックリストの対応完了	ON
プロセス管理 1/チェックリストの確認	ON
プロセス管理 1/チェック項目の追加・削除	ON
プロセス管理 1/簡易チェックリストのチェック	ON
プロセス管理 1/簡易チェック項目の追加・削除	ON
プロセス管理 1/SSA 連携のキャンセル	ON
プロセス管理 1/一時停止解除指示	ON
プロセス管理 1/一時停止解除実施	ON
プロセス管理 1/簡易プロセスの使用	ON
プロセス管理 1/Senju/SM 間連携の使用	ON
プロセス管理 2/データの参照	OFF
プロセス管理 2/データの追加	OFF
プロセス管理 2/データの編集	OFF
プロセス管理 2/データの削除	OFF
プロセス管理 2/データのクローズ	OFF
プロセス管理 2/データのクローズ解除	OFF
プロセス管理 2/データのエスカレーション	OFF
プロセス管理 2/データの確認	OFF
プロセス管理 2/データの変更履歴参照	OFF
プロセス管理 2/経過情報の参照	OFF
プロセス管理 2/経過情報の追加	OFF
プロセス管理 2/経過情報の編集	OFF
プロセス管理 2/経過情報の削除	OFF
プロセス管理 2/データの分析	OFF
プロセス管理 2/データの特別編集	OFF
プロセス管理 2/データのイベント戻し	OFF

フォーマット変換対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
プロセス管理 2/チェックリストの編集	OFF
プロセス管理 2/チェックリストの対応完了	OFF
プロセス管理 2/チェックリストの確認	OFF
プロセス管理 2/チェック項目の追加・削除	OFF
プロセス管理 2/簡易チェックリストのチェック	OFF
プロセス管理 2/簡易チェック項目の追加・削除	OFF
プロセス管理 2/SSA 連携のキャンセル	OFF
プロセス管理 2/一時停止解除指示	OFF
プロセス管理 2/一時停止解除実施	OFF
プロセス管理 2/簡易プロセスの使用	OFF
プロセス管理 2/Senju/SM 間連携の使用	OFF
プロセス管理 3～プロセス管理 103 は全て OFF のためプロセス管理 1 とプロセス管理 2 のみ記載	
構成アイテム 1/データの参照	ON
構成アイテム 1/データの追加	ON
構成アイテム 1/データの追加(変更予定)	ON
構成アイテム 1/データの追加(削除予定)	ON
構成アイテム 1/データの編集	ON
構成アイテム 1/データの削除	ON
構成アイテム 1/データの取消	ON
構成アイテム 2/データの参照	OFF
構成アイテム 2/データの追加	OFF
構成アイテム 2/データの追加(変更予定)	OFF
構成アイテム 2/データの追加(削除予定)	OFF
構成アイテム 2/データの編集	OFF
構成アイテム 2/データの削除	OFF
構成アイテム 2/データの取消	OFF
構成アイテム 3～構成アイテム 50 は全て OFF のため構成アイテム 1 と構成アイテム 2 のみ記載	
要員管理/データの参照	OFF
要員管理/データの追加	OFF
要員管理/データの編集	OFF

フォーマット変換対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
要員管理/データの削除	OFF
構成アイテム管理/データの参照	OFF
構成アイテム管理/データの追加	OFF
構成アイテム管理/データの編集	OFF
構成アイテム管理/データの削除	OFF
構成アイテム管理/データの操作	OFF
アカウント管理/データの参照	OFF
アカウント管理/データの追加	OFF
アカウント管理/データの編集	OFF
アカウント管理/データの削除	OFF
アカウント管理/データの操作	OFF
既知エラー/データの公開参照	OFF
既知エラー/データの非公開参照	OFF
既知エラー/データの追加	OFF
既知エラー/データの編集	OFF
既知エラー/データの削除	OFF
既知エラー/データの特別編集	OFF
FAQ/データの公開参照	OFF
FAQ/データの非公開参照	OFF
FAQ/データの追加	OFF
FAQ/データの編集	OFF
FAQ/データの削除	OFF
FAQ/データの特別編集	OFF
ファイルライブラリ/データの公開参照	OFF
ファイルライブラリ/データの非公開参照	OFF
ファイルライブラリ/データの追加	OFF
ファイルライブラリ/データの編集	OFF
ファイルライブラリ/データの削除	OFF
ファイルライブラリ/データの特別編集	OFF
リンク集/データの公開参照	OFF

フォーマット変換対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
リンク集/データの非公開参照	OFF
リンク集/データの追加	OFF
リンク集/データの編集	OFF
リンク集/データの削除	OFF
リンク集/データの特別編集	OFF

変換後のインポートファイル：

「フォーマット変換する情報」で示したマスタデータの内容が新フォーマットに変換されます。

以下にコマンド実行後のマスタデータを記載します。

フォーマット変換後データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象職責名	(なし)
職責名	職責 A
概要	プロセス・構成管理を ON とします。
登録者	a-nomura
システムスケジュール/データの操作	ON
イベント管理/データの参照	OFF
イベント管理/データの削除	OFF
イベント管理/データの振分	OFF
プロセス管理 1/データの参照	ON
プロセス管理 1/データの追加	ON
プロセス管理 1/データの編集	ON
プロセス管理 1/データの削除	ON
プロセス管理 1/データの一括承認	OFF
プロセス管理 1/データのクローズ	ON
プロセス管理 1/データの一括クローズ	OFF
プロセス管理 1/データのクローズ解除	ON
プロセス管理 1/データのエスカレーション	ON
プロセス管理 1/データの確認	ON
プロセス管理 1/データの変更履歴参照	ON
プロセス管理 1/経過情報の参照	ON
プロセス管理 1/経過情報の追加	ON
プロセス管理 1/経過情報の編集	ON
プロセス管理 1/経過情報の削除	ON
プロセス管理 1/データの分析	ON
プロセス管理 1/データの特別編集	ON
プロセス管理 1/データのイベント戻し	ON
プロセス管理 1/申請の強制却下	OFF

フォーマット変換後データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
プロセス管理 1/チェックリストの編集	ON
プロセス管理 1/チェックリストの対応完了	ON
プロセス管理 1/チェックリストの確認	ON
プロセス管理 1/チェック項目の追加・削除	ON
プロセス管理 1/簡易チェックリストのチェック	ON
プロセス管理 1/簡易チェック項目の追加・削除	ON
プロセス管理 1/チェックリスト再適用	OFF
プロセス管理 1/SSA 連携のキャンセル	ON
プロセス管理 1/SSA 連携のステータス更新	OFF
プロセス管理 1/一時停止解除指示	ON
プロセス管理 1/一時停止解除実施	ON
プロセス管理 1/簡易プロセスの使用	ON
プロセス管理 1/Senju/SM 間連携の使用	ON
プロセス管理 1/業務グループ再変更指示	OFF
プロセス管理 1/業務グループ再変更実施	OFF
プロセス管理 1/業務グループの定義	OFF
プロセス管理 1/障害メッセージ制御の実施	OFF
プロセス管理 1/メール送信ボタンの表示	OFF
プロセス管理 1/関連登録ボタンの表示	OFF
プロセス管理 2/データの参照	OFF
プロセス管理 2/データの追加	OFF
プロセス管理 2/データの編集	OFF
プロセス管理 2/データの削除	OFF
プロセス管理 2/データの一括承認	OFF
プロセス管理 2/データのクローズ	OFF
プロセス管理 2/データの一括クローズ	OFF
プロセス管理 2/データのクローズ解除	OFF
プロセス管理 2/データのエスカレーション	OFF
プロセス管理 2/データの確認	OFF
プロセス管理 2/データの変更履歴参照	OFF

フォーマット変換後データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
プロセス管理 2/経過情報の参照	OFF
プロセス管理 2/経過情報の追加	OFF
プロセス管理 2/経過情報の編集	OFF
プロセス管理 2/経過情報の削除	OFF
プロセス管理 2/データの分析	OFF
プロセス管理 2/データの特別編集	OFF
プロセス管理 2/データのイベント戻し	OFF
プロセス管理 2/申請の強制却下	OFF
プロセス管理 2/チェックリストの編集	OFF
プロセス管理 2/チェックリストの対応完了	OFF
プロセス管理 2/チェックリストの確認	OFF
プロセス管理 2/チェック項目の追加・削除	OFF
プロセス管理 2/簡易チェックリストのチェック	OFF
プロセス管理 2/簡易チェック項目の追加・削除	OFF
プロセス管理 2/チェックリスト再適用	OFF
プロセス管理 2/SSA 連携のキャンセル	OFF
プロセス管理 2/SSA 連携のステータス更新	OFF
プロセス管理 2/一時停止解除指示	OFF
プロセス管理 2/一時停止解除実施	OFF
プロセス管理 2/簡易プロセスの使用	OFF
プロセス管理 2/Senju/SM 間連携の使用	OFF
プロセス管理 2/業務グループ再変更指示	OFF
プロセス管理 2/業務グループ再変更実施	OFF
プロセス管理 2/業務グループの定義	OFF
プロセス管理 2/障害メッセージ制御の実施	OFF
プロセス管理 2/メール送信ボタンの表示	OFF
プロセス管理 2/関連登録ボタンの表示	OFF
プロセス管理 3～プロセス管理 103 は全て OFF のためプロセス管理 1 とプロセス管理 2 のみ記載	
構成アイテム 1/データの参照	ON
構成アイテム 1/データの追加	ON

フォーマット変換後データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
構成アイテム 1/データの追加(変更予定)	ON
構成アイテム 1/データの追加(削除予定)	ON
構成アイテム 1/データの編集	ON
構成アイテム 1/データの削除	ON
構成アイテム 1/データの取消	ON
構成アイテム 2/データの参照	OFF
構成アイテム 2/データの追加	OFF
構成アイテム 2/データの追加(変更予定)	OFF
構成アイテム 2/データの追加(削除予定)	OFF
構成アイテム 2/データの編集	OFF
構成アイテム 2/データの削除	OFF
構成アイテム 2/データの取消	OFF
構成アイテム 3～構成アイテム 50 は全て OFF のため構成アイテム 1 と構成アイテム 2 のみ記載	
要員管理/データの参照	OFF
要員管理/データの追加	OFF
要員管理/データの編集	OFF
要員管理/データの削除	OFF
構成アイテム管理/データの参照	OFF
構成アイテム管理/データの追加	OFF
構成アイテム管理/データの編集	OFF
構成アイテム管理/データの削除	OFF
構成アイテム管理/データの操作	OFF
アカウント管理/データの参照	OFF
アカウント管理/データの追加	OFF
アカウント管理/データの編集	OFF
アカウント管理/データの削除	OFF
アカウント管理/データの操作	OFF
既知エラー/データの公開参照	OFF
既知エラー/データの非公開参照	OFF
既知エラー/データの追加	OFF

フォーマット変換後データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
既知エラー/データの編集	OFF
既知エラー/データの削除	OFF
既知エラー/データの特別編集	OFF
FAQ/データの公開参照	OFF
FAQ/データの非公開参照	OFF
FAQ/データの追加	OFF
FAQ/データの編集	OFF
FAQ/データの削除	OFF
FAQ/データの特別編集	OFF
ファイルライブラリ/データの公開参照	OFF
ファイルライブラリ/データの非公開参照	OFF
ファイルライブラリ/データの追加	OFF
ファイルライブラリ/データの編集	OFF
ファイルライブラリ/データの削除	OFF
ファイルライブラリ/データの特別編集	OFF
リンク集/データの公開参照	OFF
リンク集/データの非公開参照	OFF
リンク集/データの追加	OFF
リンク集/データの編集	OFF
リンク集/データの削除	OFF
リンク集/データの特別編集	OFF

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
, 職責 A, プロセス・構成管理を ON とします。 , a-  
nomura, ON, OFF, OFF, OFF, ON, ON, ON, ON, OFF, ON, OFF, ON, OFF, ON, ON, ON, ON, ON, ON, OFF, ON, OFF, ON, ON, ON  
, ON, OFF, OF  
F, OFF, OF  
愛, ON, ON, ON, ON, ON, ON, ON, ON, OFF, OF  
愛, OFF, OF  
FF, OFF, OF
```

フォーマット変換後に追加される項目に設定される値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

※コマンドシーケンスに変更はありません。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 職責 -M 1 -f "C:¥DutyData.csv" -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 職責 -M 1 -f "C:¥DutyData.csv" -m 1  
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

「変換後のインポートファイル」で示したマスタデータの内容にて職責マスタが新規登録されます。

5. 承認フロールートマスタをマッピングアイテムファイルを用いて更新する

前提条件：

指定するマスタ名は「承認フロールート」とします。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥UpdateWorkFlowRoute.csv」とします。

マッピングアイテムファイルは「C:\¥WorkFlowRouteMap.txt」とします。

タイトル、職責、役割、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

登録済情報：

以下に登録済のマスタデータを記載します。

登録済データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象ルート名	(なし)
ルート名	申請ルート
登録者	a-nomura
(ルート No1)	
タイトル	申請
区分	ユーザー
職責/ユーザー/役割	t-nomura
(通知先)区分	職責
(通知先)職責/ユーザー	申請職責
(ルート No2)	
タイトル	完了
アクションカテゴリ	承認
アクションカテゴリ(却下)	ON
アクションカテゴリ(差戻し)	OFF
アクションカタログ	承認 1
区分	役割
職責/ユーザー/役割	役割 A
(通知先)区分	申請者
(通知先)職責/ユーザー	(なし)

登録済データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
差戻し先	(なし)
承認条件	いずれか一人
承認者選択	OFF
承認者選択ルート NO	(なし)
(ルート No3)	
タイトル	(なし)
アクションカテゴリ	(なし)
アクションカテゴリ(却下)	(なし)
アクションカテゴリ(差戻し)	(なし)
アクションカタログ	(なし)
区分	(なし)
職責/ユーザー/役割	(なし)
(通知先)区分	(なし)
(通知先)職責/ユーザー	(なし)
差戻し先	(なし)
承認条件	(なし)
承認者選択	(なし)
承認者選択ルート NO	(なし)
(後続ルートなしのため割愛)	

更新する情報：

以下に更新するマスタデータを記載します。

- ① ルート No1 とルート No2 の間に確認作業のルートを追加します。
ルート No2 に登録されていたルートは No3 へ異動し、合計 3 ルートとなります。
- ② ルート No3 へ移動したルート No2 のアクションカテゴリ「承認／却下」を「承認／却下／差戻し」に変更します。
差戻し条件をルート No1 とします。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象ルート名	申請ルート
登録者	a-nomura
(ルート No1)	
タイトル	申請
区分	ユーザー
職責／ユーザー／役割	t-nomura
(通知先)区分	職責
(通知先)職責／ユーザー	申請職責
(ルート No2)	
タイトル	確認作業
アクションカテゴリ	確認
アクションカテゴリ(却下)	OFF
アクションカテゴリ(差戻し)	OFF
アクションカタログ	確認 1
区分	ユーザー
職責／ユーザー／役割	h-nomura@\$@j-nomura
(通知先)区分	(なし)
(通知先)職責／ユーザー	(なし)
差戻し先	(なし)
承認条件	全員
承認者選択	ON
承認者選択ルート NO	1
(ルート No3)	
タイトル	完了
アクションカテゴリ	承認

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
アクションカテゴリ(却下)	ON
アクションカテゴリ(差戻し)	ON
アクションカタログ	承認 1
区分	役割
職責/ユーザー/役割	役割 A
(通知先)区分	申請者
(通知先)職責/ユーザー	(なし)
差戻し先	1
承認条件	いずれか一人
承認者選択	OFF
承認者選択ルート NO	(なし)
(後続ルートなしのため割愛)	

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・マッピングアイテムファイルの具体的な記述内容

“対象ルート名”，“登録者”，“ルート 1>タイトル”，“ルート 1>区分”，“ルート 1>職責/ユーザー/役割”，“ルート 1>(通知先)区分”，“ルート 1>(通知先)職責/ユーザー”，“ルート 2>タイトル”，“ルート 2>アクションカテゴリ”，“ルート 2>アクションカテゴリ(却下)”，“ルート 2>アクションカテゴリ(差戻し)”，“ルート 2>アクションカタログ”，“ルート 2>区分”，“ルート 2>職責/ユーザー/役割”，“ルート 2>(通知先)区分”，“ルート 2>(通知先)職責/ユーザー”，“ルート 2>差戻し先”，“ルート 2>承認条件”，“ルート 2>承認者選択”，“ルート 2>承認者選択ルート NO”，“ルート 3>タイトル”，“ルート 3>アクションカテゴリ”，“ルート 3>アクションカテゴリ(却下)”，“ルート 3>アクションカテゴリ(差戻し)”，“ルート 3>アクションカタログ”，“ルート 3>区分”，“ルート 3>職責/ユーザー/役割”，“ルート 3>(通知先)区分”，“ルート 3>(通知先)職責/ユーザー”，“ルート 3>差戻し先”，“ルート 3>承認条件”，“ルート 3>承認者選択”，“ルート 3>承認者選択ルート NO”

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
申請ルート, a-nomura, 申請, ユーザー, t-nomura, 職責, 申請職責, 確認作業, 確認, OFF, OFF, 確認 1, ユーザー, h-nomura@$@j-nomura, , , ,  
全員, ON, 1, 完了, 承認, ON, ON, 承認 1, 役割, 役割 A, 申請者, , 1, いずれか一人, OFF,
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 承認フロールート -f "C:¥UpdateWorkFlowRoute.csv" -T  
"C:¥WorkFlowRouteMap.txt" -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c 承認フロールート -f "C:¥UpdateWorkFlowRoute.csv" -T  
"C:¥WorkFlowRouteMap.txt" -m 1  
処理が正常に終了しました。  
  
C:¥>
```

「更新する情報」で示したマスタデータの内容にて承認フロールートマスタが更新されます。

6. 承認フローマスタを新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「承認フロー」とします。

登録モードは「0」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥WorkflowData.csv」とします。

登録対象の画面 ID はプロセス管理 1、既知エラー、FAQ とします。

ルート名に指定されるデータは「5 承認フロールートマスタをマッピングアイテムファイルを用いて更新する」にて更新されたルートとします。

申請種別、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

更新対象データ	(1 件目)	(2 件目)	(3 件目)
(項目名)	(値)		
システム名	営業システム	全システム共通	全システム共通
画面 ID	01000001	08000001	09000001
申請種別	申請タイプ A	(なし)	(なし)
ルート名	申請ルート	申請ルート	申請ルート
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"営業システム","01000001","申請タイプ A","申請ルート","a-nomura"  
"全システム共通","08000001","","申請ルート","a-nomura"  
"全システム共通","09000001","","申請ルート","a-nomura"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 承認フロー -M 0 -f "C:¥WorkflowData.csv" -m 0
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 承認フロー -M 0 -f "C:¥WorkflowData.csv" -m 0  
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

「新規登録する情報」で示したマスターデータの内容にて承認フローマスターが新規登録されます。

7. 問合せ元マスタの旧フォーマットを用いて新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「問合せ元」とします。

旧フォーマットを用いて、フォーマット変換処理を行わず、不足項目を空白として登録を行います。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥RequestData.csv」とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
問合せ元 ID	Req00000001
問合せ元テキスト 1	サンプルテキスト 1
問合せ元テキスト 2	サンプルテキスト 2
問合せ元テキスト 3	サンプルテキスト 3
問合せ元テキスト 4	サンプルテキスト 4
問合せ元テキスト 5	サンプルテキスト 5
問合せ元テキスト 6	サンプルテキスト 6
問合せ元テキスト 7	サンプルテキスト 7
問合せ元テキスト 8	サンプルテキスト 8
問合せ元テキスト 9	サンプルテキスト 9
問合せ元テキスト 10	サンプルテキスト 10
問合せ元テキスト 11	サンプルテキスト 11
問合せ元テキスト 12	サンプルテキスト 12
問合せ元テキスト 13	サンプルテキスト 13
問合せ元テキスト 14	サンプルテキスト 14
問合せ元テキスト 15	サンプルテキスト 15
問合せ元テキスト 16	サンプルテキスト 16
問合せ元テキスト 17	サンプルテキスト 17
問合せ元テキスト 18	サンプルテキスト 18
問合せ元テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1
問合せ元日付 1	20140101

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"Req00000001", "サンプルテキスト 1", "サンプルテキスト 2", "サンプルテキスト 3", "サンプルテキスト 4", "サンプルテキスト 5", "
サンプルテキスト 6", "サンプルテキスト 7", "サンプルテキスト 8", "サンプルテキスト 9", "サンプルテキスト 10", "サンプルテキス
ト 11", "サンプルテキスト 12", "サンプルテキスト 13", "サンプルテキスト 14", "サンプルテキスト 15", "サンプルテキスト 16", "サン
プルテキスト 17", "サンプルテキスト 18", "サンプルテキストエリア 1", "20140101"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 問合せ元 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0 -s
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 問合せ元 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0 -s
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

登録時のデータ：

「新規登録する情報」で示したマスタデータは旧フォーマットであるため、新フォーマットには以下に示す内容が補填され登録されます。

登録時のデータ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
システム	全システム共通
問合せ元 ID	Req00000001
問合せ元 ID 補助	(なし)
問合せ元テキスト 1	サンプルテキスト 1
問合せ元テキスト 2	サンプルテキスト 2
問合せ元テキスト 3	サンプルテキスト 3
問合せ元テキスト 4	サンプルテキスト 4
問合せ元テキスト 5	サンプルテキスト 5
問合せ元テキスト 6	サンプルテキスト 6
問合せ元テキスト 7	サンプルテキスト 7
問合せ元テキスト 8	サンプルテキスト 8
問合せ元テキスト 9	サンプルテキスト 9
問合せ元テキスト 10	サンプルテキスト 10
問合せ元テキスト 11	サンプルテキスト 11
問合せ元テキスト 12	サンプルテキスト 12
問合せ元テキスト 13	サンプルテキスト 13
問合せ元テキスト 14	サンプルテキスト 14
問合せ元テキスト 15	サンプルテキスト 15
問合せ元テキスト 16	サンプルテキスト 16
問合せ元テキスト 17	サンプルテキスト 17
問合せ元テキスト 18	サンプルテキスト 18
問合せ元テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1
問合せ元日付 1	20140101

8. 問合せ元マスタ 2 の旧フォーマットを用いて新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「問合せ元 2」とします。

旧フォーマットを用いて、フォーマット変換処理を行わず、不足項目を空白として登録を行います。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥RequestData.csv」とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
問合せ元 2ID	Req00000001
問合せ元 2ID 補助	補助テスト
問合せ元 2 テキスト 1	サンプルテキスト 1
問合せ元 2 テキスト 2	サンプルテキスト 2
問合せ元 2 テキスト 3	サンプルテキスト 3
問合せ元 2 テキスト 4	サンプルテキスト 4
問合せ元 2 テキスト 5	サンプルテキスト 5
問合せ元 2 テキスト 6	サンプルテキスト 6
問合せ元 2 テキスト 7	サンプルテキスト 7
問合せ元 2 テキスト 8	サンプルテキスト 8
問合せ元 2 テキスト 9	サンプルテキスト 9
問合せ元 2 テキスト 10	サンプルテキスト 10
問合せ元 2 テキスト 11	サンプルテキスト 11
問合せ元 2 テキスト 12	サンプルテキスト 12
問合せ元 2 テキスト 13	サンプルテキスト 13
問合せ元 2 テキスト 14	サンプルテキスト 14
問合せ元 2 テキスト 15	サンプルテキスト 15
問合せ元 2 テキスト 16	サンプルテキスト 16
問合せ元 2 テキスト 17	サンプルテキスト 17
問合せ元 2 テキスト 18	サンプルテキスト 18
問合せ元 2 テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
問合せ元 2 日付 1	20140101

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"Req0000001", "補助テスト", "サンプルテキスト 1", "サンプルテキスト 2", "サンプルテキスト 3", "サンプルテキスト 4", "サンプル  
テキスト 5", "サンプルテキスト 6", "サンプルテキスト 7", "サンプルテキスト 8", "サンプルテキスト 9", "サンプルテキスト 10", "サ  
ンプルテキスト 11", "サンプルテキスト 12", "サンプルテキスト 13", "サンプルテキスト 14", "サンプルテキスト 15", "サンプルテキ  
スト 16", "サンプルテキスト 17", "サンプルテキスト 18", "サンプルテキストエリア 1", "20140101"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.3.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 問合せ元 2 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0 -s
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 問合せ元 2 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0 -s  
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

登録時のデータ：

「新規登録する情報」で示したマスタデータは旧フォーマットであるため、
新フォーマットには以下に示す内容が補填され登録されます。

登録時のデータ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
システム	全システム共通
問合せ元 2ID	Req00000001
問合せ元 2ID 補助	補助テスト
問合せ元 2 テキスト 1	サンプルテキスト 1
問合せ元 2 テキスト 2	サンプルテキスト 2
問合せ元 2 テキスト 3	サンプルテキスト 3
問合せ元 2 テキスト 4	サンプルテキスト 4
問合せ元 2 テキスト 5	サンプルテキスト 5
問合せ元 2 テキスト 6	サンプルテキスト 6
問合せ元 2 テキスト 7	サンプルテキスト 7
問合せ元 2 テキスト 8	サンプルテキスト 8
問合せ元 2 テキスト 9	サンプルテキスト 9
問合せ元 2 テキスト 10	サンプルテキスト 10
問合せ元 2 テキスト 11	サンプルテキスト 11
問合せ元 2 テキスト 12	サンプルテキスト 12
問合せ元 2 テキスト 13	サンプルテキスト 13
問合せ元 2 テキスト 14	サンプルテキスト 14
問合せ元 2 テキスト 15	サンプルテキスト 15
問合せ元 2 テキスト 16	サンプルテキスト 16
問合せ元 2 テキスト 17	サンプルテキスト 17
問合せ元 2 テキスト 18	サンプルテキスト 18
問合せ元 2 テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1
問合せ元 2 日付 1	20140101

9. 表項目問合せ元を新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「表項目問合せ元」とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥RequestData.csv」とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
システム	SSM 初期システム
表項目種別	1
表項目問合せ元 ID	Req00000001
表項目問合せ元 ID 補助	補助テスト
表項目問合せ元テキスト 1	サンプルテキスト 1
表項目問合せ元テキスト 2	サンプルテキスト 2
表項目問合せ元テキスト 3	サンプルテキスト 3
表項目問合せ元テキスト 4	サンプルテキスト 4
表項目問合せ元テキスト 5	サンプルテキスト 5
表項目問合せ元テキスト 6	サンプルテキスト 6
表項目問合せ元テキスト 7	サンプルテキスト 7
表項目問合せ元テキスト 8	サンプルテキスト 8
表項目問合せ元テキスト 9	サンプルテキスト 9
表項目問合せ元テキスト 10	サンプルテキスト 10
表項目問合せ元テキスト 11	サンプルテキスト 11
表項目問合せ元テキスト 12	サンプルテキスト 12
表項目問合せ元テキスト 13	サンプルテキスト 13
表項目問合せ元テキスト 14	サンプルテキスト 14
表項目問合せ元テキスト 15	サンプルテキスト 15
表項目問合せ元テキスト 16	サンプルテキスト 16
表項目問合せ元テキスト 17	サンプルテキスト 17
表項目問合せ元テキスト 18	サンプルテキスト 18

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
表項目問合せ元テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1
表項目問合せ元コンボボックス 1	サンプルコンボボックス 1
表項目問合せ元コンボボックス 2	サンプルコンボボックス 2
表項目問合せ元コンボボックス 3	サンプルコンボボックス 3
表項目問合せ元コンボボックス 4	サンプルコンボボックス 4
表項目問合せ元コンボボックス 5	サンプルコンボボックス 5
表項目問合せ元テキスト日付 1	20140101

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

“SSM 初期システム”, “1”, “Req00000001”, “補助テスト”, “サンプルテキスト 1”, “サンプルテキスト 2”, “サンプルテキスト 3”, “サンプルテキスト 4”, “サンプルテキスト 5”, “サンプルテキスト 6”, “サンプルテキスト 7”, “サンプルテキスト 8”, “サンプルテキスト 9”, “サンプルテキスト 10”, “サンプルテキスト 11”, “サンプルテキスト 12”, “サンプルテキスト 13”, “サンプルテキスト 14”, “サンプルテキスト 15”, “サンプルテキスト 16”, “サンプルテキスト 17”, “サンプルテキスト 18”, “サンプルテキストエリア 1”, “サンプルコンボボックス 1”, “サンプルコンボボックス 2”, “サンプルコンボボックス 3”, “サンプルコンボボックス 4”, “サンプルコンボボックス 5”, “20140101”

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjsPU_ImportMst -c 表項目問合せ元 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst -c 表項目問合せ元 -f "C:¥RequestData.csv" -m 0
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

登録時のデータ：

「新規登録する情報」で示したマスタデータが登録されます。

登録時のデータ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
システム	全システム共通
表項目種別	1
問合せ元 ID	Req00000001
問合せ元 ID 補助	補助テスト
問合せ元テキスト 1	サンプルテキスト 1
問合せ元テキスト 2	サンプルテキスト 2
問合せ元テキスト 3	サンプルテキスト 3
問合せ元テキスト 4	サンプルテキスト 4
問合せ元テキスト 5	サンプルテキスト 5
問合せ元テキスト 6	サンプルテキスト 6
問合せ元テキスト 7	サンプルテキスト 7
問合せ元テキスト 8	サンプルテキスト 8
問合せ元テキスト 9	サンプルテキスト 9
問合せ元テキスト 10	サンプルテキスト 10
問合せ元テキスト 11	サンプルテキスト 11
問合せ元テキスト 12	サンプルテキスト 12
問合せ元テキスト 13	サンプルテキスト 13
問合せ元テキスト 14	サンプルテキスト 14
問合せ元テキスト 15	サンプルテキスト 15
問合せ元テキスト 16	サンプルテキスト 16
問合せ元テキスト 17	サンプルテキスト 17

問合せ元テキスト 18	サンプルテキスト 18
問合せ元テキストエリア 1	サンプルテキストエリア 1
表項目問合せ元コンボボックス 1	サンプルコンボボックス 1
表項目問合せ元コンボボックス 2	サンプルコンボボックス 2
表項目問合せ元コンボボックス 3	サンプルコンボボックス 3
表項目問合せ元コンボボックス 4	サンプルコンボボックス 4
表項目問合せ元コンボボックス 5	サンプルコンボボックス 5
問合せ元日付 1	20140101

10. チームマスタを新規に登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「チーム」とします。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥TeamData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
対象チーム名	(なし)	(なし)	(なし)
チーム名	チーム 1	チーム 2	チーム 3
表示順	1	2	3
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
"","チーム 1","1","a-nomura"  
"","チーム 2","2","a-nomura"  
"","チーム 3","3","a-nomura"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.3.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c チーム -f "C:¥TeamData.csv" -m 0
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportMst.exe -c チーム -f "C:¥TeamData.csv" -m 0  
処理が正常に終了しました。
```

```
C:¥>
```

「新規登録する情報」で示したマスタデータの内容にてチームマスタへ新規登録されます。

11. メンテナンス(共通)マスタを新規登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「メンテナンス権限(共通)」とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\MaintenanceAuthorityCommonData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象管理権限名	(なし)
管理権限名	メンテナンス権限(共通)A
概要	全部項目を ON とします。
登録者	a-nomura
制御情報>ALL	ON
制御情報>ホーム	ON
制御情報>タスク	ON
制御情報>伝言メモ	ON
制御情報>ユーザー情報編集	ON
制御情報>ホーム画面定義	ON
制御情報>プロセス 1	ON
制御情報>プロセス 2	ON
制御情報>簡易プロセス 1	ON
制御情報>簡易プロセス 2	ON
制御情報>構成アイテム 1	ON
制御情報>構成アイテム 2	ON
制御情報>要員管理	ON
制御情報>構成アイテム管理	ON
制御情報>アカウント管理	ON
制御情報>既知エラー	ON
制御情報>FAQ	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
制御情報>ファイルライブラリ	ON
制御情報>リンク集	ON
制御情報>ログインフレーム-既知エラー	ON
制御情報>ログインフレーム-FAQ	ON
制御情報>ログインフレーム-ファイルライブラリ	ON
制御情報>ログインフレーム-リンク集	ON
制御情報>オープン FAQ	ON
制御情報>フレーム・ネット・ジョブ申請	ON
制御情報>グループ	ON
制御情報>ユーザー	ON
制御情報>画面ポリシー	ON
制御情報>職責	ON
制御情報>システム	ON
制御情報>コード	ON
制御情報>会社	ON
制御情報>組織	ON
制御情報>祝祭日	ON
制御情報>承認フロー	ON
制御情報>承認フロールート	ON
制御情報>送信メール参照	ON
制御情報>メールテンプレート	ON
制御情報>メールアドレスチェック設定	ON
制御情報>分析レポート	ON
制御情報>SLAM チャート設定	ON
制御情報>SLAM チャート抽出条件設定	ON
制御情報>チェックリスト設定	ON
制御情報>チェックリスト条件設定	ON
制御情報>チェックリスト適用設定	ON
制御情報>チェックリスト診断	ON
制御情報>コード値別編集制御	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
制御情報>種別データ設定	ON
制御情報>種別条件設定	ON
制御情報>種別適用設定	ON
制御情報>自動メール通知ルート設定	ON
制御情報>自動メール通知条件設定	ON
制御情報>自動メール通知適用設定	ON
制御情報>分析レポート条件設定	ON
制御情報>Senju/SM 間連携先設定	ON
制御情報>Senju/SM 間連携元設定	ON
制御情報>認証サーバー	ON
制御情報>チーム	ON
制御情報>役割	ON
制御情報>ランブックテンプレート	ON
制御情報>問合せ元	ON
制御情報>Senju/SM コマンド実行	ON
制御情報>制御情報	ON
制御情報>帳票出力文字変換制御	ON
制御情報>ラベル	ON
制御情報>サービスデスク画面レイアウト	ON
制御情報>簡易画面レイアウト	ON
制御情報>関連登録コピー定義	ON
制御情報>コピー登録定義	ON
制御情報>メンテナンス権限(共通)	ON
制御情報>メンテナンス権限(システム別)	ON
制御情報>システムユーザー	ON
制御情報>送信元設定	ON
制御情報>お知らせ	ON
制御情報>ToDo	ON
制御情報>代理承認	ON
制御情報>パスワード変更	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
制御情報>デフォルト設定	ON
制御情報>イベント	ON
制御情報>SLAM チャート 1	ON
制御情報>SLAM チャート 2	ON
制御情報>プロセス分析	ON
制御情報>メニュー	ON
制御情報>コード値別自動選択設定	ON
制御情報>分類	ON
制御情報>スケジュール	ON
制御情報>メニュー一覧	ON
制御情報>ユーザースケジュール	ON
制御情報>システムスケジュール	ON
制御情報>ログイン	ON
制御情報>ブックマーク	ON
制御情報>メールテンプレート(自動送信)	ON
制御情報>Senju/SM 間連携設定	ON
制御情報>Senju/SM 間連携項目設定	ON
制御情報>入力文字制御	ON
制御情報>コード値別必須制御	ON
制御情報>画面使用設定	ON
制御情報>業務グループ定義	ON
制御情報>業務グループ起動時刻変更申請状況	ON
制御情報>関連項目設定	ON
制御情報>申請先画面設定	ON
制御情報>プロセス検索	ON
制御情報>ESP システムマスタ管理	ON
制御情報>問合せ元 2	ON
制御情報>マニュアル一覧	ON
制御情報>WEB サーバー設定	ON
制御情報>送信メッセージテンプレート	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
制御情報>Webhook 送信設定	ON
制御情報>共通	ON
ラベル>ALL	ON
ラベル>ホーム	ON
ラベル>タスク	ON
ラベル>お知らせ	ON
ラベル>伝言メモ	ON
ラベル>ToDo	ON
ラベル>代理承認	ON
ラベル>パスワード変更	ON
ラベル>ユーザー情報編集	ON
ラベル>デフォルト設定	ON
ラベル>ホーム画面定義	ON
ラベル>ユーザースケジュール	ON
ラベル>システムスケジュール	ON
ラベル>イベント	ON
ラベル>プロセス 1	ON
ラベル>プロセス 2	ON
ラベル>構成アイテム 1	ON
ラベル>構成アイテム 2	ON
ラベル>要員管理	ON
ラベル>構成アイテム管理	ON
ラベル>アカウント管理	ON
ラベル>既知エラー	ON
ラベル>FAQ	ON
ラベル>ファイルライブラリ	ON
ラベル>リンク集	ON
ラベル>SLAM チャート 1	ON
ラベル>SLAM チャート 2	ON
ラベル>プロセス分析	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
ラベル>ログインフレーム-既知エラー	ON
ラベル>ログインフレーム-FAQ	ON
ラベル>ログインフレーム-ファイルライブラリ	ON
ラベル>ログインフレーム-リンク集	ON
ラベル>オープン FAQ	ON
ラベル>ブックマーク	ON
ラベル>フレーム・ネット・ジョブ申請	ON
ラベル>グループ	ON
ラベル>ユーザー	ON
ラベル>画面ポリシー	ON
ラベル>職責	ON
ラベル>システム	ON
ラベル>メニュー	ON
ラベル>コード	ON
ラベル>コード値別自動選択設定	ON
ラベル>会社	ON
ラベル>組織	ON
ラベル>祝祭日	ON
ラベル>承認フロー	ON
ラベル>承認フロールート	ON
ラベル>送信メール参照	ON
ラベル>メールテンプレート	ON
ラベル>メールアドレスチェック設定	ON
ラベル>分析レポート	ON
ラベル>SLAM チャート設定	ON
ラベル>SLAM チャート抽出条件設定	ON
ラベル>チェックリスト設定	ON
ラベル>チェックリスト条件設定	ON
ラベル>チェックリスト適用設定	ON
ラベル>メールテンプレート(自動送信)	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
ラベル>チェックリスト診断	ON
ラベル>コード値別編集制御	ON
ラベル>種別データ設定	ON
ラベル>種別条件設定	ON
ラベル>種別適用設定	ON
ラベル>自動メール通知ルート設定	ON
ラベル>自動メール通知条件設定	ON
ラベル>自動メール通知適用設定	ON
ラベル>分析レポート条件設定	ON
ラベル>Senju/SM 間連携設定	ON
ラベル>Senju/SM 間連携先設定	ON
ラベル>Senju/SM 間連携元設定	ON
ラベル>Senju/SM 間連携項目設定	ON
ラベル>入力文字制御	ON
ラベル>認証サーバー	ON
ラベル>チーム	ON
ラベル>役割	ON
ラベル>コード値別必須制御	ON
ラベル>ランブックテンプレート	ON
ラベル>関連項目設定	ON
ラベル>申請先画面設定	ON
ラベル>問合せ元	ON
ラベル>Senju/SM コマンド実行	ON
ラベル>制御情報	ON
ラベル>帳票出力文字変換制御	ON
ラベル>ラベル	ON
ラベル>サービスデスク画面レイアウト	ON
ラベル>簡易画面レイアウト	ON
ラベル>関連登録コピー定義	ON
ラベル>コピー登録定義	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
ラベル>メンテナンス権限(共通)	ON
ラベル>メンテナンス権限(システム別)	ON
ラベル>システムユーザー	ON
ラベル>送信元設定	ON
ラベル>分類	ON
ラベル>メニュー一覧	ON
ラベル>画面使用設定	ON
ラベル>業務グループ定義	ON
ラベル>業務グループ起動時刻変更申請状況	ON
ラベル>プロセス検索	ON
ラベル>ESP システムマスタ管理	ON
ラベル>問合せ元 2	ON
ラベル>マニュアル一覧	ON
ラベル>全文検索	ON
ラベル>Webhook 送信設定	ON
ラベル>WEB サーバー設定	ON
ラベル>業務ステータス	ON
ラベル>送信メッセージテンプレート	ON
ラベル>プロセス共通	ON
ラベル>共通	ON
関連項目設定>ALL	ON
関連項目設定>プロセス 1	ON
関連項目設定>プロセス 2	ON
関連項目設定>構成アイテム 1	ON
関連項目設定>構成アイテム 2	ON
サービスデスク画面レイアウト>ALL	ON
サービスデスク画面レイアウト>プロセス 1	ON
サービスデスク画面レイアウト>プロセス 2	ON
サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム管理	ON
サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム 1	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム 2	ON
入力文字制御>ALL	ON
入力文字制御>プロセス 1	ON
入力文字制御>プロセス 2	ON
関連登録コピー定義>ALL	ON
関連登録コピー定義>プロセス 1	ON
関連登録コピー定義>プロセス 2	ON
コピー登録定義>ALL	ON
コピー登録定義>プロセス 1	ON
コピー登録定義>プロセス 2	ON
コピー登録定義>簡易プロセス 1	ON
コピー登録定義>簡易プロセス 2	ON
分析レポート>ALL	ON
分析レポート>プロセス 1	ON
分析レポート>プロセス 2	ON
分析レポート条件設定>ALL	ON
分析レポート条件設定>プロセス 1	ON
分析レポート条件設定>プロセス 2	ON
SLAM チャート設定>ALL	ON
SLAM チャート設定>SLAM チャート 1	ON
SLAM チャート設定>SLAM チャート 2	ON
SLAM チャート抽出条件設定>ALL	ON
SLAM チャート抽出条件設定>プロセス 1	ON
SLAM チャート抽出条件設定>プロセス 2	ON
SLAM チャート抽出条件設定>イベント	ON
SLAM チャート抽出条件設定>フレーム・ネット・ジョブ 申請	ON
チェックリスト条件設定>ALL	ON
チェックリスト条件設定>プロセス 1	ON
チェックリスト条件設定>プロセス 2	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
自動メール通知条件設定>ALL	ON
自動メール通知条件設定>プロセス 1	ON
自動メール通知条件設定>プロセス 2	ON
種別条件設定>ALL	ON
種別条件設定>プロセス 1	ON
種別条件設定>プロセス 2	ON
Senju/SM 間連携項目設定>ALL	ON
Senju/SM 間連携項目設定>プロセス 1	ON
Senju/SM 間連携項目設定>プロセス 2	ON
グループ>ALL	ON
グループ>簡易プロセス 1	ON
グループ>簡易プロセス 2	ON
業務ステータス>ALL	ON
業務ステータス>プロセス 1	ON
業務ステータス>プロセス 2	ON
送信メッセージテンプレート>ALL	ON
送信メッセージテンプレート>プロセス 1	ON
送信メッセージテンプレート>プロセス 2	ON

12. メンテナンス(システム別)マスタを新規登録する

前提条件：

指定するマスタ名は「メンテナンス権限(システム別)」とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥MaintenanceAuthoritySystemData.csv」とします。

登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
対象管理権限名	(なし)
管理権限名	メンテナンス権限(システム別)A
概要	全部項目を ON とします。
登録者	a-nomura
システムユーザー>ALL	ON
会社>ALL	ON
組織>ALL	ON
問合せ元>ALL	ON
問合せ元 2>ALL	ON
表項目問合せ元>ALL	ON
コード>ALL	ON
コード>プロセス 1	ON
コード>プロセス 103	ON
コード>構成アイテム 1	ON
コード>構成アイテム 50	ON
コード>構成アイテム管理	ON
コード>アカウント管理	ON
コード>ToDo	ON
コード>分類	ON
コード>ユーザースケジュール	ON
コード>システムスケジュール	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
コード>承認フロールート	ON
コード>コード値別必須制御	ON
分類>ALL	ON
分類>プロセス 1	ON
分類>プロセス 103	ON
分類>構成アイテム 1	ON
分類>構成アイテム 50	ON
分類>構成アイテム管理	ON
分類>アカウント管理	ON
分類>既知エラー	ON
分類>FAQ	ON
分類>ファイルライブラリ	ON
分類>リンク集	ON
分類>メールテンプレート	ON
メールテンプレート>ALL	ON
メールテンプレート>プロセス 1	ON
メールテンプレート>プロセス 103	ON
メールテンプレート(自動送信)>ALL	ON
メールテンプレート(自動送信)>プロセス 1	ON
メールテンプレート(自動送信)>プロセス 103	ON
メールテンプレート(自動送信)>既知エラー	ON
メールテンプレート(自動送信)>FAQ	ON
メールテンプレート(自動送信)>ファイルライブラリ	ON
メールテンプレート(自動送信)>リンク集	ON
承認フロー>ALL	ON
承認フロー>プロセス 1	ON
承認フロー>プロセス 103	ON
承認フロー>既知エラー	ON
承認フロー>FAQ	ON
承認フロー>ファイルライブラリ	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
承認フロー>リンク集	ON
簡易画面レイアウト>ALL	ON
簡易画面レイアウト>簡易プロセス 1	ON
簡易画面レイアウト>簡易プロセス 103	ON
チェックリスト適用設定>ALL	ON
チェックリスト適用設定>プロセス 1	ON
チェックリスト適用設定>プロセス 103	ON
チェックリスト診断>ALL	ON
チェックリスト診断>プロセス 1	ON
チェックリスト診断>プロセス 103	ON
自動メール通知適用設定>ALL	ON
自動メール通知適用設定>プロセス 1	ON
自動メール通知適用設定>プロセス 103	ON
種別データ設定>ALL	ON
種別データ設定>プロセス 1	ON
種別データ設定>プロセス 103	ON
種別適用設定>ALL	ON
種別適用設定>プロセス 1	ON
種別適用設定>プロセス 103	ON
コード値別自動選択設定>ALL	ON
コード値別自動選択設定>プロセス 1	ON
コード値別自動選択設定>プロセス 103	ON
コード値別編集制御>ALL	ON
コード値別編集制御>プロセス 1	ON
コード値別編集制御>プロセス 103	ON
コード値別必須制御>ALL	ON
コード値別必須制御>プロセス 1	ON
コード値別必須制御>プロセス 103	ON
ランブックテンプレート>ALL	ON
ランブックテンプレート>プロセス 1	ON

登録対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
ランブックテンプレート>プロセス 103	ON
Webhook 送信設定>ALL	ON
Webhook 送信設定>プロセス 1	ON
Webhook 送信設定>プロセス 2	ON

1.2.3.5 指定可能フィールド情報

各マスタのインポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

1. 会社マスタ

一覧は「1.3.4.1.1 会社マスタ」を参照してください。

2. 組織マスタ

一覧は「1.3.4.1.2 組織マスタ」を参照してください。

3. グループマスタ

一覧は「1.3.4.1.3 グループマスタ」を参照してください。

4. 職責マスタ

一覧は「1.3.4.1.4 職責マスタ」を参照してください。

5. 承認フローマスタ

一覧は「1.3.4.1.5 承認フローマスタ」を参照してください。

6. 承認フロールートマスタ

一覧は「1.3.4.1.6 承認フロールートマスタ」を参照してください。

7. 問合せ元情報マスタ

一覧は「1.3.4.1.7 問合せ元情報マスタ」を参照してください。

8. 問合せ元情報 2 マスタ

一覧は「1.3.4.1.8 問合せ元情報 2 マスタ」を参照してください。

9. 表項目問合せ元情報マスタ

一覧は「1.3.4.1.9 表項目問合せ元情報マスタ」を参照してください。

10. チームマスタ

一覧は「1.3.4.1.10 チームマスタ」を参照してください。

11. メンテナンス権限(共通)マスタ

一覧は「1.3.4.1.11 メンテナンス権限(共通)」を参照してください。

12. メンテナンス権限(システム別)マスタ

一覧は「1.3.4.1.12 メンテナンス権限(システム別)」を参照してください。

1.2.3.6 フォーマット変換情報

承認フロールート、問合せ元情報のインポートファイルがバージョン 2013.0.0.0 のフォーマットだった場合、
職責マスタのインポートファイルがバージョン 2014.0.0.0 のフォーマットだった場合、
新フォーマットに変換する際に設定される情報の一覧を以下に示します。

1. 職責マスタ

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
—	対象職責名	1	インポートファイルの指定通り変換されません。
職責名	職責名	2	インポートファイルの指定通り変換されません。
概要	概要	3	インポートファイルの指定通り変換されません。
登録者/最終更新者	登録者	4	インポートファイルの指定通り変換されません。
表示順	表示順	5	空白が設定されます。
システムスケジュール	データの操作	6	インポートファイルの指定通り変換されません。
イベント	データの参照	7	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	8	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの振分	9	インポートファイルの指定通り変換されません。
プロセス N N: 1~103	データの参照	$38 \times (N-1) + 10$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	$38 \times (N-1) + 11$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	$38 \times (N-1) + 12$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	$38 \times (N-1) + 13$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの一括承認	$38 \times (N-1) + 14$	"OFF"が設定されます。
	データのクローズ	$38 \times (N-1) + 15$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの一括クローズ	$38 \times (N-1) + 16$	"OFF"が設定されます。
	データのクローズ解除	$38 \times (N-1) + 17$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データのエスカレーション	$38 \times (N-1) + 18$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの確認	$38 \times (N-1) + 19$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの変更履歴参照	$38 \times (N-1) + 20$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	経過情報の参照	$38 \times (N-1) + 21$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	経過情報の追加	$38 \times (N-1) + 22$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	経過情報の編集	$38 \times (N-1) + 23$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	経過情報の削除	$38 \times (N-1) + 24$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの分析	$38 \times (N-1) + 25$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの特別編集	$38 \times (N-1) + 26$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データのイベント戻し	$38 \times (N-1) + 27$	インポートファイルの指定通り変換されません。
	申請の強制却下	$38 \times (N-1) + 28$	"OFF"が設定されます。
	チェックリストの編集	$38 \times (N-1) + 29$	インポートファイルの指定通り変換されません。
チェックリストの対応完了	$38 \times (N-1) + 30$	インポートファイルの指定通り変換されません。	

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
	チェックリストの確認	38 × (N-1) + 31	インポートファイルの指定通り変換されません。
	チェック項目の追加・削除	38 × (N-1) + 32	インポートファイルの指定通り変換されません。
	簡易チェックリストのチェック	38 × (N-1) + 33	インポートファイルの指定通り変換されません。
	簡易チェック項目の追加・削除	38 × (N-1) + 34	インポートファイルの指定通り変換されません。
	チェックリスト再適用	38 × (N-1) + 35	"OFF"が設定されます。
	SSA 連携のキャンセル	38 × (N-1) + 36	インポートファイルの指定通り変換されません。
	SSA 連携のステータス更新	38 × (N-1) + 37	"OFF"が設定されます。
	一時停止解除指示	38 × (N-1) + 38	インポートファイルの指定通り変換されません。
	一時停止解除実施	38 × (N-1) + 39	インポートファイルの指定通り変換されません。
	簡易プロセスの使用	38 × (N-1) + 40	インポートファイルの指定通り変換されません。
	Senju/SM 間連携の使用	38 × (N-1) + 41	インポートファイルの指定通り変換されません。
	業務グループ再変更指示	38 × (N-1) + 42	"OFF"が設定されます。
	業務グループ再変更実施	38 × (N-1) + 43	"OFF"が設定されます。
	業務グループの定義	38 × (N-1) + 44	"OFF"が設定されます。
	障害メッセージ制御の実施	38 × (N-1) + 45	"OFF"が設定されます。
	メール送信ボタンの表示	38 × (N-1) + 46	"OFF"が設定されます。
	関連登録ボタンの表示	38 × (N-1) + 47	"OFF"が設定されます。
(構成管理) 構成アイテム N N : 1~50	データの参照	7 × (N-1) + 3924	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	7 × (N-1) + 3925	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加(変更予定)	7 × (N-1) + 3926	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加(削除予定)	7 × (N-1) + 3927	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	7 × (N-1) + 3928	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	7 × (N-1) + 3929	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの取消	7 × (N-1) + 3930	インポートファイルの指定通り変換されません。
(ID 管理) 要員管理	データの参照	4274	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4275	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4276	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4277	インポートファイルの指定通り変換されません。
(ID 管理) 構成アイテム管理	データの参照	4278	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4279	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4280	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4281	インポートファイルの指定通り変換されません。

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
(ID 管理) アカウント管理	データの操作	4282	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの参照	4283	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4284	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4285	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4286	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの操作	4287	インポートファイルの指定通り変換されません。
既知エラー	データの公開参照	4288	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの非公開参照	4289	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4290	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4291	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4292	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの特別編集	4293	インポートファイルの指定通り変換されません。
FAQ	データの公開参照	4294	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの非公開参照	4295	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4296	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4297	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4298	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの特別編集	4299	インポートファイルの指定通り変換されません。
ファイルライブラリ	データの公開参照	4300	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの非公開参照	4301	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4302	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4303	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4304	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの特別編集	4305	インポートファイルの指定通り変換されません。
リンク集	データの公開参照	4306	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの非公開参照	4307	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの追加	4308	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの編集	4309	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの削除	4310	インポートファイルの指定通り変換されません。
	データの特別編集	4311	インポートファイルの指定通り変換されません。

2. 承認フロールートマスタ

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
—	対象ルート名	1	インポートファイルの指定通り変換されません。
ルート名	ルート名	2	インポートファイルの指定通り変換されません。
登録者/最終更新者	登録者	3	インポートファイルの指定通り変換されません。
ルート NO. 1	タイトル	4	インポートファイルの指定通り変換されません。
	区分	5	インポートファイルの指定通り変換されません。
	職責/ユーザー/役割	6	インポートファイルの指定通り変換されません。
	(通知先)区分	7	空白が設定されます。
	(通知先)職責/ユーザー	8	空白が設定されます。
ルート NO. 2	タイトル	9	インポートファイルの指定通り変換されません。
	アクションカテゴリ	10	インポートファイルの指定通り変換されません。
	アクションカテゴリ(却下)	11	「アクションカテゴリ」の設定値により変わります。 「承認/却下」の場合“ON”が設定されます。 「承認/差戻し」の場合“OFF”が設定されます。 「承認/却下/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 上記以外の場合“OFF”が設定されます。
	アクションカテゴリ(差戻し)	12	「アクションカテゴリ」の設定値により変わります。 「承認/却下」の場合“OFF”が設定されます。 「承認/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 「承認/却下/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 上記以外の場合“OFF”が設定されます。
	アクションカタログ	13	インポートファイルの指定通り変換されません。
	区分	14	インポートファイルの指定通り変換されません。
	職責/ユーザー/役割	15	インポートファイルの指定通り変換されません。
	(通知先)区分	16	空白が設定されます。
	(通知先)職責/ユーザー	17	空白が設定されます。
	差戻し先	18	インポートファイルの指定通り変換されません。
	承認条件	19	インポートファイルの指定通り変換されません。
	承認者選択	20	“OFF”が設定されます。
	承認者選択ルート NO	21	空白が設定されます。
ルート NO. N	タイトル	(12×N)-14	インポートファイルの指定通り変換されません。

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
N : 3~20	アクションカテゴリ	(12×N)-13	インポートファイルの指定通り変換されません。
	アクションカテゴリ(却下)	(12×N)-12	「アクションカテゴリ」の設定値により変わります。 「承認/却下」の場合“ON”が設定されます。 「承認/差戻し」の場合“OFF”が設定されます。 「承認/却下/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 上記以外の場合“OFF”が設定されます。
	アクションカテゴリ(差戻し)	(12×N)-11	「アクションカテゴリ」の設定値により変わります。 「承認/却下」の場合“OFF”が設定されます。 「承認/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 「承認/却下/差戻し」の場合“ON”が設定されます。 上記以外の場合“OFF”が設定されます。
	アクションカタログ	(12×N)-10	インポートファイルの指定通り変換されません。
	区分	(12×N)-9	インポートファイルの指定通り変換されません。
	職責/ユーザー/役割	(12×N)-8	インポートファイルの指定通り変換されません。
	(通知先)区分	(12×N)-7	空白が設定されます。
	(通知先)職責/ユーザー	(12×N)-6	空白が設定されます。
	差戻し先	(12×N)-5	インポートファイルの指定通り変換されません。
	承認条件	(12×N)-4	インポートファイルの指定通り変換されません。
	承認者選択	(12×N)-3	“OFF”が設定されます。
	承認者選択ルートNO	(12×N)-2	空白が設定されます。

3. 問合せ元情報マスタ

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
システム	システム	1	“全システム共通”が設定されます。
問合せ元 ID	問合せ元 ID	2	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 ID 補助	問合せ元 ID 補助	3	空白が設定されます。
問合せ元テキスト 1	問合せ元テキスト 1	4	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 2	問合せ元テキスト 2	5	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 3	問合せ元テキスト 3	6	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 4	問合せ元テキスト 4	7	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 5	問合せ元テキスト 5	8	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 6	問合せ元テキスト 6	9	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 7	問合せ元テキスト 7	10	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 8	問合せ元テキスト 8	11	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 9	問合せ元テキスト 9	12	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 10	問合せ元テキスト 10	13	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 11	問合せ元テキスト 11	14	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 12	問合せ元テキスト 12	15	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 13	問合せ元テキスト 13	16	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 14	問合せ元テキスト 14	17	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 15	問合せ元テキスト 15	18	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 16	問合せ元テキスト 16	19	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 17	問合せ元テキスト 17	20	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキスト 18	問合せ元テキスト 18	21	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	22	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元日付 1	問合せ元日付 1	23	インポートファイルの指定通り変換されません。

4. 問合せ元 2 情報マスタ

画面項目名	フィールド名	フィールド指定順序	フォーマット変換時に設定される値
システム	システム	1	“全システム共通”が設定されます。
問合せ元 2ID	問合せ元 2ID	2	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2ID 補助	問合せ元 2ID 補助	3	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 1	問合せ元 2 テキスト 1	4	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 2	問合せ元 2 テキスト 2	5	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 3	問合せ元 2 テキスト 3	6	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 4	問合せ元 2 テキスト 4	7	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 5	問合せ元 2 テキスト 5	8	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 6	問合せ元 2 テキスト 6	9	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 7	問合せ元 2 テキスト 7	10	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 8	問合せ元 2 テキスト 8	11	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 9	問合せ元 2 テキスト 9	12	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 10	問合せ元 2 テキスト 10	13	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 11	問合せ元 2 テキスト 11	14	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 12	問合せ元 2 テキスト 12	15	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 13	問合せ元 2 テキスト 13	16	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 14	問合せ元 2 テキスト 14	17	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 15	問合せ元 2 テキスト 15	18	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 16	問合せ元 2 テキスト 16	19	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 17	問合せ元 2 テキスト 17	20	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキスト 18	問合せ元 2 テキスト 18	21	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 テキストエリア 1	問合せ元 2 テキストエリア 1	22	インポートファイルの指定通り変換されません。
問合せ元 2 日付 1	問合せ元 2 日付 1	23	インポートファイルの指定通り変換されません。

1.2.4 分類マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportCat.exe)

分類マスタ登録コマンドは、指定した分類マスタのデータを Oracle/PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録/更新を行う場合に使用します。

1.2.4.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportCat.exe△-f△インポートファイル名

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-f : インポートファイル名**
インポートの対象となる分類マスタのデータが記述された任意のファイルをフルパスで指定します。
このオプションは省略することはできません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※インポートファイルの詳細については、後述の「**1.2.4.3 ファイルの説明**」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **--help**
Usage を表示します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

制限事項



制限事項

分類マスタ登録コマンドにてデータを登録した場合、DB再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle用)」と「1.2.21 DB再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL用)」を参照してください。



制限事項

分類マスタ登録コマンドと以下コマンドは同時実行しないでください。データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・過去データ削除コマンド
- ・マスタ削除コマンド
- ・分類マスタ削除コマンド
- ・システム削除コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.4.2 実行結果

分類マスタ登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjsPU_ImportCat.exe -f "C:¥temp¥CatData.txt"  
分類データの登録処理が完了しました。  
C:¥TEMP>
```

分類マスタ登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	インポートファイル内の全てのデータが取り込めた場合
1	異常終了	引数や定義ファイルの内容、またはデータベースへの接続に異常がある場合
3	警告終了	インポートファイル内の全てのデータを登録したが、一部の項目を初期値で補完して登録した場合 インポートファイル内の一部のデータについてデータの指定フォーマットの不正等により登録できなかった場合
4	警告終了	インポートファイル内の指定フォーマットが旧フォーマットであるため、新フォーマットへ変換された場合



仕様補足

正常終了の場合は、インポートファイル内のデータは全て取り込まれます。
異常終了の場合は、インポートファイル内のデータは全て取り込まれません。
警告終了の場合は、インポートファイルの内容に不備があるために登録できなかったデータが再登録対象ファイルまたは新フォーマットに変換され出力されます。
再登録対象ファイルについては、「1.2.4.3 ファイルの説明」を参照してください。



仕様補足

分類マスタの登録処理において、指定されたマスタの登録可能最大件数を越えた場合、
ログにその旨を出力し終了します。
既に登録処理が実行された分類データは登録されます。



注意事項

V12.0.1.0以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力ログ	意味	対応
0	分類データの登録処理が完了しました。	インポート対象ファイルに指定されたレコードが警告なしに全て取り込まれました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	インポートファイルの読み込みに失敗しました。	指定されたインポート対象ファイルが存在しないため、処理を中止します。	インポートファイルの中身を確認してください。
	インポートファイルに情報が存在しません。	指定されたインポート対象ファイル内にデータが1件も存在しないため、処理を中止します。	引数で指定したインポートファイルの中身を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。
3	分類データの登録処理が完了しました。 一部のデータを補完して登録を行いました。	インポート対象ファイルに指定されたレコードが全て取り込まれていますが、一部のデータを加工または初期値を採用して登録を行いました。	初期値を採用または一部を加工して登録されたデータの情報が、実行ログファイルに出力されますので内容を確認してください。
	分類データの登録処理が完了しました。 登録できなかったデータをファイルに出力しました。 出力先ファイル名 [未登録ファイルパス]	インポート対象ファイルに指定されたレコードの取り込みを行いました。一部のレコードが取り込まれていません。 取り込まれなかったレコードは[未登録ファイルパス]に表示されるファイルに出力されます。	[未登録ファイルパス]に出力されるファイル（再登録対象ファイル）の内容を確認して再度登録を行ってください。
	分類データの登録処理が完了しました。 一部のデータを補完して登録を行いました。 登録できなかったデータをファイルに出力しました。 出力先ファイル名 [未登録ファイルパス]	上記に示す警告終了の処理結果をいずれも満たす場合にこの終了メッセージが出力されます。	初期値を採用または一部を加工して登録されたデータの情報が、実行ログファイルに出力されますので内容を確認してください。 [未登録ファイルパス]に出力されるファイル（再登録対象ファイル）の内容を確認して再度登録を行ってください。
4	指定されたインポート対象ファイルの内容を新フォーマットとして出力しました。 出力ファイル名：[変換後ファイルパス]	インポート対象ファイルに指定されたフォーマットが旧フォーマットであるため、新フォーマットに変換しました。	[変換後ファイルパス]に出力されるファイルの内容を確認後、再度登録を行ってください。

1.2.4.3 ファイルの説明

分類マスタ登録コマンドで必要となる「インポートファイル」と、実行した結果として出力される「実行ログファイル」、「再登録対象ファイル」について記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象の分類マスタデータを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	実行ログファイル	sjSPU_ImportCat. log	分類マスタ登録コマンドから出力される実行ログ情報が格納されるファイルです。 「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。
3	再登録対象ファイル	YYYYMMDD_[インポートファイル名]	データの指定フォーマット不正等により登録できなかったデータが出力されるファイルです。 分類マスタ登録コマンドの実行結果で「未登録ファイル」として、インポートファイルが格納されているフォルダに出力されます。 YYYYMMDD には、コマンドを実行した日付が出力されます。

以降に各ファイルの内容を記載します。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象の分類マスタデータを記述します。

インポートファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- CSV 形式（カンマ区切り）で指定します。
- インポートファイルの 1 レコードには決められた順序で指定します。
順序は後述「1.2.4.5 指定可能フィールド情報」の指定順序列を参照してください。
- 複数の分類情報を登録する場合は、その個数分、行を分けて記述します。
- 登録を行わない項目へは何も指定しません。
- 更新時、インポートファイルに半角または全角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目をクリアできます。

- ・ 行の先頭に「#」を指定した場合はその行はコメントとして扱われ、処理の対象から除かれます。
- ・ 全ての項目において、値としてカンマ(,)を指定することはできません。
- ・ インポートファイルに記載する項目値はダブルクォートで囲まないでください。

上記の制限事項に従ってインポートファイルを作成する際の注意事項は以下になります。

- ・ 分類-1のみ登録/更新を行いたい場合は、分類-2～分類-5の項目は全て空白を設定します。
- ・ 同様に分類-2の登録/更新を行いたい場合は、分類-1と分類-2の項目に値を設定して、分類-3～分類-5の項目には全て空白を設定します。
- ・ 分類-5を登録したい場合は、分類-1～分類-4の指定は必須になります。
- ・ 分類を新規に登録する場合は、インポートファイルにて「分類-1の名称(対象分類-1の名称)」へ空白を設定し、「分類-1の名称」へ新規登録する分類-1の名称、または新規登録を行う下位分類を特定する為の登録済みの分類-1の名称を指定してください。同様に「分類-2の名称(対象分類-2の名称)」「分類-2の名称」以降の分類についても指定してください。
- ・ 既に登録されている分類の更新を行う場合は、「分類-1の名称(対象分類-1の名称)」へ更新を行う分類を特定するため、登録済みの分類-1の名称を指定してください。分類-1の名称を更新する場合は「分類-1の名称」に更新後の分類の名称を指定します。同様に「分類-2の名称(対象分類-2の名称)」「分類-2の名称」以降の分類についても指定してください。
- ・ 「分類-1の名称(対象分類-1の名称)」に指定された分類が未登録の場合は新規登録処理を行います。この場合は、「分類-2の名称(対象分類-2の名称)」以降に指定されている分類名は無視され、「分類-2の名称」以降に指定される分類名で分類の新規登録処理が行われます。
- ・ 更新する際、インポートファイルに指定された分類が複数分類マスタに登録されている場合は、先にマスタに登録された分類が対象となります。

インポートファイルの記述例は「[1.2.4.4 設定ケーススタディ](#)」を参照してください。



値を設定しない項目には空白を設定しますが、項目を区切る「カンマ(,)」は必ず指定してください。
例えば大分類のみ登録する場合は以下の様に指定します。

操作説明

「01000001,大分類>中分類>小分類,システム1,,SSM,大分類名1,Black,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,」



インポートファイルに記載する項目値はダブルクォートで囲まないでください。

操作説明

2. 実行ログファイル

分類マスタ登録コマンドの実行ログを出力したファイルです。
コマンドの実行結果や、未登録データの情報、エラー情報等が出力されます。
このファイルは、「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。

3. 再登録対象ファイル

分類マスタ登録コマンドを実行した結果、登録されなかったデータがこのファイルに出力されます。
全てのデータが登録された場合はこのファイルは出力されません。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

コマンド実行時に引数に指定されたインポートファイルと同じフォルダ

出力ファイル名

[YYYYMMDD]_[インポートファイル名]

[YYYYMMDD] : コマンドを実行した日付

[インポートファイル名] : 引数に指定したインポートファイルの名称

例) インポートファイル名が「ImportCatFile.csv」の場合
20090401_ImportCatFile.csv

1.2.4.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な登録手順を示します。

No	タイトル
1	2連分類マスタを新規に登録する
2	3連分類マスタを更新する
3	5連分類マスタの分類-4と分類-5に分類を追加する

1.2 連分類マスタを新規に登録する

前提条件：

2連分類の新規登録の手順を示します。

登録対象の画面 ID は構成アイテム管理とします。

インポートファイルは「C:\¥ImportCatData1.csv」とします。

分類区分、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

分類種別名は管理者メニューより画面 ID 毎に以下のとおりラベル名称を変更しています。

- ・構成アイテム管理：状態>対応

新規登録する情報：

以下に新規登録するマスタデータを記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	06000001	06000001
分類種別名	[拡張]状態>対応	[拡張]状態>対応
システム名	営業システム	営業システム
登録者	a-nomura	a-nomura
対象分類-1 の名称	(なし)	(なし)
分類-1 の名称	起動中	停止中

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
分類-1 の色	Black	Black
分類-1 の表示順	1	1
分類-1 の分類区分	分類区分 1	分類区分 1
分類-1 のコメント	起動中を示す分類です	停止中を示す分類です
対象分類-2 の名称	(なし)	(なし)
分類-2 の名称	使用可能	使用不可
分類-2 の色	Black	Black
分類-2 の表示順	1	1
分類-2 の分類区分	分類区分 2	分類区分 2
分類-2 のコメント	使用可能を示す分類です。	使用不可を示す分類です。
対象分類-3 の名称	(なし)	(なし)
分類-3 の名称	(なし)	(なし)
分類-3 の色	(なし)	(なし)
分類-3 の表示順	(なし)	(なし)
分類-3 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-3 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の色	(なし)	(なし)
分類-4 の表示順	(なし)	(なし)
分類-4 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-4 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の色	(なし)	(なし)
分類-5 の表示順	(なし)	(なし)
分類-5 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-5 のコメント	(なし)	(なし)

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
06000001, [拡張]状態>対応, 営業システム, a-nomura, , 起動中, Black, 1, 分類区分 1, 起動中を示す分類です, , 使用可能, Black, 1, 分類区分 2, 使用可能を示す分類です。,,,,,  
06000001, [拡張]状態>対応, 営業システム, a-nomura, , 停止中, Black, 1, 分類区分 1, 停止中を示す分類です, , 使用不可, Black, 1, 分類区分 2, 使用不可を示す分類です。,,,,,
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.4.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatData1.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatData1.csv"  
分類データの登録処理が完了しました。  
  
C:¥>
```

「新規登録する情報」で示したマスタデータの内容にて分類マスタへ新規登録されます。

2.3 連分類マスタを更新する

前提条件：

3連分類の更新の手順を示します。

更新対象の画面 ID はプロセス管理 1、構成管理 10 とします。

インポートファイルは「C:\¥ImportCatUpdate1.csv」とします。

分類区分、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

分類種別名は管理者メニューより画面 ID 毎に以下のとおりラベル名称を変更しています。

- ・プロセス管理 1：対象>性別>年齢
- ・構成管理 10：所属会社>所属部門>所属チーム

登録済の分類マスタの情報：

以下に登録済の分類マスタを記載します。

登録済データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	01000001	04000010
分類種別名	対象>性別>年齢	[拡張]所属会社>所属部門>所属チーム
システム名	営業システム	全システム共通
登録者	a-nomura	a-nomura
対象分類-1 の名称	(なし)	(なし)
分類-1 の名称	サンプル 1-1	会社 ABC
分類-1 の色	Black	Black
分類-1 の表示順	1	(なし)
分類-1 の分類区分	分類区分 1	分類区分 1
分類-1 のコメント	サンプル 3 連分類 1-1	会社名を登録
対象分類-2 の名称	(なし)	(なし)
分類-2 の名称	サンプル 1-2	営業部
分類-2 の色	Black	Black
分類-2 の表示順	1	(なし)
分類-2 の分類区分	分類区分 2	分類区分 2
分類-2 のコメント	サンプル 3 連分類 1-2	部署を登録
対象分類-3 の名称	(なし)	(なし)
分類-3 の名称	サンプル 1-3	訪問チーム

登録済データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
分類-3 の色	Black	Black
分類-3 の表示順	1	(なし)
分類-3 の分類区分	分類区分 3	分類区分 3
分類-3 のコメント	サンプル 3 連分類 1-3	チームを登録
対象分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の色	(なし)	(なし)
分類-4 の表示順	(なし)	(なし)
分類-4 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-4 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の色	(なし)	(なし)
分類-5 の表示順	(なし)	(なし)
分類-5 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-5 のコメント	(なし)	(なし)

更新する情報：

以下に更新するマスタデータを記載します。

- ① プロセス管理 1 の全分類名を「サンプル x-x」を変更します。
- ② 構成管理 10 の分類-1 と分類-2 の色を変更し、表示順を追加します。
分類-3 のマスタ情報は変更しません。

更新対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
画面 ID	01000001	04000010
分類種別名	対象>性別>年齢	[拡張]所属会社>所属部門>所属チーム
システム名	営業システム	全システム共通
登録者	a-nomura	a-nomura
対象分類-1 の名称	サンプル 1-1	会社 ABC
分類-1 の名称	購入者	(なし)
分類-1 の色	(なし)	Blue
分類-1 の表示順	(なし)	2
分類-1 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-1 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-2 の名称	サンプル 1-2	営業部
分類-2 の名称	女性	(なし)
分類-2 の色	(なし)	Lime
分類-2 の表示順	(なし)	2
分類-2 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-2 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-3 の名称	サンプル 1-3	(なし)
分類-3 の名称	20~29	(なし)
分類-3 の色	(なし)	(なし)
分類-3 の表示順	(なし)	(なし)
分類-3 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-3 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-4 の色	(なし)	(なし)
分類-4 の表示順	(なし)	(なし)
分類-4 の分類区分	(なし)	(なし)

更新対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
分類-4 のコメント	(なし)	(なし)
対象分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の色	(なし)	(なし)
分類-5 の表示順	(なし)	(なし)
分類-5 の分類区分	(なし)	(なし)
分類-5 のコメント	(なし)	(なし)

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
01000001, 対象>性別>年齢, 営業システム, a-nomura, サンプル 1-1, 購入者, . . . , サンプル 1-2, 女性, . . . , サンプル 1-3, 20~29, . . . . .
04000010, [拡張]所属会社>所属部門>所属チーム, 全システム共通, a-nomura, 会社 ABC, , Blue, 2, , 営業部, , Lime, 2, . . . . .
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.4.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjsPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatUpdate1.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjsPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatUpdate1.csv"
分類データの登録処理が完了しました。

C:¥>
```

「更新する情報」で示したマスタデータの内容のとおり項目が更新されます。

3.5 連分類マスタの分類-4 と分類-5 に分類を追加する

前提条件：

5 連分類の下位分類(分類-4 と分類-5)の追加手順を示します。

登録対象の画面 ID はプロセス管理 1 とします。

インポートファイルは「C:\¥ImportCatDate2.csv」とします。

分類区分、登録者に指定されるデータは管理者メニューより登録されている状態とします。

分類種別名は管理者メニューより画面 ID 毎に以下のとおりラベル名称を変更しています。

- ・プロセス管理 1：国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区

登録済の分類マスタの情報：

以下に登録済の分類マスタを記載します。

登録済データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
画面 ID	01000001
分類種別名	国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区
システム名	営業システム
登録者	a-nomura
対象分類-1 の名称	(なし)
分類-1 の名称	国内
分類-1 の色	Black
分類-1 の表示順	3
分類-1 の分類区分	分類区分 1
分類-1 のコメント	国内外を示す分類です
対象分類-2 の名称	(なし)
分類-2 の名称	首都圏
分類-2 の色	Black
分類-2 の表示順	3
分類-2 の分類区分	分類区分 2
分類-2 のコメント	エリアを示す分類です
対象分類-3 の名称	(なし)
分類-3 の名称	東京都

登録済データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
分類-3 の色	Black
分類-3 の表示順	3
分類-3 の分類区分	分類区分 3
分類-3 のコメント	都道府県を示す分類です
対象分類-4 の名称	(なし)
分類-4 の名称	(なし)
分類-4 の色	(なし)
分類-4 の表示順	(なし)
分類-4 の分類区分	(なし)
分類-4 のコメント	(なし)
対象分類-5 の名称	(なし)
分類-5 の名称	(なし)
分類-5 の色	(なし)
分類-5 の表示順	(なし)
分類-5 の分類区分	(なし)
分類-5 のコメント	(なし)

追加する情報：

以下に追加するマスタデータを記載します。

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
画面 ID	01000001
分類種別名	国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区
システム名	営業システム
登録者	a-nomura
対象分類-1 の名称	(なし)
分類-1 の名称	国内
分類-1 の色	Black

更新対象データ	
(項目名)	(値)
(1 件目)	
分類-1 の表示順	3
分類-1 の分類区分	分類区分 1
分類-1 のコメント	国内外を示す分類です
対象分類-2 の名称	(なし)
分類-2 の名称	首都圏
分類-2 の色	Black
分類-2 の表示順	3
分類-2 の分類区分	分類区分 2
分類-2 のコメント	エリアを示す分類です
対象分類-3 の名称	(なし)
分類-3 の名称	東京都
分類-3 の色	Black
分類-3 の表示順	3
分類-3 の分類区分	分類区分 3
分類-3 のコメント	都道府県を示す分類です
対象分類-4 の名称	(なし)
分類-4 の名称	中央区
分類-4 の色	Aqua
分類-4 の表示順	5
分類-4 の分類区分	分類区分 4
分類-4 のコメント	市区町村を示す分類です
対象分類-5 の名称	(なし)
分類-5 の名称	銀座
分類-5 の色	Maroon
分類-5 の表示順	5
分類-5 の分類区分	分類区分 5
分類-5 のコメント	地区を示す分類です

各ファイルの具体的な記述内容：

- ・インポートファイルの具体的な記述内容

```
01000001, 国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区, 営業システム, a-nomura, , 国内, Black, 3, 分類区分 1, 国内外を示す分類です, , 首都圏, Black, 3, 分類区分 2, エリアを示す分類です, , 東京都, Black, 3, 分類区分 3, 都道府県を示す分類です, , 中央区, Aqua, 5, 分類区分 4, 市区町村を示す分類です, , 銀座, Maroon, 5, 分類区分 5, 地区を示す分類です
```

上位分類を特定するため、分類-1～分類-3 までは登録されている分類情報を指定してください。
各項目の指定順序と、指定可能な値については「**1.2.4.5 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatDate2.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥>sjSPU_ImportCat.exe -f "C:¥ImportCatDate2.csv"  
分類データの登録処理が完了しました。  
  
C:¥>
```

「追加する情報」で示したマスタデータの内容のとおり、
分類-3 まで登録されていた 5 連分類に分類-4、分類-5 が追加されます。

1.2.4.5 指定可能フィールド情報

インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

一覧は「1.3.5 分類マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportCat.exe)」を参照してください。

1. 分類登録/削除時に指定可能な『分類種別名』の一覧

画面	分類種別名
プロセス管理	大分類>中分類>小分類
	2 連分類 1-1>2 連分類 1-2
	2 連分類 2-1>2 連分類 2-2
	3 連分類 1-1>3 連分類 1-2>3 連分類 1-3
	3 連分類 2-1>3 連分類 2-2>3 連分類 2-3
	5 連分類 1-1>5 連分類 1-2>5 連分類 1-3>5 連分類 1-4>5 連分類 1-5
	5 連分類 2-1>5 連分類 2-2>5 連分類 2-3>5 連分類 2-4>5 連分類 2-5
	[経過]マルチ 2 連分類 1-1>[経過]マルチ 2 連分類 1-2
	[経過]マルチ 2 連分類 2-1>[経過]マルチ 2 連分類 2-2
構成アイテム管理	[拡張]2 連分類 1-1>2 連分類 1-2
	[拡張]2 連分類 2-1>2 連分類 2-2
	[拡張]2 連分類 3-1>2 連分類 3-2
	[拡張]2 連分類 4-1>2 連分類 4-2
	[拡張]2 連分類 5-1>2 連分類 5-2
	[拡張]大分類>中分類>小分類
	[拡張]3 連分類 1-1>3 連分類 1-2>3 連分類 1-3
	[拡張]3 連分類 2-1>3 連分類 2-2>3 連分類 2-3
	[拡張]3 連分類 3-1>3 連分類 3-2>3 連分類 3-3
	[拡張]3 連分類 4-1>3 連分類 4-2>3 連分類 4-3
構成管理	[拡張]2 連分類 1-1>2 連分類 1-2
	[拡張]2 連分類 2-1>2 連分類 2-2
	[拡張]2 連分類 3-1>2 連分類 3-2
	[拡張]2 連分類 4-1>2 連分類 4-2

画面	分類種別名
	[拡張]2 連分類 5-1>2 連分類 5-2
	[拡張]大分類>中分類>小分類
	[拡張]3 連分類 1-1>3 連分類 1-2>3 連分類 1-3
	[拡張]3 連分類 2-1>3 連分類 2-2>3 連分類 2-3
	[拡張]3 連分類 3-1>3 連分類 3-2>3 連分類 3-3
	[拡張]3 連分類 4-1>3 連分類 4-2>3 連分類 4-3
アカウント管理	種別 1>種別 2>種別 3
既知エラー	大分類>中分類>小分類
FAQ	大分類>中分類>小分類
ファイルライブラリ	大分類>中分類>小分類
リンク集	大分類>中分類>小分類
送信メール設定	大分類>中分類



仕様補足

インポートファイルに指定する分類種別名は、
 分類マスタ管理の各画面に表示される分類種別コンボボックスに表示される値と同じ値を設定します。
 この値は、管理者メニューの画面タブ配下における「ラベル」の設定を変更することで画面に表示するラベルにあわせて変更されます。
 したがって、各分類を表示する箇所の「ラベル」の表示文言を変更した場合は、
 インポートファイルに指定する分類種別名の値も変更する必要があります。

1.2.5 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)

データ登録コマンドは、指定した案件種別のデータを Oracle/PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録する場合に使用します。

1.2.5.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式(“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportData.exe△-c△案件種別名△-M△登録モード△-f△インポートファイル名
△-T△定義ファイルフォルダ名△[-m△インポートファイル形式]△[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-c : 案件種別名**

登録する案件種別を指定します。コマンドの引数には「設定値」を指定してください。

省略できません。

指定できる案件種別名を以下に記載します。

案件種別名	設定値
プロセス管理	プロセス管理
イベント管理	イベント管理
要員管理	要員
構成アイテム(構成管理)	構成
構成アイテム管理(ID管理)	構成アイテム
ユーザー管理	ユーザー



注意事項

案件種別「アカウント管理」の登録・更新はサポートしていません。
実施した場合、正常動作やデータの整合性については保証いたしかねます。
構成アイテム(構成管理)の利用を推奨します



複数のプロセス管理のレコードの登録では、画面 ID によりどの画面にデータを登録するかを指定できます。登録する画面は、マッピングアイテムファイルに指定可能な「画面 ID」で指定します。

操作説明 「画面 ID」の設定値は、「1.1.2 画面 ID」を参照してください。



構成アイテム管理 (ID 管理) は、メニュー：構成管理 > ID 管理 > 構成アイテム管理を指します。

操作説明

・-M：登録モード

指定した案件種別のデータをどのように一括登録するかを指定します。

コマンドの引数には「設定値」を指定してください。

案件種別名に「構成」を指定した場合を除き、省略することはできません。

案件種別名に「構成」を指定した場合、指定する必要はありません。

以下に登録モードの動作内容とその設定値を記載します。

登録モード	動作内容	設定値
新規登録処理	指定した案件種別のレコードを全て新規登録します。	001
更新処理 (追加)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードは更新されます。 ・キー項目に一致しないレコードは新規登録されます。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目に追加登録されます。	101
更新処理 (置換)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードは更新されます。 ・キー項目に一致しないレコードは新規登録されます。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目が、指定した値で全て置き換えて登録されます。	102
経過情報追加登録処理 (データ重複可)	各レコードを特定するキー項目に従い、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。キー項目にて重複するレコードが存在する場合は、その重複するすべてのレコードに経過が追加されます。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.2.5.4 データ登録時の動作設定」を参照してください キー項目だけを指定して、経過項目を指定しなくても値がすべて空の経過が追加されます。	111
経過情報追加登録処理 (データ重複不可)	各レコードを特定するキー項目のうち、案件 ID のみをキー項目として、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。	112

登録モード	動作内容	設定値
	キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合、またはキー項目にて重複するレコードが存在する場合は、該当の経過は登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.2.5.4 データ登録時の動作設定」を参照してください。 キー項目だけを指定して、経過項目を指定しなくても値がすべて空の経過が追加されます。	

案件種別ごとに利用できる登録モードは異なります。

以下に各案件種別で指定可能な登録モードと、「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」を行う場合に対象のレコードを特定するためのキー項目、補足事項について記載します。

案件種別名	新規登録処理	更新処理		経過情報追加登録処理		対象案件を特定するためのキー項目		
		追加	置換	重複可	重複不可			
プロセス管理	○ ※4	×	○ ※5※9 ※10	○	○ ※7	レコード ID	システム	データ種別 ID
イベント管理 ※6	○	×	×	×	×	—	—	—
要員管理	○	○ ※2	○ ※2	×	×	社員番号	—	—
構成アイテム(構成管理)	○	×	○ ※2	×	×	構成アイテム ID ※8	システム名 ※8	データ種別 ID
構成アイテム管理(ID管理)	○	○ ※1	○ ※1※2※3	×	×	構成アイテム ID	システム名	—
ユーザー管理	○	○ ※2	○ ※2	×	×	ユーザーID	社員番号	—

【補足事項】

- ※1 同一のキーとなるレコードが複数存在する場合は、全てのレコードが「更新処理」の対象となります。
- ※2 構成アイテム(構成管理)、構成アイテム管理(ID管理)、要員管理、ユーザー管理の「更新処理」において更新対象となる登録済みレコードが存在しない場合は、「新規登録処理」としてレコードの追加が行われます。
- ※3 構成アイテム管理(ID管理)の「更新処理(置換)」において存在しない関連構成アイテム名が指定された場合は、それまで紐付けられていた関連構成アイテムはすべて削除されます。
- ※4 プロセス管理での「新規登録処理」、「更新処理(置換)」の場合、登録モードを指定する必要はありません。
登録モードを「新規登録処理」に指定して、レコードIDが重複するレコードの内容をインポートファイルに指定した場合、レコード

- ID が重複するレコードが登録されます。
- ※5 プロセス管理での「新規登録処理」、「更新処理(置換)」の場合、登録モードを指定する必要はありません。
登録モードを「更新処理(置換)」指定して、インポートファイルに指定されたレコード ID、システム名、データ種別 ID に当てはまるレコードが存在する場合は「更新処理(置換)」、存在しない場合は「新規登録処理」となります。
ただし、更新対象となるレコードが複数存在する場合には更新処理は行われません。
 - ※6 イベント管理の場合、登録モードを指定する必要はありません。登録モードを指定しなかった場合、「新規登録処理」となります。
 - ※7 プロセス管理の「経過情報追加登録処理(重複不可)」において、対象レコードを特定するためのキー項目は「レコード ID」のみになります。追加登録対象となるレコードが複数存在する場合には経過情報追加登録処理は行われません。
 - ※8 構成アイテム(構成管理)は「最新の構成」に登録されている項目がキー項目となります。
 - ※9 [管理者メニュー]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[プロセス管理]-[コマンドからプロセス管理の申請中のレコードに対する更新操作の制御設定]の値によりデータ登録コマンドから「申請状況」が「申請中」のプロセスを更新できるかどうかを設定することができます。
 - ※10 プロセス管理での「更新処理(置換)」の場合、インポートファイルに指定されたシステム名のシステムが複数存在している場合、レコードを更新することはできません。
- **-f: インポートファイル名**
インポートファイル名はインポート対象となるレコードが記述されたファイルのフルパスを指定します。
省略することはできません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※インポートファイルの詳細については、後述の「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-T: 定義ファイルフォルダ名**
マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルが格納されているフォルダ名のパスを指定します。
マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルは、「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata」フォルダ下の同一フォルダに格納してください。
マッピングアイテムファイルの格納は必須ですが、マッピングルールファイルの格納は任意です。
コマンドで指定する定義ファイルフォルダは、「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata」からの相対パスとなります。
※マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルの詳細については、後述の「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。
※フォルダ名のパスはダブルクォートで囲んでください。
※マッピングルールファイルがコマンドラインで「-T: 定義ファイルフォルダ名」引数に指定されたフォルダに存在しない場合、マッピングルールの各設定項目は「**1.2.5.3 -3 マッピングルールファイル (MappingRule.xml)**」の(a)マッピングルールのデフォルト値で設定され、コマンド実行します。

- **-m: インポートファイル形式**
インポートファイルに記載するデータのフォーマットを指定します。
項目がダブルクォートで囲われた CSV ファイルの場合は 0 を指定してください。
項目がダブルクォートで囲われていない CSV ファイルの場合は 1 を指定してください。
この引数は省略可能です。省略された場合は「0:ダブルクォートあり」として動作します。「1:ダブルクォートなし」が指定された場合は項目に指定するデータに区切り文字に指定される文字（カンマまたはタブ）を含めることはできません。
- **--help**
Usage を表示します。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



仕様補足

データ登録コマンドから、「新規登録処理」及び「経過情報追加処理」で登録できる経過添付ファイル数は、1 経過情報につき 1 ファイルとなります。



仕様補足

イベント管理を登録する場合は、経過情報を複数件登録することはできません。



仕様補足

登録可能な「有効」ユーザー数の上限は、ライセンスに依存します。
登録時ライセンスの上限を超える場合、上限値までは「有効」ユーザーは登録されますが、上限値以降の「有効」ユーザーは登録されません。
また、「無効」ユーザーはライセンスに依存しないため上限値はありません。



仕様補足

データ登録コマンドは、画面上の編集可否、必須入力制御設定には従いません。

以下の項目の値が、同じ画面で既に登録されているかをチェックし、登録されていない場合に限りプロセスを登録できるようにすることができます。

単独チェック：タイトルまたはテキスト 1～19 から選択

複合チェック：タイトルまたはテキスト 1～19 から選択した項目と、2 連分類 1-1 または 2 連分類 2-1 の組み合わせ



仕様補足

・ [管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
入力値の重複チェック(単独チェック)1
入力値の重複チェック(単独チェック)2
入力値の重複チェック(複合チェック)1-1
入力値の重複チェック(複合チェック)1-2



制限事項

データ登録コマンドにてデータを登録した場合、

[制御情報]- [制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]-[データ登録コマンドの不正入力データ処理]の設定が

- 1、構成アイテム(構成管理)のみを制御しています。
- 2、プロセス管理、イベント管理と構成アイテム管理(ID管理)の関連項目登録する時、この制御を受けません。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。



操作説明

構成、要員、ユーザーの登録・更新においてコマンド同時実行する際は、同時実行する両方のインポートファイルの下記項目値が全て同じである場合、重複データが登録される恐れがあるため、同レコードが存在しないよう、事前にチェックしてください。

[構成] : 構成アイテム ID、システム名、データ種別 ID

[要員] : 要員 ID

[ユーザー] : ユーザーID、要員 ID

※同一インポートファイルで上記制限は有りません。



制限事項

データ登録コマンドにて大量にデータを登録した場合、データを分割して登録し、登録後に都度 DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。

例えば 1 万件のデータを登録したい場合、下記のような実行手順を推奨します。

データ登録コマンドで 1000 件データ登録

↓

DB 再構築コマンド実行

↓

データ登録コマンドで 1000 件データ登録

↓

DB 再構築コマンド実行

↓

...

↓

データ登録コマンドで 1000 件データ登録

↓

DB 再構築コマンド実行

DB 再構築コマンドの使用方法につきましては

「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。

以下のコマンドを同時実行する場合に、各コマンドで指定するデータは同時実行するコマンド同士で関連性のないデータを指定してください。

データ不整合が発生する可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド



制限事項

また、以下コマンドと同時実行しないでください。

データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・過去データ削除コマンド
- ・マスタ削除コマンド
- ・分類マスタ削除コマンド
- ・システム削除コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB再構築コマンド

1.2.5.2 実行結果

データ登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c “プロセス” -M 001 -f “C:¥ImpData.txt” -T “def1”
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

データ登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	インポートファイル内の全てのレコードが取り込めた場合
1	異常終了	引数や定義ファイルの内容、またはデータベースへの接続に異常がある場合 別のデータ登録コマンドで取り込み処理を実施している最中のインポートファイルを取り込み対象として指定した場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれません。
2	異常終了	インポートファイル内のレコードに不備があり、取り込みに失敗した場合 この場合、不備のあったレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.2.5.4 データ登録時の動作設定」を参照してください。
3	警告終了	インポートファイル内の全てのレコードの取り込みを完了したが、一部データについて補完して取り込みを行った場合 Senju Service Manager 画面内で予め決められた値を選択する項目（プルダウン形式の項目等）は、その選択肢に存在しない値が指定された場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれますが、ログに警告を出力します。例えば、プルダウンの選択肢に存在しない設定値が指定されたために、デフォルト値が採用されて登録された案件が存在する場合は、警告終了となります。 各項目のデフォルト値設定の詳細については、「1.2.5.10 指定可能フィールド情報」を参照してください。
4	警告終了	インポートファイル内の全てのレコードの取り込みを完了したが、分類項目に指定されたデータが不正である場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれますが、ログに警告を出力します。
5	警告終了	インポートファイル内の全てのレコードの取り込みを完了したが、一部データについて取り込みを行わない場合 下位バージョンのみサポートしている項目を指定した場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれますが、ログに警告を出力します。



仕様補足

正常終了・警告終了の場合は、インポート対象のレコードは全て取り込まれます。
 異常終了の場合は、インポート対象のレコードの一部または全てが取り込まれていない状態となります。
 インポートファイルの内容に不備があるために登録できなかったデータは、全件再登録対象ファイルへ出力されます。
 再登録対象ファイルについては、「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
 登録できなかったレコードを再登録する方法については、「再登録方法」を参照してください。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	処理が正常に終了しました。	データ登録コマンドが正常終了しました。	特にありません。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値またはエラー詳細)	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。コマンドオプションの詳細については、「1.2.5.1 使用方法」を参照してください。
	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	設定されたパスワードが規定桁数に達していません。	設定したユーザーのパスワード値が規定桁数に達していません。	インポートファイルのパスワード値を確認し、規定桁数に達するように変更をしてください。
	ユーザーパスワードの桁数が 33 バイト以上の場合エラーとなって、当該レコードは登録されません。	設定したユーザーのパスワード値が規定桁数を超えました。	インポートファイルのパスワード値を確認し、規定桁数を超えないように変更をしてください。
	インポートファイルの読み込みに失敗しました。	インポート対象として設定されたファイルの読み込みに失敗しました。	インポートファイルの中身を確認してください。インポートファイルについては、「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
	インポートファイルに情報が存在しません。	インポート対象として指定されたファイルにデータが記述されていません。	引数で指定したインポートファイルの中身を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
	インポートファイルが存在しません。	インポート対象として指定されたファイルが存在しません。	引数で指定したインポートファイルの存在を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルの読み込みに失敗しました。	マッピングアイテムファイルに設定されたフィールド名が不正なため読み込みに失敗しました。	引数で指定した定義ファイルフォルダ内のマッピングアイテムファイルの中身を確認してください。 マッピングアイテムファイルについて「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
1	マッピングアイテムファイルに情報が存在しません。	マッピングアイテムファイル情報が存在しません。	引数で指定した定義ファイルフォルダ内のマッピングアイテムファイルの中身を確認してください。 マッピングアイテムファイルについて「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルが存在しません。	マッピングアイテムファイルが存在しません。	引数で指定した定義ファイルフォルダの中身を確認してください。 引数で指定した定義ファイルフォルダのパスに誤りがないかを確認してください。 マッピングアイテムファイルについて「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルに同じ項目名が複数存在します。(項目名)	マッピングアイテムファイル内、(項目名)に表示された項目が複数指定されています。	マッピングアイテムファイル内に重複して指定している項目がないか確認してください。
	クラス定義ファイルの読み込みに失敗しました。	クラス定義ファイルが存在しません。	「%CCFSPDBHOME%dat¥class¥」フォルダ下に「s.j~」で始まるXMLファイルが存在するかを確認してください。
	指定されたインポートファイルは処理を実行中です。	指定されたインポートファイルは現在データ登録コマンドによって登録処理を実行中なので実行せずに終了しました。	特にありません。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
2	データの登録に失敗しました。	インポート対象データ（指定した案件情報）のデータ登録に失敗しました。	データベースが正常に稼動しているかを確認してください。 インポート対象のデータが記述されているファイルの内容に誤りが無いか確認してください。 インポートファイルについては、「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。
3	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータを補完し登録を行いました。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目をデフォルト値として登録しました。	ログに出力された項目名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。
4	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータの更新は行いませんでした。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目の更新は行いませんでした。	ログに出力された項目名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。
5	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータの登録は行いませんでした。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目の登録は行いませんでした。	ログに出力された項目名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。

1.2.5.3 ファイルの説明

データ登録コマンドの実行に必要なとなるファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象のレコードを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	マッピングアイテム ファイル	MappingItem.txt	インポート対象のレコードの各値に紐づくフィールド名を記述するファイルです。 フィールド名とは各案件種別の管理画面で確認できる各項目に対応した名前です。 各項目に対するフィールド名は「1.2.5.10 指定可能フィールド情報」を参照してください。 ファイル名は固定です。 コマンドオプションで指定した「定義ファイルフォルダ名」に格納されていない場合、エラーとなりデータの登録はできません。
3	マッピングルール ファイル	MappingRule.xml	インポート対象のレコードを解析するためのルールを記述するファイルです。 ファイル名は固定です。 コマンドオプションで指定した「定義ファイルフォルダ名」に格納されていない場合、レコードの登録はできますが、インポートファイルに記述されているデータを解析するためのルール及びインポートファイルに記述がないフィールドに対するデフォルト値は適用されません。
4	ログファイル	sjSPU_ImportData.log	データ登録コマンドから出力されるログ情報が格納されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダ下に出力されます。
5	再登録対象ファイル	ID_[YYYYMMDD]_[イン ポートファイル名]	データ登録コマンドを実行した結果、登録されなかったレコードがこのファイルに出力されます。 全てのレコードが登録された場合はこのファイルは出力されません。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象のレコードを記述します。登録するレコードを1行1レコードで指定します。

複数の案件を登録する場合は、その個数行記述します。

1行には各案件種別に対応する項目の値をカンマ区切りで列挙します。

上述したように通常区切り文字にはカンマを使用しますが、タブに変更する事も可能です。

このような記述ルールの変更を行なう場合は、マッピングルールファイルの設定を変更してください。

登録値にダブルクォート (") を含める場合は、インポートファイル形式を「0:ダブルクォートあり」とし、"に区切られた登録値に、ダブルクォートを二重で""と記載してください。

例) ダブルクォートを登録したい場合

インポートファイル: "ダブルクォート (") を登録します"

Web 画面登録値: 「ダブルクォート (") を登録します」

インポートファイルに空文字 (") を記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目を登録または更新の対象から外すことができます。

更新時、インポートファイルに半角または全角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当の項目をクリアできます。複数指定できる項目については、該当項目に登録されたデータがすべてクリアされます。

インポートファイルの記述例は「[1.2.5.7 設定ケーススタディ](#)」を参照してください。



仕様補足

複数指定が可能な項目に半角スペースと値（半角スペース、空以外）を指定した場合は、該当の項目に登録されるデータを全てクリアした後に、指定された値が登録されます。



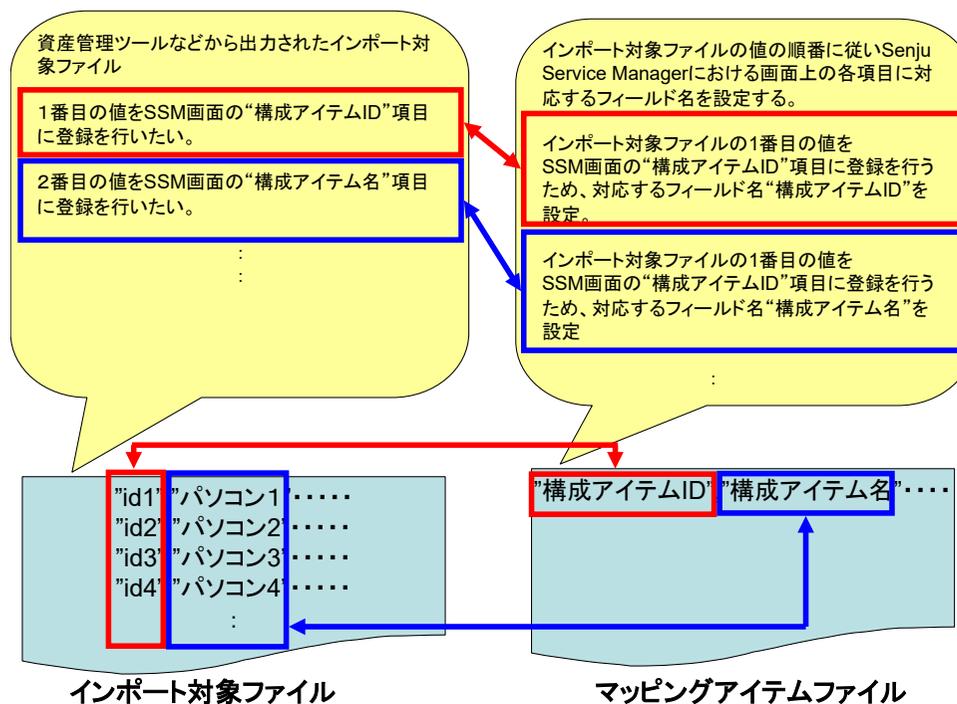
仕様補足

引数に指定されるインポートファイル形式「0:ダブルクォートあり」の場合は列挙する値は、必ず1つずつダブルクォートで囲んで記述してください。インポートファイル形式「1:ダブルクォートなし」の場合は、列挙する値をダブルクォートで囲む必要はありません。

2. マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

本ファイルはインポートファイルに記述された各項目を、各案件種別のどの項目に対応させるかの対応を記述したファイルです。インポートファイルの各項目の並びにあわせて、各項目に対応させるフィールド名を記述します。各フィールドは1つずつダブルクォートで囲い、カンマ区切りで列挙します。

以下にある資産管理ツールから出力されたデータを構成アイテムとして登録する例を用い、インポートファイルとマッピングアイテムファイルの記述方法を説明します。



マッピングアイテムファイルに空("")を記述することで、インポートファイルに記述されている該当のフィールドを登録対象から外すことができます。

以下の例は、マッピングアイテムファイルの1番目と3番目の値に空を記述した例です。
この設定によりインポートファイルに記述された1番目と3番目の値が登録対象から外れます。

例) 1番目と3番目を登録対象外に設定したマッピングアイテムファイル

```
"", "インシデント ID", "", "システム名" . . . . .
```

例) 結果インポートファイルの"*****"項目は登録対象外となる

```
"*****", "0000000000000001", "*****", "SSM 初期システム" . . . . .
"*****", "0000000000000002", "*****", "SSM 初期システム" . . . . .
"*****", "0000000000000003", "*****", "SSM 初期システム" . . . . .
```

複数の値を設定できるフィールドについては、以下の2種類の方法で記述できます。
以下に関連アカウントを2件設定する例で説明します。

(a) 同じフィールド名をマッピングアイテムファイルに複数回記述する

例) マッピングアイテムファイル(関連アカウントのフィールドを二回記述)

```
. . . . ., "関連アカウント", "関連アカウント", . . . . .
```

例) インポートファイル(関連アカウントの項目を二回記述)

```
. . . . ., "SSM1", "SSM2", . . . . .
. . . . ., "SSM3", "SSM4", . . . . .
. . . . ., "SSM5", "SSM6", . . . . .
:
```

(b) インポートファイルの値に複数の値を設定する

例) マッピングアイテムファイル(関連アカウントのフィールドを一回記述)

```
....., "関連アカウント", .....
```

例) インポートファイル(関連アカウントの項目を区切り文字で結合)

```
....."SSM1", .....
```

```
....."SSM2@$SSM3", .....
```

```
....."SSM4@$SSM5@$SSM6", .....
```

```
....."SSM7@$SSM8@$SSM9@$SSM10", .....
```

```
....."SSM11@$SSM12@$SSM13@$SSM14@$SSM15", .....
```

```
....."SSM1", .....
```

この記述方法では、一つのフィールドに対する項目を、区切り文字「@@」により結合し設定します。
なお、区切り文字には任意の文字列を設定できます。変更する場合は、マッピングルールファイル内の設定を変更してください。

3. マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

本ファイルは、データ登録コマンドがインポートファイルに記述されているデータを解析するためのルール及びインポートファイルに記述がないフィールドに対するデフォルト値の設定を記述します。

本ファイルは「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥sample」にサンプルファイルがインストールされますので、コピーして使用してください。なおインストール直後は、下図の赤枠の情報のみが記述されています。

以下にマッピングルールファイルの標準的な記述内容を記載します。

マッピングルールファイルの記述内容は、「マッピングルール」（赤枠部分）と「各案件のデフォルト値」（青枠部分）に分かれます。

例) マッピングルールファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    commentCharacters="#"
    dataLinFeed="@$$"
    linFeed="CR/LF"
    delimiter="Comma"
    multiDelimiter="@$$"
    multiDelimiter2="@#@"
    comment="Test"
    lastUpdate="2007-09-05 16:18:16">
  </sp:mappingRule>
```

```
  <sp:classes>
    <sp:classFields className="構成アイテム">
      <sp:field name="システム名">SSM 初期システム</sp:field>
      <sp:field name="登録者">SSM</sp:field>
      <sp:field name="コメント">データ登録コマンド</sp:field>
    </sp:classFields>

    <sp:classFields className="プロセス管理">
      <sp:field name="システム">SSM 初期システム</sp:field>
      <sp:field name="登録者">SSM</sp:field>
    </sp:classFields>
  </sp:classes>
</sp:sp>
```

(a) マッピングルール

インポートファイルに記述されているデータを解析するためのルールを設定します。

各タグの設定内容は以下となります。

設定項目	デフォルト値	範囲	説明
commentCharacters	#	128 byte	コメント文字。 ここで設定した文字列を、インポートファイル内の任意の行の先頭に記述することによって、その行をコメントとして扱うことができます。 コメントとなった行は登録対象として解析されません。
dataLinFeed	@\$\$	128 byte	データ改行コード。 「備考」などのテキストエリア形式の項目でデータに改行を挿入したい場合に利用します。
linFeed	CR/LF	CR/LF LF	改行コード。 案件 1 件分のデータの終端を表す改行コードを指定します。 インポートファイルを生じた環境によっては本設定の変更が必要となります。(UNIX 系の OS で生成された場合は LF と指定する。)
delimiter	Comma	Comma Tab	区切り文字。 インポートファイルの各値を区切る文字列です。 区切り文字は、「カンマ」と「タブ」が選択できます。
multiDelimiter	@\$\$@	128 byte	マルチ区切り文字。 インポートファイルの各値の中に複数の値を指定する場合に使用します。
multiDelimiter2	@#@	128 byte	経過添付ファイルのマルチ区切り文字。 インポートファイルの一つ経過に複数の経過添付ファイルを指定する場合に使用します。
comment	なし	256 byte	コメント。 任意の内容を記載します。
lastUpdate	なし	256 byte	最終更新日時。 本ファイルを更新した最後の日付を記載します。

(b) 各案件のデフォルト値

インポートファイルまたは、マッピングアイテムファイルに記述のないフィールドに関して、一括登録する際に自動で補完するデフォルト値を設定します。

対象となるフィールドは、マッピングアイテムファイルでフィールド名が指定され、かつインポートファイルに対応する値が空で設定されているフィールド、またはマッピングアイテムファイルにフィールド名が設定されていないフィールドです。

なお、フィールドが複数登録可能なフィールドで、インポートファイルに値と空の値が存在する場合は、インポートファイルの値と空の値にはデ

フォルト値の両方が登録されます。

設定項目名称	範囲	説明
sp:classFields className="案件種別名"	プロセス管理 イベント管理 要員 構成アイテム 構成 ユーザー	デフォルト値を設定する案件種別名を設定します。 このタグは案件種別数分記述でき、 デフォルト値を設定したいフィールドとデフォルト値のペアは、 このタグの中に入れ子で記述します。
<sp:field name="フィールド名">値</sp:field>	4000 byte	対象となるフィールド名とデフォルト値を設定します。 このタグの内容は各案件種別のフィールド数分記述できます。

4. 再登録対象ファイル

データ登録コマンドを実行した結果、登録されなかったレコードが再登録対象ファイルとして出力されます。全てのレコードが登録された場合はこのファイルは出力されません。出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

コマンド実行時に引数に指定されたインポートファイルと同じフォルダ

出力ファイル名

ID_[YYYYMMDD]_[インポートファイル名]

ID_ : 固定出力

[YYYYMMDD] : コマンドを実行した日付

[インポートファイル名] : コマンド実行時に引数に指定されたインポートファイル名

例) インポートファイル名が「ProcessImportFile.csv」、2009年4月1日にコマンド実行し失敗した場合。
ID_20090401_ProcessImportFile.csv

また、データ登録時の動作設定値によりファイルに出力されるレコードが異なります。動作設定値については後述の「**1.2.5.4 データ登録時の動作設定**」を参照してください。

1.2.5.4 データ登録時の動作設定

データ登録コマンドでは以下の2つの動作設定値により、指定されたレコードの登録を制御します。
初期設定では「interrupt」に設定されています。

動作設定値	動作内容
interrupt (初期設定値)	インポートファイルに指定されるレコードを1行目から順に登録します。 あるレコードにおいてデータ不備などにより登録されなかった場合は、 そのレコードとそれ以降に記載されているレコードの登録を行わずにコマンドが終了します。 登録されなかったレコードよりも前に指定されるレコードは全て登録されます。 登録されなかったレコード以降全てのレコードが再登録対象ファイルとして出力されます。
continue	インポートファイルに指定されるレコードを1行目から順に登録します。 あるレコードにおいて登録ができなかった場合は、 そのレコードをファイルに出力して、以降のレコードの登録を実行します。 登録されなかった全てのレコードが再登録対象ファイルとして出力されます。

動作設定値は以下のファイルに記載される設定値を編集することで変更できます。

ファイル名

```
%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥sjSPU_ImportData.xml
```

変更対象となる設定項目

```
transmissionType
```

例) 動作設定値を「continue」へ変更

```
transmissionType="interrupt"  
↓ ↓ ↓  
transmissionType="continue"
```



仕様補足

動作設定値を変更した場合、データ登録コマンドにて指定可能な案件種別の登録動作が変更されます。
プロセス管理は「interrupt」、構成アイテム(構成管理)は「continue」で動作させたい場合は、
各案件種別の実行都度、動作設定値を変更してください。

1.2.5.5 再登録方法

インポートファイルに記載されるレコードの登録に失敗した場合に、失敗したレコードを再登録する為の手順を説明します。再登録の手順は、指定した案件種別名と登録モードにより異なります。以下の表を参照して、適切に再登録を実施してください。

案件種別名	新規登録処理	更新処理		経過情報 追加登録処理
		追加	置換	
プロセス管理	1	—	1	1
イベント管理	1	—	—	—
要員管理	1	1	1	—
構成アイテム管理(ID管理)	2	2	2	—
構成アイテム(構成管理)	2	—	2	—
ユーザー管理	1	1	1	—

「1」の場合 : 「再登録手順1」を参照して、再登録を実施してください。
「2」の場合 : 「再登録手順2」を参照して、再登録を実施してください。

1. 再登録手順 1

登録に失敗したレコード及び未登録のレコードはコマンド終了時に再登録対象ファイルに出力されます。
再登録対象ファイルについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

手順 1

再登録対象ファイルを開き、ファイル内容を適切なデータに編集します。
編集が完了したらファイルを保存して閉じます。

手順 2

編集した再登録対象ファイルを使用してデータ登録コマンドを再度実行します。
指定する登録モードは、前回実行時と同じ登録モードを指定します。

例) プロセス管理のデータ登録に失敗した場合

新規登録する情報：

以下に新規登録するプロセス情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	01000002
レコード ID	(なし)
システム	営業システム
タイトル	営業担当地区管理
起票者	a-nomura
5 連分類-1	国内
5 連分類-2	首都圏
5 連分類-3	東京都
5 連分類-4	中央区
5 連分類-5	銀座
エスカレーション先	t-nomura
エスカレーションコメント	確認願います。
選択ユーザー1	ABC-00000001@\$@ABC-00000002

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

- インポートファイル (C:\¥ImportProcessData.csv)
データ種別 ID に指定するデータが不正でエラーとなる場合

```
0100000,, 営業システム, 営業担当地区管理, a-nomura, 国内, 首都圏, 東京都, 中央区, 銀座, t-nomura, 確認願います。 , ABC-00000001@$@ABC-00000002
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID", "レコード ID", "システム", "タイトル", "起票者", "5 連分類-1", "5 連分類-2", "5 連分類-3", "5 連分類-4", "5 連分類-5", "エスカレーション先", "エスカレーションコメント", "選択ユーザー1"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-1 プロセス管理**」参照してください。
マッピングルールファイルは未作成とします。

実施する処理：

プロセス管理にプロセスのレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。
実行した日時は 2014 年 5 月 1 日とします。

```
C:\¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:\¥ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:\¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:\¥ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1  
登録されなかったデータをファイルに出力しました。  
C:\¥ID_20140501_ImportProcessData.csv  
データ登録に失敗しました。  
C:\¥TEMP>
```

手順 1

- 再登録対象ファイル (C:\¥ID_20140501_ImportProcessData.csv)

```
0100000, , 営業システム, 営業担当地区管理, a-nomura, 国内, 首都圏, 東京都, 中央区, 銀座, t-nomura, 確認願います。 , ABC-00000001@$@ABC-00000002
```

上記の通りに出力されるため、不正にしていた箇所(上記太字のデータ種別 ID)を修正し、上書き保存します。

- 修正後再登録対象ファイル (C:\¥ID_20140501_ImportProcessData.csv)

```
01000002, , 営業システム, 営業担当地区管理, a-nomura, 国内, 首都圏, 東京都, 中央区, 銀座, t-nomura, 確認願います。 , ABC-00000001@$@ABC-00000002
```

手順 2

実施する処理 :

修正した再登録対象ファイルを指定し、コマンドを実行します。

```
C:\¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:\¥ID_20140501_ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1
```

実施後の処理結果 :

```
C:\¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:\¥ID_20140501_ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:\¥TEMP>
```

2. 再登録手順 2

登録に失敗したレコード及び未登録のレコードはコマンド終了時に再登録対象ファイルに出力されます。
再登録対象ファイルについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

手順 1

再登録対象ファイルを開き、ファイルを適切なデータに編集します。
編集が完了したらファイルを保存して閉じます。

手順 2

編集した再登録対象ファイルを使用してデータ登録コマンドを再度実行します。
指定する登録モードは、前回実行時と同じ登録モードを指定します。

手順 3

全件正常に登録できるまで手順 1～手順 2 を繰り返します。

手順 4

インポートファイルを開き、手順 2 で編集した内容を全て反映させます。
その後、インポートファイル内に指定されている添付ファイルを全て空("")にします。
この手順を省略した場合、同一の添付ファイルが複数件登録されますのでご注意ください。
編集が完了したらファイルを保存して閉じます。

手順 5

編集したインポートファイルを使用してデータ登録コマンドを再度実行します。
指定する登録モードは、「更新処理（追加）」を指定します。

例) 構成管理のデータ登録に失敗した場合 (警告終了データの混在)

新規登録する情報:

登録対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)	(3 件目)
データ種別 ID	04000001	04000001	04000002
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10100002	CI-ID10200001
構成アイテム名	営業担当 PC 管理	サーバーA 管理	サーバーB 管理
システム名	営業システム	営業システム	営業システム
構成変更日	20140401	(なし)	20140401
構成変更時刻	0930	(なし)	1200
設置場所	フロア貸出管理ルーム	6階サーバールーム A-1	6階サーバールーム B-1
設置日 (From)	(なし)	20140201	20140330
設置日 (To)	(なし)	20200101	20250331
添付ファイル 1	(なし)	C:¥temp¥ServerA.txt	C:¥temp¥ServerB.txt
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001	(なし)	(なし)
関連構成 (データ種別 ID)	04000002	(なし)	(なし)
選択ユーザー1	(なし)	ABC-00000001	(なし)
選択ユーザー2	(なし)	(なし)	ABC-00000001@\$@ABC-00000002
予定起票	新規予定	新規予定	新規予定
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

・インポートファイル (C:¥ImportCI.csv)

1 件目は関連構成が登録されず警告終了となります。

2 件目は設置日 (From) に指定するデータが不正で警告終了、3 件目はシステムに指定するデータが不正でエラー終了となる場合

```
"04000001","CI-ID10100001","営業担当 PC 管理","営業システム","20140401","0930","フロア貸出管理ルーム",
,"",,"","CI-ID10200001","04000002","",,""
"04000001","CI-ID10100002","サーバーA 管理","営業システム","",,"","6階サーバールーム A-1",
,"20140201","20200101","C:¥temp¥ServerA.txt","",,"","ABC-00000001",""
"04000002","CI-ID10200001","サーバーB 管理","営業 system","20140401","1200","6階サーバールーム B-1",
,"20140330","20250331","a-nomura","",,"","ABC-00000001@$@ABC-00000002"
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

“データ種別 ID”, “構成アイテム ID”, “構成アイテム名”, “システム名”, “構成変更日”, “構成変更時刻”, “設置場所”, “設置日 (From)”, “設置日 (To)”, “管理責任者”, “関連構成 (構成 ID)”, “関連構成 (データ種別 ID)”, “選択ユーザー1”, “選択ユーザー2”

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-4 構成管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<sp:classes>  
  <sp:classFields className="構成">  
    <sp:field name="予定起票">新規予定</sp:field>  
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>  
  </sp:classFields>  
</sp:classes>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容となっています。
ファイル内における記述ルールの詳細については「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理にレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。
実行した日時は2014年4月1日とします。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"  
登録されなかったデータをファイルに出力しました。  
C:¥ID_20140401_ImportCIData.csv  
データ登録に失敗しました。  
C:¥TEMP>
```

この際、1件目のデータは登録されますが、関連構成に指定したデータは3件目が登録されていないため登録されません。
2件目のデータも登録されますが、設置日(From)に指定したデータは登録されません。

手順 1

- 再登録対象ファイル (C:¥ID_20140401_ImportCIData.csv)

```
"04000002", "CI-ID10200001", "サーバーB 管理", "営業 system", "20140401", "1200", "6 階サーバールーム B-1", "20140330", "20250331", "a-nomura", "", "", "", "ABC-00000001@$@ABC-00000002"
```

上記の通りに出力されるため、不正にしていた箇所(上記太字のシステム名)を修正し、上書き保存します。

- 修正後再登録対象ファイル (C:¥ID_20140401_ImportCIData.csv)

```
"04000002", "CI-ID10200001", "サーバーB 管理", "営業システム", "20140401", "1200", "6 階サーバールーム B-1", "20140330", "20250331", "a-nomura", "", "", "", "ABC-00000001@$@ABC-00000002"
```

手順 2～3

実施する処理：

修正した再登録対象ファイルを指定し、コマンドを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ID_20140401_ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ID_20140401_ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"  
正常に処理が終了しました。  
C:¥TEMP>
```

手順 4

- インポートファイル (C:¥ImportCIData.csv)

```
"04000001","CI-ID10100001","営業担当 PC 管理","営業システム","20140401","0930","フロア貸出管理ルーム",
,"","","","CI-ID10200001","04000002","",""
"04000001","CI-ID10100002","サーバーA 管理","営業システム","","","6 階サーバールーム A-
1","201402011","20200101","C:¥temp¥ServerA.txt","","","ABC-00000001",""
"04000002","CI-ID10200001","サーバーB 管理","営業 system","20140401","1200","6 階サーバールーム B-
1","20140330","20250331","a-nomura","","","","ABC-00000001@$@ABC-00000002"
```

上記の通り 2 件目の不正箇所(上記太字の設置日(From))を修正し、3 件目は修正した再登録対象ファイル通りに上書き保存します。
※構成アイテム管理(ID 管理)ではないため、添付ファイル項目はそのままとします。

- 修正後インポートファイル (C:¥ImportCIData.csv)

```
"04000001","CI-ID10100001","営業担当 PC 管理","営業システム","20140401","0930","フロア貸出管理ルーム",
,"","","","CI-ID10200001","04000002","",""
"04000001","CI-ID10100002","サーバーA 管理","営業システム","","","6 階サーバールーム A-
1","20140201","20200101","C:¥temp¥ServerA.txt","","","ABC-00000001",""
"04000002","CI-ID10200001","サーバーB 管理","営業システム","20140401","1200","6 階サーバールーム B-
1","20140330","20250331","a-nomura","","","","ABC-00000001@$@ABC-00000002"
```

手順 5

実施する処理：

修正したインポートファイルを指定し、コマンドを実行します。

※構成アイテム管理 (ID 管理) ではないため、登録モードは不要です。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"  
正常に処理が終了しました。  
C:¥TEMP>
```

上記処理終了後、1 件目の関連構成に指定したデータが登録されます。

また、2 件目の設置日 (From) に指定したデータが登録されます。



仕様補足

構成アイテム (構成管理)、構成アイテム管理 (ID 管理) の再登録手順は、関連項目の登録を行うため再登録手順 1 と異なる手順となっています。

再登録手順 2 に記載されている手順以外を実施された場合、

一例として、“関連構成” “関連機器” “接続先機器” 項目が登録されない場合があります。

1.2.5.6 構成管理の登録可否一覧

ここではデータ登録コマンドにおける案件種別「構成アイテム(構成管理)」の登録状況におけるデータ登録コマンドの実施可否について一覧に示します。

構成管理全体の仕様については別紙「資料集」の仕様まとめを参照してください。

登録状況については以下表を参照してください。

登録状況	説明
データなし	インポートファイルに指定された構成アイテム ID が Web 画面に登録されていない状況です。
新規予定	新規予定が登録されている、かつ本登録未実施の状況です。
変更予定	変更予定が登録されている、かつ本登録未実施の状況です。
削除予定	削除予定が登録されている、かつ本登録未実施の状況です。
予定なし	構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe) の実施が完了している、または、データ登録コマンドより「新規反映」「変更反映」の実施が完了している状態です。

登録状況については以下表を参照してください。

登録状況	説明
E	エラーとなるため、構成アイテムの登録は行えません。
U	登録されている最新の構成アイテムが更新されます。
新規予定起票	新規予定が最新の構成に起票されます。
変更予定起票	変更予定が最新の構成に起票されます。
削除予定起票	削除予定が最新の構成に起票されます。
新規反映起票	新規予定が現在の構成・最新の構成に起票されます。 予定なしの状態となるため、構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe) の実行は不要です。
変更反映起票	変更予定が現在の構成・最新の構成に起票されます。 ただし、「変更予定」または「削除予定」が起票されている場合は現在の構成のみ起票されます。 予定なしの状態となるため、構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe) の実行は不要です。
削除反映起票	削除予定が現在の構成・最新の構成に起票されます。 予定なしの状態となるため、構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe) の実行は不要です。

実施可否については以下表を参照してください。

予定起票	登録状況				
	データなし	新規予定	変更予定	削除予定	予定なし
新規予定	新規予定起票	U	E	E	E
変更予定	E、または、 新規予定起票 ※1	E	U	U	変更予定起票
削除予定	E	E	U	U	削除予定起票
新規反映	新規反映起票	E	E	E	E
変更反映	E、または、 新規反映起票 ※1	E	変更反映起票	変更反映起票	変更反映起票
削除反映	E	E	E	E	削除反映起票



操作説明

※1…管理項目「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」の管理項目値を「新規登録を行う」と設定した場合、新規登録されます。

構成管理の登録に関する共通設定の説明は「1.2.5.7 設定ケーススタディ」を参照してください。

※2…管理項目「コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定」の管理項目値を「既存の予定起票を更新せずエラーにする」と設定した場合、エラーになります。

構成管理の登録に関する共通設定の説明は「1.2.5.7 設定ケーススタディ」を参照してください。

1.2.5.7 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な登録手順を示します。

No	タイトル
1	プロセス管理のレコードを新規に登録する
2	プロセス管理のレコードをクローズ更新する
3	プロセス管理のレコードに経過を追加する
4	プロセス管理のレコードに表項目に登録する
5	イベント管理のレコードを新規に登録する
6	イベント管理のレコードを表項目に登録する
7	要員情報を新規に登録する
8	イベント管理のレコードを表項目に登録する
9	ユーザー情報に職責・グループを追加する
10	ユーザー情報を更新する
11	構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票する
12	構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新する
13	構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する
14	構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新、即反映する
15	構成アイテム(構成管理)のレコード(削除予定)を起票、即反映する
16	構成アイテム管理(ID管理)のレコードを新規に登録する
17	構成アイテム管理(ID管理)のレコードを更新する

以下に構成アイテム（構成管理）の制御情報の共通設定を説明します。

共通設定：

構成管理の登録において、以下3つの制御情報の設定が必要です。



仕様補足

制御情報は構成アイテム管理毎に設定できます。
登録したい構成アイテム管理の管理項目値を変更してください。

- 承認申請の設定

登録後 Web 画面での承認申請が必要な構成アイテムか、承認申請が不要な構成アイテムかを選択できます。

設定方法は管理者メニュー画面に遷移し[制御情報>制御情報>制御情報>利用者メニュー>構成管理]を選択してください。

管理項目名「コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定」の管理項目値を変更してください。

管理項目値は以下に示します。

管理項目値	説明
承認申請を利用する	インストール時は「承認申請を利用する」と設定されています。 データ登録コマンドより構成アイテムの予定起票が登録もしくは更新された場合、承認申請を利用しないと本登録できません。 登録した際 Web 画面の「承認ステータス」項目は Web 画面から登録した場合と同様に「申請起票前」と表示されます。
承認申請を利用しない	データ登録コマンドより構成アイテムの予定起票が登録もしくは更新された場合、承認申請を利用せず本登録できます。 登録した際 Web 画面の「承認ステータス」項目は「承認不要」と表示されます。

- 予定起票の種類別登録設定(対象予定起票区分：変更予定、変更反映)

該当の予定起票区分で登録する際に対象の構成アイテムが存在しない場合、新規に構成アイテムを登録するか、登録しないかを選択できます。

設定方法は管理者メニュー画面に遷移し[制御情報>制御情報>制御情報>利用者メニュー>構成管理]を選択してください。

管理項目名「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」の管理項目値を変更してください。

管理項目値は以下に示します。

管理項目値	説明
新規登録を行わない	インストール時は「新規登録を行わない」と設定されています。 インポートファイルに存在しない構成アイテム ID が指定された場合はエラーとし、登録できません。
新規登録を行う	インポートファイルに存在しない構成アイテム ID が指定された場合、構成アイテムの新規登録を行います。



仕様補足

「新規登録を行う」と設定している際、予定起票が「変更予定」であれば「新規予定」、
「変更反映」であれば「新規反映」が指定された場合と同様の処理となります。

- 予定起票の種類別登録設定(対象予定起票区分：新規予定、変更予定、変更反映、削除予定)
該当の予定起票区分で登録する際に対象の構成アイテムが存在する場合、既存の構成アイテムを更新するか、更新しないかを選択できます。設定方法は管理者メニュー画面に遷移し[制御情報>制御情報>制御情報>利用者メニュー>構成管理]を選択してください。管理項目名「コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定」の管理項目値を変更してください。管理項目値は以下に示します。

管理項目値	説明
既存の予定起票を更新する	インストール時は「既存の予定起票を更新する」と設定されています。 コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際、既存の予定起票を更新します。
既存の予定起票を更新せずエラーにする	コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際、既存の予定起票を更新せずエラーになります。

1. プロセス管理のレコードを新規に登録する

前提条件：

対象案件種別名は「プロセス管理」、対象画面はプロセス管理 1 とします。

2つの経過が登録されているレコードの登録を記載します。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥ImportProcessData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「processMapFile1」とします。

[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[プロセス管理]の「ID ルール設定」は「年月日 (YYYYMMDD)+左 0 詰め」とします。

当ケーススタディ実施時、プロセス管理には 20 件データが登録されているとします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
5 連分類 1-1	国内
5 連分類 1-2	首都圏
5 連分類 1-3	東京都
5 連分類 1-4	中央区
5 連分類 1-5	銀座
構成アイテム管理 (ID 管理)	製品 xx 管理
アカウント管理	Account001
経過コンボボックス	売上報告
ユーザー	a-nomura (社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura (社員番号は ABC-00000002)

添付ファイルは以下フルパスの通り作成が必要です。当ケーススタディでは以下ファイルを使用します。

(項目名)	(値)
経過添付ファイル	C:\¥temp¥売上報告書 (~20140310). doc
	C:\¥temp¥売上報告書 (~20140320). doc

新規登録する情報：

以下に新規登録するプロセス情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	01000001
レコード ID	(なし)
システム	営業システム
タイトル	【2014 年 3 月】製品 xx 管理
ステータス	(なし)
起票者	a-nomura
起票日	(なし)
起票時刻	(なし)
開始日	20140301
開始時刻	090000
5 連分類 1-1	国内
5 連分類 1-2	首都圏
5 連分類 1-3	東京都
5 連分類 1-4	中央区
5 連分類 1-5	銀座
エスカレーション先	t-nomura
エスカレーションコメント	確認願います。
選択ユーザー1	ABC-00000001@\$ABC-00000002
関連構成アイテム 1	製品 xx 管理
関連アカウント	Account001
経過タイトル	3 月上旬報告@\$3 月中旬報告
経過チャネル	打ち合わせ@\$メール
経過内容	3/1~3/10 まで@\$訪問社数：xx 社@\$販売数： xx@\$3/11~3/20 まで@\$訪問社数：xx 社@\$販売数： xx
経過コンボボックス 1	売上報告@\$売上報告
経過添付ファイル	C:\temp\売上報告書(~20140310).doc@\$C:\temp\売上 報告書(~20140320).doc

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-1 プロセス管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示したプロセス情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\¥ImportProcessData.csv)

01000001,,【2014年3月】製品 xx 管理,, a-nomura,, 20140301,090000,国内,首都圏,東京都,中央区,銀座, t-nomura, 確認
願います。 , ABC-00000001@\$@ABC-00000002, 製品 xx 管理, Account001, 3月上旬報告@\$@3月中旬報告, 打ち合わせ@\$@メー
ル, 3/1~3/10 まで@@\$\$訪問社数 : xx 社@@\$\$販売数 : xx@\$@3/11~3/20 まで@@\$\$訪問社数 : xx 社@@\$\$販売数 : xx, 売上報告
@\$@売上報告, C:\¥temp¥売上報告書(~20140310).doc@\$@C:\¥temp¥売上報告書(~20140320).doc

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

“データ種別 ID”, “レコード ID”, “タイトル”, “ステータス”, “起票者”, “起票日”, “起票時刻”, “開始日”, “開始時刻”, “5 連分
類-1”, “5 連分類-2”, “5 連分類-3”, “5 連分類-4”, “5 連分類-5”, “エスカレーション先”, “エスカレーションコメント”, “選択
ユーザー1”, “関連構成アイテム 1”, “関連アカウント”, “経過タイトル”, “経過チャンネル”, “経過内容”, “経過コンボボックス
1”, “経過添付ファイル”

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="プロセス管理">
    <sp:field name="システム">営業システム</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

プロセス管理にプロセスのレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

実行した日時は2014年4月1日、10時15分23秒とします。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:¥ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:¥ImportProcessData.csv" -T "processMapFile1" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容のプロセスのレコードが新規登録されます。
 (なし) と指定した項目は以下の通りに値が埋めて登録されます。

登録済データ抜粋 (項目名)	(1 件目) (値)
レコード ID	20140401-0000021
ステータス	新規
起票日	2014/04/01
起票時刻	10:15:23

経過情報は以下の通り、2つの経過が登録されます。

登録済データ抜粋 (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
経過タイトル	3月上旬報告@\$@	3月中旬報告
経過チャンネル	打ち合わせ@\$@	メール
経過内容	3/1~3/10 まで 訪問社数：xx 社 販売数：xx	3/11~3/20 まで 訪問社数：xx 社 販売数：xx
経過コンボボックス 1	売上報告@\$@	売上報告
経過添付ファイル	C:\temp¥売上報告書(~20140310).doc	C:\temp¥売上報告書(~20140320).doc

2. プロセス管理のレコードをクローズ更新する

前提条件：

対象案件種別名は「プロセス管理」、対象画面はプロセス管理 1 とします。

「1.2.5.7-1 プロセス管理のレコードを新規に登録する」で登録されたプロセスに対し、以下データを追加後、クローズします。

- ・関連構成を複数追加する。
- ・ラジオボタンを追加する。

登録モードは「102」（更新置換処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥CloseProcessData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「processMapFile2」

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
構成アイテム (構成管理)	CI-ID10100001 (構成管理 1 に登録)
	CI-ID10200001 (構成管理 2 に登録)
	CI-ID10300001 (構成管理 3 に登録)
	CI-ID10300002 (構成管理 3 に登録)
ラジオボタン 1	閲覧可能
クローズ種別	確認完了

更新する情報：

以下に更新するプロセス情報を記載します。

登録対象データ (項目名)	(1 件目) (値)
データ種別 ID	01000001
レコード ID	20140401-0000021
システム	営業システム
ステータス	クローズ
ラジオボタン 1	閲覧可能
関連構成 1 (構成 ID)	CI-ID10100001@\$@CI-ID10200001
関連構成 1 (データ種別 ID)	04000001@\$@04000002
関連構成 2 (構成 ID)	CI-ID1030000@\$@CI-ID10300002
関連構成 2 (データ種別 ID)	04000003@\$@04000003
クローズ日	20140410
クローズ時刻	180005
クローズ者	a-nomura
クローズ種別	確認完了
クローズ理由	確認が完了しました。@@\$\$クローズしますが閲覧可能とします。

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-1 プロセス管理」を参照してください。

- インポートファイル (C:\CloseProcessData.csv)

```
"01000001","20140401-0000021","クローズ","閲覧可能","CI-ID10100001@$@CI-
ID10200001","04000001@$@04000002","CI-ID1030000@$@CI-
ID10300002","04000003@$@04000003","20140410","180005","a-nomura","確認完了","確認が完了しました。@@$$クローズ
しますが閲覧可能とします。"
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID", "レコード ID", "ステータス", "ラジオボタン1", "関連構成 1 (構成 ID)", "関連構成 1 (データ種別 ID)", "関連構成 2 (構成 ID)", "関連構成 2 (データ種別 ID)", "クローズ日", "クローズ時刻", "クローズ者", "クローズ種別", "クローズ理由"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="プロセス管理">
    <sp:field name="システム">営業システム</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。
「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

プロセス管理を更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 102 -f "C:¥CloseProcessData.csv" -T "processMapFile2"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 102 -f "C:¥CloseProcessData.csv" -T "processMapFile2"  
正常に処理が終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「更新する情報」で示した内容のプロセスのレコードが更新されます。

3. プロセス管理のレコードに経過を追加する

前提条件：

対象案件種別名は「プロセス管理」、対象画面はプロセス管理 1 とします。

「1.2.5.7-1 プロセス管理のレコードを新規に登録する」で登録されたプロセスに対し、以下のとおり経過情報を 2 件追加します。

- ・関連構成を複数追加する。
- ・ラジオボタンを追加する。

登録モードは「111」（経過追加処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥AddProcessData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「processMapFile3」

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
経過コンボボックス 2	未報告

経過追加する情報：

以下に経過追加するプロセス情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	(値)
データ種別 ID	01000001	01000001
レコード ID	20140401-0000021	20140401-0000021
システム	営業システム	営業システム
経過タイトル	3 月下旬報告	4 月売上予定
経過チャネル	電話	メール
経過内容	当経過の日付・時刻項目に記載した日時までに報告いたします。	4 月の売上予定を報告します。 売上ノルマは 50 社です。
経過コンボボックス 1	売上報告	売上報告
経過コンボボックス 2	未報告	報告予定
経過日付テキスト 1	20140405	20140405
経過時刻テキスト 1	123000	180120
経過添付ファイル	(なし)	(なし)

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-1 プロセス管理」を参照してください。

- ・インポートファイル (C:\¥AddProcessData.csv)

```
"01000001","20140401-0000021","3 月下旬報告@$@4 月上予定","電話@$@メール","当経過の日付・時刻項目に記載した日時までに報告いたします。@$@4 月の売上予定を報告します。@$@$売上ノルマは 50 社です。","売上報告@$@売上報告","未報告@$@報告予定","20140405@$@20140405","123000@$@180120",""
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID","レコード ID","経過タイトル","経過チャネル","経過内容","経過コンボボックス 1","経過コンボボックス 2","経過日付テキスト 1","経過時刻テキスト 1","経過添付ファイル"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。フィールド名については「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

- ・マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>  
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">  
  <sp:mappingRule  
    ※マッピングルール部分省略※  
  >  
</sp:mappingRule>  
<sp:classes>  
  <sp:classFields className="プロセス管理">  
    <sp:field name="システム">営業システム</sp:field>  
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>  
  </sp:classFields>  
</sp:classes>  
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

プロセス管理を更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 111 -f "C:¥AddProcessData.csv" -T "processMapFile3"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 111 -f "C:¥AddProcessData.csv" -T "processMapFile3"  
正常に処理が終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「経過追加する情報」で示した内容のプロセスのレコードに経過が追加登録されます。

4. プロセス管理のレコードに表項目を登録する

前提条件：

対象案件種別名は「プロセス管理」、対象画面はプロセス管理 1 とします。

「1.2.5.7-1 プロセス管理のレコードを新規に登録する」で登録されたプロセスに対し、以下のとおり表項目情報を登録します。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥AddProcessTableData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「processMapFile4」

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)	(値)
アカウント管理	Account005	Account006
表項目 1: コンボボックス 1	売上報告	報告中
表項目 1: コンボボックス 2	未報告	報告済

表項目登録する情報：

以下に表項目登録するプロセス情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	値	値
データ種別 ID	01000001	01000001
レコード ID	20140401-0000021	20140401-0000021
システム	営業システム	営業システム
表項目 1 テキスト 1	12 月末までに売上報告書が修正完了を 予定します	売上報告書が修正中です
表項目 1 テキスト 2	1 月の売上予定を報告します	売上報告書の詳細内容を記載します
表項目 1 テキスト 3	売上報告書の日付・時刻項目に記載した 日時までに報告いたします。	記載内容を確認してください
表項目 1 コンボボックス 1	売上報告	報告中
表項目 1 コンボボックス 2	未報告	報告済
表項目 1 日付テキスト 1	20210101	20210101
表項目 1 時刻テキスト 1	123000	123000
表項目 1 選択ユーザー 1	Account005	Account006
表項目 1 問合せ元 ID	Inquiry0001	Inquiry0002

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-1 プロセス管理」を参照してください。

- ・インポートファイル (C:\¥ AddProcessTableData.csv)

```
"01000001","20140401-0000021","営業システム","12 月末までに売上報告書が修正完了を予定します@$@売上報告書が修正中です","1 月の売上予定を報告します@$@売上報告書の詳細内容を記載します","売上報告書の日付・時刻項目に記載した日時までに報告いたします。@$@記載内容を確認してください","売上報告@$@報告中","未報告@$@報告済","20210101@$@20210101","123000@$@123000","Account005@$@Account006","Account005@$@Account006","Inquiry0001@$@ Inquiry0002"
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID","レコード ID","システム","表項目 1 テキスト 1","表項目 1 テキスト 2","表項目 1 テキスト 3","表項目 1 コンボボックス 1","表項目 1 コンボボックス 2","表項目 1 日付テキスト 1","表項目 1 時刻テキスト 1","表項目 1 選択ユーザー 1","表項目 1 問合せ元 ID "
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

- ・マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>  
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">  
  <sp:mappingRule  
    ※マッピングルール部分省略※  
  >  
</sp:mappingRule>  
<sp:classes>  
  <sp:classFields className="プロセス管理">  
    <sp:field name="システム">営業システム</sp:field>  
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>  
  </sp:classFields>  
</sp:classes>  
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

プロセス管理を更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:¥AddProcessTableData.csv " -T "processMapFile4" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c プロセス管理 -M 001 -f "C:¥ AddProcessTableData.csv " -T "processMapFile4" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「表項目登録する情報」で示した内容のプロセスのレコードに表項目が追加登録されます。

5. イベント管理のレコードを新規に登録する

前提条件：

対象案件種別名は「イベント管理」1とします。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥ImportEventData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「eventMapFile」

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
緊急度	緊急
優先度	通常
コンボテキスト1	調査依頼
2 連分類 1-1	問合せ
2 連分類 1-2	製品について
構成アイテム管理 (ID 管理)	製品 xx 管理
関連アカウント	Account002
構成アイテム (構成管理)	GI-ID00000001 (構成管理 1 に登録)
経過コンボボックス	要返信
ユーザー	a-nomura (社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura (社員番号は ABC-00000002)

添付ファイルは以下フルパスの通り作成が必要です。当ケーススタディでは以下ファイルを使用します。

(項目名)	(値)
添付用ファイル	C:¥製品 xx 運用マニュアル.pdf
	C:¥製品問合せ詳細.txt

新規登録する情報：

以下に新規登録するイベント情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	03000001
レコード ID	0000000000000001
システム	営業システム
タイトル	製品 xx について

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
緊急度	緊急
優先度	通常
申請者会社名	会社 OPQ
申請者組織名	育成管理課
申請者氏名	千手洋子
申請者氏名カナ	センジュヨウコ
申請者電話番号	03-1111-1234
申請者メールアドレス	y-senju-sub@xxxx.jp
コンボテキスト 1-コンボボックス	調査依頼
コンボテキスト 1-テキスト	(なし)
参考 URL1	http://sample-xx/ccfsp
開始日	20140401
開始時刻	091930
2 連分類 1-1	問合せ
2 連分類 1-2	製品について
選択ユーザー1	ABC-00000001
添付ファイル 1	C:\製品 xx 運用マニュアル.pdf
関連構成アイテム 1	製品 xx 管理
関連アカウント	Account002
関連構成 1 (構成 ID)	CI-ID00000001
関連構成 1 (データ種別 ID)	04000001
送信元アドレス	y-senju@xxxx.jp
送信元	会社 OPQ 育成管理課
経過タイトル	製品 xx について (詳細)
経過対応日	20140401
経過対応者	t-nomura
経過チャンネル	電話
経過内容	製品 xx の詳細についてご教授願います。@@\$\$
経過コンボボックス 1	要返信
経過テキスト 1	返信は y-senju-sub@xxxx.jp へお願い致します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
経過添付ファイル	C:¥製品問合せ詳細.txt

イベント管理は経過情報を複数登録することはできません。

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「**1.3.6-2 イベント管理**」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示したイベント情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- インポートファイル (C:¥ImportEventData.csv)

```
"03000001","0000000000000001","営業システム","製品 xx について","緊急","通常","会社 OPQ","育成管理課","千手洋子","センジュヨウコ","03-1111-1234","y-senju-sub@xxxx.jp","調査依頼","","http://sample-xx/ccfsp","20140401","091930","問合せ","製品について","ABC-00000001","C:¥製品 xx 運用マニュアル.pdf","製品 xx 管理","Account002","CI-ID00000001","04000001","y-senju@xxxx.jp","会社 OPQ 育成管理課","製品 xx について (詳細)","20140401","t-nomura","電話","製品 xx の詳細についてご教授願います。@@$$","要返信","返信は y-senju-sub@xxxx.jp へお願致します。","C:¥製品問合せ詳細.txt"
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID","レコード ID","システム","タイトル","緊急度","優先度","申請者会社名","申請者組織名","申請者氏名","申請者氏名カナ","申請者電話番号","申請者メールアドレス","コンボテキスト1-コンボボックス","コンボテキスト1-テキスト","参考 URL1","開始日","開始時刻","2 連分類 1-1","2 連分類 1-2","選択ユーザー1","添付ファイル1","関連構成アイテム1","関連アカウント","関連構成 1 (構成 ID)","関連構成 1 (データ種別 ID)","送信元アドレス","送信元","経過タイトル","経過対応日","経過対応者","経過チャネル","経過内容","経過コンボボックス1","経過テキスト1","経過添付ファイル"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。

フィールド名については「**1.3.6-2 イベント管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="イベント管理">
    <sp:field name="システム"></sp:field>
    <sp:field name="登録者"></sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sn:sn>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

イベント管理のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c イベント管理 -M 001 -f "C:¥ImportEventData.csv" -T "eventMapFile"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c イベント管理 -M 001 -f "C:¥ImportEventData.csv" -T "eventMapFile"
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容のイベント管理のレコードが新規登録されます。

6. イベント管理のレコードに表項目を登録する

前提条件：

対象案件種別名は「イベント管理」1とします。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥ImportEventData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「eventMapFile1」

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)	(値)
アカウント管理	Account005	Account006
表項目 1: コンボボックス 1	売上報告	報告中
表項目 1: コンボボックス 2	未報告	報告済

表項目登録する情報：

以下に表項目登録するイベント情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	値	値
データ種別 ID	03000001	03000001
レコード ID	0000000000000002	0000000000000002
システム	営業システム	営業システム
表項目 1 テキスト 1	12 月末までに売上報告書が修正完了を 予定します	売上報告書が修正中です
表項目 1 テキスト 2	1 月の売上予定を報告します	売上報告書の詳細内容を記載します
表項目 1 テキスト 3	売上報告書の日付・時刻項目に記載した 日時までに報告いたします。	記載内容を確認してください
表項目 1 コンボボックス 1	売上報告	報告中
表項目 1 コンボボックス 2	未報告	報告済
表項目 1 日付テキスト 1	20210101	20210101
表項目 1 時刻テキスト 1	123000	123000
表項目 1 選択ユーザー 1	Account005	Account006
表項目 1 問合せ元 ID	Inquiry0001	Inquiry0002

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-2 イベント管理」を参照してください。

- インポートファイル (C:\¥ AddProcessTableData.csv)

"03000001", "0000000000000002", "営業システム", "12 月末までに売上報告書が修正完了を予定します@\$売上報告書が修正中です", "1 月の売上予定を報告します@\$売上報告書の詳細内容を記載します", "売上報告書の日付・時刻項目に記載した日時までに報告いたします。@\$記載内容を確認してください", "売上報告@\$@報告中", "未報告@\$@報告済", "20210101@\$@20210101", "123000@\$@123000", "Account005@\$@Account006", " Inquiry0001@\$@ Inquiry0002"

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

"データ種別 ID", "レコード ID", "システム", "表項目 1 テキスト 1", "表項目 1 テキスト 2", "表項目 1 テキスト 3", "表項目 1 コンボボックス 1", "表項目 1 コンボボックス 2", "表項目 1 日付テキスト 1", "表項目 1 時刻テキスト 1", "表項目 1 選択ユーザー 1", "表項目 1 問合せ元 ID "

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-2 イベント管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="イベント管理">
    <sp:field name="システム"></sp:field>
    <sp:field name="登録者"></sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sn:sn>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

イベント管理のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c イベント管理 -M 001 -f "C:¥AddTableEventData.csv" -T "eventMapFile1"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c イベント管理 -M 001 -f "C:¥AddTableEventData.csv" -T "eventMapFile1"
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP >
```

「表項目登録する情報」で示した内容のイベント管理のレコードが新規登録されます。

7. 要員情報を新規に登録する

前提条件：

対象案件種別名は「要員」とします。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥ImportPersonalData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「personalMapFile」とします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します

(項目名)	(値)
会社名	会社 ABC
	会社 OPQ
組織	営業戦略部(会社 ABC に紐づく)
	育成管理課(会社 OPQ に紐づく)
職責	営業管理者職責
	一般職責
システム名	営業システム
ユーザー	a-nomura(社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura(社員番号は ABC-00000002)

新規登録する情報：

以下に新規登録する要員情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
社員番号	ABC-00000003	OPQ-00000001
氏名	野村三郎	千手洋子
氏名カナ	ノムラサブロウ	センジュヨウコ
会社名	会社 ABC	会社 OPQ
組織	営業戦略部	育成管理課
役職	主任	外部講師
上長	t-nomura	t-nomura
業務内容	営業主任	外部教育講師
ステータス	(なし)	無効
内線番号	2-7878	(なし)

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
電話番号 1	00-1111-2222	00-2222-3333
電話番号 2	(なし)	00-2222-4444
FAX 番号	00-1111-2223	00-2222-3334
携帯電話番号	080-1111-2222	080-2222-5555
メールアドレス 1	s-nomura@xxxx.jp	y-senju@xxxx.jp
メールアドレス 2	s-nomura-sub@xxxx.jp	y-senju-sub@xxxx.jp
備考	(なし)	ステータスは管理者が手動で有効にするため無効。
職責	営業管理者職責	一般職責
システム名	営業システム	営業システム
利用者	(なし)	(なし)
申請者	ABC-00000001	(なし)
承認者	ABC-00000001	(なし)
コメント	管理者職責とします。	一般ユーザーのため承認者等未登録

各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「1.3.6-3 要員管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示した要員情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

・インポートファイル (C:\¥ImportPersonalData.csv)

```
"ABC-00000003","野村三郎","ノムラサブロウ","会社 ABC","営業戦略部","主任","t-nomura","営業主任","","2-7878","00-1111-2222","","","00-1111-2223","080-1111-2222","s-nomura@xxxx.jp","s-nomura-sub@xxxx.jp","","","営業管理者職責","営業システム","","ABC-00000001","ABC-00000001","管理者職責とします。"
"OPQ-00000001","千手洋子","センジュヨウコ","会社 OPQ","育成管理課","外部講師","t-nomura","外部教育講師","無効","","00-2222-3333","00-2222-4444","00-2222-3334","080-2222-5555","y-senju@xxxx.jp","y-senju-sub@xxxx.jp","ステータスは管理者が手動で有効にするため無効。","一般職責","営業システム","","","","","一般ユーザーのため承認者等未登録"
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

“社員番号”, “氏名”, “氏名カナ”, “会社名”, “組織”, “役職”, “上長”, “業務内容”, “ステータス”, “内線番号”, “電話番号 1”, “電話番号 2”, “FAX 番号”, “携帯電話番号”, “メールアドレス 1”, “メールアドレス 2”, “備考”, “職責”, “システム名”, “利用者”, “申請者”, “承認者”, “コメント”, “登録者”

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「1.3.6-3 要員管理」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)
登録者をマッピングルールファイルに設定します。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="要員">
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。
「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。

実施する処理：

要員管理に要員情報のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 要員 -M 001 -f "C:¥ImportPersonalData.csv" -T "personalMapFile"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 要員 -M 001 -f "C:¥ImportPersonalData.csv" -T "personalMapFile"  
処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容の要員情報のレコードが新規登録されます。
ステータスは「有効」で登録されます。

8. ユーザー情報を新規に登録する

前提条件：

対象案件種別名は「ユーザー」とします。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:\¥ImportUserData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「userMapFile1」とします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
会社名	会社 ABC
組織	営業戦略部(会社 ABC に紐づく)
職責	営業一般職責
システム名	営業システム
グループ	営業グループ
画面ポリシー	プロセス管理参照可能
ユーザー	a-nomura(社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura(社員番号は ABC-00000002)

新規登録する情報：

以下に新規登録するユーザー情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
ユーザーID	h-nomura
認証方法	SSM 基本認証
パスワード	hanako0001
所属グループ	営業グループ
ステータス	有効
画面ポリシー	プロセス管理参照可能
アカウント区分	エンドユーザー
代理承認者	t-nomura
社員番号	ABC-00000004
氏名	野村花子
氏名カナ	ノムラハナコ

登録対象データ	(1件目)
(項目名)	(値)
会社名	会社 ABC
組織	営業戦略部
役職	営業補佐
上長	t-nomura
業務内容	営業補佐
内線番号	3-7878
電話番号 1	00-3333-2222
電話番号 2	(なし)
FAX 番号	00-3333-2223
携帯電話番号	080-3333-2222
メールアドレス 1	h-nomura@xxxx.jp
メールアドレス 2	h-nomura-sub@xxxx.jp
備考	(なし)
職責	営業一般職責
システム名	営業システム
要員管理画面表示	表示する
登録者	a-nomura

要員情報のステータスはアカウント情報のステータス「有効」が設定されるため項目指定を行いません。
各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「**1.3.6-6 ユーザー管理**」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示したユーザー情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- インポートファイル (C:\¥ImportUserData.csv)

```
"h-nomura", "SSM 基本認証", "hanako0001", "営業グループ", "有効", "プロセス管理参照可能", "エンドユーザー", "t-nomura", "ABC-00000004", "野村花子", "ノムラハナコ", "会社 ABC", "営業戦略部", "営業補佐", "t-nomura", "営業補佐", "3-7878", "00-3333-2222", "", "00-3333-2223", "080-3333-2222", "h-nomura@xxxx.jp", "h-nomura-sub@xxxx.jp", "", "営業一般職責", "営業システム", "表示する", "a-nomura"
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"ユーザーID", "認証方法", "パスワード", "所属グループ", "ステータス", "画面ポリシー", "アカウント区分", "代理承認者", "社員番号", "氏名", "氏名カナ", "会社名", "組織", "役職", "上長", "業務内容", "内線番号", "電話番号 1", "電話番号 2", "FAX 番号", "携帯電話番号", "メールアドレス 1", "メールアドレス 2", "備考", "職責", "システム名", "要員管理画面表示", "登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-6 ユーザー管理**」を参照してください。

- ・ マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="ユーザー">
    <sp:field name="登録者"></sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

要員管理に要員情報のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 001 -f "C:¥ImportUserData.csv" -T "userMapFile1" -m 0
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 001 -f "C:¥ImportUserData.csv" -T "userMapFile1" -m 0
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容のユーザー情報のレコードが新規登録されます。

9. ユーザー情報に職責・グループを追加する

前提条件：

対象案件種別名は「ユーザー」とします。

「1.2.5.7-8 ユーザー情報を新規に登録する」で登録されたユーザーに対し、職責を追加します。

登録モードは「101」（更新処理(追加)）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥UpdateUserData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「userMapFile2」とします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
職責	事務職責
グループ	経理グループ

追加する情報：

以下に追加するユーザー情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
ユーザーID	h-nomura
社員番号	ABC-00000004
所属グループ	経理グループ
職責	事務職責
システム名	営業システム

各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「1.3.6-6 ユーザー管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「追加する情報」で示したユーザー情報を追加登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\¥UpdateUserData.csv)

```
h-nomura, ABC-00000004, 経理グループ, 事務職責, 営業システム
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"ユーザーID", "社員番号", "所属グループ", "職責", "システム名"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-6 ユーザー管理**」を参照してください。

- ・マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>  
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">  
  <sp:mappingRule  
    ※マッピングルール部分省略※  
  >  
</sp:mappingRule>  
<sp:classes>  
  <sp:classFields className="ユーザー">  
    <sp:field name="登録者"></sp:field>  
  </sp:classFields>  
</sp:classes>  
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

要員管理に要員情報のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 101 -f "C:¥UpdateUserData.csv" -T "userMapFile2" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 101 -f "C:¥UpdateUserData.csv" -T "userMapFile2" -m 1  
インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータを補完し登録を行いました。  
C:¥TEMP>
```

「追加する情報」で示した内容の職責・グループが「野村花子」のユーザー情報に追加されます。

10. ユーザー情報を更新する

前提条件：

対象案件種別名は「ユーザー」とします。

「1-2288 ユーザー情報を新規に登録する」で登録されたユーザーに対し、以下情報を更新します。

- ・認証方法を「SSM 基本認証」から「ActiveDirectory 認証」に変更します。
- ・アカウント区分を「エンドユーザー」から「サービスデスクユーザー(固定)」に変更します。

登録モードは「102」（更新処理(置換)）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:¥UpdateUserData2.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「userMapFile3」とし、マッピングルールファイルを用いた更新手順を示します。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
認証設定名	AD 認証設定 1 (ActiveDirectory 認証)

更新する情報：

以下に追加するユーザー情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
ユーザーID	h-nomura
社員番号	ABC-00000004
認証方法	ActiveDirectory 認証
認証設定名	AD 認証設定 1
アカウント区分	サービスデスクユーザー(固定)

各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「1.3.6-6 ユーザー管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「更新する情報」で示したユーザー情報を更新するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:¥UpdateUserData2.csv)

h-nomura, ABC-00000004

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"ユーザーID", "社員番号"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。フィールド名については「1.3.6-6 ユーザー管理」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="ユーザー">
    <sp:field name="認証方法">ActiveDirectory 認証</sp:field>
    <sp:field name="認証設定名">AD 認証設定 1</sp:field>
    <sp:field name="アカウント区分">サービスデスクユーザー(固定)</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。
「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。

実施する処理：

要員管理に要員情報のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 102 -f "C:¥UpdateUserData2.csv" -T "userMapFile3" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c ユーザー -M 102 -f "C:¥UpdateUserData2.csv" -T "userMapFile3" -m 1  
処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「追加する情報」で示した内容の認証方法・アカウント区分で「野村花子」のユーザー情報が更新されます。

11. 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票する

前提条件：

対象案件種別名は「構成」、対象画面は構成管理 1、構成管理 2 とします。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定した構成管理同士を関連構成に登録する手順を記載します。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥ImportCIData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「ciMapFile1」とします。

[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]は以下の通り設定されているものとします。

(項目名)	(値)
コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定	承認申請を利用しない
コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定	新規登録を行う
コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定	既存の予定起票を更新する

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
ユーザー	a-nomura (社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura (社員番号は ABC-00000002)

新規登録する情報：

以下に新規登録する構成管理を記載します。

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
データ種別 ID	04000001	04000002
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10200001
構成アイテム名	サーバーA 管理	サーバーB 管理
システム名	営業システム	営業システム
構成変更日	(なし)	20140401
構成変更時刻	(なし)	1200
設置場所	6 階サーバールーム A-1	6 階サーバールーム B-1
設置日 (From)	20140201	20140330

登録対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
設置日 (To)	20200101	20250331
管理責任者	ABC-00000001	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001	(なし)
関連構成 (データ種別 ID)	04000002	(なし)
選択ユーザー1	ABC-00000001	(なし)
選択ユーザー2	(なし)	ABC-00000002
予定起票	新規予定	新規予定
登録者	a-nomura	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示した構成管理を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\ImportCIData.csv)

```
"04000001","CI-ID10100001","サーバーA 管理","営業システム","","","6 階サーバールーム A-1","20140201","20200101","ABC-00000001","CI-ID10200001","04000002","ABC-00000001","","",""
"04000002","CI-ID10200001","サーバーB 管理","営業システム","20140401","1200","6 階サーバールーム B-1","20140330","20250331","ABC-00000001","","","","ABC-00000002","",""
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID","構成アイテム ID","構成アイテム名","システム名","構成変更日","構成変更時刻","設置場所","設置日 (From)","設置日 (To)","管理責任者","関連構成 (構成 ID)","関連構成 (データ種別 ID)","選択ユーザー1","選択ユーザー2","予定起票","登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。フィールド名については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成">
    <sp:field name="予定起票">新規予定</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

実行した日時は2014年4月1日、10時15分23秒とします。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥TEMP¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData.csv" -T "ciMapFile1"
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容の構成管理のレコードが最新の構成と全ての履歴に新規登録されます。
(なし) と指定した項目は以下の通りに値が埋めて登録されます。

登録済データ抜粋 (項目名)	(1 件目) (値)
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
構成変更日	2014/04/01
構成変更時刻	00:00

関連構成は以下の通り、インポートファイル内の構成管理同士が関連付けられます。

登録済データ抜粋 (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目) (値)
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10200001
構成アイテム名	サーバーA 管理	サーバーB 管理
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001	CI-ID10100001
関連構成 (データ種別 ID)	04000002	04000001



仕様補足

本ケーススタディは[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]の「コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定」を「承認申請を利用しない」としているため、Web 画面での承認申請は不要です。

12. 構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新する

前提条件：

対象案件種別名は「構成」、対象画面は構成管理1とします。

「1.2.5.7-11 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票する」で登録された構成管理に対し、以下変更予定を起票した状態とします。

・設置場所を「6階サーバールーム A-1」から「サーバー管理ルーム A-1」へ変更起票実施済。

上記変更予定が起票されている構成管理に対し、構成変更日を変更する手順を記載します。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\UpdateCIData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「1.2.5.7-11 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票する」と同じく「ciMapFile1」を使用することとします。

[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]は以下の通り設定されているものとします。

(項目名)	(値)
コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定	承認申請を利用する
コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定	新規登録を行わない
コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定	既存の予定起票を更新する

親画面と申請先画面は以下の値が設定されているものとします。

親画面は管理者メニュー>画面>画面定義>関連項目設定で設定します。

(項目名)	(値)	(値)
画面	構成アイテム 1	構成アイテム 1
項目	接続先機器	接続先機器 2
親画面	構成アイテム 2	構成アイテム 3

登録済の情報：

以下に変更予定で起票済の構成管理を記載します。

登録済データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140401
構成変更時刻	0000
設置場所	サーバー管理ルーム A-1
設置日 (From)	20140201
設置日 (To)	20200101
管理責任者	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001
関連構成 (データ種別 ID)	04000002
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200001@\$@CI-ID10200002
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002@\$@04000002
接続先機器 2 (構成 ID)	CI-ID10300001@\$@CI-ID10300002
接続先機器 2 (データ種別 ID)	04000003@\$@04000003
選択ユーザー1	ABC-00000001
選択ユーザー2	(なし)

更新する情報：

以下に変更予定で更新する構成管理を記載します。

更新対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140415
構成変更時刻	1700
設置場所	サーバー管理ルーム A-1

設置日 (From)	(なし)
設置日 (To)	(なし)
管理責任者	(なし)
関連構成 (構成 ID)	(なし)
関連構成 (データ種別 ID)	(なし)
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200003@\$@CI-ID10200004
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002@\$@04000002
接続先機器 2 (構成 ID)	(スペース)
接続先機器 2 (データ種別 ID)	(スペース)
選択ユーザー1	(なし)
選択ユーザー2	(なし)
予定起票	変更予定
登録者	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「更新する情報」で示した構成管理を更新するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- インポートファイル (C:\¥UpdateCIData.csv)

```
04000001, CI-ID10100001, サーバーA 管理, 営業システム, 20140415, 1700, サーバー管理ルーム A-1, . . . . ., CI-  
ID10200003@$@CI-ID10200004, 04000002@$@04000002, . . . . ., 変更予定,
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID", "構成アイテム ID", "構成アイテム名", "システム名", "構成変更日", "構成変更時刻", "設置場所", "設置日  
(From)", "設置日 (To)", "管理責任者", "関連構成 (構成 ID)", "関連構成 (データ種別 ID)", "接続先機器 (構成 ID)", "  
接続先機器 (データ種別 ID)", "接続先機器 2 (構成 ID)", "接続先機器 2 (データ種別 ID)", "選択ユーザー1", "選択ユ  
ーザー2", "予定起票", "登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-4 構成管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成">
    <sp:field name="予定起票">新規予定</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

マッピングルールファイルとマッピングアイテム・インポートファイルに複数指定可能ではない項目が指定された場合、マッピングアイテム・インポートファイルに指定された値が優先されます。

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理のレコードを更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥UpdateCIData.csv" -T "ciMapFile1" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥UpdateCIData.csv" -T "ciMapFile1" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「更新する情報」で示した内容で最新の構成と全ての履歴の構成管理のレコードが更新されます。

登録済データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140415
構成変更時刻	1700
設置場所	サーバー管理ルーム A-1
設置日 (From)	20140201
設置日 (To)	20200101
管理責任者	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001
関連構成 (データ種別 ID)	04000002
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200003@\$@CI-ID10200004
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002@\$@04000002
接続先機器 2 (構成 ID)	(なし)
接続先機器 2 (データ種別 ID)	(なし)
選択ユーザー1	ABC-00000001
選択ユーザー2	(なし)



仕様補足

本ケーススタディは[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]の「コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定」を「承認申請を利用する」としているため、Web 画面での承認申請が必要です。



仕様補足

本ケーススタディは[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]の「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」を「新規登録を行わない」としているため、インポートファイル内、「更新する情報」項目に登録されていない構成アイテム ID が指定された場合、エラーとなり構成アイテム(構成管理)の更新は取り込まれません。

13. 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する

前提条件：

対象案件種別名は「構成」、対象画面は構成管理 1、構成管理 2 とします。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定した構成管理同士を関連構成に設定、かつ現在の構成まで登録する手順を記載します。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥ImportCIData2.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「ciMapFile2」とします。

当ケーススタディの仕様は、別紙「資料集」に記載されている仕様まとめを参照してください。

[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]は以下の通り設定されているものとします。

(項目名)	(値)
コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定	承認申請を利用する
コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定	新規登録を行う
コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定	任意

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
ユーザー	a-nomura (社員番号は ABC-00000001)

新規登録する情報：

以下に新規登録する構成管理を記載します。

登録対象データ	(1件目)	(2件目)
(項目名)	(値)	
データ種別 ID	04000001	04000002
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10200001
構成アイテム名	サーバーA 管理	サーバーB 管理
システム名	営業システム	営業システム
構成変更日	20140401	20140401
構成変更時刻	1300	1200
設置場所	6階サーバールーム A-1	6階サーバールーム B-1

登録対象データ	(1件目)	(2件目)
(項目名)	(値)	
設置日(From)	20140201	20140330
設置日(To)	20200101	20250331
管理責任者	ABC-00000001	ABC-00000001
関連構成(構成ID)	CI-ID10200001	(なし)
関連構成(データ種別ID)	04000002	(なし)
選択ユーザー1	ABC-00000001	(なし)
予定起票	新規反映	新規反映
登録者	a-nomura	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示した構成管理を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\¥ImportCIData2.csv)

```
"04000001","CI-ID10100001","サーバーA 管理","","20140401","1300","6 階サーバールーム A-1","20140201","20200101","ABC-00000001","CI-ID10200001","04000002","ABC-00000001","新規反映","a-nomura"
"04000002","CI-ID10200001","サーバーB 管理","","20140401","1200","6 階サーバールーム B-1","20140330","20250331","ABC-00000001","","","","","a-nomura"
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID","構成アイテム ID","構成アイテム名","システム名","構成変更日","構成変更時刻","設置場所","設置日(From)","設置日(To)","管理責任者","関連構成(構成ID)","関連構成(データ種別ID)","選択ユーザー1","予定起票","登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「1.3.6-4 構成管理」参照してください。

- ・ マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成">
    <sp:field name="予定起票">新規反映</sp:field>
    <sp:field name="システム名">営業システム</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData2.csv" -T "ciMapFile2"
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥ImportCIData2.csv" -T "ciMapFile2"
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容で現在の構成、最新の構成、全ての履歴の構成管理のレコードが新規登録されます。関連構成は以下の通り、インポートファイル内の構成管理同士が関連付けられます。

登録済データ抜粋 (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
構成アイテム ID	CI-ID10100001	04000002
構成アイテム名	サーバーA 管理	CI-ID10200001

関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001	CI-ID10100001
関連構成 (データ種別 ID)	04000002	04000001

14. 構成アイテム(構成管理)のレコード(変更予定)を更新、即反映する

前提条件：

対象案件種別名は「構成」、対象画面は構成管理 1 とします。

「1.2.5.7-13 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する」で登録された構成管理に対し、以下内容の変更予定を起票し、かつ現在の構成まで登録する手順を記載します。

- ・ 設置場所を「6階サーバールーム A-1」から「サーバ管理ルーム A-1」へ変更します。
- ・ 接続先機器、関連機器を登録します。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\UpdateCIData2.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「ciMapFile3」とします。

当ケーススタディの仕様は、別紙「資料集」に記載されている仕様まとめを参照してください。

[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]は以下の通り設定されているものとします。

(項目名)	(値)
コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定	承認申請を利用しない
コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定	新規登録を行う
コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定	任意

親画面と申請先画面は以下の値が設定されているものとします。

親画面は管理者メニュー>画面>画面定義>関連項目設定で設定します。

(項目名)	(値)
画面	構成アイテム 1
項目	接続先機器
親画面	構成アイテム 2

申請先画面は管理者メニュー>画面>画面定義>申請先画面設定で設定します。

(項目名)	(値)
画面	構成アイテム 1
項目	接続先機器
申請先画面	プロセス 1

事前に最新の構成に以下構成管理のレコード登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
構成アイテム ID ※	CI-ID10100001 (構成管理 1 に登録、システムは営業システム)
	CI-ID10200001 (構成管理 2 に登録、システムは営業システム)
	CI-ID10200002 (構成管理 2 に登録、システムは営業システム)
	CI-ID10300001 (構成管理 3 に登録、システムは営業システム)

登録済の情報：

以下に起票済の構成管理を記載します。

登録済データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140401
構成変更時刻	1300
設置場所	6 階サーバールーム A-1
設置日 (From)	20140201
設置日 (To)	20200101
管理責任者	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10300001
関連構成 (データ種別 ID)	04000003
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200003
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002
接続先機器 (使用アンペア)	5
選択ユーザー1	ABC-00000001

更新する情報：

以下に変更予定で更新する構成管理を記載します。

更新対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140415
構成変更時刻	1700
設置場所	サーバー管理ルーム A-1
設置日 (From)	(なし)
設置日 (To)	(なし)
管理責任者	(なし)
関連構成 (構成 ID)	(なし)
関連構成 (データ種別 ID)	(なし)
選択ユーザー1	(なし)
関連機器 (構成 ID)	CI-ID10100001
関連機器 (データ種別 ID)	04000001
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200001@\$@CI-ID10200002
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002@\$@04000002
接続先機器 (使用アンペア)	12@\$@20
予定起票	変更反映
登録者	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「更新する情報」で示した構成管理を更新するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- インポートファイル (C:\¥UpdateCIData2.csv)

```
04000001, CI-ID10100001, サーバーA 管理, 営業システム, 20140415, 1700, サーバー管理ルーム A-1, , , , , CI-  
ID10100001, 04000001, CI-ID10200001@$@CI-ID10200002, 04000002@$@04000002, 12@$@20, ,
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID", "構成アイテム ID", "構成アイテム名", "システム名", "構成変更日", "構成変更時刻", "設置場所", "設置日  
(From)", "設置日 (To)", "管理責任者", "関連構成 (構成 ID)", "関連構成 (データ種別 ID)", "選択ユーザー1", "関連機器  
(構成 ID)", "関連機器 (データ種別 ID)", "接続先機器 (構成 ID)", "接続先機器 (データ種別 ID)", "接続先機器 (使  
用アンペア)", "予定起票", "登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-4 構成管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>  
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">  
  <sp:mappingRule  
    ※マッピングルール部分省略※  
  >  
</sp:mappingRule>  
<sp:classes>  
  <sp:classFields className="構成">  
    <sp:field name="予定起票">変更反映</sp:field>  
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>  
  </sp:classFields>  
</sp:classes>  
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理のレコードを更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥UpdateCIData2.csv" -T "ciMapFile3" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥UpdateCIData2.csv" -T "ciMapFile3" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

「更新する情報」で示した内容で現在の構成、最新の構成、全ての履歴の構成管理のレコードが更新されます。

登録済データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
データ種別 ID	04000001
構成アイテム ID	CI-ID10100001
構成アイテム名	サーバーA 管理
システム名	営業システム
構成変更日	20140415
構成変更時刻	1700
設置場所	サーバー管理ルーム A-1
設置日 (From)	20140201
設置日 (To)	20200101
管理責任者	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10300001
関連構成 (データ種別 ID)	04000003
選択ユーザー1	ABC-00000001
関連機器 (構成 ID)	CI-ID10100001
関連機器 (データ種別 ID)	04000001
接続先機器 (構成 ID)	CI-ID10200001@\$@CI-ID10200002
接続先機器 (データ種別 ID)	04000002@\$@04000002
接続先機器 (使用アンペア)	12@\$@20



仕様補足

本ケーススタディは[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]の「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」を「新規登録を行う」としているため、インポートファイル内、「更新する情報」項目に登録されていない構成アイテム ID が指定された場合、「1.2.5.7-13 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する」と同様、構成アイテム(構成管理)のレコードが新規登録されます。



仕様補足

すでに起票済の構成アイテム(構成管理)のレコードの予定起票が「変更予定」または「削除予定」である構成アイテム(構成管理)に対し、「予定起票」項目を「変更反映」とした場合、「現在の構成」に登録されている構成アイテム(構成管理)のレコードのみインポートファイル内のデータで更新されます。この際、「最新の構成」および「全ての履歴」に登録されている構成アイテム(構成管理)のレコードは更新されません。



仕様補足

すでに起票済の構成アイテム(構成管理)のレコードの予定起票が「新規予定」である構成アイテム(構成管理)に対し、「予定起票」項目を「変更反映」とした場合、エラーとなり構成アイテム(構成管理)の更新は取り込まれません。

15. 構成アイテム(構成管理)のレコード(削除予定)を起票、即反映する

前提条件：

対象案件種別名は「構成」、対象画面は構成管理 1 とします。

「1.2.5.7-13 構成アイテム(構成管理)のレコード(新規予定)を起票、即反映する」で登録された構成管理に対し、削除予定を現在の構成まで登録する手順を記載します。

登録モードは未指定とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:¥DeleteCIData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「ciMapFile4」とします。

当ケーススタディの仕様は、別紙「資料集」に記載されている仕様まとめを参照してください。

(項目名)	(値)
コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定	承認申請を利用する
コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定	新規登録を行う
コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定	※任意の値を選択します。

登録済の情報：

以下に起票済の構成管理を記載します。

登録済データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
データ種別 ID	04000001	04000002
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10200001
システム名	営業システム	営業システム
構成変更日	20140401	20140401
構成変更時刻	1300	1200
設置場所	6 階サーバールーム A-1	6 階サーバールーム B-1
設置日 (From)	20140201	20140330
設置日 (To)	20200101	20250331
管理責任者	ABC-00000001	ABC-00000001
関連構成 (構成 ID)	CI-ID10200001	CI-ID10100001
関連構成 (データ種別 ID)	04000002	04000001
選択ユーザー1	ABC-00000001	(なし)
登録者	a-nomura	a-nomura

削除する情報：

以下に削除予定を起票する構成管理を記載します。

更新対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
データ種別 ID	04000001	04000002
構成アイテム ID	CI-ID10100001	CI-ID10200001
システム名	営業システム	営業システム
構成変更日	20140415	20140415
構成変更時刻	1700	1715
予定起票	削除反映	削除反映
登録者	a-nomura	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「更新する情報」で示した構成管理を更新するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\DeleteCIData.csv)

```
04000001, CI-ID10100001, 営業システム, 20140415, 1700, 削除反映, a-nomura
04000002, CI-ID10200001, 営業システム, 20140415, 1715, 削除反映, a-nomura
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"データ種別 ID", "構成アイテム ID", "システム名", "構成変更日", "構成変更時刻", "予定起票", "登録者"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

- ・ マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成">
    <sp:field name="予定起票">新規予定</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

マッピングルールファイルとマッピングアイテム・インポートファイルに複数指定可能ではない項目が指定された場合、マッピングアイテム・インポートファイルに指定された値が優先されます。

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「**1.2.5.3 ファイルの説明**」を参照してください。

実施する処理：

構成管理のレコードを更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥TEMP¥DeleteCIData.csv" -T "ciMapFile3" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成 -f "C:¥DeleteCIData.csv" -T "ciMapFile4" -m 1
正常に処理が終了しました。
C:¥TEMP>
```

現在の構成と最新の構成から「更新する情報」で示した構成管理のレコードが削除されます。
全ての履歴のレコードは削除されません。



仕様補足

インポートファイル内、「更新する情報」項目に登録されていない構成アイテム ID が指定された場合、エラーとなり構成アイテム(構成管理)の更新は取り込まれません。



仕様補足

すでに起票済の構成アイテム(構成管理)のレコードの予定起票が「新規予定」「変更予定」「削除予定」のいずれかである場合、エラーとなり構成アイテム(構成管理)の更新は取り込まれません。

16. 構成アイテム管理(ID 管理)のレコードを新規に登録する

前提条件：

対象案件種別名は「構成アイテム」とします。

登録モードは「001」（新規登録処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートあり、「C:¥ImportItemData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「itemMapFile1」とします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
用途	マスタ管理
大分類	管理対象
中分類	業務使用品
小分類	ノート PC
ラジオボタン 1	使用する
コンボテキスト 1-コンボボックス	その他
構成アイテム管理 (ID 管理)	サーバー管理
	設置場所管理
アカウント	Account003
ユーザー	a-nomura (社員番号は ABC-00000001)
	t-nomura (社員番号は ABC-00000002)

添付ファイルは以下フルパスの通り作成が必要です。当ケーススタディでは以下ファイルを使用します。

(項目名)	(値)
ファイル	C:¥PC 管理台帳.csv

新規登録する情報：

以下に新規登録する構成アイテム管理情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
構成アイテム ID	Node0000001
構成アイテム名	営業課 PC マスタ 1
ステータス	有効
システム名	営業システム

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
管理責任者	ABC-00000001
使用者	ABC-00000002
使用日 (From)	20140106
使用日 (To)	20150331
データ種別 ID	06000001
用途	マスタ管理
機種名	N-pc01
メーカー (機器)	Nomura
型番	a-1123
CPU	Cpu1
ディスク容量	4249878528
メモリ容量	3221225472
IP アドレス	123.456.789.10
大分類	管理対象
中分類	業務使用品
小分類	ノート PC
ラジオボタン 1	使用する
コンボテキスト 1-コンボボックス	その他
コンボテキスト 1-テキスト	個人用 PC の管理です
付加情報添付ファイル名	C:\¥PC 管理台帳.csv
関連構成アイテム	サーバー管理@\$@設置場所管理
関連アカウント	Account003
利用者	ABC-00000002
申請者	ABC-00000001
承認者	ABC-00000001
コメント	t-nomura が使用する PC マスタです。
登録者	a-nomura

各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「1.3.6-5 構成アイテム管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示した構成アイテム管理情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- インポートファイル (C:\¥ImportItemData.csv)

"Node0000001","営業課 PC マスタ 1","有効","ABC-00000001","ABC-00000002","20140106","20150331","06000001","マスタ管理","N-pc01","Nomura","a-1123","Cpu1","4249878528","3221225472","123.456.789.10","管理対象","業務使用品","ノート PC","使用する","その他","個人用 PC の管理です","C:\¥PC 管理台帳.csv","サーバー管理@\$@設置場所管理","Account003","ABC-00000002","ABC-00000001","ABC-00000001","t-nomura が使用する PC マスタです。"

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

"構成アイテム ID","構成アイテム名","ステータス","管理責任者","使用者","使用日 (From)","使用日 (To)","データ種別 ID","用途","機種名","メーカー (機器)","型番","CPU","ディスク容量","メモリ容量","IP アドレス","大分類","中分類","小分類","ラジオボタン 1","コンボテキスト 1-コンボボックス","コンボテキスト 1-テキスト","付加情報添付ファイル名","関連構成アイテム","関連アカウント","利用者","申請者","承認者","コメント"

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「**1.3.6-5 構成アイテム管理**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)
- システム名と登録者はマッピングルールファイルに記載します。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成アイテム">
    <sp:field name="システム名">営業システム</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「[1.2.5.3 ファイルの説明](#)」を参照してください。

実施する処理：

構成アイテム管理情報のレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成アイテム -M 001 -f "C:¥ImportItemData.csv" -T "itemMapFile1" -m 0
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成アイテム -M 001 -f "C:¥ImportItemData.csv" -T "itemMapFile1" -m 0
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

「新規登録する情報」で示した内容の構成アイテム管理情報のレコードが新規登録されます。

17. 構成アイテム管理(ID 管理)のレコードを更新する

前提条件：

対象案件種別名は「構成アイテム」とします。

「1.2.5.7-16 構成アイテム管理(ID 管理)のレコードを新規に登録する」で登録された構成アイテムに対し、以下情報を更新します。

- ・使用日(To)を「20150331」から「20151231」へ変更する。
- ・保守契約番号、保守日を追加する。
- ・小分類を「ノート PC」から「タブレット端末」へ変更する。

登録モードは「102」（更新置換処理）とします。

インポートファイルに指定する項目はダブルクォートなし、「C:\¥UpdateItemData.csv」とします。

定義ファイルフォルダは「itemMapFile2」とします。

事前に以下項目の登録が必要です。当ケーススタディでは以下登録済の値を使用します。

(項目名)	(値)
大分類	管理対象
中分類	業務使用品
小分類	タブレット端末

更新する情報：

以下に更新する構成アイテム管理情報を記載します。

登録対象データ	(1 件目)
(項目名)	(値)
構成アイテム ID	Node0000001
システム名	営業システム
使用日(From)	20140106
使用日(To)	20151231
保守契約番号	Req0001
保守日(From)	20140101
保守日(To)	20160331
データ種別 ID	06000001
大分類	管理対象
中分類	業務使用品
小分類	タブレット端末

各項目に対応する項目名・指定可否情報の詳細については「1.3.6-5 構成アイテム管理」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「更新する情報」で示した構成アイテム管理情報を更新するための、各ファイルの記述内容を記載します。

- ・インポートファイル (C:\¥UpdateItemData.csv)

```
Node0000001, 20140106, 20151231, Req0001, 20140101, 20160331, 06000001, 管理対象, 業務使用品, タブレット端末
```

- ・マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"構成アイテム ID", "使用日 (From)", "使用日 (To)", "保守契約番号", "保守日 (From)", "データ種別 ID", "保守日 (To)", "大分類", "中分類", "小分類"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。
フィールド名については「1.3.6-5 構成アイテム管理」を参照してください。

- ・マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

システム名と登録者はマッピングルールファイルに記載します。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    ※マッピングルール部分省略※
  >
</sp:mappingRule>
<sp:classes>
  <sp:classFields className="構成アイテム">
    <sp:field name="システム名">営業システム</sp:field>
    <sp:field name="登録者">a-nomura</sp:field>
  </sp:classFields>
</sp:classes>
</sp:sp>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容を抜粋して記載します。

「マッピングルール部分省略」部分のファイル内の記述ルールについては「1.2.5.3 ファイルの説明」を参照してください。

実施する処理：

構成アイテム管理情報のレコードを更新するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成アイテム -M 102 -f "C:¥UpdateItemData.csv" -T "itemMapFile2" -m 1
```

実施後の処理結果：

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c 構成アイテム -M 102 -f "C:¥UpdateItemData.csv" -T "itemMapFile2" -m 1  
処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「更新する情報」で示した内容の構成アイテム管理情報のレコードが更新されます。

1.2.5.8 クローズ解除

クローズされているレコードに対して、登録モード「更新(102)」を指定し本コマンドが実行された場合、クローズ解除として更新処理が実施されます。

クローズ解除での更新処理は通常の更新処理と更新可能な項目が異なります。

クローズ解除はプロセス管理のみ実施することが可能です。

また、クローズ解除の際に指定可能な項目は「**1.3.6-1 プロセス管理**」を参照してください。

1.2.5.9 クローズチケットの更新

データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンでクローズチケットを更新する場合に、以下の制御情報によって、クローズ状態の解除のみを許可するか、全ての指定された項目を更新するかを切り替えられます。

- ・[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

管理項目名
コマンドからのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定

1.2.5.10 指定可能フィールド情報

データ登録コマンドで登録可能な案件種別名ごとに指定可能なフィールドの情報を示します。

Senju Enterprise Navigator（以下、SEN）からイベント連携機能を使用して Senju Service Manager にデータを登録する場合も、本章に記載される「フィールド名」を指定して登録できます。



仕様補足

SEN からイベント送信機能を使用してデータを登録する場合は、データ登録コマンドにおける登録モード「新規登録」「更新処理（追加）」「経過情報追加登録」が利用できます。

SEN から登録モードを指定する際は、「登録モード」というフィールド名に対して、コマンドと同様の設定値を指定します。ただし、SEN から複数件の経過情報を登録する場合、「経過添付ファイル」を登録できるのは、登録する複数件のうちの最初の経過情報のみです。



仕様補足

コード・分類の登録において同一名称のコード・分類が複数登録されている場合は、先に登録されている（登録日時の古い）データが登録されます。



仕様補足

下記関連情報は、インポートファイルで指定したシステムに登録されているデータのみ登録できます。

プロセス管理、イベント管理

- ・ 関連構成アイテム 1~3
- ・ 関連構成 1~4
- ・ 関連アカウント

構成管理

- ・ 関連構成、関連構成 2A~2E
- ・ 関連機器
- ・ 接続先機器、接続先機器 2

構成アイテム管理

- ・ 関連構成アイテム
- ・ 関連アカウント



仕様補足

関連プロセスのレコード ID が重複する場合、該当レコードは関連プロセスに登録されません。



仕様補足

以下の項目はデータ登録コマンドによる登録・更新ができません。

プロセス管理、イベント管理

- ・ リッチテキスト 1
- ・ リッチテキスト 2
- ・ 経過リッチテキスト



仕様補足

ファイル名に外字がある添付ファイルはデータ登録コマンドによる登録・更新ができません。

プロセス管理、イベント管理

- ・ 添付ファイル 1~4
- ・ 経過添付ファイル

構成管理、構成アイテム管理

- ・ 添付ファイル 1~2



仕様補足

クローズ済みレコードに対する更新について、更新可能な項目の範囲を設定することが可能です。
設定方法については、「1.2.5.9 クローズチケットの更新」をご参照ください。

1. プロセス管理

一覧は「1.3.6-1 プロセス管理」を参照してください。

2. イベント管理

一覧は「1.3.6-2 イベント管理」を参照してください。

3. 要員管理

一覧は「1.3.6-3 要員管理」を参照してください。

4. 構成管理

一覧は「1.3.6-4 構成管理」を参照してください。

5. 構成アイテム管理

一覧は「1.3.6-5 構成アイテム管理」を参照してください。

6. ユーザー管理

一覧は「1.3.6-6 ユーザー管理」を参照してください。

1.2.5.11 指定可能フィールド情報の対応一覧

Senju Service Manager バージョン 2022.0.2 の指定可能フィールドと Senju Service Manager バージョン V12.0.0 以前の指定可能フィールドの項目対応一覧を記載します。

バージョン V12.0.0 以前	バージョン 2022.0.2
プロセス管理	インシデント管理 サービス要求 問題管理 変更管理
イベント管理	インシデント候補
要員管理(※)	要員管理(※)
構成管理(※)	構成管理(※)
構成アイテム管理(※)	構成アイテム管理(※)
ユーザー管理(※)	ユーザー管理(※)

(※) 要員管理、構成管理、構成アイテム管理、ユーザー管理はバージョン 2022.0.2 とバージョン V12.0.0 以前での違いはありません。

1. プロセス管理／インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
基本情報	—	データ種別 ID				
	レコード ID	レコード ID	インシデント ID	サービス要求 ID	問題 ID	変更 ID
	システム	システム	システム名	システム名	システム名	システム名
	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル
	ステータス	ステータス	ステータス	ステータス	ステータス	ステータス
	問合せ状況	—	—	—	—	—
	申請状況	—	—	—	—	—
	種別	種別	種別	種別	種別	種別
	備考	備考	備考	備考	備考	備考
	起票日	起票日	起票日	起票日	起票日	起票日
	起票時刻	起票時刻	起票時刻	起票時刻	起票時刻	起票時刻
	クローズ期限日	クローズ期限日	対応期限日	対応期限日	対応期限日	対応期限日
	クローズ期限時刻	クローズ期限時刻	対応期限時刻	対応期限時刻	対応期限時刻	対応期限時刻
	起票者	起票者	起票者	起票者	起票者	起票者
	—	登録者	登録者	登録者	登録者	登録者
	サブステータス	サブステータス	サブステータス	サブステータス	サブステータス	サブステータス
	インパクト	インパクト	インパクト	インパクト	インパクト	インパクト
	緊急度	緊急度	緊急度	緊急度	緊急度	緊急度
	優先度	優先度	優先度	優先度	優先度	優先度
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	社内申請者社員番号	社内申請者社員番号	社内申請者社員番号	社内申請者社員番号
	氏名	社内申請者氏名	社内申請者氏名	社内申請者氏名	社内申請者氏名	社内申請者氏名
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	社内申請者氏名カナ	社内申請者氏名カナ	社内申請者氏名カナ	社内申請者氏名カナ
	会社名	社内申請者会社名	社内申請者会社名	社内申請者会社名	社内申請者会社名	社内申請者会社名
	組織名	社内申請者組織名	社内申請者組織名	社内申請者組織名	社内申請者組織名	社内申請者組織名
	役職	社内申請者役職	社内申請者役職	社内申請者役職	社内申請者役職	社内申請者役職
	内線番号	社内申請者内線番号	社内申請者内線番号	社内申請者内線番号	社内申請者内線番号	社内申請者内線番号
	電話番号 1	社内申請者電話番号 1	社内申請者電話番号 1	社内申請者電話番号 1	社内申請者電話番号 1	社内申請者電話番号 1
	電話番号 2	社内申請者電話番号 2	社内申請者電話番号 2	社内申請者電話番号 2	社内申請者電話番号 2	社内申請者電話番号 2
	FAX	社内申請者 FAX 番号				
携帯電話番号	社内申請者携帯番号	社内申請者携帯番号	社内申請者携帯番号	社内申請者携帯番号	社内申請者携帯番号	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1
	メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2
情報 社外申請者	会社名	申請者会社名	申請者会社名	申請者会社名	申請者会社名	申請者会社名
	組織名	申請者組織名	申請者組織名	申請者組織名	申請者組織名	申請者組織名
	氏名	申請者氏名	申請者氏名	申請者氏名	申請者氏名	申請者氏名
	氏名カナ	申請者氏名カナ	申請者氏名カナ	申請者氏名カナ	申請者氏名カナ	申請者氏名カナ
	電話番号	申請者電話番号	申請者電話番号	申請者電話番号	申請者電話番号	申請者電話番号
	メールアドレス	申請者メールアドレス	申請者メールアドレス	申請者メールアドレス	申請者メールアドレス	申請者メールアドレス
未選択項目	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4
	コンボボックス 5	コンボボックス 5	—	区分 1	—	—
	コンボボックス 6	コンボボックス 6	—	区分 2	—	—
	コンボボックス 7	コンボボックス 7	—	区分 3	—	—
	コンボボックス 8	コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	コンボボックス 9	—	—	—	—
	コンボボックス 10	コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	コンボボックス 12	—	—	—	—
	コンボボックス 13	コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	コンボボックス 18	—	—	—	—
	コンボボックス 19	コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	コンボボックス 20	—	—	—	—
	コンボボックス 21	コンボボックス 21	—	—	—	—
	コンボボックス 22	コンボボックス 22	—	—	—	—
	コンボボックス 23	コンボボックス 23	—	—	—	—
	コンボボックス 24	コンボボックス 24	—	—	—	—
	コンボボックス 25	コンボボックス 25	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 26	コンボボックス 26	—	—	—	—
	コンボボックス 27	コンボボックス 27	—	—	—	—
	コンボボックス 28	コンボボックス 28	—	—	—	—
	コンボボックス 29	コンボボックス 29	—	—	—	—
	コンボボックス 30	コンボボックス 30	—	—	—	—
	コンボボックス 31	コンボボックス 31	—	—	—	—
	コンボボックス 32	コンボボックス 32	—	—	—	—
	コンボボックス 33	コンボボックス 33	—	—	—	—
	コンボボックス 34	コンボボックス 34	—	—	—	—
	コンボボックス 35	コンボボックス 35	—	—	—	—
	コンボボックス 36	コンボボックス 36	—	—	—	—
	コンボボックス 37	コンボボックス 37	—	—	—	—
	コンボボックス 38	コンボボックス 38	—	—	—	—
	コンボボックス 39	コンボボックス 39	—	—	—	—
	コンボボックス 40	コンボボックス 40	—	—	—	—
	コンボテキスト 1-コンボボックス					
	コンボテキスト 1-テキスト					
	コンボテキスト 2-コンボボックス					
	コンボテキスト 2-テキスト					
	ラジオボタン 1					
	ラジオボタン 2					
	チェックボックス 1	チェックボックス 1	—	—	—	—
	チェックボックス 2	チェックボックス 2	—	—	—	—
	チェックボックス 3	チェックボックス 3	—	—	—	—
	チェックボックス 4	チェックボックス 4	—	—	—	—
	チェックボックス 5	チェックボックス 5	—	—	—	—
	チェックボックス 6	チェックボックス 6	—	—	—	—
	チェックボックス 7	チェックボックス 7	—	—	—	—
	チェックボックス 8	チェックボックス 8	—	—	—	—
	チェックボックス 9	チェックボックス 9	—	—	—	—
	チェックボックス 10	チェックボックス 10	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	チェックボックス 11	チェックボックス 11	—	—	—	—
	チェックボックス 12	チェックボックス 12	—	—	—	—
	チェックボックス 13	チェックボックス 13	—	—	—	—
	チェックボックス 14	チェックボックス 14	—	—	—	—
	チェックボックス 15	チェックボックス 15	—	—	—	—
	チェックボックス 16	チェックボックス 16	—	—	—	—
	チェックボックス 17	チェックボックス 17	—	—	—	—
	チェックボックス 18	チェックボックス 18	—	—	—	—
	チェックボックス 19	チェックボックス 19	—	—	—	—
	チェックボックス 20	チェックボックス 20	—	—	—	—
	チェックボックス 21	チェックボックス 21	—	—	—	—
	チェックボックス 22	チェックボックス 22	—	—	—	—
	チェックボックス 23	チェックボックス 23	—	—	—	—
	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1
	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2
	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3
	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4
	テキスト 5	テキスト 5	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード
	テキスト 6	テキスト 6	インシデント内容	サービス要求内容	問題内容	変更内容
	テキスト 7	テキスト 7	影響範囲	サービス要求理由	影響範囲	影響 CI
	テキスト 8	テキスト 8	原因	サービス要求を却下した場合の影響	原因	変更理由
	テキスト 9	テキスト 9	ワークアラウンド及び結果	サービス要求に要するリソース	ワークアラウンド	変更に要するリソース
	テキスト 10	テキスト 10	対応及び結果	—	対応及び結果	変更計画
	テキスト 11	テキスト 11	—	—	解決策	実施内容
	テキスト 12	テキスト 12	—	—	—	切戻し計画
	テキスト 13	テキスト 13	—	—	—	レビュー結果
	テキスト 14	テキスト 14	—	—	—	変更対象 CI
	テキスト 15	テキスト 15	—	—	—	変更しない場合の影響
	テキスト 16	テキスト 16	テキストエリア 1	テキストエリア 1	テキストエリア 1	テキストエリア 1
	テキスト 17	テキスト 17	テキストエリア 2	テキストエリア 2	テキストエリア 2	テキストエリア 2
	テキスト 18	テキスト 18	テキストエリア 3	テキストエリア 3	テキストエリア 3	テキストエリア 3
	テキスト 19	テキスト 19	テキストエリア 4	テキストエリア 4	テキストエリア 4	テキストエリア 4
	テキスト 20	テキスト 20	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	テキスト 21	テキスト 21	—	—	—	—
	テキスト 22	テキスト 22	—	—	—	—
	テキスト 23	テキスト 23	—	—	—	—
	テキスト 24	テキスト 24	—	—	—	—
	テキスト 25	テキスト 25	—	—	—	—
	テキスト 26	テキスト 26	—	—	—	—
	テキスト 27	テキスト 27	—	—	—	—
	テキスト 28	テキスト 28	—	—	—	—
	テキスト 29	テキスト 29	—	—	—	—
	テキスト 30	テキスト 30	—	—	—	—
	テキスト 31	テキスト 31	—	—	—	—
	テキスト 32	テキスト 32	—	—	—	—
	テキスト 33	テキスト 33	—	—	—	—
	テキスト 34	テキスト 34	—	—	—	—
	テキスト 35	テキスト 35	—	—	—	—
	テキスト 36	テキスト 36	—	—	—	—
	テキスト 37	テキスト 37	—	—	—	—
	テキスト 38	テキスト 38	—	—	—	—
	テキスト 39	テキスト 39	—	—	—	—
	テキスト 40	テキスト 40	—	—	—	—
	テキスト 41	テキスト 41	—	—	—	—
	テキスト 42	テキスト 42	—	—	—	—
	テキスト 43	テキスト 43	—	—	—	—
	テキスト 44	テキスト 44	—	—	—	—
	テキスト 45	テキスト 45	—	—	—	—
	テキスト 46	テキスト 46	—	—	—	—
	テキスト 47	テキスト 47	—	—	—	—
	テキスト 48	テキスト 48	—	—	—	—
	テキスト 49	テキスト 49	—	—	—	—
	テキスト 50	テキスト 50	—	—	—	—
	参考 URL1	参考 URL1	参考 URL	参考 URL	参考 URL	参考 URL
	参考 URL2	参考 URL2	—	—	—	—
	参考 URL3	参考 URL3	—	—	—	—
	参考 URL4	参考 URL4	—	—	—	—
	参考 URL5	参考 URL5	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	参考 URL6	参考 URL6	—	—	—	—
	参考 URL7	参考 URL7	—	—	—	—
	数値テキスト 1	数値テキスト 1	数値 1	数値 1	数値 1	数値 1
	数値テキスト 2	数値テキスト 2	数値 2	数値 2	数値 2	数値 2
	数値テキスト 3	数値テキスト 3	—	予定時間	—	—
	数値テキスト 4	数値テキスト 4	—	—	—	—
	数値テキスト 5	数値テキスト 5	—	—	—	—
	数値テキスト 6	数値テキスト 6	—	—	—	—
	数値テキスト 7	数値テキスト 7	—	—	—	—
	数値テキスト 8	数値テキスト 8	—	—	—	—
	数値テキスト 9	数値テキスト 9	—	—	—	—
	数値テキスト 10	数値テキスト 10	—	—	—	—
	数値テキスト 11	数値テキスト 11	—	—	—	—
	数値テキスト 12	数値テキスト 12	—	—	—	—
	数値テキスト 13	数値テキスト 13	—	—	—	—
	数値テキスト 14	数値テキスト 14	—	—	—	—
	数値テキスト 15	数値テキスト 15	—	—	—	—
	数値テキスト 16	数値テキスト 16	—	—	—	—
	数値テキスト 17	数値テキスト 17	—	—	—	—
	数値テキスト 18	数値テキスト 18	—	—	—	—
	数値テキスト 19	数値テキスト 19	—	—	—	—
	数値テキスト 20	数値テキスト 20	—	—	—	—
	数値テキスト 21	数値テキスト 21	—	—	—	—
	数値テキスト 22	数値テキスト 22	—	—	—	—
	数値テキスト 23	数値テキスト 23	—	—	—	—
	数値テキスト 24	数値テキスト 24	—	—	—	—
	数値テキスト 25	数値テキスト 25	—	—	—	—
	数値テキスト 26	数値テキスト 26	—	—	—	—
	数値テキスト 27	数値テキスト 27	—	—	—	—
	数値テキスト 28	数値テキスト 28	—	—	—	—
	数値テキスト 29	数値テキスト 29	—	—	—	—
	数値テキスト 30	数値テキスト 30	—	—	—	—
	数値テキスト 31	数値テキスト 31	—	—	—	—
	数値テキスト 32	数値テキスト 32	—	—	—	—
	数値テキスト 33	数値テキスト 33	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	数値テキスト 34	数値テキスト 34	—	—	—	—
	数値テキスト 35	数値テキスト 35	—	—	—	—
	数値テキスト 36	数値テキスト 36	—	—	—	—
	数値テキスト 37	数値テキスト 37	—	—	—	—
	数値テキスト 38	数値テキスト 38	—	—	—	—
	数値テキスト 39	数値テキスト 39	—	—	—	—
	数値テキスト 40	数値テキスト 40	—	—	—	—
	数値テキスト 41	数値テキスト 41	—	—	—	—
	数値テキスト 42	数値テキスト 42	—	—	—	—
	数値テキスト 43	数値テキスト 43	—	—	—	—
	数値テキスト 44	数値テキスト 44	—	—	—	—
	数値テキスト 45	数値テキスト 45	—	—	—	—
	数値テキスト 46	数値テキスト 46	—	—	—	—
	数値テキスト 47	数値テキスト 47	—	—	—	—
	数値テキスト 48	数値テキスト 48	—	—	—	—
	数値テキスト 49	数値テキスト 49	—	—	—	—
	数値テキスト 50	数値テキスト 50	—	—	—	—
	数値テキスト 51	数値テキスト 51	—	—	—	—
	数値テキスト 52	数値テキスト 52	—	—	—	—
	数値テキスト 53	数値テキスト 53	—	—	—	—
	数値テキスト 54	数値テキスト 54	—	—	—	—
	数値テキスト 55	数値テキスト 55	—	—	—	—
	数値テキスト 56	数値テキスト 56	—	—	—	—
	数値テキスト 57	数値テキスト 57	—	—	—	—
	数値テキスト 58	数値テキスト 58	—	—	—	—
	数値テキスト 59	数値テキスト 59	—	—	—	—
	数値テキスト 60	数値テキスト 60	—	—	—	—
	ラージテキスト 1	ラージテキスト 1	—	—	—	—
	ラージテキスト 2	ラージテキスト 2	—	—	—	—
	ラージテキスト 3	ラージテキスト 3	—	—	—	—
	ラージテキスト 4	ラージテキスト 4	—	—	—	—
	承認フロー完了通知先	承認フロー完了通知先	—	—	—	—
	開始日	開始日	発生日	受付日	発生日	受付日
	開始時刻	開始時刻	発生時刻	受付時刻	発生時刻	受付時刻
	終了日 1	終了日 1	受付日	実施完了日	受付日	実施完了日

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	終了時刻 1	終了時刻 1	受付時刻	実施完了時刻	受付時刻	実施完了時刻
	終了日 2	終了日 2	速報日	—	既知エラー登録日	—
	終了時刻 2	終了時刻 2	速報時刻	—	既知エラー登録時刻	—
	終了日 3	終了日 3	復旧日	—	解決日	—
	終了時刻 3	終了時刻 3	復旧時刻	—	解決時刻	—
	開始予定日	開始予定日	—	開始予定日	—	変更希望日
	開始予定時刻	開始予定時刻	—	開始予定時刻	—	変更希望時刻
	終了予定日	終了予定日	—	終了予定日	—	レビュー日
	終了予定時刻	終了予定時刻	—	終了予定時刻	—	レビュー時刻
	対応予定日 1	対応予定日 1	対応予定日 1	対応予定日 1	対応予定日 1	実施予定日
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	実施予定時刻
	対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日 2
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2
	対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日 3
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3
	対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日 4
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4
	対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日 5
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5
	対応実績日 1	対応実績日 1	対応実績日 1	対応実績日 1	対応実績日 1	実施日
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	実施時刻
	対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日 2
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2
	対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日 3
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3
	対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日 4
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4
	対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日 5
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5
	スケジュール設定開始日	スケジュール設定開始日	—	—	—	—
	スケジュール設定開始時刻	スケジュール設定開始時刻	—	—	—	—
	スケジュール設定終了日	スケジュール設定終了日	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	スケジュール設定終了時刻	スケジュール設定終了時刻	—	—	—	—
	スケジュール設定オプション-通し作業	スケジュール設定オプション-通し作業	—	—	—	—
	スケジュール設定オプション-非稼働日	スケジュール設定オプション-非稼働日	—	—	—	—
	日付テキスト1	日付テキスト1	日付1	日付1	日付1	日付1
	日付テキスト2	日付テキスト2	日付2	日付2	日付2	日付2
	日付テキスト3	日付テキスト3	—	—	—	—
	日付テキスト4	日付テキスト4	—	—	—	—
	日付テキスト5	日付テキスト5	—	—	—	—
	日付テキスト6	日付テキスト6	—	—	—	—
	日付テキスト7	日付テキスト7	—	—	—	—
	日付テキスト8	日付テキスト8	—	—	—	—
	日付テキスト9	日付テキスト9	—	—	—	—
	日付テキスト10	日付テキスト10	—	—	—	—
	日付テキスト11	日付テキスト11	—	—	—	—
	日付テキスト12	日付テキスト12	—	—	—	—
	日付テキスト13	日付テキスト13	—	—	—	—
	日付テキスト14	日付テキスト14	—	—	—	—
	日付テキスト15	日付テキスト15	—	—	—	—
	時刻テキスト1	時刻テキスト1	時刻1	時刻1	時刻1	時刻1
	時刻テキスト2	時刻テキスト2	時刻2	時刻2	時刻2	時刻2
	時刻テキスト3	時刻テキスト3	—	—	—	—
	時刻テキスト4	時刻テキスト4	—	—	—	—
	時刻テキスト5	時刻テキスト5	—	—	—	—
	時刻テキスト6	時刻テキスト6	—	—	—	—
	時刻テキスト7	時刻テキスト7	—	—	—	—
	時刻テキスト8	時刻テキスト8	—	—	—	—
	時刻テキスト9	時刻テキスト9	—	—	—	—
	時刻テキスト10	時刻テキスト10	—	—	—	—
	時刻テキスト11	時刻テキスト11	—	—	—	—
	時刻テキスト12	時刻テキスト12	—	—	—	—
	時刻テキスト13	時刻テキスト13	—	—	—	—
	時刻テキスト14	時刻テキスト14	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	時刻テキスト 15	時刻テキスト 15	—	—	—	—
	大分類	大分類	大分類	大分類	大分類	大分類
	中分類	中分類	中分類	中分類	中分類	中分類
	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3
	5 連分類 1-1	5 連分類-1	5 連分類 1-1	5 連分類 1-1	5 連分類 1-1	5 連分類 1-1
	5 連分類 1-2	5 連分類-2	5 連分類 1-2	5 連分類 1-2	5 連分類 1-2	5 連分類 1-2
	5 連分類 1-3	5 連分類-3	5 連分類 1-3	5 連分類 1-3	5 連分類 1-3	5 連分類 1-3
	5 連分類 1-4	5 連分類-4	5 連分類 1-4	5 連分類 1-4	5 連分類 1-4	5 連分類 1-4
	5 連分類 1-5	5 連分類-5	5 連分類 1-5	5 連分類 1-5	5 連分類 1-5	5 連分類 1-5
	5 連分類 2-1	5 連分類 2-1	—	—	—	—
	5 連分類 2-2	5 連分類 2-2	—	—	—	—
	5 連分類 2-3	5 連分類 2-3	—	—	—	—
	5 連分類 2-4	5 連分類 2-4	—	—	—	—
	5 連分類 2-5	5 連分類 2-5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	選択ユーザー1	選択ユーザー1	利用責任者	選択ユーザー1	実施予定者
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	選択ユーザー2	利用者	選択ユーザー2	実施者
	添付ファイル 1	添付ファイル 1	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名
	添付ファイル 2	添付ファイル 2	—	詳細情報添付ファイル名	—	変更情報添付ファイル名
	添付ファイル 3	添付ファイル 3	—	—	—	実施情報添付ファイル名 1
	添付ファイル 4	添付ファイル 4	—	—	—	実施情報添付ファイル名 2

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	関連プロセス	関連プロセス (レコード ID)	—	—	—	—
	—	関連プロセス (データ種別 ID)	—	—	—	—
	公開グループ	公開グループ	—	—	—	—
	フォーム公開	フォーム公開	—	—	—	—
関連 CI 情報	関連構成アイテム 1	関連構成アイテム 1	関連構成アイテム	関連構成アイテム	関連構成アイテム	関連構成アイテム
	関連構成アイテム 2	関連構成アイテム 2	—	—	—	—
	関連構成アイテム 3	関連構成アイテム 3	—	—	—	—
	関連アカウント	関連アカウント	関連アカウント	関連アカウント	関連アカウント	関連アカウント
	関連構成 1	関連構成 1 (構成 ID)	関連構成 (構成 ID)	関連構成 1 (構成 ID)	関連構成 (構成 ID)	関連構成 (構成 ID)
	—	関連構成 1 (データ種別 ID)	関連構成 (データ種別 ID)	関連構成 1 (データ種別 ID)	関連構成 (データ種別 ID)	関連構成 (データ種別 ID)
	関連構成 2	関連構成 2 (構成 ID)	—	関連構成 2 (構成 ID)	—	—
	—	関連構成 2 (データ種別 ID)	—	関連構成 2 (データ種別 ID)	—	—
	関連構成 3	関連構成 3 (構成 ID)	—	関連構成 3 (構成 ID)	—	—
	—	関連構成 3 (データ種別 ID)	—	関連構成 3 (データ種別 ID)	—	—
	関連構成 4	関連構成 4 (構成 ID)	—	関連構成 4 (構成 ID)	—	—
	—	関連構成 4 (データ種別 ID)	—	関連構成 4 (データ種別 ID)	—	—
経過 情報	タイトル	経過タイトル	経過タイトル	経過タイトル	経過タイトル	経過タイトル
	対応日	経過対応日	経過対応日付	経過対応日付	経過対応日付	経過対応日付
	対応時刻	経過対応時刻	経過対応時刻	経過対応時刻	経過対応時刻	経過対応時刻
	対応者	経過対応者	経過対応者	経過対応者	経過対応者	経過対応者
	チャンネル	経過チャンネル	経過チャンネル	経過チャンネル	経過チャンネル	経過チャンネル
	内容	経過内容	経過内容	経過内容	経過内容	経過内容
	経過色(チェック)	経過色	経過色	経過色	経過色	経過色
	対応先	経過対応先	経過対応先	経過対応先	経過対応先	経過対応先
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	経過コンボボックス 1
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	経過コンボボックス 2
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	経過コンボボックス 3
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	経過コンボボックス 4

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	テキスト1	経過テキスト1	経過テキスト1	経過テキスト1	経過テキスト1	経過テキスト1
	テキスト2	経過テキスト2	経過テキスト2	経過テキスト2	経過テキスト2	経過テキスト2
	テキスト3	経過テキスト3	経過テキスト3	経過テキスト3	経過テキスト3	経過テキスト3
	テキスト4	経過テキスト4	経過テキスト4	経過テキスト4	経過テキスト4	経過テキスト4
	テキストエリア1	経過テキストエリア1	経過テキストエリア1	経過テキストエリア1	経過テキストエリア1	経過テキストエリア1
	テキストエリア2	経過テキストエリア2	経過テキストエリア2	経過テキストエリア2	経過テキストエリア2	経過テキストエリア2
	テキストエリア3	経過テキストエリア3	経過テキストエリア3	経過テキストエリア3	経過テキストエリア3	経過テキストエリア3
	テキストエリア4	経過テキストエリア4	経過テキストエリア4	経過テキストエリア4	経過テキストエリア4	経過テキストエリア4
	FROM	経過 FROM	経過 FROM	—	—	—
	TO	経過 TO	経過 TO	—	—	—
	CC	経過 CC	経過 CC	—	—	—
	数値テキスト1	経過数値テキスト1	経過数値1	経過数値1	経過数値1	経過数値1
	数値テキスト2	経過数値テキスト2	経過数値2	経過数値2	経過数値2	経過数値2
	計算用数値テキスト1	経過計算用数値テキスト1	—	—	—	—
	計算用数値テキスト2	経過計算用数値テキスト2	—	—	—	—
	計算用数値テキスト3	経過計算用数値テキスト3	—	—	—	—
	日付テキスト1	経過日付テキスト1	経過日付1	経過日付1	経過日付1	経過日付1
	日付テキスト2	経過日付テキスト2	経過日付2	経過日付2	経過日付2	経過日付2
	時刻テキスト1	経過時刻テキスト1	経過時刻1	経過時刻1	経過時刻1	経過時刻1
	時刻テキスト2	経過時刻テキスト2	経過時刻2	経過時刻2	経過時刻2	経過時刻2
	添付ファイル	経過添付ファイル	経過添付ファイル名	経過添付ファイル名	経過添付ファイル名	経過添付ファイル名
	日時テキスト日付1	経過日時テキスト日付1	—	—	—	—
	日時テキスト時刻1	経過日時テキスト時刻1	—	—	—	—
	マルチ2連分類1-1	経過マルチ2連分類1-1	—	—	—	—
	マルチ2連分類1-2A	経過マルチ2連分類1-2A	—	—	—	—
	マルチ2連分類1-2B	経過マルチ2連分類1-2B	—	—	—	—
	マルチ2連分類1-2C	経過マルチ2連分類1-2C	—	—	—	—
	マルチ2連分類1-2D	経過マルチ2連分類1-2D	—	—	—	—
	マルチ2連分類2-1	経過マルチ2連分類2-1	—	—	—	—
	マルチ2連分類2-2A	経過マルチ2連分類2-2A	—	—	—	—
	マルチ2連分類2-2B	経過マルチ2連分類2-2B	—	—	—	—
	マルチ2連分類2-2C	経過マルチ2連分類2-2C	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	マルチ 2 連分類 2-2D	経過マルチ 2 連分類 2-2D	—	—	—	—
エスカレーション情報	対応元	エスカレーション元	エスカレーション元名	エスカレーション元名	エスカレーション元名	エスカレーション元名
	コメント	エスカレーションコメント	エスカレーションコメント	エスカレーションコメント	エスカレーションコメント	エスカレーションコメント
	対応先	エスカレーション先	エスカレーション先名	エスカレーション先名	エスカレーション先名	エスカレーション先名
	クローズ日	クローズ日	クローズ日	クローズ日	クローズ日	クローズ日
	クローズ時刻	クローズ時刻	クローズ時刻	クローズ時刻	クローズ時刻	クローズ時刻
	クローズ者	クローズ者	クローズ者	クローズ者	クローズ者	クローズ者
	クローズ種別	クローズ種別	クローズ種別	クローズ種別	クローズ種別	クローズ種別
	クローズ理由	クローズ理由	クローズ理由	クローズ理由	クローズ理由	クローズ理由
問合せ元情報	問合せ元 ID	問合せ元 ID	問合せ元 ID	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 1	問合せ元テキスト 1	問合せ元テキスト 1	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 2	問合せ元テキスト 2	問合せ元テキスト 2	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 3	問合せ元テキスト 3	問合せ元テキスト 3	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 4	問合せ元テキスト 4	問合せ元テキスト 4	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 5	問合せ元テキスト 5	問合せ元テキスト 5	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 6	問合せ元テキスト 6	問合せ元テキスト 6	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 7	問合せ元テキスト 7	問合せ元テキスト 7	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 8	問合せ元テキスト 8	問合せ元テキスト 8	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 9	問合せ元テキスト 9	問合せ元テキスト 9	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 10	問合せ元テキスト 10	問合せ元テキスト 10	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 11	問合せ元テキスト 11	問合せ元テキスト 11	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 12	問合せ元テキスト 12	問合せ元テキスト 12	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 13	問合せ元テキスト 13	問合せ元テキスト 13	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 14	問合せ元テキスト 14	問合せ元テキスト 14	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 15	問合せ元テキスト 15	問合せ元テキスト 15	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 16	問合せ元テキスト 16	問合せ元テキスト 16	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 17	問合せ元テキスト 17	問合せ元テキスト 17	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 18	問合せ元テキスト 18	問合せ元テキスト 18	—	—	—
	問合せ元 1 テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	—	—	—
問合せ元 1 日付 1	問合せ元日付 1	—	—	—	—	
ブロック制御コンボボックス 1	ブロック制御コンボボックス 1	—	—	—	—	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	ブロック制御コンボボックス2	ブロック制御コンボボックス2	—	—	—	—
	ブロック制御コンボボックス3	ブロック制御コンボボックス3	—	—	—	—
問合せ元情報 ～	問合せ元 2ID	問合せ元 2ID	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト1	問合せ元 2 テキスト1	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト2	問合せ元 2 テキスト2	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト3	問合せ元 2 テキスト3	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト4	問合せ元 2 テキスト4	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト5	問合せ元 2 テキスト5	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト6	問合せ元 2 テキスト6	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト7	問合せ元 2 テキスト7	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト8	問合せ元 2 テキスト8	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト9	問合せ元 2 テキスト9	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト10	問合せ元 2 テキスト10	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト11	問合せ元 2 テキスト11	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト12	問合せ元 2 テキスト12	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト13	問合せ元 2 テキスト13	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト14	問合せ元 2 テキスト14	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト15	問合せ元 2 テキスト15	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト16	問合せ元 2 テキスト16	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト17	問合せ元 2 テキスト17	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト18	問合せ元 2 テキスト18	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキストエリア1	問合せ元 2 テキストエリア1	—	—	—	—
問合せ元 2 日付1	問合せ元 2 日付1	—	—	—	—	
問合せ元 2ID	問合せ元 2ID	—	—	—	—	
表項目1情報	テキスト1	表項目1テキスト1	—	—	—	—
	テキスト2	表項目1テキスト2	—	—	—	—
	テキスト3	表項目1テキスト3	—	—	—	—
	テキスト4	表項目1テキスト4	—	—	—	—
	テキスト5	表項目1テキスト5	—	—	—	—
	テキスト6	表項目1テキスト6	—	—	—	—
	テキスト7	表項目1テキスト7	—	—	—	—
	テキスト8	表項目1テキスト8	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	テキスト 9	表項目 1 テキスト 9	—	—	—	—
	テキスト 10	表項目 1 テキスト 10	—	—	—	—
	テキスト 11	表項目 1 テキスト 11	—	—	—	—
	テキスト 12	表項目 1 テキスト 12	—	—	—	—
	テキスト 13	表項目 1 テキスト 13	—	—	—	—
	テキスト 14	表項目 1 テキスト 14	—	—	—	—
	テキスト 15	表項目 1 テキスト 15	—	—	—	—
	テキスト 16	表項目 1 テキスト 16	—	—	—	—
	テキスト 17	表項目 1 テキスト 17	—	—	—	—
	テキスト 18	表項目 1 テキスト 18	—	—	—	—
	テキスト 19	表項目 1 テキスト 19	—	—	—	—
	テキスト 20	表項目 1 テキスト 20	—	—	—	—
	コンボボックス 1	表項目 1 コンボボックス 1	—	—	—	—
	コンボボックス 2	表項目 1 コンボボックス 2	—	—	—	—
	コンボボックス 3	表項目 1 コンボボックス 3	—	—	—	—
	コンボボックス 4	表項目 1 コンボボックス 4	—	—	—	—
	コンボボックス 5	表項目 1 コンボボックス 5	—	—	—	—
	コンボボックス 6	表項目 1 コンボボックス 6	—	—	—	—
	コンボボックス 7	表項目 1 コンボボックス 7	—	—	—	—
	コンボボックス 8	表項目 1 コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	表項目 1 コンボボックス 9	—	—	—	—
	コンボボックス 10	表項目 1 コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	表項目 1 コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	表項目 1 コンボボックス 12	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 13	表項目 1 コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	表項目 1 コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	表項目 1 コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	表項目 1 コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	表項目 1 コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	表項目 1 コンボボックス 18	—	—	—	—
	コンボボックス 19	表項目 1 コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	表項目 1 コンボボックス 20	—	—	—	—
	日付テキスト 1	表項目 1 日付テキスト 1	—	—	—	—
	日付テキスト 2	表項目 1 日付テキスト 2	—	—	—	—
	日付テキスト 3	表項目 1 日付テキスト 3	—	—	—	—
	日付テキスト 4	表項目 1 日付テキスト 4	—	—	—	—
	日付テキスト 5	表項目 1 日付テキスト 5	—	—	—	—
	時刻テキスト 1	表項目 1 時刻テキスト 1	—	—	—	—
	時刻テキスト 2	表項目 1 時刻テキスト 2	—	—	—	—
	時刻テキスト 3	表項目 1 時刻テキスト 3	—	—	—	—
	時刻テキスト 4	表項目 1 時刻テキスト 4	—	—	—	—
	時刻テキスト 5	表項目 1 時刻テキスト 5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	表項目 1 選択ユーザー1	—	—	—	—
	選択ユーザー2	表項目 1 選択ユーザー2	—	—	—	—
	選択ユーザー3	表項目 1 選択ユーザー3	—	—	—	—
	選択ユーザー4	表項目 1 選択ユーザー4	—	—	—	—
	選択ユーザー5	表項目 1 選択ユーザー5	—	—	—	—
	問合せ元 ID	表項目 1 問合せ元 ID	—	—	—	—
情報 表 項目 2	テキスト 1	表項目 2 テキスト 1	—	—	—	—
	テキスト 2	表項目 2 テキスト 2	—	—	—	—
	テキスト 3	表項目 2 テキスト 3	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	テキスト 4	表項目 2 テキスト 4	—	—	—	—
	テキスト 5	表項目 2 テキスト 5	—	—	—	—
	テキスト 6	表項目 2 テキスト 6	—	—	—	—
	テキスト 7	表項目 2 テキスト 7	—	—	—	—
	テキスト 8	表項目 2 テキスト 8	—	—	—	—
	テキスト 9	表項目 2 テキスト 9	—	—	—	—
	テキスト 10	表項目 2 テキスト 10	—	—	—	—
	テキスト 11	表項目 2 テキスト 11	—	—	—	—
	テキスト 12	表項目 2 テキスト 12	—	—	—	—
	テキスト 13	表項目 2 テキスト 13	—	—	—	—
	テキスト 14	表項目 2 テキスト 14	—	—	—	—
	テキスト 15	表項目 2 テキスト 15	—	—	—	—
	テキスト 16	表項目 2 テキスト 16	—	—	—	—
	テキスト 17	表項目 2 テキスト 17	—	—	—	—
	テキスト 18	表項目 2 テキスト 18	—	—	—	—
	テキスト 19	表項目 2 テキスト 19	—	—	—	—
	テキスト 20	表項目 2 テキスト 20	—	—	—	—
	コンボボックス 1	表項目 2 コンボボックス 1	—	—	—	—
	コンボボックス 2	表項目 2 コンボボックス 2	—	—	—	—
	コンボボックス 3	表項目 2 コンボボックス 3	—	—	—	—
	コンボボックス 4	表項目 2 コンボボックス 4	—	—	—	—
	コンボボックス 5	表項目 2 コンボボックス 5	—	—	—	—
	コンボボックス 6	表項目 2 コンボボックス 6	—	—	—	—
	コンボボックス 7	表項目 2 コンボボックス 7	—	—	—	—
	コンボボックス 8	表項目 2 コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	表項目 2 コンボボックス 9	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 10	表項目 2 コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	表項目 2 コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	表項目 2 コンボボックス 12	—	—	—	—
	コンボボックス 13	表項目 2 コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	表項目 2 コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	表項目 2 コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	表項目 2 コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	表項目 2 コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	表項目 2 コンボボックス 18	—	—	—	—
	コンボボックス 19	表項目 2 コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	表項目 2 コンボボックス 20	—	—	—	—
	日付テキスト 1	表項目 2 日付テキスト 1	—	—	—	—
	日付テキスト 2	表項目 2 日付テキスト 2	—	—	—	—
	日付テキスト 3	表項目 2 日付テキスト 3	—	—	—	—
	日付テキスト 4	表項目 2 日付テキスト 4	—	—	—	—
	日付テキスト 5	表項目 2 日付テキスト 5	—	—	—	—
	時刻テキスト 1	表項目 2 時刻テキスト 1	—	—	—	—
	時刻テキスト 2	表項目 2 時刻テキスト 2	—	—	—	—
	時刻テキスト 3	表項目 2 時刻テキスト 3	—	—	—	—
	時刻テキスト 4	表項目 2 時刻テキスト 4	—	—	—	—
	時刻テキスト 5	表項目 2 時刻テキスト 5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	表項目 2 選択ユーザー1	—	—	—	—
	選択ユーザー2	表項目 2 選択ユーザー2	—	—	—	—
	選択ユーザー3	表項目 2 選択ユーザー3	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	選択ユーザー4	表項目 2 選択ユーザー4	—	—	—	—
	選択ユーザー5	表項目 2 選択ユーザー5	—	—	—	—
	問合せ元 ID	表項目 2 問合せ元 ID	—	—	—	—
表項目の 情報	テキスト 1	表項目 3 テキスト 1	—	—	—	—
	テキスト 2	表項目 3 テキスト 2	—	—	—	—
	テキスト 3	表項目 3 テキスト 3	—	—	—	—
	テキスト 4	表項目 3 テキスト 4	—	—	—	—
	テキスト 5	表項目 3 テキスト 5	—	—	—	—
	テキスト 6	表項目 3 テキスト 6	—	—	—	—
	テキスト 7	表項目 3 テキスト 7	—	—	—	—
	テキスト 8	表項目 3 テキスト 8	—	—	—	—
	テキスト 9	表項目 3 テキスト 9	—	—	—	—
	テキスト 10	表項目 3 テキスト 10	—	—	—	—
	テキスト 11	表項目 3 テキスト 11	—	—	—	—
	テキスト 12	表項目 3 テキスト 12	—	—	—	—
	テキスト 13	表項目 3 テキスト 13	—	—	—	—
	テキスト 14	表項目 3 テキスト 14	—	—	—	—
	テキスト 15	表項目 3 テキスト 15	—	—	—	—
	テキスト 16	表項目 3 テキスト 16	—	—	—	—
	テキスト 17	表項目 3 テキスト 17	—	—	—	—
	テキスト 18	表項目 3 テキスト 18	—	—	—	—
	テキスト 19	表項目 3 テキスト 19	—	—	—	—
	テキスト 20	表項目 3 テキスト 20	—	—	—	—
コンボボックス 1	表項目 3 コンボボックス 1	—	—	—	—	
コンボボックス 2	表項目 3 コンボボックス 2	—	—	—	—	
コンボボックス 3	表項目 3 コンボボックス 3	—	—	—	—	
コンボボックス 4	表項目 3 コンボボックス 4	—	—	—	—	
コンボボックス 5	表項目 3 コンボボックス 5	—	—	—	—	
コンボボックス 6	表項目 3 コンボボックス 6	—	—	—	—	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 7	表項目 3 コンボボックス 7	—	—	—	—
	コンボボックス 8	表項目 3 コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	表項目 3 コンボボックス 9	—	—	—	—
	コンボボックス 10	表項目 3 コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	表項目 3 コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	表項目 3 コンボボックス 12	—	—	—	—
	コンボボックス 13	表項目 3 コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	表項目 3 コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	表項目 3 コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	表項目 3 コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	表項目 3 コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	表項目 3 コンボボックス 18	—	—	—	—
	コンボボックス 19	表項目 3 コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	表項目 3 コンボボックス 20	—	—	—	—
	日付テキスト 1	表項目 3 日付テキスト 1	—	—	—	—
	日付テキスト 2	表項目 3 日付テキスト 2	—	—	—	—
	日付テキスト 3	表項目 3 日付テキスト 3	—	—	—	—
	日付テキスト 4	表項目 3 日付テキスト 4	—	—	—	—
	日付テキスト 5	表項目 3 日付テキスト 5	—	—	—	—
	時刻テキスト 1	表項目 3 時刻テキスト 1	—	—	—	—
	時刻テキスト 2	表項目 3 時刻テキスト 2	—	—	—	—
	時刻テキスト 3	表項目 3 時刻テキスト 3	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	時刻テキスト 4	表項目 3 時刻テキスト 4	—	—	—	—
	時刻テキスト 5	表項目 3 時刻テキスト 5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	表項目 3 選択ユーザー1	—	—	—	—
	選択ユーザー2	表項目 3 選択ユーザー2	—	—	—	—
	選択ユーザー3	表項目 3 選択ユーザー3	—	—	—	—
	選択ユーザー4	表項目 3 選択ユーザー4	—	—	—	—
	選択ユーザー5	表項目 3 選択ユーザー5	—	—	—	—
	問合せ元 ID	表項目 3 問合せ元 ID	—	—	—	—
表項目 情報	テキスト 1	表項目 4 テキスト 1	—	—	—	—
	テキスト 2	表項目 4 テキスト 2	—	—	—	—
	テキスト 3	表項目 4 テキスト 3	—	—	—	—
	テキスト 4	表項目 4 テキスト 4	—	—	—	—
	テキスト 5	表項目 4 テキスト 5	—	—	—	—
	テキスト 6	表項目 4 テキスト 6	—	—	—	—
	テキスト 7	表項目 4 テキスト 7	—	—	—	—
	テキスト 8	表項目 4 テキスト 8	—	—	—	—
	テキスト 9	表項目 4 テキスト 9	—	—	—	—
	テキスト 10	表項目 4 テキスト 10	—	—	—	—
	テキスト 11	表項目 4 テキスト 11	—	—	—	—
	テキスト 12	表項目 4 テキスト 12	—	—	—	—
	テキスト 13	表項目 4 テキスト 13	—	—	—	—
	テキスト 14	表項目 4 テキスト 14	—	—	—	—
	テキスト 15	表項目 4 テキスト 15	—	—	—	—
	テキスト 16	表項目 4 テキスト 16	—	—	—	—
	テキスト 17	表項目 4 テキスト 17	—	—	—	—
	テキスト 18	表項目 4 テキスト 18	—	—	—	—
	テキスト 19	表項目 4 テキスト 19	—	—	—	—
	テキスト 20	表項目 4 テキスト 20	—	—	—	—
コンボボックス 1	表項目 4 コンボボックス 1	—	—	—	—	
コンボボックス 2	表項目 4 コンボボックス 2	—	—	—	—	
コンボボックス 3	表項目 4 コンボボックス 3	—	—	—	—	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 4	表項目 4 コンボボックス 4	—	—	—	—
	コンボボックス 5	表項目 4 コンボボックス 5	—	—	—	—
	コンボボックス 6	表項目 4 コンボボックス 6	—	—	—	—
	コンボボックス 7	表項目 4 コンボボックス 7	—	—	—	—
	コンボボックス 8	表項目 4 コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	表項目 4 コンボボックス 9	—	—	—	—
	コンボボックス 10	表項目 4 コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	表項目 4 コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	表項目 4 コンボボックス 12	—	—	—	—
	コンボボックス 13	表項目 4 コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	表項目 4 コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	表項目 4 コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	表項目 4 コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	表項目 4 コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	表項目 4 コンボボックス 18	—	—	—	—
	コンボボックス 19	表項目 4 コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	表項目 4 コンボボックス 20	—	—	—	—
	日付テキスト 1	表項目 4 日付テキスト 1	—	—	—	—
	日付テキスト 2	表項目 4 日付テキスト 2	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	日付テキスト3	表項目4日付テキスト3	—	—	—	—
	日付テキスト4	表項目4日付テキスト4	—	—	—	—
	日付テキスト5	表項目4日付テキスト5	—	—	—	—
	時刻テキスト1	表項目4時刻テキスト1	—	—	—	—
	時刻テキスト2	表項目4時刻テキスト2	—	—	—	—
	時刻テキスト3	表項目4時刻テキスト3	—	—	—	—
	時刻テキスト4	表項目4時刻テキスト4	—	—	—	—
	時刻テキスト5	表項目4時刻テキスト5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	表項目4選択ユーザー1	—	—	—	—
	選択ユーザー2	表項目4選択ユーザー2	—	—	—	—
	選択ユーザー3	表項目4選択ユーザー3	—	—	—	—
	選択ユーザー4	表項目4選択ユーザー4	—	—	—	—
	選択ユーザー5	表項目4選択ユーザー5	—	—	—	—
	問合せ元ID	表項目4問合せ元ID	—	—	—	—
表項目の 情報	テキスト1	表項目5テキスト1	—	—	—	—
	テキスト2	表項目5テキスト2	—	—	—	—
	テキスト3	表項目5テキスト3	—	—	—	—
	テキスト4	表項目5テキスト4	—	—	—	—
	テキスト5	表項目5テキスト5	—	—	—	—
	テキスト6	表項目5テキスト6	—	—	—	—
	テキスト7	表項目5テキスト7	—	—	—	—
	テキスト8	表項目5テキスト8	—	—	—	—
	テキスト9	表項目5テキスト9	—	—	—	—
	テキスト10	表項目5テキスト10	—	—	—	—
	テキスト11	表項目5テキスト11	—	—	—	—
	テキスト12	表項目5テキスト12	—	—	—	—
	テキスト13	表項目5テキスト13	—	—	—	—
	テキスト14	表項目5テキスト14	—	—	—	—
	テキスト15	表項目5テキスト15	—	—	—	—
	テキスト16	表項目5テキスト16	—	—	—	—
	テキスト17	表項目5テキスト17	—	—	—	—
	テキスト18	表項目5テキスト18	—	—	—	—
	テキスト19	表項目5テキスト19	—	—	—	—
	テキスト20	表項目5テキスト20	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 1	表項目 5 コンボボックス 1	—	—	—	—
	コンボボックス 2	表項目 5 コンボボックス 2	—	—	—	—
	コンボボックス 3	表項目 5 コンボボックス 3	—	—	—	—
	コンボボックス 4	表項目 5 コンボボックス 4	—	—	—	—
	コンボボックス 5	表項目 5 コンボボックス 5	—	—	—	—
	コンボボックス 6	表項目 5 コンボボックス 6	—	—	—	—
	コンボボックス 7	表項目 5 コンボボックス 7	—	—	—	—
	コンボボックス 8	表項目 5 コンボボックス 8	—	—	—	—
	コンボボックス 9	表項目 5 コンボボックス 9	—	—	—	—
	コンボボックス 10	表項目 5 コンボボックス 10	—	—	—	—
	コンボボックス 11	表項目 5 コンボボックス 11	—	—	—	—
	コンボボックス 12	表項目 5 コンボボックス 12	—	—	—	—
	コンボボックス 13	表項目 5 コンボボックス 13	—	—	—	—
	コンボボックス 14	表項目 5 コンボボックス 14	—	—	—	—
	コンボボックス 15	表項目 5 コンボボックス 15	—	—	—	—
	コンボボックス 16	表項目 5 コンボボックス 16	—	—	—	—
	コンボボックス 17	表項目 5 コンボボックス 17	—	—	—	—
	コンボボックス 18	表項目 5 コンボボックス 18	—	—	—	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名				
		プロセス管理	インシデント管理	サービス要求	問題管理	変更管理
	コンボボックス 19	表項目 5 コンボボックス 19	—	—	—	—
	コンボボックス 20	表項目 5 コンボボックス 20	—	—	—	—
	日付テキスト 1	表項目 5 日付テキスト 1	—	—	—	—
	日付テキスト 2	表項目 5 日付テキスト 2	—	—	—	—
	日付テキスト 3	表項目 5 日付テキスト 3	—	—	—	—
	日付テキスト 4	表項目 5 日付テキスト 4	—	—	—	—
	日付テキスト 5	表項目 5 日付テキスト 5	—	—	—	—
	時刻テキスト 1	表項目 5 時刻テキスト 1	—	—	—	—
	時刻テキスト 2	表項目 5 時刻テキスト 2	—	—	—	—
	時刻テキスト 3	表項目 5 時刻テキスト 3	—	—	—	—
	時刻テキスト 4	表項目 5 時刻テキスト 4	—	—	—	—
	時刻テキスト 5	表項目 5 時刻テキスト 5	—	—	—	—
	選択ユーザー1	表項目 5 選択ユーザー1	—	—	—	—
	選択ユーザー2	表項目 5 選択ユーザー2	—	—	—	—
	選択ユーザー3	表項目 5 選択ユーザー3	—	—	—	—
	選択ユーザー4	表項目 5 選択ユーザー4	—	—	—	—
	選択ユーザー5	表項目 5 選択ユーザー5	—	—	—	—
	問合せ元 ID	表項目 5 問合せ元 ID	—	—	—	—

2. イベント管理/インシデント候補

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
基本情報	—	データ種別 ID	データ種別 ID
	レコード ID	レコード ID	インシデント ID
	システム	システム	システム名
	タイトル	タイトル	タイトル
	種別	種別	種別
	備考	備考	備考
	起票日	起票日	起票日
	起票時刻	起票時刻	起票時刻
	クローズ期限日	クローズ期限日	対応期限日
	クローズ期限時刻	クローズ期限時刻	対応期限時刻
	起票者	起票者	起票者
	—	登録者	登録者
	サブステータス	サブステータス	サブステータス
	インパクト	インパクト	インパクト
	緊急度	緊急度	緊急度
	優先度	優先度	優先度
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	社内申請者社員番号
	氏名	社内申請者氏名	社内申請者氏名
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	社内申請者氏名カナ
	会社名	社内申請者会社名	社内申請者会社名
	組織名	社内申請者組織名	社内申請者組織名
	役職	社内申請者役職	社内申請者役職
	内線番号	社内申請者内線番号	社内申請者内線番号
	電話番号 1	社内申請者電話番号 1	社内申請者電話番号 1
	電話番号 2	社内申請者電話番号 2	社内申請者電話番号 2
	FAX	社内申請者 FAX 番号	社内申請者 FAX 番号
	携帯電話番号	社内申請者携帯番号	社内申請者携帯番号
	メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者メールアドレス 1
メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者メールアドレス 2	
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	申請者会社名
	組織名	申請者組織名	申請者組織名
	氏名	申請者氏名	申請者氏名

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	氏名カナ	申請者氏名カナ	申請者氏名カナ
	電話番号	申請者電話番号	申請者電話番号
	メールアドレス	申請者メールアドレス	申請者メールアドレス
未選択項目	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4
	コンボボックス 5	コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	コンボボックス 6	—
	コンボボックス 7	コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	コンボボックス 13	—
	コンボボックス 14	コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	コンボボックス 20	—
	コンボボックス 21	コンボボックス 21	—
	コンボボックス 22	コンボボックス 22	—
	コンボボックス 23	コンボボックス 23	—
	コンボボックス 24	コンボボックス 24	—
	コンボボックス 25	コンボボックス 25	—
	コンボボックス 26	コンボボックス 26	—
	コンボボックス 27	コンボボックス 27	—
	コンボボックス 28	コンボボックス 28	—
	コンボボックス 29	コンボボックス 29	—
	コンボボックス 30	コンボボックス 30	—
	コンボボックス 31	コンボボックス 31	—
	コンボボックス 32	コンボボックス 32	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	コンボボックス 33	コンボボックス 33	—
	コンボボックス 34	コンボボックス 34	—
	コンボボックス 35	コンボボックス 35	—
	コンボボックス 36	コンボボックス 36	—
	コンボボックス 37	コンボボックス 37	—
	コンボボックス 38	コンボボックス 38	—
	コンボボックス 39	コンボボックス 39	—
	コンボボックス 40	コンボボックス 40	—
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2
	チェックボックス 1	チェックボックス 1	—
	チェックボックス 2	チェックボックス 2	—
	チェックボックス 3	チェックボックス 3	—
	チェックボックス 4	チェックボックス 4	—
	チェックボックス 5	チェックボックス 5	—
	チェックボックス 6	チェックボックス 6	—
	チェックボックス 7	チェックボックス 7	—
	チェックボックス 8	チェックボックス 8	—
	チェックボックス 9	チェックボックス 9	—
	チェックボックス 10	チェックボックス 10	—
	チェックボックス 11	チェックボックス 11	—
	チェックボックス 12	チェックボックス 12	—
	チェックボックス 13	チェックボックス 13	—
	チェックボックス 14	チェックボックス 14	—
	チェックボックス 15	チェックボックス 15	—
	チェックボックス 16	チェックボックス 16	—
	チェックボックス 17	チェックボックス 17	—
	チェックボックス 18	チェックボックス 18	—
	チェックボックス 19	チェックボックス 19	—
	チェックボックス 20	チェックボックス 20	—
	チェックボックス 21	チェックボックス 21	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	チェックボックス 22	チェックボックス 22	—
	チェックボックス 23	チェックボックス 23	—
	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1
	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2
	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3
	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4
	テキスト 5	テキスト 5	キーワード
	テキスト 6	テキスト 6	インシデント内容
	テキスト 7	テキスト 7	影響範囲
	テキスト 8	テキスト 8	原因
	テキスト 9	テキスト 9	ワークアラウンド及び結果
	テキスト 10	テキスト 10	対応及び結果
	テキスト 11	テキスト 11	—
	テキスト 12	テキスト 12	—
	テキスト 13	テキスト 13	—
	テキスト 14	テキスト 14	—
	テキスト 15	テキスト 15	—
	テキスト 16	テキスト 16	テキストエリア 1
	テキスト 17	テキスト 17	テキストエリア 2
	テキスト 18	テキスト 18	テキストエリア 3
	テキスト 19	テキスト 19	テキストエリア 4
	テキスト 20	テキスト 20	—
	テキスト 21	テキスト 21	—
	テキスト 22	テキスト 22	—
	テキスト 23	テキスト 23	—
	テキスト 24	テキスト 24	—
	テキスト 25	テキスト 25	—
	テキスト 26	テキスト 26	—
	テキスト 27	テキスト 27	—
	テキスト 28	テキスト 28	—
	テキスト 29	テキスト 29	—
	テキスト 30	テキスト 30	—
	テキスト 31	テキスト 31	—
	テキスト 32	テキスト 32	—
	テキスト 33	テキスト 33	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	テキスト 34	テキスト 34	—
	テキスト 35	テキスト 35	—
	テキスト 36	テキスト 36	—
	テキスト 37	テキスト 37	—
	テキスト 38	テキスト 38	—
	テキスト 39	テキスト 39	—
	テキスト 40	テキスト 40	—
	テキスト 41	テキスト 41	—
	テキスト 42	テキスト 42	—
	テキスト 43	テキスト 43	—
	テキスト 44	テキスト 44	—
	テキスト 45	テキスト 45	—
	テキスト 46	テキスト 46	—
	テキスト 47	テキスト 47	—
	テキスト 48	テキスト 48	—
	テキスト 49	テキスト 49	—
	テキスト 50	テキスト 50	—
	参考 URL1	参考 URL1	—
	参考 URL2	参考 URL2	—
	参考 URL3	参考 URL3	—
	参考 URL4	参考 URL4	—
	参考 URL5	参考 URL5	—
	参考 URL6	参考 URL6	—
	参考 URL7	参考 URL7	—
	数値テキスト 1	数値テキスト 1	数値 1
	数値テキスト 2	数値テキスト 2	数値 2
	数値テキスト 3	数値テキスト 3	—
	数値テキスト 4	数値テキスト 4	—
	数値テキスト 5	数値テキスト 5	—
	数値テキスト 6	数値テキスト 6	—
	数値テキスト 7	数値テキスト 7	—
	数値テキスト 8	数値テキスト 8	—
	数値テキスト 9	数値テキスト 9	—
	数値テキスト 10	数値テキスト 10	—
	数値テキスト 11	数値テキスト 11	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	数値テキスト 12	数値テキスト 12	—
	数値テキスト 13	数値テキスト 13	—
	数値テキスト 14	数値テキスト 14	—
	数値テキスト 15	数値テキスト 15	—
	数値テキスト 16	数値テキスト 16	—
	数値テキスト 17	数値テキスト 17	—
	数値テキスト 18	数値テキスト 18	—
	数値テキスト 19	数値テキスト 19	—
	数値テキスト 20	数値テキスト 20	—
	数値テキスト 21	数値テキスト 21	—
	数値テキスト 22	数値テキスト 22	—
	数値テキスト 23	数値テキスト 23	—
	数値テキスト 24	数値テキスト 24	—
	数値テキスト 25	数値テキスト 25	—
	数値テキスト 26	数値テキスト 26	—
	数値テキスト 27	数値テキスト 27	—
	数値テキスト 28	数値テキスト 28	—
	数値テキスト 29	数値テキスト 29	—
	数値テキスト 30	数値テキスト 30	—
	数値テキスト 31	数値テキスト 31	—
	数値テキスト 32	数値テキスト 32	—
	数値テキスト 33	数値テキスト 33	—
	数値テキスト 34	数値テキスト 34	—
	数値テキスト 35	数値テキスト 35	—
	数値テキスト 36	数値テキスト 36	—
	数値テキスト 37	数値テキスト 37	—
	数値テキスト 38	数値テキスト 38	—
	数値テキスト 39	数値テキスト 39	—
	数値テキスト 40	数値テキスト 40	—
	数値テキスト 41	数値テキスト 41	—
	数値テキスト 42	数値テキスト 42	—
	数値テキスト 43	数値テキスト 43	—
	数値テキスト 44	数値テキスト 44	—
	数値テキスト 45	数値テキスト 45	—
	数値テキスト 46	数値テキスト 46	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	数値テキスト 47	数値テキスト 47	—
	数値テキスト 48	数値テキスト 48	—
	数値テキスト 49	数値テキスト 49	—
	数値テキスト 50	数値テキスト 50	—
	数値テキスト 51	数値テキスト 51	—
	数値テキスト 52	数値テキスト 52	—
	数値テキスト 53	数値テキスト 53	—
	数値テキスト 54	数値テキスト 54	—
	数値テキスト 55	数値テキスト 55	—
	数値テキスト 56	数値テキスト 56	—
	数値テキスト 57	数値テキスト 57	—
	数値テキスト 58	数値テキスト 58	—
	数値テキスト 59	数値テキスト 59	—
	数値テキスト 60	数値テキスト 60	—
	ラージテキスト 1	ラージテキスト 1	—
	ラージテキスト 2	ラージテキスト 2	—
	ラージテキスト 3	ラージテキスト 3	—
	ラージテキスト 4	ラージテキスト 4	—
	承認フロー追加通知先	承認フロー追加通知先	—
	開始日	開始日	発生日
	開始時刻	開始時刻	発生時刻
	終了日 1	終了日 1	受付日
	終了時刻	終了時刻 1	受付時刻
	終了日 2	終了日 2	速報日
	終了時刻 2	終了時刻 2	速報時刻
	終了日 3	終了日 3	復旧日
	終了時刻 3	終了時刻 3	復旧時刻
	開始予定日	開始予定日	—
	開始予定時刻	開始予定時刻	—
	終了予定日	終了予定日	—
	終了予定時刻	終了予定時刻	—
	対応予定日 1	対応予定日 1	対応予定日 1
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1
	対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日 2
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日 3
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3
	対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日 4
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4
	対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日 5
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5
	対応実績日 1	対応実績日 1	対応実績日 1
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1
	対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日 2
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2
	対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日 3
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3
	対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日 4
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4
	対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日 5
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5
	スケジュール設定開始日	スケジュール設定開始日	—
	スケジュール設定開始時刻	スケジュール設定開始時刻	—
	スケジュール設定終了日	スケジュール設定終了日	—
	スケジュール設定終了時刻	スケジュール設定終了時刻	—
	スケジュール設定オプション-通し作業	スケジュール設定オプション-通し作業	—
	スケジュール設定オプション-非稼働日	スケジュール設定オプション-非稼働日	—
	日付テキスト 1	日付テキスト 1	日付 1
	日付テキスト 2	日付テキスト 2	日付 2
	日付テキスト 3	日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	日付テキスト 5	—
	日付テキスト 6	日付テキスト 6	—
	日付テキスト 7	日付テキスト 7	—
	日付テキスト 8	日付テキスト 8	—
	日付テキスト 9	日付テキスト 9	—
	日付テキスト 10	日付テキスト 10	—
	日付テキスト 11	日付テキスト 11	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	日付テキスト 12	日付テキスト 12	—
	日付テキスト 13	日付テキスト 13	—
	日付テキスト 14	日付テキスト 14	—
	日付テキスト 15	日付テキスト 15	—
	時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	時刻 1
	時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	時刻 2
	時刻テキスト 3	時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	時刻テキスト 5	—
	時刻テキスト 6	時刻テキスト 6	—
	時刻テキスト 7	時刻テキスト 7	—
	時刻テキスト 8	時刻テキスト 8	—
	時刻テキスト 9	時刻テキスト 9	—
	時刻テキスト 10	時刻テキスト 10	—
	時刻テキスト 11	時刻テキスト 11	—
	時刻テキスト 12	時刻テキスト 12	—
	時刻テキスト 13	時刻テキスト 13	—
	時刻テキスト 14	時刻テキスト 14	—
	時刻テキスト 15	時刻テキスト 15	—
	大分類	大分類	大分類
	中分類	中分類	中分類
	小分類	小分類	小分類
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3
	5 連分類 1-1	5 連分類-1	5 連分類 1-1
	5 連分類 1-2	5 連分類-2	5 連分類 1-2
	5 連分類 1-3	5 連分類-3	5 連分類 1-3

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	5 連分類 1-4	5 連分類-4	5 連分類 1-4
	5 連分類 1-5	5 連分類-5	5 連分類 1-5
	5 連分類 2-1	5 連分類 2-1	—
	5 連分類 2-2	5 連分類 2-2	—
	5 連分類 2-3	5 連分類 2-3	—
	5 連分類 2-4	5 連分類 2-4	—
	5 連分類 2-5	5 連分類 2-5	—
	選択ユーザー1	選択ユーザー1	選択ユーザー1
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	選択ユーザー2
	添付ファイル 1	添付ファイル 1	付加情報添付ファイル名
	添付ファイル 2	添付ファイル 2	—
	添付ファイル 3	添付ファイル 3	—
	添付ファイル 4	添付ファイル 4	—
関連 CI 情報	関連構成アイテム 1	関連構成アイテム 1	関連構成アイテム
	関連構成アイテム 2	関連構成アイテム 2	—
	関連構成アイテム 3	関連構成アイテム 3	—
	関連アカウント	関連アカウント	関連アカウント
	関連構成 1	関連構成 1 (構成 ID)	関連構成 (構成 ID)
	—	関連構成 1 (データ種別 ID)	関連構成 (データ種別 ID)
	関連構成 2	関連構成 2 (構成 ID)	—
	—	関連構成 2 (データ種別 ID)	—
	関連構成 3	関連構成 3 (構成 ID)	—
	—	関連構成 3 (データ種別 ID)	—
(インシデント候補振分)	送信者<上段>	送信元	送信者名
	送信者<下段>	送信元アドレス	送信者アドレス
経過情報	タイトル	経過タイトル	経過タイトル
	対応日	経過対応日	経過対応日付
	対応時刻	経過対応時刻	経過対応時刻
	対応者	経過対応者	経過対応者
	チャンネル	経過チャンネル	経過チャンネル
	内容	経過内容	経過内容
	経過色 (チェック)	経過色	経過色
	対応先	経過対応先	経過対応先

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	経過コンボボックス 1
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	経過コンボボックス 2
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	経過コンボボックス 3
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	経過コンボボックス 4
	テキスト 1	経過テキスト 1	経過テキスト 1
	テキスト 2	経過テキスト 2	経過テキスト 2
	テキスト 3	経過テキスト 3	経過テキスト 3
	テキスト 4	経過テキスト 4	経過テキスト 4
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	経過テキストエリア 1
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	経過テキストエリア 2
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	経過テキストエリア 3
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	経過テキストエリア 4
	FROM	経過 FROM	経過 FROM
	TO	経過 TO	経過 TO
	CC	経過 CC	経過 CC
	数値テキスト 1	経過数値テキスト 1	経過数値 1
	数値テキスト 2	経過数値テキスト 2	経過数値 2
	計算用数値テキスト 1	経過計算用数値テキスト 1	—
	計算用数値テキスト 2	経過計算用数値テキスト 2	—
	計算用数値テキスト 3	経過計算用数値テキスト 3	—
	日付テキスト 1	経過日付テキスト 1	経過日付 1
	日付テキスト 2	経過日付テキスト 2	経過日付 2
	時刻テキスト 1	経過時刻テキスト 1	経過時刻 1
	時刻テキスト 2	経過時刻テキスト 2	経過時刻 2
	添付ファイル	経過添付ファイル	経過添付ファイル名
	日時テキスト日付 1	経過日時テキスト日付 1	—
	日時テキスト時刻 1	経過日時テキスト時刻 1	—
	マルチ 2 連分類 1-1	経過マルチ 2 連分類 1-1	—
	マルチ 2 連分類 1-2A	経過マルチ 2 連分類 1-2A	—
	マルチ 2 連分類 1-2B	経過マルチ 2 連分類 1-2B	—
	マルチ 2 連分類 1-2C	経過マルチ 2 連分類 1-2C	—
	マルチ 2 連分類 1-2D	経過マルチ 2 連分類 1-2D	—
	マルチ 2 連分類 2-1	経過マルチ 2 連分類 2-1	—
	マルチ 2 連分類 2-2A	経過マルチ 2 連分類 2-2A	—
	マルチ 2 連分類 2-2B	経過マルチ 2 連分類 2-2B	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	マルチ 2 連分類 2-2C	経過マルチ 2 連分類 2-2C	—
	マルチ 2 連分類 2-2D	経過マルチ 2 連分類 2-2D	—
表項目 1 情報	テキスト 1	表項目 1 テキスト 1	—
	テキスト 2	表項目 1 テキスト 2	—
	テキスト 3	表項目 1 テキスト 3	—
	テキスト 4	表項目 1 テキスト 4	—
	テキスト 5	表項目 1 テキスト 5	—
	テキスト 6	表項目 1 テキスト 6	—
	テキスト 7	表項目 1 テキスト 7	—
	テキスト 8	表項目 1 テキスト 8	—
	テキスト 9	表項目 1 テキスト 9	—
	テキスト 10	表項目 1 テキスト 10	—
	テキスト 11	表項目 1 テキスト 11	—
	テキスト 12	表項目 1 テキスト 12	—
	テキスト 13	表項目 1 テキスト 13	—
	テキスト 14	表項目 1 テキスト 14	—
	テキスト 15	表項目 1 テキスト 15	—
	テキスト 16	表項目 1 テキスト 16	—
	テキスト 17	表項目 1 テキスト 17	—
	テキスト 18	表項目 1 テキスト 18	—
	テキスト 19	表項目 1 テキスト 19	—
	テキスト 20	表項目 1 テキスト 20	—
	コンボボックス 1	表項目 1 コンボボックス 1	—
	コンボボックス 2	表項目 1 コンボボックス 2	—
	コンボボックス 3	表項目 1 コンボボックス 3	—
	コンボボックス 4	表項目 1 コンボボックス 4	—
	コンボボックス 5	表項目 1 コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	表項目 1 コンボボックス 6	—
	コンボボックス 7	表項目 1 コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	表項目 1 コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	表項目 1 コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	表項目 1 コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	表項目 1 コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	表項目 1 コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	表項目 1 コンボボックス 13	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	コンボボックス 14	表項目 1 コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	表項目 1 コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	表項目 1 コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	表項目 1 コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	表項目 1 コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	表項目 1 コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	表項目 1 コンボボックス 20	—
	日付テキスト 1	表項目 1 日付テキスト 1	—
	日付テキスト 2	表項目 1 日付テキスト 2	—
	日付テキスト 3	表項目 1 日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	表項目 1 日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	表項目 1 日付テキスト 5	—
	時刻テキスト 1	表項目 1 時刻テキスト 1	—
	時刻テキスト 2	表項目 1 時刻テキスト 2	—
	時刻テキスト 3	表項目 1 時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	表項目 1 時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	表項目 1 時刻テキスト 5	—
	選択ユーザー1	表項目 1 選択ユーザー1	—
	選択ユーザー2	表項目 1 選択ユーザー2	—
	選択ユーザー3	表項目 1 選択ユーザー3	—
	選択ユーザー4	表項目 1 選択ユーザー4	—
	選択ユーザー5	表項目 1 選択ユーザー5	—
	問合せ元 ID	表項目 1 問合せ元 ID	—
表項目 2 情報	テキスト 1	表項目 2 テキスト 1	—
	テキスト 2	表項目 2 テキスト 2	—
	テキスト 3	表項目 2 テキスト 3	—
	テキスト 4	表項目 2 テキスト 4	—
	テキスト 5	表項目 2 テキスト 5	—
	テキスト 6	表項目 2 テキスト 6	—
	テキスト 7	表項目 2 テキスト 7	—
	テキスト 8	表項目 2 テキスト 8	—
	テキスト 9	表項目 2 テキスト 9	—
	テキスト 10	表項目 2 テキスト 10	—
	テキスト 11	表項目 2 テキスト 11	—
	テキスト 12	表項目 2 テキスト 12	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	テキスト 13	表項目 2 テキスト 13	—
	テキスト 14	表項目 2 テキスト 14	—
	テキスト 15	表項目 2 テキスト 15	—
	テキスト 16	表項目 2 テキスト 16	—
	テキスト 17	表項目 2 テキスト 17	—
	テキスト 18	表項目 2 テキスト 18	—
	テキスト 19	表項目 2 テキスト 19	—
	テキスト 20	表項目 2 テキスト 20	—
	コンボボックス 1	表項目 2 コンボボックス 1	—
	コンボボックス 2	表項目 2 コンボボックス 2	—
	コンボボックス 3	表項目 2 コンボボックス 3	—
	コンボボックス 4	表項目 2 コンボボックス 4	—
	コンボボックス 5	表項目 2 コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	表項目 2 コンボボックス 6	—
	コンボボックス 7	表項目 2 コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	表項目 2 コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	表項目 2 コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	表項目 2 コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	表項目 2 コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	表項目 2 コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	表項目 2 コンボボックス 13	—
	コンボボックス 14	表項目 2 コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	表項目 2 コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	表項目 2 コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	表項目 2 コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	表項目 2 コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	表項目 2 コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	表項目 2 コンボボックス 20	—
	日付テキスト 1	表項目 2 日付テキスト 1	—
	日付テキスト 2	表項目 2 日付テキスト 2	—
	日付テキスト 3	表項目 2 日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	表項目 2 日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	表項目 2 日付テキスト 5	—
	時刻テキスト 1	表項目 2 時刻テキスト 1	—
	時刻テキスト 2	表項目 2 時刻テキスト 2	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	時刻テキスト 3	表項目 2 時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	表項目 2 時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	表項目 2 時刻テキスト 5	—
	選択ユーザー1	表項目 2 選択ユーザー1	—
	選択ユーザー2	表項目 2 選択ユーザー2	—
	選択ユーザー3	表項目 2 選択ユーザー3	—
	選択ユーザー4	表項目 2 選択ユーザー4	—
	選択ユーザー5	表項目 2 選択ユーザー5	—
	問合せ元 ID	表項目 2 問合せ元 ID	—
表項目 3 情報	テキスト 1	表項目 3 テキスト 1	—
	テキスト 2	表項目 3 テキスト 2	—
	テキスト 3	表項目 3 テキスト 3	—
	テキスト 4	表項目 3 テキスト 4	—
	テキスト 5	表項目 3 テキスト 5	—
	テキスト 6	表項目 3 テキスト 6	—
	テキスト 7	表項目 3 テキスト 7	—
	テキスト 8	表項目 3 テキスト 8	—
	テキスト 9	表項目 3 テキスト 9	—
	テキスト 10	表項目 3 テキスト 10	—
	テキスト 11	表項目 3 テキスト 11	—
	テキスト 12	表項目 3 テキスト 12	—
	テキスト 13	表項目 3 テキスト 13	—
	テキスト 14	表項目 3 テキスト 14	—
	テキスト 15	表項目 3 テキスト 15	—
	テキスト 16	表項目 3 テキスト 16	—
	テキスト 17	表項目 3 テキスト 17	—
	テキスト 18	表項目 3 テキスト 18	—
	テキスト 19	表項目 3 テキスト 19	—
	テキスト 20	表項目 3 テキスト 20	—
	コンボボックス 1	表項目 3 コンボボックス 1	—
	コンボボックス 2	表項目 3 コンボボックス 2	—
	コンボボックス 3	表項目 3 コンボボックス 3	—
	コンボボックス 4	表項目 3 コンボボックス 4	—
	コンボボックス 5	表項目 3 コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	表項目 3 コンボボックス 6	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	コンボボックス 7	表項目 3 コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	表項目 3 コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	表項目 3 コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	表項目 3 コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	表項目 3 コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	表項目 3 コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	表項目 3 コンボボックス 13	—
	コンボボックス 14	表項目 3 コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	表項目 3 コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	表項目 3 コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	表項目 3 コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	表項目 3 コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	表項目 3 コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	表項目 3 コンボボックス 20	—
	日付テキスト 1	表項目 3 日付テキスト 1	—
	日付テキスト 2	表項目 3 日付テキスト 2	—
	日付テキスト 3	表項目 3 日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	表項目 3 日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	表項目 3 日付テキスト 5	—
	時刻テキスト 1	表項目 3 時刻テキスト 1	—
	時刻テキスト 2	表項目 3 時刻テキスト 2	—
	時刻テキスト 3	表項目 3 時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	表項目 3 時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	表項目 3 時刻テキスト 5	—
	選択ユーザー 1	表項目 3 選択ユーザー 1	—
	選択ユーザー 2	表項目 3 選択ユーザー 2	—
	選択ユーザー 3	表項目 3 選択ユーザー 3	—
	選択ユーザー 4	表項目 3 選択ユーザー 4	—
	選択ユーザー 5	表項目 3 選択ユーザー 5	—
	問合せ元 ID	表項目 3 問合せ元 ID	—
表項目 4 情報	テキスト 1	表項目 4 テキスト 1	—
	テキスト 2	表項目 4 テキスト 2	—
	テキスト 3	表項目 4 テキスト 3	—
	テキスト 4	表項目 4 テキスト 4	—
	テキスト 5	表項目 4 テキスト 5	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	テキスト 6	表項目 4 テキスト 6	—
	テキスト 7	表項目 4 テキスト 7	—
	テキスト 8	表項目 4 テキスト 8	—
	テキスト 9	表項目 4 テキスト 9	—
	テキスト 10	表項目 4 テキスト 10	—
	テキスト 11	表項目 4 テキスト 11	—
	テキスト 12	表項目 4 テキスト 12	—
	テキスト 13	表項目 4 テキスト 13	—
	テキスト 14	表項目 4 テキスト 14	—
	テキスト 15	表項目 4 テキスト 15	—
	テキスト 16	表項目 4 テキスト 16	—
	テキスト 17	表項目 4 テキスト 17	—
	テキスト 18	表項目 4 テキスト 18	—
	テキスト 19	表項目 4 テキスト 19	—
	テキスト 20	表項目 4 テキスト 20	—
	コンボボックス 1	表項目 4 コンボボックス 1	—
	コンボボックス 2	表項目 4 コンボボックス 2	—
	コンボボックス 3	表項目 4 コンボボックス 3	—
	コンボボックス 4	表項目 4 コンボボックス 4	—
	コンボボックス 5	表項目 4 コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	表項目 4 コンボボックス 6	—
	コンボボックス 7	表項目 4 コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	表項目 4 コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	表項目 4 コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	表項目 4 コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	表項目 4 コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	表項目 4 コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	表項目 4 コンボボックス 13	—
	コンボボックス 14	表項目 4 コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	表項目 4 コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	表項目 4 コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	表項目 4 コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	表項目 4 コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	表項目 4 コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	表項目 4 コンボボックス 20	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	日付テキスト 1	表項目 4 日付テキスト 1	—
	日付テキスト 2	表項目 4 日付テキスト 2	—
	日付テキスト 3	表項目 4 日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	表項目 4 日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	表項目 4 日付テキスト 5	—
	時刻テキスト 1	表項目 4 時刻テキスト 1	—
	時刻テキスト 2	表項目 4 時刻テキスト 2	—
	時刻テキスト 3	表項目 4 時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	表項目 4 時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	表項目 4 時刻テキスト 5	—
	選択ユーザー 1	表項目 4 選択ユーザー 1	—
	選択ユーザー 2	表項目 4 選択ユーザー 2	—
	選択ユーザー 3	表項目 4 選択ユーザー 3	—
	選択ユーザー 4	表項目 4 選択ユーザー 4	—
	選択ユーザー 5	表項目 4 選択ユーザー 5	—
	問合せ元 ID	表項目 4 問合せ元 ID	—
表項目 5 情報	テキスト 1	表項目 5 テキスト 1	—
	テキスト 2	表項目 5 テキスト 2	—
	テキスト 3	表項目 5 テキスト 3	—
	テキスト 4	表項目 5 テキスト 4	—
	テキスト 5	表項目 5 テキスト 5	—
	テキスト 6	表項目 5 テキスト 6	—
	テキスト 7	表項目 5 テキスト 7	—
	テキスト 8	表項目 5 テキスト 8	—
	テキスト 9	表項目 5 テキスト 9	—
	テキスト 10	表項目 5 テキスト 10	—
	テキスト 11	表項目 5 テキスト 11	—
	テキスト 12	表項目 5 テキスト 12	—
	テキスト 13	表項目 5 テキスト 13	—
	テキスト 14	表項目 5 テキスト 14	—
	テキスト 15	表項目 5 テキスト 15	—
	テキスト 16	表項目 5 テキスト 16	—
	テキスト 17	表項目 5 テキスト 17	—
	テキスト 18	表項目 5 テキスト 18	—
	テキスト 19	表項目 5 テキスト 19	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	テキスト 20	表項目 5 テキスト 20	—
	コンボボックス 1	表項目 5 コンボボックス 1	—
	コンボボックス 2	表項目 5 コンボボックス 2	—
	コンボボックス 3	表項目 5 コンボボックス 3	—
	コンボボックス 4	表項目 5 コンボボックス 4	—
	コンボボックス 5	表項目 5 コンボボックス 5	—
	コンボボックス 6	表項目 5 コンボボックス 6	—
	コンボボックス 7	表項目 5 コンボボックス 7	—
	コンボボックス 8	表項目 5 コンボボックス 8	—
	コンボボックス 9	表項目 5 コンボボックス 9	—
	コンボボックス 10	表項目 5 コンボボックス 10	—
	コンボボックス 11	表項目 5 コンボボックス 11	—
	コンボボックス 12	表項目 5 コンボボックス 12	—
	コンボボックス 13	表項目 5 コンボボックス 13	—
	コンボボックス 14	表項目 5 コンボボックス 14	—
	コンボボックス 15	表項目 5 コンボボックス 15	—
	コンボボックス 16	表項目 5 コンボボックス 16	—
	コンボボックス 17	表項目 5 コンボボックス 17	—
	コンボボックス 18	表項目 5 コンボボックス 18	—
	コンボボックス 19	表項目 5 コンボボックス 19	—
	コンボボックス 20	表項目 5 コンボボックス 20	—
	日付テキスト 1	表項目 5 日付テキスト 1	—
	日付テキスト 2	表項目 5 日付テキスト 2	—
	日付テキスト 3	表項目 5 日付テキスト 3	—
	日付テキスト 4	表項目 5 日付テキスト 4	—
	日付テキスト 5	表項目 5 日付テキスト 5	—
	時刻テキスト 1	表項目 5 時刻テキスト 1	—
	時刻テキスト 2	表項目 5 時刻テキスト 2	—
	時刻テキスト 3	表項目 5 時刻テキスト 3	—
	時刻テキスト 4	表項目 5 時刻テキスト 4	—
	時刻テキスト 5	表項目 5 時刻テキスト 5	—
	選択ユーザー1	表項目 5 選択ユーザー1	—
	選択ユーザー2	表項目 5 選択ユーザー2	—
	選択ユーザー3	表項目 5 選択ユーザー3	—
	選択ユーザー4	表項目 5 選択ユーザー4	—

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	
		イベント管理	インシデント候補
	選択ユーザー5	表項目 5 選択ユーザー5	—
	問合せ元 ID	表項目 5 問合せ元 ID	—

1.2.6 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録

Senju Enterprise Navigator (以下 SEN) からのイベント連携機能を使用することで、データ登録を行うことができます。

1.2.6.1 使用方法

SEN からのイベント連携機能で実行可能な内容を示します。



補助設定

SEN の詳しい設定方法については、SEN のマニュアルを参照してください。

・ 案件種別名

SEN からのイベント連携機能では以下の案件種別が登録できます。

案件種別名	設定値	サポート対象
プロセス管理	プロセス管理	○
イベント管理	イベント管理	○
要員管理	要員	○
構成アイテム(構成管理)	構成	○
構成アイテム管理(ID管理)	構成アイテム	○
アカウント管理	—	×
ユーザー管理	ユーザー	○



仕様補足

複数のプロセス管理のレコード登録では、画面 ID によりどの画面にレコードを登録するかを指定できます。登録する画面は、マッピングアイテムファイルに指定可能な「画面 ID」で指定します。

「画面 ID」の設定値は、「1.1.2 画面 ID」を参照してください。



仕様補足

構成アイテム管理は、メニュー：構成管理>ID管理>構成アイテム管理を指します。



注意事項

CCFSP Process Managerサービス停止中にSENが受け取ったイベントの登録処理が実施されていないデータはSenju Service Managerが再起動した際に登録処理が実施されます。



注意事項

Senju/SMのプロセスが異常停止した場合に、未処理データをリカバリーするための設定が可能です。機能詳細は、ユーザーズガイド「4.1.3.1イベント連携機能の設定」を参照してください。

登録モード

指定した案件種別のデータをどのように一括登録するかを指定します。
 案件種別名に「構成」を指定した場合を除き、省略することはできません。
 案件種別名に「構成」を指定した場合、指定する必要はありません。
 SENからのイベント連携機能では以下の登録モードが登録できます。

登録モード	動作内容	設定値
新規登録処理	指定した案件種別のレコードを全て新規登録します。	001
更新処理(追加)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目に追加登録されます。	101
更新処理(置換)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目が、指定した値で全て置き換えて登録されます。	102
経過情報追加登録処理 (データ重複可)	各レコードを特定するキー項目に従い、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。	111
経過情報追加登録処理 (データ重複不可)	各レコードを特定するキー項目のうち、案件 ID のみをキー項目として、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合、またはキー項目にて重複するデータが存在する場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。	112

登録モード	動作内容	設定値
経過自動追加処理 (プロセス1のみ)	「1.2.6.2 経過自動追加機能について」を参照してください。	113
経過自動追加処理 (プロセス1~103)	「1.2.6.2 経過自動追加機能について」を参照してください。	114
経過自動追加処理 (プロセス1~103)	「1.2.6.2 経過自動追加機能について」を参照してください。	115
経過自動追加処理 (プロセス1~103)	「1.2.6.2 経過自動追加機能について」を参照してください。	116

案件種別ごとに利用できる登録モードは異なります。

以下に各案件種別で指定可能な登録モードと、「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」を行う場合に対象のレコードを特定するためのキー項目、補足事項について記載します。

案件種別名	新規登録処理 (001)	更新処理		経過情報追加登録処理						対象案件を特定するためのキー項目					
		追加 (101)	置換 (102)	重複可 (111)	重複不可 (112)	自動追加 (113)	自動追加 (114)	自動追加 (115)	自動追加 (116)						
プロセス管理	○ ※4	×	○ ※4	○	○ ※6	○	○	○	○	レコード ID ※10	システム ※10	データ種別 ID ※10	経過追加条件 ※7	経過追加対象画面 ID ※8	タイトル ※10
イベント管理	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—
要員管理	○	○ ※2	○ ※2	×	×	×	×	×	×	社員番号	—	—	—	—	—
構成アイテム (構成管理)	○	×	○ ※2	×	×	×	×	×	×	構成アイテム ID ※9	システム名 ※9	データ種別 ID	—	—	—
構成アイテム管理 (ID 管理)	○	○ ※1	○ ※1 ※2 ※3	×	×	×	×	×	×	構成アイテム ID	システム名	—	—	—	—
ユーザー管理	○	○ ※2	○ ※2	×	×	×	×	×	×	ユーザー ID	社員番号	—	—	—	—

【補足事項】

- ※1 同一のキーとなるレコードが複数存在する場合は、全てのレコードが「更新処理」の対象となります。
- ※2 構成アイテム(構成管理)、構成アイテム管理(ID 管理)、要員管理、ユーザー管理の「更新処理」において更新対象となる登録済みレコ

- ードが存在しない場合は、「新規登録処理」としてレコードの追加が行われます。
- ・ ※3 構成アイテム管理 (ID 管理) の「更新処理 (置換)」において存在しない関連構成アイテム名が指定された場合は、それまで紐付けられていた関連構成アイテムはすべて削除されます。
 - ・ ※4 プロセス管理での「新規登録処理」、「更新処理 (置換)」の場合、登録モードを指定する必要はありません。インポートファイルに指定されたレコード ID、システム名、データ種別 ID に当てはまるレコードが存在する場合は「更新処理 (置換)」、存在しない場合、または指定されなかった場合は「新規登録処理」となります。
 - ・ ※5 イベント管理の場合、登録モードを指定する必要はありません。登録モードを指定しなかった場合、「新規登録処理」となります。
 - ・ ※6 プロセス管理の「経過情報追加登録処理 (重複不可)」において、対象レコードを特定するためのキー項目は「レコード ID」のみになります。追加登録対象となるレコードが複数存在する場合には経過情報追加登録処理は行われません。
 - ・ ※7 自動経過追加機能 (登録モードの指定値が「113」および「114」) のみ対応案件を特定するためのキー項目となります。
 - ・ ※8 自動経過追加機能 (登録モードの指定値が「114」) のみ対応案件を特定するためのキー項目となります。
未指定の場合は全プロセスが自動経過追加機能の対象となります。
 - ・ ※9 構成アイテム (構成管理) は「最新の構成」に登録されている項目がキー項目となります。
 - ・ ※10 自動経過追加機能 (登録モードの指定値が「115」および「116」) のみ対象レコードを特定するためのキーは以下になります。
「システム」と「レコード ID」が共に指定された場合、対象レコードを特定するためのキーは「レコード ID」、「データ種別 ID」、「システム」になります。
「システム」が指定され、かつ「レコード ID」が指定されていない場合、対象レコードを特定するためのキーは「タイトル」、「データ種別 ID」、「システム」になります。



仕様補足

管理者メニューの制御情報の「イベント連携 (116 モード) レコード ID 未指定時のタイトルでの検索設定」項目によりレコード ID が指定されていない場合に、タイトルで経過追加先を検索するか、プロセス新規登録するかを設定できます。

「システム」が指定されておらず、かつ「レコード ID」が指定された場合、対象レコードを特定するためのキーは「レコード ID」、「データ種別 ID」になります。
「システム」と「レコード ID」が共に指定されていない場合、対象レコードを特定するためのキーは「タイトル」、「データ種別 ID」になります。



仕様補足

管理者メニューの制御情報の「イベント連携 (116 モード) レコード ID 未指定時のタイトルでの検索設定」項目によりレコード ID が指定されていない場合に、タイトルで経過追加先を検索するか、プロセス新規登録するかを設定できます。



仕様補足

「新規登録処理」及び「経過情報追加処理」で登録できる経過添付ファイル数は、1 経過情報につき 1 ファイルとなります。



イベント管理を登録する場合は、経過情報を複数件登録することはできません。

仕様補足



登録可能な「有効」ユーザー数の上限は、ライセンスに依存します。
登録時ライセンスの上限を超える場合、上限値までは「有効」ユーザーは登録されますが、上限値以降の「有効」ユーザーは登録されません。
また、「無効」ユーザーはライセンスに依存しないため上限値はありません。

仕様補足

以下の項目の値が、同じ画面で既に登録されているかをチェックし、登録されていない場合に限りプロセスを登録することができます。

単独チェック：タイトルまたはテキスト 1~19 から選択

複合チェック：タイトルまたはテキスト 1~19 から選択した項目と、2 連分類 1-1 または 2 連分類 2-1 の組み合わせ



・[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理]

仕様補足

管理項目名
入力値の重複チェック(単独チェック)1
入力値の重複チェック(単独チェック)2
入力値の重複チェック(複合チェック)1-1
入力値の重複チェック(複合チェック)1-2



プロセス管理を登録する場合は、エスカレーション先へメール送信することができます。
詳しくは別紙「資料集」の「1.2.2.2-5 イベント連携送信メール」を参照してください。

仕様補足



一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

操作説明

Senju Enterprise Navigator で受信したメールの内容を Senju Service Manager に取り込むとき、メール本文の振り分け先項目に(No Body)が登録されていると、Senju Enterprise Navigator がサポートしているメールフォーマット以外でメールを取り込んでいる可能性があります。



仕様補足

Senju Enterprise Navigator がサポートしているメールフォーマットについては、以下リリースノートに記載しておりますのでご参照ください。

Senju/EN リリースノート

2 稼働環境

2.2 その他環境

11) メール受信連携機能

1.2.6.2 経過自動追加機能について

当機能は Senju Enterprise Navigator と Senju Service Manager との連携機能です。

当機能の対象となる案件種別はプロセス管理となります。

登録モードにより実行結果が異なります。

プロセス管理の詳細画面にある「メール送信機能」を利用したメールに対し、

Senju Enterprise Navigator に登録されたアドレスを宛先に指定し返信を行うことで、利用できる機能となります。

Senju Enterprise Navigator にて、Senju Service Manager へイベント連携を行うルールに登録が必要となります。

Senju Enterprise Navigator で受信したメールの内容を各項目に振り分け Senju Service Manager へイベント連携します。

振り分け項目については、「**1.2.6.3 指定可能フィールド情報**」を参照してください。



補助設定

Senju Enterprise Navigator のルールにて、
受信したメールの内容を登録したい項目に振り分けるルールが必要です。
ルールの詳細につきましては、Senju Enterprise Navigator のマニュアルを参照してください。



仕様補足

以下の対する返信は、当機能の対象外となるため、存在しない場合と同じ実行結果になります。

- ・新規メール
- ・エスカレーションメール
- ・承認申請時の通知メール



仕様補足

「メール送信機能」を利用してメールを送信後、プロセスが削除されている場合は、存在しない場合と同じ実行結果になります。

1. 登録モード「113」の場合

登録モード「113」はプロセス 1 のみ使用可能な登録モードです。

Senju Service Manager では、Senju Enterprise Navigator より連携された情報を基に該当プロセスが存在するかを検索します。

存在する場合、該当プロセスの経過に追加されます。

存在しない場合、レコードがイベント管理に新規登録されます。

複数存在する場合、レコードがイベント管理に新規登録されます。

2. 登録モード「114」の場合

登録モード「114」はプロセス 1～プロセス 103 にて使用可能な登録モードです。

Senju Service Manager では、Senju Enterprise Navigator より連携された情報を基に該当プロセスが存在するかを検索します。

存在する場合、該当プロセスの経過に追加されます。

存在しない場合、経過は追加されません。レコードがイベント管理に新規登録されます。

複数存在する場合、経過は追加されません。レコードがイベント管理に新規登録されます。

経過追加を実施したいプロセスを任意に選択できます。

プロセスは 1 つのプロセスのみ選択可能です。

プロセスの指定方法は後述の「**1.2.6.3 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

選択したプロセス以外のプロセスで「メール送信機能」を利用したメールに対し、

Senju Enterprise Navigator に登録されたアドレスを宛先に指定し返信を行った場合、経過追加は実行されません。

経過追加を実施したいプロセスを選択しない場合、全てのプロセスに対して経過追加することが可能です。

3. 登録モード「115」の場合

登録モード「115」は「管理者メニュー」・「制御情報」・「利用者メニュー」・「イベント管理」の「イベントの振分選択制御設定」を固定に

設定した場合、プロセス 1 のみ使用可能です。「任意」に設定した場合、プロセス 1～プロセス 103 にて使用可能です。

Senju Service Manager では、Senju Enterprise Navigator より連携された情報を基に該当プロセスが存在するかを検索します。

該当プロセスが存在する場合、該当プロセスの経過に追加されます。追加された経過はイベント戻しが可能です。

該当プロセスが複数存在する場合、いずれのプロセスに経過にも追加されず、レコードがイベント管理に新規登録されます。

該当プロセスが存在しない場合、レコードがイベント管理に新規登録されます。

該当プロセスの経過登録上限を超えた場合、超えた分のレコードがイベント管理に新規登録されます。

4. 登録モード「116」の場合

登録モード「116」は「管理者メニュー」・「制御情報」・「利用者メニュー」・「イベント管理」の「イベントの振分選択制御設定」を固定に設定した場合、プロセス 1 のみ使用可能です。「任意」に設定した場合、プロセス 1～プロセス 103 にて使用可能です。

Senju Service Manager では、Senju Enterprise Navigator より連携された情報を基に該当プロセスが存在するかを検索します。

該当プロセスが存在する場合、該当プロセスの経過に追加されます。追加された経過はイベント戻しが可能です。

該当プロセスが複数存在する場合、いずれのプロセスに経過にも追加されず、レコードがイベント管理に新規登録されます。

該当プロセスが存在しない場合、通常はプロセス管理にレコードが新規登録されます。該当プロセスはイベント戻しが可能です。

該当プロセスが存在しない、かつ、プロセス管理の新規登録に必須な「データ種別 ID」、「システム」、「起票者」、「エスカレーション先」のいずれかが指定されていない、または指定不正の場合、プロセス管理には新規登録されず、レコードがイベント管理に新規登録されます。

該当プロセスの経過登録上限を超えた場合、超えた分のレコードがイベント管理に新規登録されます。



補助設定

管理者メニューの制御情報の「イベント連携(116 モード)プロセス新規登録時のレコード ID 設定」項目により経過追加先が存在しない場合に、新規登録されるプロセスのレコード ID に指定された値を利用するか、自動採番するかを設定できます。

1.2.6.3 指定可能フィールド情報

SEN からのイベント連携機能で登録可能な案件種別名および指定可能なフィールドはデータ登録コマンドと同じです。
SEN からのイベント連携機能のみ指定可能な登録モード「経過自動追加処理」の指定可能フィールド情報は「1.3.7-1 プロセス管理」を参照してください。



仕様補足

SEN ルールを使用して構成アイテム(構成管理)の予定起票を新規登録する時、もしくは既に登録された予定起票を更新する時、以下の項目は登録・更新できません。

- ・ 接続先機器
- ・ 接続先機器 2
- ・ 関連機器
- ・ 関連構成
- ・ 関連構成 2A
- ・ 関連構成 2B
- ・ 関連構成 2C
- ・ 関連構成 2D
- ・ 関連構成 2E

なお、上記の項目にデータが登録されている構成管理アイテムに対し削除予定起票および削除反映を行う場合は、該当項目の関連情報は削除されます。



仕様補足

SEN ルールを使用して構成アイテム(ID 管理)を新規登録または更新する場合、関連構成アイテム項目は登録・更新できません。



仕様補足

指定可能フィールド情報の詳細はデータ登録コマンドの説明に記載されている「1.2.5.10 指定可能フィールド情報」および「1.2.5.11 指定可能フィールド情報の対応一覧」を参照してください。



仕様補足

「1.3.7-1 プロセス管理」に記載されているフィールド名通りに SEN のルールに設定してください。
正しく設定されていない場合、インポート対象データを取り込むことができません。



仕様補足

SEN からイベント送信機能を使用してデータを登録する場合は、「登録モード」というフィールド名に対して、コマンドと同様の設定値を指定します。ただし、SEN から複数件の経過情報を登録する場合、「経過添付ファイル」を登録できるのは、登録する複数件のうちの最初の経過情報のみです。



仕様補足

SEN からイベント送信機能を使用してデータを登録する際、複数指定可能項目は登録数分 SEN のルールを記載してください。



仕様補足

コード・分類の登録において同一名称のコード・分類が複数登録されている場合は、先に登録されている（登録日時の古い）データが登録されます。



仕様補足

SEN からのイベント連携機能でデータを登録/更新する場合、添付ファイル項目にスペースを指定しても、すでに登録された添付ファイルをクリアすることはできません。



仕様補足

経過内容（リッチテキスト）項目を登録したい場合、設定手順は「HTML メール連携ガイド」を参照してください。



仕様補足

関連構成などの関連情報は、指定したシステムに登録されているデータのみ登録できます。



仕様補足

プロセス管理を登録する場合は、エスカレーション先へメール送信することができます。詳しくは別紙「資料集」の「1.2.2.2-5 イベント連携送信メール」を参照してください。



仕様補足

SEN からのイベント連携機能でデータを登録・更新する場合、以下のファイル項目のファイルパスに外字が存在する場合、ファイルを登録・更新できません。

プロセス管理、イベント管理

- ・ 添付ファイル 1~4
- ・ リッチテキスト HTML ファイル
- ・ リッチテキスト挿入ファイル
- ・ 経過添付ファイル
- ・ 経過リッチテキスト HTML ファイル
- ・ 経過リッチテキスト挿入ファイル

構成管理、構成アイテム管理

- ・ 添付ファイル 1~2

以下のファイル項目のファイル名に外字が存在する場合、ファイルを登録・更新できますがファイル名の外字を空値に置換して登録します。

プロセス管理、イベント管理

- ・ 添付ファイル 1~4
- ・ 経過添付ファイル

構成管理、構成アイテム管理

- ・ 添付ファイル 1~2

1.2.7 構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCI.exe)

構成管理反映コマンドは、構成管理で登録された承認済で構成変更日/時間を経過した構成アイテム（構成管理）のレコードの予定データの適用処理（本登録）を行います。



仕様補足

データ登録コマンドにて予定起票を新規反映、変更反映、削除反映と指定した場合、構成管理反映コマンドの実行は不要です。

1.2.7.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPB_ReflectCI.exe△[-F△ユーザーログ出力先フォルダ名]△[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-F : ユーザーログ出力先フォルダ名**
ユーザーログの出力先フォルダをフルパスで指定します。
この引数は省略可能です。省略した場合は、%CCFSPDBHOME%log 配下に出力されます。
※フォルダのパスはダブルクォートで囲んでください。
- **--help**
Usage を表示します。
この引数は省略可能です。



制限事項

構成管理反映コマンドにて構成管理を反映した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。



制限事項

以下のコマンドを同時実行する場合に、各コマンドで指定するデータは同時実行するコマンド同士で関連性のないデータを指定してください。

データ不整合が発生する可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド

また、以下コマンドと同時実行しないでください。

データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・過去データ削除コマンド
- ・マスタ削除コマンド
- ・分類マスタ削除コマンド
- ・システム削除コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB 再構築コマンド

1.2.7.2 実行結果

構成管理反映コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPB_ReflectCI.exe -F "C:¥temp"
構成情報反映処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

構成管理反映コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	全てのデータの反映処理が正常に完了した場合
1	異常終了	コマンドオプションの指定に誤りがある場合
2		データベースへの接続に異常等があり処理が行われなかった場合
3		不正なデータが存在、または別の原因で一部または全てのデータの登録処理が行われなかった場合
4		コマンドが二重起動された場合
5		ユーザーログの取得に失敗した場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	構成情報反映処理が正常に終了しました。	構成管理に登録される処理対象のデータが警告なしに全て反映（本登録）されました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
2	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	構成情報反映処理が異常終了しました。	構成情報反映に失敗しました。	ユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
4	コマンドが二重起動されました。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
5	ユーザーログの取得に失敗しました。	ユーザーログの取得に失敗しました。	システム管理者へ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
6	致命的なエラー : MFC の初期化ができませんでした。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	致命的なエラー : CoInitialize の初期化ができませんでした。		

1.2.7.3 ファイルの説明

構成管理反映コマンド実行時に出力されるファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	ユーザーログ	sjSPB_ReflectCI_YYYYMMDDhhmmss. log	構成管理反映コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダに出力されます。 [YYYYMMDD] : コマンド実行日です。 [hhmmss] : コマンド実行時間です。(24 時間表記) ログファイルのサイズ、保存するログファイル数の制限はありません。

以下に、ユーザーログファイルの出力イメージを示します。

YYYYMMDDhhmmss

構成情報反映処理を開始します

■構成アイテム 1 : 00000000000052 処理 : 新規予定 の反映処理を開始します

■構成アイテムの反映に成功しました

■構成アイテム 1 : 00000000000103 処理 : 変更予定 の反映処理を開始します

■構成アイテムの反映に成功しました

■構成アイテム 1 : 00000000000105 処理 : 削除予定 の反映処理を開始します

■構成アイテムの反映に成功しました

■成功

新規予定 1 件

変更予定 1 件

削除予定 1 件

■失敗

新規予定 0 件

変更予定 0 件

削除予定 0 件

■全体

処理件数 3 件

構成情報反映処理を終了しました

新規予定 1 件

変更予定 0 件

削除予定 0 件

■失敗

新規予定 0 件

変更予定 0 件

削除予定 0 件

■全体

処理件数 4 件



補助設定

管理者メニューの制御情報の「コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定」項目によりデータ登録コマンドから承認申請を利用する構成管理データを登録するか、利用しない構成管理データを登録するかを設定できます。



操作説明

データ登録コマンド実行後に構成管理反映コマンドを実行するようになれば、構成アイテムの予定データの登録、および予定データの適用処理（本登録）が連続で行えます。但し、データ登録コマンドの終了コードが0以外の場合には登録処理が正常に行われていないため、構成管理反映コマンドの実行は行わないようにしてください。



仕様補足

適用処理（本登録）を行う構成アイテムの「接続先機器」に指定された構成アイテムが「現在の構成」に存在する場合または、同じタイミングで適用処理（本登録）が行われる際、構成アイテムの適用処理（本登録）が行われます。



仕様補足

接続先機器に登録されている構成アイテムが「承認済」ではない場合、現在の構成に反映することはできません。

1.2.8 申請状況通知コマンド (sjSPX_ChkEscaCond.exe)

申請状況通知コマンドは、申請中プロセスの申請者または承認行為を行っていない現在対応者へメールによる通知を行います。

1.2.8.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPX_ChkEscaCond.exe△(-i△画面 ID ... | -I)△(-s△システム名 ... | -S)△-t△通知対象ユーザー△[-b 件名]△[-m△コメントファイル名]△-n

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-i : 画面 ID**
処理対象の画面 ID を指定します。
複数指定する場合は指定する画面 ID の間に半角スペースを入れてください。
このオプションを省略した場合は-I オプションを指定する必要があります。
画面 ID には、管理者メニューの[画面]-[画面定義]-[メニュー]の一覧に表示されるプロセス 1~103 の「画面 ID」が指定可能です。
- **-I**
処理対象の画面 ID をプロセス全ての画面 ID にする場合指定します。
このオプションを省略した場合は画面 ID を指定する必要があります。
- **-s : システム名**
処理対象のシステム名を指定します。
複数指定する場合は指定するシステム名の上に半角スペースを入れてください。
このオプションを省略した場合は-S オプションを指定する必要があります。
- **-S**

処理対象のシステムを全てのシステムにする場合指定します。
このオプションを省略した場合はシステム名を指定する必要があります。

- **-t : 通知対象ユーザー**

メール通知をする対象ユーザーの種別を指定します。
このオプションは省略することはできません。
指定できる種別を以下に記載します。

0001 : 申請者

0002 : 承認行為をする申請者／本来承認者

※承認行為とは承認、差戻し、確認、作業を指します。

- **-b : 件名**

通知されるメールの件名に展開される文字列を指定します。

このオプションは省略可能です。

省略した場合は「申請中自動(通知)」のメールテンプレート設定に従って件名が生成されます。

- **-m : コメントファイル名**

通知されるメール本文のコメント置換文字に展開される内容が記述された、任意のファイルをフルパスで指定します。

このオプションは省略可能です。

※コメントファイルの詳細については、後述の「**1.2.8.3 ファイルの説明**」を参照してください。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-n**

メール通知を行う場合には必ず指定します。

このオプションは省略することはできません。



コメント置換文字の詳細については、別紙「資料集」を参照してください。

仕様補足



メール送信時の送信元アドレスは、管理者メニュー上の[機能別]-[メール送信設定] -[送信元設定]で作成したアドレスが指定されます。

仕様補足



仕様補足

申請状況通知コマンドは、処理対象のプロセスの数に比例して処理時間が必要になり、1 プロセス処理するのに平均で約 6 秒程度必要となります。



仕様補足

本コマンドはユーザーがサービスデスクユーザーかエンドユーザーかの区別は行っていません。通知対象ユーザーに該当するステータスが有効なユーザーに対してメールを送信します。



仕様補足

ステータスが無効のユーザーに対してメールは送信されません。



仕様補足

処理対象のプロセスのシステムに所属しないユーザーにメールは送信されません。



仕様補足

申請状況通知コマンドは、処理対象のプロセスを通知する送信者に同じメールアドレスを持つユーザーが複数いる場合、[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「自動送信メールの複数宛先時の送信先制御設定」の管理項目値に関わらず、1 通のみメールを送信します。



仕様補足

メールテンプレート内に以下項目を設定しているプロセス管理のメールにおいて、構成アイテム(構成管理)が削除されている場合、[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定」の設定に関わらずメール本文に構成アイテム(構成管理)の情報は表示されません。

- ・ 関連構成 1
- ・ 関連構成 2
- ・ 関連構成 3
- ・ 関連構成 4



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・ データ移行コマンド
- ・ DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.8.2 実行結果

申請状況通知コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>s jSPX_ChkEscaCond.exe -i 01000001 -S -t 0001 -m "C:¥TEMP¥Comment1.txt" -n
申請中自動通知を実施しました。(申請中のプロセス数=103、申請状況通知実施数(成功=103、失敗=0))
C:¥TEMP>
```

申請状況通知コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	引数不正があり処理が行われなかった場合
2		データベースへの接続に異常等があり処理が行われなかった場合
3		メール送信に失敗した場合
4		コマンドが二重起動された場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	申請中自動通知を実施しました。(申請中のプロセス数=[プロセス数]、申請状況通知実施数(成功=[成功数]、失敗=0))	申請状況通知コマンドが正常終了しました。	なし
1	必要な数の引数が指定されていません。([コマンドライン])	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	不正な引数が指定されました。("-"のみの引数が指定されています。,[コマンドライン])		
	不正な引数が指定されました。("-"以外の接頭文字引数が指定されています。,[コマンドライン])		

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(画面(-i, -I)は1つのみ設定して下さい。)		
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(システム名(-s, -S)は1つのみ設定して下さい。)		
	対象送信者「-t」は Usage に記載のある 4 桁(頭0詰め)で指定して下さい。([指定された値])		
	指定されたファイルは存在しません。([指定したコメントファイル])		
	サイズ 0 のファイルはコメントファイルとして指定できません。([指定したコメントファイル])		
	画面が指定されていません。(-i or -I)		
	送信対象ユーザーが指定されていません。(-t)		
	システム名が指定されていません。(-s or -S)		
	通知機能オプションが指定されていません。(-n)		
2	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	申請中自動通知を実施しました。(申請中のプロセス数=[プロセス数]、申請状況通知実施数(成功=[成功数]、失敗=[失敗数 1 以上]))	メール通知に失敗したプロセスがあります。	申請状況通知コマンドのユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
4	申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)は既に起動中です	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
6	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。	コマンドが稼働に必要な環境変数の情報が読み込めません。	SSM WEB サーバーを再起動して再度コマンドを実行してください。それでも同様の結果となる場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー : SPBMSLib.dll が読み込めませんでした。	コマンドが稼働に必要なモジュールが読み込めません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー : メモリが不足しています。	コマンドが稼働に必要なメモリが確保できませんでした。	SSM WEB サーバーのリソース不足を解消してください。リソース不足の原因が弊社製品にある場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー : 想定外の予期せぬエラーが発生しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンドが稼働するために必要な稼働情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(エラー : XMLDomParser の初期化ができませんでした。)		
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「sp」ノードがありません。)		
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「ChkEscaCond」ノードがありません。)		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンドが稼働するために必要な制御情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「sp」ノードがありません。)		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「table」ノードがありません。)		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「record」ノードがありません。)		

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	コメントファイル「[コメントファイルパス]」が開けませんでした。	指定したコメントファイルが開けません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	指定された画面は存在しません。([存在しない画面])	指定された画面は存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	画面の解決に失敗しました。([解決できない画面])	指定された画面を内部用のデータに変換できませんでした。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	画面 ID の取得に失敗しました。	ログイン URL や画面名などの情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	指定の画面に紐づく画面 ID が存在しません。	指定された画面に紐づくログイン URL や画面名の情報が有りません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	指定されたシステム名は存在しません。([存在しないシステム名])	指定されたシステム名は存在しません。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	システム名の解決に失敗しました。([解決できないシステム名])	指定されたシステム名を内部用のデータに変換できませんでした。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	プロセス情報の取得に失敗しました。	プロセス情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTPサーバー接続情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	SMTPサーバー接続情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」からSMTPサーバー関連の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTPメール送信制限情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の制限設定情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」からメール送信時の制限関連の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTPメール送信元情報の取得に失敗しました。(管理者メニューのメール情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の From などの情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「機能別>メール送信設定>送信元設定」から送信元設定マスタ管理の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTPサーバーとの接続確立に失敗しました。(サーバー名=[サーバー名]、ポート番号=[ポート番号])	SMTPサーバーと接続確立できませんでした。	SMTPサーバーの稼働状況を確認して下さい。 また、ネットワークの状況に起因する可能性も考えられます。こちらも合わせて確認してください。

1.2.8.3 ファイルの説明

申請状況通知コマンドで実行に必要なとなるファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	コメントファイル	任意のファイル名	通知されるメール本文のコメント置換文字に展開される内容が記述されたファイルです。
2	ユーザーログ	sjSPX_User_ChkEscaCond. log [. 世代数]	申請状況通知コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。

1. コメントファイル

本ファイルには、通知されるメール本文のコメント置換文字「%PRC:ES_COMMENT%」に展開される内容を記述します。
このファイルは、フルパスでコマンドオプションの「コメントファイル名」に指定し、内容はフリーフォーマットで記述します。
指定できるファイルの形式は、S-JIS で記述されたテキスト形式となります。
文字数上限は半角 4000 桁となります。



仕様補足

コメント置換文字の詳細については、別紙「資料集」を参照してください。



仕様補足

コメントファイル内の記述内容にメール本文置換文字列が存在しても、
メール本文置換文字列の置換処理は行われません。

2. ユーザーログ

申請状況通知コマンドの実行結果やエラー情報等のログ情報が出力されるファイルです。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダ

出力ファイル名

sjSPX_User_ChkEscaCond. log[. 世代数]

[. 世代数] : なし、または1~7の数値が付加される。
最新のログは世代数なし。
以降、新しい順に1~7の世代数がファイル名に付加される。
ファイルは、1MB 毎に1つ古い世代へシフトされ7世代を超えると削除される。

以降にユーザーログに出力されるログの内容を示します。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
1	INFO	ログの初期化が完了しました。ログ出力を開始します。	ログ出力開始を意味します。	なし
2	WARN	ログレベルは[最小値]~[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログレベルの値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログレベルの値を範囲内に修正してください。
3	WARN	ログ世代数は[最小値]~[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログ世代数の値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログ世代数の値を範囲内に修正してください。
4	WARN	ログサイズ(1世代分)は[最小値]~[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログサイズ(1世代分)の値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログサイズ(1世代分)の値を範囲内に修正してください。
5	ERROR	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。	コマンドが稼働に必要な環境変数の情報が読み込めません。	SSM WEB サーバーを再起動して再度コマンド実行してみてください。それでも同様のログが出力される場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
6	ERROR	エラー：メモリが不足しています。	コマンドが稼働に必要なメモリの確保に失敗しました。	SSM WEB サーバーのリソース不足を解消してください。 リソース不足の原因が弊社製品にある場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
7	ERROR	エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
8	NOTICE	引数([指定の引数])	コマンド実行時に指定した引数が出力されます。	なし
9	ERROR	必要な数の引数が指定されていません。 ([コマンドライン])	必要な数の引数が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
10	ERROR	不正な引数が指定されました。([指定された値], [コマンドライン]) 不正な引数が指定されました。("-"のみの引数が指定されています。,[コマンドライン]) 不正な引数が指定されました。("-"以外の接頭文字引数が指定されています。,[コマンドライン])	指定された引数に誤りがあります。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
11	ERROR	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(画面(-i, -I)は1つのみ設定して下さい。)	"-i"と"-I"両方指定されています。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
12	ERROR	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(システム名(-s, -S)は1つのみ設定して下さい。)	"-s"と"-S"両方指定されています。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
13	ERROR	対象送信者「-t」は Usage に記載のある4桁(頭0詰め)で指定してください。([指定された値])	"-t"で指定している値に誤りがあります。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
14	ERROR	指定されたファイルは存在しません。 ([指定したコメントファイル])	指定したコメントファイルが存在しません。	ファイル有無、ファイルパスをもう一度確認し正しい値を指定してください。
15	ERROR	サイズ0のファイルはコメントファイルとして指定できません。 ([指定したコメントファイル])	指定したコメントファイルのサイズが0です。	コメントファイルの内容を確認してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
16	ERROR	画面が指定されていません。(-i or -l)	"-i" もしくは "-l" が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
17	ERROR	送信対象ユーザーが指定されていません。(-t)	"-t" が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
18	ERROR	システム名が指定されていません。(-s or -S)	"-s" もしくは "-S" が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
19	ERROR	通知機能オプションが指定されていません。(-n)	"-n" が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
20	ERROR	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。 稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(エラー : XMLDomParser の初期化ができませんでした。) 稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「sp」ノードがありません。) 稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「ChkEscaCond」ノードがありません。)	コマンドが稼働するために必要な稼働情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
21	ERROR	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。 制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「sp」ノードがありません。) 制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「table」ノードがありません。)	コマンドが稼働するために必要な制御情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
		制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「～」に目的の「record」ノードがありません。)		
22	ERROR	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」のPC用ログインURL設定の取得に失敗しました。	PC用ログインURLが設定されていません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
23	WARN	コメントファイル「[コメントファイルパス]」は4000バイトまでです。4000バイト以降のデータは切り捨てます。	指定したコメントファイルのサイズが上限4000バイトを超えています。	コメントファイルの内容を4000バイト以内に変更してください。
24	ERROR	コメントファイル「[コメントファイルパス]」が開けませんでした。	指定したコメントファイルが開けません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
25	ERROR	DBとの接続に失敗しました。	Senju/SM DBに接続できませんでした。	SSM DBサーバーの状態、DBサーバー上のDBの稼働状況を確認してください。 DBプロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DBが接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
26	ERROR	指定された画面は存在しません。([存在しない画面])	指定された画面は存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
27	ERROR	画面の解決に失敗しました。([解決できない画面])	指定された画面を内部用のデータに変換できませんでした。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
28	ERROR	画面 ID の取得に失敗しました。	ログイン URL や画面名などの情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
29	ERROR	指定の画面に紐づく画面 ID が存在しません。	指定された画面に紐づくログイン URL や画面名の情報が有りません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
30	ERROR	指定されたシステム名は存在しません。([存在しないシステム名])	指定されたシステム名は存在しません。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
31	ERROR	システム名の解決に失敗しました。([解決できないシステム名])	指定されたシステム名を内部用のデータに変換できませんでした。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
32	WARN	ラベル情報の取得に失敗しました。	ラベル情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
33	WARN	指定された画面に紐づくラベル情報がありません。	指定された画面に紐づくラベル情報が存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
34	WARN	メールテンプレート情報の取得に失敗しました。	申請中自動(通知)のメールテンプレートデータ、デフォルトのメールテンプレートデータの両方が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
35	ERROR	指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートがありません。	申請中自動(通知)のメールテンプレートを設定していないため、通知メールの送信に失敗しました。	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」から申請中自動(通知)のメールテンプレートを設定してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
36	WARN	[テンプレート上の置換文字列]はサポートされていない置換え文字列です。	申請中自動(通知)のメールテンプレート内にサポートされていない置換文字が指定されています。	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」から申請中自動(通知)のメールテンプレートを編集しサポート対象外の文言を削除してください。
37	ERROR	プロセス情報の取得に失敗しました。	プロセス情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
38	NOTICE	指定された画面とシステムに紐づく申請中のプロセスはエントリがありません。	指定された画面とシステムに紐づく申請中のプロセスはエントリがありません。	なし
39	ERROR	SMTP サーバー接続情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	SMTP サーバー接続情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」から SMTP サーバー関連の設定を確認してください。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡してください。
40	ERROR	SMTP メール送信制限情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の制限設定情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」からメール送信時の制限関連の設定を確認してください。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡してください。
41	ERROR	SMTP メール送信元情報の取得に失敗しました。(管理者メニューのメール情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の From などの情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「機能別>メール送信設定>送信元設定」から送信元設定マスタ管理の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
42	INFO	申請中のプロセスはありませんでした。	申請中のプロセスはありませんでした。	なし
43	ERROR	SMTP サーバーとの接続確立に失敗しました。(サーバー名=[サーバー名]、ポート番号=[ポート番号])	SMTP サーバーと接続確立できませんでした。	SMTP サーバーの稼働状況を確認してください。 管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」から SMTP サーバー関連の設定を確認して下さい。
44	INFO	申請中自動通知を実施しました。(申請中のプロセス数=[プロセス数]、申請状況通知実施数(成功=[成功数]、失敗=[失敗数]))	申請状況通知コマンドの結果(サマリ)	なし

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
45	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])テンプレートの置換文字解決処理に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのテンプレート文字置換処理に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
46	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])プロセス情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエントリが存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
47	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステムに紐づく申請中のプロセスはエントリがありません。	"()"書きにあるプロセスのエントリが申請中として取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
48	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])エスカレーション先情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション先情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
		(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])エスカレーション先情報の取得に失敗しました。(エスカレーション先が1件もありません。)		
49	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])申請者/現在対応者情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの申請者/現在対応者情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
		(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])申請者/現在対応者情報の取得に失敗しました。(該当する申請者/現在対応者が1件もありません。)		
50	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])関連構成情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの関連構成情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
51	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])関連構成アイテム情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの関連構成アイテム情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
52	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])エスカレーション履歴情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
53	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステムに紐づく履歴のエントリがありません。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴情報が存在しませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
54	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])エスカレーション履歴の更新に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴の更新に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
55	ERROR	(=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])プロセスの詳細情報が取得できませんでした。	"()"書きにあるプロセスの詳細情報取得に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
56	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])申請中自動通知のメール送信に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスに対する通知メールの送信に失敗しました。	SMTP サーバーの稼働状況を確認してください。

- ※1 レベルは「INFO」「NOTICE」「WARN」「ERROR」の4種類あります。
- 「INFO」は開始や経過、結果などを表す正常なログです。
 - 「NOTICE」は適用された状態や注目して欲しい内容を表す正常なログです。
 - 「WARN」は想定通りの結果にならない可能性のあることを表す警告ログです。
 - 「ERROR」はコマンドの実行が継続できない異常な状態を表すログです。

1.2.8.4 テンプレートの説明

申請状況通知コマンドで実行に必要なとなるテンプレートについての説明を記載します。

テンプレートは Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」のメールアクションが「申請中自動(通知)」に登録されているメールテンプレートを使用します。

また、メールテンプレートの本文には、画面項目を自動的に参照して置き換える文字列を設定できます。

設定についてはユーザーズガイド「**管理ガイド**」を参照してください。



仕様補足

メールテンプレートには、置換文字列以外にも文字列を設定できます。

なお、「%~%」で囲まれた文字列をテンプレートに設定することは可能ですが、コマンドは置換文字列として判断し、実行時に警告メッセージを出力いたしますのでご注意ください。メッセージの詳細につきましては「1.2.8.3 ファイルの説明」のユーザーログ項番 37 を参照してください

申請状況通知コマンドで設定可能な時刻項目は[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「時刻表示フォーマット」の設定有無にかかわらず、“時分秒”のフォーマットにてメール送信されます。

<対象項目>

クローズ期限時刻

対応予定時刻 1~5

起票時刻

最終更新時刻

開始予定時刻

終了予定時刻

承認申請時刻

メール通知基準時刻

スケジュール設定開始時刻

スケジュール設定終了時刻

現在時刻



仕様補足

1.2.9 自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe)

自動メール通知コマンドは、以下の2つの機能があります。

- ・自動メール通知適用設定に従い通知対象ユーザーにメールによる通知を行います。
- ・一度以上、本コマンドでメール送信を行ったクローズ済みプロセスの通知メールを受け取ったユーザーにメールによるクローズ通知を行います。

1.2.9.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPX_ChkElapsedTime.exe△(-i△画面 ID...|-I)△(-s△システム名...|-S)△-t△送信種別△[-b△件名]△[-m△コメントファイル名]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- ・ **-i : 画面 ID**
処理対象の画面 ID を指定します。
半角スペースで区切って複数指定も可能です。
このオプションを省略した場合は-I オプションを指定する必要があります。
画面 ID には、管理者メニューの[画面]-[画面定義]-[メニュー]の一覧に表示されるプロセス 1~103 の「画面 ID」が指定可能です。
- ・ **-I**
処理対象の画面 ID をプロセス全ての画面 ID にする場合指定します。
このオプションを省略した場合は-i オプションを指定する必要があります。
- ・ **-s : システム名**
処理対象のシステム名を指定します。
半角スペースで区切って複数指定も可能です。
このオプションを省略した場合は-S オプションを指定する必要があります。

- **-S**
処理対象のシステムを全てのシステムにする場合指定します。
このオプションを省略した場合は-s オプションを指定する必要があります。

- **-t : 送信種別**
通知メールの種類を指定します。
このオプションは省略することはできません。
指定できる種別を以下に記載します。

0001 : プロセス 自動メール通知_通知種別 1
0002 : プロセス 自動メール通知_通知種別 1 クローズ
0003 : プロセス 自動メール通知_通知種別 2
0004 : プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 1
0005 : プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 2

- **-b : 件名**
通知されるメールの件名に展開される文字列を指定します。
このオプションは省略可能です。
省略した場合は送信種別に応じて、以下のメールテンプレート設定に従って件名が生成されます。

0001 : 「自動メール通知_通知種別 1(コマンド)」
0002 : 「自動メール通知_通知種別 1 クローズ(コマンド)」
0003 : 「自動メール通知_通知種別 2(コマンド)」
0004 : 「プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 1(コマンド)」
0005 : 「プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 2(コマンド)」

指定した場合はメールテンプレートの件名設定は採用されません。

- **-m : コメントファイル名**
通知されるメール本文のコメント置換文字に展開される内容が記述された、任意のファイルをフルパスで指定します。
このオプションは省略可能です。
省略した場合は、自動メール通知ルートで設定されたコメントが採用されます。
指定した場合は、自動メール通知ルートで設定されたコメントは採用されません。
※コメントファイルの詳細については、後述の「**1.2.9.4 ファイルの説明**」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

-  自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe) は定期的にメール送信を行いません。補助設定 SSM WEB サーバーのスケジューラ等によって、定期的に行ってください。
-  コメント置換文字の詳細については、別紙「資料集」の仕様まとめを参照してください。仕様補足
-  自動メール通知コマンドは、処理対象のプロセスの数に比例して処理時間が必要になり、仕様補足 1 プロセス処理するのに平均で約 6 秒程度必要となります。
-  本コマンドはユーザーがサービスデスクユーザーかエンドユーザーかの区別は行っていません。仕様補足 通知対象ユーザーに該当するステータスが有効なユーザーに対してメールを送信します。
-  ステータスが無効のユーザーに対してメールは送信されません。仕様補足
-  メール送信時の送信元アドレスは、管理者メニュー上の[機能別]-[メール送信設定]-[送信元設定]で作成したアドレスが指定されます。仕様補足
-  コマンドから SMTP サーバーへ受け渡し完了した時点で通知(メール送信)は送信完了(成功)と判断されます。仕様補足
-  通知先に指定されたユーザーまたは職責に所属するユーザーが、仕様補足 通知メールの送信対象のプロセスのレコードの参照権限を持っていない場合、通知メールの送信は行われません。
-  送信を行ったメールの内容はエスカレーション履歴画面、または対応一覧画面で確認できます。仕様補足



仕様補足

自動メール通知_通知種別 1 クローズメールは 1 ユーザーに対して 1 件、送信されます。
同一ルートや複数ルートで複数回、通知メール送信コマンドで自動メール通知_通知種別 1 メールが送られた場合も 1 件のみ、メールが送信されます。



仕様補足

一度、自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe) でメールが送信された自動メール通知ルートには、再度メールが送信されることはありません。
例えば、以下のケースではコマンドを実行してもメールは送信されません。

1. プロセスのレコードが新規登録され、自動メール通知適用設定 A が適用される。
 2. 自動メール通知コマンドが実行され、自動メール通知適用設定 A で設定された通知ルート A のルート No. 1 にメール送信される。
 3. プロセスのレコードが更新され、自動メール通知適用設定 B が適用される。
 4. プロセスのレコードが更新され、自動メール通知適用設定 A が再度適用される。
 5. 自動メール通知コマンドが実行される。
- 上記ケースでは、自動メール通知適用設定 A で設定された通知ルート A のルート No. 1 には既にメール送信されている為、ルート No. 1 の送信先にはメール送信されません。以降のルートからメール送信が行われます。



仕様補足

自動送信メール設定ではメールとタイトルと本文の内容を任意にカスタマイズできます。
また置換文字列「%CMN:AUTO_MAIL_NOTICE_COMMENT%」を設定する事により自動メール通知ルートに設定したコメントを引用できます。
※デフォルト設定では上記置換文字列は本文に設定されています。



仕様補足

自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe) 実行時に、既に複数のルートが経過時間を過ぎていた場合、直近のルートだけではなく送信対象のすべてのルートにメールが送信されます。



仕様補足

自動メール通知コマンドは、処理対象のプロセスを通知する送信者に同じメールアドレスを持つユーザーが複数いる場合、[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「自動送信メールの複数宛先時の送信先制御設定」の管理項目値に関わらず、1 通のみメールを送信します。



制限事項

以下コマンドと同時に実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・ データ移行コマンド
- ・ DB再構築コマンド



仕様補足

メールテンプレート内に以下項目を設定しているプロセス管理のメールにおいて、構成アイテム(構成管理)が削除されている場合、[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定」の設定に関わらずメール本文に構成アイテム(構成管理)の情報は表示されません。

- ・ 関連構成 1
- ・ 関連構成 2
- ・ 関連構成 3
- ・ 関連構成 4



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.9.2 実行結果

申請状況通知コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>s jSPX_ChkElapsedTime.exe -i 01000001 -S -t 0001 -m "C:¥TEMP¥Comment1.txt"
メール通知を実施しました。(プロセス数=103、成功=103、失敗=0)
C:¥TEMP>
```

自動メール通知コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	引数不正があり処理が行われなかった場合
2		データベースへの接続に異常等があり処理が行われなかった場合
3		メール送信に失敗した場合
4		コマンドが二重起動された場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	メール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	自動メール通知コマンドが正常終了しました。	なし
	クローズメール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	自動メール通知コマンドが正常終了しました。	なし
1	必要な数の引数が指定されていません。([コマンドライン])	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	不正な引数が指定されました。(""-""のみの引数が指定されています。,[コマンドライン])		

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	不正な引数が指定されました。(“-”以外の接頭文字引数が指定されています。,[コマンドライン])		
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(画面(-i, -I)は1つのみ設定して下さい。)		
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(システム名(-s, -S)は1つのみ設定して下さい。)		
	対象送信者「-t」は Usage に記載のある 4 桁(頭 0 詰め)で指定して下さい。([指定された値])		
	指定されたファイルは存在しません。([指定したコメントファイル])		
	サイズ 0 のファイルはコメントファイルとして指定できません。([指定したコメントファイル])		
	不正な引数が指定されました。([オプション]は、[設定可能文字数]バイト以内で指定してください。)		
	画面が指定されていません。(-i or -I)		
	通知するメールの種類が指定されていません。(-t)		
	システム名が指定されていません。(-s or -S)		
2	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	メール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	送信種別「0001: 自動メール通知_通知種別 1」 / 「0003: 自動メール通知_通知種別 2」を指定した際にメール通知に失敗したプロセスがあります。	自動メール通知コマンドのユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
	クローズメール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	送信種別「0002: 自動メール通知_通知種別 1 クローズ」を指定した際にメール通知に失敗したプロセスがあります。	自動メール通知コマンドのユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
4	自動メール通知コマンド (sjSPX_ChkElapsedTime.exe) は既に起動中です。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
6	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。	コマンドが稼働に必要な環境変数の情報が読み込めません。	SSM WEB サーバーを再起動して再度コマンドを実行してください。それでも同様の結果となる場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー：SPBMSLib.dll が読み込めませんでした。	コマンドが稼働に必要なモジュールが読み込めません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー：メモリが不足しています。	コマンドが稼働に必要なメモリが確保できませんでした。	SSM WEB サーバーのリソース不足を解消してください。リソース不足の原因が弊社製品にある場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンドが稼働するために必要な稼働情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(エラー：XMLDomParser の初期化ができませんでした。)		
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「～」に「sp」ノードがありません。)		
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「～」に「ChkElapsedTime」ノードがありません。)		
	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンドが稼働するために必要な制御情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「～」に目的の「sp」ノードがありません。)			

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「table」ノードがありません。)		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイル]」の読み込みに失敗しました。エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。		
	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の PC 用ログイン URL 設定の取得に失敗しました。		
	コメントファイル「[コメントファイルパス]」が開けませんでした。	指定したコメントファイルが開けません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
	画面 ID の取得に失敗しました。	ログイン URL や画面名などの情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	指定された画面は存在しません。([存在しない画面])	指定された画面は存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	画面の解決に失敗しました。([解決できない画面])	指定された画面を内部用のデータに変換できませんでした。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	指定の画面に紐づく画面 ID が存在しません。	指定された画面に紐づくログイン URL や画面名の情報が有りません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	指定されたシステム名は存在しません。([存在しないシステム名])	指定されたシステム名は存在しません。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	システム名の解決に失敗しました。([解決できないシステム名])	指定されたシステム名を内部用のデータに変換できませんでした。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行して下さい。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	メールテンプレート情報の取得に失敗しました。	メールテンプレート情報が存在しません	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	プロセス情報の取得に失敗しました。	プロセス情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	自動メール通知基準日設定の取得に失敗しました。	管理者メニューの自動メール通知基準日設定が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTP サーバー接続情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	SMTP サーバー接続情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「管理者メニュー>制御情報」から SMTP サーバー関連の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTP メール送信制限情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の制限設定情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」からメール送信時の制限関連の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	SMTP メール送信元情報の取得に失敗しました。(管理者メニューのメール情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の From などの情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「機能別>メール送信設定>送信元設定」から送信元設定マスタ管理の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
	SMTP サーバーとの接続確立に失敗しました。(サーバー名=[サーバー名]、ポート番号=[ポート番号])	SMTP サーバーと接続確立できませんでした。	SMTP サーバーの稼働状況を確認して下さい。 また、ネットワークの状況に起因する可能性も考えられます。こちらも合わせて確認してください。

1.2.9.3 送信種別の説明

送信種別で指定できる通知メールの種類についての説明を記載します。

(1) プロセス 自動メール通知_通知種別 1 (0001)

自動メール通知適用設定に従い通知対象ユーザーにメールによる通知を行います。

自動メール通知適用設定のうち通知種別が「通知種別 1」、適用先種別が「プロセス」となっているもののみがこの送信種別での処理対象となります。上記自動メール通知適用設定は、プロセスの新規登録／更新時に自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知条件設定の内容により適用チェックを実施します。合致する場合には「通知種別 1」の自動メール通知ルートが「プロセス」に適用されます。

本送信種別を指定してコマンドを実行すると、「通知種別 1」の自動メール通知ルートが適用されているプロセスレコードに対して登録されている基準日時を取得します。その上で自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知ルート設定を元に、通知条件および通知時間から通知条件日時を算出します。コマンドの実行日時が通知条件日時より後であるものについて、自動メール通知ルート設定の通知先の内容に従ってメールを送信します。



仕様補足

自動メール通知適用設定、自動メール通知条件設定、自動メール通知ルート設定については、**ユーザーズガイド「管理ガイド」**を参照してください。



仕様補足

対象プロセスの基準日時は「起票日時」と「メール通知基準日時」の2種類から選択できます。基準日は管理者メニュー上の[制御情報]-[制御情報]でプロセス毎に指定します。
管理項目名：自動メール通知基準日時設定



仕様補足

ルートに設定された経過時間内に複数回コマンドが実行された場合、最初の1回のみメールを送信します。
抽出条件が一致したとしても、2回目以降はメールを送信しません。



仕様補足

送信先が職責で指定されている際に送信先となる複数の職責に1ユーザーが所属している場合でも、1ユーザーに対し送信する通知メールは1メールです。

(2) プロセス 自動メール通知_通知種別 1 クローズ (0002)

送信種別「0001」にて通知メールを送信した後に、そのプロセスレコードがクローズされた場合に、通知対象ユーザーに対してクローズ通知メールを送信します。

自動メール通知適用設定のうち通知種別が「通知種別 1」、適用先種別が「プロセス」となっているもののみがこの送信種別での処理対象となります。

過去に送信種別「0001」にて通知メールを送信しており、ステータスが「クローズ」になっているレコードの検索を実施します。検索に合致するプロセスレコードが自動メール通知の候補となります。過去の通知メールで通知対象ユーザーとなった全ユーザーに対してクローズ通知メールを送信します。



仕様補足

1ユーザーに対し1つのプロセスレコードで複数回通知メールが送信されている場合でも、1ユーザーに対し送信するクローズ通知メールは1つとなります。



仕様補足

クローズ後にクローズ解除を行った場合はクローズ通知メールの履歴はリセットされます。この場合再度クローズすると、クローズ通知メールの送信対象となります。



仕様補足

自動メール通知の定義を変更しルートが再適用された状態で、複数ルートにまたがって通知メールが送信された場合、通知メールを送信したすべてのルートを対象に、クローズ通知メールを送信します。

(3) プロセス 自動メール通知_通知種別 2 (0003)

自動メール通知適用設定に従い通知対象ユーザーにメールによる通知を行います。

自動メール通知適用設定のうち通知種別が「通知種別 2」、適用先種別が「プロセス」となっているもののみがこの送信種別での処理対象となります。上記自動メール通知適用設定は、プロセスの新規登録/更新時に自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知条件設定の内容により適用チェックを実施します。合致する場合には「通知種別 2」の自動メール通知ルートが「プロセス」に適用されます。

本送信種別を指定してコマンドを実行すると、「通知種別 2」の自動メール通知ルートが適用されているプロセスレコードに対して登録されている基準日時を取得します。その上で自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知ルート設定を元に、通知条件および通知時間から通知条件日時を算出します。コマンドの実行日時が通知条件日時より後であるものについて、自動メール通知ルート設定の通知先の内容に従ってメールを送信します。



仕様補足

自動メール通知適用設定、自動メール通知条件設定、自動メール通知ルート設定については、**ユーザーズガイド「管理ガイド」**を参照してください。



仕様補足

対象プロセスの基準日は「起票日時」と「メール通知基準日時」の2種類から選択できます。基準日は管理者メニュー上の[制御情報]-[制御情報]でプロセス毎に指定します。
管理項目名：自動メール通知基準日時設定



仕様補足

ルートに設定された経過時間内に複数回コマンドが実行された場合、最初の1回のみメールを送信します。
抽出条件が一致したとしても、2回目以降はメールを送信しません。



仕様補足

送信先が職責で指定されている際に送信先となる複数の職責に1ユーザーが所属している場合でも、1ユーザーに対し送信する通知メールは1メールです。

(4) プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 1 (0004)

自動メール通知適用設定に従い通知対象ユーザーにメールによる通知を行います。

自動メール通知適用設定のうち通知種別が「通知種別 1」、適用先種別が「プロセスタスクリスト」となっているもののみがこの送信種別での処理対象となります。上記自動メール通知適用設定は、プロセスの新規登録/更新時に自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知条件設定の内容により適用チェックを実施します。合致する場合には「通知種別 1」の自動メール通知ルートが各プロセスタスクに適用されます。

本送信種別を指定してコマンドを実行すると、「通知種別 1」の自動メール通知ルートが適用されているプロセスタスクレコードに対して登録されている基準日時を取得します。その上で自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知ルート設定を元に、通知条件および通知時間から通知条件日時を算出します。コマンドの実行日時が通知条件日時より後であるものについて、自動メール通知ルート設定の通知先の内容に従ってメールを送信します。



仕様補足

自動メール通知適用設定、自動メール通知条件設定、自動メール通知ルート設定については、**ユーザーズガイド「管理ガイド」**を参照してください。



仕様補足

対象プロセスタスクの基準日時は「対応期限日時」となります。



仕様補足

ルートに設定された経過時間内に複数回コマンドが実行された場合、最初の1回のみメールを送信します。
抽出条件が一致したとしても、2回目以降はメールを送信しません。



仕様補足

送信先が職責で指定されている際に送信先となる複数の職責に1ユーザーが所属している場合でも、1ユーザーに対し送信する通知メールは1メールです。

(5) プロセスタスクリスト 自動メール通知_通知種別 2 (0005)

自動メール通知適用設定に従い通知対象ユーザーにメールによる通知を行います。

自動メール通知適用設定のうち通知種別が「通知種別 2」、適用先種別が「プロセスタスクリスト」となっているもののみがこの送信種別での処理対象となります。

上記自動メール通知適用設定は、プロセスの新規登録／更新時に自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知条件設定の内容により適用チェックを実施します。合致する場合には「通知種別 2」の自動メール通知ルートが各プロセスタスクに適用されます。

本送信種別を指定してコマンドを実行すると、「通知種別 2」の自動メール通知ルートが適用されているプロセスタスクレコードに対して登録されている基準日時を取得します。その上で自動メール通知適用設定に適用されている自動メール通知ルート設定を元に、通知条件および通知時間から通知条件日時を算出します。コマンドの実行日時が通知条件日時より後であるものについて、自動メール通知ルート設定の通知先の内容に従ってメールを送信します。



仕様補足

自動メール通知適用設定、自動メール通知条件設定、自動メール通知ルート設定については、**ユーザーズガイド「管理ガイド」**を参照してください。



仕様補足

対象プロセスタスクの基準日時は「対応期限日時」となります。



仕様補足

ルートに設定された経過時間内に複数回コマンドが実行された場合、最初の1回のみメールを送信します。
抽出条件が一致したとしても、2回目以降はメールを送信しません。



仕様補足

送信先が職責で指定されている際に送信先となる複数の職責に1ユーザーが所属している場合でも、1ユーザーに対し送信する通知メールは1メールです。

1.2.9.4 ファイルの説明

自動メール通知コマンドで実行に必要なとなるファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	コメントファイル	任意のファイル名	通知されるメール本文のコメント置換文字に展開される内容が記述されたファイルです。
2	ユーザーログ	sjSPX_User_ChkElapsedTime.log [.世代数]	自動メール通知コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。

1. コメントファイル

本ファイルには、通知されるメール本文のコメント置換文字「%CMN:AUTO_MAIL_NOTICE_COMMENT%」に展開される内容を記述します。このファイルは、フルパスでコマンドオプションの「コメントファイル名」に指定し、内容はフリーフォーマットで記述します。指定できるファイルの形式は、S-JIS で記述されたテキスト形式となります。文字数上限は半角 4000 桁となります。



コメント置換文字の詳細については、別紙「資料集」の仕様まとめを参照してください。

仕様補足



コメントファイル内の記述内容にメール本文置換文字列が存在しても、メール本文置換文字列の置換処理は行われません。

仕様補足



送信種別「0001」、「0003」でコメントファイルを指定した場合、自動メール通知ルート設定に登録したコメントはコメント置換文字に展開されません。

仕様補足



送信種別「0002」の場合、コメント置換文字に置換文字列を指定する方法はコメントファイルによる指定のみです。

仕様補足

2. ユーザーログ

自動メール通知コマンドの実行結果やエラー情報等のログ情報が出力されるファイルです。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダ

出力ファイル名

sjSPX_User_ChkElapsedTime.log[. 世代数]

[. 世代数] : なし、または1~7の数値が付加される。
最新のログは世代数なし。
以降、新しい順に1~7の世代数がファイル名に付加される。
ファイルは、1MB 毎に1つ古い世代へシフトされ7世代を超えると削除される。

以降にユーザーログに出力されるログの内容を示します。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
1	INFO	ログの初期化が完了しました。ログ出力を開始します。	ログ出力開始を意味します。	なし
2	WARN	ログレベルは[最小値]～[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログレベルの値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログレベルの値を範囲内に修正してください。
3	WARN	ログ世代数は[最小値]～[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログ世代数の値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログ世代数の値を範囲内に修正してください。
4	WARN	ログサイズ(1世代分)は[最小値]～[最大値]の範囲で指定して下さい。	ログサイズ(1世代分)の値が範囲外です。	稼働定義ファイルのログサイズ(1世代分)の値を範囲内に修正してください。
5	ERROR	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。	コマンドが稼働に必要な環境変数の情報が読み込めません。	SSM WEB サーバーを再起動して再度コマンド実行してみてください。それでも同様のログが出力される場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
6	ERROR	エラー：メモリが不足しています。	コマンドが稼働に必要なメモリの確保に失敗しました。	SSM WEB サーバーのリソース不足を解消してください。 リソース不足の原因が弊社製品にある場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
7	ERROR	エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
8	NOTICE	引数([指定の引数])	コマンド実行時に指定した引数が出力されません。	なし
9	ERROR	必要な数の引数が指定されていません。([コマンドライン])	必要な数の引数が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
10	ERROR	不正な引数が指定されました。([指定された値],[コマンドライン])	指定された引数に誤りがあります。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
		不正な引数が指定されました。("-"のみの引数が指定されています。,[コマンドライン])		
		不正な引数が指定されました。("-"以外の接頭文字引数が指定されていません。,[コマンドライン])		

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
11	ERROR	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(画面(-i, -I)は1つのみ設定して下さい。)	"-i"と"-I"両方指定されています。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
12	ERROR	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(システム名(-s, -S)は1つのみ設定して下さい。)	"-s"と"-S"両方指定されています。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
13	ERROR	対象送信者「-t」は Usage に記載のある4桁(頭0詰め)で指定してください。([指定された値])	"-t"で指定している値に誤りがあります。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
14	ERROR	指定されたファイルは存在しません。([指定したコメントファイル])	指定したコメントファイルが存在しません。	ファイル有無、ファイルパスをもう一度確認し正しい値を指定してください。
15	ERROR	サイズ0のファイルはコメントファイルとして指定できません。([指定したコメントファイル])	指定したコメントファイルのサイズが0です。	コメントファイルの内容を確認してください。
16	ERROR	画面が指定されていません。(-i or -I)	"-i"もしくは"-I"が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
17	ERROR	通知するメールの種類が指定されていません。(-t)	"-t"が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
18	ERROR	システム名が指定されていません。(-s or -S)	"-s"もしくは"-S"が指定されていません。	Usage やマニュアルを参照して引数を正しく指定してください。
19	ERROR	稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。 稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(エラー : XMLDomParser の初期化ができませんでした。) 稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「sp」ノードがありません。)	コマンドが稼働するために必要な稼働情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
		稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(稼働定義ファイル「~」に「ChkElapsedTime」ノードがありません。)		
		稼働定義ファイル「[稼働定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。		
20	ERROR	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンドが稼働するために必要な制御情報が定義してあるファイルが読み込めませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
		制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「sp」ノードがありません。)		
		制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「table」ノードがありません。)		
		制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。(制御情報定義ファイル「~」に目的の「record」ノードがありません。)		
		制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイル]」の読み込みに失敗しました。エラー：想定外の予期せぬエラーが発生しました。		
21	WARN	制御情報定義ファイル「[制御情報定義ファイルパス]」の PC 用ログイン URL 設定の取得に失敗しました。	PC 用ログイン URL が設定されていません。	カスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
22	INFO	コメントファイルに記載されたコメントを通知メールに記載します。	コメントファイルに記載されたコメントを通知メールに記載します。	なし
23	INFO	自動メール通知ルートで設定したコメントを通知メールに記載します。	自動メール通知ルートで設定したコメントを通知メールに記載します。	なし
24	WARN	コメントファイル「[コメントファイルパス]」は 4000 バイトまでです。4000 バイト以降のデータは切り捨てます。	指定したコメントファイルのサイズが上限 4000 バイトを超えています。	コメントファイルの内容を 4000 バイト以内に變更してください。
25	ERROR	コメントファイル「[コメントファイルパス]」が開けませんでした。	指定したコメントファイルが開けません。	設定されているアクセス権や排他制御のかかるアプリケーションで開いていないかなどを確認してください。 アクセス権の問題の場合は権限のあるユーザーでコマンド実行してください。 排他制御のかかるアプリケーションで開いていた場合は、そのアプリケーションを終了してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
26	ERROR	DB との接続に失敗しました。	Senju/SM DB に接続できませんでした。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
27	ERROR	指定された画面は存在しません。([存在しない画面])	指定された画面は存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
28	ERROR	画面の解決に失敗しました。([解決できない画面])	指定された画面を内部用のデータに変換できませんでした。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
29	ERROR	画面 ID の取得に失敗しました。	ログイン URL や画面名などの情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
30	ERROR	指定の画面に紐づく画面 ID が存在しません。	指定された画面に紐づくログイン URL や画面名の情報が有りません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
31	ERROR	指定されたシステム名は存在しません。([存在しないシステム名])	指定されたシステム名は存在しません。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
32	ERROR	システム名の解決に失敗しました。([解決できないシステム名])	指定されたシステム名を内部用のデータに変換できませんでした。	Senju Service Manager の Web 画面から、存在するシステム名を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
33	WARN	ラベル情報の取得に失敗しました。	ラベル情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
34	WARN	指定された画面に紐づくラベル情報がありません。	指定された画面に紐づくラベル情報が存在しません。	管理者メニューで、存在する画面を確認して再度コマンド実行してください。 存在する場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
35	WARN	メールテンプレート情報の取得に失敗しました。	自動メール通知のメールテンプレートデータ、デフォルトのメールテンプレートデータの両方が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
36	ERROR	指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートがありません。	自動メール通知のメールテンプレートを設定していないため、通知メールの送信に失敗しました。	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」から自動メール通知のメールテンプレートを設定してください。
37	WARN	[テンプレート上の置換文字列]はサポートされていない置換え文字列です。	自動メール通知のメールテンプレート内にサポートされていない置換え文字が指定されています。	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」から自動メール通知のメールテンプレートを編集しサポート対象外の文言を削除してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
38	ERROR	プロセス情報の取得に失敗しました。	プロセス情報が存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
39	ERROR	自動メール通知基準日設定の取得に失敗しました。	管理者メニューの自動メール通知基準日設定が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
40	ERROR	SMTP サーバー接続情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	SMTP サーバー接続情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」から SMTP サーバー関連の設定を確認してください。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡してください。
41	ERROR	SMTP メール送信制限情報の取得に失敗しました。(管理者メニューの制御情報設定を確認して下さい。)	メール送信時の制限設定情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」からメール送信時の制限関連の設定を確認してください。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡してください。
42	ERROR	SMTP メール送信元情報の取得に失敗しました。(管理者メニューのメール情報設定を確認して下さい。)	メール送信時のFromなどの情報が取得できませんでした。	管理者メニューにて、「機能別>メール送信設定>送信元設定」から送信元設定マスタ管理の設定を確認して下さい。 特に問題なければカスタマーサポートへ連絡して下さい。
43	INFO	処理対象のプロセスはありませんでした。	処理対象のプロセスはありませんでした。	なし
44	ERROR	SMTP サーバーとの接続確立に失敗しました。(サーバー名=[サーバー名]、ポート番号=[ポート番号])	SMTP サーバーと接続確立できませんでした。	SMTP サーバーの稼働状況を確認してください。 管理者メニューにて、「制御情報>制御情報」から SMTP サーバー関連の設定を確認して下さい。
45	INFO	メール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	送信種別「0001：自動メール通知_通知種別1」、「0003：自動メール通知_通知種別2」を指定したケースにて通知した結果(サマリ)	なし
46	INFO	クローズメール通知を実施しました。(プロセス数=[プロセス数]、成功=[成功数]、失敗=[失敗数])	送信種別「0002：自動メール通知_通知種別1 クローズ」を指定したケースにて通知した結果(サマリ)	なし
47	NOTICE	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])基準日が記載されていない為、メール通知対象から除外します。	該当プロセスの基準日が設定されていません。	該当プロセスへのメール通知を行いたい場合は、基準日を設定して下さい。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
48	NOTICE	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])基準時刻が記載されていない為、メール通知対象から除外します。	該当プロセスの基準時刻が設定されていません。	該当プロセスへのメール通知を行いたい場合は、基準時刻を設定して下さい。
49	NOTICE	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])登録日が記載されていない為、メール通知対象から除外します。	該当プロセスの登録日が設定されていません。	該当プロセスへのメール通知を行いたい場合は、登録日を設定して下さい。
50	NOTICE	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])登録時刻が記載されていない為、メール通知対象から除外します。	該当プロセスの登録時刻が設定されていません。	該当プロセスへのメール通知を行いたい場合は、登録時刻を設定して下さい。
51	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])自動メール通知基準日の取得に失敗しました。	該当プロセスの自動メール通知基準日が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
52	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])テンプレートの置換文字解決処理に失敗しました。 (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])テンプレートの置換文字解決処理に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのテンプレート文字置換処理に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
53	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])プロセス情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエントリが存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
54	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステムに紐づく処理対象のプロセスはエントリがありません。	"()"書きにあるプロセスのエントリが自動メール通知条件を満たしたプロセスとして取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
55	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])現在対応者情報の取得に失敗しました。 (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])現在対応者情報の取得に失敗しました。(該当する現在対応者が1件もありません。)	"()"書きにあるプロセスの現在対応者情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
56	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])関連構成情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの関連構成情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
57	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]) 関連構成アイテム情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの関連構成アイテム情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡してください。
58	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])エスカレーション履歴情報の取得に失敗しました。 (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])エスカレーション履歴情報の取得に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴情報が取得できませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
59	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステムに紐づく履歴のエントリがありません。 (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])指定された画面とシステムに紐づく履歴のエントリがありません。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴情報が存在しませんでした。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
60	ERROR	<p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])通知先ユーザー情報の取得に失敗しました。</p> <p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])通知先ユーザー情報の取得に失敗しました。(該当する通知先ユーザーが1件もありません。)</p> <p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])通知先ユーザーのメールアドレス情報取得に失敗しました。</p> <p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])通知先ユーザーのメールアドレス情報取得に失敗しました。(該当する通知先ユーザーが1件もありません。)</p>	<p>"()"書きにあるプロセスに設定されている自動メール通知の通知先ユーザー情報が取得できませんでした。</p>	<p>カスタマーサポートへ連絡して下さい。</p>
61	ERROR	<p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])通知先ユーザーのメールアドレス情報取得に失敗しました。</p> <p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルートNo])通知先ユーザーのメールアドレス情報取得に失敗しました。</p>	<p>"()"書きにあるプロセスに設定されている自動メール通知の通知先ユーザーのメールアドレス情報が取得できませんでした。</p>	<p>ユーザーに設定されているメールアドレス情報を確認して下さい。</p>
62	ERROR	<p>(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])自動メール通知ルートのコメントの取得に失敗しました。</p>	<p>"()"書きにあるプロセスに設定されている自動メール通知の通知先ユーザーのメールアドレス情報が取得できませんでした。</p>	<p>ユーザーに設定されているメールアドレス情報を確認して下さい。</p>

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
63	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]) エスカレーション履歴の更新に失敗しました。 (データ種別=[データ種別]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルート No]) エスカレーション履歴の更新に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスのエスカレーション履歴の更新に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
64	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルート No]) 自動メール通知履歴の登録に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの自動メール通知履歴の登録に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
65	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]) 自動メール通知情報の更新に失敗しました。 (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルート No]) 自動メール通知情報の更新に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスの自動メール通知情報の更新に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡して下さい。
66	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]、ルートNo=[ルート No]) 自動メール通知のメール送信に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスに対する通知メールの送信に失敗しました。	SMTP サーバーの稼働状況を確認して下さい。
67	ERROR	(画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID]) 自動クローズメール通知のメール送信に失敗しました。	"()"書きにあるプロセスに対するクローズ通知メールの送信に失敗しました。	SMTP サーバーの稼働状況を確認して下さい。

- ※1 レベルは「INFO」「NOTICE」「WARN」「ERROR」の4種類あります。
「INFO」は開始や経過、結果などを表す正常なログです。
「NOTICE」は適用された状態や注目して欲しい内容を表す正常なログです。
「WARN」は想定通りの結果にならない可能性のあることを表す警告ログです。
「ERROR」はコマンドの実行が継続できない異常な状態を表すログです。

1.2.9.5 テンプレートの説明

自動メール通知コマンドで実行に必要なとなるテンプレートについての説明を記載します。

テンプレートは Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」のメールアクションが「自動メール通知_通知種別 1 (コマンド)」、「自動メール通知_通知種別 1 クローズ (コマンド)」または「自動メール通知_通知種別 2 (コマンド)」に登録されているメールテンプレートを使用します。

また、メールテンプレートの本文には、画面項目を自動的に参照して置き換える文字列を設定できます。

設定についてはユーザーズガイド「管理ガイド」を参照してください。



仕様補足

メールテンプレートには、置換文字列以外にも文字列を設定できます。
なお、「%~%」で囲まれた文字列をテンプレートに設定することは可能ですが、コマンドは置換文字列として判断し、実行時に警告メッセージを出力いたしますのでご注意ください。
メッセージの詳細につきましては「1.2.9.4 ファイルの説明」のユーザーログ項番 39 を参照してください



仕様補足

自動メール通知コマンドでテンプレートに設定可能な時刻項目は[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「時刻表示フォーマット」の設定有無にかかわらず、“時分秒”のフォーマットにてメール送信されます。

<対象項目>

クローズ期限時刻
対応予定時刻 1~5
起票時刻
最終更新時刻
開始予定時刻
終了予定時刻
承認申請時刻
メール通知基準時刻
スケジュール設定開始時刻
スケジュール設定終了時刻
現在時刻

1.2.10 データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe)

データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)は、Senju Service Manager のプロセス管理、イベント管理の内容を一覧帳票としてファイルに出力します。

1.2.10.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPU_ExportData_Ex.exe△-i△画面 ID△[-a | -e | -f | -T マッピングアイテムファイル名]△[-s△検索条件ファイル名]△-F△データ出力ファイル名△-c

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-i : 画面 ID**
処理対象の画面 ID を指定します。
このオプションは省略することはできません。
画面 ID には、管理者メニューの[画面]-[画面定義]-[メニュー]の一覧に表示される「画面 ID」が指定可能です。
指定可能範囲は下記の通りです。
プロセス管理 : "01000001" ~ "01000103"
イベント管理 : "03000001"
- **-a**
経過情報を出力する場合に指定します。
このオプションは省略可能です。省略した場合は、経過情報は出力されません。
-a、-e、-f、-T のいずれか 1 つの引数しか指定できません。
-a、-e、-f、-T のうち 2 つ以上引数を指定した場合、エラーとなります。
- **-e**

SSA 連携申請情報を出力する場合に指定します。

このオプションは省略可能です。

省略した場合は、SSA 連携申請情報は出力されません。

-a、-e、-f、-T のいずれか 1 つの引数しか指定できません。

-a、-e、-f、-T のうち 2 つ以上引数を指定した場合、エラーとなります。

本引数はプロセス管理の画面 ID が指定された場合のみ対象となります。

プロセス管理の画面 ID 以外が指定された場合、エラーとなります。

- **-f**

プロセス管理及び経過添付ファイル情報を出力する場合に指定します。

このオプションは省略可能です。

省略した場合は、プロセス管理及び経過添付ファイル情報は出力されません。

-a、-e、-f、-T のいずれか 1 つの引数しか指定できません。

-a、-e、-f、-T のうち 2 つ以上引数を指定した場合、エラーとなります。

本引数はプロセス管理の画面 ID が指定された場合のみ対象となります。

プロセス管理の画面 ID 以外が指定された場合、エラーとなります。

- **-T : マッピングアイテムファイル名**

出力する項目が記述された任意のファイルをフルパスで指定します。

このオプションは省略可能です。

省略した場合は、出力する項目を選択することはできません。

-a、-e、-f、-T のいずれか 1 つの引数しか指定できません。

-a、-e、-f、-T のうち 2 つ以上引数を指定した場合、エラーとなります。

一度に指定できるファイルは 1 ファイルです。

※マッピングアイテムファイルの詳細については、後述の「**1.2.10.3 ファイルの説明**」を参照してください。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-s : 検索条件ファイル名**

出力するデータの検索条件が記述された任意のファイルをフルパスで指定します。

プロセス 1~103 の「画面 ID」を指定した場合には必ず指定します。省略することはできません。イベントの「画面 ID」を指定した場合には指定できません。

一度に指定できるファイルは 1 ファイルです。

※検索条件ファイルの詳細については、後述の「**1.2.10.3 ファイルの説明**」を参照してください。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-f : データ出力ファイル名**

一覧帳票の保存先ファイルをフルパスで指定します。パスを省略した場合はカレントディレクトリに指定ファイルが出力されます。このオプションは省略することはできません。

 - ※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
 - ※-fを指定した場合、パスを省略することはできません。
 - ※-fを指定した場合、出力先フォルダまでフルパスで指定してください。
 - ※-fを指定した場合、パスの配下に画面名フォルダ>レコード ID フォルダ>添付ファイル項目名フォルダ>添付ファイルまたは、画面名フォルダ>レコード ID フォルダ>添付ファイル項目名フォルダ>経過ブロック名フォルダ>添付ファイルが生成されるWindows 上パス+ファイル名の長さ制限があるため、
 - パス+画面名+レコード ID+添付ファイル項目名の長さが 240byte を超えた場合、出力できません。
 - パス+画面名+レコード ID+添付ファイル項目名+添付ファイル名の長さが 250byte を超えた場合、超えた部分は拡張子部分を除き、添付ファイル名から切り取られます。
 - パス+画面名+レコード ID+添付ファイル項目名+経過ブロック名の長さが 240byte を超えた場合、出力できません。
 - パス+画面名+レコード ID+添付ファイル項目名+経過ブロック名+添付ファイル名の長さが 250byte を超えた場合、超えた部分は拡張子部分を除き、添付ファイル名から切り取られます。
 - ※-fを指定した場合、Senju/SM 上で同じ画面名、レコード ID、添付ファイル項目名、経過ブロック名、または添付ファイル名が存在すると、フォルダ名、または拡張子を除いたファイル名の最後に番号が追加されます。
 - ※-fを指定した場合、指定したパス配下に既に同じ名称のフォルダ、またはファイルが存在すると、フォルダ、またはファイルが上書きされます。
 - ※-fを指定した場合、出力するフォルダ名、またはファイル名にある禁止文字[¥/:*?"|<>]はすべて[_ (アンダーバー)]に書き換えられます。
 - ※-fを指定した場合、添付ファイルが存在しなければ、該当フォルダは作成されません。

- **-c**

データを出力する場合には必ず指定します。このオプションは省略することはできません。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・ データ移行コマンド
- ・ DB再構築コマンド



制限事項

PostgreSQL版Senju/SMの場合、SSA連携機能に対応していないため、オプション「-e」はサポート対象外です。

1.2.10.2 実行結果

データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe) を実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例) プロセス 1 の画面 ID 指定時

```
C:¥TEMP>sjSPU_ExportData_Ex.exe -i 01000001 -a -s "C:¥temp¥searchFile.txt" -F "C:¥temp¥outputFile.txt" -c
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

例) イベントの画面 ID 指定時

```
C:¥TEMP>sjSPU_ExportData_Ex.exe -i 03000001 -a -F "C:¥temp¥outputFile.txt" -c
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

データ出力コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	引数不正があり処理が行われなかった場合
2		データベースへの接続に異常等があり処理が行われなかった場合
3		データ (一覧帳票) の出力に失敗した場合
4		コマンドが二重起動した場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合
7		マッピングアイテムファイルの指定に不正があり処理が行われなかった場合
1231	警告終了	マッピングアイテムファイルに項目が指定されなかった場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	データ出力コマンドが正常終了しました。	なし。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	引数-a、引数-e、引数-f または引数-T を指定する場合はいずれか1つを指定してください。	-a、-e、-f、-T の引数の内のいずれかが複数指定されました。	引数-a、引数-e、引数-f または引数-T を指定する場合はいずれか一方を指定してください。
	引数-e を指定する場合は画面 ID にプロセス管理の画面 ID を指定してください。	-e を指定した際にプロセス管理の画面 ID 以外が指定されました。	引数-e を指定する場合は画面 ID にプロセス管理の画面 ID を指定してください。
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(データ出力先が指定されていません。)	-f を指定した際に-F が指定されてない時。	引数-f を指定する場合は引数-F を指定してください。
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(データ出力ファイル先の指定に誤りがあります。)	-f を指定した際に-F に指定されたパスが存在しない時。	引数-f を指定する場合は引数-F に存在するパスを指定してください。
	添付ファイル出力モードで、プロセス管理以外の画面が指定できません。	-f を指定した際に-i にプロセス管理以外の画面 ID が指定された時。	引数-f を指定する場合は引数-i にプロセス管理の画面 ID のみを指定してください。
	コマンドの実行ユーザーがフォルダ/ファイルの上書き/作成権限を持ってないので、添付ファイルが出力できません。 メッセージなく終了する。	コマンドの実行ユーザーがフォルダ/ファイルの上書き/作成権限を持ってない時。 -	フォルダ/ファイルの上書き/作成権限を持っているユーザーでコマンドを実行してください。 データ出力コマンドを稼働させているサーバーの再起動を実施してください。
2	DB との接続に失敗しました。DB 接続情報を確認してください。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	データの出力に失敗しました。	データ (一覧帳票) の出力に失敗しました。	一覧帳票保存先ディレクトリのアクセス権限を確認してください。
4	コマンドが二重起動されました。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
6	致命的なエラー: MFC の初期化ができませんでした。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	致命的なエラー : CoInitialize に失敗しました。		
7	マッピングアイテムファイルが存在しません。(ファイル名)	(ファイルパス)に表示されたマッピングアイテムファイルが存在しません。	引数に指定したマッピングアイテムファイルのパスに誤りがないかを確認してください。
	マッピングアイテムファイルの読み込み処理に失敗しました。(ファイル名)	マッピングアイテムファイルとして設定されたファイルの読み込みに失敗しました。	マッピングアイテムファイルの中身を確認してください。
	マッピングアイテムファイルに不正な項目名が設定されています。(項目名)	マッピングアイテムファイル内、(項目名)に表示された項目名が不正です。	マッピングアイテムファイルに記述されている項目名に誤りが無いか確認してください。
	マッピングアイテムファイルに経過項目と SSA 項目が混在して指定されています。	マッピングアイテムファイル内、経過項目と SSA 項目が混在しています。	マッピングアイテムファイル内、経過項目または SSA 項目を指定する場合はいずれか一方を指定してください。
1231	マッピングアイテムファイルに項目名が指定されていません。	マッピングアイテムファイルに指定されたファイルに出力項目が記述されていません。	引数で指定したマッピングアイテムファイルの中身を確認してください。

データ出力コマンドは、実行結果を一覧帳票に出力します。
 一覧帳票の出力ファイルはコマンドの引数 (-F) で指定できます。
 パスを省略した場合は、カレントディレクトリに指定したファイル名で出力されますので、
 データ出力コマンド実行後は本ファイルにて実行結果を確認してください。
 一覧帳票は以降に示す情報を入力します。

1. プロセス管理

項番	出力項目名	備考
1	レコード ID	
2	システム	
3	タイトル	
4	ステータス	
5	問合せ状況	
6	サブステータス	
7	クローズ種別	
8	クローズ者	
9	コメント	
10	クローズ期限日	
11	クローズ期限時刻	
12	会社名	社外申請者情報
13	組織名	社外申請者情報
14	氏名	社外申請者情報
15	氏名カナ	社外申請者情報
16	電話番号	社外申請者情報
17	メールアドレス	社外申請者情報
18	種別	
19	インパクト	
20	緊急度	
21	優先度	
22	大分類	
23	中分類	
24	小分類	
25	テキスト 5	

項番	出力項目名	備考
26	テキスト 6	
27	テキスト 7	
28	テキスト 8	
29	テキスト 9	
30	テキスト 10	
31	テキスト 11	
32	テキスト 12	
33	テキスト 13	
34	テキスト 14	
35	テキスト 15	
36	公開グループ	
37	備考	
38	参考 URL1	
39	参考 URL2	
40	参考 URL3	
41	参考 URL4	
42	参考 URL5	
43	参考 URL6	
44	参考 URL7	
45	起票日	
46	起票時刻	
47	開始日	
48	開始時刻	
49	終了日 1	
50	終了時刻 1	
51	終了日 2	
52	終了時刻 2	
53	終了日 3	
54	終了時刻 3	
55	開始予定日	
56	開始予定時刻	
57	終了予定日	
58	終了予定時刻	
59	承認申請日	

項番	出力項目名	備考
60	承認申請時刻	
61	承認申請完了日	
62	申請完了時刻	
63	クローズ日	
64	クローズ時刻	
65	起票者	
66	計算時間 1	
67	計算時間 2	
68	計算時間 3	
69	申請完了時間	
70	クローズ時間	
71	編集合計時間	
72	テキスト 1	
73	テキスト 2	
74	テキスト 3	
75	テキスト 4	
76	テキスト 16	
77	テキスト 17	
78	テキスト 18	
79	テキスト 19	
80	ラジオボタン 1	
81	ラジオボタン 2	
82	チェックボックス 1	
83	チェックボックス 2	
84	チェックボックス 3	
85	チェックボックス 4	
86	チェックボックス 5	
87	チェックボックス 6	
88	チェックボックス 7	
89	チェックボックス 8	
90	チェックボックス 9	
91	チェックボックス 10	
92	チェックボックス 11	
93	チェックボックス 12	

項番	出力項目名	備考
94	チェックボックス 13	
95	チェックボックス 14	
96	チェックボックス 15	
97	チェックボックス 16	
98	チェックボックス 17	
99	チェックボックス 18	
100	チェックボックス 19	
101	チェックボックス 20	
102	チェックボックス 21	
103	チェックボックス 22	
104	チェックボックス 23	
105	コンボボックス 1	
106	コンボボックス 2	
107	コンボボックス 3	
108	コンボボックス 4	
109	コンボボックス 5	
110	コンボボックス 6	
111	コンボボックス 7	
112	コンボボックス 8	
113	コンボボックス 9	
114	コンボボックス 10	
115	コンボボックス 11	
116	コンボボックス 12	
117	コンボボックス 13	
118	コンボボックス 14	
119	コンボボックス 15	
120	コンボボックス 16	
121	コンボボックス 17	
122	コンボボックス 18	
123	コンボボックス 19	
124	コンボボックス 20	
125	種別設定元コンボボックス 1	
126	種別設定元コンボボックス 2	
127	種別設定元コンボボックス 3	

項番	出力項目名	備考
128	種別設定元コンボボックス 4	
129	種別設定元コンボボックス 5	
130	種別設定元コンボボックス 6	
131	種別設定元コンボボックス 7	
132	種別設定元コンボボックス 8	
133	種別設定元コンボボックス 9	
134	種別設定元コンボボックス 10	
135	ブロック制御コンボボックス 1	
136	2 連分類 1-1	
137	2 連分類 1-2	
138	2 連分類 2-1	
139	2 連分類 2-2	
140	3 連分類 1-1	
141	3 連分類 1-2	
142	3 連分類 1-3	
143	3 連分類 2-1	
144	3 連分類 2-2	
145	3 連分類 2-3	
146	コンボテキスト 1-コンボ	
147	コンボテキスト 1-テキスト	
148	コンボテキスト 2-コンボ	
149	コンボテキスト 2-テキスト	
150	日付テキスト 1	
151	日付テキスト 2	
152	日付テキスト 3	
153	日付テキスト 4	
154	日付テキスト 5	
155	日付テキスト 6	
156	日付テキスト 7	
157	日付テキスト 8	
158	日付テキスト 9	
159	日付テキスト 10	
160	日付テキスト 11	
161	日付テキスト 12	

項番	出力項目名	備考
162	日付テキスト 13	
163	日付テキスト 14	
164	日付テキスト 15	
165	時刻テキスト 1	
166	時刻テキスト 2	
167	時刻テキスト 3	
168	時刻テキスト 4	
169	時刻テキスト 5	
170	時刻テキスト 6	
171	時刻テキスト 7	
172	時刻テキスト 8	
173	時刻テキスト 9	
174	時刻テキスト 10	
175	時刻テキスト 11	
176	時刻テキスト 12	
177	時刻テキスト 13	
178	時刻テキスト 14	
179	時刻テキスト 15	
180	数値テキスト 1	
181	数値テキスト 2	
182	数値テキスト 3	
183	計算結果数値テキスト 1	
184	計算結果数値テキスト 2	
185	計算結果数値テキスト 3	
186	最終更新日	
187	最終更新時刻	
188	社員番号	社内申請者情報
189	氏名	社内申請者情報
190	氏名カナ	社内申請者情報
191	会社名	社内申請者情報
192	組織名	社内申請者情報
193	役職	社内申請者情報
194	内線番号	社内申請者情報
195	電話番号 1	社内申請者情報

項番	出力項目名	備考
196	電話番号 2	社内申請者情報
197	FAX	社内申請者情報
198	携帯電話番号	社内申請者情報
199	メールアドレス 1	社内申請者情報
200	メールアドレス 2	社内申請者情報
201	対応予定日 1	
202	対応予定日 2	
203	対応予定日 3	
204	対応予定日 4	
205	対応予定日 5	
206	対応予定時刻 1	
207	対応予定時刻 2	
208	対応予定時刻 3	
209	対応予定時刻 4	
210	対応予定時刻 5	
211	対応実績日 1	
212	対応実績日 2	
213	対応実績日 3	
214	対応実績日 4	
215	対応実績日 5	
216	対応実績時刻 1	
217	対応実績時刻 2	
218	対応実績時刻 3	
219	対応実績時刻 4	
220	対応実績時刻 5	
221	5 連分類 1-1	
222	5 連分類 1-2	
223	5 連分類 1-3	
224	5 連分類 1-4	
225	5 連分類 1-5	
226	関連構成アイテム 1	
227	関連構成アイテム 2	
228	関連構成アイテム 3	
229	関連構成 1	

項番	出力項目名	備考
230	関連構成 2	
231	関連構成 3	
232	関連構成 4	
233	現在対応者	
234	承認者	
235	対応者	
236	関連プロセス	
237	完了フラグ	
238	申請状況	
239	連携ステータス	
240	申請対象機器	
241	スケジュール設定開始日	
242	スケジュール設定開始時刻	
243	スケジュール設定終了日	
244	スケジュール設定終了時刻	
245	5 連分類 2-1	
246	5 連分類 2-2	
247	5 連分類 2-3	
248	5 連分類 2-4	
249	5 連分類 2-5	
250	ブロック制御コンボボックス 2	
251	ブロック制御コンボボックス 3	
252	フロータイトル	
253	問合せ元 ID	
254	問合せ元テキスト 1	
255	問合せ元テキスト 2	
256	問合せ元テキスト 3	
257	問合せ元テキスト 4	
258	問合せ元テキスト 5	
259	問合せ元テキスト 6	
260	問合せ元テキスト 7	
261	問合せ元テキスト 8	
262	問合せ元テキスト 9	
263	問合せ元テキスト 10	

項番	出力項目名	備考
264	問合せ元テキスト 11	
265	問合せ元テキスト 12	
266	問合せ元テキスト 13	
267	問合せ元テキスト 14	
268	問合せ元テキスト 15	
269	問合せ元テキスト 16	
270	問合せ元テキスト 17	
271	問合せ元テキスト 18	
272	問合せ元テキストエリア 1	
273	問合せ元日付 1	
274	添付ファイル名 1	
275	添付ファイル名 2	
276	添付ファイル名 3	
277	添付ファイル名 4	

引数「-a」経過出力が指定された場合、以下の出力情報を追加します。

項番	出力項目名	備考
278	枝番	
279	タイトル(経過)	
280	対応者	
281	対応日	
282	対応時刻	
283	対応先	
284	インアウト区分	
285	チャンネル	
286	内容	
287	テキスト 1	
288	テキスト 2	
289	テキスト 3	
290	テキスト 4	
291	テキストエリア 1	
292	テキストエリア 2	
293	テキストエリア 3	
294	テキストエリア 4	

項番	出力項目名	備考
295	コンボボックス 1	
296	コンボボックス 2	
297	コンボボックス 3	
298	コンボボックス 4	
299	日付テキスト 1	
300	日付テキスト 2	
301	時刻テキスト 1	
302	時刻テキスト 2	
303	数値テキスト 1	
304	数値テキスト 2	
305	計算用数値テキスト 1	
306	計算用数値テキスト 2	
307	計算用数値テキスト 3	
308	FROM	
309	TO	
310	CC	
311	添付ファイル名	

引数「-e」SSA 連携申請情報が指定された場合、以下の出力情報を追加します。

- 1 レコードに SSA 連携申請情報が複数設定されていた場合、以下の順でソートし出力します。
 1. 親情報の内部用 ID 昇順
 2. 制御種類(スキップ/解除-一時停止-起動時刻変更-ランブック実行-コマンド実行の順)
 3. SSA 連携申請情報の内部用 ID 昇順

項番	出力項目名	備考
224	連携ステータス(個別)	
225	制御種類	
226	操作指示	
227	接続先名	
228	運用日付	ジョブ制御情報に設定された運用日付です。
229	連携システム	ジョブ制御情報に設定された連携システムです。
230	フレーム名	ジョブ制御情報に設定されたフレーム名です。
231	ネット名	ジョブ制御情報に設定されたネット名です。
232	ジョブ名	ジョブ制御情報に設定されたジョブ名です。

項番	出力項目名	備考
233	リミット日付	ジョブ制御情報に設定されたリミット日付です。
234	リミット時刻	ジョブ制御情報に設定されたリミット時刻です。
235	解除予定日付	ジョブ制御情報の「一時停止指定」に設定された解除予定日付です。
236	解除予定時刻	ジョブ制御情報の「一時停止指定」に設定された解除予定時刻です。
237	起動予定時刻	ジョブ制御情報の「起動時刻変更」に設定された起動予定時刻です。
238	ブック名	
239	環境変数 1	
240	環境変数 2	
241	環境変数 3	
242	環境変数 4	
243	環境変数 5	
244	環境変数 6	
245	環境変数 7	
246	環境変数 8	
247	環境変数 9	
248	環境変数 10	
249	環境変数 11	
250	環境変数 12	
251	環境変数 13	
252	環境変数 14	
253	環境変数 15	
254	環境変数 16	
255	環境変数 17	
256	環境変数 18	
257	環境変数 19	
258	環境変数 20	
259	稼動ノード	
260	コマンド名	
261	コマンドシーケンス	
262	予定日付	
263	予定時刻	
264	フレーム・ネット・ジョブスキップ実行結果	

項番	出力項目名	備考
265	フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果	
266	フレーム・ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果	
267	ランブック実行結果	
268	コマンド実行結果	
269	SEN 実行結果	
270	連携キャンセル実施日時-日付	
271	連携キャンセル実施日時-時刻	
272	連携キャンセル実施者	
273	一時停止解除指示日時-日付	
274	一時停止解除指示日時-時刻	
275	一時停止解除指示者	
276	一時停止解除実施日時-日付	
277	一時停止解除実施日時-時刻	
278	一時停止解除実施者	
279	登録日時-日付	
280	登録日時-時刻	
281	登録者	
282	最終更新日時-日付	
283	最終更新日時-時刻	
284	最終更新者	
285	業務グループ	
286	通常起動時刻	
287	最大延長時刻	
288	業務グループ内容	
289	延長上の注意	
290	コマンド名称	
291	変更起動時刻	
292	再変更起動時刻	
293	連携ステータス(グループ)	
294	再変更起動時刻指示日時-日付	
295	再変更起動時刻指示日時-時刻	
296	再変更起動時刻指示者	

項番	出力項目名	備考
297	再変更起動時刻実施日時-日付	
298	再変更起動時刻実施日時-時刻	
299	再変更起動時刻実施者	
300	連携ステータス手動更新日時-日付	
301	連携ステータス手動更新日時-時刻	
302	連携ステータス手動更新者	



仕様補足

ジョブ制御情報は以下の内容を指します。

Senju Service Automation 機能用項目（フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除、フレーム・ネット・ジョブ一時停止、ネット・ジョブ起動時刻変更）



仕様補足

制御種類項目の出力値は以下となります。

操作指示項目が「スキップ指定」、「スキップ解除」の場合、「スキップ／解除」

操作指示項目が「一時停止設定」、「一時停止解除」の場合、「一時停止」

操作指示項目が「起票時刻変更」の場合、「起票時刻変更」

出力有無の一覧

制御情報毎に各出力項目の出力有無の一覧を以下に記載します。

出力有：○、出力無(空白が設定)：×

出力項目名	スキップ/ 解除	一時停止	起動時刻 変更	ランブック 実行	コマンド 実行
連携ステータス(個別)	○	○	○	○	○
制御種類	○	○	○	○	○
操作指示	○	○	○	×	×
接続先名	○	○	○	○	○
運用日付	○	○	○	×	×
連携システム	○	○	○	×	×
フレーム名	○	○	○	×	×
ネット名	○	○	○	×	×
ジョブ名	○	○	○	×	×
リミット日付	○	○	○	×	×
リミット時刻	○	○	○	×	×
解除予定日付	×	○	×	×	×
解除予定時刻	×	○	×	×	×
起動予定時刻	×	×	○	×	×
ブック名	×	×	×	○	×
環境変数 1	×	×	×	○	×
環境変数 2	×	×	×	○	×
環境変数 3	×	×	×	○	×
環境変数 4	×	×	×	○	×
環境変数 5	×	×	×	○	×
環境変数 6	×	×	×	○	×
環境変数 7	×	×	×	○	×
環境変数 8	×	×	×	○	×
環境変数 9	×	×	×	○	×
環境変数 10	×	×	×	○	×
環境変数 11	×	×	×	○	×
環境変数 12	×	×	×	○	×
環境変数 13	×	×	×	○	×
環境変数 14	×	×	×	○	×

出力項目名	スキップ/ 解除	一時停止	起動時刻 変更	ランブック 実行	コマンド 実行
環境変数 15	×	×	×	○	×
環境変数 16	×	×	×	○	×
環境変数 17	×	×	×	○	×
環境変数 18	×	×	×	○	×
環境変数 19	×	×	×	○	×
環境変数 20	×	×	×	○	×
稼働ノード	×	×	×	○	×
コマンド名	×	×	×	×	○
コマンドシーケンス	×	×	×	×	○
予定日付	×	×	×	○	○
予定時刻	×	×	×	○	○
フレーム・ネット・ジョブスキップ実行結果	○	×	×	×	×
フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果	×	○	×	×	×
フレーム・ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果	×	×	○	×	×
ランブック実行結果	×	×	×	○	×
コマンド実行結果	×	×	×	×	○
SEN 実行結果	○	○	○	○	○
連携キャンセル実施日時 - 日付	○	○	○	○	○
連携キャンセル実施日時 - 時刻	○	○	○	○	○
連携キャンセル実施者	○	○	○	○	○
一時停止解除指示日時 - 日付	×	○	×	×	×
一時停止解除指示日時 - 時刻	×	○	×	×	×
一時停止解除指示者	×	○	×	×	×
一時停止解除実施日時 - 日付	×	○	×	×	×
一時停止解除実施日時 - 時刻	×	○	×	×	×
一時停止解除実施者	×	○	×	×	×
登録日時 - 日付	○	○	○	○	○
登録日時 - 時刻	○	○	○	○	○
登録者	○	○	○	○	○
最終更新日時 - 日付	○	○	○	○	○
最終更新日時 - 時刻	○	○	○	○	○
最終更新者	○	○	○	○	○

引数「-f」プロセス管理及び経過の添付ファイル出力が指定された場合、以下の情報のみを出力します。

項番	出力項目名	備考
1	添付ファイル 1 ※画面上表示される項目名となります	プロセス管理の添付ファイル項目です。 出力形式は※1を参照してください。
2	添付ファイル 2 ※画面上表示される項目名となります	プロセス管理の添付ファイル項目です。 出力形式は※1を参照してください。
3	添付ファイル 3 ※画面上表示される項目名となります	プロセス管理の添付ファイル項目です。 出力形式は※1を参照してください。
4	添付ファイル 4 ※画面上表示される項目名となります	プロセス管理の添付ファイル項目です。 出力形式は※1を参照してください。
5	添付ファイル ※画面上表示される項目名となります	プロセス管理経過の添付ファイル項目です。 出力形式は※2を参照してください。

※1 出力先パス

```
└─画面名
  └─レコード ID
    └─添付ファイル 1
    └─添付ファイル 2
    └─添付ファイル 3
    └─添付ファイル 4
      └─添付ファイル名. 拡張子
```

※2 出力先パス

```
└─画面名
  └─レコード ID
    └─添付ファイル
      └─経過 1
      └─経過 2
      ...
      └─経過 n
        └─添付ファイル名. 拡張子
```

経過 1~n は画面上表示されるブロック名になります。

2. イベント管理

項番	出力項目名	備考
1	レコード ID	
2	システム	
3	タイトル	
4	ステータス	
5	サブステータス	
6	クローズ期限日	
7	クローズ期限時刻	
8	会社名	社外申請者情報
9	組織名	社外申請者情報
10	氏名	社外申請者情報
11	氏名カナ	社外申請者情報
12	電話番号	社外申請者情報
13	メールアドレス	社外申請者情報
14	種別	
15	インパクト	
16	緊急度	
17	優先度	
18	大分類	
19	中分類	
20	小分類	
21	テキスト 5	
22	テキスト 6	
23	テキスト 7	
24	テキスト 8	
25	テキスト 9	
26	テキスト 10	
27	テキスト 11	
28	テキスト 12	
29	テキスト 13	
30	テキスト 14	
31	テキスト 15	

項番	出力項目名	備考
32	公開グループ	
33	備考	
34	参考 URL1	
35	参考 URL2	
36	参考 URL3	
37	参考 URL4	
38	参考 URL5	
39	参考 URL6	
40	参考 URL7	
41	起票日	
42	起票時刻	
43	開始日	
44	開始時刻	
45	終了日 1	
46	終了時刻 1	
47	終了日 2	
48	終了時刻 2	
49	終了日 3	
50	終了時刻 3	
51	開始予定日	
52	開始予定時刻	
53	終了予定日	
54	終了予定時刻	
55	承認申請日	
56	承認申請時刻	
57	承認申請完了日	
58	申請完了時刻	
59	起票者	
60	計算時間 1	
61	計算時間 2	
62	計算時間 3	
63	申請完了時間	
64	テキスト 1	
65	テキスト 2	

項番	出力項目名	備考
66	テキスト 3	
67	テキスト 4	
68	テキスト 16	
69	テキスト 17	
70	テキスト 18	
71	テキスト 19	
72	ラジオボタン 1	
73	ラジオボタン 2	
74	チェックボックス 1	
75	チェックボックス 2	
76	チェックボックス 3	
77	チェックボックス 4	
78	チェックボックス 5	
79	チェックボックス 6	
80	チェックボックス 7	
81	チェックボックス 8	
82	チェックボックス 9	
83	チェックボックス 10	
84	チェックボックス 11	
85	チェックボックス 12	
86	チェックボックス 13	
87	チェックボックス 14	
88	チェックボックス 15	
89	チェックボックス 16	
90	チェックボックス 17	
91	チェックボックス 18	
92	チェックボックス 19	
93	チェックボックス 20	
94	チェックボックス 21	
95	チェックボックス 22	
96	チェックボックス 23	
97	コンボボックス 1	
98	コンボボックス 2	
99	コンボボックス 3	

項番	出力項目名	備考
100	コンボボックス 4	
101	コンボボックス 5	
102	コンボボックス 6	
103	コンボボックス 7	
104	コンボボックス 8	
105	コンボボックス 9	
106	コンボボックス 10	
107	コンボボックス 11	
108	コンボボックス 12	
109	コンボボックス 13	
110	コンボボックス 14	
111	コンボボックス 15	
112	コンボボックス 16	
113	コンボボックス 17	
114	コンボボックス 18	
115	コンボボックス 19	
116	コンボボックス 20	
117	種別設定元コンボボックス 1	
118	種別設定元コンボボックス 2	
119	種別設定元コンボボックス 3	
120	種別設定元コンボボックス 4	
121	種別設定元コンボボックス 5	
122	種別設定元コンボボックス 6	
123	種別設定元コンボボックス 7	
124	種別設定元コンボボックス 8	
125	種別設定元コンボボックス 9	
126	種別設定元コンボボックス 10	
127	ブロック制御コンボボックス 1	
128	2 連分類 1-1	
129	2 連分類 1-2	
130	2 連分類 2-1	
131	2 連分類 2-2	
132	3 連分類 1-1	
133	3 連分類 1-2	

項番	出力項目名	備考
134	3連分類 1-3	
135	3連分類 2-1	
136	3連分類 2-2	
137	3連分類 2-3	
138	コンボテキスト 1-コンボ	
139	コンボテキスト 1-テキスト	
140	コンボテキスト 2-コンボ	
141	コンボテキスト 2-テキスト	
142	日付テキスト 1	
143	日付テキスト 2	
144	日付テキスト 3	
145	日付テキスト 4	
146	日付テキスト 5	
147	日付テキスト 6	
148	日付テキスト 7	
149	日付テキスト 8	
150	日付テキスト 9	
151	日付テキスト 10	
152	日付テキスト 11	
153	日付テキスト 12	
154	日付テキスト 13	
155	日付テキスト 14	
156	日付テキスト 15	
157	時刻テキスト 1	
158	時刻テキスト 2	
159	時刻テキスト 3	
160	時刻テキスト 4	
161	時刻テキスト 5	
162	時刻テキスト 6	
163	時刻テキスト 7	
164	時刻テキスト 8	
165	時刻テキスト 9	
166	時刻テキスト 10	
167	時刻テキスト 11	

項番	出力項目名	備考
168	時刻テキスト 12	
169	時刻テキスト 13	
170	時刻テキスト 14	
171	時刻テキスト 15	
172	数値テキスト 1	
173	数値テキスト 2	
174	数値テキスト 3	
175	計算結果数値テキスト 1	
176	計算結果数値テキスト 2	
177	計算結果数値テキスト 3	
178	最終更新日	
179	最終更新時刻	
180	社員番号	社内申請者情報
181	氏名	社内申請者情報
182	氏名カナ	社内申請者情報
183	会社名	社内申請者情報
184	組織名	社内申請者情報
185	役職	社内申請者情報
186	内線番号	社内申請者情報
187	電話番号 1	社内申請者情報
188	電話番号 2	社内申請者情報
189	FAX	社内申請者情報
190	携帯電話番号	社内申請者情報
191	メールアドレス 1	社内申請者情報
192	メールアドレス 2	社内申請者情報
193	対応予定日 1	
194	対応予定日 2	
195	対応予定日 3	
196	対応予定日 4	
197	対応予定日 5	
198	対応予定時刻 1	
199	対応予定時刻 2	
200	対応予定時刻 3	
201	対応予定時刻 4	

項番	出力項目名	備考
202	対応予定時刻 5	
203	対応実績日 1	
204	対応実績日 2	
205	対応実績日 3	
206	対応実績日 4	
207	対応実績日 5	
208	対応実績時刻 1	
209	対応実績時刻 2	
210	対応実績時刻 3	
211	対応実績時刻 4	
212	対応実績時刻 5	
213	5 連分類 1-1	
214	5 連分類 1-2	
215	5 連分類 1-3	
216	5 連分類 1-4	
217	5 連分類 1-5	
218	関連構成アイテム 1	
219	関連構成アイテム 2	
220	関連構成アイテム 3	
221	関連構成 1	
222	関連構成 2	
223	関連構成 3	
224	関連構成 4	
225	送信者	送信者<送信者メールアドレス>
226	添付ファイル 1	
227	添付ファイル 2	
228	添付ファイル 3	
229	添付ファイル 4	

引数「-a」経過出力が指定された場合、以下の出力情報を追加します。

項番	出力項目名	備考
230	枝番	
231	タイトル (経過)	
232	対応者	
233	対応日	
234	対応時刻	
235	対応先	
236	インアウト区分	
237	チャンネル	
238	内容	
239	テキスト 1	
240	テキスト 2	
241	テキスト 3	
242	テキスト 4	
243	テキストエリア 1	
244	テキストエリア 2	
245	テキストエリア 3	
246	テキストエリア 4	
247	コンボボックス 1	
248	コンボボックス 2	
249	コンボボックス 3	
250	コンボボックス 4	
251	日付テキスト 1	
252	日付テキスト 2	
253	時刻テキスト 1	
254	時刻テキスト 2	
255	数値テキスト 1	
256	数値テキスト 2	
257	計算用数値テキスト 1	
258	計算用数値テキスト 2	
259	計算用数値テキスト 3	
260	FROM	
261	TO	
262	CC	

項番	出力項目名	備考
263	添付ファイル名	



仕様補足

以下項目は「日時分」の固定フォーマットで出力されます。

- ・クローズ時間
- ・申請完了時間
- ・計算時間 1
- ・計算時間 2
- ・計算時間 3



仕様補足

以下項目は「時分秒」の固定フォーマットで出力されます。

- ・「xx 時刻」項目
- ・編集合計時間

1.2.10.3 ファイルの説明

データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)で必要となる「検索条件ファイル」について記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	検索条件ファイル	任意のファイル名	出力するデータの検索条件を記述するファイルです。 コマンドオプションの「検索条件ファイル名」で指定します。
2	マッピングアイテムファイル	任意のファイル名	出力する項目を記述するファイルです。 コマンドオプションの「マッピングアイテムファイル名」で指定します。

1. 検索条件ファイル

本ファイルには出力するデータの検索条件を記述します。
検索条件ファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- ・一つの行に一つの検索条件を指定します。
- ・一つの検索条件は行の先頭からカンマ区切りで「検索条件名, 検索値」として指定します。
- ・一つの検索条件名に複数の検索値が指定可能な項目は、「タブ」を使用して複数の検索値を指定できます。
- ・検索条件ファイルに指定された検索条件値が複数マスタに登録されている場合は、全ての検索条件値が検索対象となります。各フィールドに設定する値の詳細は、「1.2.10.4 指定可能フィールド情報」を参照してください。

以下は検索条件ファイルの記述例です。

○検索条件ファイルの内容

```
システム, SSM 初期システム  
ステータス, クローズ  
ステータス条件, 以外  
起票日時 (From), 20110801100000  
起票日時 (To), 20110831200000  
緊急度, 至急
```



「検索条件名」および「検索値」に指定する項目は、Web 画面上のラベル項目に連動します。
但し、“条件”、“(From)”、“(To)”は固定とします。

仕様補足



「検索条件名」および「検索値」のラベル項目上にカンマ「,」が含まれる場合、
「検索条件名」および「検索値」に指定することはできません。
また、ラベル項目上に改行が含まれる場合、改行を取り除いたラベル項目名で指定してください。

仕様補足



検索条件ファイルに記載する項目値はダブルクォートで囲まないでください。

制限事項

2. マッピングアイテムファイル

本ファイルには出力するデータの項目名を記述します。

本ファイルは「%CCFSPWEBHOME%dat¥spu¥exportdata¥sample」に全項目記載されているサンプルファイルがインストールされますので、コピーして使用してください。

項番	ファイル名	記載内容
1	Process_MappingItem.txt	プロセス管理情報のみ(-a、-e 未指定時)の全項目が記載されています。
2	Process_Sub_MappingItem.txt	プロセス管理情報と経過情報(-a 指定時)の全項目が記載されています。
3	Process_SSA_MappingItem.txt	プロセス管理情報と SSA 情報(-e 指定時)の全項目が記載されています。
4	Event_MappingItem.txt	イベント管理情報のみ(-a 未指定時)の全項目が記載されています。
5	Event_Sub_MappingItem.txt	イベント管理情報と経過情報(-a 指定時)の全項目が記載されています。

マッピングアイテムファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- ・マッピングアイテムファイルに記載する各項目名は固定項目名です。
項目名は次頁(a)~(e)の「指定項目名 (フィールド名)」列に記載されているフィールド名通りに指定してください。
- ・各フィールドは1つずつダブルクォートで囲い、カンマ区切りで列挙します。
- ・正しく設定されていない場合、エラーとなり出力することはできません。
- ・マッピングアイテムファイルに空("")設定されている場合、エラーとなり出力することはできません。
- ・プロセス管理のデータ出力において、マッピングアイテムファイルに経過情報と SSA 情報が混在して指定されている場合は、エラーとなり出力することはできません。経過情報と SSA 情報はどちらか一方の指定を行ってください。
- ・マッピングアイテムファイルに同一項目を複数指定した場合、該当する値が複数出力されます。



マッピングアイテムファイルに指定する項目名は、Web 画面上のラベル項目に連動していません。

仕様補足

以降に各マッピングアイテムファイルに記載されているフィールドを示します。

(a) Process_MappingItem.txt

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
1	レコード ID	
2	システム	
3	タイトル	
4	現在対応者	
5	承認者	
6	対応者	
7	起票者	
8	クローズ者	
9	関連プロセス	
10	関連構成アイテム 1	
11	関連構成アイテム 2	
12	関連構成アイテム 3	
13	関連構成 1	
14	関連構成 2	
15	関連構成 3	
16	関連構成 4	
17	申請対象機器	
18	参考 URL 1	
19	参考 URL 2	
20	参考 URL 3	
21	参考 URL 4	
22	参考 URL 5	
23	参考 URL 6	
24	参考 URL 7	
25	備考	
26	承認フロー追加通知先	
27	会社名	社外申請者情報
28	組織名	社外申請者情報
29	氏名	社外申請者情報
30	氏名カナ	社外申請者情報
31	電話番号	社外申請者情報
32	メールアドレス	社外申請者情報
33	社内申請者社員番号	社内申請者情報
34	社内申請者氏名	社内申請者情報
35	社内申請者氏名カナ	社内申請者情報
36	社内申請者会社名	社内申請者情報

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
37	社内申請者組織名	社内申請者情報
38	社内申請者役職	社内申請者情報
39	社内申請者内線番号	社内申請者情報
40	社内申請者電話番号 1	社内申請者情報
41	社内申請者電話番号 2	社内申請者情報
42	社内申請者 FAX	社内申請者情報
43	社内申請者携帯電話番号	社内申請者情報
44	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者情報
45	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者情報
46	問合せ元 ID	
47	問合せ元テキスト 1	
48	問合せ元テキスト 2	
49	問合せ元テキスト 3	
50	問合せ元テキスト 4	
51	問合せ元テキスト 5	
52	問合せ元テキスト 6	
53	問合せ元テキスト 7	
54	問合せ元テキスト 8	
55	問合せ元テキスト 9	
56	問合せ元テキスト 10	
57	問合せ元テキスト 11	
58	問合せ元テキスト 12	
59	問合せ元テキスト 13	
60	問合せ元テキスト 14	
61	問合せ元テキスト 15	
62	問合せ元テキスト 16	
63	問合せ元テキスト 17	
64	問合せ元テキスト 18	
65	問合せ元テキストエリア 1	
66	問合せ元日付 1	
67	問合せ元 2ID	
68	問合せ元 2 テキスト 1	
69	問合せ元 2 テキスト 2	
70	問合せ元 2 テキスト 3	
71	問合せ元 2 テキスト 4	
72	問合せ元 2 テキスト 5	
73	問合せ元 2 テキスト 6	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
74	問合せ元2 テキスト 7	
75	問合せ元2 テキスト 8	
76	問合せ元2 テキスト 9	
77	問合せ元2 テキスト 10	
78	問合せ元2 テキスト 11	
79	問合せ元2 テキスト 12	
80	問合せ元2 テキスト 13	
81	問合せ元2 テキスト 14	
82	問合せ元2 テキスト 15	
83	問合せ元2 テキスト 16	
84	問合せ元2 テキスト 17	
85	問合せ元2 テキスト 18	
86	問合せ元2 テキストエリア 1	
87	問合せ元2 日付 1	
88	テキスト 1	
89	テキスト 2	
90	テキスト 3	
91	テキスト 4	
92	テキスト 5	
93	テキスト 6	
94	テキスト 7	
95	テキスト 8	
96	テキスト 9	
97	テキスト 10	
98	テキスト 11	
99	テキスト 12	
100	テキスト 13	
101	テキスト 14	
102	テキスト 15	
103	テキスト 16	
104	テキスト 17	
105	テキスト 18	
106	テキスト 19	
107	テキスト 20	
108	テキスト 21	
109	テキスト 22	
110	テキスト 23	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
111	テキスト 24	
112	テキスト 25	
113	テキスト 26	
114	テキスト 27	
115	テキスト 28	
116	テキスト 29	
117	テキスト 30	
118	テキスト 31	
119	テキスト 32	
120	テキスト 33	
121	テキスト 34	
122	テキスト 35	
123	テキスト 36	
124	テキスト 37	
125	テキスト 38	
126	テキスト 39	
127	テキスト 40	
128	テキスト 41	
129	テキスト 42	
130	テキスト 43	
131	テキスト 44	
132	テキスト 45	
133	テキスト 46	
134	テキスト 47	
135	テキスト 48	
136	テキスト 49	
137	テキスト 50	
138	数値テキスト 1	
139	数値テキスト 2	
140	数値テキスト 3	
141	数値テキスト 4	
142	数値テキスト 5	
143	数値テキスト 6	
144	数値テキスト 7	
145	数値テキスト 8	
146	数値テキスト 9	
147	数値テキスト 10	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
148	数値テキスト 11	
149	数値テキスト 12	
150	数値テキスト 13	
151	数値テキスト 14	
152	数値テキスト 15	
153	数値テキスト 16	
154	数値テキスト 17	
155	数値テキスト 18	
156	数値テキスト 19	
157	数値テキスト 20	
158	数値テキスト 21	
159	数値テキスト 22	
160	数値テキスト 23	
161	数値テキスト 24	
162	数値テキスト 25	
163	数値テキスト 26	
164	数値テキスト 27	
165	数値テキスト 28	
166	数値テキスト 29	
167	数値テキスト 30	
168	数値テキスト 31	
169	数値テキスト 32	
170	数値テキスト 33	
171	数値テキスト 34	
172	数値テキスト 35	
173	数値テキスト 36	
174	数値テキスト 37	
175	数値テキスト 38	
176	数値テキスト 39	
177	数値テキスト 40	
178	数値テキスト 41	
179	数値テキスト 42	
180	数値テキスト 43	
181	数値テキスト 44	
182	数値テキスト 45	
183	数値テキスト 46	
184	数値テキスト 47	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
185	数値テキスト 48	
186	数値テキスト 49	
187	数値テキスト 50	
188	数値テキスト 51	
189	数値テキスト 52	
190	数値テキスト 53	
191	数値テキスト 54	
192	数値テキスト 55	
193	数値テキスト 56	
194	数値テキスト 57	
195	数値テキスト 58	
196	数値テキスト 59	
197	数値テキスト 60	
198	計算結果数値テキスト 1	
199	計算結果数値テキスト 2	
200	計算結果数値テキスト 3	
201	起票日	
202	起票時刻	
203	最終更新日	
204	最終更新時刻	
205	クローズ日	
206	クローズ時刻	
207	承認申請日	
208	承認申請時刻	
209	申請完了日	
210	申請完了時刻	
211	クローズ期限日	
212	クローズ期限時刻	
213	開始日	
214	開始時刻	
215	終了日 1	
216	終了時刻 1	
217	終了日 2	
218	終了時刻 2	
219	終了日 3	
220	終了時刻 3	
221	対応予定日 1	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
222	対応予定時刻 1	
223	対応予定日 2	
224	対応予定時刻 2	
225	対応予定日 3	
226	対応予定時刻 3	
227	対応予定日 4	
228	対応予定時刻 4	
229	対応予定日 5	
230	対応予定時刻 5	
231	対応実績日 1	
232	対応実績時刻 1	
233	対応実績日 2	
234	対応実績時刻 2	
235	対応実績日 3	
236	対応実績時刻 3	
237	対応実績日 4	
238	対応実績時刻 4	
239	対応実績日 5	
240	対応実績時刻 5	
241	スケジュール設定開始日	
242	スケジュール設定開始時刻	
243	スケジュール設定終了日	
244	スケジュール設定終了時刻	
245	開始予定日	
246	開始予定時刻	
247	終了予定日	
248	終了予定時刻	
249	日付テキスト 1	
250	時刻テキスト 1	
251	日付テキスト 2	
252	時刻テキスト 2	
253	日付テキスト 3	
254	時刻テキスト 3	
255	日付テキスト 4	
256	時刻テキスト 4	
257	日付テキスト 5	
258	時刻テキスト 5	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
259	日付テキスト 6	
260	時刻テキスト 6	
261	日付テキスト 7	
262	時刻テキスト 7	
263	日付テキスト 8	
264	時刻テキスト 8	
265	日付テキスト 9	
266	時刻テキスト 9	
267	日付テキスト 10	
268	時刻テキスト 10	
269	日付テキスト 11	
270	時刻テキスト 11	
271	日付テキスト 12	
272	時刻テキスト 12	
273	日付テキスト 13	
274	時刻テキスト 13	
275	日付テキスト 14	
276	時刻テキスト 14	
277	日付テキスト 15	
278	時刻テキスト 15	
279	クローズ時間	
280	申請完了時間	
281	編集合計時間	
282	計算時間 1	
283	計算時間 2	
284	計算時間 3	
285	問合せ状況	
286	申請状況	
287	完了フラグ	
288	フロータイトル	
289	連携ステータス	
290	ステータス	
291	クローズ種別	
292	コメント	
293	サブステータス	
294	種別	
295	インパクト	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
296	緊急度	
297	優先度	
298	公開グループ	
299	種別設定元コンボボックス 1	
300	種別設定元コンボボックス 2	
301	種別設定元コンボボックス 3	
302	種別設定元コンボボックス 4	
303	種別設定元コンボボックス 5	
304	種別設定元コンボボックス 6	
305	種別設定元コンボボックス 7	
306	種別設定元コンボボックス 8	
307	種別設定元コンボボックス 9	
308	種別設定元コンボボックス 10	
309	ブロック制御コンボボックス 1	
310	ブロック制御コンボボックス 2	
311	ブロック制御コンボボックス 3	
312	2 連分類 1-1	
313	2 連分類 1-2	
314	2 連分類 2-1	
315	2 連分類 2-2	
316	大分類	
317	中分類	
318	小分類	
319	3 連分類 1-1	
320	3 連分類 1-2	
321	3 連分類 1-3	
322	3 連分類 2-1	
323	3 連分類 2-2	
324	3 連分類 2-3	
325	5 連分類 1-1	
326	5 連分類 1-2	
327	5 連分類 1-3	
328	5 連分類 1-4	
329	5 連分類 1-5	
330	5 連分類 2-1	
331	5 連分類 2-2	
332	5 連分類 2-3	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
333	5 連分類 2-4	
334	5 連分類 2-5	
335	コンボボックス 1	
336	コンボボックス 2	
337	コンボボックス 3	
338	コンボボックス 4	
339	コンボボックス 5	
340	コンボボックス 6	
341	コンボボックス 7	
342	コンボボックス 8	
343	コンボボックス 9	
344	コンボボックス 10	
345	コンボボックス 11	
346	コンボボックス 12	
347	コンボボックス 13	
348	コンボボックス 14	
349	コンボボックス 15	
350	コンボボックス 16	
351	コンボボックス 17	
352	コンボボックス 18	
353	コンボボックス 19	
354	コンボボックス 20	
355	コンボボックス 21	
356	コンボボックス 22	
357	コンボボックス 23	
358	コンボボックス 24	
359	コンボボックス 25	
360	コンボボックス 26	
361	コンボボックス 27	
362	コンボボックス 28	
363	コンボボックス 29	
364	コンボボックス 30	
365	コンボボックス 31	
366	コンボボックス 32	
367	コンボボックス 33	
368	コンボボックス 34	
369	コンボボックス 35	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
370	コンボボックス 36	
371	コンボボックス 37	
372	コンボボックス 38	
373	コンボボックス 39	
374	コンボボックス 40	
375	コンボテキスト 1/コンボ	
376	コンボテキスト 1/テキスト	
377	コンボテキスト 2/コンボ	
378	コンボテキスト 2/テキスト	
379	ラジオボタン 1	
380	ラジオボタン 2	
381	チェックボックス 1	
382	チェックボックス 2	
383	チェックボックス 3	
384	チェックボックス 4	
385	チェックボックス 5	
386	チェックボックス 6	
387	チェックボックス 7	
388	チェックボックス 8	
389	チェックボックス 9	
390	チェックボックス 10	
391	チェックボックス 11	
392	チェックボックス 12	
393	チェックボックス 13	
394	チェックボックス 14	
395	チェックボックス 15	
396	チェックボックス 16	
397	チェックボックス 17	
398	チェックボックス 18	
399	チェックボックス 19	
400	チェックボックス 20	
401	チェックボックス 21	
402	チェックボックス 22	
403	チェックボックス 23	
404	添付ファイル名 1	
405	添付ファイル名 2	
406	添付ファイル名 3	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
407	添付ファイル名 4	
408	対象ノード	
409	接続先名	
410	ESP システム	
411	連携結果	
412	有効期間 (FROM)	
413	有効期間 (TO)	
414	有効時刻 (FROM)	
415	有効時刻 (TO)	
416	メッセージ ID	
417	発生元プロセス	
418	メッセージ	
419	(ESP 申請) 申請情報	
420	(ESP 申請) 連携結果	

(b) Process_Sub_MappingItem.txt

項番 1～420 は「(a)Process_MappingItem.txt」を参照してください。

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
421	経過>枝番	
422	経過>タイトル	
423	経過>対応日	
424	経過>対応時刻	
425	経過>対応者	
426	経過>内容	
427	経過>対応先	
428	経過>チャンネル	
429	経過>インアウト区分	
430	経過>添付ファイル名	
431	経過>FROM	
432	経過>TO	
433	経過>CC	
434	経過>テキスト 1	
435	経過>テキスト 2	
436	経過>テキスト 3	
437	経過>テキスト 4	
438	経過>テキストエリア 1	
439	経過>テキストエリア 2	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
440	経過>テキストエリア 3	
441	経過>テキストエリア 4	
442	経過>数値テキスト 1	
443	経過>数値テキスト 2	
444	経過>計算用数値テキスト 1	
445	経過>計算用数値テキスト 2	
446	経過>計算用数値テキスト 3	
447	経過>日付テキスト 1	
448	経過>時刻テキスト 1	
449	経過>日付テキスト 2	
450	経過>時刻テキスト 2	
451	経過>コンボボックス 1	
452	経過>コンボボックス 2	
453	経過>コンボボックス 3	
454	経過>コンボボックス 4	
455	経過>日時テキスト日付 1	
456	経過>日時テキスト時刻 1	
457	経過>マルチ 2 連分類 1-1	
458	経過>マルチ 2 連分類 1-2A	
459	経過>マルチ 2 連分類 1-2B	
460	経過>マルチ 2 連分類 1-2C	
461	経過>マルチ 2 連分類 1-2D	
462	経過>マルチ 2 連分類 2-1	
463	経過>マルチ 2 連分類 2-2A	
464	経過>マルチ 2 連分類 2-2B	
465	経過>マルチ 2 連分類 2-2C	
466	経過>マルチ 2 連分類 2-2D	

(c) Process_SSA_MappingItem.txt

項番 1~420 は「(a)Process_MappingItem.txt」を参照してください。

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
421	SSA>制御種類	
422	SSA>業務グループ	
423	SSA>通常起動時刻	
424	SSA>最大延長時刻	
425	SSA>業務グループ内容	
426	SSA>延長上の注意	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
427	SSA>コマンド名/業務グループ	
428	SSA>変更起動時刻	
429	SSA>再変更起動時刻	
430	SSA>連携ステータス/業務グループ	
431	SSA>再変更起動時刻指示/日付	
432	SSA>再変更起動時刻指示/時刻	
433	SSA>再変更起動時刻指示者	
434	SSA>再変更起動時刻実施/日付	
435	SSA>再変更起動時刻実施/時刻	
436	SSA>再変更起動時刻実施者	
437	SSA>接続先名	
438	SSA>操作指示	
439	SSA>運用日付	
440	SSA>連携システム	
441	SSA>フレーム名	
442	SSA>ネット名	
443	SSA>ジョブ名	
444	SSA>リミット日付	
445	SSA>リミット時刻	
446	SSA>ブック名	
447	SSA>環境変数 1	
448	SSA>環境変数 2	
449	SSA>環境変数 3	
450	SSA>環境変数 4	
451	SSA>環境変数 5	
452	SSA>環境変数 6	
453	SSA>環境変数 7	
454	SSA>環境変数 8	
455	SSA>環境変数 9	
456	SSA>環境変数 10	
457	SSA>環境変数 11	
458	SSA>環境変数 12	
459	SSA>環境変数 13	
460	SSA>環境変数 14	
461	SSA>環境変数 15	
462	SSA>環境変数 16	
463	SSA>環境変数 17	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
464	SSA>環境変数 18	
465	SSA>環境変数 19	
466	SSA>環境変数 20	
467	SSA>予定日付	
468	SSA>予定時刻	
469	SSA>解除予定日付	
470	SSA>解除予定時刻	
471	SSA>起動予定時刻	
472	SSA>コマンド名	
473	SSA>コマンドシーケンス	
474	SSA>稼動ノード	
475	SSA>連携ステータス/個別	
476	SSA>コマンド実行結果	
477	SSA>ランブック実行結果	
478	SSA>フレーム・ネット・ジョブスキップ実行結果	
479	SSA>フレーム・ネット・ジョブ一時停止実行結果	
480	SSA>ネット・ジョブ起動時刻変更実行結果	
481	SSA>SEN 実行結果	
482	SSA>連携キャンセル実施日時/日付	
483	SSA>連携キャンセル実施日時/時刻	
484	SSA>連携キャンセル実施者	
485	SSA>一時停止解除指示日時/日付	
486	SSA>一時停止解除指示日時/時刻	
487	SSA>一時停止解除指示者	
488	SSA>一時停止解除実施日時/日付	
489	SSA>一時停止解除実施日時/時刻	
490	SSA>一時停止解除実施者	
491	SSA>連携ステータス手動更新日時/日付	
492	SSA>連携ステータス手動更新日時/時刻	
493	SSA>連携ステータス手動更新者	
494	SSA>登録日時/日付	
495	SSA>登録日時/時刻	
496	SSA>登録者	
497	SSA>最終更新日時/日付	
498	SSA>最終更新日時/時刻	
499	SSA>最終更新者	

(d) Event_MappingItem.txt

項番	出力項目名	備考
1	レコード ID	
2	システム	
3	タイトル	
4	送信者	
5	起票者	
6	関連構成アイテム 1	
7	関連構成アイテム 2	
8	関連構成アイテム 3	
9	関連構成 1	
10	関連構成 2	
11	関連構成 3	
12	関連構成 4	
13	参考 URL1	
14	参考 URL2	
15	参考 URL3	
16	参考 URL4	
17	参考 URL5	
18	参考 URL6	
19	参考 URL7	
20	備考	
21	会社名	社外申請者情報
22	組織名	社外申請者情報
23	氏名	社外申請者情報
24	氏名カナ	社外申請者情報
25	電話番号	社外申請者情報
26	メールアドレス	社外申請者情報
27	社内申請者社員番号	社内申請者情報
28	社内申請者氏名	社内申請者情報
29	社内申請者氏名カナ	社内申請者情報
30	社内申請者会社名	社内申請者情報
31	社内申請者組織名	社内申請者情報
32	社内申請者役職	社内申請者情報
33	社内申請者内線番号	社内申請者情報
34	社内申請者電話番号 1	社内申請者情報
35	社内申請者電話番号 2	社内申請者情報
36	社内申請者 FAX	社内申請者情報

項番	出力項目名	備考
37	社内申請者携帯電話番号	社内申請者情報
38	社内申請者メールアドレス 1	社内申請者情報
39	社内申請者メールアドレス 2	社内申請者情報
40	テキスト 1	
41	テキスト 2	
42	テキスト 3	
43	テキスト 4	
44	テキスト 5	
45	テキスト 6	
46	テキスト 7	
47	テキスト 8	
48	テキスト 9	
49	テキスト 10	
50	テキスト 11	
51	テキスト 12	
52	テキスト 13	
53	テキスト 14	
54	テキスト 15	
55	テキスト 16	
56	テキスト 17	
57	テキスト 18	
58	テキスト 19	
59	テキスト 20	
60	テキスト 21	
61	テキスト 22	
62	テキスト 23	
63	テキスト 24	
64	テキスト 25	
65	テキスト 26	
66	テキスト 27	
67	テキスト 28	
68	テキスト 29	
69	テキスト 30	
70	テキスト 31	
71	テキスト 32	
72	テキスト 33	
73	テキスト 34	

項番	出力項目名	備考
74	テキスト 35	
75	テキスト 36	
76	テキスト 37	
77	テキスト 38	
78	テキスト 39	
79	テキスト 40	
80	テキスト 41	
81	テキスト 42	
82	テキスト 43	
83	テキスト 44	
84	テキスト 45	
85	テキスト 46	
86	テキスト 47	
87	テキスト 48	
88	テキスト 49	
89	テキスト 50	
90	数値テキスト 1	
91	数値テキスト 2	
92	数値テキスト 3	
93	数値テキスト 4	
94	数値テキスト 5	
95	数値テキスト 6	
96	数値テキスト 7	
97	数値テキスト 8	
98	数値テキスト 9	
99	数値テキスト 10	
100	数値テキスト 11	
101	数値テキスト 12	
102	数値テキスト 13	
103	数値テキスト 14	
104	数値テキスト 15	
105	数値テキスト 16	
106	数値テキスト 17	
107	数値テキスト 18	
108	数値テキスト 19	
109	数値テキスト 20	
110	数値テキスト 21	

項番	出力項目名	備考
111	数値テキスト 22	
112	数値テキスト 23	
113	数値テキスト 24	
114	数値テキスト 25	
115	数値テキスト 26	
116	数値テキスト 27	
117	数値テキスト 28	
118	数値テキスト 29	
119	数値テキスト 30	
120	数値テキスト 31	
121	数値テキスト 32	
122	数値テキスト 33	
123	数値テキスト 34	
124	数値テキスト 35	
125	数値テキスト 36	
126	数値テキスト 37	
127	数値テキスト 38	
128	数値テキスト 39	
129	数値テキスト 40	
130	数値テキスト 41	
131	数値テキスト 42	
132	数値テキスト 43	
133	数値テキスト 44	
134	数値テキスト 45	
135	数値テキスト 46	
136	数値テキスト 47	
137	数値テキスト 48	
138	数値テキスト 49	
139	数値テキスト 50	
140	数値テキスト 51	
141	数値テキスト 52	
142	数値テキスト 53	
143	数値テキスト 54	
144	数値テキスト 55	
145	数値テキスト 56	
146	数値テキスト 57	
147	数値テキスト 58	

項番	出力項目名	備考
148	数値テキスト 59	
149	数値テキスト 60	
150	計算結果数値テキスト 1	
151	計算結果数値テキスト 2	
152	計算結果数値テキスト 3	
153	起票日	
154	起票時刻	
155	最終更新日	
156	最終更新時刻	
157	承認申請日	
158	承認申請時刻	
159	申請完了日	
160	申請完了時刻	
161	クローズ期限日	
162	クローズ期限時刻	
163	開始日	
164	開始時刻	
165	終了日 1	
166	終了時刻 1	
167	終了日 2	
168	終了時刻 2	
169	終了日 3	
170	終了時刻 3	
171	対応予定日 1	
172	対応予定時刻 1	
173	対応予定日 2	
174	対応予定時刻 2	
175	対応予定日 3	
176	対応予定時刻 3	
177	対応予定日 4	
178	対応予定時刻 4	
179	対応予定日 5	
180	対応予定時刻 5	
181	対応実績日 1	
182	対応実績時刻 1	
183	対応実績日 2	
184	対応実績時刻 2	

項番	出力項目名	備考
185	対応実績日 3	
186	対応実績時刻 3	
187	対応実績日 4	
188	対応実績時刻 4	
189	対応実績日 5	
190	対応実績時刻 5	
191	開始予定日	
192	開始予定時刻	
193	終了予定日	
194	終了予定時刻	
195	日付テキスト 1	
196	時刻テキスト 1	
197	日付テキスト 2	
198	時刻テキスト 2	
199	日付テキスト 3	
200	時刻テキスト 3	
201	日付テキスト 4	
202	時刻テキスト 4	
203	日付テキスト 5	
204	時刻テキスト 5	
205	日付テキスト 6	
206	時刻テキスト 6	
207	日付テキスト 7	
208	時刻テキスト 7	
209	日付テキスト 8	
210	時刻テキスト 8	
211	日付テキスト 9	
212	時刻テキスト 9	
213	日付テキスト 10	
214	時刻テキスト 10	
215	日付テキスト 11	
216	時刻テキスト 11	
217	日付テキスト 12	
218	時刻テキスト 12	
219	日付テキスト 13	
220	時刻テキスト 13	
221	日付テキスト 14	

項番	出力項目名	備考
222	時刻テキスト 14	
223	日付テキスト 15	
224	時刻テキスト 15	
225	申請完了時間	
226	計算時間 1	
227	計算時間 2	
228	計算時間 3	
229	ステータス	
230	サブステータス	
231	種別	
232	インパクト	
233	緊急度	
234	優先度	
235	公開グループ	
236	種別設定元コンボボックス 1	
237	種別設定元コンボボックス 2	
238	種別設定元コンボボックス 3	
239	種別設定元コンボボックス 4	
240	種別設定元コンボボックス 5	
241	種別設定元コンボボックス 6	
242	種別設定元コンボボックス 7	
243	種別設定元コンボボックス 8	
244	種別設定元コンボボックス 9	
245	種別設定元コンボボックス 10	
246	ブロック制御コンボボックス 1	
247	2 連分類 1-1	
248	2 連分類 1-2	
249	2 連分類 2-1	
250	2 連分類 2-2	
251	大分類	
252	中分類	
253	小分類	
254	3 連分類 1-1	
255	3 連分類 1-2	
256	3 連分類 1-3	
257	3 連分類 2-1	
258	3 連分類 2-2	

項番	出力項目名	備考
259	3 連分類 2-3	
260	5 連分類 1-1	
261	5 連分類 1-2	
262	5 連分類 1-3	
263	5 連分類 1-4	
264	5 連分類 1-5	
265	コンボボックス 1	
266	コンボボックス 2	
267	コンボボックス 3	
268	コンボボックス 4	
269	コンボボックス 5	
270	コンボボックス 6	
271	コンボボックス 7	
272	コンボボックス 8	
273	コンボボックス 9	
274	コンボボックス 10	
275	コンボボックス 11	
276	コンボボックス 12	
277	コンボボックス 13	
278	コンボボックス 14	
279	コンボボックス 15	
280	コンボボックス 16	
281	コンボボックス 17	
282	コンボボックス 18	
283	コンボボックス 19	
284	コンボボックス 20	
285	コンボボックス 21	
286	コンボボックス 22	
287	コンボボックス 23	
288	コンボボックス 24	
289	コンボボックス 25	
290	コンボボックス 26	
291	コンボボックス 27	
292	コンボボックス 28	
293	コンボボックス 29	
294	コンボボックス 30	
295	コンボボックス 31	

項番	出力項目名	備考
296	コンボボックス 32	
297	コンボボックス 33	
298	コンボボックス 34	
299	コンボボックス 35	
300	コンボボックス 36	
301	コンボボックス 37	
302	コンボボックス 38	
303	コンボボックス 39	
304	コンボボックス 40	
305	コンボテキスト 1/コンボ	
306	コンボテキスト 1/テキスト	
307	コンボテキスト 2/コンボ	
308	コンボテキスト 2/テキスト	
309	ラジオボタン 1	
310	チェックボックス 1	
311	チェックボックス 2	
312	チェックボックス 3	
313	チェックボックス 4	
314	チェックボックス 5	
315	チェックボックス 6	
316	チェックボックス 7	
317	チェックボックス 8	
318	チェックボックス 9	
319	チェックボックス 10	
320	チェックボックス 11	
321	チェックボックス 12	
322	チェックボックス 13	
323	チェックボックス 14	
324	チェックボックス 15	
325	チェックボックス 16	
326	チェックボックス 17	
327	チェックボックス 18	
328	チェックボックス 19	
329	チェックボックス 20	
330	チェックボックス 21	
331	チェックボックス 22	
332	チェックボックス 23	

項番	出力項目名	備考
333	ラジオボタン 2	
334	添付ファイル名 1	
335	添付ファイル名 2	
336	添付ファイル名 3	
337	添付ファイル名 4	

(e) Event_Sub_MappingItem.txt

項番 1～229 は「0

Event_MappingItem.txt」を参照してください。

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
230	経過>枝番	
231	経過>タイトル	
232	経過>対応日	
233	経過>対応時刻	
234	経過>対応者	
235	経過>内容	
236	経過>対応先	
237	経過>チャンネル	
238	経過>インアウト区分	
239	経過>添付ファイル名	
240	経過>FROM	
241	経過>TO	
242	経過>CC	
243	経過>テキスト 1	
244	経過>テキスト 2	
245	経過>テキスト 3	
246	経過>テキスト 4	
247	経過>テキストエリア 1	
248	経過>テキストエリア 2	
249	経過>テキストエリア 3	
250	経過>テキストエリア 4	
251	経過>数値テキスト 1	
252	経過>数値テキスト 2	
253	経過>計算用数値テキスト 1	
254	経過>計算用数値テキスト 2	
255	経過>計算用数値テキスト 3	
256	経過>日付テキスト 1	
257	経過>時刻テキスト 1	
258	経過>日付テキスト 2	
259	経過>時刻テキスト 2	
260	経過>コンボボックス 1	
261	経過>コンボボックス 2	
262	経過>コンボボックス 3	
263	経過>コンボボックス 4	

項番	指定項目名 (フィールド名)	備考
264	経過>日時テキスト日付 1	
265	経過>日時テキスト時刻 1	
266	経過>マルチ 2 連分類 1-1	
267	経過>マルチ 2 連分類 1-2A	
268	経過>マルチ 2 連分類 1-2B	
269	経過>マルチ 2 連分類 1-2C	
270	経過>マルチ 2 連分類 1-2D	
271	経過>マルチ 2 連分類 2-1	
272	経過>マルチ 2 連分類 2-2A	
273	経過>マルチ 2 連分類 2-2B	
274	経過>マルチ 2 連分類 2-2C	
275	経過>マルチ 2 連分類 2-2D	

1.2.10.4 指定可能フィールド情報

検索条件ファイルに指定可能な検索条件名とその検索値の情報について記載します。
一覧は「1.3.8-1 プロセス管理」を参照してください。



仕様補足

分類項目を検索条件に指定する場合、最上位の分類から指定する必要があります。
最上位から指定されていない場合、検索条件の対象外になります。

1.2.11 リミットチェックコマンド (sjSPU_ChkLimit_Exec.exe)

リミットチェックコマンド (sjSPU_ChkLimit_Exec.exe) は、Senju Service Manager のプロセス管理の対応期限が過ぎてしまった案件の情報をログに出力します。

1.2.11.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_ChkLimit_Exec.exe △ -C △ チェックパターン △ (-i 画面 ID ... | -I) △ [-F △ 実行結果ログ保存先フォルダ] △ [--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-C : チェックパターン**
チェック対象のパターンを指定します。
対象パターンには、「CLOSE」と「LIMITn」（n は 1～5 の半角数字）のいずれか一つを指定可能です。

CLOSE : チェック対象が「クローズ期限日時」となります。
LIMITn : チェック対象が「対応予定日時 n」（n は 1～5 の半角数字）となります。
- **-i : 画面 ID**
処理対象のプロセス管理の画面 ID を指定します。
画面 ID には、管理者メニューの[画面]-[画面定義]-[メニュー]の一覧に表示される「画面 ID」が指定可能です。
「画面 ID」を複数してする場合には、スペース区切りで指定してください。
すべての画面を対象とする場合には、-I を指定してください。
- **-F : 実行結果ログ保存先フォルダ**
実行結果ログの保存先フォルダをフルパスで指定します。
この引数は省略可能です。省略した場合は、%CCFSPDBHOME%log 配下に出力されます。

※フォルダのパスはダブルクォートで囲んでください。

• **--help**

Usage を表示します。

この引数は省略可能です。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



仕様補足

画面 ID には以下プロセス管理の画面 ID を指定することが可能です。
プロセス管理 : 「01000001」 ~ 「01000103」



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。
・ データ移行コマンド
・ DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.11.2 実行結果

リミットチェックコマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPU_ChkLimit_Ex.exe -C CLOSE -i 01000001 -F "C:¥temp"
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

リミットチェックコマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	引数不正、またはデータベースへの接続に異常等があり処理が行われなかった場合
2	異常終了	コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合
3	警告終了	引数不正等はあるが処理が行われた場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	リミットチェックコマンドが正常終了しました。	なし。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	リミットチェックに失敗しました	指定した画面 ID が不正のためリミットチェックに失敗しました	画面 ID の指定内容を確認してください。
2	致命的なエラー : MFC の初期化ができませんでした。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
3	引数で指定した実行結果ログ保存先フォルダが存在しないため、 「%CCFSPDBHOME%/log/」に出力されます。	引数で指定した実行結果ログ保存先フォルダが存在しないため、「%CCFSPDBHOME%/log/」に出力されました。	引数-Fに指定するフォルダが存在するか確認してください。

リミットチェックコマンドは、実行結果をログに出力します。

実行結果ログの出力フォルダはコマンドの引数 (-F) で指定できます。

省略した場合は、%CCFSPDBHOME%log フォルダに出力されますのでリミットチェックコマンド実行後は本ファイルにて実行結果を確認してください。

実行結果ログに出力されるデータは以下のようになっています。

チェックパターン	条件
CLOSE	以下の条件をすべて満たした場合、出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・案件がクローズされていない。 ・クローズ期限日時がリミットチェックコマンドの実行日時よりも過去。 ※クローズ期限日が設定されていない案件は出力対象外です。 ※クローズ期限時刻が設定されていない案件は「00:00:00」とします。
LIMITn (nは1~5の半角数字)	以下の条件をすべて満たした場合、出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・案件がクローズされていない。 ・対応予定日 n (nは1~5の半角数字) に対する対応実績日 n (nは1~5の半角数字) が設定されていない。 ・対応予定日 n (nは1~5の半角数字) がリミットチェックコマンドの実行日時よりも過去。 ※LIMITn (nは1~5の半角数字) に対する対応予定日 n (nは1~5の半角数字) が設定されていない案件は出力対象外です。 ※対応予定時刻、対応実績時刻が設定されていない案件は「00:00:00」とします。

実行結果ログのファイル名は「sjSPU_ExecChkLimit_Ex_[画面 ID].log」となります。

[画面 ID]は引数に指定した値です。[画面 ID]を複数指定した場合には実行結果ログが指定した[画面 ID]分出力されます。ただし、引数に-I を指定した場合は[画面 ID]は記載されません。

以下に例を示します。

- [画面 ID]に「01000003」を指定した場合
sjSPU_ExecChkLimit_Ex_01000003.log
- [画面 ID]に「01000003 01000007 01000010」を指定した場合
sjSPU_ExecChkLimit_Ex_01000003.log
sjSPU_ExecChkLimit_Ex_01000007.log
sjSPU_ExecChkLimit_Ex_01000010.log
- 引数に-I を指定した場合
sjSPU_ExecChkLimit_Ex.log

実行結果ログはファイル名ごとに設定されたファイルサイズを超えると、自動的に切り替えられ、新しいログ情報ファイルに更新されます。例えば、

”sjSPU_ExecChkLimit_Ex.log”の場合、

古いログ情報ファイルは”sjSPU_ExecChkLimit_Ex.log.1”のファイル名で保存されます。以降、”sjSPU_ExecChkLimit_Ex.log.2”、

”sjSPU_ExecChkLimit_Ex.log.3”、…へ保存され、7 世代分のファイルが保存されます。7 世代より前のファイルは順次削除されます。

- ログファイルのサイズ
ファイルのサイズが 1MB を超えると新しいログ情報ファイルに更新されます。
- 保存するログファイル数
古いログ情報ファイルは、7 世代分保存されます。

実行結果ログは以下の情報を出力します。

項番	出力項目名	説明
1	ログ出力日時	ログ出力日時。 ※フォーマットは「[mmm△dd△hh:mm:ss.00△yyyy]」です。 ※△・・・半角スペース 例：[Oct 29 14:44:47.39 2010]
2	区切り	「半角スペース」が1つ。
3	ホスト名	ホスト名。
4	区切り	「半角スペース」が1つ。
5	チェックパターン	指定したチェックパターン。 ・CLOSE ・LIMITn (nは1~5の半角数字)
6	区切り	「半角スペース」が1つ。
7	ログレベル	“ERROR”固定。
8	区切り	「タブ」が1つ。
9	メインメニュー名	指定した画面が所属するメインメニュー名称。
10	サブメニュー名	指定した画面が所属するサブメニューの名称。
11	画面名	指定した画面の名称
12	ステータス	ステータス。
13	ID	プロセス管理のID。
14	タイトル	タイトル。 ※タイトル中の改行は取り除かれて出力されます。
15	現在対応者	現在対応者のユーザー名とメールアドレス1。 現在対応者を区切り文字で区切って全て出力します。 ※区切り文字は、管理者メニューで設定した帳票出力用の区切り文字を使用します。 例：ユーザー1(<user1@senju-sm.nri.co.jp>) <区切り文字> ユーザー2(<user2@senju-sm.nri.co.jp>)
16	対象日時	・CLOSE：「クローズ期限日時」 ・LIMITn：「対応予定日時 n (nは1~5の半角数字)」 ※フォーマットは「yyyy-mm-dd△hh:mm:ss」です。 ※△・・・半角スペース 例：2010-10-01 12:01:00

以下に、実行結果ログファイルの出力イメージを示します。

出力イメージ)

```
[Oct 29 14:44:47.39 2010] hostname CLOSE ERROR      プロセス管理 1   プロセス管理 1   プロセス 1   新規   0000000000000001
      テスト  対応者 1 (<メールアドレス 1>)      2010-10-01 00:00:00
[Oct 29 14:44:47.39 2010] hostname CLOSE ERROR      プロセス管理 2   プロセス管理 2   プロセス 2   新規   0000000000000002
      テストサービス 1  対応者 1 (<メールアドレス 1>)      2010-10-02 00:00:00
[Oct 29 14:44:47.39 2010] hostname CLOSE ERROR      プロセス管理 2   プロセス管理 2   プロセス 5   新規   0000000000000004
      テストサービス要求 5   対応者 1 (<メールアドレス 1>)      2010-10-28 00:00:00
[Oct 29 15:45:15.50 2010] hostname LIMIT3 ERROR     プロセス管理 3   プロセス管理 3   プロセス 102  新規   0000000000000003
      変更 2   対応者 1 (<メールアドレス 1>)      2010-10-13 12:31:00
[Oct 29 15:55:15.50 2010] hostname CLOSE ERROR      プロセス管理 4   プロセス管理 4   プロセス 103  新規   0000000000000006
      問題 2   対応者 1 (<メールアドレス 1>)      2010-10-15 12:34:00
[Oct 29 16:25:15.48 2010] namehost LIMIT5 ERROR     プロセス管理 2   プロセス管理 2   プロセス 101  新規   0000000000000005
      100サービス 2  対応者 1 (<メールアドレス 1>)<区切り文字>対応者 2 (<メールアドレス 2>) 2010-10-14 00:00:00
```



補助設定

現在対応者の区切り文字は[管理者メニュー]-[機能別]-[帳票]に設定されている置換文字が出力されます。
設定方法は、**ユーザーズガイド「管理ガイド」**を参照してください。



仕様補足

出力項目内にタブが設定されている場合、そのまま出力されます。



仕様補足

Senju Operation Conductor (以下、SOC) のログ監視機能を利用して
リミットチェックコマンドの実行結果ログを監視できます。
詳しくは SOC のマニュアルを参照してください。

1.2.12 操作ログ取得コマンド (sjSPU_GetAuditLog.exe)

操作ログ取得コマンドは、SSM DB サーバーに蓄積される Senju Service Manager の操作ログの取得および削除を行います。

1.2.12.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式(“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_GetAuditLog.exe△[-S△取得先]△[-T△出力タイプ]△[-F△ファイル名]△[-f△取得開始日]△[-t△取得終了日]△[-r] △[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-S : 取得先**
出力するログの取得先に「USER」または「LOGIN」、「HISTORY」を指定します。
USER を指定すると操作ログを取得します。
LOGIN を指定するとログインしているユーザーの数を取得します。
HISTORY を指定するとプロセス履歴を取得します。
省略した場合は USER が設定されます。
- **-T : 出力タイプ**
操作ログを出力する際の、データの区切り形式を「CSV」または「TSV」で指定します。
CSV を指定すると操作ログをカンマ区切りで出力します。TSV を指定するとデータをタブ区切りで出力します。
省略した場合は CSV 形式が設定されます。
- **-F : ファイル名**
操作ログの出力先をフルパスで指定します。省略した場合は標準出力に結果が出力されます。
本ログファイルは、ログファイルのサイズ、保存するログファイル数の制限はありません。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-f : 取得開始日**
操作ログの取得開始日を“YYYY-MM-DD”形式で指定します。
省略した場合は存在する操作ログの最も古い日付が設定されます。
- **-t : 取得終了日**
操作ログの取得終了日を“YYYY-MM-DD”形式で指定します。
省略した場合は存在する操作ログの最も新しい日付が設定されます。
- **-r**
操作ログを取得し出力した後、SSM DB サーバーから取得した Senju Service Manager の操作ログを DB から削除する場合に指定します。
省略した場合は削除されません。
ただし取得先が HISTORY の場合は指定できません。
- **--help**
Usage を表示します。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。
そのため、コマンドを実行する際に必ずいずれかの引数を指定してください。



仕様補足

-S に「HISTORY」を指定する場合、[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[プロセス管理]の「変更履歴保存機能」に「変更履歴を保存する」と設定されている必要があります。



制限事項

-r オプションを使用し、SSM DB サーバーから取得データを削除した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB 再構築コマンドの使用方法につきましては
「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。
・データ移行コマンド
・DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.12.2 実行結果

操作ログ取得コマンドを実行して取得した操作ログは、標準出力または指定したファイルに出力されます。

以下は操作ログを CSV 形式でファイル出力した場合の実行結果です。

(例) 操作ログ CSV 出力

```
C:¥TEMP>sjSPU_GetAuditLog.exe -SUSER -T CSV -F "C:¥TEMP¥Operation.log" -f 2007-02-08 -t 2007-02-09 -r
レコードを削除しました。
ログ出力に成功しました。
sjSPU_GetAuditLog.exe -SUSER -T CSV -F "C:¥TEMP¥Operation.log" -f 2007-02-08 -t 2007-02-09 -r
C:¥TEMP>
```

操作ログ取得コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	Usage 出力 正常終了	Usage を出力した場合 処理が正常に終了した場合
1	異常終了	コマンドオプションの指定に誤りがある場合
3		保存ファイルが指定されていない場合
4		指定したフォルダが存在しない場合
8		DB との接続に失敗した場合
9		データソース名が指定されていない場合
10		ユーザーID が指定されていない場合
11		パスワードが指定されていない場合
12		sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていない場合
14		取得開始日の指定に誤りがある場合
15		取得終了日の指定に誤りがある場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	ログ出力に成功しました。	ログ出力が完了し、処理が終了しました。	なし。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。 (ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定されたコマンドオプションに不正なものが含まれています。	コマンドオプションを確認してください。
3	保存ファイルが指定されていません。	保存ファイルが指定されていません。	引数-f に操作ログの出力先をフルパスが指定されているか確認してください。
4	指定したフォルダは存在しません。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定したフォルダは存在しません。	引数-f で指定したフォルダが存在するか確認してください。
8	DB との接続に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
9	データソース名が指定されていません。	データソース名が指定されていません。	SSM DB サーバーコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
10	ユーザーID が指定されていません。	ユーザーID が指定されていません。	
11	パスワードが指定されていません。	パスワードが指定されていません。	
12	sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。	
14	取得開始日の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定した取得開始日が不正です。	
15	取得終了日の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定した取得終了日が不正です。	引数-t で指定した取得終了日を確認してください。

操作ログの出力内容を以下に示します。

項番	出力フィールド名	説明
1	ログ年月日	該当の操作を行った年月日です
2	ログ時刻	該当の操作を行った年月日の時刻です
3	ログ WEB サーバーアドレス	該当の操作を行った WEB サーバーの IP アドレスです
4	ログユーザーアカウント	該当の操作を行ったユーザーのアカウント ID です
5	ログユーザー名称	該当の操作を行ったユーザーのユーザー名です
6	ログユーザーアドレス	該当の操作を行ったユーザーの端末 IP アドレスです
7	ログ種別	ログの種別です。以下のログが出力されます。 システムログイン：Senju Service Manager へのログイン情報 システムログアウト：Senju Service Manager からのログアウト情報 データベース操作：登録/更新といったデータ操作 画面操作：画面表示等の画面操作 外部ファイル出力：帳票出力
8	ログ画面名称	該当の操作を行った画面の名称です
9	ログ処理モード	画面上で行った具体的な操作を示しています。 例： ・ユーザーマスタ編集画面でユーザーを更新した場合、 処理モードは「更新」です。 ・ユーザーマスタ編集画面でユーザーを削除した場合、 処理モードは「削除」です。 ・プロセス一覧画面でプロセスを新規登録した場合、 処理モードは「登録」です。
10	システム名称	該当の操作を行ったチケットのシステム名です
11	親管理番号	該当の操作を行ったチケットの内部登録番号です ログイン/ログアウト情報ではユーザーのアカウント ID を出力します
12	子管理番号	該当の操作を行ったチケット経過情報の内部登録番号です

ログイン情報の出力内容を以下に示します。

項番	出力フィールド名	説明
1	ログ年月日	操作ログを出力した年月日です。
2	ログ時刻	操作ログを出力した時刻です。
3	ログイン人数(合計)	操作ログの年月日および時刻にログイン中だったエンドユーザー、サービスデスク

項番	出力フィールド名	説明
		ユーザー(固定)、サービスデスクユーザー(同時接続)の合計です。
4	ログイン人数(エンドユーザー)	操作ログ年月日およびログ時刻にログイン中だったエンドユーザーの数です。
5	ログイン人数(サービスデスクユーザー(固定))	操作ログ年月日およびログ時刻にログイン中だったサービスデスクユーザー(固定)の合計です。
6	ログイン人数(サービスデスクユーザー(同時接続))	操作ログ年月日およびログ時刻にログイン中だったサービスデスクユーザー(同時接続)の数です。

プロセス履歴の出力内容を以下に示します。

項番	出力フィールド名	説明
1	更新日	該当プロセスの更新年月日です
2	更新時刻	該当プロセスの更新年月日の時刻です
3	WEB サーバーアドレス	該当プロセスに対して操作を行った WEB サーバーの IP アドレスです
4	対応アカウント ID	該当プロセスに対して操作を行ったユーザーのアカウント ID です
5	対応ユーザー名	該当プロセスに対して操作を行ったユーザーのユーザー名です
6	ユーザーアドレス	該当プロセスに対して操作を行ったユーザーの端末 IP アドレスです。
7	画面 ID	該当プロセスの画面 ID です。
8	登録番号	該当プロセスの登録番号です。
9	画面名	該当プロセスの画面の名称です。
10	システム名	該当プロセスのシステム名です。
11	経過登録番号	該当の操作を行った経過操作時の経過登録番号です。
12	確認情報登録番号	該当の操作を行った確認情報の登録番号です。
13	SSA 連携区分	該当の操作を行った SSA 連携操作時の連携区分です。
14	SSA 連携登録番号	該当の操作を行った SSA 連携操作時の登録番号です。
15	アクション名	該当の操作を行ったアクション名です。
16	操作区分	該当の操作を行った操作区分です。
17	更新種別	該当の操作を行った更新種別です。
18	画面操作	該当の操作を行った画面操作です。
19	コメント	該当の操作を行った対象項目のコメントです。

1.2.13 データ移行コマンド (sjSPU_MigrateData.exe) (Oracle 用)

データ移行コマンドは、Oracle Database サーバーの環境に登録されているマスタデータをインポート/エクスポートします。

1.2.13.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

エクスポート時

sjSPU_MigrateData.exe△-M△起動モード△[-a△実行権限]△

[-U△SYS ユーザー名]△[-P△SYS ユーザーのパスワード]△-T△TNS 名△[-D△Oracle のダンプファイルの出力(格納)先]△

-d△Oracle のダンプファイル名△[-z△Oracle のダンプファイルのサイズ]△-l△Oracle のログファイル名△-S△シーケンス情報ファイルの出力(格納)先

インポート時

sjSPU_MigrateData.exe△-M△起動モード△[-a△実行権限]△

[-U△SYS ユーザー名]△[-P△SYS ユーザーのパスワード]△-T△TNS 名△[-D△Oracle のダンプファイルの出力(格納)先]△

-d△Oracle のダンプファイル名△-l△Oracle のログファイル名△-S△シーケンス情報ファイルの出力(格納)先△-s△シーケンス情報ファイル名△[-N△スキーマ名]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-M : 起動モード**

データ移行コマンドの起動モードを指定します。省略できません。

指定できる起動モードを以下に記載します。

起動モード	説明
EXP	エクスポートモードで起動します。
IMP	インポートモードで起動します。

- **-a : 実行権限**

データ移行コマンドを実行する際に使用する権限を指定します。

指定できる実行権限を以下に記載します。

省略した場合は「0:SYS ユーザーを使用」としてデータ移行を行います。

実行権限	説明
0	SYS ユーザーを使用してデータ移行を行います。 実行権限に「0」を指定した場合、データ移行に必要な設定を自動的に行いエクスポート/インポートを行います。
1	SYS ユーザーを使用せずにデータ移行を行います。 実行権限に「1」を指定した場合、データ移行に必要な権限の付与をコマンド内で行わないため、予めデータ移行に必要な設定を行っておく必要があります。 予め行っておく必要がある設定を以下に記載します。 <ul style="list-style-type: none"> • Oracle のディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」への OracleDB ユーザーの操作権限付与 • (LinuxOracle 限定) DATA_PUMP_DIR のディレクトリオブジェクトに指定したディレクトリとその上位ディレクトリに OracleDB ユーザーからのディレクトリ読み込み、書き込み、実行権限付与 実行権限に「1」を指定した場合、エクスポート時のダンプファイルは DATA_PUMP_DIR に設定されているディレクトリに出力されます。インポート時はインポート対象のダンプファイルを DATA_PUMP_DIR に設定されているディレクトリに設置してください。

- **-U : SYS ユーザー名**

SYS ユーザー名を指定します。

実行権限に「0」を指定した場合、省略できません。

実行権限に「1」を指定した場合、指定できません。

- **-P : SYS ユーザーのパスワード**

SYS ユーザーのパスワードを指定します。

指定するときはダブルクォートで囲んでください。

実行権限に「0」を指定した場合、省略できません。

実行権限に「1」を指定した場合、指定できません。

- **-T : TNS 名**

TNS 名を指定します。

省略できません。

- **-D : Oracle のダンプファイルの出力(格納)先**
Oracle のダンプファイルの出力(格納)先のディレクトリをフルパスで指定します。
エクスポート時にはダンプファイルと EXPDP 実行時の Oracle のログが Oracle DB サーバーに出力されます。
インポート時にはエクスポート時に出力されたダンプファイルをインポートする Oracle DB サーバーに格納します。
また IMPDP 実行時の Oracle ログが出力されます。
実行権限に「0」を指定した場合、省略できません。
実行権限に「1」を指定した場合、指定できません。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-d : Oracle のダンプファイル名**
Oracle のダンプファイル名を指定します。
省略できません。
Oracle のダンプファイルサイズを指定して、ファイルを分割する場合、ファイル名の文字列中に「%U」を指定してください。
「%U」部分が連番となって出力ダンプファイルが展開されます。
- **-z : Oracle のダンプファイルサイズ**
Oracle のダンプファイルを分割したい場合、ファイルサイズを 100~2000「MB」単位で指定します。
エクスポート時のみ指定できます。
省略した場合、ダンプファイルは分割されません。
- **-l : Oracle のログファイル名**
Oracle のエクスポート/インポート時のログファイル名を指定します。
省略できません。
- **-S : シーケンス情報ファイルの出力(格納)先**
シーケンス情報ファイルの出力(格納)先のディレクトリをフルパスで指定します。
エクスポート時にはシーケンス情報ファイルはコマンドを実行した SSM DB サーバーに出力されます。
インポート時にはエクスポート時に出力されたシーケンス情報ファイルをインポートする SSM DB サーバーに格納します。
省略できません。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **-s : シーケンス情報ファイル名**
シーケンス情報ファイル名を指定します。

インポート時のみ指定できます。
インポート時に省略できません。

- **-N : スキーマ名**

エクスポート/インポート時のスキーマが異なる場合に指定します。
指定する値はエクスポート実行時、エクスポート実行環境の DB ユーザー名を指定します。
DB ユーザー名は SSM DB サーバーコンフィグレータ > DB 接続設定画面の「ユーザーアカウント」に設定されている値です。
インポート時のみ指定できます。
エクスポート時は指定できません。
省略した場合、エクスポート/インポート時に異なるスキーマ名でのデータ移行は実施できません。

- **--help**

Usage を表示します。



仕様補足

エクスポート時、ダンプファイルやログは Oracle サーバー上に出力されます。
インポート時、インポートを実施するダンプファイルはインポート対象の Oracle サーバー上に格納しておく必要があります。



仕様補足

インポートモードでは以下のバックアップファイルを作成します。
・ Oracle のダンプファイルの出力 (格納) 先にバックアップ用ダンプファイルを出力します。
・ シーケンス情報ファイルの出力 (格納) 先にバックアップ用シーケンス情報ファイルを出力します。



仕様補足

データ移行の条件は以下のとおりとなります。
以下の条件以外でのデータ移行は行わないでください。
・ 既存環境および検証環境にて編集・追加したマスターデータを、
新規に構築 (マスター情報が未登録である) 環境に移行する
・ 本番環境からデータを取得した検証環境にて編集・追加したマスターデータを、本番環境に移行する



仕様補足

データ移行を行う際、移行元のサーバーと移行先のサーバーにインストールされている Oracle Database のバージョンが同一である必要があります。
異なる Oracle Database のバージョンでデータ移行を行った場合、コマンドが正常に行われたい恐れがあります。



仕様補足

Windows 版の Oracle Database と Linux 版の Oracle Database 間ではデータ移行を行うことはできません。

本コマンドを使用時に以下のメッセージが表示されることがありますが Senju/SM をご利用頂くにあたって影響はありません。

【メッセージ】

JA16SJISTILDE キャラクタ・セットおよび AL16UTF16 NCHAR キャラクタ・セットでインポートを実行します
JA16SJIS キャラクタ・セットおよび AL16UTF16 NCHAR キャラクタ・セットでエクスポートを実行します
警告: キャラクタ・セット変換でデータが失われた可能性があります



仕様補足

【表示される条件】

- ・ Oracle 10g で作成したダンプファイルを Oracle 11g および Oracl12c にインポートした場合
(JA16SJIS キャラクタ・セットで作成した DB ユーザーからエクスポートしたダンプファイルを
JA16SJISTILDE キャラクタセットで作成した DB ユーザーにインポートした場合)

【上記メッセージが表示された場合の影響】

- ・ 波形のダッシュ「~」とチルド「~」が内部的に変換されますが、実際の表示は変換後も同一です。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

データ移行コマンドにてデータを移行した場合、
DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB 再構築コマンドの使用方法につきましては
「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」を参照してください。



制限事項

Oracle のダンプファイル名と Oracle のログファイル名に以下文字を指定できます。
!#\$%_+~`. [] {}
(ただし、WIN2019 と Linux の場合は \$ を指定することはできません。)



一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.13.2 事前準備

本章はデータ移行コマンドを実施するにあたり、実行権限(-a 指定項目)が「1」である場合に必要な事前準備について以下に示します。



注意事項

実行権限(-a 指定項目)が「0」または未指定の場合、本手順は不要です。

1. ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリの確認

エクスポート時のダンプファイルはディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリに出力されます。

また、インポート時にダンプファイルをディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリに格納する必要があります。

ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリの確認方法を以下に示します。

1. SYS ユーザーで SQL*Plus を起動してください。
2. 以下のコマンドを実行し、DATA_PUMP_DIR に設定されているディレクトリを確認してください。

```
SELECT DIRECTORY_PATH FROM ALL_DIRECTORIES WHERE DIRECTORY_NAME = 'DATA_PUMP_DIR';
```

2. ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」へユーザーアカウントの操作権限付与

エクスポート、インポートをするためにディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」へユーザーアカウントの操作権限を付与する必要があります。

ユーザーアカウントとは[DB サーバーコンフィグレータ]-[DB 接続設定]に設定した Oracle のユーザーアカウントのことを指します。

ユーザーアカウントへの操作権限の付与方法を以下に示します。

1. SYS ユーザーで SQL*Plus を起動してください。
2. 以下のコマンドを実行し、DATA_PUMP_DIR にユーザーアカウントからの書込権限・読込権限が付与されているか確認してください。

```
SELECT * FROM DBA_TAB_PRIVS WHERE TABLE_NAME='DATA_PUMP_DIR' AND GRANTEE='<ユーザーアカウント>';
```
3. 2 を実行した際、「レコードが選択されませんでした。」と出力された場合、ユーザーアカウントの書込権限・読込権限が付与されていません。
以下のコマンドを実行し書込権限・読込権限を付与してください。

```
GRANT READ, WRITE ON DIRECTORY DATA_PUMP_DIR TO <ユーザーアカウント>;
```
4. 以下のコマンドを実行し、DATA_PUMP_DIR にユーザーアカウントからの書込権限・読込権限が付与されたことを確認してください。

```
SELECT * FROM DBA_TAB_PRIVS WHERE TABLE_NAME='DATA_PUMP_DIR' AND GRANTEE='<ユーザーアカウント>';
```

1.2.13.3 OracleDatabase サーバーが LinuxOracle の場合の事前準備

本章はデータ移行コマンドを実施するにあたり、OracleDatabase サーバーが LinuxOracle の場合に必要な事前準備について以下に示します。



注意事項

OracleDatabase サーバーが LinuxOracle ではない場合、本手順は不要です。

1. 実行権限に「0」を指定した場合

引数「Oracle のダンプファイルの出力（格納）先」に指定したディレクトリとその上位ディレクトリに OracleDatabase サーバー上のユーザー「Oracle」からのディレクトリ読込、書込、実行権限が付与されている必要があります。

ディレクトリ読込、書込、実行権限の付与方法を以下に示します。

OracleDatabase サーバーで実行してください。

1. 引数「Oracle のダンプファイルの出力（格納）先」に指定したディレクトリとその上位ディレクトリの権限が以下のいずれかになるように設定を行ってください。
 - ・ オーナーが Oracle の場合
オーナーユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。
 - ・ オーナーが Oracle 以外かつグループが oinstall の場合
グループユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。
 - ・ オーナーが Oracle 以外かつグループが oinstall 以外の場合
その他ユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。

2. 実行権限に「1」を指定した場合

DATA_PUMP_DIR のディレクトリオブジェクトに指定したディレクトリとその上位ディレクトリに OracleDatabase サーバー上のユーザー「Oracle」からのディレクトリ読込、書込、実行権限が付与されている必要があります。

ディレクトリ読込、書込、実行権限の付与方法を以下に示します。

OracleDatabase サーバーで実行してください。

1. ディレクトリオブジェクト「DATA_PUMP_DIR」に設定されているディレクトリとその上位ディレクトリの権限が以下のいずれかになるように設定を行ってください。
 - オーナーが Oracle の場合
オーナーユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。
 - オーナーが Oracle 以外かつグループが oinstall の場合
グループユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。
 - オーナーが Oracle 以外かつグループが oinstall 以外の場合
その他ユーザーに対して読込権限、書込権限、実行権限が付与してください。

1.2.13.4 実行結果

データ移行コマンドを実行すると、以下の例のような実行結果が画面に表示されます。

例) SYS 権限を持つユーザーでエクスポート時

```
C:¥TEMP>sjSPU_MigrateData.exe -M EXP -a 0 -U sysdbauser -P "sysdbapwd" -T TNSName -D "c:¥temp" -d "ExpData.dmp" -z 10 -l "ExpDataLog.log"
-S "c:¥temp"
エクスポート処理が成功しました。
C:¥TEMP>
```

例) SYS 権限を持つユーザーでインポート時

```
C:¥TEMP>sjSPU_MigrateData.exe -M IMP -a 0 -U sysdbauser -P "sysdbapwd" -T TNSName -D "c:¥temp" -d "ExpData.dmp" -l " ImpDataLog.log " -S "
c:¥temp " -s "sjSPU_MigrateSequenceInfo_20131201091530.xml"
インポート処理が成功しました。
C:¥TEMP>
```

例) SYS 権限を持たないユーザーでエクスポート時

```
C:¥TEMP>sjSPU_MigrateData.exe -M EXP -a 1 -T TNSName -d "ExpData2.dmp" -l "ExpDataLog2.log" -S "c:¥temp2"
エクスポート処理が成功しました。
C:¥TEMP>
```

例) SYS 権限を持たないユーザーでインポート時

```
C:¥TEMP>sjSPU_MigrateData.exe -M IMP -a 1 -T TNSName -d "ExpData2.dmp" -l "ImpDataLog2.log" -S "c:¥temp2" -s
"sjsPU_MigrateSequenceInfo_20131202124520.xml"
インポート処理が成功しました。
C:¥TEMP>
```

データ移行コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	マスタデータのインポート/エクスポートに成功した場合
1	異常終了	不正なコマンドオプションが指定された場合
2		DB との接続に失敗した場合
3		インポート/エクスポートに失敗した場合
4		コマンドが二重起動された場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	エクスポート処理が成功しました。	エクスポートが正常に終了しました。	なし
	インポート処理が成功しました。	インポートが正常に終了しました。	なし
1	必要な数の引数が指定されていません。([コマンドライン])	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	不正な引数が指定されました。(""-""のみの引数が指定されています。,[コマンドライン])		
	不正な引数が指定されました。(""-""以外の接頭文字引数が指定されています。,[コマンドライン])		
	指定されたファイルは存在しません。([指定したシーケンス情報ファイル])		
	指定されたバスが存在しません。([指定したシーケンス情報ファイルの出力先])		
	「EXP」モードの場合、「-N」は指定できません。エクスポート時のスキーマ名を指定してください。		
	-z は 100~2000 の範囲で指定してください。		

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	実行権限(-a)に「1」を指定した場合、SYS ユーザー名(-U)は指定できません。	引数「実行権限」が1の時、引数「SYS ユーザー名」を指定されました。	
	実行権限(-a)に「1」を指定した場合、SYS ユーザー名のパスワード(-P)は指定できません。	引数「実行権限」が1の時、引数「SYS ユーザー名のパスワード」を指定されました。	
	実行権限(-a)に「1」を指定した場合、Oracle のダンプファイルの出力先(-D)は指定できません。	引数「実行権限」が1の時、引数「Oracle のダンプファイルの出力先」を指定されました。	
	実行権限(-a)に「0」を指定、または省略した場合、SYS ユーザー名(-U)を必ず指定してください。	引数「実行権限」が0の時、引数「SYS ユーザー名」を指定されませんでした。	
	実行権限(-a)に「0」を指定、または省略した場合、SYS ユーザー名のパスワード(-P)を必ず指定してください。	引数「実行権限」が0の時、引数「SYS ユーザー名のパスワード」を指定されませんでした。	
	実行権限(-a)に「0」を指定、または省略した場合、Oracle のダンプファイルの出力(格納)先(-D)を必ず指定してください。	引数「実行権限」が0の時、引数「Oracle のダンプファイルの出力先」を指定されませんでした。	
1	エクスポートに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が1の時、エクスポートに失敗しました。	コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。 「1.2.13.2 事前準備」 「1.2.13.3 OracleDatabase サーバーが LinuxOracle の場合の事前準備」が実施されているか確認してください。
	インポートに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が1の時、インポートに失敗しました。	
	バックアップに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が1の時、バックアップに失敗しました。	
	エクスポートに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が0の時、エクスポートに失敗しました。	
	インポートに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が0の時、インポートに失敗しました。	

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	バックアップに失敗しました。 コマンド実行前に必要な設定が行われていない可能性があります。	引数「実行権限」が0の時、バックアップに失敗しました。	
2	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	エクスポートに失敗しました。 インポートに失敗しました。	DB データ移行コマンドが異常終了しました。	ユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
4	データ移行コマンド (sjSPU_MigrateDBData.exe) は既に起動中です。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
6	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。 テーブル情報ファイル「[テーブル情報ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンド起動時の予期せぬエラーが発生しました。	システム管理者へ連絡してください。

1.2.13.5 移行対象マスタ情報

移行対象のマスタの一覧を以下に示します。

項番	移行対象データ一覧
1	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/グループ
2	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/ユーザー
3	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/画面ポリシー
4	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/職責
5	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/認証サーバー
6	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/チーム
7	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/役割
8	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(共通)
9	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(システム別)
10	管理者メニュー画面/マスタ/システム/システム
11	管理者メニュー画面/マスタ/システム/コード
12	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード自動選択設定
13	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード値別編集制御
14	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード値別必須制御
15	管理者メニュー画面/マスタ/分類/分類
16	管理者メニュー画面/マスタ/会社・組織/会社
17	管理者メニュー画面/マスタ/会社・組織/組織
18	管理者メニュー画面/マスタ/祝祭日/祝祭日
19	管理者メニュー画面/画面/画面定義/画面使用設定
20	管理者メニュー画面/画面/画面定義/メニュー
21	管理者メニュー画面/画面/画面定義/関連項目設定
22	管理者メニュー画面/画面/画面定義/申請先画面設定
23	管理者メニュー画面/画面/画面定義/入力文字制御
24	管理者メニュー画面/画面/画面定義/フリーワード検索対象定義
25	管理者メニュー画面/画面/画面定義/必須項目初期表示制御管理
26	管理者メニュー画面/機能別/承認フロー/承認フロー

項番	移行対象データ一覧
27	管理者メニュー画面/機能別/承認フロー/承認フロールート
28	管理者メニュー画面/機能別/メールテンプレート/メールテンプレート
29	管理者メニュー画面/機能別/メールテンプレート/メールテンプレート(自動送信)
30	管理者メニュー画面/機能別/メール送信設定/メールアドレスチェック設定
31	管理者メニュー画面/機能別/分析/分析レポート
32	管理者メニュー画面/機能別/分析/分析レポート条件設定
33	管理者メニュー画面/機能別/SLAM チャート/SLAM チャート抽出条件設定
34	管理者メニュー画面/機能別/チェックリスト/チェックリスト条件設定
35	管理者メニュー画面/機能別/種別設定/種別条件設定
36	管理者メニュー画面/機能別/自動メール通知/自動メール通知条件設定
37	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携設定
38	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携先設定
39	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携元設定
40	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携項目設定
41	管理者メニュー画面/機能別/Senju Family 連携管理/ランブックテンプレート
42	プロセス管理一覧/検索条件
43	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/問合せ元情報
44	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/問合せ元 2 情報
45	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/表項目問合せ元情報
46	フレーム・ネット・ジョブ申請一覧/検索条件
47	管理者メニュー画面/制御情報/制御情報/制御情報
48	管理者メニュー画面/機能別/メール送信設定/送信元設定
49	SSMDB サーバーコンフィグレータ/基本設定/ユーザー設定
50	管理者メニュー画面/機能別/帳票/帳票出力文字変換制御
51	管理者メニュー画面/機能別/業務ステータスマスタ管理
52	管理者メニュー画面/機能別/送信メッセージテンプレート
53	管理者メニュー画面/機能別/Webhook 送信設定
54	管理者メニュー画面/ラベル/ラベル
55	管理者メニュー画面/画面/レイアウト定義/簡易画面
56	管理者メニュー画面/画面/レイアウト定義/サービスデスク画面レイアウト

項番	移行対象データ一覧
57	通常メニュー画面/外部連携/Senju Family 連携/業務グループ定義
58	管理者メニュー画面/機能別/外部ツール連携/ESP システムマスタ管理
59	管理者メニュー画面/機能別/WEBAPI 連携
60	管理者メニュー画面/画面/画面定義/日付項目チェック設定
61	管理者メニュー画面/画面/画面定義/関連項目設定
62	管理者メニュー画面/機能別/ナビゲーション設定



仕様補足

SLAM チャート、チェックリスト、種別設定、自動メール通知は条件設定以外は移行対象外です。
また移行先のサーバーに下記設定画面でデータが存在する場合、
下記の各設定画面適用条件の内容はデータ移行コマンド実施前と内容が一致しない恐れがあります。

- ・ 管理者メニュー画面/機能別/SLAM チャート/SLAM チャート設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/チェックリスト/チェックリスト適用設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/種別設定/種別適用設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/自動メール通知/自動メール通知適用設定



仕様補足

データ移行コマンドを用いたデータの移行は、「インストールガイド」を参照してください。



仕様補足

データ移行コマンドでは、承認フロールートについて、サブルート情報の移行はサポートしていません。

1.2.14 データ移行コマンド (sjSPU_MigrateData.exe) (PostgreSQL 用)

データ移行コマンドは、PostgreSQL Database サーバーの環境に登録されているマスタデータをインポート/エクスポートします。

1.2.14.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

エクスポート時

sjSPU_MigrateData.exe△-M△起動モード△

-h△ホスト名△-P△ポート番号△-T△データベース名△-D△PostgreSQL のダンプファイルの出力(格納)先△

-d△PostgreSQL のダンプファイル名△-S△シーケンス情報ファイルの出力(格納)先

インポート時

sjSPU_MigrateData.exe△-M△起動モード△

-h△ホスト名△-P△ポート番号△-T△データベース名△-D△PostgreSQL のダンプファイルの出力(格納)先△

-d△PostgreSQL のダンプファイル名△-S△シーケンス情報ファイルの出力(格納)先△-s△シーケンス情報ファイル名

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-M: 起動モード**

データ移行コマンドの起動モードを指定します。省略できません。

指定できる起動モードを以下に記載します。

起動モード	説明
EXP	エクスポートモードで起動します。
IMP	インポートモードで起動します。

- **-h: ホスト名**

IP アドレスを指定します。

具体的には インストールガイド「1.7.3.3 データソースの追加」の「POSTGRESQL ANSI ODBC セットアップ」画面で「サーバー名」として設定した値を指定します。
省略できません。

- **-P : ポート番号**

ポート番号を指定します。

具体的には インストールガイド「1.7.3.3 データソースの追加」の「POSTGRESQL ANSI ODBC セットアップ」画面で「ポート番号」として設定した値を指定します。
省略できません。

- **-T : データベース名**

データベース名を指定します。

具体的には インストールガイド「1.7.3.3 データソースの追加」の「POSTGRESQL ANSI ODBC セットアップ」画面で「データベース名」として設定した値を指定します。
省略できません。

- **-D : PostgreSQL のダンプファイルの出力(格納)先**

PostgreSQL のダンプファイルの出力(格納)先のディレクトリをフルパスで指定します。

エクスポート時にはダンプファイルが SSM DB サーバーに出力されます。

インポート時にはエクスポート時に出力されたダンプファイルをインポートする SSM DB サーバーに格納します。

省略できません。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-d : PostgreSQL のダンプファイル名**

PostgreSQL のダンプファイル名を指定します。

省略できません。

- **-S : シーケンス情報ファイルの出力(格納)先**

シーケンス情報ファイルの出力(格納)先のディレクトリをフルパスで指定します。

エクスポート時にはシーケンス情報ファイルはコマンドを実行した SSM DB サーバーに出力されます。

インポート時にはエクスポート時に出力されたシーケンス情報ファイルをインポートする SSM DB サーバーに格納します。

省略できません。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-s** : シーケンス情報ファイル名
シーケンス情報ファイル名を指定します。
インポート時のみ指定できます。
インポート時に省略できません。
- **--help**
Usage を表示します。



仕様補足

エクスポート時、ダンプファイルは SSM DB サーバー上に出力されます。
インポート時、インポートを実施するダンプファイルはインポート対象の SSM DB サーバー上に格納しておく必要があります。



仕様補足

インポートモードでは以下のバックアップファイルを作成します。

- PostgreSQL のダンプファイルの出力(格納)先にバックアップ用ダンプファイルを出力します。
- シーケンス情報ファイルの出力(格納)先にバックアップ用シーケンス情報ファイルを出力します。



仕様補足

データ移行の条件は以下の通りとなります。以下の条件以外でのデータ移行は行わないでください。

- 既存環境および検証環境にて編集・追加したマスターデータを、新規に構築(マスター情報が未登録である)環境に移行する。
- 本番環境からデータを取得した検証環境にて編集・追加したマスターデータを、本番環境に移行する。



仕様補足

データ移行を行う際、移行元のサーバーと移行先のサーバーにインストールされている PostgreSQL Database のバージョンが同一である必要があります。
異なる PostgreSQL Database のバージョンでデータ移行を行った場合、コマンドが正常に実行されない恐れがあります。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

SSM DBサーバーとデータベースサーバーが分離構成である場合、データ移行を行う前にSSM DBサーバーにデータベースサーバーと同一バージョンのPostgreSQLをインストールしてください。
インストールしないとコマンドを実行することができません。



制限事項

データ移行コマンドにてデータを移行した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

データ移行コマンドの実行中、別コマンドを同時実行しないでください。



制限事項

PostgreSQL のダンプファイル名に以下文字を指定できます。
!#\$%_+~`. [] {}
(ただし、WIN2019 の場合は \$ を指定することはできません。)



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.14.2 実行結果

データ移行コマンドを実行すると、以下の例のような実行結果が画面に表示されます。

例) エクスポート時

```
C:¥TEMP> sjSPU_MigrateData.exe -M EXP -h 123.456.789.10 -T ssmdb -P 5432 -D "C:¥temp" -d dump -S "C:¥temp2"  
エクスポート処理を開始します。  
エクスポート処理が成功しました。  
C:¥TEMP>
```

例) インポート時

```
C:¥TEMP> sjSPU_MigrateData.exe -M IMP -h 123.456.789.10 -T ssmdb -P 5432 -D "C:¥temp" -d dump -S "C:¥temp2" -s  
sjSPU_MigrateSequenceInfo_20211224073702.xml  
バックアップ処理を開始します。  
バックアップ処理が成功しました。  
インポート処理を開始します。  
インポート処理が成功しました。  
C:¥TEMP>
```

データ移行コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	マスタデータのインポート/エクスポートに成功した場合
1	異常終了	不正なコマンドオプションが指定された場合
2		DB との接続に失敗した場合
3		インポート/エクスポートに失敗した場合
4		コマンドが二重起動された場合
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	エクスポート処理が成功しました。	エクスポートが正常に終了しました。	なし
	インポート処理が成功しました。	インポートが正常に終了しました。	なし
1	必要な数の引数が指定されていません。([コマンドライン])	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	不正な引数が指定されました。(""-""のみの引数が指定されています。[コマンドライン])		
	不正な引数が指定されました。(""-""以外の接頭文字引数が指定されています。[コマンドライン])		
	不正な引数が指定されました。([コマンドライン])		
	不正な引数が指定されました。([引数], [コマンドライン])		
	指定されたファイルは存在しません。([指定したシーケンス情報ファイル])		
2	指定されたバスが存在しません。([指定したシーケンス情報ファイルの出力先])	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	DB との接続に失敗しました。		
3	エクスポートに失敗しました。	DB データ移行コマンドが異常終了しました。	ユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
	インポートに失敗しました。		

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
4	データ移行コマンド (sjSPU_MigrateDBData.exe) は既に起動中です。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
6	環境変数「[環境変数名]」の名前解決が出来ません。 テーブル情報ファイル「[テーブル情報ファイルパス]」の読み込みに失敗しました。	コマンド起動時の予期せぬエラーが発生しました。	システム管理者へ連絡してください。

1.2.14.3 移行対象マスタ情報

移行対象のマスタの一覧を以下に示します。

項番	移行対象データ一覧
63	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/グループ
64	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/ユーザー
65	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/画面ポリシー
66	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/職責
67	管理者メニュー画面/ユーザー/ユーザー/認証サーバー
68	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/チーム
69	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/役割
70	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(共通)
71	管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(システム別)
72	管理者メニュー画面/マスタ/システム/システム
73	管理者メニュー画面/マスタ/システム/コード
74	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード自動選択設定
75	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード値別編集制御
76	管理者メニュー画面/機能別/コード値別/コード値別必須制御
77	管理者メニュー画面/マスタ/分類/分類
78	管理者メニュー画面/マスタ/会社・組織/会社
79	管理者メニュー画面/マスタ/会社・組織/組織

項番	移行対象データ一覧
80	管理者メニュー画面/マスタ/祝祭日/祝祭日
81	管理者メニュー画面/画面/画面定義/画面使用設定
82	管理者メニュー画面/画面/画面定義/メニュー
83	管理者メニュー画面/画面/画面定義/関連項目設定
84	管理者メニュー画面/画面/画面定義/申請先画面設定
85	管理者メニュー画面/画面/画面定義/入力文字制御
86	管理者メニュー画面/画面/画面定義/フリーワード検索対象定義
87	管理者メニュー画面/画面/画面定義/必須項目初期表示制御管理
88	管理者メニュー画面/機能別/承認フロー/承認フロー
89	管理者メニュー画面/機能別/承認フロー/承認フロールート
90	管理者メニュー画面/機能別/メールテンプレート/メールテンプレート
91	管理者メニュー画面/機能別/メールテンプレート/メールテンプレート(自動送信)
92	管理者メニュー画面/機能別/メール送信設定/メールアドレスチェック設定
93	管理者メニュー画面/機能別/分析/分析レポート
94	管理者メニュー画面/機能別/分析/分析レポート条件設定
95	管理者メニュー画面/機能別/SLAM チャート/SLAM チャート抽出条件設定
96	管理者メニュー画面/機能別/チェックリスト/チェックリスト条件設定
97	管理者メニュー画面/機能別/種別設定/種別条件設定
98	管理者メニュー画面/機能別/自動メール通知/自動メール通知条件設定
99	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携設定
100	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携先設定
101	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携元設定
102	管理者メニュー画面/機能別/Senju/SM 間連携管理/Senju/SM 間連携項目設定
103	管理者メニュー画面/機能別/Senju Family 連携管理/ランブックテンプレート
104	プロセス管理一覧/検索条件
105	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/問合せ元情報
106	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/問合せ元 2 情報
107	管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/表項目問合せ元情報
108	フレーム・ネット・ジョブ申請一覧/検索条件
109	管理者メニュー画面/制御情報/制御情報/制御情報

項番	移行対象データ一覧
110	管理者メニュー画面/機能別/メール送信設定/送信元設定
111	SSMDB サーバーコンフィグレータ/基本設定/ユーザー設定
112	管理者メニュー画面/機能別/帳票/帳票出力文字変換制御
113	管理者メニュー画面/機能別/業務ステータスマスタ管理
114	管理者メニュー画面/機能別/送信メッセージテンプレート
115	管理者メニュー画面/機能別/Webhook 送信設定
116	管理者メニュー画面/ラベル/ラベル
117	管理者メニュー画面/画面/レイアウト定義/簡易画面
118	管理者メニュー画面/画面/レイアウト定義/サービスデスク画面レイアウト
119	通常メニュー画面/外部連携/Senju Family 連携/業務グループ定義
120	管理者メニュー画面/機能別/外部ツール連携/ESP システムマスタ管理
121	管理者メニュー画面/機能別/WEBAPI 連携
122	管理者メニュー画面/画面/画面定義/日付項目チェック設定
123	管理者メニュー画面/画面/画面定義/関連項目設定
124	管理者メニュー画面/機能別/ナビゲーション設定



仕様補足

SLAM チャート、チェックリスト、種別設定、自動メール通知は条件設定以外は移行対象外です。
また移行先のサーバーに下記設定画面でデータが存在する場合、
下記の各設定画面適用条件の内容はデータ移行コマンド実施前と内容が一致しない恐れがあります。

- ・ 管理者メニュー画面/機能別/SLAM チャート/SLAM チャート設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/チェックリスト/チェックリスト適用設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/種別設定/種別適用設定
- ・ 管理者メニュー画面/機能別/自動メール通知/自動メール通知適用設定



仕様補足

データ移行コマンドを用いたデータの移行は、「インストールガイド」を参照してください。



仕様補足

データ移行コマンドでは、承認フロールートについて、サブルート情報の移行はサポートしていません。

1.2.15 IVR 連携コマンド (sjSPX_LinkDBData.ocx)

IVR 連携コマンド (sjSPX_LinkDBData.ocx) は、指定された項目を検索キーに構成管理の検索を行います。



必須設定

IVR 連携コマンドを利用する為には、日立情報通信エンジニアリング株式会社の「iCTNET/IX」がインストールされているサーバーに、SSMWEB サーバーがインストールされていることが前提です。



必須設定

IVR 連携コマンドの呼び出し元となるアプリケーションのアーキテクチャ (32bit/64bit) と SSMWEB サーバーおよび OracleClient のアーキテクチャは同一である必要があります。

1.2.15.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

ProgID

sjSPX_LinkDBData.SPXLinkCI

メソッド

上記 ProgID を指定してオブジェクトを生成することで以下のメソッドが使用できます。

項番	メソッド名	戻り値	引数			説明
			型	引数名	説明	
1	Initialize	正常 : 0 異常 : 1	文字列	InitFilePath	初期化情報ファイルのフルパスを指定してください。	オブジェクトの初期化処理を行うメソッドです。
2	ConnectDB	正常 : 0 異常 : 1	-	-	-	Senju/SM の DB へ接続するメソッドです。メソッド「Initialize」を呼び出す前に本メソッドを呼び出した場合、戻り値 1 となり、処理は行われません。

項番	メソッド名	戻り値	引数			説明
			型	引数名	説明	
3	DisconnectDB	正常 : 0 異常 : 1	-	-	-	Senju/SM の DB へ切断するメソッドです。メソッド「Initialize」を呼び出す前に本メソッドを呼び出した場合、戻り値 1 となり、処理は行われません。
4	SearchData	検索項目の 該当件数 存在あり : 1 以上 存在なし : 0 異常 : 0	文字列	SearchKey	検索対象項目を検索するキーを指定してください。	構成管理を検索します。 第 1 引数にはキー値となる顧客 ID の値を指定してください。 検索の結果複数レコードの場合、戻り値はレコード件数が返却されます。 検索対象項目は初期化情報ファイルにて設定します。初期化情報ファイルについては「1.2.15.2 ファイルの説明」を参照してください。 メソッド「Initialize」を呼び出す前に本メソッドを呼び出した場合、戻り値 0 となり、処理は行われません。



「iCTNET/IX」を使用する際、初期化情報ファイルのパス指定は「¥」ではなく、「¥¥」で行ってください。

必須設定



SearchData メソッドは「検索結果 : 該当件数なし」と「メソッドが異常終了」の場合に戻り値が 0 となります。戻り値が 0 の場合の切り分けは sjSPX_User_LinkDBData.log に出力された情報を参照し行ってください。

仕様補足



SearchData メソッドの検索対象は構成管理に「現在の構成」として登録されているデータが対象となります。

仕様補足

プロパティ

SearchData メソッドで検索した項目に対する返却項目は以下のプロパティを使用することで参照できます。返却項目は初期化情報ファイルにて設定します。初期化情報ファイルについては、「1.2.15.2 ファイルの説明」を参照してください。

項番	プロパティ名	戻り値の型	説明
1	ResultValue01	文字列	1 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
2	ResultValue02	文字列	2 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
3	ResultValue03	文字列	3 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
4	ResultValue04	文字列	4 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
5	ResultValue05	文字列	5 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
6	ResultValue06	文字列	6 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
7	ResultValue07	文字列	7 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
8	ResultValue08	文字列	8 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
9	ResultValue09	文字列	9 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
10	ResultValue10	文字列	10 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。
11	ResultValue11	文字列	11 番目に指定した返却項目を返すプロパティです。



返却項目が 12 個以降の返却項目は取得できません。

仕様補足



メソッドの呼び出し時間が 5 秒以上経過した場合、タイムアウトとして処理されます。タイムアウトとなった場合、メソッドの戻り値は異常で返却されます。

仕様補足



一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

操作説明

検索対象画面

管理者メニューにおける[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]内の「CTI 連携対象構成管理設定」に指定された構成管理の構成アイテムが検索対象となります。



制限事項

IVR連携コマンドの実行中に、データ移行コマンドとDB再構築コマンドの同時実行は、しないでください。

1.2.15.2 ファイルの説明

IVR 連携コマンドの実行に必要なファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	初期化情報ファイル	iniInfo.txt	オブジェクトを初期化する情報を指定するファイルです。
2	ユーザーログ	sjSPX_User_LinkDBData.log[.世代数]	IVR 連携コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。「%CCFSPWEBHOME%\log」フォルダに出力されます。

1. 初期化情報ファイル

本ファイルには、IVR 連携コマンドのオブジェクトを初期化する内容を記述します。記述する内容を以下に記載します。

項番	設定項目	説明
1	SystemName	検索対象のシステム名を指定します。 指定しない場合、全てのシステムが対象となります。
2	DataSourceName	検索対象となる SSMDDB サーバーに接続するためのデータソース名を指定します。
3	DBUserName	検索対象となる SSMDDB サーバーに接続するためのデータソースに指定されている DB ユーザー名を指定します。
4	DBUserPassword	検索対象となる SSMDDB サーバーに接続するためのデータソースに指定されている DB ユーザーのパスワードを指定します。
5	SearchColumns	検索対象項目を指定します。 指定する値は構成アイテム（構成管理）のラベル名称に追従します。 ラベル名を変更した場合、ラベル名に合わせて項目の変更を行ってください。
11	SearchResultColumns	返却項目を指定します。 指定する値は構成アイテム（構成管理）のラベル名称に追従します。 ラベル名を変更した場合、ラベル名に合わせて項目の変更を行ってください。 SearchResultColumns に指定可能な項目数は 1~11 項目です。

 SearchResultColumns に「,」を含む指定するラベル名を指定することはできません。
「,」を取り除いたラベル名にて指定してください。

 SearchColumns および SearchResultColumns に改行を含むラベル名を指定することはできません。
改行を取り除いたラベル名にて指定してください。

 SearchColumns および SearchResultColumns に指定する項目のラベル名が重複する場合、
想定と異なる可能性があるためラベル名は一意になるように設定をおこなってください。

初期化情報ファイルは設定項目と設定値をタブ区切りで指定します。
返却項目を複数指定する場合は設定値を「,」で区切って指定します。

例)

```
SystemName      営業システム
DataSourceName  ds-ssm
DBUserName      ssmuser
DBUserPassword  ssmpwd
SearchColumns   構成アイテム ID
SearchResultColumns  構成アイテム ID, 構成アイテム名, 保守日, 保守終了日, 区分, コンボボックス 1, コンボボックス 2,
                    コンボボックス 3, コンボボックス 4, 数値テキスト1, 数値テキスト2
```

 SystemName に値を指定しない場合でも、SystemName の後ろにタブを指定する必要があります。

2. ユーザーログ

IVR 連携コマンドの実行結果やエラー情報等のログ情報が出力されるファイルです。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダ

出力ファイル名

sjSPX_User_LinkDBData.log[. 世代数]

[. 世代数] : なし、または 1~7 の数値が付加される。
最新のログは世代数なし。
以降、新しい順に 1~7 の世代数がファイル名に付加される。
ファイルは、1MB 毎に 1 つ古い世代へシフトされ 7 世代を超えると削除される。

以降にユーザーログに出力されるログの内容を示します。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
1	ERROR	ライセンスが無効です。	CTI 連携のライセンスを保持していません。	CTI 連携のライセンスが有効なライセンスを検索対象の SSMDDB サーバーに登録してください。
2	ERROR	CTI 連携機能使用設定を使用しない設定になっています。	管理者メニュー上の[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「CTI 連携機能使用設定」が「使用しない」に設定されています。	検索対象の SSMDDB サーバー上で管理者メニューを開き、[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「CTI 連携機能使用設定」の設定を「使用する」に変更してください。
3	ERROR	不正な引数が指定されました。 ([引数名])	メソッドの引数に引数の型が合っていない値が設定されました。	ログに表示された引数名に指定されている値の型を指定してください。
4	ERROR	初期情報ファイル「[初期化情報ファイル]」の読み込みに失敗しました。	指定した初期化情報ファイル読み込みに失敗しました。	指定した初期化情報ファイルが存在すること、ファイルが読み込み可能になっていることを確認してください。
5	ERROR	[n]番目の返却項目は指定されていません。	指定したプロパティに該当する返却項目が指定されていません。	返却項目が指定したプロパティに値が入る個数分指定してください。

項番	レベル (※1)	出力ログ	意味	対応
6	ERROR	初期化処理が行われていません。	Initialize メソッドが呼び出される前に他のメソッドが呼び出されました。	IVR 連携コマンドオブジェクトを生成した後、必ず Initialize メソッドが呼び出し、初期化情報ファイルを読み込んでください。
7	ERROR	検索処理が行われていません。	SearchData メソッドが呼び出される前にプロパティが呼び出されました。	プロパティを指定して返却項目の値を取得する前に SearchData メソッドで検索を実施してください。
8	ERROR	タイムアウトが発生しました。	オブジェクトの処理が 5 秒以内に終わりませんでした。	・サーバーの負荷が高くなっていないか確認してください。 ・IVR 連携コマンドで使用しているデータソースの設定を確認してください。
9	WARN	該当する検索情報がありません。	該当する検索項目がありませんでした。	—
10	WARN	[設定項目]は対象外の項目名です。	初期化情報ファイルに指定した設定項目に誤りがあります。 初期化情報ファイルに不要な文言が記載されています。	初期化情報ファイルに指定する設定項目は決められた項目のみにしてください。

- ※1 レベルは「INFO」「NOTICE」「WARN」「ERROR」の4種類あります。
「INFO」は開始や経過、結果などを表す正常なログです。
「NOTICE」は適用された状態や注目して欲しい内容を表す正常なログです。
「WARN」は想定通りの結果にならない可能性のあることを表す警告ログです。
「ERROR」はコマンドの実行が継続できない異常な状態を表すログです。



仕様補足

同名のシステムが登録されていた場合、表示順が小さいシステムが検索対象となります。
表示順が同一の場合、先に登録されたシステムが検索対象となります。



仕様補足

検索した結果、該当レコードが複数件存在する場合、以下の順番でソートされ、
先頭になったレコードのみ ResultValue01~11 プロパティで取得できます。
システム名の表示順>先に登録されたシステム名>先に登録された構成アイテム（構成管理）のレコード

1.2.15.3 指定可能フィールド情報

IVR 連携コマンドで初期化情報ファイルの「SearchResultColumns」に指定可能な項目について記載します。

一覧は別紙「**項目一覧**」を参照してください。



必須設定

“メーカー”は機器情報ブロックとソフトウェア情報ブロックに存在します。
初期ラベル名は同一ラベル名であるため、ラベル名の変更を行ってください。



仕様補足

以下項目は検索画面および検索結果一覧画面にて使用されるラベル名に追随しています。

- ・ 設置日…設置日/設置終了日
- ・ 使用日…使用日/使用終了日
- ・ 保守日…保守日/保守終了日
- ・ 日付 1…日付 1/日付 1 終了日
- ・ 日付 2…日付 2/日付 2 終了日



仕様補足

指定できない項目を SearchResultColumns に指定した場合、すべての返却項目には空白が表示されま
す。

1.2.16 過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe)

過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe) は、指定した画面の過去データについて、オプションで指定した条件により一括削除します。

1.2.16.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_DeleteData.exe△[-M△処理モード]△-I△案件区分△[-i△画面 ID]△[-s△削除対象システム]△[-c△削除対象基準構成]△-[T△削除条件対象項目△-f△削除対象開始日△-t△削除対象終了日]△[-m△取込済イベント削除モード]△[-F △削除対象ファイル名]△[-a]△[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-M : 処理モード**

過去データ削除コマンドの処理モードを指定します。
処理モードには、REF と DEL のいずれか一つを指定可能です。

REF : 参照モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する削除対象の ID とタイトルを実行ログへ出力します。データの削除処理は行いません。

DEL : 削除モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する削除対象の ID とタイトルを実行ログへ出力し、その後、対象データの削除処理を行います。

引数が省略された場合は、REF モードで動作します。



制限事項

一度 DEL モードでデータを削除した後はキャンセルできません。
削除モードで実行する際は削除条件に注意して実行してください。

- **-I : 案件区分**

削除対象となる案件区分を指定します。

案件区分には、EVT、PRC、CIT のいずれか一つが指定可能です。

- EVT : イベント管理
- PRC : プロセス管理
- CIT : 構成管理
- FIL : ファイルライブラリ



仕様補足

構成管理は、メニュー：構成管理>構成管理>構成アイテム 1~50 を指します。

メニュー：構成管理>ID 管理>構成アイテム管理である構成アイテム管理 (ID 管理) は削除することはできません。

- **-i : 画面 ID**

削除対象となる案件区分の画面 ID を指定します。

画面 ID には、管理者メニューの[画面]-[画面定義]-[メニュー]の一覧に表示される「画面 ID」が指定可能です。

この引数は省略可能です。指定しない場合は、すべての画面が対象になります。

指定可能範囲は下記の通りです。

- イベント管理 : "03000001"
- プロセス管理 : "01000001"~"01000103"
- 構成管理 : "04000001"~"04000050"
- ファイルライブラリ : "10000001"

- **-s : 削除対象システム**

削除条件対象となるシステムのシステム名を指定します。

引数に指定されたシステム名が複数件マスタに登録されている場合、削除処理は実行できません。

システム名が一意になるように変更し、実行してください。

- **-c : 削除対象基準構成**

削除条件の検索範囲となる構成を指定します。

削除対象基準構成の指定は、案件区分(-I 指定項目)が「CIT」の場合のみ可能です。案件区分が「CIT」以外の場合または構成管理のレコードに登録された添付ファイルのみを削除する場合には指定できません。

削除対象基準構成には LATEST、CURRENT、HISTORY のいずれか一つが指定可能です。

- LATEST : 最新の構成を削除条件の検索範囲として、削除対象の最新の構成、現在の構成、履歴を削除する。
- CURRENT : 現在の構成を削除条件の検索範囲として、削除対象の最新の構成、現在の構成、履歴を削除する。
- HISTORY : 履歴を削除条件の検索範囲として、削除対象の履歴のみを削除する。

この引数は省略可能です。指定しない場合は、「LATEST」が指定されます。



仕様補足

構成管理のレコードに登録された添付ファイルを削除したい場合、「-T」及び「-a」のみを指定し、「-c」は指定しないでください。

- **-T : 削除条件対象項目**

削除処理の抽出対象となる日付項目を指定します。

削除条件対象項目には、CREATE、UPDATE、CLOSE、ATTACHMENT のいずれか一つを指定可能です。

- CREATE : 起票日を削除条件とする。
- UPDATE : 最終更新日を削除条件とする。
- CLOSE : クローズ日を削除条件とする。
- ATTACHMENT : 添付ファイルの最終更新日を削除条件とする。

案件区分(-I 指定項目)が「CIT」の場合、UPDATE、CLOSE は指定できません。

案件区分(-I 指定項目)が「EVT」、「FIL」の場合は、CLOSE は指定できません。

「-a」が指定されていない場合、ATTACHMENT は指定できません。



仕様補足

「-c」を指定する場合、削除条件対象項目(-T 指定項目)は「CREATE」のみ指定できます。



仕様補足

削除対象基準構成は「LATEST」、削除条件対象項目は「CREATE」、削除対象開始日は「2014-01-01」、削除対象終了日は「2014-05-30」と指定する場合、起票日が「2014-01-01～2014-05-30」範囲の最新の構成アイテム、および同じ構成アイテムの現在の構成、履歴が全て削除対象となります。

- **-f : 削除対象開始日**

削除条件対象項目オプションで指定された項目に対する、削除対象開始日を“YYYY-MM-DD”形式で指定します。

削除対象開始日には“1970-01-01”以降の日付を指定可能です。

- **-t : 削除対象終了日**

削除条件対象項目オプションで指定された項目に対する、削除対象終了日を“YYYY-MM-DD”形式で指定します。

削除対象終了日には“2100-12-31”以前の日付を指定可能です。

- **-m : 取込済イベント削除モード**

取込済イベントを削除対象とするかを指定します。

イベント取込を行ったイベントを削除対象としない場合、「0」を指定します。

イベント取込を行ったイベントを削除対象とする場合、「1」を指定します。

省略した場合、指定値を「0」と判断し取込済イベントを削除しません。

案件区分(-I 指定項目)が「EVT」の場合、指定可能です。

案件区分が「EVT」以外の時には指定できません。



仕様補足

取込済イベント削除モードに「1」を指定した場合、
イベント取込によって登録されたプロセスおよびプロセスの経過から
「イベント戻し」を行うことができません。

- **-F : 削除対象ファイル名**

削除対象ファイル名には、削除対象の表示用登録番号が記述されたファイルのフルパスを指定します。

この引数は省略可能です。指定しない場合は、削除条件対象項目を指定してください。

一度に指定できるファイルは 1 ファイルです。

※削除対象ファイルの詳細については、後述の「**1.2.16.3 ファイルの説明**」を参照してください。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。



仕様補足

「-T」「-f」「-t」あるいは「-F」を必ず指定してください。
同時指定することはできません。

- **-a**

添付ファイルのみ削除する場合指定します。

削除対象基準構成(-c 指定項目)が指定されている場合は指定できません。

案件区分(-I 指定項目)が「FIL」の場合は指定できません。

- **--help**

Usage を表示します。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

過去データ削除コマンドにてデータを削除した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

過去データ削除コマンドを同時実行した場合、後で実施するコマンドの削除対象が先に実施するコマンドに含めた時、後で実施する削除コマンドがエラーになります。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB 再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.16.2 実行結果

過去データ削除コマンドを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

例) プロセス管理を 100000 件削除した場合

```
C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\bin>sjSPU_DeleteData -M DEL -I PRC -T CREATE -f 1970-01-01 -t 2005-12-31
処理対象件数: 100000 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\log\sjSPU_DeleteData_DEL_PRC_20080101235959.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData -M DEL -I PRC -T CREATE -f 1970-01-01 -t 2005-12-31
```

過去データ削除コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	コマンドオプションの指定に誤りがある場合
2		データベース接続に異常がある場合
11		sjSPB_DBConf.xml からの DB 情報の取得に失敗した場合
13		引数-M の指定に誤りがある場合
14		引数-I が指定されていない場合
15		引数-I の指定に誤りがある場合
16		引数-T が設定されていない場合
17		引数-T の指定に誤りがある場合
18		引数-f が設定されていない場合
19		引数-f の指定に誤りがある場合
20		引数-t が設定されていない場合
21		引数-t の指定に誤りがある場合
22		引数-t に指定された日付が引数-f に指定された日付以前である場合
23		実行ログファイルの作成に失敗した場合
24		実行ログファイルへの出力に失敗した場合
25	引数-i の指定に誤りがある場合	

終了コード	説明	状況
28		引数-mの指定に誤りがある場合
29		引数-Mの値が「EVT」「CND」以外で引数-mが指定された場合
30		引数-sに指定されたシステムが存在しない場合
31		引数-sに指定されたシステムが複数存在する場合
32		引数-cの指定に誤りがある場合
33		引数-Mの値が「CIT」以外で引数-cが指定された場合
34		引数-cと引数-a両方が指定された場合
38		引数-Fと引数-T、-f、-t両方が指定された場合
39		削除対象ファイル名が空で指定された場合
40		不存在な削除対象ファイル名が指定された場合
41		指定された削除対象ファイルにデータがない場合
42		指定された削除対象ファイルのデータが不正の場合
99	異常終了	上記以外のエラーの場合

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
0	処理が正常に終了しました。	ログ出力が完了し、処理が終了しました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定されたコマンドオプションに不正なものが含まれています。	コマンドオプションの確認をしてください。
2	DBとの接続に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定したDSNでSSM DBサーバーに接続できません。	SSM DBサーバーの状態、DBサーバー上のDBの稼働状況を確認してください。 DBプロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DBが接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
11	sJSPB_DBConf.xmlからのDB情報の取得に失敗しました。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sJSPB_DBConf.xmlからDB情報の取得に失敗しました。	SSM DBサーバーコンフィグレータにてDB接続設定を確認してください。

終了コード	出カメッセージ	意味	対応
13	パラメータエラー：処理モードの指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	処理モードの指定に誤りがあります。	引数-Mに指定した処理モードを確認してください。
14	パラメータエラー：案件種別が指定されていません。	案件種別が指定されていません。	引数-Iが指定されているか確認してください。
15	パラメータエラー：案件種別の指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	案件種別の指定に誤りがあります。	引数-Iに指定された案件種別を確認してください。
16	パラメータエラー：削除条件対象項目が設定されていません。	削除条件対象項目が設定されていません。	引数-Tが指定されているか確認してください。
17	パラメータエラー：削除条件対象項目の指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	削除条件対象項目の指定に誤りがあります。	引数-Tに指定された削除条件対象項目を確認してください。
18	パラメータエラー：削除対象開始日が設定されていません。	削除対象開始日が設定されていません。	引数-fが指定されているか確認してください。
19	パラメータエラー：削除対象開始日の指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	削除対象開始日の指定に誤りがあります。	引数-fに指定された削除対象開始日を確認してください。
20	パラメータエラー：削除対象終了日が設定されていません。	削除対象終了日が設定されていません。	引数-tが指定されているか確認してください。
21	パラメータエラー：削除対象終了日の指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	削除対象終了日の指定に誤りがあります。	引数-tに指定された削除対象終了日を確認してください。
22	パラメータエラー：削除対象終了日は削除対象開始日以降の日付を指定してください。（開始日：削除対象開始日＞終了日：削除対象終了日）	削除対象開始日と削除対象終了日の関係が不正です。 （削除対象開始日＞削除対象終了日）	引数-tに指定する日付は引数-fに指定する日付以降の日付か確認してください。
23	実行ログファイルの作成に失敗しました。（エラー詳細）	実行ログファイルの作成に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
24	実行ログファイルへの出力に失敗しました。（エラー詳細）	実行ログファイルへの出力に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
25	パラメータエラー：画面 ID の指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	画面 ID の指定に誤りがあります。	引数-i に指定された画面 ID を確認してください。
28	パラメータエラー：取込済イベント削除モードの指定に誤りがあります。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	取込済イベント削除モードの指定に誤りがあります。	引数-m に指定されている削除モードを確認してください。
29	「-m」オプションは「EVT」「CND」の時以外指定できません。	案件種別「EVT」「CND」以外の時に-m オプションに対して「1」が指定されました。	引数-I に指定されている案件種別を確認してください。 「EVT」「CND」以外は引数-m を指定できません。
30	指定されたシステムは存在しません。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	削除対象システムに指定されたシステム名が存在しません。	引数-s に指定されたシステムを確認してください。
31	指定されたシステムは複数件存在しません。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	削除対象システムに指定されたシステム名が複数件存在します。	引数-s に指定されたシステムが一意に定まるように修正後、再度実行してください。
32	パラメータエラー：削除対象基準構成の指定に誤りがあります。	削除対象基準構成の指定に誤りがあります。	引数-c に指定された削除対象基準構成を確認してください。
33	「-c」オプションは「CIT」の時以外指定はできません。	案件種別「CIT」以外の時に-c オプションが指定されました。	引数-I と引数-c を確認してください。
34	「-a」オプションは「-c」オプションが指定されている場合、指定はできません。	「-a」オプションと「-c」オプションが指定されました。	引数-a または引数-c のいずれかを指定し、再度実行してください。
36	「-a」オプションは「FIL」の時指定はできません。	案件種別「FIL」の時に「-a」オプションが指定されました。	引数-I と引数-a を確認してください。
38	「-F」オプションは「-T」「-f」「-t」オプションが指定されている場合、指定はできません。	「-F」オプションと「-T」「-f」「-t」オプションが指定されました。	引数-F または引数-T、-f、-t のいずれかを指定し、再度実行してください。
39	パラメータエラー：削除対象ファイル名が指定されていません。	削除対象ファイル名が空で指定されました。	引数-F に指定されたファイルパスを確認してください。
40	削除対象ファイルが存在しません。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	不存在な削除対象ファイル名が指定されました。	引数-F に指定されたファイルパスを確認してください。
41	削除対象ファイルに情報が存在しません。（ユーザー指定値及びエラー詳細）	指定された削除対象ファイルにデータがありません。	指定された削除対象ファイルにデータを入力してください。

終了コード	出力メッセージ	意味	対応
42	削除対象ファイルに指定された行のデータを 256 バイト以内にしてください。 (ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定された削除対象ファイルの各行のデータが 256 バイトを超過しました。	指定された削除対象ファイルの各行のデータを 256 バイト以内にしてください。
99	処理に失敗しました。	上記以外のエラーです。	カスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.16.3 ファイルの説明

過去データ削除コマンド実行時に用いるファイルと出力されるファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	実行ログファイル	sjSPU_DeleteData_[処理モード]_[案件種別]_YYYYMMDDhhmmss. log	過去データ削除コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダに出力されます。 [処理モード]：指定した処理モードです。DEL/REF となります。 [案件種別]：指定した案件種別です。EVT/PRC/CIT/FIL となります。 [YYYYMMDD]：コマンド実行日です。 [hhmmss]：コマンド実行時間です。(24 時間表記)
2	削除対象ファイル	任意のファイル名	削除対象の表示用番号を記述するファイルです。 コマンドオプションの「削除対象ファイル名」で指定します。



出力される実行ログファイル名が重複した場合、ファイル名は以下のようになります。

sjSPU_DeleteData_[処理モード]_[案件区分]_YYYYMMDDhhmmss_[連番]. log

仕様補足

[連番]：ファイル名が重複していた場合、「001」～「999」の連番が付与されます。

1. 実行ログファイル

実行ログの出力内容を以下に示します。

項番	出力フィールド名	説明
1	処理モード	指定した処理モードです。DEL/REF が出力されます。
2	案件種別	指定した案件種別です。EVT/PRC/CIT/FIL が出力されます。 また、案件種別に EVT を指定し、かつ取込済イベント削除モードを 1 とした場合、EVT(取込済イベント削除モード)が出力されます。

項番	出力フィールド名	説明
3	削除対象のシステム名	指定した削除対象システムです。未指定の場合は「指定無し」が出力されます。
4	削除対象基準構成	削除対象基準構成が指定された場合のみ出力されます。 LATEST の場合：「最新の構成」 CURRENT の場合：「現在の構成」 CIT の場合：「履歴」
5	削除条件対象項目	指定した削除条件対象項目です。CREATE/UPDATE/CLOSE/ATTACHMENT が出力されます。 未指定の場合は「指定無し」が出力されます。
6	削除対象の開始日	指定した削除対象開始日が出力されます。 未指定の場合は「指定無し」が出力されます。
7	削除対象の終了日	指定した削除対象終了日が出力されます。 未指定の場合は「指定無し」が出力されます。
8	添付ファイルのみ削除	-a を指定した場合「ON」、-a を指定しない場合「OFF」が出力されます。
9	削除対象	指定した案件種別が出力されます。 EVT の場合：「イベント管理情報」 PRC の場合：「プロセス管理情報」 CIT の場合：「構成アイテム（構成管理）情報」 FIL の場合：「ファイルライブラリ情報」
10	画面 ID	指定した画面 ID が出力されます。 未指定の場合はオプションで指定した条件に合致した画面 ID が出力されます。
11	登録番号, タイトル※	案件種別に EVT/PRC を指定し、かつ削除条件対象項目を ATTACHMENT 以外とした場合、削除対象の登録番号とタイトルが出力されます。
12	登録番号, タイトル添付ファイル名, ファイルサイズ(byte) ※	案件種別に FIL を指定した場合、削除対象の登録番号とタイトルが出力されます。
13	構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日※	案件種別に CIT を指定し、かつ削除条件対象項目を ATTACHMENT 以外とした場合、削除対象の構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日が出力されます。
14	登録番号, タイトル, 添付ファイル名, ファイルサイズ(byte) ※	案件種別に EVT/PRC を指定し、かつ削除条件対象項目を ATTACHMENT とした場合、削除対象の登録番号, タイトル, 添付ファイル名, ファイルサイズ(byte) が出力されます。
15	構成種別, 構成アイテム ID, 構成アイテム名, 添付ファイル名, ファイルサイズ(byte)	案件種別に CIT を指定し、かつ削除条件対象項目を ATTACHMENT とした場合、削除対象の構成種別, 構成アイテム ID, 構成アイテム名, 添付ファイル名, ファイルサイズ(byte)
16	削除対象件数	削除対象の件数が出力されます。

※…項番 11～15 はコマンドオプションに指定した条件によりいずれかが出力されます。

例) コマンドオプションを以下で指定した場合(実行日時は 2014/07/01 09:01:30 とした場合)

```
sjSPU_DeleteData -M REF -I PRC -T CREATE -s 営業システム -f 2014-01-01 -t 2014-06-30
```

```
sjSPU_DeleteData_REF_PRC_20140701090130.log
```

```
処理モード: REF  
案件種別: PRC  
削除対象のシステム名: 営業システム  
削除条件対象項目: CREATE  
削除対象の開始日: 2014-01-01  
削除対象の終了日: 2014-06-30  
添付ファイルのみ削除: OFF  
削除対象: プロセス管理情報  
画面 ID: 01000001  
登録番号, タイトル  
0000000000000001, 営業実績(1 月分)  
画面 ID: 01000005  
0000000000000023, トラブル管理  
  
...  
削除対象件数: 23
```

例えばプロセスを削除した場合は、そのプロセスに登録される全ての情報（添付ファイルやエスカレーションの情報）が削除されます。以下に案件種別毎に削除される情報を記載します。

案件区分	削除データ
プロセス管理	プロセス管理情報
	関連情報 (関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成/申請対象機器)
	エスカレーション情報
	登録元となったイベント管理の情報
	添付ファイル情報
	確認情報
	経過情報
	チェックリスト
	プロセス外部リンク情報
	評価情報
イベント管理	イベント管理情報
	関連情報 (関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成)
	添付ファイル情報
	経過情報
構成管理	現在の構成/最新の構成/全ての履歴
	関連情報 (関連プロセス/関連申請/関連構成/接続先機器/接続機器)
	添付ファイル情報
ファイルライブラリ	ファイルライブラリ情報
	添付ファイル情報



仕様補足

関連情報の削除は、関連先のチケットが削除対象でない場合は関連の紐づけだけが削除され、
関連先のチケット自体は削除されません。

2. 削除対象ファイル

本ファイルには削除対象のレコードの表示用番号を記述します。
削除対象のレコードの表示用番号を 1 行 1 表示用番号で指定します。
複数の行で複数の表示用番号を指定できます。
表示用番号はダブルクォートで囲まないでください。
空行を指定する場合、無視します。

削除対象ファイルの記述例は「1.2.16.4 設定ケーススタディ」の「プロセス管理の削除対象ファイル名指定削除」を参照してください。



仕様補足

削除対象ファイルに指定された行のデータを 256 バイト以内にしてください。

1.2.16.4 設定ケーススタディ

ここでは以下の6ケースを用いて具体的な削除手順を示します。

No	タイトル
1	イベント取込みを実施したイベントデータを含むイベント管理の削除件数参照
2	プロセス管理のシステム指定削除
3	構成管理の削除対象基準構成指定削除
4	プロセス管理の添付ファイルの削除
5	ファイルライブラリのシステム指定削除
6	プロセス管理の削除対象ファイル名指定削除

1. イベント取込みを実施したイベントデータを含むイベント管理の削除件数参照

前提条件：

処理モードは「REF」、削除条件対象項目は「UPDATE」、画面 ID 未指定とします。

削除する情報：

以下に削除するイベント情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目) ※イベント取込み未実施	(2 件目) ※イベント取込み未実施	(3 件目) ※イベント取込み済	プロセス管理 ※3 件目の取込イベント情報
(項目名)	(値)			
レコード ID	000000000000001	000000000000002	000000000000003	000000000000001
タイトル	取込イベント 1	取込イベント 2	取込イベント 3	取込イベント 3 (プロセス取込済)
起票日	2013/07/31	2013/10/15	2013/12/31	2014/01/06
最終更新日	2013/08/31	2013/10/16	2013/12/31	2014/01/06

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -MREF-IEVT-T UPDATE -f 2013-08-01 -t 2013-12-31 -m 1
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -MREF-IEVT-T UPDATE -f 2013-08-01 -t 2013-12-31 -m 1
処理対象件数：3 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥CGFSP¥CGFSPDB¥log¥sjSPU_DeleteData_REF_EVT_20140327162419.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData.exe -MREF-IEVT-T UPDATE -f 2013-08-01 -t 2013-12-31 -m 1

C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示したイベント情報のレコードが表示されます。

```
処理モード：REF
案件種別：EVT(取込済イベント削除モード)
削除対象のシステム名：指定無し
削除条件対象項目：UPDATE
削除対象の開始日：2013-08-01
削除対象の終了日：2013-12-31
添付ファイルのみ削除：OFF
削除対象：イベント管理情報
画面 ID：03000001
0000000000000001:取込イベント1
0000000000000002:取込イベント2
0000000000000003:取込イベント3
削除対象件数：3
```

「削除する情報」で示したイベント情報は削除されません。

2. プロセス管理のシステム指定削除

前提条件：

処理モードは「DEL」、削除条件対象項目は「CLOSE」、画面 ID 未指定とします。

削除する情報：

以下に削除するプロセス情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	01000001	01000002
レコード ID	0000000000000001	0000000000000002
タイトル	承認プロセスデータ 1-1	管理プロセスデータ 2-1
システム	営業システム	営業システム
起票日	2013/08/31	2013/12/31
ステータス	クローズ	クローズ
クローズ日	2013/09/01	2013/12/31

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -MDEL-IPRC-T CLOSE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -MDEL-IPRC-T CLOSE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
処理対象件数： 2 件
削除件数： 2 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥CCFSP¥CCFSPDB¥log ¥sjSPU_DeleteData_DEL_PRC_20140327164953.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData.exe -MDEL-IPRC-T CLOSE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31

C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示したプロセス情報のレコードが表示されます。

```
処理モード： DEL
案件種別： PRC
削除対象のシステム名： 営業システム
削除条件対象項目： CLOSE
削除対象の開始日： 2013-08-31
削除対象の終了日： 2013-12-31
添付ファイルのみ削除： OFF
削除対象： プロセス管理情報
画面 ID： 01000001
0000000000000001:承認プロセスデータ 1-1
画面 ID： 01000002
0000000000000002:管理プロセスデータ 2-1
削除対象件数： 2
```

「削除する情報」で示したプロセス情報が削除されます。

3. 構成管理の削除対象基準構成指定削除

前提条件：

処理モードは「DEL」、削除条件対象項目は「CREATE」、画面 ID は「04000005」、削除対象基準構成は「LATEST」とします。

削除する情報：

以下に削除する構成情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	04000005	04000005
レコード ID	0000000000000001	0000000000000002
タイトル	サーバー管理 1	サーバー管理 2
起票日	2013/08/31	2013/12/31
最終更新日	2013/09/01	2013/12/31

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I CIT -T CREATE -i 04000005 -c LATEST -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I CIT -T CREATE -i 04000005 -c LATEST -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
処理対象件数： 2 件
削除件数： 2 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥CCFSP¥CCFSPDB¥log ¥sjSPU_DeleteData_DEL_CIT_20140327173524.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData.exe -MDEL-ICIT-T CREATE -i 04000005 -c LATEST -f 2013-08-31 -t 2013-12-31

C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示した構成情報のレコードが表示されます。

```
処理モード： DEL
案件種別： CIT
削除対象のシステム名： 指定無し
削除対象基準構成： 最新の構成
削除条件対象項目： CREATE
削除対象の開始日： 2013-08-31
削除対象の終了日： 2013-12-31
添付ファイルのみ削除： OFF
削除対象： 構成アイテム（構成管理）情報
画面 ID： 04000005, 起票日
0000000000000001:サーバー管理 1, 20130831
0000000000000002:サーバー管理 2, 20131231
削除対象件数： 2
```

「削除する情報」で示した構成情報が削除されます。

4. プロセス管理の添付ファイルの削除

前提条件：

処理モードは「DEL」、削除条件対象項目は「ATTACHMENT」、画面 ID は「01000010」とします。

削除する情報：

以下に削除するプロセス情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	01000010	01000010
レコード ID	0010000000000001	0010000000000002
タイトル	A 社様発注管理	C 社様発注管理
システム	営業システム	営業システム
起票日	2013/08/31	2013/12/31
添付ファイル 1	発注表 (A 社) .csv (212KB)	発注表 (C 社) .csv (1MB)
添付ファイル 2	納品書.txt (10KB)	(なし)
最終更新日	2013/10/01	2014/01/23

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -T ATTACHMENT -i 01000010 -f 2013-10-01 -t 2014-01-31 -a
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -T ATTACHMENT -i 01000010 -f 2013-10-01 -t 2014-01-31 -a
処理対象件数： 3 件
削除件数： 3 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥CCFSP¥CCFSPDB¥log ¥sjSPU_DeleteData_DEL_CIT_20140401173524.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -T ATTACHMENT -i 01000010 -f 2013-10-01 -t 2014-01-31 -a

C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示した構成情報のレコードが表示されます。

```
処理モード： DEL
案件種別： PRC
削除対象のシステム名： 指定無し
削除条件対象項目： ATTACHMENT
削除対象の開始日： 2013-10-01
削除対象の終了日： 2014-01-31
添付ファイルのみ削除： ON
削除対象： プロセス管理情報
画面 ID： 01000010
登録番号, タイトル, 添付ファイル名, ファイルサイズ (byte)
001000000000001, A 社様発注管理, 発注表 (A 社) . csv, 217088
001000000000001, A 社様発注管理, 納品書. txt, 10240
001000000000002, C 社様発注管理, 発注表 (C 社) . csv, 1048576
削除対象件数： 3
```

「削除する情報」で示したプロセス管理の添付ファイル情報が削除されます。

5. ファイルライブラリのシステム指定削除

前提条件：

処理モードは「DEL」、削除条件対象項目は「CREATE」、画面 ID 未指定とします。

削除する情報：

以下に削除するファイルライブラリ情報を記載します。

削除対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
画面 ID	10000001	10000001
レコード ID	0000000000000001	0000000000000002
タイトル	ファイルライブラリデータ 1-1	ファイルライブラリデータ 2-1
システム	営業システム	営業システム
起票日	2013/08/31	2013/12/31
添付ファイル	発注表 (A 社) .csv (212KB)	発注表 (C 社) .csv (1MB)

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I FIL -T CREATE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I FIL -T CREATE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31
処理対象件数： 2 件
削除件数： 2 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥CCFSP¥CCFSPDB¥log ¥sjSPU_DeleteData_DEL_FIL_20140327164953.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I FIL -T CREATE -s 営業システム -f 2013-08-31 -t 2013-12-31

C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示したプロセス情報のレコードが表示されます。

```
処理モード： DEL
案件種別： FIL
削除対象のシステム名： 営業システム
削除条件対象項目： CREATE
削除対象の開始日： 2013-08-31
削除対象の終了日： 2013-12-31
添付ファイルのみ削除： OFF
削除対象： ファイルライブラリ情報
画面 ID： 10000001
登録番号, タイトル
0000000000000001, ファイルライブラリデータ 1-1
0000000000000002, ファイルライブラリデータ 2-1
削除対象件数： 2
```

「削除する情報」で示したファイルライブラリ情報が削除されます。

6. プロセス管理の削除対象ファイル名指定削除

前提条件：

処理モードは「DEL」、削除条件対象項目と画面 ID 未指定とします。

削除対象ファイル (C:\DeleteProcessData.txt)

```
0000000000000001
0000000000000002
```

削除する情報：

以下に削除するプロセス情報を記載します。

削除対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
画面 ID	01000001	01000002
レコード ID	0000000000000001	0000000000000002
タイトル	承認プロセスデータ 1-1	管理プロセスデータ 2-1
システム	営業システム	営業システム
起票日	2013/08/31	2013/12/31
ステータス	クローズ	クローズ
クローズ日	2013/09/01	2013/12/31

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:\TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -s 営業システム -F "C:\DeleteProcessData.txt"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -s 営業システム -F "C:¥DeleteProcessData.txt"  
処理対象件数： 2 件  
削除件数： 2 件  
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。  
C:¥CCFSP¥CCFSPDB¥log ¥sjSPU_DeleteData_DEL_PRC_20140327164953.log  
処理が正常に終了しました。  
sjSPU_DeleteData.exe -M DEL -I PRC -s 営業システム -F "C:¥DeleteProcessData.txt"  
  
C:¥TEMP>
```

実行ログファイルに「削除する情報」で示したプロセス情報のレコードが表示されます。

```
処理モード： DEL  
案件種別： PRC  
削除対象のシステム名： 営業システム  
削除条件対象項目： 指定無し  
削除対象の開始日： 指定無し  
削除対象の終了日： 指定無し  
添付ファイルのみ削除： OFF  
削除対象： プロセス管理情報  
画面 ID： 01000001  
0000000000000001:承認プロセスデータ 1-1  
画面 ID： 01000002  
0000000000000002:管理プロセスデータ 2-1  
削除対象件数： 2
```

「削除する情報」で示したプロセス情報が削除されます。

1.2.17 マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteMst.exe)

マスタ削除コマンドは、指定されたマスタ名のデータを削除します。

1.2.17.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPU_DeleteMst.exe△-c△マスタ名△(-r | -f 削除対象ファイル名 | -u)△[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-c : マスタ名**
削除対象とするマスタを指定します。省略できません。
指定できるマスタを以下に記載します。

マスタ区分	マスタ名
会社情報	会社
組織情報	組織
問合せ元情報	問合せ元
問合せ元情報 2	問合せ元 2
表項目問合せ元情報	表項目問合せ元
チーム情報	チーム
グループ情報	グループ

- **-r**
全削除指定オプションです。マスタデータを削除する場合に指定します。
マスタ名が「問合せ元」もしくは「問合せ元 2」もしくは「表項目問合せ元」の場合、省略できません。
マスタ名が「会社」または「組織」を指定し、-f オプションが指定されている場合、指定できません。

マスタ名が「グループ」の場合、指定できません。

- **-f : 削除対象ファイル名**

削除の対象となる会社、組織マスタのデータが記述された任意のファイルをフルパスで指定します。

一度に指定できるファイルは1ファイルです。

マスタ名が「グループ」の場合、省略できません。

処理途中にエラー終了した場合、すべての削除処理はキャンセルされます。

※削除対象ファイルの詳細については、後述の「**1.2.17.3 ファイルの説明**」を参照してください。

※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。

- **-u**

ユーザーのチーム×役割で設定されていないチームを削除する場合指定します。

- **--help**

Usage を表示します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

操作説明



一度データを削除した後はキャンセルできません。
削除を実行する際は御注意ください。

制限事項



削除対象ファイル名を指定した際、
ファイルに指定されたシステム名が全て Web 画面に登録されている場合、
マスタデータの削除が行われます。

仕様補足



マスタ削除コマンドにてデータを削除した場合、
DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB 再構築コマンドの使用方法につきましては
「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB
再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。

制限事項



制限事項

- 以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。
- ・システム登録コマンド
 - ・コード登録コマンド
 - ・マスタ登録コマンド
 - ・分類マスタ登録コマンド
 - ・データ登録コマンド
 - ・構成管理反映コマンド
 - ・データ移行コマンド
 - ・DB再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.17.2 実行結果

マスタ削除コマンドを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe-c 問合せ元 -r
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

マスタ削除コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合
0	正常終了	マスタ削除に成功した場合。
1	異常終了	不正なコマンドオプションが指定された場合。
2		DB との接続に失敗した場合。
3		マスタ削除に失敗した場合。
4		コマンドが二重起動された場合。
6		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合。
7		不正なシステムが指定された場合。
8		会社マスタ削除時、会社マスタに紐づく組織マスタが登録されている場合。

終了コードに対応した標準出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	マスタ削除処理が正常に終了しました。	マスタ削除コマンドが正常終了しました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
	指定ファイルは、存在しないか無効です。	-f に指定されたファイル名が存在しないまたは、無効なファイルが指定されました。	指定した削除対象ファイル名が存在するかまたは、無効なファイルでないか確認してください。
	ファイルが指定されていません。	-f 指定時にファイルが指定されていません。	-f 指定時にファイルを指定してください。
	「会社」・「組織」削除時は、-r または -f オプションのどちらか一方を指定してください。	「会社」・「組織」削除時に -r と -f がどちらも指定されていません。	「会社」・「組織」削除時に -r と -f がどちらか一方を指定してください。
	「問合せ元」もしくは「問合せ元 2」削除時は、-f オプションは指定できません。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」削除時に -f が指定されました。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」削除時に -f を指定しないでください。
	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」削除時は、-r オプションを指定してください。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」削除時に -r が指定されていません。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」削除時に -r を指定してください。
	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」・「会社」・「組織」・「グループ」削除時は、-u オプションは指定できません。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」・「会社」・「組織」・「グループ」削除時に -u が指定されています。	「問合せ元」・「問合せ元 2」・「表項目問合せ元」・「会社」・「組織」・「グループ」削除時に -u を指定しないでください。
	「チーム」削除時は、-r または -f または -u オプションのどちらか一方を指定してください。	「チーム」削除時に -r, -f, -u オプションがいずれも指定なし、または -r, -f, -u オプションが複数指定されています。	「チーム」削除時は、-r または -f または -u オプションのどれかひとつを指定してください。
	「グループ」削除時は、-f オプションを指定してください。	「グループ」削除時に -f が指定されていません。	「グループ」削除時は、-f オプションを指定してください。
2	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
3	マスタ削除処理が異常終了しました。	マスタ削除に失敗しました。	ユーザーログを参照して処理結果を確認してください。
4	コマンドが二重起動されました。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
6	致命的なエラー：MFC の初期化ができませんでした。	コマンド起動時の MFC の初期化に失敗した。	システム管理者へ連絡してください。
	致命的なエラー：CoInitialize の初期化ができませんでした。	コマンド起動時の COM の初期化に失敗した。	
7	システム「(システム名)」が存在しません。	-f で指定した削除対象ファイル内のシステム名が存在しません。	存在するシステム名を指定してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
8	組織マスタデータが存在するため削除処理は行いません。	会社マスタ削除時に、削除対象の会社に組織が存在しています。	会社マスタを削除する際は、会社中存在する組織マスタを削除してから、会社マスタを削除してください。
9	削除条件ファイルのフォーマットが不正です。	組織マスタ削除時に、指定ファイルのフォーマットが不正です。	組織マスタ削除時は、指定ファイルのフォーマットを確認してください。



制限事項

会社マスタを削除する際は、会社中存在する組織マスタを削除してから、会社マスタを削除してください。

1.2.17.3 ファイルの説明

マスタ削除コマンドで必要となる「削除対象ファイル」について記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	削除対象ファイル	任意のファイル名	削除対象となる下記の項目を記述します： <ul style="list-style-type: none"> ・会社マスタ情報に関連づくシステム名 ・組織マスタ情報に関連づくシステム名と組織名 ・チームマスタ情報に関連づくチーム名 ・グループマスタ情報に関連づくグループ名

以降に各ファイルの内容を記載します。

1. 削除対象ファイル

本ファイルには下記の項目名を記述します。

- 会社
会社マスタ情報に関連づくシステム名
※複数システムを削除対象とする場合、行単位でシステム名を記述してください。
※削除対象ファイルに指定されたシステムに紐づく会社情報が複数登録されている場合は、全ての会社が削除対象となります。

- 組織
組織マスタ情報に関連づくシステム名と組織名
※システム名と組織名両方を記述してください。
必ずコンマでシステム名と組織名を分けてください。
必ずダブルクォートでシステム名と組織名を囲んでください。
"...", "... " の形でない場合はフォーマット不正エラーとなります。
※システム名あるいは組織名を空で指定可能です。
システム名と組織名両方を指定する場合、指定されたシステム配下の指定された組織を削除します。
システム名を空で指定する場合、指定された組織名をキーワードとして、全システム配下の指定組織を削除します。
組織名を空で指定する場合、指定されたシステム名をキーワードとして、指定システム配下の全組織を削除します。
システム名と組織名両方を空で指定する場合、該当行がスキップされます。
※削除対象ファイルに指定されたシステムと組織名に紐づく組織情報が複数登録されている場合は、全ての組織が削除対象となります。

- グループ
グループマスタ情報に関連づくグループ名
※複数グループを削除対象とする場合、行単位でグループ名を記述してください。
※削除対象ファイルに指定されたグループ名に紐づくグループ情報が複数登録されている場合は、全てのグループが削除対象となります。

- チーム
チームマスタ情報に関連づくチーム名
※複数チームを削除対象とする場合、行単位でチーム名を記述してください。
※削除対象ファイルに指定されたチーム名に紐づくチーム情報が複数登録されている場合は、全てのチームが削除対象となります

削除対象ファイルの記述例は「1.2.17.4 設定ケーススタディ」を参照してください。

1.2.17.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な削除手順を示します。

No	タイトル
1	組織マスタのシステムを指定して削除する
2	組織マスタの組織を指定して削除する
3	組織マスタの組織とシステムを指定して削除する
4	会社マスタを全て削除する
5	会社マスタの会社を指定して削除する
6	問合せ元情報マスタを全て削除する
7	表項目問合せ元情報マスタを全て削除する
8	ユーザー情報に設定されないチームを削除する
9	グループマスタのグループ名を指定して削除する

1. 組織マスタのシステムを指定して削除する

前提条件：

- 指定するマスタ名は「組織」とします。
- 削除対象ファイルを用いて、削除対象のシステムを指定し削除します。
- 削除対象ファイルは「C:\¥DeleteOrganizationData.csv」とします。
- 「削除する情報」に記載されている組織以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する組織情報を記載します。

削除対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	営業システム	全システム共通

対象会社名	会社 ABC	会社 ABC	会社 OPQ
組織名	営業戦略部	経理部	育成管理課
組織名カナ	エイギョウセンリャクブ	ケイリブ	イクセイカンリカ
組織略称	S1	S2	S3
表示順	1	2	3
色	Black	Black	Black
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

削除ファイルの具体的な記述内容：

```
"営業システム", ""  
"全システム共通", "育成管理課"  
"", "育成管理課"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.17.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した組織情報が削除されます。

2. 組織マスタの組織を指定して削除する

前提条件：

- 指定するマスタ名は「組織」とします。
- 削除対象ファイルを用いて、削除対象のシステムを指定し削除します。
- 削除対象ファイルは「C:\¥DeleteOrganizationData.csv」とします。
- 「削除する情報」に記載されている組織以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する組織情報を記載します。

削 除 対 象 デ ー タ	(1 件目)	(2 件目)	(3 件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	営業システム	全システム共通
対象会社名	会社 ABC	会社 ABC	会社 OPQ
組織名	営業戦略部	経理部	育成管理課
組織名カナ	エイギョウセンリヤクブ	ケイリブ	イクセイカンリカ
組織略称	S1	S2	S3
表示順	1	2	3
色	Black	Black	Black
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

削除ファイルの具体的な記述内容：

```
"" , "営業戦略部"
"" , "経理部"
"" , "育成管理課"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.17.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した組織情報が削除されます。

3. 組織マスタの組織とシステムを指定して削除する

前提条件：

- 指定するマスタ名は「組織」とします。
- 削除対象ファイルを用いて、削除対象のシステムを指定し削除します。
- 削除対象ファイルは「C:\¥DeleteOrganizationData.csv」とします。
- 「削除する情報」に記載されている組織以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する組織情報を記載します。

削 除 対 象 デ ー タ	(1 件目)	(2 件目)	(3 件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	営業システム	全システム共通
対象会社名	会社 ABC	会社 ABC	会社 OPQ
組織名	営業戦略部	経理部	育成管理課
組織名カナ	エイギョウセンリヤクブ	ケイリブ	イクセイカンリカ
組織略称	S1	S2	S3
表示順	1	2	3
色	Black	Black	Black
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

削除ファイルの具体的な記述内容：

“営業システム”, “営業戦略部”
 “営業システム”, “経理部”
 “全システム共通”, “育成管理課”

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.17.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 組織 -f "C:¥DeleteOrganizationData.csv"  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した組織情報が削除されます。

4. 会社マスタを全て削除する

前提条件：

- 指定するマスタ名は「会社」とします。
- 会社マスタに登録されている全てのデータを削除します。
- 会社に紐づく組織マスタは全て削除されている状態とします。
- 「削除する情報」に記載されている会社以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する会社情報を記載します。

削除対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	全システム共通	運用管理統合システム
会社名	会社 ABC	会社 OPQ	会社 XYZ
会社名カナ	カイシャ ABC	カイシャ OPQ	カイシャ XYZ
会社略称	ABC	OPQ	(なし)
表示順	1	2	3
色	Black	Black	Black
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 会社-r
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 会社-r
マスタ削除処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した会社情報が削除されます。

5. 会社マスタの会社を指定して削除する

前提条件：

- 指定するマスタ名は「会社」とします。
- 会社マスタに登録されている全てのデータを削除します。
- 会社に紐づく組織マスタは全て削除されている状態とします。
- 「削除する情報」に記載されている会社以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する会社情報を記載します。

削除対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
対象システム名	営業システム	全システム共通	運用管理統合システム
会社名	会社 ABC	会社 OPQ	会社 XYZ
会社名カナ	カイシャ ABC	カイシャ OPQ	カイシャ XYZ
会社略称	ABC	OPQ	(なし)
表示順	1	2	3
色	Black	Black	Black
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

削除ファイルの具体的な記述内容：

```
"会社 ABC"
"会社 OPQ"
"会社 XYZ"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.17.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 会社 -f "C:¥company.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 会社 -f "C:¥company.csv  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した会社情報が削除されます。

6. 問合せ元情報マスタを全て削除する

前提条件：

指定するマスタ名は「問合せ元」とします。

問合せ元マスタに登録されている全てのデータを削除します。

「削除する情報」に記載されている問合せ元情報以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する問合せ元情報を記載します。

削除対象データ (項目名)	(1 件目) (値)	(2 件目)
システム	SSM 初期システム	SSM 初期システム
問合せ元 ID	0000000000000001	0000000000000002
問合せ元 ID 補助	req00000001	req00000002
問合せ元テキスト 1	リクエストテキスト 1	リクエスト 1
問合せ元テキスト 2	リクエストテキスト 2	リクエスト 2
問合せ元テキスト 3	リクエストテキスト 3	リクエスト 3
問合せ元テキスト 4	リクエストテキスト 4	リクエスト 4
問合せ元テキスト 5	リクエストテキスト 5	リクエスト 5
問合せ元テキスト 6	リクエストテキスト 6	リクエスト 6
問合せ元テキスト 7	リクエストテキスト 7	リクエスト 7
問合せ元テキスト 8	リクエストテキスト 8	リクエスト 8
問合せ元テキスト 9	リクエストテキスト 9	リクエスト 9
問合せ元テキスト 10	リクエストテキスト 10	リクエスト 10
問合せ元テキスト 11	リクエストテキスト 11	リクエスト 11
問合せ元テキスト 12	リクエストテキスト 12	リクエスト 12
問合せ元テキスト 13	リクエストテキスト 13	リクエスト 13
問合せ元テキスト 14	リクエストテキスト 14	リクエスト 14
問合せ元テキスト 15	リクエストテキスト 15	リクエスト 15
問合せ元テキスト 16	リクエストテキスト 16	リクエスト 16
問合せ元テキスト 17	リクエストテキスト 17	リクエスト 17
問合せ元テキスト 18	リクエストテキスト 18	リクエスト 18
問合せ元テキストエリア 1	リクエストテキストエリア 1	リクエストエリア 1
問合せ元日付	2013/12/31	2014/01/01

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 問合せ元-r
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 問合せ元-r  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した問合せ元情報が削除されます。

7. 表項目問合せ元情報マスタを全て削除する

前提条件：

指定するマスタ名は「表項目問合せ元」とします。

問合せ元マスタに登録されている全てのデータを削除します。

「削除する情報」に記載されている問合せ元情報以外は存在しない状態とします。

削除する情報：

以下に削除する問合せ元情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
システム	SSM 初期システム	SSM 初期システム
表項目種別	1	1
表項目問合せ元 ID	0000000000000001	0000000000000002
表項目問合せ元 ID 補助	req00000001	req00000002
表項目問合せ元テキスト 1	リクエストテキスト 1	リクエスト 1
表項目問合せ元テキスト 2	リクエストテキスト 2	リクエスト 2
表項目問合せ元テキスト 3	リクエストテキスト 3	リクエスト 3
表項目問合せ元テキスト 4	リクエストテキスト 4	リクエスト 4
表項目問合せ元テキスト 5	リクエストテキスト 5	リクエスト 5
表項目問合せ元テキスト 6	リクエストテキスト 6	リクエスト 6
表項目問合せ元テキスト 7	リクエストテキスト 7	リクエスト 7
表項目問合せ元テキスト 8	リクエストテキスト 8	リクエスト 8
表項目問合せ元テキスト 9	リクエストテキスト 9	リクエスト 9
表項目問合せ元テキスト 10	リクエストテキスト 10	リクエスト 10
表項目問合せ元テキスト 11	リクエストテキスト 11	リクエスト 11
表項目問合せ元テキスト 12	リクエストテキスト 12	リクエスト 12
表項目問合せ元テキスト 13	リクエストテキスト 13	リクエスト 13
表項目問合せ元テキスト 14	リクエストテキスト 14	リクエスト 14
表項目問合せ元テキスト 15	リクエストテキスト 15	リクエスト 15
表項目問合せ元テキスト 16	リクエストテキスト 16	リクエスト 16
表項目問合せ元テキスト 17	リクエストテキスト 17	リクエスト 17
表項目問合せ元テキスト 18	リクエストテキスト 18	リクエスト 18
表項目問合せ元テキストエリア 1	リクエストテキストエリア 1	リクエストエリア 1

表項目問合せ元コンボボックス 1	リクエストコンボボックス 1	リクエストボックス 1
表項目問合せ元コンボボックス 2	リクエストコンボボックス 2	リクエストボックス 2
表項目問合せ元コンボボックス 3	リクエストコンボボックス 3	リクエストボックス 3
表項目問合せ元コンボボックス 4	リクエストコンボボックス 4	リクエストボックス 4
表項目問合せ元コンボボックス 5	リクエストコンボボックス 5	リクエストボックス 5
表項目問合せ元日付	2013/12/31	2014/01/01

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 表項目問合せ元 -r
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c 表項目問合せ元 -r  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した表項目問合せ元情報が削除されます。

8. ユーザー情報に設定されないチームを削除する

前提条件：

指定するマスタ名は「チーム」とします。

チームマスタに登録されている全てのユーザー情報に設定されないデータを削除します。

「削除する情報」に記載されているチーム以外は存在しない状態とします。

全てのユーザー情報に「削除する情報」に記載されているチームが選択されない状態とします。

削除する情報：

以下に削除するチーム情報を記載します。

削除対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
チーム名	チーム 1	チーム 2	チーム 3
表示順	1	2	3
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c チーム -u
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c チーム -u  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示したチーム情報が削除されます。

9. グループマスタのグループ名を指定して削除する

前提条件：

指定するマスタ名は「グループ」とします。

削除対象ファイルを用いて、削除対象のグループ名を指定し削除します。

削除対象ファイルは「C:¥DeleteGroupData.csv」とします。

削除する情報：

以下に削除するグループ情報を記載します。

削除対象データ	(1件目)	(2件目)	(3件目)
(項目名)	(値)		
グループ名	開発グループ	設計グループ 1	設計グループ 2
表示順	1	2	3
グループ内公開	公開	公開	非公開
登録者	a-nomura	a-nomura	a-nomura

削除ファイルの具体的な記述内容：

```
"開発グループ"  
"設計グループ 1"  
"設計グループ 2"
```

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.17.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe -c グループ -f "C:¥DeleteGroupData.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteMst.exe - c グループ -f "C:¥DeleteGroupData.csv"  
マスタ削除処理が正常に終了しました。  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示したグループ情報が削除されます。

1.2.17.5 指定可能フィールド情報

削除対象ファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

一覧は「1.3.9 マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteMst.exe)」を参照してください。

1.2.18 分類マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteCat.exe)

分類マスタ削除コマンドは、指定した分類マスタのデータを SSM DB サーバーから一括して削除する場合に使用します。

1.2.18.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_DeleteCat.exe△-f△削除対象ファイル名

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-f : 削除対象ファイル名**
削除の対象となる分類マスタのデータが記述された任意のファイルをフルパスで指定します。
このオプションは省略することはできません。
一度に指定できるファイルは1ファイルです。
※削除対象ファイルの詳細については、後述の「1.2.18.3 ファイルの説明」を参照してください。
※ファイルパスはダブルクォートで囲んでください。
- **--help**
Usage を表示します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

操作説明



制限事項

分類マスタ削除コマンドにてデータを削除した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB 再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.18.2 実行結果

分類マスタ削除コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjsPU_DeleteCat.exe -f "C:¥temp¥CatData.txt"  
分類データの削除処理が完了しました。  
C:¥TEMP>
```

分類マスタ削除コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	削除対象ファイル内の全てのデータが正常に削除できた場合
1	異常終了	引数や定義ファイルの内容、またはデータベースへの接続に異常がある場合
3	警告終了	削除対象ファイル内の一部のデータについてデータの指定フォーマットの不正等により削除できなかった場合
4	警告終了	削除対象ファイル内の指定フォーマットが旧フォーマットであるため、新フォーマットへ変換された場合



仕様補足

正常終了の場合は、削除対象ファイル内のデータは全て削除されます。

異常終了の場合は、削除対象ファイル内のデータは全て削除されません。

警告終了の場合は、削除対象ファイルの内容に不備があるために削除できなかったデータが再実行対象ファイルへ出力されます。

警告終了の場合は、インポートファイルの内容に不備があるために登録できなかったデータが再登録対象ファイルまたは新フォーマットに変換され出力されます。

再実行対象ファイルについては、「1.2.18.3 ファイルの説明」を参照してください。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	分類データの削除処理が完了しました。	削除対象ファイルに指定されたレコードが警告なしに全て削除されました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの指定を確認してください。
	DB との接続に失敗しました。	DB との接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	削除対象ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された削除対象ファイルが存在しないため、処理を中止します。	削除対象ファイルの中身を確認してください。
	削除対象ファイルに情報が存在しません。	指定された削除対象ファイル内にデータが 1 件も存在しないため、処理を中止します。	引数で指定した削除対象ファイルの中身を確認してください。 引数で指定した削除対象ファイルのパスに誤りがないかを確認してください。
3	分類データの削除処理が完了しました。 削除できなかったデータをファイルに出力しました。 出力先ファイル名 [未実施ファイルパス]	削除対象ファイルに指定されたレコードの削除を行いました。一部のレコードが削除されていません。 削除されなかったレコードは[未実施ファイルパス]に表示されるファイルに出力されません。	[未実施ファイルパス]に出力されるファイル（再実行対象ファイル）の内容を確認して再度処理を行ってください。
4	指定されたインポート対象ファイルの内容を新フォーマットとして出力しました。 出力先ファイル名 [変換後ファイルパス]	削除対象ファイルに指定されたフォーマットが旧フォーマットであるため、新フォーマットに変換しました。	[変換後ファイルパス]に出力されるファイルの内容を確認後、再度登録を行ってください。

1.2.18.3 ファイルの説明

分類マスタ削除コマンドで必要となる「削除対象ファイル」と、実行した結果として出力される「実行ログファイル」、「再実行対象ファイル」について記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	削除対象ファイル	任意のファイル名	削除対象の分類マスタデータを記述するファイルです。 コマンドオプションの「削除対象ファイル名」で指定します。
2	実行ログファイル	sjSPU_DeleteCat.log	分類マスタ削除コマンドから出力される実行ログ情報が格納されるファイルです。 「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。
3	再実行対象ファイル	YYYYMMDD_[削除対象 ファイル名]	データの指定フォーマット不正等により削除できなかったデータが出力されるファイルです。 分類マスタ削除コマンドの実行結果で「未実施ファイル」として、 削除対象ファイルが格納されるフォルダに出力されます。 YYYYMMDD には、コマンドを実行した日付が出力されます。

以降に各ファイルの内容を記載します。

1. 削除対象ファイル

本ファイルには削除対象の分類マスタデータを記述します。
削除対象ファイルのフォーマットに関する制限事項は以下になります。

- CSV 形式（カンマ区切り）で指定します。
- 削除対象ファイルの 1 レコードには決められた順序で指定します。
順序は後述「**1. 2. 18. 5 指定可能フィールド情報**」の指定順序列を参照してください。
- 指定された階層に紐付く分類を全て削除します。
- 複数の分類情報を削除する場合は、その個数分、行を分けて記述します。
- 行の先頭に「#」を指定した場合はその行はコメントとして扱われ、処理の対象から除かれます。
- 全ての項目において、値としてカンマ(,)を指定することはできません。
- インポートファイルに記載する項目値はダブルクォートで囲まないでください。

上記の制限事項に従って削除対象ファイルを作成する際の注意事項は以下になります。

- 分類-1 とその分類-1 配下の分類を全て削除したい場合は、分類-2～分類-5 に空白を設定します。
- 同様に分類-2 までを削除したい場合は、分類-3～分類-5 に空白を設定します。
- 分類種別名に紐付く分類を全て削除する場合は、分類種別名のみ設定して、以降の項目は空白を設定します。
- 分類-5 を削除したい場合は、分類-4 までの指定は必須になります。
- 指定された分類が既に削除されている場合や、誤った分類名が指定された場合は、そのデータは再実行対象ファイルに出力されません。
- 同一階層に同一名称の分類がマスタに複数登録されている場合、全ての分類を削除します。
- 同一の分類種別において、削除対象の分類に至るまでに、同一かつ異なるレコードの分類が複数登録されている場合、Web 画面での表示順に関係なく、先に登録されている分類に紐づく分類が削除対象となります。

例) 以下の通り“分類-1ー分類-2”と異なるレコードで登録されている場合
購入者(先に登録された分類)ー女性
購入者(後に登録された分類)ー男性

以下の通り削除対象ファイルに指定しても、分類(購入者ー男性)の削除はできません。

```
01000001, 対象>性別>年齢, 営業システム, 購入者, 男性, , ,
```

削除対象ファイルの記述例は「**1. 2. 18. 4 設定ケーススタディ**」を参照してください。

2. 実行ログファイル

分類マスタ削除コマンドの実行ログを出力したファイルです。
コマンドの実行結果や、未実施データの情報、エラー情報等が出力されます。
このファイルは、「%CCFSPWEBHOME%log」フォルダに出力されます。

3. 再実行対象ファイル

分類マスタ削除コマンドを実行した結果、削除されなかったデータがこのファイルに出力されます。
全てのデータが削除された場合はこのファイルは出力されません。
出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

コマンド実行時に引数に指定された削除対象ファイルと同じフォルダ

出力ファイル名

[YYYYMMDD]_[削除対象ファイル名]

[YYYYMMDD] : コマンドを実行した日付

[インポートファイル名] : 引数に指定した削除対象ファイルの名称

例) 削除対象ファイル名が「DeleteCatFile.csv」の場合
20090401_DeleteCatFile.csv

1.2.18.4 設定ケーススタディ

ここでは以下のケースを用いて具体的な削除手順を示します。

No	タイトル
1	3連分類マスタの分類-1から紐づく全ての分類を削除する
2	5連分類マスタの分類-3から紐づく全ての分類を削除する

1.3 連分類マスタの分類-1 から紐づく全ての分類を削除する

前提条件：

3連分類の分類-1 から分類-1 に紐づく全ての分類を削除します。

削除対象の画面 ID はプロセス管理 1、構成管理 10 とします。

削除対象ファイルは「C:\¥DeleteCatData1.csv」とします。

分類種別名は管理者メニューより画面 ID 毎に以下のとおりラベル名称を変更しています。

- ・プロセス管理 1：対象>性別>年齢
- ・構成管理 10：所属会社>所属部門>所属チーム

登録済の分類マスタの情報：

以下に登録済の分類マスタを記載します。

登録済データ				
(項目名)	(1 件目の値)	(2 件目の値)	(3 件目の値)	(4 件目の値)
画面 ID	01000001	01000001	01000001	04000010
分類種別名	対象>性別>年齢	対象>性別>年齢	対象>性別>年齢	[拡張]所属会社>所属部門>所属チーム
システム名	営業システム	営業システム	営業システム	全システム共通
分類-1 の名称	購入者	購入者	非購入者	会社 ABC
分類-2 の名称	女性	男性	女性	営業部
分類-3 の名称	20~29	20~29	20~29	訪問チーム
分類-4 の名称	(なし)	(なし)	(なし)	(なし)
分類-5 の名称	(なし)	(なし)	(なし)	(なし)

削除する情報：

以下に削除する3連分類情報を記載します。

登録済の分類マスタの情報に示した、1件目、2件目、4件目を削除します。

1件目と2件目は分類-1が同じであるため、分類-1を指定することで削除できます。

削除対象データ (項目名)	(1件目) (値)	(2件目)
画面 ID	01000001	04000010
分類種別名	対象>性別>年齢	[拡張]所属会社>所属部門>所属チーム
システム名	営業システム	全システム共通
分類-1の名称	購入者	会社 ABC
分類-2の名称	(なし)	(なし)
分類-3の名称	(なし)	(なし)
分類-4の名称	(なし)	(なし)
分類-5の名称	(なし)	(なし)

削除ファイルの具体的な記述内容：

01000001, 対象>性別>年齢, 営業システム, 購入者, , , ,
04000010, [拡張]所属会社>所属部門>所属チーム, 全システム共通, 会社 ABC, , , ,

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.18.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteCat.exe -f "C:¥DeleteCatData1.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteCat.exe -f "C:¥DeleteCatData1.csv"  
分類データの削除処理が完了しました。  
  
C:¥TEMP>
```

「登録済の情報」で示した 1 件目、2 件目、4 件目の分類情報は分類-1 から分類-3 まで全て削除されます。
3 件目の分類情報は削除されません。

2.5 連分類マスタの分類-3 から紐づく全ての分類を削除する

前提条件：

5 連分類の分類-3 から分類-3 に紐づく全ての分類を削除します。

削除対象の画面 ID はプロセス管理 1、プロセス管理 10 とします。

プロセス管理 10 の分類は分類-4 のみ使用している分類とします。

削除対象ファイルは「C:\YDeleteCatData2.csv」とします。

分類種別名は管理者メニューより画面 ID 毎に以下のとおりラベル名称を変更しています。

- ・プロセス管理 1：国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区
- ・プロセス管理 10：管理担当部門>管理区分>管理製品種別>管理製品名>未使用分類

登録済の分類マスタの情報：

以下に登録済の分類マスタを記載します。

登録済データ			
(項目名)	(1 件目の値)	(2 件目の値)	(3 件目の値)
画面 ID	01000001	01000001	01000010
分類種別名	国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区	国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区	管理担当部門>管理区分>管理製品種別>管理製品名>未使用分類
システム名	営業システム	営業システム	全システム共通
分類-1 の名称	国内	国内	経理部
分類-2 の名称	首都圏	首都圏	01 備品
分類-3 の名称	東京都	東京都	発注管理品
分類-4 の名称	中央区	渋谷区	発注伝票
分類-5 の名称	銀座	渋谷	(なし)

削除する情報：

以下に削除する 5 連分類情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	01000001	01000010
分類種別名	国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区	管理担当部門>管理区分>管理製品種別>管理製品名 >未使用分類
システム名	営業システム	全システム共通
分類-1 の名称	国内	経理部
分類-2 の名称	首都圏	01 備品
分類-3 の名称	東京都	発注管理品
分類-4 の名称	(なし)	(なし)
分類-5 の名称	(なし)	(なし)

削除ファイルの具体的な記述内容：

01000001, 国内外>エリア>都道府県>市区町村>地区, 営業システム, 国内, 首都圏, 東京都, ,
01000010, 管理担当部門>管理区分>管理製品種別>管理製品名>未使用分類, 全システム共通, 経理部, 01 備品, 発注管理品, ,

各項目の指定順序と、指定可能な値については「1.2.18.5 指定可能フィールド情報」を参照してください。

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteCat.exe -f "C:¥ DeleteCatData2.csv"
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP>sjSPU_DeleteCat.exe -f "C:¥ DeleteCatData2.csv"
```

```
分類データの削除処理が完了しました。
```

```
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示した3連分類情報の分類-3以降全てが削除されます。
分類-1、分類-2は削除されません。

1.2.18.5 指定可能フィールド情報

削除対象ファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

一覧は「1.3.10 分類マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteCat.exe)」を参照してください。



値を設定しない項目には空白を設定しますが、項目を区切る「カンマ(,)」は必ず指定してください。例えば大分類のみ削除する場合は以下の様に指定します。

仕様補足 「01000001,大分類>中分類>小分類,システム1,大分類名1,,,」



削除対象ファイルに指定する分類種別名は、分類マスタ管理の各画面に表示される分類種別コンボボックスに表示される値と同じ値を設定します。

仕様補足

この値は、管理者メニューの画面タブ配下における「ラベル」の設定を変更することで画面に表示するラベルにあわせて変更されます。

したがって、各分類を表示する箇所の「ラベル」の表示文言を変更した場合は、削除対象ファイルに指定する分類種別名の値も変更する必要があります。

1.2.19 システム削除コマンド (sjSPU_DeleteSystem.exe)

システム削除コマンド (sjSPU_DeleteSystem.exe) は、指定したシステムとそのシステムに付随するデータを一括削除します。

1.2.19.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 ("△"は半角スペースを示します。)

sjSPU_DeleteSystem.exe△[-M△処理モード]△-s△削除対象システム△[--help]

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-M : 処理モード**

システム削除コマンドの処理モードを指定します。

処理モードには、REF と DEL のいずれか一つを指定可能です。

REF : 参照モード

コマンドオプションで指定されたシステムとシステムに付随するデータを実行ログへ出力します。データの削除処理は行いません。

DEL : 削除モード

コマンドオプションで指定されたシステムとシステムに付随するデータを実行ログへ出力し、その後、対象データの削除処理を行います。

引数が省略された場合は、REF モードで動作します。



一度 DEL モードでデータを削除した後はキャンセルできません。

制限事項

削除モードで実行する際は削除条件に御注意ください。

- **-s : 削除対象システム名**

削除条件対象となるシステムのシステム名を指定します。

引数に指定されたシステム名が複数件マスタに登録されている場合、削除処理は実行できません。システム名が一意になるように変更し、実行してください。

• **--help**

Usage を表示します。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

システム削除コマンドにてデータを削除した場合、DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。DB 再構築コマンドの使用方法につきましては「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)」と「1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。



制限事項

システム削除コマンドを同時実行した場合、後で実施するコマンドの削除対象が先に実施するコマンドに含めた時、後で実施する削除コマンドがエラーになります。



制限事項

以下コマンドと同時実行しないでください。
データ不正により失敗し、復旧できない可能性があります。

- ・システム登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・マスタ登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・構成管理反映コマンド
- ・データ移行コマンド
- ・DB 再構築コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.19.2 実行結果

システム削除コマンドを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

例) モードを参照にし、“削除対象システム”という名称のシステムを指定した場合

```
C:¥>sjsPU_DeleteSystem -M REF -s 削除対象システム
処理対象件数: 1 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥Program Files¥CCFSP¥CCFSPDB¥log¥sjsPU_DeleteSystem_REF_SYS_20080519193827.log
処理が正常に終了しました。
sjsPU_DeleteSystem -M REF -s 削除対象システム

C:¥>
```

システム削除コマンドでは削除対象のシステムに登録される以下の情報が削除されます。

削除データ
プロセス (プロセスに紐づくイベント管理も含む)
イベント管理
ID 管理の構成アイテム管理
ID 管理のアカウント管理
構成管理の構成アイテム
既知エラー
FAQ
ファイルライブラリ
リンク集
コードマスタ管理
コード自動選択設定
分類マスタ管理
ユーザー管理 (ユーザーに登録される職責)
ユーザー管理 (ユーザーに登録されるシステム別メンテナンス権限)
会社マスタ管理
組織マスタ管理

削除データ
問合せ元情報
問合せ元情報 2
表項目問合せ元情報
システムに登録される送信メール設定
SLAM チャート抽出条件設定
チェックリスト適用設定
チェックリスト条件設定
チェックリスト診断
承認フロー
各種検索条件設定
ランブックテンプレート
業務グループ定義情報
Webhook 送信設定ファイル



仕様補足

以下条件設定で指定されたシステムが全て削除された場合、その条件設定自体が削除されます。

- ・ SLAM チャート抽出条件設定
- ・ チェックリスト条件設定
- ・ 各種検索条件設定



制限事項

SLAM チャート抽出条件設定に設定されているシステムのみ削除し、SLAM チャート抽出条件自体の削除は行いません。

そのため、参照モードでは削除対象のシステムに対する SLAM チャート抽出条件設定の件数を出力しません。

システム削除コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	処理が正常に終了した場合
1	異常終了	コマンドオプションの指定に誤りがある場合
2		DB との接続に失敗した場合
9		sjSPB_DBCConf.xml に DB 情報が設定されていない場合
10		sjSPB_DBCConf.xml が存在しない場合
11		sjSPB_DBCConf.xml からの DB 情報の取得に失敗した場合
13		引数-M に指定された処理モードが不正な場合

終了コード	説明	状況
14		引数-s が指定されていない場合
15		引数-s に指定された処理モードが不正な場合
16		引数-s に指定されたシステム名が複数件存在する場合
17		実行ログファイルの作成に失敗した場合
18		実行ログファイルへの出力に失敗した場合
19		存在しないシステムが指定されました。(ユーザー指定値)
99		処理に失敗しました。(エラー詳細)

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	正常終了	なし。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定されたコマンドオプションに不正なものが含まれています。	コマンドオプションの確認をしてください。
2	DB との接続に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていないかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
9	sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。	SSM DB サーバーコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
10	sjSPB_DBConf.xml が存在しません。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml が存在しません。	
11	sjSPB_DBConf.xml からの DB 情報の取得に失敗しました。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml から DB 情報の取得に失敗しました。	
13	パラメータエラー：処理モードの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	処理モードに不正な値が指定されました。	引数- M に指定された処理モードを確認してください。
14	パラメータエラー：削除対象システム名が設定されていません。	削除対象システム名が設定されていません。	引数-s が指定されているか確認してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
15	パラメータエラー：削除対象システム名の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	削除対象システム名に不正な値が指定されました。	引数-sに指定された削除対象システム名を確認してください。
16	指定されたシステム名は複数件存在します。システム名を一意となるよう変更し実行してください。	該当するシステムが複数存在します。	引数-sに指定されたシステムが一意に定まるように修正後、再度実行してください。
17	実行ログファイルの作成に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	実行ログファイルの作成時に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
18	実行ログファイルへの出力に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	実行ログファイルへの出力に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。
19	存在しないシステムが指定されました。(ユーザー指定値)	指定した削除対象システムが存在しません。	引数-sに指定された削除対象システム名を確認してください。
99	処理に失敗しました。(エラー詳細)	その他のエラー	カスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.19.3 ファイルの説明

システム削除コマンド実行時に出力されるファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	実行ログファイル	sjSPU_DeleteSystem_[処理モード]_[案件種別]_YYYYMMDDhhmmss.log	システム削除コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダに出力されます。 [処理モード]：指定した処理モードです。DEL/REF となります。 [案件種別]：SYS となります。 [YYYYMMDD]：コマンド実行日です。 [hhmmss]：コマンド実行時間です。(24 時間表記)



出力される実行ログファイル名が重複した場合、ファイル名は以下のようになります。

sjSPU_DeleteSystem_[処理モード]_[案件区分]_YYYYMMDDhhmmss_[連番].log

仕様補足

[連番]：ファイル名が重複していた場合、「001」～「999」の連番が付与されます。

例)

sjSPU_DeleteSystem_REF_SYS_20080124202122.log

```
処理モード: REF
削除対象のシステム名: DELTEST_B

削除対象: プロセス管理情報
画面 ID: 01000001
0000000000000014: 売上管理
削除対象件数: 1
:
画面 ID: 04000001
以下のレコードは「現在の構成」と「最新の構成」が削除されます。
構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日
ci01000000000001, 構成チェック管理 1, 20071231
削除対象件数: 1
以下のレコードは「最新の構成」が削除対象で「現在の構成」が削除対象外のため、予定起票のみ削除されます。
構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日
ci01000000000002, サーバー管理 1, 20080101
削除対象件数: 1
以下のレコードは「現在の構成」が削除対象で「最新の構成」が削除対象外のため、削除後に予定起票を「新規予定」に変更されます。
構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日
ci01000000000003, PC 貸出, 20080120
削除対象件数: 1
以下の構成管理の履歴情報が削除されます。
構成アイテム ID, 構成アイテム名, 起票日
ci01000000000001, 構成チェック管理 1, 20071231
ci01000000000002, サーバー管理 1, 20080101
ci01000000000003, PC 貸出, 20080120
削除対象件数: 3
:
削除対象: システム情報
0000000000000001: DELTEST_B
削除対象件数: 1
```

1.2.19.4 設定ケーススタディ

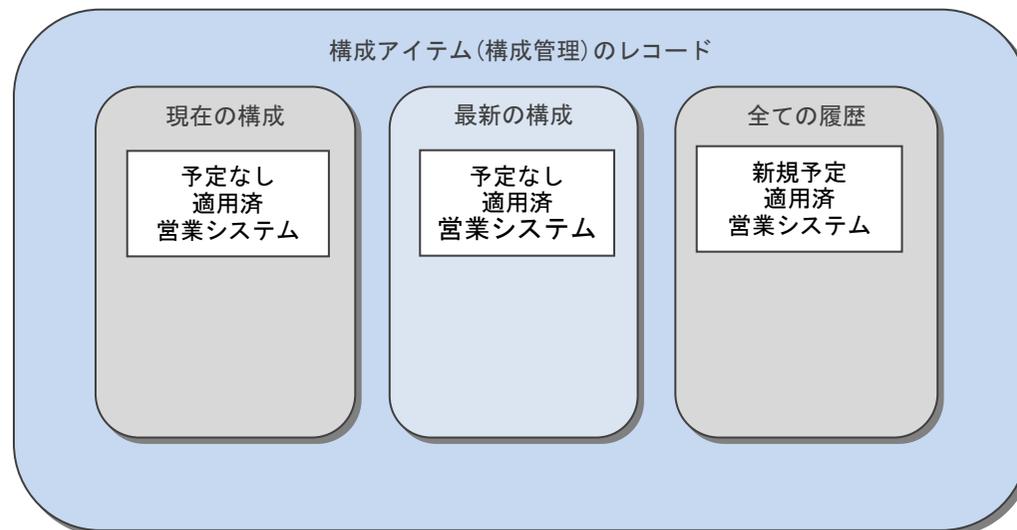
ここでは以下の4ケースを用いて構成アイテム(構成管理)の特殊な削除パターンを示します。

No	タイトル
1	現在の構成と最新の構成が削除される
2	現在の構成のみ削除される
3	最新の構成のみ削除される
4	全ての履歴のみ削除される

1. 現在の構成と最新の構成が削除される

前提条件：削除対象システムを「営業システム」とする。

登録済の構成アイテム(構成管理)の状態：



実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

実施後の処理結果：

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

```
処理対象件数: 1 件
```

```
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
```

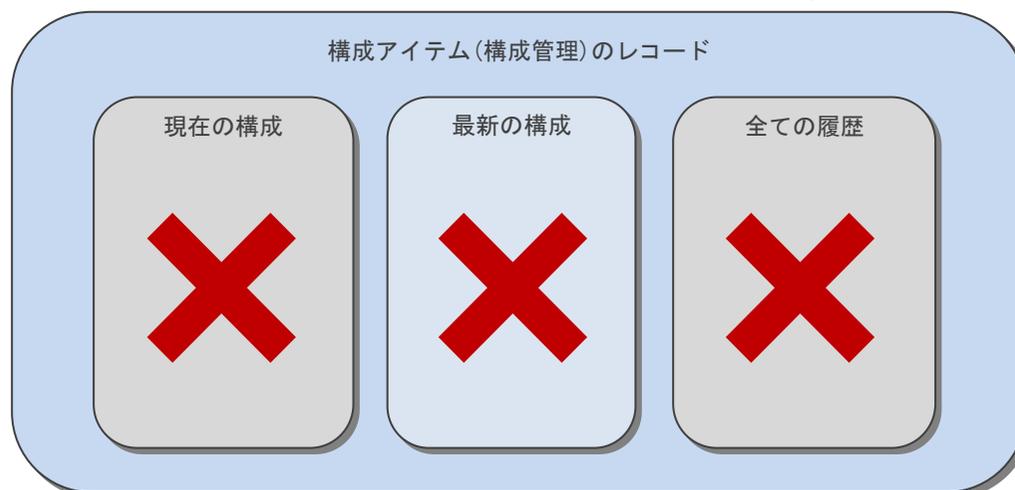
```
C:¥Program Files¥CCFSP¥CCFSPDB¥log¥sjSPU_DeleteSystem_DEL_SYS_20140517120030.log
```

```
処理が正常に終了しました。
```

```
sjSPU_DeleteSystem -M DEL -s 営業システム
```

```
C:¥>
```

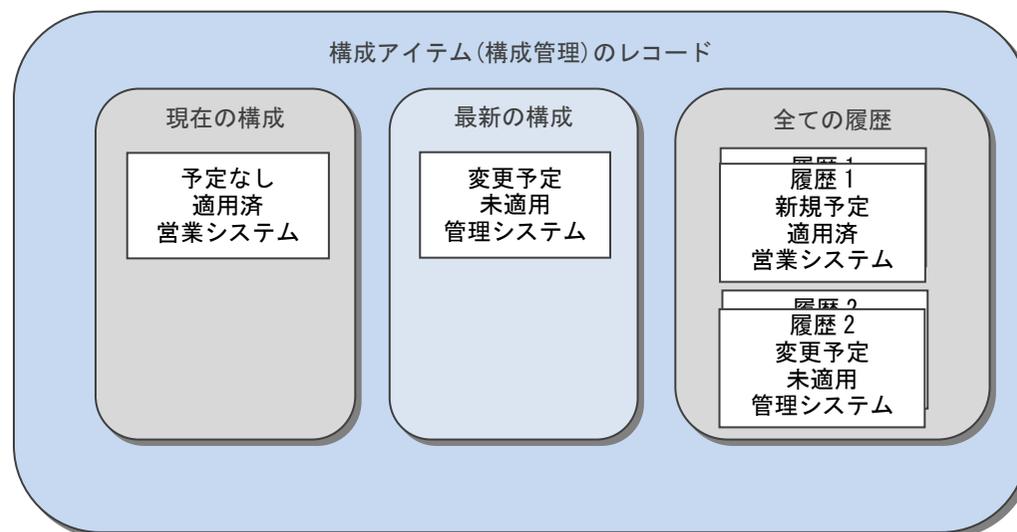
営業システムに紐づいていた全ての構成アイテム(構成管理)が削除される。



2. 現在の構成のみ削除される

前提条件：削除対象システムを「営業システム」とする。

登録済の構成アイテム(構成管理)の状態：変更予定が起票され、新規起票時とシステムを変更している場合。



実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

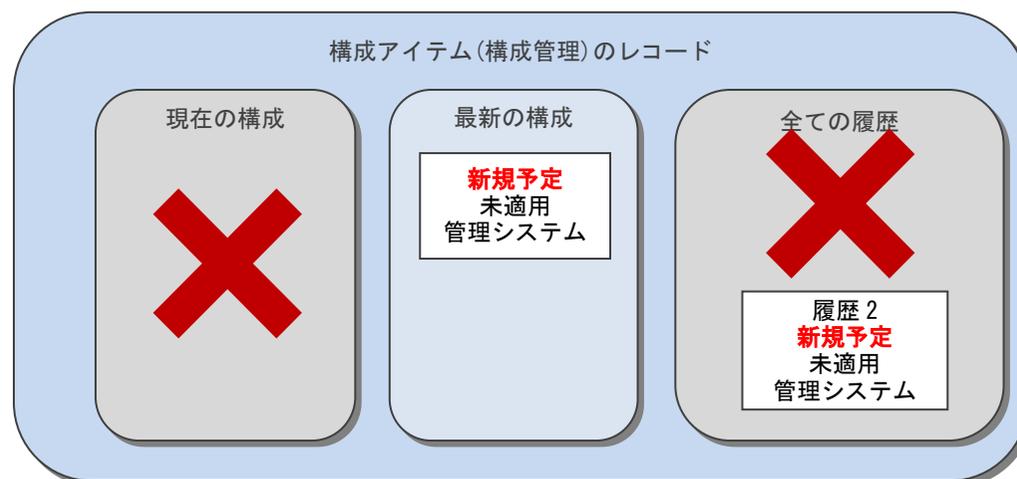
```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

実施後の処理結果：

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
処理対象件数：1件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥Program Files¥CCFSP¥CCFSPDB¥log¥sjSPU_DeleteSystem_DEL_SYS_20140518112316.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteSystem -M DEL -s 営業システム

C:¥>
```

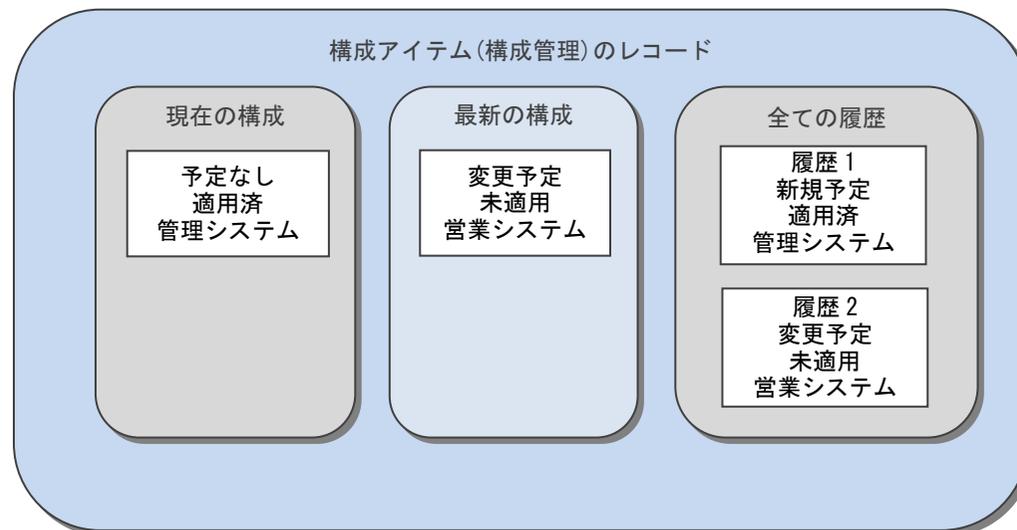
営業システムに紐づいていた現在の構成と全て履歴の履歴1の構成アイテム(構成管理)が削除される。その際、最新の構成と全ての履歴(履歴2)に登録されている構成アイテム(構成管理)は「新規予定」となります。



3. 最新の構成のみ削除される

前提条件：削除対象システムを「営業システム」とする。

登録済の構成アイテム(構成管理)の状態：変更予定が起票され、新規起票時とシステムを変更している場合。



実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

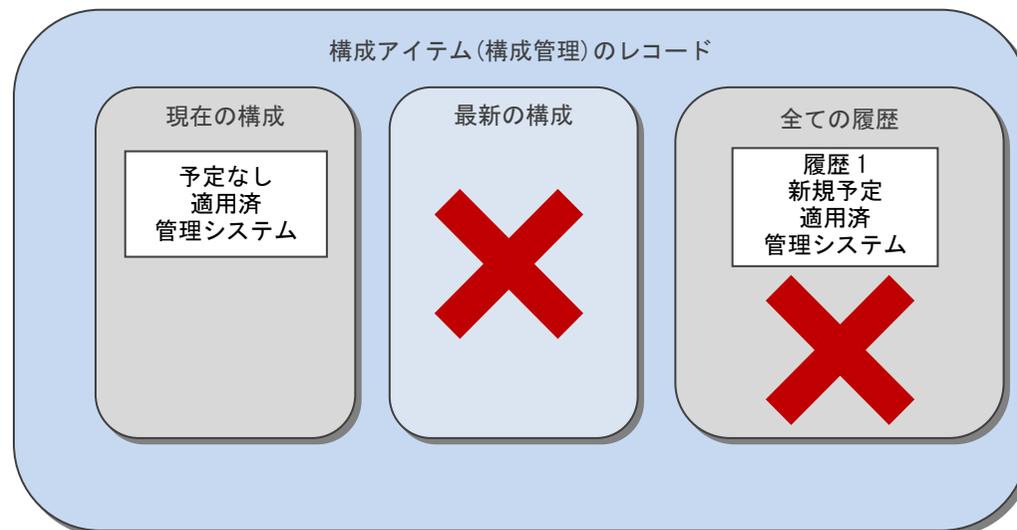
```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

実施後の処理結果：

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
処理対象件数：1件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:¥Program Files¥CCFSP¥CCFSPDB¥log¥sjSPU_DeleteSystem_DEL_SYS_20140519181924.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteSystem -M DEL -s 営業システム

C:¥>
```

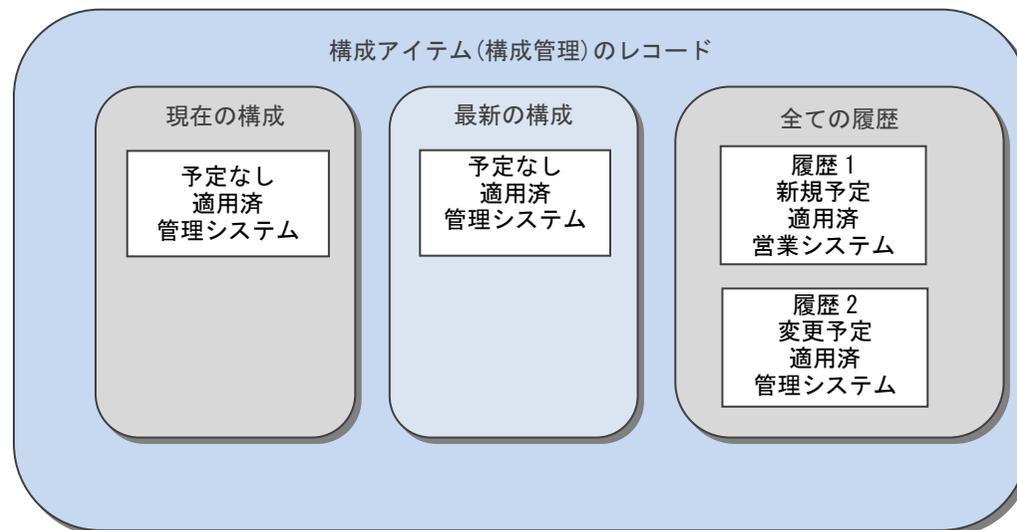
営業システムに紐づいていた最新の構成と全て履歴の履歴2の構成アイテム(構成管理)が削除される。



4. 全ての履歴のみ削除される

前提条件：削除対象システムを「営業システム」とする。

登録済の構成アイテム(構成管理)の状態：新規起票時と異なるシステムで変更予定が起票され、現在の構成まで適用されている状態。



実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

実施後の処理結果：

```
C:¥>sjSPU_DeleteSystem.exe -M DEL -s 営業システム
```

処理対象件数：1 件

削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。

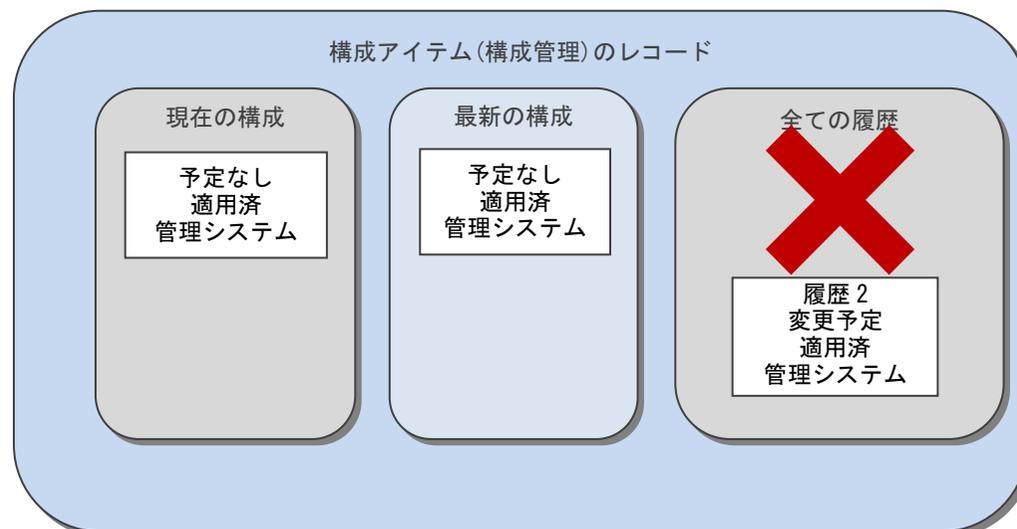
```
C:¥Program Files¥CCFSP¥CCFSPDB¥log¥sjSPU_DeleteSystem_DEL_SYS_20140520153658.log
```

処理が正常に終了しました。

```
sjSPU_DeleteSystem -M DEL -s 営業システム
```

```
C:¥>
```

営業システムに紐づいていた全て履歴の履歴 1 のみ構成アイテム (構成管理) が削除される。



1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用)

DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) は、Oracle Database サーバーの環境に蓄積されるデータに対し、インデックスの再構築、統計情報の再収集、キャッシュクリア処理を実施します。



制限事項

DB 再構築コマンドを実施後、キャッシュが蓄積されるまでは Web 画面・コマンドの動作が一時的に遅くなる可能性があります。

1.2.20.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPB_ReconstructDB.exe△-U△SYS ユーザー名△-P△SYS ユーザーのパスワード△-N△スキーマ名

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- **-U : SYS ユーザー名**
SYS ユーザー名を指定します。
※RDS 接続の場合はシステム権限ユーザー名を指定します。
省略できません。
- **-P : SYS ユーザーのパスワード**
SYS ユーザーのパスワードを指定します。
指定するときはダブルクォートで囲んでください。
※RDS 接続の場合はシステム権限ユーザーのパスワードを指定します。
省略できません。

- **-N:スキーマ名**
DB ユーザー名を指定します。
DB ユーザー名は SSM DB サーバーコンフィグレータ > DB 接続設定画面の「ユーザーアカウント」に設定されている値です。
省略できません。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。



制限事項

DB 再構築コマンドの実行中、別のコマンドと同時実行しないでください。

また、イベント連携機能についても、DB 再構築コマンドの実行中は一時的に停止することを推奨します。

イベント連携機能の一時的な停止の手順については以下を参照してください。

- ・ サービス[CCFSP Process Manager]を停止します。
- ・ DB 再構築コマンドの実行完了後、サービス[CCFSP Process Manager]を開始します。

イベント連携機能を停止しない場合、イベント連携による登録と DB 再構築コマンドのロックの処理が重なると、レコードの登録が失敗する可能性があります。失敗した場合は失敗したイベントの再登録を行ってください。

1.2.20.2 実行結果

DB 再構築コマンドを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPB_ReconstructDB.exe -U sysdbauser -P "sysdbapwd" -N ssmuser
インデックスの再構築が終了しました。
統計情報の収集が終了しました。
キャッシュクリアが終了しました。
処理が正常に終了しました。

C:¥TEMP>
```

DB 再構築コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	出力	内容
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合。
0	正常終了	コマンドが正常終了した場合。
1	異常終了	コマンドオプションが“-”のみの場合。
2		コマンドオプションが“-”以外で指定された場合。
3		コマンドにて指定できるオプション以外を指定した場合。
4		コマンドオプションに指定された値が不正な場合。
5		必須コマンドオプションが指定されない場合。
441		DB 接続定義ファイルの読み込みに失敗した場合。
500		DB との接続に失敗した場合。
502		DB との接続に失敗した場合 (SYS ユーザー)
631		インデックスの再構築に失敗した場合。
632		統計情報の収集に失敗した場合。
633		キャッシュクリアに失敗した場合。
800		コマンドが二重起動した場合。
999		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	DB 再構築コマンドが正常終了しました。	なし
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。	コマンドオプションが“-”のみ指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.20.1 使用方法」を参照してください。
2		コマンドオプションが“-”以外で指定されました。	
3		コマンドにて指定できるオプション以外が指定されました。	
4		コマンドオプションに不正な値が指定されました。	
5		必須コマンドオプションが指定されませんでした。	
441	DB 接続定義ファイルの読み込みに失敗しました。	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml から DB 情報の取得に失敗しました。	SSM DB サーバーコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
500	DB に接続できませんでした。	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
502	指定された SYS ユーザーで DB に接続できませんでした。	引数-U、-P に指定したユーザーおよびパスワードでデータベースに接続できませんでした。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.20.1 使用方法」を参照してください。
631	インデックスの再構築に失敗しました。	インデックスの再構築処理に失敗しました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.20.1 使用方法」を参照してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
632	統計情報の収集に失敗しました。	統計情報の収集処理に失敗しました。	
633	キャッシュクリアに失敗しました。	キャッシュクリア処理に失敗しました。	
800	コマンドが二重起動されました。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
999	処理が異常終了しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)

DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) は、PostgreSQL Database サーバーの環境に蓄積されるデータに対し、インデックスの再構築、統計情報の再収集を実施します。

1.2.21.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

sjSPB_ReconstructDB.exe



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。



制限事項

DB 再構築コマンドの実行中、別のコマンドと同時実行しないでください。
また、イベント連携機能についても、DB 再構築コマンドの実行中は一時的に停止することを推奨します。

イベント連携機能の一時的な停止の手順については以下を参照してください。

- ・ サービス[CCFSP Process Manager]を停止します。
- ・ DB 再構築コマンドの実行完了後、サービス[CCFSP Process Manager]を開始します。

イベント連携機能を停止しない場合、イベント連携による登録と DB 再構築コマンドのロックの処理が重なると、レコードの登録が失敗する可能性があります。失敗した場合は失敗したイベントの再登録を行ってください。

1.2.21.2 実行結果

DB 再構築コマンドを実行すると、以下の例のような実行結果が画面に表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>sjSPB_ReconstructDB.exe
インデックスの再構築が終了しました。
統計情報の収集が終了しました。
処理が正常に終了しました。

C:¥TEMP>
```

DB 再構築コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	出力	内容
-1	Usage 出力	Usage を出力した場合。
0	正常終了	コマンドが正常終了した場合。
441	異常終了	DB 接続定義ファイルの読み込みに失敗した場合。
500		DB との接続に失敗した場合。
631		インデックスの再構築に失敗した場合。
632		統計情報の収集に失敗した場合。
800		コマンドが二重起動した場合。
999		コマンド起動時の予期しないエラーが発生した場合。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	DB 再構築コマンドが正常終了しました。	なし
441	DB 接続定義ファイルの読み込みに失敗しました。	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥s.jspb_DBConf.xml から DB 情報の取得に失敗しました。	SSM DB サーバーコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
500	DB に接続できませんでした。	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
631	インデックスの再構築に失敗しました。	インデックスの再構築処理に失敗しました。	コマンドオプションの確認をしてください。
632	統計情報の収集に失敗しました。	統計情報の収集処理に失敗しました。	コマンドオプションの詳細については、「1.2.21.1 使用方法」を参照してください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
800	コマンドが二重起動されました。	コマンドが二重起動されました。	既にコマンドが実行されています。実行中のコマンドが終了してから実行してください。
999	処理が異常終了しました。	想定外のエラーが発生しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

1.2.22 SSMWEB ホスト登録コマンド (SetupSSMWEBHOST.vbs)

SSMWEB ホスト登録コマンド (SetupSSMWEBHOST.vbs) は、画面カスタマイズを行う時に必要な SSMWEB サーバー情報の登録を実施します。



制限事項

SSMWEB ホスト登録コマンドを実行する前に、SSM WEB サーバーコンフィグレータ>制御情報画面で、WEB グループ識別子、WEB ホスト識別子を生成してください。



仕様補足

SSMWEB ホスト登録コマンドは、SSM WEB サーバーコンフィグレータ>制御情報の「WEB ホスト識別子」管理項目に設定されている管理項目値をキーとして、SSMWEB サーバー情報の登録/更新を行います。



仕様補足

SSMWEB ホスト登録コマンドは、SSM WEB サーバーコンフィグレータ>制御情報の「WEB ホスト識別子」管理項目に設定されている管理項目値またはコマンド引数で指定された WEB ホスト識別子をキーとして、SSMWEB サーバー情報の削除を行います。

1.2.22.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。

%CCFSPWEBHOME%bin¥

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

SetupSSMWEBHOST.vbs△データソース名△ユーザーアカウント△パスワード△処理モード△

表示用 WEB サーバー名△WEB サーバーホスト名△接続プロトコル△ステータス△WEB ホスト識別子

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- データソース名

データソース名を指定します。

データソース名は SSM WEB サーバーコンフィグレータ>DB 接続設定画面の「DSN(データソースネーム)」に設定されている値です。

省略できません。

- **ユーザーアカウント**

DB ユーザー名を指定します。

DB ユーザー名は SSM WEB サーバーコンフィグレータ > DB 接続設定画面の「ユーザーアカウント」に設定されている値です。省略できません。

- **パスワード**

DB ユーザーパスワードを指定します。

DB ユーザーパスワードは SSM WEB サーバーコンフィグレータ > DB 接続設定画面の「パスワード」に設定されている値です。指定するときはダブルクォートで囲んでください。省略できません。

- **処理モード**

処理モードを指定します。

処理モードには、1 と 2 のいずれか一つを指定可能です。

省略できません。

1: 登録-更新モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する SSM WEB サーバー情報の登録/更新を行います。

SSM WEB サーバー情報が未登録の場合は登録を行います。

SSM WEB サーバー情報が既に登録済みの場合は登録済みの表示用 WEB サーバー名、WEB サーバーホスト名、WEB グループ識別子接続プロトコル、ステータスに対する更新を行います。

※更新する場合は、直接表示用 WEB サーバー名、WEB サーバーホスト名、接続プロトコル、ステータスを変わりたい値に指定してください。

2: 削除モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する SSM WEB サーバー情報の削除を行います。



仕様補足

複数 WEB サーバーがあるサーバー構成で、いずれの WEB サーバーを削除したい場合、WEB サーバーホスト登録コマンドにて削除したい WEB サーバーの情報を削除してください。

詳しい手順は「1.2.22.4 設定ケーススタディ」の「3. SSM WEB サーバー情報の削除」を参照してください。

- **表示用 WEB サーバー名**

画面カスタマイズを行う時、WEB サーバーのリストで表示する表示用 WEB サーバー名を指定します。

各 SSM WEB サーバー間で区別するため、同じ表示用 WEB サーバー名は指定しないでください。

「1: 登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2: 削除モード」を指定する場合は指定できません。

※表示用 WEB サーバー名はダブルクォートで囲んでください。

※100byte 以上は指定しないでください。

• WEB サーバーホスト名

SSMWEB サーバーのホスト名を指定します。

コンピューター>プロパティ>フルコンピューター名を指定してください。

「1: 登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2: 削除モード」を指定する場合は指定できません。

※WEB サーバーホスト名はダブルクォートで囲んでください。

※128byte 以上は指定しないでください。



仕様補足

SSMWEB サーバーの接続ポートをデフォルト値(※)から変更したい場合、「WEB サーバーホスト名」にポートを含めたホスト名を指定してください。

(※デフォルト値: HTTP: 80、HTTPS: 443)

例)

"<WEB サーバーホスト名>:<ポート名>"

• 接続プロトコル

接続プロトコルを指定します。

接続プロトコルには、1 と 2 のいずれか一つを指定可能です。

「1: 登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2: 削除モード」を指定する場合は指定できません。

1: http

SSM WEB サーバーの接続プロトコルが http の場合指定します。

2: https

SSM WEB サーバーの接続プロトコルが https の場合指定します。

- **ステータス**

SSM WEB サーバー情報のステータスを指定します。

SSM WEB サーバー情報のステータスには、「1」と「0」のいずれか一つを指定可能です。

「1：登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2：削除モード」を指定する場合は指定できません。

1：有効

登録した WEB サーバー情報が以下画面の「WEB サーバー」コンボボックスに表示されます。

管理者メニュー

-画面

-コピー項目定義

-レイアウト定義

0：無効

登録した WEB サーバー情報が以下画面の「WEB サーバー」コンボボックスに表示されません。

管理者メニュー

-画面

-コピー項目定義

-レイアウト定義

- **WEB ホスト識別子**

登録済の WEB ホスト識別子に該当する SSMWEB サーバー情報を削除したい場合指定します。

「1：登録-更新モード」を指定する場合は指定できません。

「2：削除モード」を指定する場合、この引数は省略可能です。省略された場合、WEB コンフィグレータで生成された WEB ホスト識別子に該当する SSMWEB サーバー情報を削除します。



仕様補足

「表示用 WEB サーバー名」及び「WEB サーバーホスト名」の登録・更新時、

指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。

指定した値がスペースのみの場合、「表示用 WEB サーバー名」及び「WEB サーバーホスト名」は登録・更新されません。

1.2.22.2 実行結果

SSMWEB ホスト登録コマンドを実行すると、以下の例のような実行結果画面にアラートメッセージ「登録処理が完了しました。」が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP>SetupSSMWEBHOST.vbs ds-ssm ssmuser "ssmpwd" 1 "SSMWEB サーバー1" "SSMWEBSEVERHOST" 1 1
C:¥TEMP>
```

SSMWEB ホスト登録コマンドは、処理結果により以下の出力があります。

出力	内容
Usage 出力	Usage を出力した場合。
正常終了	コマンドが正常終了した場合。
異常終了	コマンドにて指定できるオプション以外を指定した場合。
	コマンドオプションに指定された値が不正な場合。
	必須コマンドオプションが指定されない場合。
	DB との接続に失敗した場合。
	WEB グループ識別子の読込に失敗した場合。
	WEB グループ識別子定義ファイルが存在しない場合。
	同じ WEB ホスト識別子の情報が 2 つ以上存在する場合。
	ログフォルダの作成に失敗した場合。
	WEB ホスト識別子の読込に失敗した場合。
WEB ホスト識別子定義ファイルが存在しない場合。	

出力に対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

出力メッセージ	内容	対応
登録処理が完了しました。	SSMWEB ホスト登録コマンドが正常終了しました。	なし
更新処理が完了しました。		
削除処理が完了しました。		
不正な引数が指定されました。 Usage : SetupSSMWEBHOST. vbs データソース名 ユーザーアカウント パスワード モード 表示用 WEB サーバー名 WEB サーバーホスト名 接続プロトコル ステータス WEB ホスト識別子 (削除モード専用) ※削除モードを指定する場合、表示用 WEB サーバー名、WEB サーバーホスト名、接続プロトコルとステータスは指定しないでください ※削除モードで、特定の WEB ホスト識別子に該当する情報を削除したい場合、該当する WEB ホスト識別子を指定してください。	コマンドにて指定できるオプション以外を指定しました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.2.22.1 使用方法」を参照してください。
必要な数の引数が指定されていません。 Usage : SetupSSMWEBHOST. vbs データソース名 ユーザーアカウント パスワード モード 表示用 WEB サーバー名 WEB サーバーホスト名 接続プロトコル ステータス WEB ホスト識別子 (削除モード専用) ※削除モードを指定する場合、表示用 WEB サーバー名、WEB サーバーホスト名、接続プロトコルとステータスは指定しないでください ※削除モードで、特定の WEB ホスト識別子に該当する情報を削除したい場合、該当する WEB ホスト識別子を指定してください。	必須コマンドオプションが指定されませんでした。	

出力メッセージ	内容	対応
パラメータの長さが上限値を超えました。(SMWEB サーバー名: 100byte)	コマンドオプションに不正な値が指定されました。	
パラメータの長さが上限値を超えました。(SMWEB サーバーホスト名: 128byte)		
次のモード以外は指定しないでください。(1: 登録-更新 2: 削除)		
次の接続プロトコル以外は指定しないでください。(1: http 2: https)		
次のステータス以外は指定しないでください(1: 有効 0: 無効)		
削除モードを指定する場合、SMWEB サーバー名、SMWEB サーバーホスト名、接続プロトコルとステータスは指定しないでください。		
DB との接続に失敗しました。 DB 接続情報を確認してください。	DB との接続に失敗しました。	SSM DB サーバーの状態、DB サーバー上の DB の稼働状況を確認してください。 DB プロセスが立ち上がっていなかったら起動してください。 DB が接続出来ない状況だったら復旧させてください。 上記何れにも該当しない場合はカスタマーサポートへ連絡してください。
WEB グループ識別子の読込に失敗しました。 WEB サーバーコンフィグレータで WEB グループ識別子を生成してください。	WEB グループ識別子読込に失敗しました。	SSMWEB サーバーコンフィグレータ>制御情報画面で、WEB グループ識別子を生成してください。
WEB グループ識別子定義ファイルが存在しません。 %CCFSPWEBHOME%dat¥spb¥s.jspB_WEBGroupIdentifier.xml	WEB グループ識別子定義ファイルが存在しません。	カスタマーサポートへ連絡してください。
同じ WEB ホスト識別子の情報が 2 つ以上存在しています。	同じ WEB ホスト識別子の情報が 2 つ以上存在します。	カスタマーサポートへ連絡してください。
ログフォルダの作成に失敗しました。	ログフォルダの作成に失敗しました。	カスタマーサポートへ連絡してください。

出力メッセージ	内容	対応
WEB ホスト識別子の読込に失敗しました。	WEB ホスト識別子の読込に失敗しました。	WEB サーバーコンフィグレータで WEB ホスト識別子を生成してください。
WEB ホスト識別子定義ファイルが存在しません。	WEB ホスト識別子定義ファイルが存在しません。	%CCFSPWEBHOME%dat¥spb¥sjSPB_WEBHostIdentifier.xml



制限事項

Windows Server 2012 以降では、すべてのメッセージがメッセージボックスで表示されます。

1.2.22.3 ファイルの説明

SSMWEB ホスト登録コマンド実行時に出力されるファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	実行ログファイル	SetupSSMWEBHOST.log	SSMWEB ホスト登録コマンドの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「「%CCFSPWEBHOME%log」」フォルダに出力されます。 [YYYYMMDD] : コマンド実行日です。 [HHMMSS] : コマンド実行時間です。(24 時間表記)

例)

SetupSSMWEBHOST.log

```
[2015/11/26 04:02:12] SetupSSMWEBHOST Start.  
[2015/11/26 04:02:12] WEB ホスト識別子 XML ファイルの読み込みを開始します。  
[2015/11/26 04:02:12] WEB ホスト識別子 XML ファイルの読み込みが成功しました。  
[2015/11/26 04:02:12] WEB グループ識別子 XML ファイルの読み込みを開始します。  
[2015/11/26 04:02:12] WEB グループ識別子 XML ファイルの読み込みが成功しました。  
[2015/11/26 04:02:12] DB 接続を開始します。  
[2015/11/26 04:02:12] DB 接続が成功しました。  
[2015/11/26 04:02:15] SMWEB サーバー情報登録 : yes。  
[2015/11/26 04:02:15] 登録処理を開始します。  
[2015/11/26 04:02:20] 登録処理が完了しました。  
[2015/11/26 04:02:20] SetupSSMWEBHOST End.
```

1.2.22.4 設定ケーススタディ

ここでは以下の3ケースを用いてSSMWEBホスト登録コマンドの実行を示します。

No	タイトル
1	SSM WEBサーバー情報の登録
2	SSM WEBサーバー情報の更新
3	SSM WEBサーバー情報の削除

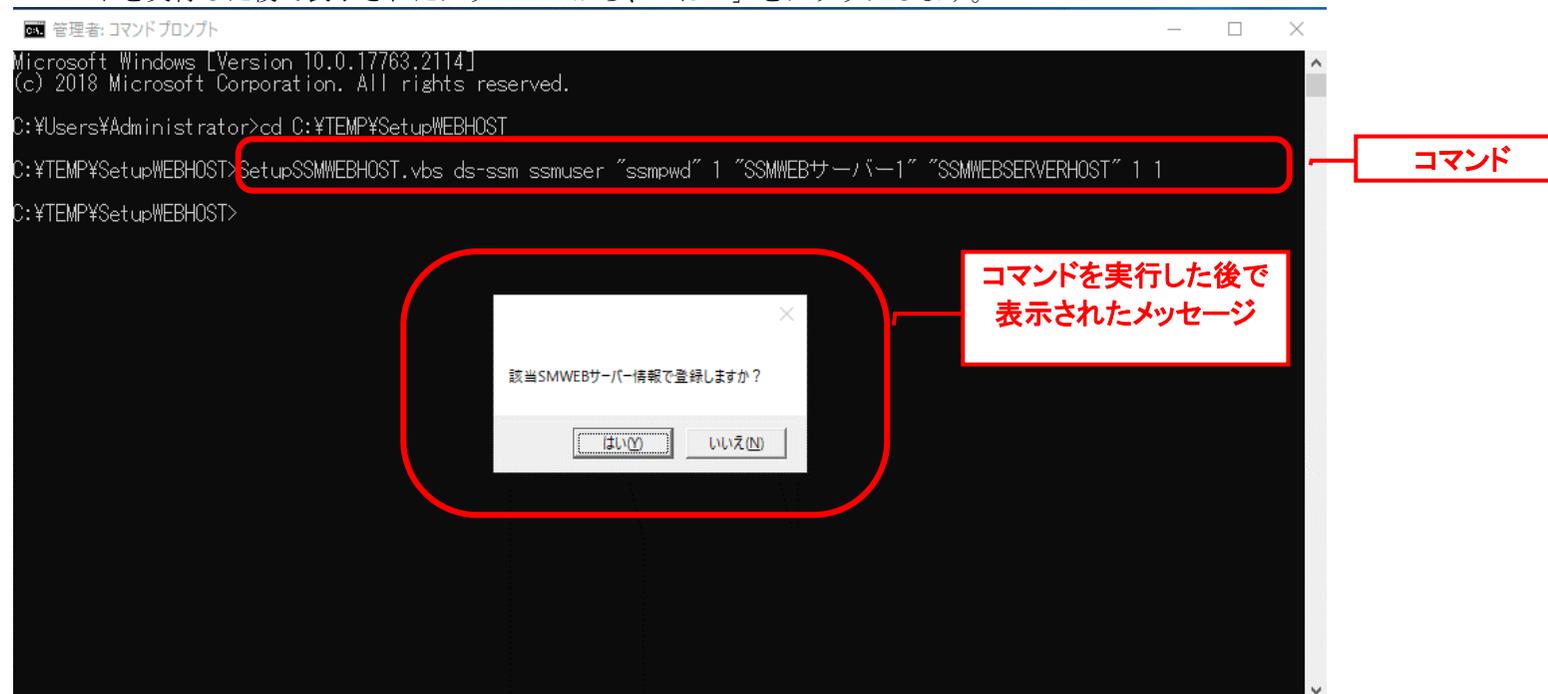
1. SSM WEB サーバー情報の登録

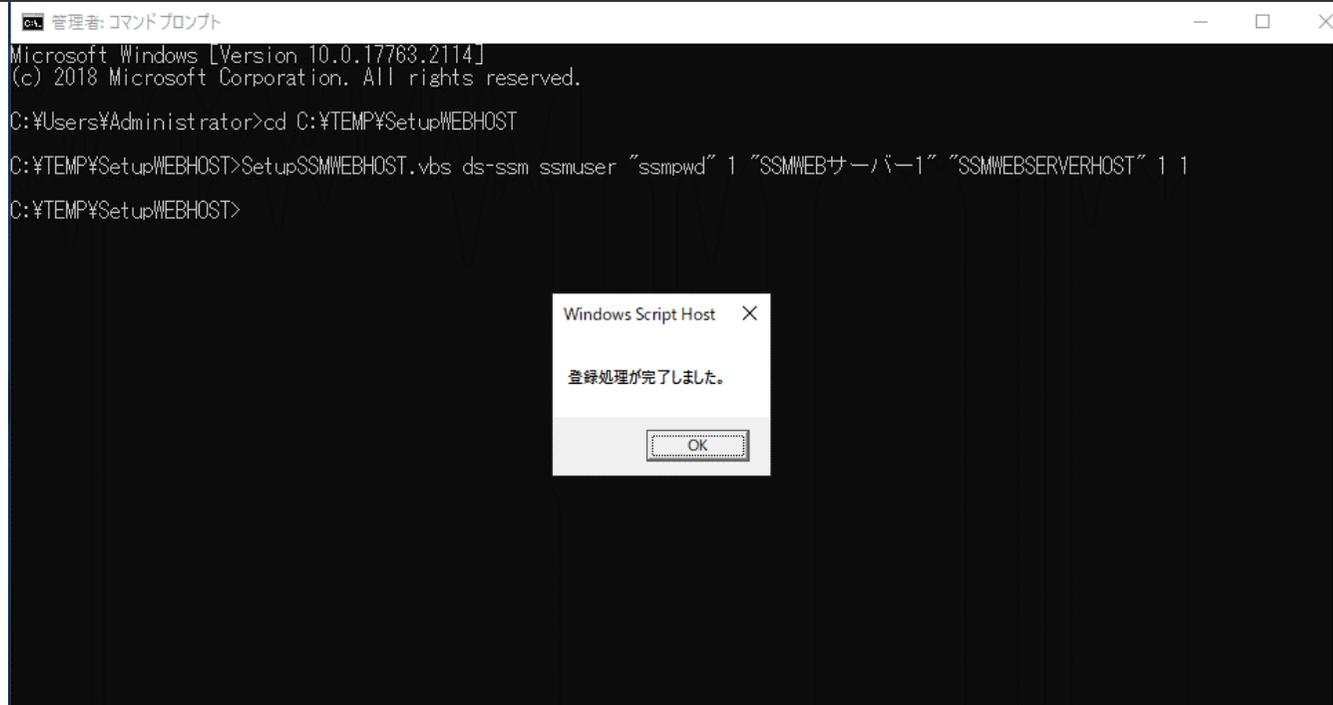
前提条件：該当 SSM WEB サーバーの情報はまだ登録されていません。

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。
("△"は半角スペースを示します。)

コマンド
SetupSSMWEBHOST.vbs△ds-ssm△ssmuser△"ssmpwd"△1△"SSMWEB サーバー1"△ "SSMWEBSEVERHOST"△1△1

コマンドを実行した後で表示されたメッセージから、「はい」をクリックします。





```
ca. 管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.17763.2114]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>cd C:\TEMP\SetupWEBHOST

C:\TEMP\SetupWEBHOST>SetupSSMWEBHOST.vbs ds-ssm ssmuser "ssmpwd" 1 "SSMWEBサーバー1" "SSMWEBSERVERHOST" 1 1

C:\TEMP\SetupWEBHOST>
```

Windows Script Host X

登録処理が完了しました。

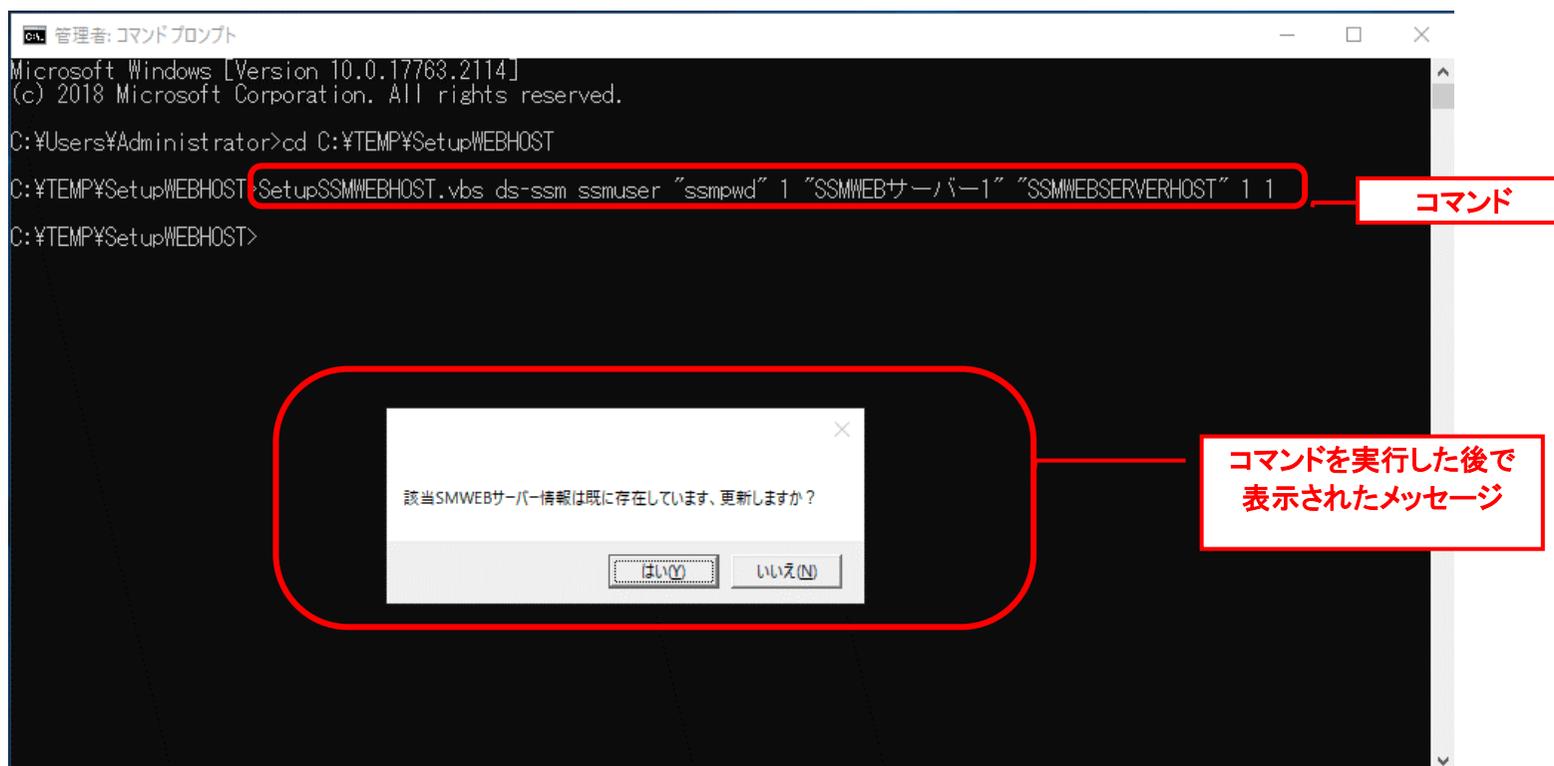
OK

2. SSM WEB サーバー情報の更新

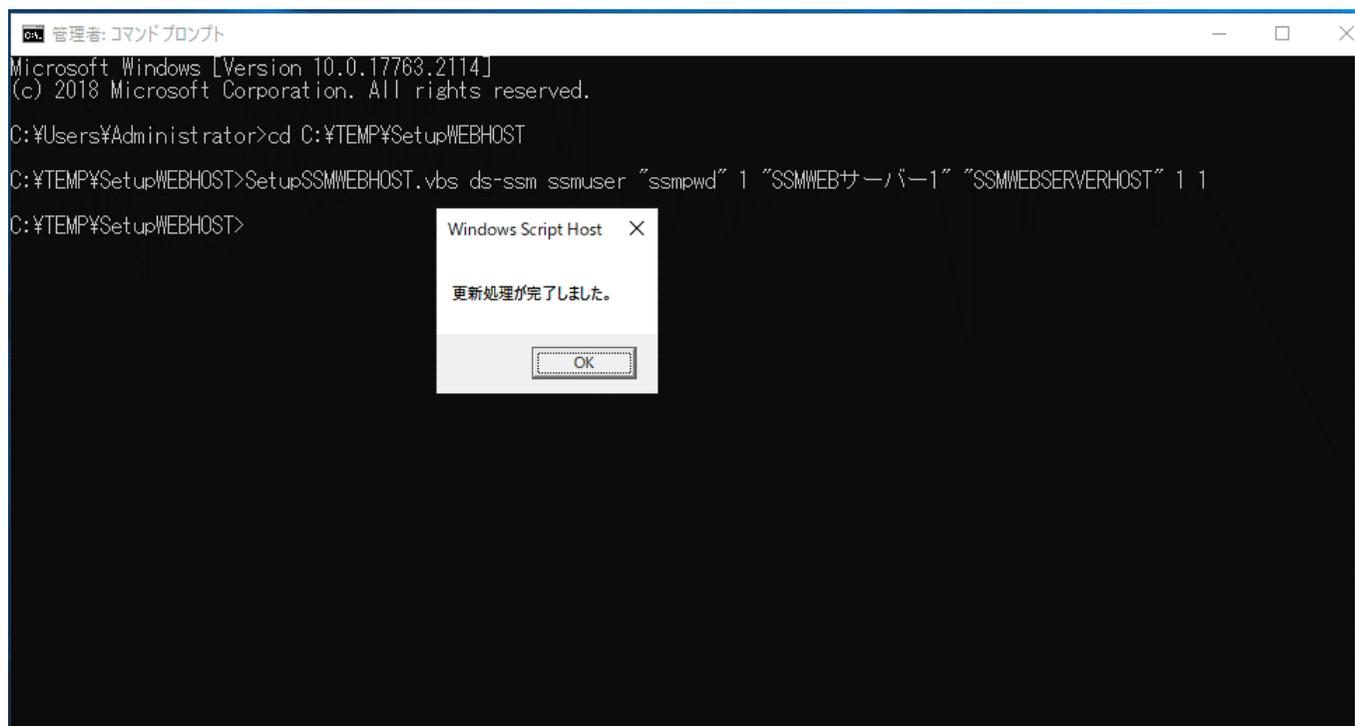
前提条件：該当 SSM WEB サーバーの情報は既に登録されています。

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。
("△"は半角スペースを示します。)

コマンド
SetupSSMWEBHOST.vbs△ds-ssm△ssmuser△"ssmpwd"△1△"SSMWEB サーバー1"△ "SSMWEBSERVERHOST"△1△1



コマンドを実行した後で表示されたメッセージから、「はい」をクリックします。



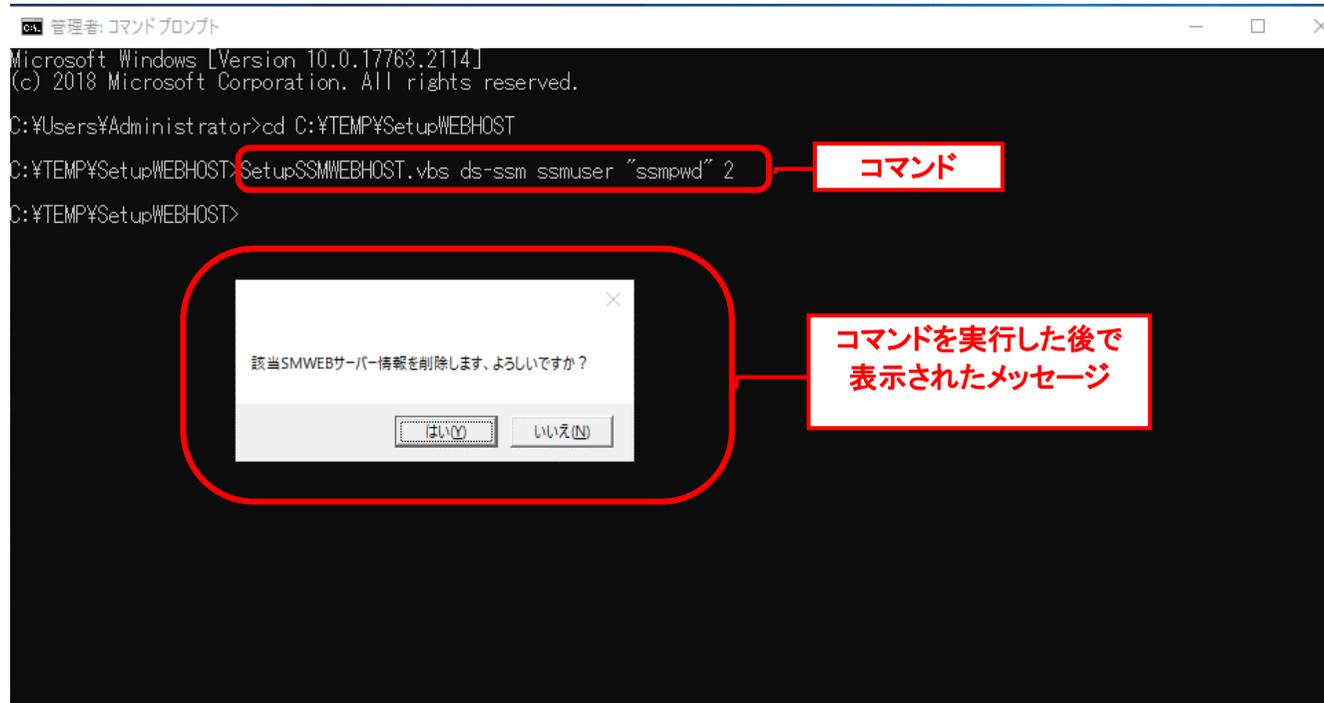
3. SSM WEB サーバー情報の削除

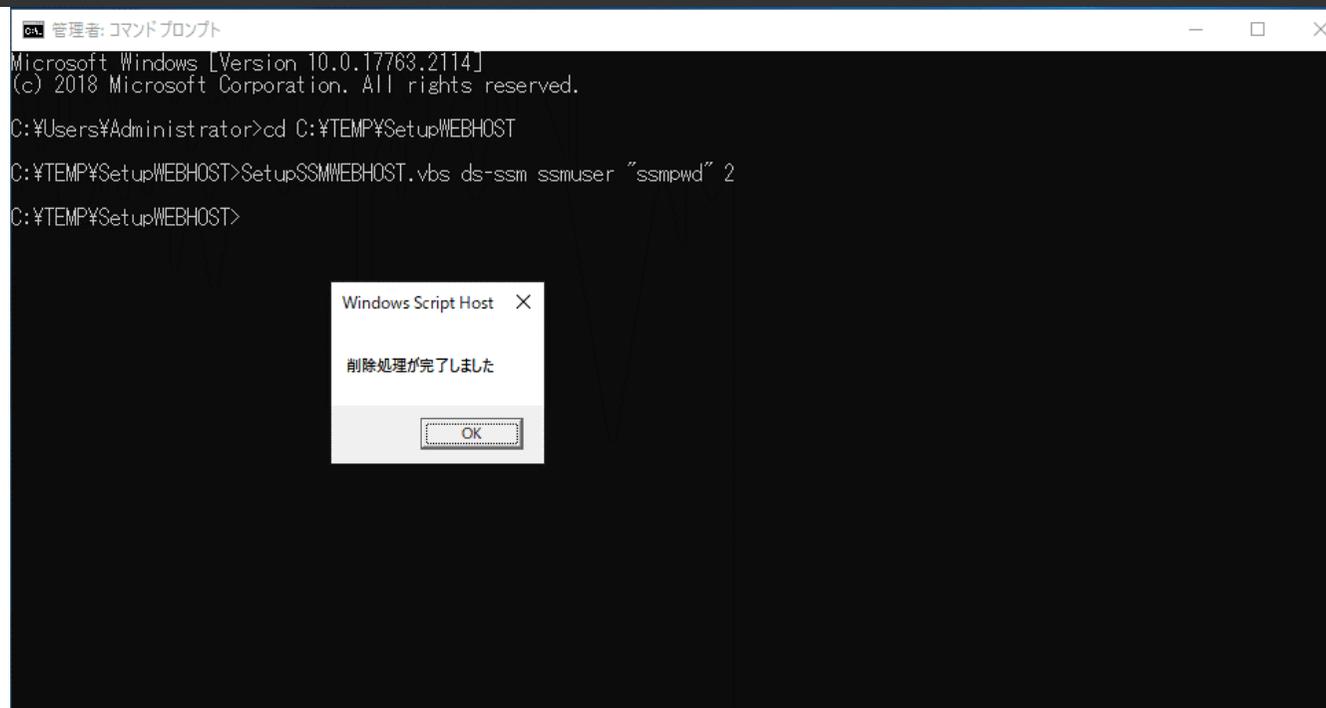
すでに登録した SSMWEB サーバー情報を削除したい場合、
コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。
("△"は半角スペースを示します。)

コマンド

```
SetupSSMWEBHOST.vbs△ds-ssm△ssmuser△"ssmpwd"△2
```

コマンドを実行した後で表示されたメッセージから、「はい」をクリックします。





The screenshot shows a Windows Command Prompt window titled "管理: コマンドプロンプト" (Admin: Command Prompt). The window content is as follows:

```
Microsoft Windows [Version 10.0.17763.2114]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>cd C:\TEMP\SetupWEBHOST
C:\TEMP\SetupWEBHOST>SetupSSMWEBHOST.vbs ds-ssm ssmuser "ssmpwd" 2
C:\TEMP\SetupWEBHOST>
```

A dialog box titled "Windows Script Host" is overlaid on the command prompt. The dialog box contains the message "削除処理が完了しました" (Deletion processing is complete) and an "OK" button.

1.2.23 コマンド実行デーモン (sjSPX_CmdMgr.exe)

コマンド実行デーモン機能を使用することで、Senju/SM コマンド実行機能(Web 画面)を行うことができます。

1.2.23.1 使用方法

- 1、コマンド実行デーモン機能を利用する操作
コマンド実行デーモンを使用したい場合、SSM DB サーバーコンフィグレータを起動し、
[拡張設定>常駐機能]にチェックが入って、サービス[CCFSP Process Manager]を再起動してください。
- 2、コマンド実行デーモン機能を利用しない操作
コマンド実行デーモンを使用たくない場合、SSM DB サーバーコンフィグレータを起動し、
[拡張設定>常駐機能]にチェックが外して、サービス[CCFSP Process Manager]を再起動してください。

コマンド実行デーモンでは Web 画面から実行可能なコマンドは以下とします。

コマンド名
マスタ登録コマンド
データ登録コマンド
コード登録コマンド
分類マスタ登録コマンド
構成反映コマンド
操作ログ取得コマンド



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.23.2 実行結果

コマンド実行デーモンを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

実行結果	NO	実行ログ	発生状況
正常終了	1	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 コマンド実行が終了しました。 標準出力内容：「xxxx」 コマンド実行依頼が完了しました。	デーモンにて依頼実行したコマンド正常に終了する場合
警告終了	1	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 コマンド実行が終了しました。 標準出力内容：「xxxx」 コマンド実行依頼が完了しました。	デーモンにて依頼実行したコマンド警告終了する場合
異常終了	1	サブスレッド起動失敗。	デーモンにサブスレッド（コマンド実行用）作成失敗する場合
	2	コマンド実行を依頼しました。 フォルダの作成に失敗しました	コマンド依頼ファイルを格納するフォルダが作成失敗する場合
	3	コマンド実行を依頼しました。 DB 接続失敗。	コマンド依頼中の時、DB との接続失敗する場合
	4	コマンド実行を依頼しました。 コマンド実行依頼情報の検索に失敗しました。	該当コマンド実行依頼の情報を取得失敗する場合
	5	コマンド実行を依頼しました。 指定されたコマンド実行依頼が存在しません。	依頼したコマンドが実行する前にレコードが削除した場合
	6	コマンド実行を依頼しました。 コマンドラインの作成に失敗しました。	該当コマンド実行依頼のコマンドライン（コマンド実行用）が作成失敗する場合
	7	コマンド実行を依頼しました。 コマンドの起動に失敗しました。	該当コマンドが起動失敗する場合
	8	コマンド実行を依頼しました。 コマンド登録用ファイルを取得失敗しました。	コマンド登録にインポートファイルを取得しない場合
	9	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。	コマンド正常終了した後、出力ファイルまたはログファイルを取得しない場合

実行結果	NO	実行ログ	発生状況
		コマンド実行が終了しました。 指定されたファイルは存在しません。	
	10	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 標準出力内容の取得に失敗しました。	コマンド正常終了した後、標準出力ログを取得しない場合
	11	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 コマンド実行が終了しました。 標準出力内容：「xxxx」 出力したファイルのDB登録に失敗しました。	コマンド正常終了した後、出力ファイルまたはログファイルをDBへ登録失敗する場合
	12	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 コマンド実行が終了しました。 標準出力内容：「xxxx」 コマンド実行依頼が完了しました。	デーモンにて依頼実行したコマンド異常終了する場合
強制終了	1	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 コマンド強制終了しました。	CCFSP サービスにてデーモンを停止する時、コマンドを強制終了する場合
不明	1	コマンド実行を依頼しました。 コマンドを起動しました。 長期間運行中の実行依頼を強制終了し、実行ステータスを「不明」へ更新しました。	コマンドが三日間以上に実行する場合
	2	-	デーモン起動する時、実行ステータスが「実行中」のデータが不明へ更新する

1.2.23.3 ファイルの説明

コマンド実行デーモンで必要となる「定義ファイル」のファイル名と格納先を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	コマンド稼働 定義ファイル	sjSPX_CmdMgrConf.xml	ログファイルの定義を設定するファイルです。 「%CCFSPDBHOME%dat¥spx¥cmdmgr」配下に格納されています。

以降に各ファイルの内容を記述する為のルールを記載します。

1. 稼働定義ファイル (sjSPX_CmdMgrConf.xml)

本ファイルは、ログファイルに出力されるメッセージレベル、1つのログファイルのサイズ、世代数の定義を設定するファイルです。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:CmdMgrConf pid="M1" type="spx-commandmgr" threadNum="2" logLevel="6" logSize="1048576" logBackup="7">
    <sp:profile getAttachFileSeqProcName="PKG_SPX_COMMON.P_GET_SEQ_INOUT_ATTACH_FIL" db_retryCount="5"
retryInterval="10"/>
  </sp:CmdMgrConf>
</sp:sp>
```

動作設定値	役割
pid	sjSPB_Pmctrl 用プロセス ID (M1)
type	タイプ (spx-commandmgr)
threadNum	サブスレッドの上限数 (2)
logLevel	ログレベルを設定します。 初期値は"6"です。

動作設定値	役割
logSize	1つのログファイルのサイズを設定します。 初期値は"1048576" (1MB) です。
logBackup	ログファイルを管理する世代数を設定します。 初期値は"7"です。
getAttachFileSeqProcName	PKG_SPX_COMMON.P_GET_SEQ_INOUT_ATTACH_FIL
db_retryCount	サブスレッドにDB接続再試行数(5)

1.2.24 トレースログ出力設定コマンド (SetupTraceLog.cmd)

トレースログ出力設定コマンドは、プログラムが異常終了する時、トレースログが出力されるようレジストリ設定を行います。



制限事項

トレースログ出力設定によって、設定する環境のパフォーマンスが低下するので、トレースログの出力が不要の場合はトレースログ出力設定コマンドを実行しないでください。

1.2.24.1 使用方法

動作環境

トレースログ出力必要な環境で本コマンドを実行します。

インストールディスクの以下のフォルダを C:\TEMP にコピーします。

C ドライブ直下に TEMP フォルダがない場合は、TEMP フォルダを作成してください。

64bit OS の場合	Senju Service Manager¥Install¥x64¥202400¥SSMWEB¥SetupTraceLog¥SetupTraceLog.cmd
--------------	---

指定形式("△"は半角スペースを示します。)

SetupTraceLog.cmd△モード△ダンプファイル出力ディレクトリ△保存するダンプファイル最大数

オプション

各引数の説明および指定値について記載します。

- ・ **モード**

処理モードを指定します。

処理モードには、1 と 2 のいずれか一つを指定可能です。

省略できません。

1 : 登録-更新モード

コマンドオプションで指定された内容をレジストリに登録/更新します。

トレースログ出力レジストリが未登録の場合は登録を行います。

トレースログ出力レジストリが既に登録済みの場合は登録済みのダンプファイル出力ディレクトリ、保存するダンプファイル最大数、のレジストリに対する更新を行います。

※更新する場合は、直接ダンプファイル出力ディレクトリ、保存するダンプファイル最大数を変わりたい値に指定してください。

2: 削除モード

トレースログ出力レジストリを削除します。

※トレースログ出力が不要になった場合は必ず削除を行ってください。

- **ダンプファイル出力ディレクトリ**

ダンプファイルの出力先ディレクトリを指定します。

「1: 登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2: 削除モード」を指定する場合は指定できません。

※SSMWEB サーバー名はダブルクォートで囲んでください。

- **保存するダンプファイル最大数**

ダンプファイル出力先ディレクトリに保存するダンプファイルの最大数を指定します。

「1: 登録-更新モード」を指定する場合は省略できません。

「2: 削除モード」を指定する場合は指定できません。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、
予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.24.2 実行結果

トレースログ出力設定コマンドを実行すると、以下の例の様な実行結果が画面に表示されます。

例)

```
G:¥TEMP>SetupTraceLog.cmd 1 "C:¥TEMP" 10
この操作を正しく終了しました。
この操作を正しく終了しました。
この操作を正しく終了しました。
この操作を正しく終了しました。

G:¥TEMP>
```

トレースログ出力設定コマンドは、処理結果により以下の出力があります。

出力	内容
Usage 出力	Usage を出力した場合。
正常終了	コマンドが正常終了した場合。
異常終了	コマンドにて指定できるオプション以外を指定した場合。
	必須コマンドオプションが指定されない場合。

出力に対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

出力メッセージ	内容	対応
この操作を正しく終了しました。	トレースログ出力設定コマンドが正常終了しました。	なし
必要な数の引数が指定されていません。 Usage : SetupSSMWEBHOST.vbs モード ダンプファイル出力ディレクトリ 保存 するダンプファイル最大数 ※削除モードを指定する場合、ダンプ ファイル出力ディレクトリと保存するダ ンプファイル最大数は指定しないでくだ さい	必須コマンドオプションが指定されま せん でした。	コマンドオプションの確認をしてくだ さい。 コマンドオプションの詳細については、「 1.2.24.1 使 用方法 」を参照してください。
削除モードを指定する場合、ダンプフ ァイル出力ディレクトリと保存するダ ンプファイル最大数は指定しないでくだ さい。	コマンドにて指定できるオプション以外 を指定しました。	
次のモード以外は指定しないでくださ い。(1 : 登録 2 : 削除)	コマンドオプションに不正な値が指定さ れました。	
不正な引数が指定されました。 Usage : SetupSSMWEBHOST.vbs モード ダンプファイル出力ディレクトリ 保存 するダンプファイル最大数 ※削除モードを指定する場合、ダンプ ファイル出力ディレクトリと保存するダ ンプファイル最大数は指定しないでくだ さい		

1.2.25ElasticSearch データ削除モジュール(sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs)

ElasticSearch データ削除モジュールは、ElasticSearch 側に取り込済のデータを Senju Service Manager 側で削除した場合、ElasticSearch 側で対応データの削除を行います。

1.2.25.1 使用方法

動作環境

コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式

sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs



制限事項

ElasticSearch データ削除モジュールは Elasticsearch 連携機能を利用していることを前提としています。実行する場合 Elasticsearch 連携機能の利用設定が必要になります。
※別紙「Elasticsearch 連携機能ガイド」を参照してください。



制限事項

Senju Service Manager バージョン 2022.0.0 以前のバージョンから継続して Elasticsearch 連携機能を利用している場合、2022.0.0 以前のバージョンで削除されたデータは本コマンドで ElasticSearch サーバー側の対応データを削除することができません。
これらのデータについて削除する場合、ElasticSearch のデータを再収集してください。
詳しくは別紙「Elasticsearch 連携機能ガイド」の「1.10.1 データを再収集する」を参照してください。



操作説明

一度もログインした経験がないユーザーで、コマンド実行を行うとエラーが発生するため、予め一度以上、コマンド実行対象のサーバーへログインしてください。

1.2.25.2 実行結果

ElasticSearch データ削除モジュールを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP> sjSPU_ElasticSearchDelete. vbs
C:¥TEMP>
```



仕様補足

本コマンドを実行すると、Senju Service Manager での削除日時を 5 分以上過ぎたレコードに対応する ElasticSearch 側のデータが ElasticSearch から削除されます。

1.2.25.3 ファイルの説明

ElasticSearch データ削除モジュール実行時に出力されるファイルについての説明を記載します。

以下の表にファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	実行ログファイル	sjSPU_ElasticSearchDelete. log	ElasticSearch データ削除モジュールの実行ログ情報が出力されるファイルです。 「「%CCFSPDBHOME%log」」フォルダに出力されます。 [YYYYMMDD] : コマンド実行日です。 [HHMMSS] : コマンド実行時間です。(24 時間表記)

ログに対応したメッセージを以下に記載します。

項番	概要	ラベル	出力内容
1	モジュール実行開始	INFO	ElasticSearch Delete Start.
2	DB パラメータエラー	ERROR	データベースの接続情報を確認してください。
3		ERROR	データベースの接続情報(ユーザーアカウント)が設定されませんでした。
4		ERROR	データベースの接続情報(パスワード)が設定されませんでした。
5		ERROR	データベースの接続情報(DSN)が設定されませんでした。
6		ERROR	データベースの接続情報(DB タイプ)が設定されませんでした。

項番	概要	ラベル	出力内容
7	DB サーバ情報取得失敗	ERROR	データベースの接続中にエラーが発生しました。
8	DB サーバ SQL 実行失敗	ERROR	SQL 実行に失敗しました。
9	パスワード復号エラー	ERROR	パスワードの復号化に失敗しました。
10	ライセンスチェックエラー	ERROR	全文検索/類似検索のライセンスを確認してください。
11	ES パラメータエラー	ERROR	ElasticSearch の接続形態が設定されませんでした。
12		ERROR	ElasticSearch サーバー名が設定されませんでした。
13		ERROR	ElasticSearch ポート番号が設定されませんでした。
14	ES サーバ情報取得失敗	ERROR	ElasticSearch サーバーの接続中にエラーが発生しました。
15	ES サーバのデータ削除失敗	ERROR	ElasticSearch サーバーのデータ削除に失敗しました。 (status=XXX, responseText=XXXX)
16	リソース (ADO オブジェクト) エラー	ERROR	システムに必要なリソース (ADO オブジェクト) が使用できません。
17	モジュール実行成功	INFO	ElasticSearch Delete was successful.
18	モジュール実行失敗	INFO	ElasticSearch Delete was failed.
19	モジュール実行終了	INFO	ElasticSearch Delete End.
20	削除対象件数	INFO	削除対象件数 : XXX
21	削除対象登録番号	INFO	登録番号 : XXX, ..., XXX

例) sjSPU_ElasticSearchDelete.log

```
[2021/07/21 10:28:25] INFO ElasticSearch Delete Start.
[2021/07/21 10:28:26] INFO ElasticSearch Delete was successful.
[2021/07/21 10:28:26] INFO 削除対象件数 : 2
[2021/07/21 10:28:26] INFO 登録番号 : 0005000000000001, 0005000000000002
[2021/07/21 10:28:26] INFO ElasticSearch Delete End.
[2021/07/21 10:29:27] INFO ElasticSearch Delete Start.
[2021/07/21 10:29:27] ERROR ElasticSearch サーバーのデータ削除に失敗しました。(status=XXX, responseText=XXXX)
[2021/07/21 10:29:27] INFO ElasticSearch Delete was failed.
[2021/07/21 10:29:27] INFO ElasticSearch Delete End.
[2021/07/21 10:31:26] INFO ElasticSearch Delete Start.
[2021/07/21 10:31:27] ERROR ElasticSearch サーバーの接続中にエラーが発生しました。
[2021/07/21 10:31:27] INFO ElasticSearch Delete was failed.
[2021/07/21 10:31:27] INFO ElasticSearch Delete End.
[2021/07/21 10:32:11] ERROR ElasticSearch サーバー名が設定されませんでした。
```

1.2.25.4 設定ケーススタディ

ここでは以下の2ケースを用いて具体的な削除手順を示します。

No	タイトル
1	手動で直接モジュールを呼び出して削除する
2	タスクスケジューラより、定期的に自動実行して削除する

1. 手動で直接モジュールを呼び出して削除する

前提条件：

ElasticSearch 連携機能を利用しており必要な設定が行われている。
実行5分前以前に Senju Service Manager で削除されたレコードがある。

削除する情報：

以下に5分前に Senju Service Manager で削除されたレコード情報を記載します。

削除対象データ	(1 件目)	(2 件目)
(項目名)	(値)	
画面 ID	0500000000000001	0500000000000002

実施する処理：

コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP> sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs
```

実施後の処理結果：

コマンドプロンプトに以下メッセージが表示されます。

```
C:¥TEMP> sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs  
C:¥TEMP>
```

「削除する情報」で示したレコードがElasticSearch側で対応データが削除されました。

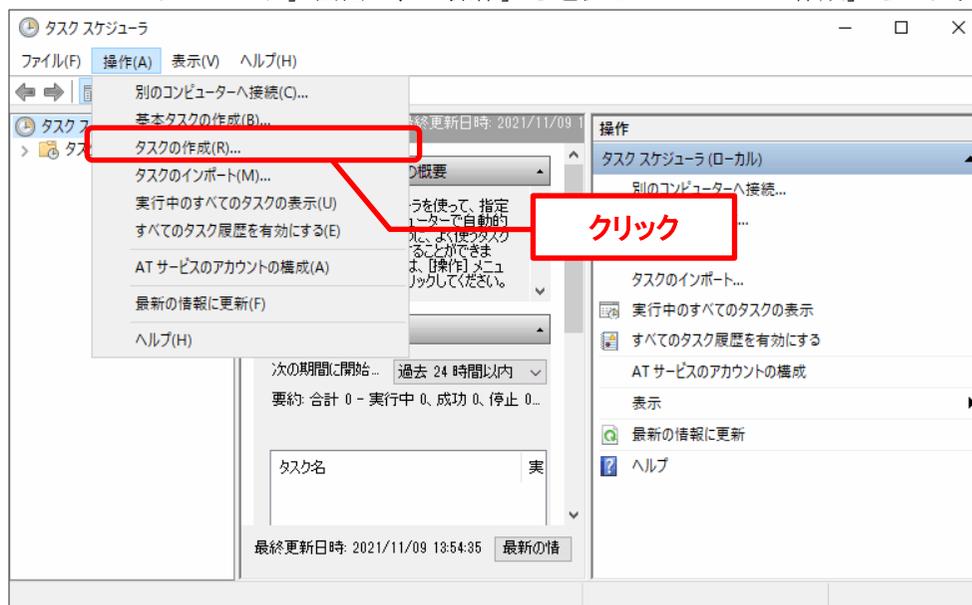
```
[2021/07/21 10:28:25] INFO ElasticSearch Delete Start.  
[2021/07/21 10:28:26] INFO ElasticSearch Delete was successful.  
[2021/07/21 10:28:26] INFO 削除対象件数 : 2  
[2021/07/21 10:28:26] INFO 登録番号 : 0005000000000001, 0005000000000002  
[2021/07/21 10:28:26] INFO ElasticSearch Delete End.
```

2. タスクスケジューラより、定期的に自動実行して削除する

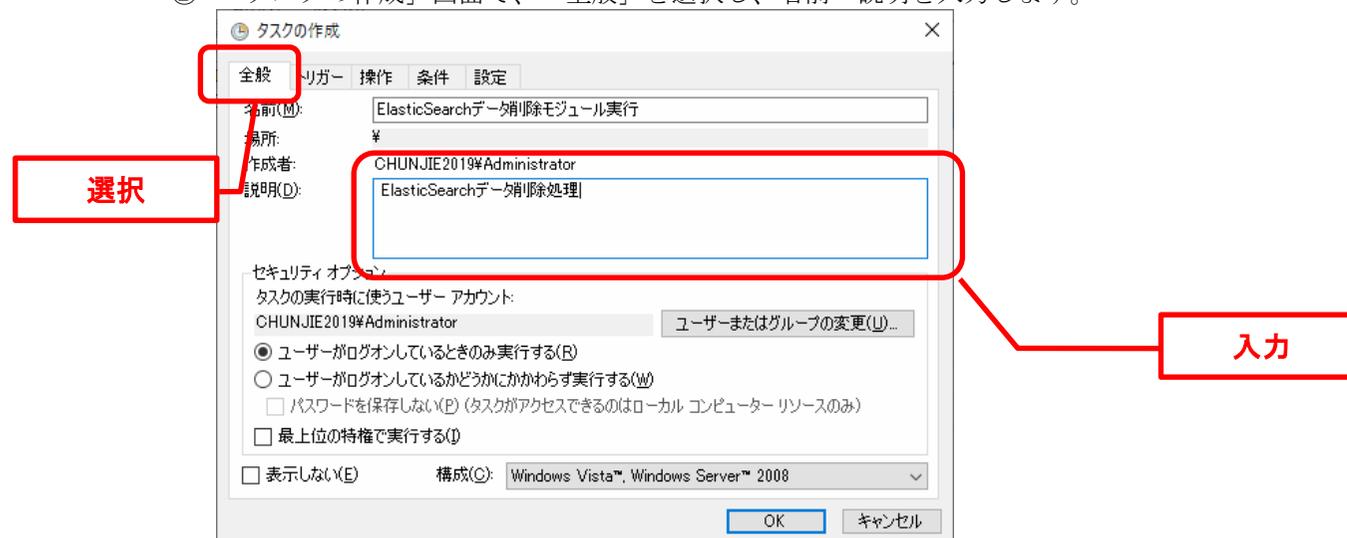
Senju Service Manager のデータと Elasticsearch のデータを同期させたい場合は、定期的に本コマンドを実行する設定をしてください。ここでは Windows のタスクスケジューラを利用する例を説明します。

「スタート」メニュー→「管理ツール」→「タスク スケジューラ」で設定できます。

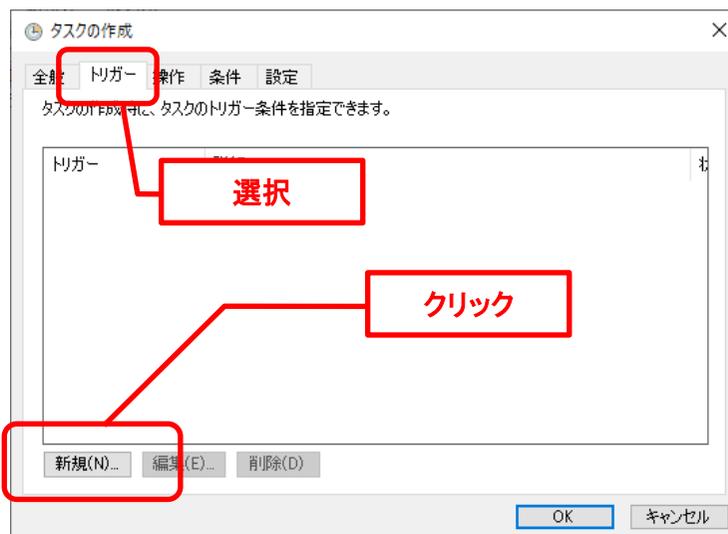
- ① 「タスク スケジューラ」画面で、「操作」を選択して「タスクの作成」をクリックします。



- ② 「タスクの作成」画面で、「全般」を選択し、名前・説明を入力します。



- ③ 「タスクの作成」画面で、「トリガー」を選択します。
「新規」をクリックして、呼び出した「新しいトリガー」画面で、自動的に実行する日時を設定します。



- ④ 設定完了してから、「OK」をクリックします。

トリガーの編集

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

1回(N)

毎日(D)

毎週(W)

毎月(M)

開始(S): 2021/11/09 00:05:00 タイムゾーン間で同期(O)

間隔(Q): 1 日

詳細設定

遅延時間を指定する(ランダム)(D): 1時間

繰り返し間隔(Q): 1時間 継続時間(E): 1日間

繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(O)

停止するまでの時間(L): 3日間

有効期限(Q): 2022/11/09 14:37:19 タイムゾーン間で同期(O)

有効(E)

OK キャンセル

- ⑤ タスクの作成」画面で、「操作」を選択します。
「新規」をクリックして、呼び出した「新しい操作」画面で、自動的に実行するモジュールを設定します。

タスクの作成

全般 トリガー 操作 条件 設定

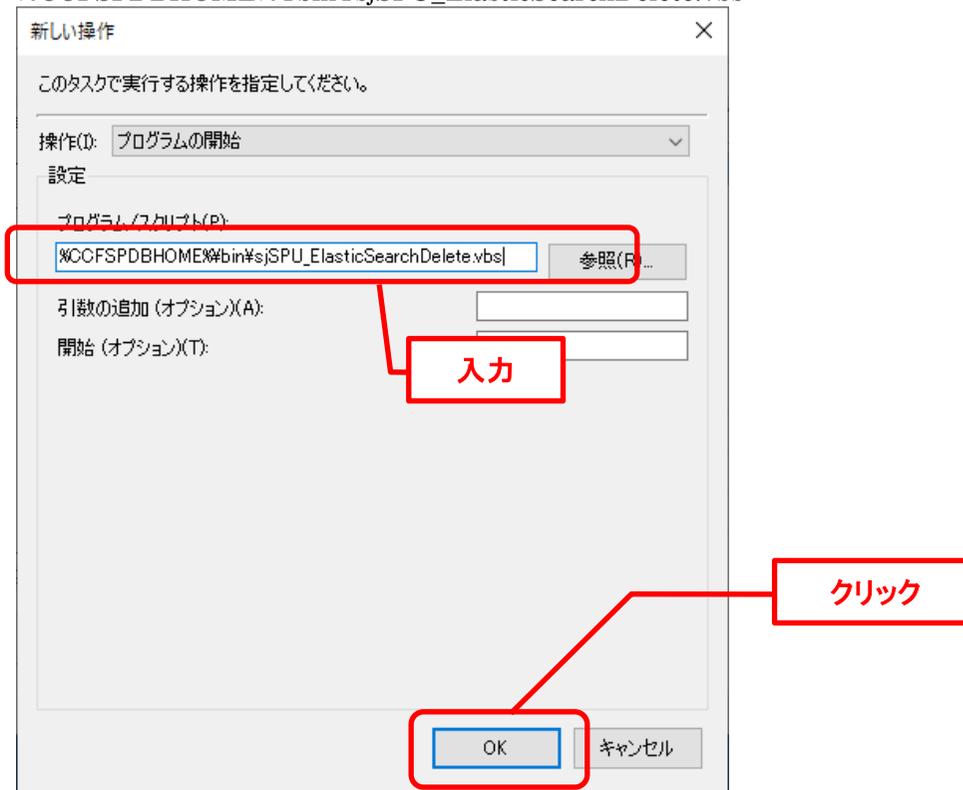
タスクを作成する場合、タスクの開始時に発生する操作を指定する必要があります。

操作

新規(N)... 編集(E)... 削除(D)

OK キャンセル

- ⑥ 「プログラム/スクリプト」で下記のパスを入力し、「OK」をクリックします。
%CCFSPDBHOME%\bin\sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs



上記の設定により、タスクスケジューラより定期的に本モジュールを自動実行させることができます。

1.3 指定可能フィールド情報一覧

本章では、Senju Service Manager の各コマンドにおける指定可能なフィールド情報について記載します。

1.3.1 凡例

以降の指定可能フィールド情報一覧における列と一覧の内容について全てを記載します。
各コマンドにより列の記載が異なります。

列名	詳細説明	
ブロック名	Senju Service Manager の Web 画面のブロック名を表します。	
画面項目名	Senju Service Manager の Web 画面の初期項目名を表します。	
フィールド名	インポートファイルに指定する項目名を表します。	
指定順序	インポートファイルに指定する順序を表します。	
モード指定可否	登録モード毎の指定可否を表します。	
新規	新規登録時にインポートファイルに指定可能な項目を表します。 ※上記説明文の中の「新規登録」は新規モードではなくて、新規の動作を意味しています。	
更新	更新時にインポートファイルに指定可能な項目を表します。 ※上記説明文の中の「更新」は更新モードではなくて、更新の動作を意味しています。	
ク ロ ー ズ	新規	“ステータス”を「クローズ」として登録する際にインポートファイルに指定可能な項目を表します。
	更新	“ステータス”を「クローズ」として更新する際にインポートファイルに指定可能な項目を表します。
	解除	クローズを解除する際にインポートファイルに指定可能な項目を表します。
削除	削除時にインポートファイルに指定可能な項目を表します。	
経過追加	経過情報追加登録時にインポートファイルに指定可能な項目を表します。	
-T 指定無	マスタ登録コマンドにて-T オプションが未指定の場合にインポートファイルに指定可能な項目を表します。	
-T 指定有	マスタ登録コマンドにて-T オプションが指定された場合に マッピングアイテムファイルおよびインポートファイルに指定可能な項目を表します。	
各項目の指定必須/任意/不可については、以下の通りです。		
◎	必須指定項目を表します。	
○	任意指定項目を表します。	
☆	更新時にインポートファイルで半角または全角スペースを指定しても値をクリアできない項目を表します。	
●	更新または経過情報追加登録時に、対象案件を特定するためのキー項目を表します。 項目自体の更新・追加登録は行えません。	
×	指定不可項目を表します。	
また、上記の必須/任意/不可に加え、指定に条件が必要な項目があります。詳細は以下の通りです。		

列名	詳細説明																																									
	▲	"ステータス"項目に「クローズ」と指定した場合に登録・更新対象となる項目です。																																								
	▼	対象のコンボテキスト-コンボボックスに「その他」と指定した場合に登録・更新対象となる項目です。コンボテキスト-コンボボックスに「その他」以外を指定した場合は、初期値にて登録されます。																																								
	■	複数指定可能項目を表します。 「経過情報」ブロックに記載されている項目においては、複数指定した場合、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。																																								
	◆	既存の情報を更新するのではなく、指定した値がエスカレーション情報に追加されます。																																								
指定値	インポートファイルに指定するファイルの指定値の詳細を表します。 登録モード指定可否欄が「×」の場合は対象外です。																																									
	指定形式	<p>インポートファイルに指定する値の形式を表します。詳細は以下の通りです。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="701 544 920 663">画面 ID (データ種別 ID)</td> <td data-bbox="931 544 2016 663">登録したい画面の「画面 ID」を指定します。 コマンドにより登録可能な画面は異なります。 各コマンドの指定可能フィールド情報一覧を参照してください。 画面 ID に指定する値については「1.1.2 画面 ID」を参照してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 663 920 727">関連画面 ID</td> <td data-bbox="931 663 2016 727">関連項目として登録したい構成管理の「画面 ID」を指定します。 「1.1.2 画面 ID」を参照し、「構成アイテム 1~50」の画面 ID を指定してください</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 727 920 759">レコード ID</td> <td data-bbox="931 727 2016 759">半角でレコード ID を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 759 920 791">関連構成 ID</td> <td data-bbox="931 759 2016 791">構成管理>構成管理の「構成アイテム ID」を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 791 920 823">グループ名</td> <td data-bbox="931 791 2016 823">管理者メニュー>ユーザー>権限>グループに登録されているグループ名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 823 920 855">ユーザーID</td> <td data-bbox="931 823 2016 855">管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されているユーザーID を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 855 920 887">社員番号</td> <td data-bbox="931 855 2016 887">管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されている社員番号を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 887 920 919">画面ポリシー名</td> <td data-bbox="931 887 2016 919">管理者メニュー>ユーザー>権限>画面ポリシーに登録されている画面ポリシー名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 919 920 951">職責名</td> <td data-bbox="931 919 2016 951">管理者メニュー>ユーザー>権限>職責に登録されている職責名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 951 920 983">認証サーバー名</td> <td data-bbox="931 951 2016 983">管理者メニュー>制御情報>認証サーバーに登録されている認証サーバー名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 983 920 1015">チーム名</td> <td data-bbox="931 983 2016 1015">管理者メニュー>ユーザー>権限>チームに登録されているチーム名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1015 920 1046">役職名</td> <td data-bbox="931 1015 2016 1046">全半角で役職名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1046 920 1078">システム名</td> <td data-bbox="931 1046 2016 1078">管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1078 920 1158">全システム名</td> <td data-bbox="931 1078 2016 1158">管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。 「全システム共通」も指定することが可能です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1158 920 1190">コード種別</td> <td data-bbox="931 1158 2016 1190">管理者メニュー>マスタ>コードにて表示されるコード種別を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1190 920 1222">コード名</td> <td data-bbox="931 1190 2016 1222">管理者メニュー>マスタ>コードに登録されているコード名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1222 920 1254">分類名</td> <td data-bbox="931 1222 2016 1254">管理者メニュー >マスタ>分類に登録されている分類名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1254 920 1286">会社名</td> <td data-bbox="931 1254 2016 1286">管理者メニュー>マスタ>会社/組織>会社に登録されている会社名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1286 920 1318">組織名</td> <td data-bbox="931 1286 2016 1318">管理者メニュー>マスタ>会社/組織>組織に登録されている組織名を指定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="701 1318 920 1350">ルート名</td> <td data-bbox="931 1318 2016 1350">管理者メニュー>機能別>承認フロー>承認フロールートに登録されているルート名を指定します。</td> </tr> </table>	画面 ID (データ種別 ID)	登録したい画面の「画面 ID」を指定します。 コマンドにより登録可能な画面は異なります。 各コマンドの指定可能フィールド情報一覧を参照してください。 画面 ID に指定する値については「1.1.2 画面 ID」を参照してください。	関連画面 ID	関連項目として登録したい構成管理の「画面 ID」を指定します。 「1.1.2 画面 ID」を参照し、「構成アイテム 1~50」の画面 ID を指定してください	レコード ID	半角でレコード ID を指定します。	関連構成 ID	構成管理>構成管理の「構成アイテム ID」を指定します。	グループ名	管理者メニュー>ユーザー>権限>グループに登録されているグループ名を指定します。	ユーザーID	管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されているユーザーID を指定します。	社員番号	管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されている社員番号を指定します。	画面ポリシー名	管理者メニュー>ユーザー>権限>画面ポリシーに登録されている画面ポリシー名を指定します。	職責名	管理者メニュー>ユーザー>権限>職責に登録されている職責名を指定します。	認証サーバー名	管理者メニュー>制御情報>認証サーバーに登録されている認証サーバー名を指定します。	チーム名	管理者メニュー>ユーザー>権限>チームに登録されているチーム名を指定します。	役職名	全半角で役職名を指定します。	システム名	管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。	全システム名	管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。 「全システム共通」も指定することが可能です。	コード種別	管理者メニュー>マスタ>コードにて表示されるコード種別を指定します。	コード名	管理者メニュー>マスタ>コードに登録されているコード名を指定します。	分類名	管理者メニュー >マスタ>分類に登録されている分類名を指定します。	会社名	管理者メニュー>マスタ>会社/組織>会社に登録されている会社名を指定します。	組織名	管理者メニュー>マスタ>会社/組織>組織に登録されている組織名を指定します。	ルート名	管理者メニュー>機能別>承認フロー>承認フロールートに登録されているルート名を指定します。
画面 ID (データ種別 ID)	登録したい画面の「画面 ID」を指定します。 コマンドにより登録可能な画面は異なります。 各コマンドの指定可能フィールド情報一覧を参照してください。 画面 ID に指定する値については「1.1.2 画面 ID」を参照してください。																																									
関連画面 ID	関連項目として登録したい構成管理の「画面 ID」を指定します。 「1.1.2 画面 ID」を参照し、「構成アイテム 1~50」の画面 ID を指定してください																																									
レコード ID	半角でレコード ID を指定します。																																									
関連構成 ID	構成管理>構成管理の「構成アイテム ID」を指定します。																																									
グループ名	管理者メニュー>ユーザー>権限>グループに登録されているグループ名を指定します。																																									
ユーザーID	管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されているユーザーID を指定します。																																									
社員番号	管理者メニュー>ユーザー>ユーザーに登録されている社員番号を指定します。																																									
画面ポリシー名	管理者メニュー>ユーザー>権限>画面ポリシーに登録されている画面ポリシー名を指定します。																																									
職責名	管理者メニュー>ユーザー>権限>職責に登録されている職責名を指定します。																																									
認証サーバー名	管理者メニュー>制御情報>認証サーバーに登録されている認証サーバー名を指定します。																																									
チーム名	管理者メニュー>ユーザー>権限>チームに登録されているチーム名を指定します。																																									
役職名	全半角で役職名を指定します。																																									
システム名	管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。																																									
全システム名	管理者メニュー>マスタ>システム>システムに登録されているシステム名を指定します。 「全システム共通」も指定することが可能です。																																									
コード種別	管理者メニュー>マスタ>コードにて表示されるコード種別を指定します。																																									
コード名	管理者メニュー>マスタ>コードに登録されているコード名を指定します。																																									
分類名	管理者メニュー >マスタ>分類に登録されている分類名を指定します。																																									
会社名	管理者メニュー>マスタ>会社/組織>会社に登録されている会社名を指定します。																																									
組織名	管理者メニュー>マスタ>会社/組織>組織に登録されている組織名を指定します。																																									
ルート名	管理者メニュー>機能別>承認フロー>承認フロールートに登録されているルート名を指定します。																																									

列名	詳細説明
全半角 1	全半角文字列を指定します。 更新時に値の更新は行えますが、値を削除することはできません。
全半角 2	全半角文字列を指定します。 更新時に全角または半角スペースを指定した場合、既に登録されている値は削除されます。
全半角 3	全半角文字列を指定します。 値の更新はできません。 (更新モードが使用できない、または、更新時に新規のレコードができるためです。)
半角	半角文字列を指定します。
半角英数字	半角英数字を指定します。
半角記号英数字 1	半角英数字を指定します。また、[-](ハイフン)[_](アンダーバー)も指定可能です。
半角記号英数字 2	半角英数字を指定します。また、特殊記号(!# \$ % & ' = ~ ` < > _ ^ ; : , / ¥ () { + * } ? - @ [] . ")も指定可能です。
メールアドレス形式	以下の二つ形式だけが指定できます： ・アドレス形式 (ローカル部@ドメイン) ・名称<アドレス形式> (名称<ローカル部@ドメイン>) アドレス形式について、ローカル部とドメインに半角英数字を指定します。 また、[-](ハイフン), [_](アンダーバー), [.] (ピリオド)も指定可能です。
ファイル名	以下ファイル名はフルパスで指定します。 ※下記の文字列をフルパスの中を含むことはできません。 ① 「,」 ② 「@\$@」 ③ 「@#@」 (データ種別：プロセス管理もしくはイベント管理の場合のみ)の二つ形式だけが指定できる。
権限名	管理者メニュー>ユーザー>権限>権限メニューに登録されている権限名を指定します。
数値	半角数値(整数・小数)を指定します。
整数値	半角数値(整数)のみを指定します。
数値記号	半角数値(整数・小数)を指定します。 また、[+](プラス)[-](ハイフン)[.] (ピリオド)も指定可能です。
日付	YYYYMMDD 形式で日付を指定します。
時刻	24 時間表記の hhmss 形式で時刻を指定します。
時間	24 時間表記の hhmm 形式で時間を指定します。
固定値 1~18	各コマンドで決められた指定値を指定します。 各固定値については後述の固定値パターン一覧を参照してください。

列名	詳細説明
	<p>ユーザーパスワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードの最大桁数は 32、最小桁数は管理者メニューの制御情報の「パスワードへの使用文字種数の最小設定値」に設定されています。最大桁数を超える、または最小桁数に満たないパスワードの場合、登録・更新できません。 ・パスワードは以下の文字のみを使用可能とします。下記以外の文字を使用した場合、登録・更新できません。 <ul style="list-style-type: none"> 半角英字(大文字・小文字) 数字 記号 (!#\$%&' = ` < > _ ^ ; : , / ¥ () {+*} ? - @ [] . ") 半角スペース ・パスワード指定文字種別数が管理者メニューの制御情報の「パスワードへの使用文字種数の最小設定値」の設定値に満たない場合、登録・更新できません。 ※文字種は英大文字/英小文字/数字/記号の 4 種 ※半角スペースは文字種に含まれません。 ・管理者メニューの制御情報の「パスワードへの ID 許可設定」を「許可しない」に設定した場合、ID を含むパスワードのユーザー登録・更新できません。 ・更新するパスワードが、パスワード履歴チェック対象数分のパスワード履歴内に存在する場合、登録・更新できません。 ※チェック対象数は、管理者メニューの制御情報の「パスワード履歴チェック対象数(個)」の設定値。
制限値	インポートファイルに指定可能な値の上限バイト数を表します。
未指定	インポートファイルに設定した値が未指定、
指定不正	または指定不正(書式不正・存在しないデータ・上限値以上のデータ)の場合に、補填して登録されるデータを表します。
P1	エラーとなりレコード自体が登録されません。
P2	レコードは登録されますが、対象の項目は未設定で登録されず
P3	レコードは更新されますが、対象の項目は更新されません。
P4	レコードは登録されますが、制限値に記載のある Byte 以上のデータは切捨てられます。 ※データ登録コマンド、イベント受信連携デーモンで制限値を超える場合、ログにオリジナルの文字列の出力を行うか、項目値を出力しないか、設定可能とする。 「イベント連携の文字数切り捨て時のログ出力設定」： 1: 出力する 0: 出力しない
P5	レコードは登録されますが、対象の項目はデフォルト値で登録されます。
P6	クローズ完了時の 1 つ前のエスカレーション先を設定します。
P7	複数指定可能な項目に、不正な値が含まれていた場合、レコードは登録されますが、対象の項目は未設定で登録されず。
P8	複数指定可能な項目に、不正な値が含まれていた場合、レコードは更新されますが、対象の項目は更新されません。
P10	自動で ID が採番され登録されます。
P11	コマンド実行日が登録されます。

列名	詳細説明
	P12 コマンド実行時刻が登録されます。
	P13 複数指定可能な項目に、不正な値が含まれていた場合、レコードは登録されますが、対象の項目は正しい値のみが登録されます(不正な値は登録されません)。
	P14 複数指定可能な項目に、不正な値が含まれていた場合、レコードは更新されますが、対象の項目は正しい値のみが更新されます(不正な値は更新されません)。
	P20 "Black"が登録されます。
	P21 "非公開"が登録されます。
	P22 "ステータス"が登録されます。
	P23 "SEN"が登録されます。
	P24 "有効"が登録されます。
	P25 "0000"が登録されます。
	P26 "表示する"が登録されます。
	P27 "OFF"が登録されます。
	P30 イベント管理として登録されます。
	P31 レコードにはデフォルト値が登録されますが、画面上は未設定で表示されます。
	P32 レコードにはデフォルト値が更新されますが、画面上は未設定で表示されます。
	P33 "ON"が登録されます。
	P34 リッチテキスト項目とリッチテキスト HTML ファイル項目の一を指定すれば登録できます。 両方指定しなければ、リッチテキストが登録しません。 両方同時指定すれば、リッチテキストが登録しません。
	P35 リッチテキスト項目とリッチテキスト HTML ファイル項目の一を指定すれば更新できます。 両方指定しなければ、リッチテキストが更新しません。 両方同時指定すれば、リッチテキストが更新しません。
	P36 リッチテキスト挿入ファイル項目、リッチテキストファイル名、リッチテキスト Content-ID について： 三者同時指定するが必須です。 任一が未指定する場合、登録/更新に失敗になります。

形式が「固定値」である場合のパターンを以下一覧に示します。
 パターンにより、「設定値」列に記載されている値を設定してください。
 補完値が「○」となっている設定値は、各コマンドにおいて未指定時または指定不正の場合に補完される値をしめします。

固定値パターン一覧

固定値パターン	設定値	設定値の説明
固定値 1-1	0	公開しない場合、指定します。
	1	公開する場合、指定します。
固定値 1-2	0	ステータスを無効とする場合、指定します。
	1	ステータスを有効とする場合、指定します。
固定値 1-3	0	前倒し入力を行わない
	1	前倒し入力を行う
固定値 2-1	1	職責の場合、指定します。
	2	ユーザーの場合、指定します。
固定値 2-2	1	新規登録の場合、指定します。
	2	更新の場合、指定します。
固定値 3	Black	Black のみ指定可能です。
固定値 4	公開	公開する場合、指定します。
	非公開	公開しない場合、指定します。
固定値 5	ON	該当項目を使用する場合、指定します。
	OFF	該当項目を使用しない場合、指定します。
固定値 6	全員	申請を全員が行える場合、指定します。
	ユーザー	申請をユーザー指定とする場合、指定します。
	職責	申請を職責指定とする場合、指定します。
	役割	申請を役割指定とする場合、指定します。
固定値 7	申請者	承認を全員が行える場合、指定します。
	ユーザー	承認をユーザー指定とする場合、指定します。
	職責	承認を職責指定とする場合、指定します。
	役割	承認を役割指定とする場合、指定します。
固定値 8	申請者	申請の区分を申請者とする場合、指定します。
	ユーザー	申請の区分をユーザーとする場合、指定します。
	職責	申請の区分を職責とする場合、指定します。
固定値 9	作業	(アクション)カテゴリを作業とする場合、指定します。
	承認	(アクション)カテゴリを承認とする場合、指定します。
	確認	(アクション)カテゴリを確認とする場合、指定します。
固定値 10	全員	承認条件を全員とする場合、指定します。

固定値パターン	設定値	設定値の説明
	いずれか一人	承認条件をいずれか一人とする場合、指定します。
固定値 11	全員	承認の区分を申請者とする場合、指定します。
	ユーザー	承認の区分をユーザーとする場合、指定します。
	職責	承認の区分を職責とする場合、指定します。
固定値 12	Black	分類の色を Black とする場合、指定します。
	Navy	分類の色を Navy とする場合、指定します。
	Blue	分類の色を Blue とする場合、指定します。
	Green	分類の色を Green とする場合、指定します。
	Teal	分類の色を Teal とする場合、指定します。
	Lime	分類の色を Lime とする場合、指定します。
	Aqua	分類の色を Aqua とする場合、指定します。
	Maroon	分類の色を Maroon とする場合、指定します。
	Purple	分類の色を Purple とする場合、指定します。
	Olive	分類の色を Olive とする場合、指定します。
	Gray	分類の色を Gray とする場合、指定します。
	Silver	分類の色を Silver とする場合、指定します。
	Red	分類の色を Red とする場合、指定します。
	Fuchsia	分類の色を Fuchsia とする場合、指定します。
	Yellow	分類の色を Yellow とする場合、指定します。
固定値 13	電話	チャンネルを電話とする場合、指定します。
	メール	チャンネルをメールとする場合、指定します。
	SEN	チャンネルを SEN とする場合、指定します。
	FAX	チャンネルを FAX とする場合、指定します。
	郵便	チャンネルを郵便とする場合、指定します。
	訪問	チャンネルを訪問とする場合、指定します。
	打ち合わせ	チャンネルを打ち合わせとする場合、指定します。
	SSM	チャンネルを SSM とする場合、指定します。
固定値 14	有効	ステータスを有効とする場合、指定します。
	無効	ステータスを無効とする場合、指定します。
固定値 15	SSM 基本認証	ユーザーの認証方法を SSM 基本認証とする場合、指定します。
	ActiveDirectory 認証	ユーザーの認証方法を ActiveDirectory 認証とする場合、指定します。
	OpenLDAP 認証	ユーザーの認証方法を OpenLDAP 認証とする場合、指定します。
	SAML 認証	ユーザーの認証方法を SAML 認証とする場合、指定します。
固定値 16	エンドユーザー	ユーザーのアカウント区分をエンドユーザーとする場合、指定します。
	サービスデスクユーザー(固定)	ユーザーのアカウント区分をサービスデスクユーザー(固定)とする場合、指定します。
	サービスデスクユーザー(同時接続)	ユーザーのアカウント区分をサービスデスクユーザー(同時接続)とする場合、指定しま

固定値パターン	設定値	設定値の説明
		す。
固定値 17	表示する	ユーザーの要員情報を表示とする場合、指定します。
	表示しない	ユーザーの要員情報を表示しないとする場合、指定します。
固定値 18	113	登録モード「113」の場合、指定します。
	114	登録モード「114」の場合、指定します。
固定値 19	00000001	起動時刻
	00000002	起動時刻 + 遅延監視

1.3.2 システム登録コマンド (sjSPU_ImportSystem.exe)

システム登録コマンドにおける、インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。



インポートファイル形式が0(ダブルクォートあり)の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できません。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できます。

仕様補足

インポートファイル形式が1(ダブルクォートなし)の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できます。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できません。

1. システム基本情報

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定値						
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定		指定不正		
							新規	更新	新規	更新	
—	対象システム名	1	×	●☆	システム名※3	—	—	P1	—	P1	
システム※5	システム	2	◎	◎☆	全半角 1※3	60	P1	P1	P1	P1	
システム名略称※5	システム名略称	3	○	○	半角記号英数字 1※3	4	P2	P2	P1	P1	
概要※5	概要	4	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P2	P1	P1	
運用開始日※5	運用開始日	5	○	○	日付※3	—	P2	P2	P1	P1	
運用時間帯※5	運用時間帯(開始時刻)※1	6	○	○	時間※3	—	P2	P2	P1	P1	
	運用時間帯(終了時刻)※1	7	○	○	時間※3	—	P2	P2	P1	P1	
サービス開始日※5	サービス開始日	8	○	○	日付※3	—	P2	P2	P1	P1	
サービス時間帯※5	サービス時間帯(開始時刻)※1	9	○	○	時間※3	—	P2	P2	P1	P1	
	サービス時間帯(終了時刻)※1	10	○	○	時間※3	—	P2	P2	P1	P1	
サービス提供日※5(X) X: 月、火、水、木、金、土、日、祝 祭日※5	サービス提供日(月)	11	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(火)	12	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(水)	13	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(木)	14	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(金)	15	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(土)	16	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(日)	17	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
	サービス提供日(祝祭日)	18	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
最終リリース日※5	最終リリース日	19	○	○	日付※3	—	P2	P2	P1	P1	
目標 MTBF※5	目標 MTBF	20	○	○	数値記号※3	8	P2	P2	P1	P1	
表示順※5	表示順	21	○	○	全半角 2※3	8	P2	P2	P1	P1	
オープン FAQ 公開システム名※5	オープン FAQ 公開システム名※2	22	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1	
オープン FAQ 公開※5	オープン FAQ 公開	23	◎	◎☆	固定値 1-1※3	—	P1	P1	P1	P1	
SSA 共通 ※5	申請時の運用日付制御 設定※5	SSA 共通>申請時の運用日付制御 設定※4	24	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
	申請時のリミット日時制 御設定※5	SSA 共通>申請時のリミット日時制 御設定※4	25	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
	承認時のリミット日時制 御設定※5	SSA 共通>承認時のリミット日時制 御設定※4	26	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
業務グル ープ起動 時刻変更 ※5	申請時の運用日付制御 設定※5	業務グループ起動時刻変更>申請時 の運用日付制御設定※4	27	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
	申請時の制限時間設定 ※5	業務グループ起動時刻変更>申請時 の制限時間設定※4	28	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
	承認時の制限時間設定 ※5	業務グループ起動時刻変更>承認時 の制限時間設定※4	29	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
リミット日時初期値※5	業務グループ起動時刻変更>リミット日時初期値※4	30	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
最大延長時刻+相対時刻の制限時刻※5	業務グループ起動時刻変更>最大延長時刻+相対時刻の制限時刻※4	31	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
運用日付指定可能日数※5	業務グループ起動時刻変更>運用日付指定可能日数※4	32	◎	◎☆	整数値※3	—	P5	P3	P1	P1
前倒し時刻の入力制御設定※5	業務グループ起動時刻変更>前倒し時刻の入力制御設定※4	33	◎	◎☆	固定値 1-3※3	—	P5	P3	P1	P1
変更対象時刻※5	業務グループ起動時刻変更>変更対象時刻※4	34	◎	◎☆	固定値 19※3	—	P5	P3	P1	P1
利用者組織※5	利用者組織	35	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
代表者氏名※5	代表者氏名	36	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
代表者メールアドレス※5	代表者メールアドレス	37	○	○	全半角 2※3	100	P2	P2	P1	P1
代表者電話番号※5	代表者電話番号	38	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
管理者組織※5	管理者組織	39	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
管理責任者氏名※5	管理責任者氏名	40	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
管理責任者メールアドレス※5	管理責任者メールアドレス	41	○	○	全半角 2※3	100	P2	P2	P1	P1
管理責任者電話番号※5	管理責任者電話番号	42	○	○	全半角 2※3	60	P2	P2	P1	P1
登録者※5/最終更新者※5	登録者/最終更新者	43	◎	◎☆	ユーザーID※3	—	P1	P1	P1	P1

※1～5の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明		
※1	開始時刻と終了時刻はいずれかが指定されていた場合、両項目とも必須です。		
※2	オープンFAQ公開項目に「1（公開する）」が指定されていた場合、指定は必須です。		
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。		
※4	フィールド名	入力範囲	デフォルト値
	SSA 共通>申請時の運用日付制御設定	0~7	1
	SSA共通>申請時のリミット日時制御設定	0~1440	180
	SSA共通>承認時のリミット日時制御設定	0~1440	60
	業務グループ起動時刻変更>申請時の運用日付制御設定	0~7	0
	業務グループ起動時刻変更>申請時の制限時間設定	0~1440	30
	業務グループ起動時刻変更>承認時の制限時間設定	0~1440	20
	業務グループ起動時刻変更>リミット日時初期値	0~1440	15
	業務グループ起動時刻変更>最大延長時刻+相対時刻の制限時刻	1~99	48
	業務グループ起動時刻変更>運用日付指定可能日数	1~10	10
	業務グループ起動時刻変更>前倒し時刻の入力制御設定	—	0
業務グループ起動時刻変更>変更対象時刻	—	00000001	
※5	ラベル初期値です。		

注意事項	説明
	※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

2. システム管理者情報

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否	指定値			
			更新	指定形式	制限値	未指定	指定不正
—	対象システム名	1	●☆	システム名※4	—	P1	P1
—	画面 ID	2	●☆	画面 ID※4	※1	P1	P1
オーナー 職責/ユーザー※2※5	担当 ID 種別 (オーナー)	3	○	固定値 2-1※4	—	P2	P1
	オーナー	4	○■	職責名またはユーザーID※4	—	P2	P1
主担当 職責/ユーザー※2※5	担当 ID 種別 (主担当)	5	○	固定値 2-1※4	—	P2	P1
	主担当	6	○■	職責名またはユーザーID※4	—	P2	P1
一時停止解除実施者 職責/ユーザー※2※5	担当 ID 種別 (一時停止解除実施者)	7	○	固定値 2-1※4	—	P2	P1
	一時停止解除実施者	8	○■	職責名またはユーザーID※4	—	P2	P1
メールテンプレート※5	メールテンプレート※3	9	○	メールテンプレート名※4	—	P2	P1

※1～5 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定可能な画面 ID は「プロセス管理」のみです。 指定値については「1.3.1 凡例」を参照してください。
※2	オーナー/主担当/一時停止解除実施者は、各項目の担当種別 ID と各項目の指定を、 担当種別 ID に指定された値と対で設定してください。 ・担当種別 ID が「1」(職責)の場合はオーナー/主担当/一時停止解除実施者は職責名を指定してください。 ・担当種別 ID が「2」(ユーザー)の場合はオーナー/主担当/一時停止解除実施者はユーザー名を指定してください。 各項目の担当種別 ID が未設定のかつ値を設定した場合、エラーとなります。
※3	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>メールテンプレート>メールテンプレート」で登録したメールテンプレートを指定します。
※4	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※5	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

1.3.3 コード登録コマンド (sjSPU_ImportCode.exe)

コード登録コマンドにおける、インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。



指定値先頭と末尾のスペースは取り除かれます。

仕様補足



インポートファイル形式が0(ダブルクォートあり)の場合、

- ・ 指定値に「"」を含む項目は登録できません。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できます。

仕様補足

インポートファイル形式が1(ダブルクォートなし)の場合、

- ・ 指定値に「"」を含む項目は登録できます。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できません。

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
—	登録モード	1	◎	◎☆	固定値 2-2※3	—	P1	P1	P1	P1
—	画面 ID	2	◎	●☆	画面 ID※3	※1	P1	P1	P1	P1
コード種別※4	コード種別	3	◎	●☆	コード種別※3	※1	P1	P1	P1	P1
—	対象コード名	4	×	●☆	コード名※2	—	—	P1	—	P1
コード名※4	コード名	5	◎	○☆	全半角 1※2	80	P1	P3	P1	P1
システム※4	システム	6	◎	●☆	全システム名※3	※1	P1	P1	P1	P1
色※4	色	7	◎	○☆	固定値 12※3	—	P1	P3	P1	P1
ステータス※4	ステータス	8	◎	○☆	固定値 1-2※3	—	P1	P3	P1	P1
表示順※4	表示順	9	○	○	全半角 2※2	8	P2	P3	P1	P1
登録者※4/最終更新者※4	登録者/最終更新者	10	◎	◎☆	ユーザーID※3	—	P1	P1	P1	P1

※1~4 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定可能な画面 ID、コード種別、システムは「1.2.2.5 指定可能フィールド」を参照してください。
※2	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

1.3.4 マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportMst.exe)

マスタ登録コマンドにおける、インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。



仕様補足

マスタ毎に指定可能フィールドとなっている項目は、マスタ登録を行う際に、マッピングアイテムファイル(-I オプション)未指定の場合は、項目の値が空白であってもインポートファイルに指定してください。
例えば会社マスタ新規登録時に必須項目のみしか指定しない場合は以下の様に指定します。
インポートファイル形式 0: ダブルクォートあり
「システム1, ” ”, ”サンプル会社”, ”サンプルカイヤ”, ””, ””, ””, ””, ””」
インポートファイル形式 1: ダブルクォートなし
「システム1,, サンプル会社, サンプルカイヤ,,,,」



注意事項

承認フロールート、問合せ元情報の登録ではバージョン 2013.0.0.0 より
職責、問合せ元情報 2 の登録ではバージョン 2014.0.0.0 より
インポートファイルのフォーマットが変更されています。
今後使用する場合には標準フォーマットにて使用してください。
標準フォーマットは後述の「1.3.4.1 標準フォーマット」を参照してください。
旧フォーマットは後述の「1.3.4.2 旧フォーマット」を参照してください。



注意事項

- ①承認フロールート、問合せ元情報の場合、
本マニュアルではバージョン 2013.0.0.0 より変更となったマスタ情報のみ旧フォーマットとして記載します。
バージョン 2013.0.0.0 以前よりフォーマットが変更になっているマスタの登録について、
2013.0.0.0 以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。
- ②職責の場合、
本マニュアルではバージョン 2014.0.0.0 より変更となったマスタ情報のみ旧フォーマットとして記載します。
バージョン 2014.0.0.0 以前よりフォーマットが変更になっているマスタの登録について、
2014.0.0.0 以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。



インポートファイル形式が0(ダブルクォートあり)の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できません。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できます。

仕様補足

インポートファイル形式が1(ダブルクォートなし)の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できます。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できません。

1.3.4.1 標準フォーマット

各マスタにおける標準の指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

マスタ登録コマンドはマッピングアイテムファイル(-T オプション)の指定有無により、指定の必須/任意指定が異なります。

マッピングアイテムファイル(-T オプション)未指定時は全項目を指定するため、

「モード指定可否」欄「-T 指定無」列の指定可否を参照しインポートファイルを作成してください。

マッピングアイテムファイル(-T オプション)未指定時は登録項目を任意に指定するため、

「モード指定可否」欄「-T 指定有」列の指定可否を参照しマッピングアイテムファイルを作成してください。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

1. 会社マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
—	対象システム名	1	◎	●☆	◎	●☆	システム名※3	—	P1	P1	P1	P1
—	対象会社名	2	×	●☆	×	●☆	会社名※3	—	—	P1	—	※1
会社名※4	会社名	3	◎	○☆	◎	○☆	全半角 1※3	60	P1	P3	P4	P4
会社名カナ※4	会社名カナ	4	◎	○☆	◎	○☆	全半角 1※3	60	P1	P3	P4	P4
会社名略称※4	会社略称	5	○	○	○	○	全半角 2※3	60	P2	P3	P4	P4
色※4	色	6	○	○☆	○	○☆	固定値 3※3	—	P20	P20	P20	P20
表示順※4	表示順	7	○	○	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
会社 URL※4	会社 URL	8	○	○	○	○	全半角 2※3	500	P2	P3	P4	P4
登録者※4 / 最終更新者※2 ※4	登録者	9	○	○☆	○	○☆	ユーザーID※3	—	P2	P3	P2	P3

※1～4の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・「対象会社名」項目に指定されたデータが会社マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象会社名」項目に指定されたデータが会社マスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しく会社マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※2	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

2. 組織マスタ



マスタ登録コマンドにより組織マスタデータを一括登録する場合、
会社マスタを最新の状態に更新した後に実行してください。

仕様補足

会社マスタと組織マスタを両方取り込みたい場合は、会社マスタの登録を先に取り込んでください。

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
—	対象システム名	1	◎	●☆	◎	●☆	システム名※3	—	P1	P1	P1	P1
—	対象会社名	2	◎	●☆	◎	●☆	会社名※3	—	P1	P1	P1	P1
—	対象組織名	3	×	●☆	×	●☆	組織名※3	—	—	P1	—	※1
組織名※4	組織名	4	◎	○☆	◎	○☆	全半角1※3	60	P1	P3	P4	P4
組織名カナ※4	組織名カナ	5	◎	○☆	◎	○☆	全半角1※3	60	P1	P3	P4	P4
組織名略称※4	組織略称	6	○	○	○	○	全半角2※3	60	P2	P3	P4	P4
色※4	色	7	○	○☆	○	○☆	固定値3※3	—	P20	P20	P20	P20
表示順※4	表示順	8	○	○	○	○	全半角2※3	8	P2	P3	P4	P4
登録者※4／最終更新者※2※4	登録者	9	○	○☆	○	○☆	ユーザーID※3	—	P2	P3	P2	P3

※1～4の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「対象組織名」項目に指定されたデータが組織マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象組織名」項目に指定されたデータが組織マスタに登録されていない場合、 新規登録処理として新しく組織マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※2	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

3. グループマスタ



複数のデータを指定する場合は、区切り文字「@\$@」で値を区切って指定してください。

仕様補足

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
-	対象グループ名	1	×	●☆	×	●☆	グループ名※5	-	-	※1	-	※1
グループ名※6	グループ名	2	◎	○☆	◎	○☆	全半角1※5	60	P1	P3	P4	P4
グループ内公開※6	グループ内公開	3	○	○	○	○	固定値4※5	-	P21	P3	P21	P3
表示順※6	表示順	4	○	○	○	○	全半角2※5	8	P2	P3	P4	P4
登録者※6/最終更新者※2※6	登録者	5	◎	◎☆	◎	◎☆	ユーザーID※5	-	P1	P1	P1	P1
プロセス N※7>主担当※6 N:1~103※3	プロセス N>グループ主担当※4	N+5	×	×	○■	○■☆	ユーザーID※5	-	P2	P3	P1	P3

※1~7の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスタデータの新規登録と更新を実行します。 ・「対象グループ名」項目に指定されたデータがグループマスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象グループ名」項目に指定されたデータがグループマスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しくグループマスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※2	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※3	プロセス1~プロセス103のいずれが複数のグループ主担当指定可能です。 ※上限値を超える場合、コマンドは異常終了しレコードは登録されません
※4	いずれのプロセスの最大登録ユーザー数は300とします。(SP_CTL_MSTで管理。ユーザー編集不可) マッピングアイテムファイル指定しない場合、登録または更新しません。
※5	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※6	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※7	画面名初期値です。 ※画面名が変更された場合、メニュー一覧画面で、現在画面名の画面名編集画面に、表している「画面名(初期値)」が初期値となります。

4. 職責マスタ



操作説明

画面項目名が、プロセス管理 1~103、(構成管理) 構成アイテム 1~50 のフィールド指定順序は、N に画面項目名の番号を代入して、算出したものになります。

(例)

画面項目名 : プロセス管理 2
 フィールド名 : データの参照
 フィールド指定順序 : $38 \times (2-1) + 10 = 48$



仕様補足

対象職責名に「Not Set」を指定しても職責データは更新されません。
 ※「Not Set」職責はシステムがデフォルトで保持している更新不可の職責です。

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定値					
			-T 指定無		-T 指定有 ※8		指定形式	制限値	未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
—	対象職責名	1	×	●☆	×	●☆	職責名※12	—	—	※1	—	※1
職責名※13	職責名	2	◎	○☆	◎	○☆	全半角 1※12	60	P1	P3	P4	P4
概要※13	概要	3	○	○	○	○	全半角 2※12	4000	P2	P3	P4	P4
登録者※13 / 最終更新者 ※11※13	登録者	4	◎	◎☆	◎	◎☆	ユーザー ID ※12	—	P1	P1	P1	P1
表示順※13	表示順	5	○	○	○	○	全半角 2※12	8	P2	P3	P4	P4
システムスケジュール※13	データの操作※15	システムスケジュール>データの操作	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
イベント※14	データの参照※15	イベント>データの参照 ※2	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	イベント>データの削除	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの振分※15	イベント>データの振分	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
プロセス N N : 1~103 ※10※14	データの参照※15	プロセス N>データの参照 ※2	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	プロセス N>データの追加 ※4	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	プロセス N>データの編集 ※3	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	プロセス N>データの削除 ※5	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有 ※8				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
データの一括承認 ※15	プロセス N>データの一括承認	38 × (N-1)+14	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データのクローズ ※15	プロセス N>データのクローズ	38 × (N-1)+15	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データの一括クローズ ※15	プロセス N>データの一括クローズ ※3	38 × (N-1)+16	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データのクローズ解除 ※15	プロセス N>データのクローズ解除	38 × (N-1)+17	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データのエスカレーション ※15	プロセス N>データのエスカレーション	38 × (N-1)+18	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データの確認 ※15	プロセス N>データの確認	38 × (N-1)+19	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データの変更履歴参照 ※15	プロセス N>データの変更履歴参照	38 × (N-1)+20	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
経過情報の参照 ※15	プロセス N>経過情報の参照 ※6	38 × (N-1)+21	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
経過情報の追加 ※15	プロセス N>経過情報の追加 ※6	38 × (N-1)+22	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
経過情報の編集 ※15	プロセス N>経過情報の編集 ※6	38 × (N-1)+23	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
経過情報の削除 ※15	プロセス N>経過情報の削除 ※6	38 × (N-1)+24	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データの分析 ※15	プロセス N>データの分析	38 × (N-1)+25	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データの特別編集 ※15	プロセス N>データの特別編集 ※3※5	38 × (N-1)+26	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
データのイベント戻し ※15	プロセス N>データのイベント戻し	38 × (N-1)+27	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
申請の強制却下 ※15	プロセス N>申請の強制却下	38 × (N-1)+28	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
チェックリストの編集 ※15	プロセス N>チェックリストの編集 ※3	38 × (N-1)+29	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
チェックリストの対応完了 ※15	プロセス N>チェックリストの対応完了 ※3	38 × (N-1)+30	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
チェックリストの確認 ※15	プロセス N>チェックリストの確認 ※3	38 × (N-1)+31	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有 ※8				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
チェック項目の追加/削除※15	プロセス N>チェック項目の追加/削除 ※3	38 × (N-1)+32	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
簡易チェックリストのチェック※15	プロセス N>簡易チェックリストのチェック ※3	38 × (N-1)+33	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
簡易チェック項目の追加/削除※15	プロセス N>簡易チェック項目の追加/削除 ※3	38 × (N-1)+34	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
チェックリスト再適用※15	プロセス N>チェックリスト再適用	38 × (N-1)+35	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
SSA 連携のキャンセル※15	プロセス N>SSA 連携のキャンセル	38 × (N-1)+36	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
SSA 連携のステータス更新※15	プロセス N>SSA 連携のステータス更新	38 × (N-1)+37	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
一時停止解除指示※15	プロセス N>一時停止解除指示	38 × (N-1)+38	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
一時停止解除実施※15	プロセス N>一時停止解除実施	38 × (N-1)+39	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
簡易プロセスの使用※15	プロセス N>簡易プロセスの使用	38 × (N-1)+40	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
Senju/SM 間連携の使用※15	プロセス N>Senju/SM 間連携の使用	38 × (N-1)+41	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
業務グループ再変更指示※15	プロセス N>業務グループ再変更指示	38 × (N-1)+42	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
業務グループ再変更実施※15	プロセス N>業務グループ再変更実施	38 × (N-1)+43	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
業務グループの定義※15	プロセス N>業務グループの定義	38 × (N-1)+44	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
障害メッセージ制御の実施※15	プロセス N>障害メッセージ制御の実施	38 × (N-1)+45	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
メール送信ボタンの表示※15	プロセス N>メール送信ボタンの表示	38 × (N-1)+46	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
関連登録ボタンの表示※15	プロセス N>関連登録ボタンの表示 ※4	38 × (N-1)+47	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
(構成管理) 構成アイテム N	データの参照※15 構成アイテム N>データの参照 ※2	7 × (N-1)+3924	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有 ※8				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
N : 1~50 ※9※14	データの追加※15	構成アイテム N>データの追加	7 × (N-1)+3925	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加(変更予定) ※15	構成アイテム N>データの追加(変更予定)	7 × (N-1)+3926	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加(削除予定) ※15	構成アイテム N>データの追加(削除予定)	7 × (N-1)+3927	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	構成アイテム N>データの編集	7 × (N-1)+3928	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	構成アイテム N>データの削除	7 × (N-1)+3929	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの取消※15	構成アイテム N>データの取消	7 × (N-1)+3930	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) 要員管理※14	データの参照※15	要員管理>データの参照 ※2	4274	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	要員管理>データの追加	4275	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	要員管理>データの編集	4276	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	要員管理>データの削除	4277	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) 構成アイテム管理※14	データの参照※15	構成アイテム管理>データの参照 ※2	4278	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	構成アイテム管理>データの追加	4279	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	構成アイテム管理>データの編集	4280	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	構成アイテム管理>データの削除	4281	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの操作※15	構成アイテム管理>データの操作	4282	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) アカウント管理※14	データの参照※15	アカウント管理>データの参照 ※2	4283	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	アカウント管理>データの追加	4284	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	アカウント管理>データの編集	4285	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	アカウント管理>データの削除	4286	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの操作※15	アカウント管理>データの操作	4287	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
既知エラー※14	データの公開参照 ※15	既知エラー>データの公開参照 ※2	4288	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有 ※8				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
データ	データの非公開参照※15	既知エラー→データの非公開参照※7	4289	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	既知エラー→データの追加※7	4290	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	既知エラー→データの編集※7※8	4291	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	既知エラー→データの削除※7※8	4292	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集※15	既知エラー→データの特別編集※7※8	4293	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
FAQ※14	データの公開参照※15	FAQ>データの公開参照※2	4294	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照※15	FAQ>データの非公開参照※7	4295	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	FAQ>データの追加※7	4296	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	FAQ>データの編集※7※8	4297	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	FAQ>データの削除※7※8	4298	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集※15	FAQ>データの特別編集※7※8	4299	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
ファイルライブラリ※14	データの公開参照※15	ファイルライブラリ>データの公開参照※2	4300	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照※15	ファイルライブラリ>データの非公開参照※7	4301	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	ファイルライブラリ※14>データの追加※15	ファイルライブラリ>データの追加※7	4302	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	ファイルライブラリ>データの編集※7※8	4303	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	ファイルライブラリ>データの削除※7※8	4304	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有 ※8				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
	データの特別編集 ※15	ファイルライブラリ>データの特別編集 ※7※8	4305	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
リンク集※14	データの公開参照 ※15	リンク集>データの公開参照 ※2	4306	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照※15	リンク集>データの非公開参照 ※7	4307	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加※15	リンク集>データの追加 ※7	4308	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集※15	リンク集>データの編集 ※7※8	4309	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除※15	リンク集>データの削除 ※7※8	4310	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※15	リンク集>データの特別編集 ※7※8	4311	◎	◎☆	○	○☆	固定値 5※12	—	P1	P1	P1	P1

※1～15の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスターデータの新規登録と更新を実行します。・「対象職責名」項目に指定されたデータが職責マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象職責名」項目に指定されたデータが職責マスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しく職責マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスターデータは取り込まれません。
※2	マッピングアイテムファイル(-T オプション)未指定時は、「OFF」を指定した場合、以降の同一画面の職責全ての項目で「OFF」が指定されていなければマスターデータは登録されません。 マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定時は、マッピングアイテムファイルに指定しない職責は「OFF」が登録されます。 例) 構成アイテム1の職責 データ参照を「OFF」、データの編集を「ON」 ⇒エラーとなりマスターデータは登録されません。 なお、プロセスは以下項目のみ「ON」に指定することが可能です。 <該当項目> ・簡易プロセスの使用
※3	下記パターン一覧のパターン1について制限事項を記載します。 マッピングアイテムファイル(-T オプション)の指定有無で動作が異なります。 マッピングアイテムファイル(-T オプション)未指定時、「参照職責名」を「OFF」を指定した際、「職責名」のいずれかが「ON」である場合、マスターデータは登録されません。 マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定時、マッピングアイテムファイルから「参照職責名」を省略した場合は、

注意事項	説明
	<p>該当項目の設定値により「参照職責名」の登録値が変わります。</p> <p>新規登録時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職責名」に「ON」を設定した場合、「参照職責名」は「ON」で登録されます。 ・「職責名」に「OFF」を設定した場合、「参照職責名」は「OFF」で登録されます。 <p>更新時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参照職責名」が「OFF」で登録されている状態 ・「職責名」に「ON」を設定した場合、「参照職責名」は「ON」で更新されます。 ・「職責名」に「OFF」を設定した場合、「参照職責名」は「OFF」のまま更新されません。 ・「参照職責名」が「ON」で登録されている状態 ・「職責名」に「ON」を設定した場合、「参照職責名」は「ON」で更新されます。 ・「職責名」に「OFF」を設定した場合、「参照職責名」は「ON」のまま更新されません。 <p>また、マッピングアイテムファイル(-T オプション) 指定時、マッピングアイテムファイルから「職責名」を省略した場合は、「参照職責名」の設定値により「職責名」の登録値が変わります。</p> <p>新規登録時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参照職責名」に「ON」を設定した場合、「職責名」は「OFF」で登録されます。 ・「参照職責名」に「OFF」を設定した場合、「職責名」は「OFF」で登録されます。 <p>更新時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当項目が「OFF」で登録されている状態 ・「参照職責名」に「ON」を設定した場合、「職責名」は「OFF」のまま更新されません。 ・「参照職責名」に「OFF」を設定した場合、「職責名」は「OFF」のまま更新されません。 ・該当項目が「ON」で登録されている状態 ・「参照職責名」に「ON」を設定した場合、「職責名」は「ON」のまま更新されません。 ・「参照職責名」に「OFF」を設定した場合、「職責名」は「OFF」で更新されます。
※4	下記パターン一覧のパターン2について制限事項を記載します。詳細は※3と同様です。
※5	下記パターン一覧のパターン3について制限事項を記載します。詳細は※3と同様です。
※6	下記パターン一覧のパターン4について制限事項を記載します。詳細は※3と同様です。
※7	下記パターン一覧のパターン5について制限事項を記載します。詳細は※3と同様です。
※8	下記パターン一覧のパターン6について制限事項を記載します。詳細は※3と同様です。
※9	マッピングアイテムファイル(-T オプション) 指定有無にかかわらず、全ての項目に「OFF」を指定して新規登録を実行した場合、エラーとなりマスターデータは登録されません。 また、マッピングアイテムファイルに項目を指定しない場合、指定されない項目は「OFF」が設定された状態となります。
※10	マッピングアイテムファイル(-T オプション) 指定時、プロセス管理と構成管理を登録する際、マッピングアイテムファイルには上記フィールド名列に記載されている“N”の箇所を、登録したいプロセス管理または構成管理の画面を指定してください。 例) プロセス管理1の「データの参照」をONにしたい場合のマッピングアイテムファイル指定項目 “プロセス1>データの参照”
※11	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※12	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。

注意事項	説明
※13	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※14	画面名初期値です。 ※画面名が変更された場合、メニュー一覧画面で、現在画面名の画面名編集画面に、表している「画面名(初期値)」が初期値となります。
※15	ユーザー変更不可の項目名です。

以下に※3～7に該当する参照職責名・職責名のパターン一覧を示します。

パターン	画面	参照職責名	職責名
パターン1	プロセス	データの編集	データの特別編集
			チェックリストの編集
			チェックリストの対応完了
			チェックリストの確認
			チェック項目の追加・削除
			簡易チェックリストのチェック
			簡易チェック項目の追加・削除
			チェックリスト再適用
パターン2	プロセス	データの追加	関連登録ボタンの表示
パターン3	プロセス	データの削除	データの特別編集
パターン4	プロセス	経過情報の参照	経過情報の追加
			経過情報の編集
			経過情報の削除
パターン5	既知エラー FAQ ファイルライブラリ リンク集	データの非公開参照	データの追加
			データの編集
			データの削除
			データの特別編集
パターン6	既知エラー FAQ ファイルライブラリ リンク集	データの編集	データの特別編集
		データの削除	

5. 承認フロースタ

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
システム※5	システム名	1	◎	◎	システム名※4	—	P1	P1
画面名※5	画面 ID ※1	2	◎	◎	画面 ID※4	—	P1	P1
申請種別※5	申請種別	3	○	○	コード名※4	—	P2	※2
ルート名※5	ルート名	4	◎	◎	ルート名※4	—	P1	P1
登録者※5/最終更新者※3※5	登録者	5	◎	◎	ユーザーID※4	—	P1	P1



承認フローは新規登録のみ行うことができます。

仕様補足

※1～5 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定可能な画面 ID を以下に示します。 ・プロセス管理 1～プロセス管理 103 ・既知エラー ・FAQ ・ファイルライブラリ ・リンク集 指定値については「1.3.1 凡例」を参照してください。
※2	「画面 ID」に指定された値がプロセス管理の場合のみ、プロセス管理の「種別」に登録されているコード名が指定可能です。 「画面 ID」がプロセス管理において存在しない申請種別が指定された場合、エラーとなりマスターデータは取り込まれません。 「画面 ID」が既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集において申請種別を指定した場合、マスターデータは取り込まれますが、申請種別は未設定で登録されます。
※3	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※4	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※5	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

6. 承認フロールートマスタ



複数のデータを指定する場合は、区切り文字「@\$@」で値を区切って指定してください。

仕様補足

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※7				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
—	対象ルート名	1	×	●☆	×	●☆	ルート名※10	—	—	※1	—	※1	
ルート名※12	ルート名	2	◎	○☆	◎	○☆	全半角1※10	80	P1	P3	P4	P4	
登録者※12/最終更新者※9※12	登録者	3	◎	◎☆	◎	◎☆	ユーザーID※10	—	P1	P1	P1	P1	
ルート NO. 1 (NO※12)	タイトル※12	ルート1>タイトル	4	◎	◎☆	◎	◎☆	コード名※10	—	P1	P1	P1	P1
	区分※12	ルート1>区分	5	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値6※10	—	P1	P1	P1	P1
	職責/ユーザー/役割※12	ルート1>職責/ユーザー/役割	6	◎■	◎■☆	◎■	◎■☆	※2※10	※2	P1	P1	P1	P1
	通知先※12 区分※12	ルート1>(通知先) 区分	7	○	○☆	○	○☆	固定値8※10	—	P2	P3	P1	P1
	(通知先※12) 職責/ユーザー※12	ルート1>(通知先) 職責/ユーザー	8	○■	○■☆	○■	○■☆	※3※10	※3	P2	P3	P1	P1
ルート NO. 2 (NO※12)	タイトル※12	ルート2>タイトル	9	◎	◎☆	◎	◎☆	コード名※10	—	P1	P1	P1	P1
	アクション※12 カテゴリ※12	ルート2>アクションカテゴリ	10	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値9※10	—	P1	P1	P1	P1
	アクション※12 カテゴリ※12 (却下※13)	ルート2>アクションカテゴリ (却下)	11	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値5※10	—	P1	P1	P1	P1
	アクション※12 カテゴリ※12 (差戻し※13)	ルート2>アクションカテゴリ (差戻し)	12	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値5※10	—	P1	P1	P1	P1
	アクション※12 カタログ※12	ルート2>アクションカタログ	13	◎	◎☆	◎	◎☆	※4※10	※4	※4	※4	P1	P1
	区分※12	ルート2>区分	14	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値7※10	—	P1	P1	P1	P1
	職責/ユーザー/役割※12	ルート2>職責/ユーザー/役割	15	◎■	◎■☆	◎■	◎■☆	※3※10	※3	P1	P1	P1	P1
	(通知先※12) 区分※12	ルート2>(通知先) 区分	16	○	○☆	○	○☆	固定値8※10	—	P2	P3	P1	P1
	(通知先※12) 職責/ユーザー※12	ルート2>(通知先) 職責/ユーザー	17	○■	○■☆	○■	○■☆	※3※10	※3	P2	P3	P1	P1
	差戻し先※12	ルート2>差戻し先	18	○	○	○	○	数値※10	—	※5	※5	※5	※5
承認条件※12	ルート2>承認条件	19	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値10※10	—	P1	P1	P1	P1	

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定値					
			-T 指定無		-T 指定有※7		指定形式	制限値	未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
承認者選択※12	ルート 2>承認者選択	20	◎	◎☆	◎	◎☆	固定値 5 ※6※10	—	P1	P1	P1	P1
承認者選択ルート NO※12	ルート 2>承認者選択ルート NO	21	○	○	○	○	数値※10	—	※11	※11	※11	※11
ル ー ト NO. N N : 3~20※ 8 (NO※12)	タイトル※12	ルート N>タイトル	(12×N)-14	○	○	○	○	ルート NO. X の項目に指定する値はルート NO. 2 へ指定する値と同様となります。 ただし指定する際に以下の制約があります。 ・指定可能な最大ルート数は 20 ルートです。 ・承認フロールートはルート NO. 3 から順に指定してください。 ルート NO. 3 とルート NO. 5 といった指定はできません。				
	アクション※12 カテゴリ※12	ルート N>アクションカテゴリ	(12×N)-13	○	○	○	○					
	アクション※12 カテゴリ※12 (却下※13)	ルート N>アクションカテゴリ (却下)	(12×N)-12	○	○	○	○					
	アクション※12 カテゴリ※12 (差戻し※13)	ルート N>アクションカテゴリ (差戻し)	(12×N)-11	○	○	○	○					
	アクション※12 カタログ※12	ルート N>アクションカタログ	(12×N)-10	○	○	○	○					
	区分※12	ルート N>区分	(12×N)-9	○	○	○	○					
	職責/ユーザー/役割※12	ルート N>職責/ユーザー/役割	(12×N)-8	○■	○■	○■	○■					
	区分※12	ルート N>(通知先) 区分	(12×N)-7	○	○	○	○					
	職責/ユーザー※12	ルート N>(通知先) 職責/ユーザー	(12×N)-6	○■	○■	○■	○■					
	差戻し先※12	ルート N>差戻し先	(12×N)-5	○	○	○	○					
	承認条件※12	ルート N>承認条件	(12×N)-4	○	○	○	○					
	承認者選択※12	ルート N>承認者選択	(12×N)-3	○	○	○	○					
承認者選択ルート NO※12	ルート N>承認者選択ルート NO	(12×N)-2	○	○	○	○						

※1~13 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスターデータの新規登録と更新を実行します。「対象ルート名」項目に指定されたデータが承認フロールートマスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象ルート名」項目に指定されたデータが承認フロールートマスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しく承認フロールートマスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスターデータは取り込まれません。
※2	「区分」項目に指定されたデータにより指定する値が異なります。 ・区分が「全員」：指定は不要です。 ・区分が「ユーザー」：ユーザーIDを指定します。100 ユーザーまで指定可能です。 ・区分が「職責」：職責名を指定します。100 職責まで指定可能です。 ・区分が「役割」：役割名を指定します。500 役割まで指定可能です。
※3	「(通知先)区分」項目に指定されたデータにより指定する値が異なります。 ・(通知先)区分が「申請者」：指定は不要です。 ・(通知先)区分が「ユーザー」：ユーザーIDを指定します。100 ユーザーまで指定可能です。

注意事項	説明
	・(通知先)区分が「職責」: 職責名を指定します。100 職責まで指定可能です。
※4	<p>「(アクション)カテゴリ」項目に指定されたデータにより指定する値が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(アクション)カテゴリが「作業」: 「作業1」「作業2」「作業3」「作業4」「作業5」「作業6」を指定します。 →値を指定しない場合、エラーとなりマスターデータは取り込まれません。 ・(アクション)カテゴリが「承認/却下」「承認/差戻し」「承認/却下/差戻し」: 「承認1」「承認2」「承認3」を指定します。 →値を指定しない場合、「承認1」として登録します。 ・(アクション)カテゴリが「確認」: 「確認1」「確認2」「確認3」を指定します。 →値を指定しない場合、「確認1」として登録します。
※5	<p>「(アクション)カテゴリ」項目に指定されたデータにより指定する値が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(アクション)カテゴリに「差戻し」を含む: 差戻し先の「ルートNO」または、空を指定します。 差戻し先に指定できるルートは「1」～「差戻し先を設定するルートNo-1」となります。 「0」、「差戻し先を設定するルートNo」「差戻し先を設定するルート以降のルートNo」は指定できません。 ・(アクション)カテゴリに「差戻し」を含まない: 指定は不要です。
※6	同ルートの「区分」項目に「申請者」が指定されていた場合は、「OFF」を指定してください。 「ON」を指定した場合、マスターデータは取り込まれません。
※7	「-T 指定有」列に「■」が記載されている項目は、インポートファイルに複数指定することが可能である意味を示します。 マッピングアイテムファイルには同一項目を複数指定した場合、エラーとなりマスターデータは取り込まれません。
※8	マッピングアイテムファイル(-T オプション) 指定時、ルート3以降を登録する際、マッピングアイテムファイルには上記フィールド名列に記載されている“N”の箇所を、登録したいルートNoを指定してください。 例) ルート3のタイトルを「承認タイトル」としたい場合のマッピングアイテムファイル指定項目 “ルート3>タイトル”
※9	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※10	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※11	<p>「承認者選択」項目に指定されたデータにより指定する値が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認者選択が「ON」を指定された場合: 承認フロールートNOの「ルートNO」または、空を指定します。 承認フロールートNOに指定できるルートは「1」～「承認フロールートNOを設定するルートNo-1」となります。 「0」、「承認フロールートを設定するルートNo」「承認フロールートを設定するルート以降のルートNo」は指定できません。 ・承認者選択が「OFF」を指定された場合: 指定は不要です。
※12	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスター管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※13	ユーザー変更不可の項目名です。

7. 問合せ元情報マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
システム※2	システム	1	◎	◎	全半角 3※1	—	P1	P1
問合せ元 ID※2	問合せ元 ID	2	◎	◎	全半角 3※1	300	P1	P1
問合せ元 ID 補助※2	問合せ元 ID 補助	3	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 1※2	問合せ元テキスト 1	4	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 2※2	問合せ元テキスト 2	5	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 3※2	問合せ元テキスト 3	6	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 4※2	問合せ元テキスト 4	7	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 5※2	問合せ元テキスト 5	8	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 6※2	問合せ元テキスト 6	9	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 7※2	問合せ元テキスト 7	10	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 8※2	問合せ元テキスト 8	11	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 9※2	問合せ元テキスト 9	12	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 10※2	問合せ元テキスト 10	13	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 11※2	問合せ元テキスト 11	14	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 12※2	問合せ元テキスト 12	15	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 13※2	問合せ元テキスト 13	16	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 14※2	問合せ元テキスト 14	17	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 15※2	問合せ元テキスト 15	18	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 16※2	問合せ元テキスト 16	19	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
問合せ元 テキスト 17※2	問合せ元テキスト 17	20	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 18※2	問合せ元テキスト 18	21	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキストエリア 1※2	問合せ元テキストエリア 1	22	○	○	全半角 3※1	4000	P2	P4
問合せ元日付1※2	問合せ元日付1	23	○	○	日付※1	—	P2	P1



問合せ元は新規登録のみ、20 万件登録できます。

問合せ元 ID の重複登録はできません。

仕様補足

すでに存在する問合せ元 ID を指定した場合、マスタデータは取り込まれません。

※1～2 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※2	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

8. 問合せ元情報 2 マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
システム※2	システム	1	◎	◎	全半角 3※1	—	P1	P1
問合せ元 ID※2	問合せ元 2ID	2	◎	◎	全半角 3※1	300	P1	P1
問合せ元 ID 補助※2	問合せ元 2ID 補助	3	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 1※2	問合せ元 2 テキスト 1	4	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 2※2	問合せ元 2 テキスト 2	5	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 3※2	問合せ元 2 テキスト 3	6	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 4※2	問合せ元 2 テキスト 4	7	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 5※2	問合せ元 2 テキスト 5	8	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 6※2	問合せ元 2 テキスト 6	9	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 7※2	問合せ元 2 テキスト 7	10	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 8※2	問合せ元 2 テキスト 8	11	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 9※2	問合せ元 2 テキスト 9	12	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 10※2	問合せ元 2 テキスト 10	13	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 11※2	問合せ元 2 テキスト 11	14	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 12※2	問合せ元 2 テキスト 12	15	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 13※2	問合せ元 2 テキスト 13	16	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 14※2	問合せ元 2 テキスト 14	17	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 15※2	問合せ元 2 テキスト 15	18	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 16※2	問合せ元 2 テキスト 16	19	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
問合せ元 テキスト 17※2	問合せ元 2 テキスト 17	20	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 18※2	問合せ元 2 テキスト 18	21	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキストエリア 1※2	問合せ元 2 テキストエリア 1	22	○	○	全半角 3※1	4000	P2	P4
問合せ元日付1※2	問合せ元 2 日付 1	23	○	○	日付※1	—	P2	P1



問合せ元 2 は新規登録のみ、20 万件登録できます。

問合せ元 2ID の重複登録はできません。

仕様補足

すでに存在する問合せ元 2ID を指定した場合、マスタデータは取り込まれません。

※1～2 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※2	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

9. 表項目問合せ元情報マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
表項目種別	表項目種別	1	◎	◎	半角数字※ 3	1	P1	P1
システム※2	システム	2	◎	◎	全半角 3※1	—	P1	P1
問合せ元 ID※2	表項目問合せ元 ID	3	◎	◎	全半角 3※1	300	P1	P1
問合せ元 ID 補助※2	表項目問合せ元 ID 補助	4	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 1※2	表項目問合せ元テキスト 1	5	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 2※2	表項目問合せ元テキスト 2	6	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 3※2	表項目問合せ元テキスト 3	7	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 4※2	表項目問合せ元テキスト 4	8	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 5※2	表項目問合せ元テキスト 5	9	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 6※2	表項目問合せ元テキスト 6	10	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 7※2	表項目問合せ元テキスト 7	11	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 8※2	表項目問合せ元テキスト 8	12	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 9※2	表項目問合せ元テキスト 9	13	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 10※2	表項目問合せ元テキスト 10	14	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 11※2	表項目問合せ元テキスト 11	15	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 12※2	表項目問合せ元テキスト 12	16	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 13※2	表項目問合せ元テキスト 13	17	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 14※2	表項目問合せ元テキスト 14	18	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 15※2	表項目問合せ元テキスト 15	19	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否		指定値			
			-T 指定無	-T 指定有	指定形式	制限値	未指定	指定不正
			新規	新規				
問合せ元 テキスト 16※2	表項目問合せ元テキスト 16	20	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 17※2	表項目問合せ元テキスト 17	21	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキスト 18※2	表項目問合せ元テキスト 18	22	○	○	全半角 3※1	300	P2	P4
問合せ元 テキストエリア 1※2	表項目問合せ元テキストエリア 1	23	○	○	全半角 3※1	4000	P2	P4
問合せ元 コンボボックス 1※2	表項目問合せ元コンボボックス 1	24	○	○	全半角 3※1	80	P2	P4
問合せ元 コンボボックス 2※2	表項目問合せ元コンボボックス 2	25	○	○	全半角 3※1	80	P2	P4
問合せ元 コンボボックス 3※2	表項目問合せ元コンボボックス 3	26	○	○	全半角 3※1	80	P2	P4
問合せ元 コンボボックス 4※2	表項目問合せ元コンボボックス 4	27	○	○	全半角 3※1	80	P2	P4
問合せ元 コンボボックス 5※2	表項目問合せ元コンボボックス 5	28	○	○	全半角 3※1	80	P2	P4
問合せ元日付 1※2	表項目問合せ元日付 1	29	○	○	日付※1	—	P2	P1

 表項目問合せ元は新規登録のみ、20 万件登録できます。
 表項目種別が同じ場合、表項目問合せ元 ID の重複登録はできません。
 仕様補足 すでに存在する表項目問合せ元 ID を指定した場合、マスターデータは取り込まれません。

※1～2 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※2	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※3	固定半角数字値で指定してください。 表項目種別 指定値 表項目 1 : 1 表項目 2 : 2 表項目 3 : 3 表項目 4 : 4 表項目 5 : 5

10. チームマスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定値					
			-T 指定無		-T 指定有		指定形式	制限値	未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
—	対象チーム名	1	×	●☆	×	●☆	チーム名※3	—	—	※1	—	※1
チーム名※4	チーム名	2	◎	☆	◎	☆	全半角 1※3	300	P1	P3	P4	P4
表示順※4	表示順	3	○	○	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
登録者※4/最終更新者※2※4	登録者	4	◎	◎☆	◎	◎☆	ユーザーID※3	—	P1	P1	P1	P1

※1～4の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスタデータの新規登録と更新を実行します。 ・「対象チーム名」項目に指定されたデータがチームマスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象チーム名」項目に指定されたデータがチームマスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しくチームマスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※2	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

11. メンテナンス権限(共通)



操作説明

画面項目名が、プロセス管理 1~103、SLAM チャート 1~50、(構成管理) 構成アイテム 1~50 のフィールド指定順序は、N に画面項目名の番号を代入して、算出したものになります。

(例)

画面項目名 : プロセス管理 2

フィールド名 : データの参照

フィールド指定順序 : 2+10=12

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
-	対象管理権限名	1	×	×	×	●☆	権限名※5	-	-	※1	-	※1	
管理権限名※6	管理権限名	2	×	×	◎	☆	全半角 1※5	60	P1	P3	P4	P4	
概要※6	概要	3	×	×	○	○	全半角 2※5	4000	P2	P3	P4	P4	
登録者※6 / 最終更新者※4※6	登録者	4	×	×	◎	◎☆	ユーザーID※5	-	P1	P1	P1	P1	
制御情報※8	ALL※6	制御情報>ALL	5	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
	ホーム※7	制御情報>ホーム	6	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	タスク※7	制御情報>タスク	7	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	伝言メモ※7	制御情報>伝言メモ	8	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ユーザー情報編集※7	制御情報>ユーザー情報編集	9	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ホーム※7 画面定義※7	制御情報>ホーム画面定義	10	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス 1※7	制御情報>プロセス 1	11	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N : 2~103	制御情報>プロセス N N : 2~103	N+10	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス 1※7	制御情報>簡易プロセス 1	114	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス N※7 N : 1~103	制御情報>簡易プロセス N N : 1~103	N+113	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
構成アイテム 1※7	制御情報>構成アイテム 1	217	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
構成アイテム N※7 N : 1~50	制御情報>構成アイテム N N : 1~50	N+216	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
要員管理※7	制御情報>要員管理	267	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
構成アイテム管理※7	制御情報>構成アイテム管理	268	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
アカウント管理※7	制御情報>アカウント管理	269	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
既知エラー※7	制御情報>既知エラー	270	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
FAQ※7	制御情報>FAQ	271	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ファイルライブラリ※7	制御情報>ファイルライブラリ	272	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
リンク集※7	制御情報>リンク集	273	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-既知エラー※6	制御情報>ログインフレーム-既知エラー	274	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-FAQ※6	制御情報>ログインフレーム-FAQ	275	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-ファイルライブラリ※6	制御情報>ログインフレーム-ファイルライブラリ	276	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-リンク集※6	制御情報>ログインフレーム-リンク集	277	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
オープンFAQ※6	制御情報>オープンFAQ	278	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
フレーム・ネット・ジョブ申請※7	制御情報>フレーム・ネット・ジョブ申請	279	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
グループ※8	制御情報>グループ	280	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ユーザー※8	制御情報>ユーザー	281	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
画面ポリシー※8	制御情報>画面ポリシー	282	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
職責※8	制御情報>職責	283	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システム※8	制御情報>システム	284	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード※8	制御情報>コード	285	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
会社※8	制御情報>会社	286	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
組織※8	制御情報>組織	287	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
祝祭日※8	制御情報>祝祭日	288	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
承認フロー※8	制御情報>承認フロー	289	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
承認フロールート※8	制御情報>承認フロールート	290	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
送信メール参照※8	制御情報>送信メール参照	291	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート※8	制御情報>メールテンプレート	292	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールアドレスチェック設定※8	制御情報>メールアドレスチェック設定	293	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート※8	制御情報>分析レポート	294	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート設定※8	制御情報>SLAM チャート設定	295	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート抽出条件設定※8	制御情報>SLAM チャート抽出条件設定	296	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト設定※8	制御情報>チェックリスト設定	297	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト条件設定※8	制御情報>チェックリスト条件設定	298	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト適用設定※8	制御情報>チェックリスト適用設定	299	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト診断※8	制御情報>チェックリスト診断	300	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別編集制御※8	制御情報>コード値別編集制御	301	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別データ設定※8	制御情報>種別データ設定	302	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別条件設定※8	制御情報>種別条件設定	303	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別適用設定※8	制御情報>種別適用設定	304	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知ルート設定※8	制御情報>自動メール通知ルート設定	305	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知条件設定※8	制御情報>自動メール通知条件設定	306	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知適用設定※8	制御情報>自動メール通知適用設定	307	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート※8 条件設定※8	制御情報>分析レポート条件設定	308	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携先設定※8	制御情報>Senju/SM 間連携先設定	309	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携元設定※8	制御情報>Senju/SM 間連携元設定	310	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
認証サーバー※8	制御情報>認証サーバー	311	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チーム※8	制御情報>チーム	312	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
役割※8	制御情報>役割	313	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ランブックテンプレート※8	制御情報>ランブックテンプレート	314	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
問合せ元※8	制御情報>問合せ元	315	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM コマンド実行※8	制御情報>Senju/SM コマンド実行	316	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
制御情報※8	制御情報>制御情報	317	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
帳票出力文字変換制御※8	制御情報>帳票出力文字変換制御	318	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ラベル※8	制御情報>ラベル	319	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
サービスデスク画面レイアウト※8	制御情報>サービスデスク画面レイアウト	320	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
簡易画面レイアウト※8	制御情報>簡易画面レイアウト	321	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
関連登録コピー定義※8	制御情報>関連登録コピー定義	322	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コピー登録定義※8	制御情報>コピー登録定義	323	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メンテナンス権限(共通)※8	制御情報>メンテナンス権限(共通)	324	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メンテナンス権限(システム別)※8	制御情報>メンテナンス権限(システム別)	325	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システムユーザー※8	制御情報>システムユーザー	326	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
送信元設定※8	制御情報>送信元設定	327	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
お知らせ※7	制御情報>お知らせ	328	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ToDo※7	制御情報>ToDo	329	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
代理承認※7	制御情報>代理承認	330	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
パスワード変更※7	制御情報>パスワード変更	331	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
デフォルト設定※7	制御情報>デフォルト設定	332	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
イベント※7	制御情報>イベント	333	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
SLAM チャート 1※7	制御情報>SLAM チャート 1	334	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート N※7 N: 2~50	制御情報>SLAM チャート N N: 2~50	N+333	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
プロセス分析※7	制御情報>プロセス分析	384	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メニュー※8	制御情報>メニュー	385	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別自動選択設定※8	制御情報>コード値別自動選択設定	386	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分類※8	制御情報>分類	387	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
スケジュール※6	制御情報>スケジュール	388	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メニュー一覧※6	制御情報>メニュー一覧	389	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ユーザースケジュール※6	制御情報>ユーザースケジュール	390	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システムスケジュール※6	制御情報>システムスケジュール	391	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログイン※8	制御情報>ログイン	392	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ブックマーク※6	制御情報>ブックマーク	393	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート(自動送信)※8	制御情報>メールテンプレート(自動送信)	394	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携設定※8	制御情報>Senju/SM 間連携設定	395	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携項目設定※8	制御情報>Senju/SM 間連携項目設定	396	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
入力文字制御※8	制御情報>入力文字制御	397	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別必須制御※8	制御情報>コード値別必須制御	398	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
画面使用設定※8	制御情報>画面使用設定	399	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
業務グループ定義※7	制御情報>業務グループ定義	400	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
業務グループ起動時刻変更申請状況※6	制御情報>業務グループ起動時刻変更申請状況	401	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
関連項目設定※8	制御情報>関連項目 設定	402	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
申請先画面設定※8	制御情報>申請先画 面設定	403	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
プロセス検索※6	制御情報>プロセス 検索	404	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ESP システムマスタ 管理※8	制御情報>ESP システ ムマスタ管理	405	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
問合せ元 2※8	制御情報>問合せ元 2	406	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
マニュアル一覧※6	制御情報>マニユア ル一覧	407	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
WEB サーバー設定※8	制御情報>WEB サーバ ー設定	408	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
送信メッセージテン プレート※8	制御情報>送信メッ セージテンプレート	409	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Webhook 送信設定※8	制御情報>Webhook 送 信設定	410	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
共通※8	制御情報>共通	411	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ラベル ※8	ラベル>ALL	412	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
ホーム※7	ラベル>ホーム	413	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
タスク※7	ラベル>タスク	414	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
お知らせ※7	ラベル>お知らせ	415	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
伝言メモ※7	ラベル>伝言メモ	416	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ToDo※7	ラベル>ToDo	417	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
代理承認※7	ラベル>代理承認	418	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
パスワード変更※7	ラベル>パスワード 変更	419	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ユーザー情報編集※ 7	ラベル>ユーザー情 報編集	420	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
デフォルト設定※7	ラベル>デフォルト 設定	421	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ホーム画面定義※8	ラベル>ホーム画面 定義	422	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ユーザースケジュー ル※6	ラベル>ユーザース ケジュール	423	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システムスケジュー ル※6	ラベル>システムス ケジュール	424	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
イベント※7	ラベル>イベント	425	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
プロセス 1※7	ラベル>プロセス 1	426	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
プロセス N※7 N : 2~103	ラベル>プロセス N N : 2~103	N+425	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
構成アイテム 1※7	ラベル>構成アイテム 1	529	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
構成アイテム N※7 N : 2~50	ラベル>構成アイテム N N : 2~50	N+528	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
要員管理※7	ラベル>要員管理	579	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
構成アイテム管理※7	ラベル>構成アイテム管理	580	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
アカウント管理※7	ラベル>アカウント管理	581	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
既知エラー※7	ラベル>既知エラー	582	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
FAQ※7	ラベル>FAQ	583	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ファイルライブラリ※7	ラベル>ファイルライブラリ	584	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
リンク集※7	ラベル>リンク集	585	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート 1※7	ラベル>SLAM チャート 1	586	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート N※7 N : 2~50	ラベル>SLAM チャート N N : 2~50	N+585	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
プロセス分析※7	ラベル>プロセス分析	636	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-既知エラー※6	ラベル>ログインフレーム-既知エラー	637	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-FAQ※6	ラベル>ログインフレーム-FAQ	638	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-ファイルライブラリ※6	ラベル>ログインフレーム-ファイルライブラリ	639	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ログインフレーム-リンク集※6	ラベル>ログインフレーム-リンク集	640	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
オープン FAQ※6	ラベル>オープン FAQ	641	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ブックマーク※6	ラベル>ブックマーク	642	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
フレーム・ネット・ジョブ申請※7	ラベル>フレーム・ネット・ジョブ申請	643	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
グループ※8	ラベル>グループ	644	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
ユーザー※8	ラベル>ユーザー	645	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
画面ポリシー※8	ラベル>画面ポリシー	646	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
職責※8	ラベル>職責	647	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システム※8	ラベル>システム	648	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メニュー※8	ラベル>メニュー	649	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード※8	ラベル>コード	650	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別自動選択設定※8	ラベル>コード値別自動選択設定	651	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
会社※8	ラベル>会社	652	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
組織※8	ラベル>組織	653	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
祝祭日※8	ラベル>祝祭日	654	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
承認フロー※8	ラベル>承認フロー	655	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
承認フロールート※8	ラベル>承認フロールート	656	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
送信メール参照※8	ラベル>送信メール参照	657	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート※8	ラベル>メールテンプレート	658	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールアドレスチェック設定※8	ラベル>メールアドレスチェック設定	659	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート※8	ラベル>分析レポート	660	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート設定※8	ラベル>SLAM チャート設定	661	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャート抽出条件設定※8	ラベル>SLAM チャート抽出条件設定	662	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト設定※8	ラベル>チェックリスト設定	663	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト条件設定※8	ラベル>チェックリスト条件設定	664	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト適用設定※8	ラベル>チェックリスト適用設定	665	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート(自動送信)※8	ラベル>メールテンプレート(自動送信)	666	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェックリスト診断※8	ラベル>チェックリスト診断	667	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別編集制御※8	ラベル>コード値別編集制御	668	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
種別データ設定※8	ラベル>種別データ設定	669	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別条件設定※8	ラベル>種別条件設定	670	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別適用設定※8	ラベル>種別適用設定	671	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知ルート設定※8	ラベル>自動メール通知ルート設定	672	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知条件設定※8	ラベル>自動メール通知条件設定	673	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知適用設定※8	ラベル>自動メール通知適用設定	674	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート※8 条件設定※8	ラベル>分析レポート条件設定	675	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携設定※8	ラベル>Senju/SM 間連携設定	676	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携先設定※8	ラベル>Senju/SM 間連携先設定	677	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携元設定※8	ラベル>Senju/SM 間連携元設定	678	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM 間連携項目設定※8	ラベル>Senju/SM 間連携項目設定	679	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
入力文字制御※8	ラベル>入力文字制御	680	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
認証サーバー※8	ラベル>認証サーバー	681	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チーム※8	ラベル>チーム	682	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
役割※8	ラベル>役割	683	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別必須制御※8	ラベル>コード値別必須制御	684	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ランブックテンプレート※8	ラベル>ランブックテンプレート	685	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
関連項目設定※8	ラベル>関連項目設定	686	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
申請先画面設定※8	ラベル>申請先画面設定	687	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
問合せ元※8	ラベル>問合せ元	688	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/SM コマンド実行※8	ラベル>Senju/SM コマンド実行	689	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
制御情報※8	ラベル>制御情報	690	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
帳票出力文字変換制御※8	ラベル>帳票出力文字変換制御	691	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ラベル※8	ラベル>ラベル	692	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
サービスデスク画面レイアウト※8	ラベル>サービスデスク画面レイアウト	693	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
簡易画面レイアウト※8	ラベル>簡易画面レイアウト	694	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
関連登録コピー定義※8	ラベル>関連登録コピー定義	695	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コピー登録定義※8	ラベル>コピー登録定義	696	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メンテナンス権限(共通)※8	ラベル>メンテナンス権限(共通)	697	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メンテナンス権限(システム別)※8	ラベル>メンテナンス権限(システム別)	698	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
システムユーザー※8	ラベル>システムユーザー	699	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
送信元設定※8	ラベル>送信元設定	700	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分類※8	ラベル>分類	701	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メニュー一覧※6	ラベル>メニュー一覧	702	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
画面使用設定※8	ラベル>画面使用設定	703	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
業務グループ定義※7	ラベル>業務グループ定義	704	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
業務グループ起動時刻変更申請状況※6	ラベル>業務グループ起動時刻変更申請状況	705	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
プロセス検索※6	ラベル>プロセス検索	706	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ESP システムマスタ管理※8	ラベル>ESP システムマスタ管理	707	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
問合せ元2※8	ラベル>問合せ元2	708	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
マニュアル一覧※6	ラベル>マニュアル一覧	709	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
全文検索※6	ラベル>全文検索	710	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Webhook 送信設定※8	ラベル>Webhook 送信設定	711	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
WEB サーバー設定※8	ラベル>WEB サーバー設定	712	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
プロセス共通※8	ラベル>プロセス共通	713	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
共通※8	ラベル>共通	714	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
業務ステータス※8	ラベル>業務ステータス	715	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
送信メッセージテンプレート※8	ラベル>送信メッセージテンプレート	716	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
関連項目設定※8	ALL※6	関連項目設定>ALL	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1	
	プロセス 1※7	関連項目設定>プロセス 1	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
	プロセス N※7 N: 2~103	関連項目設定>プロセス N N: 2~103	N+717	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム 1※7	関連項目設定>構成アイテム 1	821	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム N※7 N: 2~50	関連項目設定>構成アイテム N N: 2~50	N+820	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
サービスデスク画面レイアウト※8	ALL※6	サービスデスク画面レイアウト>ALL	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1	
	プロセス 1※7	サービスデスク画面レイアウト>プロセス 1	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3	
	プロセス N※7 N: 2~103	サービスデスク画面レイアウト>プロセス N N: 2~103	N+871	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム管理※7	サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム管理	975	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム 1※7	サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム 1	976	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム N※7 N: 2~50	サービスデスク画面レイアウト>構成アイテム N N: 2~50	N+975	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
入力文	ALL※6	入力文字制御>ALL	1026	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
字制御※8	プロセス 1※7	入力文字制御>プロセス 1	1027	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	入力文字制御>プロセス N N: 2~103	N+1026	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
関連登録コピー定義※8	ALL※6	関連登録コピー定義>ALL	1130	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	関連登録コピー定義>プロセス 1	1131	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	関連登録コピー定義>プロセス N N: 2~103	N+1130	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コピー登録定義※8	ALL※6	コピー登録定義>ALL	1234	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	コピー登録定義>プロセス 1	1235	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	コピー登録定義>プロセス N N: 2~103	N+1234	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス 1※7	コピー登録定義>簡易プロセス 1	1338	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス N※7 N: 2~103	コピー登録定義>簡易プロセス N N: 2~103	N+1337	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート※8	ALL※6	分析レポート>ALL	1441	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	分析レポート>プロセス 1	1442	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	分析レポート>プロセス N N: 2~103	N+1441	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分析レポート条件設定※8	ALL※6	分析レポート条件設定>ALL	1545	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	分析レポート条件設定>プロセス 1	1546	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	分析レポート条件設定>プロセス N N: 2~103	N+1545	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAMチャート設定※8	ALL※6	SLAM チャート設定>ALL	1649	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	SLAM チャート 1※7	SLAM チャート設定>SLAM チャート 1	1650	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
	SLAM チャート N※7 N: 2~50	SLAM チャート設定 >SLAM チャート N N: 2~50	N+1649	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
SLAM チャー ト抽出 条件設 定※8	ALL※6	SLAM チャート抽出条 件設定>ALL	1700	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	SLAM チャート抽出条 件設定>プロセス 1	1701	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	SLAM チャート抽出条 件設定>プロセス N N: 2~103	N+1700	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	イベント※7	SLAM チャート抽出条 件設定>イベント	1804	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	フレーム・ネット・ジ ョブ申請※7	SLAM チャート抽出条 件設定>フレーム・ネ ット・ジョブ申請	1805	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェッ クリ スト 条件 設定※ 8	ALL※6	チェックリスト条件 設定>ALL	1806	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	チェックリスト条件 設定>プロセス 1	1807	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	チェックリスト条件 設定>プロセス N N: 2~103	N+1806	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メ ール通 知条件 設定※ 8	ALL※6	自動メール通知条件 設定>ALL	1910	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	自動メール通知条件 設定>プロセス 1	1911	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	自動メール通知条件 設定>プロセス N N: 2~103	N+1910	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別条 件設定 ※8	ALL※6	種別条件設定>ALL	2014	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	種別条件設定>プロ セス 1	2015	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	種別条件設定>プロ セス N N: 2~103	N+2014	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Senju/ SM 間 連携項 目設定	ALL※6	Senju/SM 間連携項目 設定>ALL	2118	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	Senju/SM 間連携項目 設定>プロセス 1	2119	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
※8	プロセス N※7 N : 2~103	Senju/SM 間連携項目 設定>プロセス N N : 2~103	N+2118	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
グループ※8	ALL※6	グループ>ALL	2222	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	簡易プロセス 1※7	グループ>簡易プロセス 1	2223	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス N※7 N : 2~102	グループ>簡易プロセス N N : 2~102	N+2222	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス 103※7	グループ>簡易プロセス 103	2319	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
業務ステータス※8	ALL※6	業務ステータス>ALL	2326	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	業務ステータス>プロセス 1	2327	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N : 2~103	業務ステータス>プロセス N N : 2~103	N+2326	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
送信メッセージテンプレート※8	ALL※6	送信メッセージテンプレート>ALL	2430	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	送信メッセージテンプレート>プロセス 1	2431	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N : 2~103	送信メッセージテンプレート>プロセス N N : 2~103	N+2430	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

※1~8 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスターデータの新規登録と更新を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「対象管理権限名」項目に指定されたデータがメンテナンス権限(共通)マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象管理権限名」項目に指定されたデータがメンテナンス権限(共通)マスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しくメンテナンス権限(共通)マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスターデータは取り込まれません。
※2	マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定ありの場合、全ての項目に「OFF」を指定して新規登録または更新処理を実行した場合、エラーとなりマスターデータは登録されません。 また、マッピングアイテムファイルに項目を指定しない場合、指定されない項目は「OFF」が設定された状態となります。 ※マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定なしの場合、メンテナンス権限(共通)マスタを登録/更新しない
※3	「画面項目名>ALL」項目を“ON”で指定する場合、該当画面項目名に所属する下層項目を全て“ON”として登録/更新します。 「画面項目名>ALL」項目を“OFF”で指定する場合、インポートファイルに指定する下層項目の指定値により、登録/更新します。

注意事項	説明
	マッピングアイテムファイルの「画面項目名>ALL」の項目名未指定または、インポートファイルの項目値未指定の場合、新規モードで、「画面項目名>ALL」項目を“OFF”と判断し、インポートファイルに指定する下層項目の指定値により、登録します。 更新モードで、全てデータ種別の該当権限は更新しません。
※4	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。 「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※5	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※6	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※7	画面名初期値です。 ※画面名が変更された場合、メニュー一覧画面で、現在画面名の画面名編集画面に、表している「画面名(初期値)」が初期値となります。
※8	ユーザー変更不可の項目名です。

12. メンテナンス権限(システム別)



操作説明

画面項目名が、プロセス管理 1~103、SLAM チャート 1~20、(構成管理) 構成アイテム 1~50 のフィールド指定順序は、N に画面項目名の番号を代入して、算出したものになります。

(例)

画面項目名 : プロセス管理 2
 フィールド名 : データの参照
 フィールド指定順序 : 2+8=10

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値			
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正	
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新
-	対象管理権限名	1	×	×	×	●☆	権限名※5	-	-	※1	-	※1
管理権限名※6	管理権限名	2	×	×	◎	☆	全半角 1※5	60	P1	P3	P4	P4
概要※6	概要	3	×	×	○	○	全半角 2※5	4000	P2	P3	P4	P4
登録者※6/最終更新者※4※6	登録者	4	×	×	◎	◎☆	ユーザー ID ※5	-	P1	P1	P1	P1
システムユーザー※8	ALL※6 システムユーザー>ALL	5	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
会社※8	ALL※6 会社>ALL	6	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
組織※8	ALL※6 組織>ALL	7	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
問合せ元※8	ALL※6 問合せ元>ALL	8	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
問合せ元 2 ※8	ALL※6 問合せ元 2>ALL	9	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
表項目問合せ元※8	ALL※6 表項目問合せ元>ALL	10	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
コード※8	ALL※6 コード>ALL	11	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7 コード>プロセス 1	12	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 コード>プロセス N N : 2~103	N+11	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム 1※7 コード>構成アイテム 1	115	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム N※7 コード>構成アイテム N N : 2~50	N+114	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム管理※7 コード>構成アイテム管理	165	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	アカウント管理※7 コード>アカウント管理	166	×	×	○	○☆	固定値 5※5	-	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-I 指定無		-I 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
	ToDo※7	コード>ToDo	167	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	分類※8	コード>分類	168	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ユースケジュール※6	コード>ユースケジュール	169	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	システムスケジュール※6	コード>システムスケジュール	170	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	承認フロールート※8	コード>承認フロールート	171	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	コード値別必須制御※8	コード>コード値別必須制御	172	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
分類※8	ALL※6	分類>ALL	173	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	分類>プロセス 1	174	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	分類>プロセス N N: 2~103	N+173	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム 1※7	分類>構成アイテム 1	277	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム N※7 N: 2~50	分類>構成アイテム N N: 2~50	N+276	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	構成アイテム管理※7	分類>構成アイテム管理	327	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	アカウント管理※7	分類>アカウント管理	328	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	既知エラー※7	分類>既知エラー	329	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	FAQ※7	分類>FAQ	330	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ファイルライブラリ※7	分類>ファイルライブラリ	331	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	リンク集※7	分類>リンク集	332	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	メールテンプレート※8	分類>メールテンプレート	333	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート※8	ALL※6	メールテンプレート>ALL	334	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	メールテンプレート>プロセス 1	335	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	メールテンプレート>プロセス N N: 2~103	N+334	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
メールテンプレート(自動送信)※8	ALL※6	メールテンプレート(自動送信)>ALL	438	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	メールテンプレート(自動送信)>プロセス 1	439	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
	プロセス N※7 N : 2~103	メールテンプレート (自動送信)＞プロセス N N : 2~103	N+438	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	既知エラー※7	メールテンプレート (自動送信)＞既知エラ ー	542	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	FAQ※7	メールテンプレート (自動送信)＞FAQ	543	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ファイルライブラ リ※7	メールテンプレート (自動送信)＞ファイル ライブラリ	544	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	リンク集※7	メールテンプレート (自動送信)＞リンク集	545	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
承認フロ ー※8	ALL※6	承認フロー＞ALL	546	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	承認フロー＞プロセス 1	547	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N : 2~103	承認フロー＞プロセス N N : 2~103	N+546	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	既知エラー※7	承認フロー＞既知エラ ー	650	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	FAQ※7	承認フロー＞FAQ	651	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	ファイルライブラ リ※7	承認フロー＞ファイル ライブラリ	652	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	リンク集※7	承認フロー＞リンク集	653	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
簡易画面 レイアウト※8	ALL※6	簡易画面レイアウト ＞ALL	654	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	簡易プロセス 1※7	簡易画面レイアウト＞ 簡易プロセス 1	655	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	簡易プロセス N※7 N : 2~103	簡易画面レイアウト＞ 簡易プロセス N N : 2~103	N+654	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェック リスト適 用設定※8	ALL※6	チェックリスト適用設 定＞ALL	758	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	チェックリスト適用設 定＞プロセス 1	759	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N : 2~103	チェックリスト適用設 定＞プロセス N N : 2~103	N+758	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
チェック リスト診	ALL※6	チェックリスト診断 ＞ALL	862	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-I 指定無		-I 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
断※8	プロセス 1※7	チェックリスト診断> プロセス 1	863	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	チェックリスト診断> プロセス N N: 2~103	N+862	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
自動メール通知適用設定※8	ALL※6	自動メール通知適用設定>ALL	966	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	自動メール通知適用設定>プロセス 1	967	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	自動メール通知適用設定>プロセス N N: 2~103	N+966	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別データ設定※8	ALL※6	種別データ設定>ALL	1070	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	種別データ設定>プロセス 1	1071	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	種別データ設定>プロセス N N: 2~103	N+1070	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
種別適用設定※8	ALL※6	種別適用設定>ALL	1174	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	種別適用設定>プロセス 1	1175	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	種別適用設定>プロセス N N: 2~103	N+1174	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別自動選択設定※8	ALL※6	コード値別自動選択設定>ALL	1278	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	コード値別自動選択設定>プロセス 1	1279	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	コード値別自動選択設定>プロセス N N: 2~103	N+1278	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別編集制御※8	ALL※6	コード値別編集制御>ALL	1382	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	コード値別編集制御>プロセス 1	1383	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	コード値別編集制御>プロセス N N: 2~103	N+1382	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
コード値別必須制	ALL※6	コード値別必須制御>ALL	1486	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値				
			-T 指定無		-T 指定有※2				未指定		指定不正		
			新規	更新	新規	更新			新規	更新	新規	更新	
御※8	プロセス 1※7	コード値別必須制御> プロセス 1	1487	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	コード値別必須制御> プロセス N N: 2~103	N+1486	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
ランブ ック テン プレ ート※8	ALL※6	ランブックテンプレ ート>ALL	1590	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	ランブックテンプレ ート>プロセス 1	15911	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~102	ランブックテンプレ ート>プロセス N N: 2~102	N+1590	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス 103※7	ランブックテンプレ ート>プロセス 103	1693	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
Webhook 送 信設定※8	ALL※6	Webhook 送信設定>ALL	1694	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P27	P3	P1	P1
	プロセス 1※7	Webhook 送信設定>プロ セス 1	1695	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3
	プロセス N※7 N: 2~103	Webhook 送信設定>プロ セス N N: 2~103	N+1694	×	×	○	○☆	固定値 5※5	—	P2※3	P3※3	P1※3	P1※3

※1~11 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	対象キーの指定によって、以下のようにマスタデータの新規登録と更新を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「対象管理権限名」項目に指定されたデータがメンテナンス権限(システム別)マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「対象管理権限名」項目に指定されたデータがメンテナンス権限(システム別)マスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しくメンテナンス権限(システム別)マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※2	マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定ありの場合、全ての項目に「OFF」を指定して新規登録または更新処理を実行した場合、エラーとなりマスタデータは登録されません。 また、マッピングアイテムファイルに項目を指定しない場合、指定されない項目は「OFF」が設定された状態となります。 ※マッピングアイテムファイル(-T オプション)指定なしの場合、メンテナンス権限(共通)マスタを登録/更新しない
※3	「画面項目名>ALL」項目を“ON”で指定する場合、該当画面項目名に所属する下層項目を全て“ON”として登録/更新します。 「画面項目名>ALL」項目を“OFF”で指定する場合、インポートファイルに指定する下層項目の指定値により、登録/更新します。 マッピングアイテムファイルの「画面項目名>ALL」の項目名未指定または、インポートファイルの項目値未指定の場合、新規モードで、「画面項目名>ALL」項目を“OFF”と判断し、インポートファイルに指定する下層項目の指定値により、登録します。 更新モードで、全てデータ種別の該当権限は更新しません。

注意事項	説明
※4	新規登録時のみ「登録者」にユーザーIDが登録されます。更新時は「登録者」にユーザーIDを指定しても更新されません。「最終更新者」は新規登録時も更新時も指定されたユーザーIDにより、登録・更新が行われます。
※5	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※6	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※7	画面名初期値です。 ※画面名が変更された場合、メニュー一覧画面で、現在画面名の画面名編集画面に、表している「画面名(初期値)」が初期値となります。
※8	ユーザー変更不可の項目名です。

1.3.4.2 旧フォーマット

承認フロールートマスタ、問合せ元情報マスタにおけるバージョン 2013.0.0.0 時点の指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

職責マスタ、問合せ元情報 2 マスタにおけるバージョン 2014.0.0.0 時点の指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

マッピングアイテムファイル(-T オプション)を指定する場合は標準フォーマットを使用してください。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。



注意事項

- ①承認フロールート、問合せ元情報の場合、
本マニュアルではバージョン 2013.0.0.0 より変更となったマスタ情報のみ旧フォーマットとして記載します。
バージョン 2013.0.0.0 以前よりフォーマットが変更になっているマスタの登録について、
2013.0.0.0 以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。
- ②職責の場合、
本マニュアルではバージョン 2014.0.0.0 より変更となったマスタ情報のみ旧フォーマットとして記載します。
バージョン 2014.0.0.0 以前よりフォーマットが変更になっているマスタの登録について、
2014.0.0.0 以前のフォーマットを使用する場合は各バージョンのマニュアルを参照してください。

1. 職責マスタ



操作説明

画面項目名が、プロセス管理 1~103、(構成管理) 構成アイテム 1~10 のフィールド指定順序は、N に画面項目名の番号を代入して、算出したものになります。

(例)

画面項目名 : プロセス管理 2
 フィールド名 : データの参照
 フィールド指定順序 : $27 \times (2-1) + 9 = 35$

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード指定可否		指定形式	制限値	指定値			
			新規	更新			未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
—	対象職責名	1	×	●☆	職責名	—	—	※1	—	※1
職責名	職責名	2	◎	☆	全半角 1	60	P1	※1	—	※1
概要	概要	3	○	○	全半角 2	4000	P2	P3	P4	P4
登録者/最終更新者	登録者	4	◎	◎☆	ユーザーID	—	P1	P1	P1	P1
システムスケジュール	データの操作	5	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
イベント	データの参照 ※2	6	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除	7	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの振分	8	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
プロセス N N : 1~103	データの参照 ※2	$27 \times (N-1) + 9$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	$27 \times (N-1) + 10$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集 ※3	$27 \times (N-1) + 11$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除 ※4	$27 \times (N-1) + 12$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データのクローズ	$27 \times (N-1) + 13$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データのクローズ解除	$27 \times (N-1) + 14$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データのエスカレーション	$27 \times (N-1) + 15$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの確認	$27 \times (N-1) + 16$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの変更履歴参照	$27 \times (N-1) + 17$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	経過情報の参照 ※5	$27 \times (N-1) + 18$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	経過情報の追加 ※5	$27 \times (N-1) + 19$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
経過情報の編集 ※5	$27 \times (N-1) + 20$	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1	

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定形式	制限値	指定値			
			新規	更新			未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
	経過情報の削除 ※5	27 × (N-1)+21	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの分析	27 × (N-1)+22	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※3※4	27 × (N-1)+23	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データのイベント戻し	27 × (N-1)+24	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	チェックリストの編集 ※3	27 × (N-1)+25	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	チェックリストの対応完了 ※3	27 × (N-1)+26	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	チェックリストの確認 ※3	27 × (N-1)+27	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	チェック項目の追加・削除 ※3	27 × (N-1)+28	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	簡易チェックリストのチェック ※3	27 × (N-1)+29	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	簡易チェック項目の追加・削除 ※3	27 × (N-1)+30	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	SSA 連携のキャンセル	27 × (N-1)+31	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	一時停止解除指示	27 × (N-1)+32	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	一時停止解除実施	27 × (N-1)+33	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	簡易プロセスの使用	27 × (N-1)+34	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	Senju/SM 間連携の使用	27 × (N-1)+35	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
(構成管理) 構成アイテム N N : 1~10	データの参照 ※2	7 × (N-1)+2790	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	7 × (N-1)+2791	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	構成アイテム N>データの追加(変更予定)	7 × (N-1)+2792	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	構成アイテム N>データの追加(削除予定)	7 × (N-1)+2793	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集	7 × (N-1)+2794	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除	7 × (N-1)+2795	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの取消	7 × (N-1)+2796	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) 要員管理	データの参照 ※2	3140	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3141	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集	3142	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除	3143	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) 構成アイテム管理	データの参照 ※2	3144	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3145	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定形式	制限値	指定値			
			新規	更新			未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
	データの編集	3146	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除	3147	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの操作	3148	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
(ID 管理) アカウント管理	データの参照 ※2	3149	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3150	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集	3151	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除	3152	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの操作	3153	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
既知エラー	データの公開参照 ※2	3154	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照 ※6	3155	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3156	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集 ※6※7	3157	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除 ※6※7	3158	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※6※7	3159	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
FAQ	データの公開参照 ※2	3160	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照 ※6	3161	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3162	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集 ※6※7	3163	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除 ※6※7	3164	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※6※7	3165	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
ファイルライブラリ	データの公開参照 ※2	3166	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照 ※6	3167	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3168	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集 ※6※7	3169	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定形式	制限値	指定値			
			新規	更新			未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
	データの削除 ※6※7	3170	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※6※7	3171	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
リンク集	データの公開参照 ※2	3172	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの非公開参照 ※6	3173	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの追加	3174	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの編集 ※6※7	3175	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの削除 ※6※7	3176	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1
	データの特別編集 ※6※7	3177	◎	◎☆	固定値 5	—	P1	P1	P1	P1



仕様補足

※1～※7の仕様補足は標準フォーマットと同一の補足内容です。
標準フォーマットの仕様補足を参照してください。

2. 承認フロールートマスタ

画面項目名	フィールド名	指定順序	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
—	対象ルート名	1	×	●☆	ルート名	—	—	※1	—	※1
ルート名	ルート名	2	◎	○☆	全半角1	80	P1	※1	P4	P4
登録者/最終更新者	登録者	3	◎	◎☆	ユーザーID	—	P3	P3	P3	P3
ルート NO. 1	タイトル	4	◎	◎☆	コード名	—	P3	P3	P3	P3
	区分	5	◎	◎☆	固定値11	—	P3	P3	P3	P3
	職責/ユーザー/役割	6	◎■	◎■☆	※2	※2	P3	P3	P3	P3
ルート NO. 2	タイトル	7	◎	◎☆	コード名	—	P3	P3	P3	P3
	(アクション)カテゴリ	8	◎	◎☆	固定値9	—	P3	P3	P3	P3
	(アクション)カタログ	9	◎	◎☆	※4	※4	※4	※4	P3	P3
	区分	10	◎	◎☆	固定値8	—	P3	P3	P3	P3
	職責/ユーザー/役割	11	◎■	◎■☆	※3	※3	P3	P3	P3	P3
	差戻し先	12	○	○	数値	—	※5	※5	※5	※5
	承認条件	13	◎	◎☆	固定値10	—	P3	P3	P3	P3
ルート NO. N N: 3~20	タイトル	7×N-7	○	○	ルート NO. N の項目に指定する値はルート NO. 2 へ指定する値と同様となります。 ただし指定する際に以下の制約があります。 ・指定可能な最大ルート数は20ルートです。 ・承認フロールートはルート NO. 3 から順に指定してください。 ルート NO. 3 とルート NO. 5 といった指定はできません。					
	(アクション)カテゴリ	7×N-6	○	○						
	(アクション)カタログ	7×N-5	○	○						
	区分	7×N-4	○	○						
	職責/ユーザー/役割	7×N-3	○	○						
	差戻し先	7×N-2	○	○						
	承認条件	7×N-1	○	○						



仕様補足

※1~※5の仕様補足は標準フォーマットと同一の補足内容です。
標準フォーマットの仕様補足を参照してください。

3. 問合せ元情報マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否 更新	指定値			
				指定形式	制限値	未指定	指定不正
問合せ元 ID	問合せ元 ID	1	◎	全半角 3	100	P1	P1
問合せ元テキスト 1	問合せ元テキスト 1	2	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 2	問合せ元テキスト 2	3	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 3	問合せ元テキスト 3	4	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 4	問合せ元テキスト 4	5	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 5	問合せ元テキスト 5	6	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 6	問合せ元テキスト 6	7	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 7	問合せ元テキスト 7	8	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 8	問合せ元テキスト 8	9	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 9	問合せ元テキスト 9	10	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 10	問合せ元テキスト 10	11	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 11	問合せ元テキスト 11	12	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 12	問合せ元テキスト 12	13	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 13	問合せ元テキスト 13	14	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 14	問合せ元テキスト 14	15	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 15	問合せ元テキスト 15	16	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 16	問合せ元テキスト 16	17	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 17	問合せ元テキスト 17	18	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 18	問合せ元テキスト 18	19	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	20	○	全半角 3	4000	P2	P4
問合せ元日付 1	問合せ元日付 1	21	○	日付	—	P2	P1



問合せ元は新規登録のみ、20 万件登録できます。

問合せ元 ID の重複登録はできません。

仕様補足

すでに存在する問合せ元 ID を指定した場合、マスタデータは取り込まれません。

4. 問合せ元 2 情報マスタ

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否 更新	指定値			
				指定形式	制限値	未指定	指定不正
問合せ元 ID	問合せ元 2ID	1	◎	全半角 3	100	P1	P1
問合せ元 ID 補助	問合せ元 2ID 補助	2	○	全半角 3	100	P1	P1
問合せ元テキスト 1	問合せ元 2 テキスト 1	3	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 2	問合せ元 2 テキスト 2	4	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 3	問合せ元 2 テキスト 3	5	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 4	問合せ元 2 テキスト 4	6	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 5	問合せ元 2 テキスト 5	7	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 6	問合せ元 2 テキスト 6	8	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 7	問合せ元 2 テキスト 7	9	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 8	問合せ元 2 テキスト 8	10	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 9	問合せ元 2 テキスト 9	11	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 10	問合せ元 2 テキスト 10	12	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 11	問合せ元 2 テキスト 11	13	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 12	問合せ元 2 テキスト 12	14	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 13	問合せ元 2 テキスト 13	15	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 14	問合せ元 2 テキスト 14	16	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 15	問合せ元 2 テキスト 15	17	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 16	問合せ元 2 テキスト 16	18	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 17	問合せ元 2 テキスト 17	19	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキスト 18	問合せ元 2 テキスト 18	20	○	全半角 3	100	P2	P4
問合せ元テキストエリア 1	問合せ元 2 テキストエリア 1	21	○	全半角 3	4000	P2	P4
問合せ元日付 1	問合せ元 2 日付 1	22	○	日付	—	P2	P1



仕様補足

問合せ元 2 は新規登録のみ、20 万件登録できます。

問合せ元 2ID の重複登録はできません。

すでに存在する問合せ元 2ID を指定した場合、マスタデータは取り込まれません。

1.3.5 分類マスタ登録コマンド (sjSPU_ImportCat.exe)

分類マスタ登録コマンドにおける、インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否		指定形式	制限値	指定値				
			新規	更新			未指定		指定不正		
							新規	更新	新規	更新	
画面名※4	画面 ID	1	◎	●☆	画面 ID※3	※1	P1	P1	P1	P1	
分類種別※4	分類種別名	2	◎	●☆	分類種別名※3	※1	P1	P1	P1	P1	
システム※4	システム名	3	◎	●☆	全システム名※3	—	P1	P1	P1	P1	
登録者※4/最終更新者※4	登録者	4	○	○☆	ユーザーID※3	—	P2	P3	P2	P3	
分類-1	分類名※4	分類-1 の名称(対象分類-1 の名称)	5	×	●☆	分類名※3	—	—	※2	—	※2
		分類-1 の名称	6	◎	○☆	全半角 1※3	80	P1	P3	P1	P1
	色※4	分類-1 の色	7	○	○☆	固定値 12※3	—	P20	P3	P20	P20
	表示順※4	分類-1 の表示順	8	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
	分類区分※4	分類-1 の分類区分	9	○	○	コード名※3	—	P2	P3	P2	P3
	コメント※4	分類-1 のコメント	10	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P3	P4	P4
分類-2	分類名※4	分類-2 の名称(対象分類-2 の名称)	11	×	○☆	分類名※3	—	—	P3	—	P1
		分類-2 の名称	12	○	○☆	全半角 1※3	80	P1	P3	P1	P1
	色※4	分類-2 の色	13	○	○☆	固定値 12※3	—	P20	P3	P20	P20
	表示順※4	分類-2 の表示順	14	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
	分類区分※4	分類-2 の分類区分	15	○	○	コード名※3	—	P2	P3	P2	P3
	コメント※4	分類-2 のコメント	16	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P3	P4	P4
分類-3	分類名※4	分類-3 の名称(対象分類-3 の名称)	17	×	○☆	分類名※3	—	—	P3	—	P1
		分類-3 の名称	18	○	○☆	全半角 1※3	80	P1	P3	P1	P1
	色※4	分類-3 の色	19	○	○☆	固定値 12※3	—	P20	P3	P20	P20
	表示順※4	分類-3 の表示順	20	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
	分類区分※4	分類-3 の分類区分	21	○	○	コード名※3	—	P2	P3	P2	P3
	コメント※4	分類-3 のコメント	22	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P3	P4	P4
分類-4	分類名※4	分類-4 の名称(対象分類-4 の名称)	23	×	○☆	分類名※3	—	—	P3	—	P1
		分類-4 の名称	24	○	○☆	全半角 1※3	80	P1	P3	P1	P1
	色※4	分類-4 の色	25	○	○☆	固定値 12※3	—	P20	P3	P20	P20
	表示順※4	分類-4 の表示順	26	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
	分類区分※4	分類-4 の分類区分	27	○	○	コード名※3	—	P2	P3	P2	P3
	コメント※4	分類-4 のコメント	28	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P3	P4	P4
分類-5	分類名※4	分類-5 の名称(対象分類-5 の名称)	29	×	○☆	分類名※3	—	—	P3	—	P1
		分類-5 の名称	30	○	○☆	全半角 1※3	80	P1	P3	P1	P1

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード		指定値					
			指定可否		指定形式	制限値	未指定		指定不正	
			新規	更新			新規	更新	新規	更新
色※4	分類-5の色	31	○	○☆	固定値 12※3	—	P20	P3	P20	P20
表示順※4	分類-5の表示順	32	○	○	全半角 2※3	8	P2	P3	P4	P4
分類区分※4	分類-5の分類区分	33	○	○	コード名※3	—	P2	P3	P2	P3
コメント※4	分類-5のコメント	34	○	○	全半角 2※3	4000	P2	P3	P4	P4



本コマンドでは改行を含んだデータを登録できません。

仕様補足



以前のバージョンのインポートファイルを読み込んだ場合は自動的にファイルフォーマットの変換処理が行われます。出力されたファイルの内容を確認して問題が無ければ、出力ファイルを使用して再実行してください。

仕様補足



インポートファイルの項目の指定値について、
 ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できます。
 ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できません。

仕様補足

※1~4の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定可能な画面 ID、分類種別名は「1.2.4.5 指定可能フィールド」を参照してください。
※2	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「分類-1の名称(対象分類-1の名称)」項目に指定されたデータが分類マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「分類-1の名称(対象分類-1の名称)」項目に指定されたデータが分類マスタに登録されていない場合、新規登録処理として新しく分類マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければマスタデータは取り込まれません。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

1.3.6 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)

データ登録コマンドにおける、インポートファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。



必須設定

下記表のフィールド名通りにマッピングアイテムファイルを設定してください。
正しく設定されていない場合、インポート対象データを取り込むことができません。



仕様補足

複数指定可能項目の上限数は Web 画面と同じです。
上限数を超えて指定された場合、レコードは登録されますが、上限値を超えたデータは登録されません。



仕様補足

インポートファイル形式が 0 (ダブルクォートあり) の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できます。
なお、「”」は「” ”」で置き換えてインポートファイルに指定してください。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できます。

インポートファイル形式が 1 (ダブルクォートなし) の場合、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できます。
- ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できません。

1. プロセス管理



プロセス管理のレコード登録では、登録対象画面にデータを登録するかを画面 ID により指定します。
登録する画面は、フィールド名「データ種別 ID」に「画面 ID」を指定することで決定します。

仕様補足 「画面 ID」の設定値は、「1.1.2 画面 ID」を参照してください。

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加 経過	新規	更新	解除	追加 経過				
基本 情報	—	データ種別 ID	◎	●	◎	●	○	●	画面 ID※4※12	—	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1
	レコード ID※13	レコード ID	○	●	○	●	●	●	レコード ID※4※12	16	P10	P10	P10	P1	P1	P1	P4	P1	P4	P1	P1	P1
	システム※13	システム	◎	●	◎	●	×	●	システム名※5※12	—	P1	P1	P1	P1	—	P1	P1	P1	P1	P1	—	P1
	タイトル※13	タイトル	○	○	○	○	×	×	全半角1※4※12	200	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	ステータス※13	ステータス	○	○☆	○※9	○☆	○※10	×	コード名※4※12	—	P22	P3	P22	P3	P22	—	P22	P3	P22	P3	P1	—
	種別※13	種別	○	○※11	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	備考※13	備考	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	起票日※13	起票日	○	×	○	×	×	×	日付※4※12	—	P11	P3	P11	P3	—	—	P11	P3	P11	P3	—	—
	起票時刻※13	起票時刻	○	×	○	×	×	×	時刻※4※12	—	P12	P3	P12	P3	—	—	P12	P3	P12	P3	—	—
	クローズ期限日※13	クローズ期限日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	クローズ期限時刻※13	クローズ期限時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	起票者※13	起票者	◎	×	◎	×	×	×	ユーザーID※4※12	—	P1	P2	P1	P1	—	—	P1	P2	P1	P1	—	—
	—	登録者	○	×	○	×	○	○	ユーザーID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	P3	—	P2	P3	P2	P3	P3	—
	サブステータス※13	サブステータス	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	インパクト※13	インパクト	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	緊急度※13	緊急度	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	優先度※13	優先度	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	社員番号※13	社内申請者社員番号	○	○	○	○	×	×	半角※4※12	32	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	氏名※13	社内申請者氏名	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	氏名カナ※13	社内申請者氏名カナ	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				クローズ			追加	経過	新規	更新	クローズ			追加	経過
											新規	更新	解除					新規	更新	解除		
	会社名※13	社内申請者会社名	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	組織名※13	社内申請者組織名	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	役職※13	社内申請者役職	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	80	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	内線番号※13	社内申請者内線番号	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	電話番号1※13	社内申請者電話番号 1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	電話番号2※13	社内申請者電話番号 2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	FAX※13	社内申請者 FAX 番号	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	携帯電話番号※13	社内申請者携帯番号	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	60	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	メールアドレス1※13	社内申請者メールアドレス 1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	メールアドレス2※13	社内申請者メールアドレス 2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	会社名※13	申請者会社名	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	組織名※13	申請者組織名	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	氏名※13	申請者氏名	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	氏名カナ※13	申請者氏名カナ	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	電話番号※13	申請者電話番号	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	メールアドレス※13	申請者メールアドレス	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	コンボボックス1※13	コンボボックス 1	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	コンボボックス2※13	コンボボックス 2	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	コンボボックス3※13	コンボボックス 3	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	コンボボックス4※13	コンボボックス 4	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																
			新規	更新	クローズ			追加 ※3	経過 ※2	指定形式	制限値	未指定						指定不正							
					新規	更新	解除					クローズ			追加	経過	新規	※1	更新	クローズ			追加	経過	
												規	新	更						規	新	更			規
	コンボボックス5※13	コンボボックス5	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス6※13	コンボボックス6	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス7※13	コンボボックス7	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス8※13	コンボボックス8	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス9※13	コンボボックス9	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス10※13	コンボボックス10	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス11※13	コンボボックス11	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス12※13	コンボボックス12	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス13※13	コンボボックス13	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス14※13	コンボボックス14	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス15※13	コンボボックス15	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス16※13	コンボボックス16	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス17※13	コンボボックス17	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス18※13	コンボボックス18	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス19※13	コンボボックス19	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス20※13	コンボボックス20	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス21※13	コンボボックス21	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス22※13	コンボボックス22	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス23※13	コンボボックス23	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス24※13	コンボボックス24	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値														
			新規	更新	クローズ			追加 ※3	経過 ※2	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除					新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	追加	経過		
	コンボボックス 25※13	コンボボックス 25	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 26※13	コンボボックス 26	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 27※13	コンボボックス 27	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 28※13	コンボボックス 28	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 29※13	コンボボックス 29	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 30※13	コンボボックス 30	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 31※13	コンボボックス 31	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 32※13	コンボボックス 32	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 33※13	コンボボックス 33	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 34※13	コンボボックス 34	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 35※13	コンボボックス 35	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 36※13	コンボボックス 36	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 37※13	コンボボックス 37	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 38※13	コンボボックス 38	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 39※13	コンボボックス 39	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボボックス 40※13	コンボボックス 40	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	コンボテキスト 1※13	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	-	コンボテキスト 1-テキスト	○▼	○▼	○▼	○▼	×	×	全半角2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P4	P4	P4	P4	-	-	
	コンボテキスト 2※13	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	-	コンボテキスト 2-テキスト	○▼	○▼	○▼	○▼	×	×	全半角2※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P4	P4	P4	P4	-	-	
	ラジオボタン 1※13	ラジオボタン 1	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	
	ラジオボタン 2※13	ラジオボタン 2	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				クローズ			追加 経過	新規	追加 経過	クローズ			追加 経過		
											新規	更新	解除				新規	更新	解除			
	チェックボックス1※13	チェックボックス1	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス2※13	チェックボックス2	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス3※13	チェックボックス3	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス4※13	チェックボックス4	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス5※13	チェックボックス5	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス6※13	チェックボックス6	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス7※13	チェックボックス7	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス8※13	チェックボックス8	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス9※13	チェックボックス9	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス10※13	チェックボックス10	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス11※13	チェックボックス11	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス12※13	チェックボックス12	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス13※13	チェックボックス13	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス14※13	チェックボックス14	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス15※13	チェックボックス15	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス16※13	チェックボックス16	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス17※13	チェックボックス17	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス18※13	チェックボックス18	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス19※13	チェックボックス19	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	チェックボックス20※13	チェックボックス20	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				クローズ			追加	経過	新規	更新	クローズ			追加	経過
											規	新	更					規	新	更		
	チェックボックス 21※13	チェックボックス 21	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	チェックボックス 22※13	チェックボックス 22	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	チェックボックス 23※13	チェックボックス 23	○	○	○	○	×	×	名称※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	テキスト 1※13	テキスト 1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 2※13	テキスト 2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 3※13	テキスト 3	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 4※13	テキスト 4	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 5※13	テキスト 5	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 6※13	テキスト 6	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 7※13	テキスト 7	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 8※13	テキスト 8	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 9※13	テキスト 9	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 10※13	テキスト 10	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 11※13	テキスト 11	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 12※13	テキスト 12	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 13※13	テキスト 13	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 14※13	テキスト 14	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 15※13	テキスト 15	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 16※13	テキスト 16	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 17※13	テキスト 17	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				クローズ			追加	経過	新規	更新	クローズ			追加	経過
											新規	更新	解除					新規	更新	解除		
	テキスト 18※13	テキスト 18	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 19※13	テキスト 19	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 20※13	テキスト 20	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 21※13	テキスト 21	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 22※13	テキスト 22	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 23※13	テキスト 23	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 24※13	テキスト 24	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 25※13	テキスト 25	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 26※13	テキスト 26	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 27※13	テキスト 27	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 28※13	テキスト 28	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 29※13	テキスト 29	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 30※13	テキスト 30	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 31※13	テキスト 31	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 32※13	テキスト 32	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 33※13	テキスト 33	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 34※13	テキスト 34	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 35※13	テキスト 35	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 36※13	テキスト 36	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	テキスト 37※13	テキスト 37	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	新規	更新	解除	追加	経過	
																								新規
	テキスト 38※13	テキスト 38	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 39※13	テキスト 39	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 40※13	テキスト 40	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 41※13	テキスト 41	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 42※13	テキスト 42	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 43※13	テキスト 43	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 44※13	テキスト 44	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 45※13	テキスト 45	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 46※13	テキスト 46	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 47※13	テキスト 47	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 48※13	テキスト 48	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 49※13	テキスト 49	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 50※13	テキスト 50	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL1※13	参考 URL1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL2※13	参考 URL2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL3※13	参考 URL3	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL4※13	参考 URL4	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL5※13	参考 URL5	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL6※13	参考 URL6	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	参考 URL7※13	参考 URL7	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値												
			新規	更新	クローズ			追加 ※1			経過 ※2	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除					クローズ			追加 経過	新規	※1	更新	クローズ			追加 経過	
												新規	更新	解除					新規	更新	解除		
	数値テキスト1※13	数値テキスト1	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト2※13	数値テキスト2	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト3※13	数値テキスト3	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト4※13	数値テキスト4	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト5※13	数値テキスト5	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト6※13	数値テキスト6	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト7※13	数値テキスト7	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト8※13	数値テキスト8	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト9※13	数値テキスト9	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト10※13	数値テキスト10	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト11※13	数値テキスト11	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト12※13	数値テキスト12	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト13※13	数値テキスト13	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト14※13	数値テキスト14	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト15※13	数値テキスト15	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト16※13	数値テキスト16	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト17※13	数値テキスト17	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト18※13	数値テキスト18	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト19※13	数値テキスト19	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト20※13	数値テキスト20	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト21※13	数値テキスト21	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト22※13	数値テキスト22	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト23※13	数値テキスト23	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	数値テキスト24※13	数値テキスト24	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正							
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	追加	経過				
	数値テキスト 25※13	数値テキスト25	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 26※13	数値テキスト26	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 27※13	数値テキスト27	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 28※13	数値テキスト28	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 29※13	数値テキスト29	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 30※13	数値テキスト30	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 31※13	数値テキスト31	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 32※13	数値テキスト32	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 33※13	数値テキスト33	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 34※13	数値テキスト34	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 35※13	数値テキスト35	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 36※13	数値テキスト36	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 37※13	数値テキスト37	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 38※13	数値テキスト38	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 39※13	数値テキスト39	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 40※13	数値テキスト40	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 41※13	数値テキスト41	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 42※13	数値テキスト42	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 43※13	数値テキスト43	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	数値テキスト 44※13	数値テキスト44	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				クローズ			追加	経過	新規	更新	クローズ			追加	経過
											新規	更新	解除					新規	更新	解除		
	数値テキスト 45※13	数値テキスト45	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 46※13	数値テキスト46	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 47※13	数値テキスト47	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 48※13	数値テキスト48	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 49※13	数値テキスト49	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 50※13	数値テキスト50	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 51※13	数値テキスト51	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 52※13	数値テキスト52	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 53※13	数値テキスト53	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 54※13	数値テキスト54	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 55※13	数値テキスト55	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 56※13	数値テキスト56	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 57※13	数値テキスト57	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 58※13	数値テキスト58	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 59※13	数値テキスト59	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	数値テキスト 60※13	数値テキスト60	○	○	○	○	×	×	数値※5※12	12	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	ラージテキスト 1※13	ラージテキスト1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	ラージテキスト 2※13	ラージテキスト2	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	ラージテキスト 3※13	ラージテキスト3	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	ラージテキスト 4※13	ラージテキスト4	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値														
			新規	更新	クローズ			追加 ※3	経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除					新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	新規	更新	解除	追加	経過
	リッチテキスト1※13	リッチテキスト1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12 ※16	10000000	P33	P34	P33	P34	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト1 (テキストのみ)	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト1HTMLファイル	○	○	○	○	×	×	ファイル名※5 ※14	100	P33	P34	P33	P34	—	—	P5	P5	P5	P5	—	—	
	—	リッチテキスト1HTMLCharset	○	○	○	○	×	×	半角※4※14	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト1挿入ファイル	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※5 ※14	100	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	—	リッチテキスト1ファイル名	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※5※14	4000	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	—	リッチテキスト1Content-ID	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※5※14	4000	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	リッチテキスト2※13	リッチテキスト2	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12 ※16	10000000	P33	P34	P33	P34	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト2 (テキストのみ)	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト2HTMLファイル	○	○	○	○	×	×	ファイル名※5 ※14	100	P33	P34	P33	P34	—	—	P5	P5	P5	P5	—	—	
	—	リッチテキスト2HTMLCharset	○	○	○	○	×	×	半角※4※14	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
	—	リッチテキスト2挿入ファイル	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※5 ※14	100	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	—	リッチテキスト2ファイル名	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※5※14	4000	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	—	リッチテキスト2Content-ID	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※5※14	4000	P34	P35	P34	P35	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
	開始日※13	開始日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	開始時刻※13	開始時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了日1※13	終了日1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了時刻1※13	終了時刻1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了日2※13	終了日2	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了時刻2※13	終了時刻2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了日3※13	終了日3	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了時刻3※13	終了時刻3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	開始予定日※13	開始予定日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	開始予定時刻※13	開始予定時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了予定日※13	終了予定日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	終了予定時刻※13	終了予定時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	対応予定日1※13	対応予定日1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	新規	更新	解除			
																						新規	更新	解除
	対応予定時刻1※13	対応予定時刻1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定日2※13	対応予定日2	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定時刻2※13	対応予定時刻2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定日3※13	対応予定日3	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定時刻3※13	対応予定時刻3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定日4※13	対応予定日4	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定時刻4※13	対応予定時刻4	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定日5※13	対応予定日5	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応予定時刻5※13	対応予定時刻5	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績日1※13	対応実績日1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績時刻1※13	対応実績時刻1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績日2※13	対応実績日2	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績時刻2※13	対応実績時刻2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績日3※13	対応実績日3	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績時刻3※13	対応実績時刻3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績日4※13	対応実績日4	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績時刻4※13	対応実績時刻4	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績日5※13	対応実績日5	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	対応実績時刻5※13	対応実績時刻5	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	スケジュール設定開始日※13	スケジュール設定開始日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	スケジュール設定開始時刻※13	スケジュール設定開始時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	スケジュール設定終了日※13	スケジュール設定終了日	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	スケジュール設定終了時刻※13	スケジュール設定終了時刻	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	スケジュール設定オプション※13-通し作業※13	スケジュール設定オプション-通し作業	○	○	○	○	×	×	固定値 5※12	—	P33	P3	P33	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				クローズ			追加 経過	新規	更新	解除	クローズ			追加 経過	
											規	新	更					規	新	更		規
	スケジュール設定オプション※13-非稼働日※13	スケジュール設定オプション-非稼働日	○	○	○	○	×	×	固定値 5※12	-	P33	P3	P33	P3	-	-	P4	P4	P4	P4	-	-
	日付テキスト1※13	日付テキスト1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト2※13	日付テキスト2	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト3※13	日付テキスト3	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト4※13	日付テキスト4	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト5※13	日付テキスト5	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト6※13	日付テキスト6	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト7※13	日付テキスト7	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト8※13	日付テキスト8	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト9※13	日付テキスト9	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト10※13	日付テキスト10	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト11※13	日付テキスト11	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト12※13	日付テキスト12	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト13※13	日付テキスト13	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト14※13	日付テキスト14	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト15※13	日付テキスト15	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト1※13	時刻テキスト1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト2※13	時刻テキスト2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト3※13	時刻テキスト3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト4※13	時刻テキスト4	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト5※13	時刻テキスト5	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト6※13	時刻テキスト6	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト7※13	時刻テキスト7	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト8※13	時刻テキスト8	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト9※13	時刻テキスト9	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト10※13	時刻テキスト10	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト11※13	時刻テキスト11	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト12※13	時刻テキスト12	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				クローズ			追加 経過	新規	※1 更新	クローズ			追加 経過		
											規新	新更	除解				規新	新更	除解			
	時刻テキスト13※13	時刻テキスト13	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	時刻テキスト14※13	時刻テキスト14	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	時刻テキスト15※13	時刻テキスト15	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	大分類※13	大分類	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	中分類※13	中分類	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	小分類※13	小分類	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	2連分類 1-1※13	2連分類 1-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	2連分類 1-2※13	2連分類 1-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	2連分類 2-1※13	2連分類 2-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	2連分類 2-2※13	2連分類 2-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 1-1※13	3連分類 1-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 1-2※13	3連分類 1-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 1-3※13	3連分類 1-3	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 2-1※13	3連分類 2-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 2-2※13	3連分類 2-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	3連分類 2-3※13	3連分類 2-3	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 1-1※13	5連分類-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 1-2※13	5連分類-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 1-3※13	5連分類-3	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 1-4※13	5連分類-4	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 1-5※13	5連分類-5	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 2-1※13	5連分類 2-1	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 2-2※13	5連分類 2-2	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 2-3※13	5連分類 2-3	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 2-4※13	5連分類 2-4	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	5連分類 2-5※13	5連分類 2-5	○	○	○	○	×	×	分類名※4※12	—	P31	P3	P31	P3	—	—	P31	P3	P31	P3	—	—
	選択ユーザー1※13	選択ユーザー1※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—
	選択ユーザー2※13	選択ユーザー2※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—
	選択ユーザー3※13	選択ユーザー3※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—
	選択ユーザー4※13	選択ユーザー4※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—
	選択ユーザー5※13	選択ユーザー5※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						追加 経過 ※3	指定形式	制限値	指定値										
			新規	更新	クローズ			追 経過 ※3				未指定					指定不正					
					新規	更新	解除					新規	更新	クローズ	追 経過 ※3	新規	更新	クローズ	追 経過 ※3			
	選択ユーザ-6※13	選択ユーザ-6※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	選択ユーザ-7※13	選択ユーザ-7※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	選択ユーザ-8※13	選択ユーザ-8※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	選択ユーザ-9※13	選択ユーザ-9※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	選択ユーザ-10※13	選択ユーザ-10※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	添付ファイル1※13	添付ファイル1 ※2	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P1	P1	P1	P1	-	-
	添付ファイル2※13	添付ファイル2 ※2	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P1	P1	P1	P1	-	-
	添付ファイル3※13	添付ファイル3 ※2	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P1	P1	P1	P1	-	-
	添付ファイル4※13	添付ファイル4 ※2	○■	○■	○■	○■	×	×	ファイル名※4※12	100	P2	P3	P2	P3	-	-	P1	P1	P1	P1	-	-
	関連プロセス※13	関連プロセス(レコード ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連プロセスレコード ID※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P7	P8	P7	P8	-	-
-		関連プロセス(データ種別 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連画面 ID※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P7	P8	P7	P8	-	-
	関連構成アイテム1※13	関連構成アイテム1	○■	○■	○■	○■	×	×	構成アイテム名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
-		関連構成アイテム1(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名※5※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	関連構成アイテム2※13	関連構成アイテム2	○■	○■	○■	○■	×	×	構成アイテム名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
-		関連構成アイテム2(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名※5※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	関連構成アイテム3※13	関連構成アイテム3	○■	○■	○■	○■	×	×	構成アイテム名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
-		関連構成アイテム3(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名※5※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	関連アカウント※13	関連アカウント	○■	○■	○■	○■	×	×	アカウント名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
-		関連アカウント(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名※5※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-
	関連構成1※6※13	関連構成1(構成 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連構成 ID※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P13	P14	P13	P14	-	-

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値												
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定						指定不正						
					新規	更新	解除				クローズ			新規	追加	経過	新規	追加	経過	クローズ			追加
											新規	更新	解除							新規	更新	解除	
—	—	関連構成 1(データ種別 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連画面 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 1 (システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名 ※5※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
関連構成 2※6※13	—	関連構成 2(構成 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連構成 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 2(データ種別 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連画面 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 2(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名 ※5※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
関連構成 3※6※13	—	関連構成 3(構成 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連構成 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 3(データ種別 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連画面 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 3(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名 ※5※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
関連構成 4※6※13	—	関連構成 4(構成 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連構成 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 4(データ種別 ID)	○■	○■	○■	○■	×	×	関連画面 ID※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
—	—	関連構成 4(システム)	○■	○■	○■	○■	×	×	システム名 ※5※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
対応元※13	—	エスカレーション元	○	○◆	×	×	○◆	×	ユーザー ID※4※12	—	P2	P3	—	—	P6	—	P2	P3	—	—	P1	—	
コメント※13	—	エスカレーションコメント	○	○◆	×	×	○◆	×	全半角 3※4※12	4000	P2	P3	—	—	P2	—	P4	P4	P4	P4	P2	—	
対応先※13	—	エスカレーション先	◎■	☆■	×	×	○■	×	ユーザー ID※4※12	—	P1	P3	—	—	P6	—	P1	P1	—	—	P1	—	
クローズ日※13	—	クローズ日	×	×	○▲	○▲	×	×	日付※4※12	—	—	—	P11	P11	—	—	—	—	P11	P11	—	—	
クローズ時刻※13	—	クローズ時刻	×	×	○▲	○▲	×	×	時刻※4※12	—	—	—	P12	P12	—	—	—	—	P12	P12	—	—	
クローズ者※13	—	クローズ者	×	×	◎▲	◎▲	×	×	ユーザー ID※4※12	—	—	—	P1	P1	—	—	—	—	P1	P1	—	—	
クローズ種別※13	—	クローズ種別	×	×	○▲	○▲	×	×	コード名※4※12	—	—	—	P2	P2	—	—	—	—	P2	P2	—	—	
コメント※13	—	クローズ理由	×	×	○▲	○▲	×	×	全半角 3※4※12	4000	—	—	P2	P2	—	—	—	—	P4	P4	—	—	
問合せ元 1ID※13	—	問合せ元 ID	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
問合せ元 1 テキスト 1※13	—	問合せ元テキスト 1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
問合せ元 1 テキスト 2※13	—	問合せ元テキスト 2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																
			新規	更新	クローズ			追加 ※1	経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正							
					新規	更新	解除					クローズ			追加	経過	新規	※1	更新	クローズ			追加	経過	
												規	新	更						規	新	更			除
	問合せ元1テキスト3※13	問合せ元テキスト3	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト4※13	問合せ元テキスト4	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト5※13	問合せ元テキスト5	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト6※13	問合せ元テキスト6	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト7※13	問合せ元テキスト7	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト8※13	問合せ元テキスト8	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト9※13	問合せ元テキスト9	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト10※13	問合せ元テキスト10	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト11※13	問合せ元テキスト11	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト12※13	問合せ元テキスト12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト13※13	問合せ元テキスト13	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト14※13	問合せ元テキスト14	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト15※13	問合せ元テキスト15	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト16※13	問合せ元テキスト16	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト17※13	問合せ元テキスト17	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキスト18※13	問合せ元テキスト18	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1テキストエリア1※13	問合せ元テキストエリア1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元1日付1※13	問合せ元日付1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	問合せ元2ID※13	問合せ元2ID	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	問合せ元2テキスト1※13	問合せ元2テキスト1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				クローズ			追加	経過	新規	更新	クローズ			追加	経過
											新規	更新	解除					新規	更新	解除		
	問合せ元 2 テキスト 2※13	問合せ元 2 テキスト 2	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 3※13	問合せ元 2 テキスト 3	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 4※13	問合せ元 2 テキスト 4	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 5※13	問合せ元 2 テキスト 5	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 6※13	問合せ元 2 テキスト 6	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 7※13	問合せ元 2 テキスト 7	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 8※13	問合せ元 2 テキスト 8	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 9※13	問合せ元 2 テキスト 9	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 10※13	問合せ元 2 テキスト 10	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 11※13	問合せ元 2 テキスト 11	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 12※13	問合せ元 2 テキスト 12	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 13※13	問合せ元 2 テキスト 13	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 14※13	問合せ元 2 テキスト 14	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 15※13	問合せ元 2 テキスト 15	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 16※13	問合せ元 2 テキスト 16	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 17※13	問合せ元 2 テキスト 17	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト 18※13	問合せ元 2 テキスト 18	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 テキスト エリア 1※13	問合せ元 2 テキスト エリア 1	○	○	○	○	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—
	問合せ元 2 日付 1※13	問合せ元 2 日付 1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—
	ブロック制御コンボボックス 1※13	ブロック制御コンボボックス 1	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	追加	経過				
																					新規	更新	解除	新規
	ブロック制御コンボボックス 2※13	ブロック制御コンボボックス 2	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	ブロック制御コンボボックス 3※13	ブロック制御コンボボックス 3	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	承認フロー追加通知先※13	承認フロー追加通知先	○	○	○	○	×	×	メールアドレス形式※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	公開グループ※13	公開グループ	○■	○■	○	○	×	×	グループ名※5※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	フォーム公開※13	フォーム公開	○	○	○	○	×	×	固定値 5	—	P5	P3	P5	P3	—	—	P5	P3	P5	P3	—	—		
	テキスト 1※13	表項目 1 テキスト 1	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 2※13	表項目 1 テキスト 2	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 3※13	表項目 1 テキスト 3	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 4※13	表項目 1 テキスト 4	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 5※13	表項目 1 テキスト 5	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 6※13	表項目 1 テキスト 6	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 7※13	表項目 1 テキスト 7	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 8※13	表項目 1 テキスト 8	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 9※13	表項目 1 テキスト 9	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 10※13	表項目 1 テキスト 10	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 11※13	表項目 1 テキスト 11	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 12※13	表項目 1 テキスト 12	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 13※13	表項目 1 テキスト 13	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 14※13	表項目 1 テキスト 14	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 15※13	表項目 1 テキスト 15	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 16※13	表項目 1 テキスト 16	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 17※13	表項目 1 テキスト 17	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 18※13	表項目 1 テキスト 18	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 19※13	表項目 1 テキスト 19	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 20※13	表項目 1 テキスト 20	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角 2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	コンボボックス 1※13	表項目 1 コンボボックス 1	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス 2※13	表項目 1 コンボボックス 2	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス 3※13	表項目 1 コンボボックス 3	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス 4※13	表項目 1 コンボボックス 4	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス 5※13	表項目 1 コンボボックス 5	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値													
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	追加	経過		
																					新規	更新
	コンボボックス6※13	表項目1コンボボックス6	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス7※13	表項目1コンボボックス7	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス8※13	表項目1コンボボックス8	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス9※13	表項目1コンボボックス9	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス10※13	表項目1コンボボックス10	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス11※13	表項目1コンボボックス11	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス12※13	表項目1コンボボックス12	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス13※13	表項目1コンボボックス13	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス14※13	表項目1コンボボックス14	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス15※13	表項目1コンボボックス15	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス16※13	表項目1コンボボックス16	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス17※13	表項目1コンボボックス17	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス18※13	表項目1コンボボックス18	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス19※13	表項目1コンボボックス19	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	コンボボックス20※13	表項目1コンボボックス20	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト1※13	表項目1日付テキスト1	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト2※13	表項目1日付テキスト2	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト3※13	表項目1日付テキスト3	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト4※13	表項目1日付テキスト4	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	日付テキスト5※13	表項目1日付テキスト5	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト1※13	表項目1時刻テキスト1	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト2※13	表項目1時刻テキスト2	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト3※13	表項目1時刻テキスト3	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト4※13	表項目1時刻テキスト4	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-
	時刻テキスト5※13	表項目1時刻テキスト5	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加 経過	新規	更新	解除	追加 経過	新規	更新	解除	追加 経過		
																							新規	更新
	選択ユーザ1※13	表項目 1 選択ユーザ1※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザ2※13	表項目 1 選択ユーザ2※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザ3※13	表項目 1 選択ユーザ3※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザ4※13	表項目 1 選択ユーザ4※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザ5※13	表項目 1 選択ユーザ5※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	問合せ元 ID	表項目 1 問合せ元 ID	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト1※13	表項目 2 テキスト 1	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト2※13	表項目 2 テキスト 2	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト3※13	表項目 2 テキスト 3	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト4※13	表項目 2 テキスト 4	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト5※13	表項目 2 テキスト 5	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト6※13	表項目 2 テキスト 6	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト7※13	表項目 2 テキスト 7	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト8※13	表項目 2 テキスト 8	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト9※13	表項目 2 テキスト 9	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト10※13	表項目 2 テキスト 10	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト11※13	表項目 2 テキスト 11	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト12※13	表項目 2 テキスト 12	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト13※13	表項目 2 テキスト 13	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト14※13	表項目 2 テキスト 14	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト15※13	表項目 2 テキスト 15	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト16※13	表項目 2 テキスト 16	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト17※13	表項目 2 テキスト 17	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト18※13	表項目 2 テキスト 18	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト19※13	表項目 2 テキスト 19	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト20※13	表項目 2 テキスト 20	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	コンボボックス1※13	表項目 2 コンボボックス 1	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス2※13	表項目 2 コンボボックス 2	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス3※13	表項目 2 コンボボックス 3	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	コンボボックス4※13	表項目 2 コンボボックス 4	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	新規	更新	解除	追加	経過	
																								新規
コンボボックス5※13	表項目2コンボボックス5	5	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス6※13	表項目2コンボボックス6	6	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス7※13	表項目2コンボボックス7	7	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス8※13	表項目2コンボボックス8	8	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス9※13	表項目2コンボボックス9	9	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス10※13	表項目2コンボボックス10	10	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス11※13	表項目2コンボボックス11	11	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス12※13	表項目2コンボボックス12	12	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス13※13	表項目2コンボボックス13	13	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス14※13	表項目2コンボボックス14	14	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス15※13	表項目2コンボボックス15	15	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス16※13	表項目2コンボボックス16	16	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス17※13	表項目2コンボボックス17	17	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス18※13	表項目2コンボボックス18	18	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス19※13	表項目2コンボボックス19	19	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
コンボボックス20※13	表項目2コンボボックス20	20	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
日付テキスト1※13	表項目2日付テキスト1	1	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
日付テキスト2※13	表項目2日付テキスト2	2	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
日付テキスト3※13	表項目2日付テキスト3	3	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
日付テキスト4※13	表項目2日付テキスト4	4	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
日付テキスト5※13	表項目2日付テキスト5	5	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
時刻テキスト1※13	表項目2時刻テキスト1	1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
時刻テキスト2※13	表項目2時刻テキスト2	2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
時刻テキスト3※13	表項目2時刻テキスト3	3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						追加 経過	指定形式	制限値	指定値													
			新規	更新	クローズ			追 加				未指定						指定不正							
					新規	更新	解除					クローズ			追 加	追 加	追 加	クローズ			追 加				
												規	新	更				規	新	更		規	新	更	
	時刻テキスト4※13	表項目2時刻テキスト4	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	時刻テキスト5※13	表項目2時刻テキスト5	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	選択ユーザー1※13	表項目2選択ユーザー1※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—			
	選択ユーザー2※13	表項目2選択ユーザー2※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—			
	選択ユーザー3※13	表項目2選択ユーザー3※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—			
	選択ユーザー4※13	表項目2選択ユーザー4※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—			
	選択ユーザー5※13	表項目2選択ユーザー5※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—			
	問合せ元ID※13	表項目2問合せ元ID	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト1※13	表項目3テキスト1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト2※13	表項目3テキスト2	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト3※13	表項目3テキスト3	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト4※13	表項目3テキスト4	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト5※13	表項目3テキスト5	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト6※13	表項目3テキスト6	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト7※13	表項目3テキスト7	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト8※13	表項目3テキスト8	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト9※13	表項目3テキスト9	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト10※13	表項目3テキスト10	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト11※13	表項目3テキスト11	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト12※13	表項目3テキスト12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト13※13	表項目3テキスト13	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト14※13	表項目3テキスト14	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト15※13	表項目3テキスト15	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト16※13	表項目3テキスト16	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト17※13	表項目3テキスト17	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト18※13	表項目3テキスト18	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト19※13	表項目3テキスト19	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	テキスト20※13	表項目3テキスト20	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—			
	コンボボックス1※13	表項目3コンボボックス1	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス2※13	表項目3コンボボックス2	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス3※13	表項目3コンボボックス3	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値														
			新規	更新	クローズ			追加 ※3	経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正					
					新規	更新	解除					新規	更新	解除	追加	経過	新規	更新	解除	追加	経過		
	コンボボックス4※13	表項目3コンボボックス4	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス5※13	表項目3コンボボックス5	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス6※13	表項目3コンボボックス6	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス7※13	表項目3コンボボックス7	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス8※13	表項目3コンボボックス8	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス9※13	表項目3コンボボックス9	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス10※13	表項目3コンボボックス10	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス11※13	表項目3コンボボックス11	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス12※13	表項目3コンボボックス12	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス13※13	表項目3コンボボックス13	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス14※13	表項目3コンボボックス14	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス15※13	表項目3コンボボックス15	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス16※13	表項目3コンボボックス16	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス17※13	表項目3コンボボックス17	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス18※13	表項目3コンボボックス18	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス19※13	表項目3コンボボックス19	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	コンボボックス20※13	表項目3コンボボックス20	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	日付テキスト1※13	表項目3日付テキスト1	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	日付テキスト2※13	表項目3日付テキスト2	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	日付テキスト3※13	表項目3日付テキスト3	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	日付テキスト4※13	表項目3日付テキスト4	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	日付テキスト5※13	表項目3日付テキスト5	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
	時刻テキスト1※13	表項目3時刻テキスト1	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						追加 経過	指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追 加				未指定						指定不正					
					新規	更新	解除					クローズ			追 加	追 加	追 加	クローズ			追 加		
												規	新	更				規	新	更		規	新
時刻テキスト2※13	表項目3時刻テキスト2	時刻※4※12	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
時刻テキスト3※13	表項目3時刻テキスト3	時刻※4※12	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
時刻テキスト4※13	表項目3時刻テキスト4	時刻※4※12	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
時刻テキスト5※13	表項目3時刻テキスト5	時刻※4※12	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
選択ユーザー1※7	表項目3選択ユーザー1※7	社員番号※4※12	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
選択ユーザー2※13	表項目3選択ユーザー2※7	社員番号※4※12	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
選択ユーザー3※13	表項目3選択ユーザー3※7	社員番号※4※12	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
選択ユーザー4※13	表項目3選択ユーザー4※7	社員番号※4※12	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
選択ユーザー5※13	表項目3選択ユーザー5※7	社員番号※4※12	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—	
問合せ元ID※13	表項目3問合せ元ID	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト1※13	表項目4テキスト1	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト2※13	表項目4テキスト2	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト3※13	表項目4テキスト3	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト4※13	表項目4テキスト4	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト5※13	表項目4テキスト5	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト6※13	表項目4テキスト6	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト7※13	表項目4テキスト7	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト8※13	表項目4テキスト8	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト9※13	表項目4テキスト9	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト10※13	表項目4テキスト10	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト11※13	表項目4テキスト11	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト12※13	表項目4テキスト12	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト13※13	表項目4テキスト13	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト14※13	表項目4テキスト14	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト15※13	表項目4テキスト15	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト16※13	表項目4テキスト16	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト17※13	表項目4テキスト17	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト18※13	表項目4テキスト18	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト19※13	表項目4テキスト19	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
テキスト20※13	表項目4テキスト20	全半角2※4※12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—	
コンボボックス1※13	表項目4コンボボックス1	コード名※4※12	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	
コンボボックス2※13	表項目4コンボボックス2	コード名※4※12	○	○	○	○	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—	

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																
			新規	更新	クローズ			追加 ※13	経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正							
					新規	更新	解除					クローズ			追加	経過	新規	※1	更新	クローズ			追加	経過	
												規新	新更	除解						規新	新更	除解			
	コンボボックス 3※13	表項目 4 コンボボックス 3	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 4※13	表項目 4 コンボボックス 4	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 5※13	表項目 4 コンボボックス 5	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 6※13	表項目 4 コンボボックス 6	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 7※13	表項目 4 コンボボックス 7	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 8※13	表項目 4 コンボボックス 8	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 9※13	表項目 4 コンボボックス 9	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 10※13	表項目 4 コンボボックス 10	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 11※13	表項目 4 コンボボックス 11	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 12※13	表項目 4 コンボボックス 12	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 13※13	表項目 4 コンボボックス 13	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 14※13	表項目 4 コンボボックス 14	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 15※13	表項目 4 コンボボックス 15	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 16※13	表項目 4 コンボボックス 16	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 17※13	表項目 4 コンボボックス 17	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 18※13	表項目 4 コンボボックス 18	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 19※13	表項目 4 コンボボックス 19	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	コンボボックス 20※13	表項目 4 コンボボックス 20	○■	○■	○■	○■	×	×	コード名※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	日付テキスト1※13	表項目 4 日付テキスト 1	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	日付テキスト2※13	表項目 4 日付テキスト 2	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	日付テキスト3※13	表項目 4 日付テキスト 3	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			
	日付テキスト4※13	表項目 4 日付テキスト 4	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値															
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正						
					新規	更新	解除				新規	更新	解除	追加 経過	新規	更新	解除	追加 経過	新規	更新	解除	追加 経過		
																							新規	更新
	日付テキスト5※13	表項目 4 日付テキスト 5	○	○	○	○	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	時刻テキスト1※13	表項目 4 時刻テキスト 1	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	時刻テキスト2※13	表項目 4 時刻テキスト 2	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	時刻テキスト3※13	表項目 4 時刻テキスト 3	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	時刻テキスト4※13	表項目 4 時刻テキスト 4	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	時刻テキスト5※13	表項目 4 時刻テキスト 5	○	○	○	○	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		
	選択ユーザー1※13	表項目 4 選択ユーザー 1※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザー2※13	表項目 4 選択ユーザー 2※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザー3※13	表項目 4 選択ユーザー 3※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザー4※13	表項目 4 選択ユーザー 4※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	選択ユーザー5※13	表項目 4 選択ユーザー 5※7	○	○	○	○	×	×	社員番号※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—		
	問合せ元 1D※13	表項目 4 問合せ元 1D	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 1※13	表項目 5 テキスト 1	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 2※13	表項目 5 テキスト 2	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 3※13	表項目 5 テキスト 3	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 4※13	表項目 5 テキスト 4	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 5※13	表項目 5 テキスト 5	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 6※13	表項目 5 テキスト 6	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 7※13	表項目 5 テキスト 7	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 8※13	表項目 5 テキスト 8	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 9※13	表項目 5 テキスト 9	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 10※13	表項目 5 テキスト 10	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 11※13	表項目 5 テキスト 11	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 12※13	表項目 5 テキスト 12	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 13※13	表項目 5 テキスト 13	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 14※13	表項目 5 テキスト 14	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 15※13	表項目 5 テキスト 15	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 16※13	表項目 5 テキスト 16	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 17※13	表項目 5 テキスト 17	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 18※13	表項目 5 テキスト 18	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 19※13	表項目 5 テキスト 19	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	テキスト 20※13	表項目 5 テキスト 20	○	○	○	○	×	×	全半角2※4※12	4000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—		
	コンボボックス 1※13	表項目 5 コンボボックス 1	○	○	○	○	×	×	コード名※4※ 12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—		

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																
			新規	更新	クローズ			追加 ※1	経過	指定形式	制限値	未指定						指定不正							
					新規	更新	解除					クローズ			追加	経過	新規	※1	更新	クローズ			追加	経過	
												規	新	更						規	新	更			除
	コンボボックス 2※13	表項目5コンボボックス2	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 3※13	表項目5コンボボックス3	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 4※13	表項目5コンボボックス4	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 5※13	表項目5コンボボックス5	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 6※13	表項目5コンボボックス6	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 7※13	表項目5コンボボックス7	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 8※13	表項目5コンボボックス8	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 9※13	表項目5コンボボックス9	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 10※13	表項目5コンボボックス10	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 11※13	表項目5コンボボックス11	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 12※13	表項目5コンボボックス12	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 13※13	表項目5コンボボックス13	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 14※13	表項目5コンボボックス14	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 15※13	表項目5コンボボックス15	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 16※13	表項目5コンボボックス16	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 17※13	表項目5コンボボックス17	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 18※13	表項目5コンボボックス18	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 19※13	表項目5コンボボックス19	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	コンボボックス 20※13	表項目5コンボボックス20	○	■	○	○	×	×	コード名※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	日付テキスト1※13	表項目5日付テキスト1	○	■	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			
	日付テキスト2※13	表項目5日付テキスト2	○	■	○	○	×	×	日付※4※12	-	P2	P3	P2	P3	-	-	P2	P3	P2	P3	-	-			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																	
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正								
					新規	更新	解除				クローズ			追加 経過	新規	※1 更新	クローズ			追加 経過	新規	※1 更新	クローズ			追加 経過
											規新	新更	除解				規新	新更	除解				規新	新更	除解	
	日付テキスト3※13	表項目5日付テキスト3	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	日付テキスト4※13	表項目5日付テキスト4	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	日付テキスト5※13	表項目5日付テキスト5	○■	○■	○■	○■	×	×	日付※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	時刻テキスト1※13	表項目5時刻テキスト1	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	時刻テキスト2※13	表項目5時刻テキスト2	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	時刻テキスト3※13	表項目5時刻テキスト3	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	時刻テキスト4※13	表項目5時刻テキスト4	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	時刻テキスト5※13	表項目5時刻テキスト5	○■	○■	○■	○■	×	×	時刻※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P2	P3	P2	P3	—	—				
	選択ユーザー1※13	表項目5選択ユーザー1※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—				
	選択ユーザー2※13	表項目5選択ユーザー2※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—				
	選択ユーザー3※13	表項目5選択ユーザー3※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—				
	選択ユーザー4※13	表項目5選択ユーザー4※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—				
	選択ユーザー5※13	表項目5選択ユーザー5※7	○■	○■	○■	○■	×	×	社員番号※4※12	—	P2	P3	P2	P3	—	—	P13	P14	P13	P14	—	—				
	問合せ元ID※13	表項目5問合せ元ID	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	300	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン1※13	マークダウン1	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン2※13	マークダウン2	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン3※13	マークダウン3	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン4※13	マークダウン4	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン5※13	マークダウン5	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン6※13	マークダウン6	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン7※13	マークダウン7	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン8※13	マークダウン8	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン9※13	マークダウン9	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
	マークダウン10※13	マークダウン10	○■	○■	○■	○■	×	×	全半角2※4※12	128000	P2	P3	P2	P3	—	—	P4	P4	P4	P4	—	—				
経過情報	タイトル※13	経過タイトル	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	1024	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4				
	対応日※13	経過対応日	○■	×	○■	×	×	○■	日付※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2				
	対応時刻※13	経過対応時刻	○■	×	○■	×	×	○■	時刻※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2				
	対応者※13	経過対応者	○■	×	○■	×	×	○■	ユーザーID※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2				
	チャンネル※13	経過チャンネル※8	○■	×	○■	×	×	○■	固定値 13※4※12	—	P23	—	P23	—	—	P23	P23	—	P23	—	—	P23				
	内容※13	経過内容	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4				
	—	経過色	○■	×	○■	×	×	○■	固定値※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4				

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定値																
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定							指定不正							
					新規	更新	解除				クローズ			追加 経過	新規	※1 更新	クローズ			新規	※1 更新	クローズ			追加 経過
											規新	新更	除解				規新	新更	除解			規新	新更	除解	
	対応先※13	経過対応先	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	60	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	コンボボックス1※13	経過コンボボックス1	○■	×	○■	×	×	○■	コード名※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			
	コンボボックス2※13	経過コンボボックス2	○■	×	○■	×	×	○■	コード名※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			
	コンボボックス3※13	経過コンボボックス3	○■	×	○■	×	×	○■	コード名※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			
	コンボボックス4※13	経過コンボボックス4	○■	×	○■	×	×	○■	コード名※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			
	テキスト1※13	経過テキスト1	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	100	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキスト2※13	経過テキスト2	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	100	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキスト3※13	経過テキスト3	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	100	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキスト4※13	経過テキスト4	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	100	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキストエリア1※13	経過テキストエリア1	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキストエリア2※13	経過テキストエリア2	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキストエリア3※13	経過テキストエリア3	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	テキストエリア4※13	経過テキストエリア4	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	経過内容(リッチテキスト)※13	経過リッチテキスト	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12※14※16	10000000	P33	—	P33	—	—	P33	P4	—	P4	—	—	P4			
—		経過リッチテキスト(テキストのみ)	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12※14	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
—		経過リッチテキスト HTMLファイル	○	×	○	×	×	○	ファイル名※5※14※15	100	P33	—	P33	—	—	P33	P5	—	P5	—	—	P5			
—		経過リッチテキスト HTMLCharset	○	×	○	×	×	○	半角※4※14	—	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
—		経過リッチテキスト挿入ファイル	○■	×	○■	×	×	○■	ファイル名※5※14	100	P35	—	P35	—	—	P35	P13	—	P13	—	—	P13			
—		経過リッチテキストファイル名	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※5※14	4000	P35	—	P35	—	—	P35	P13	—	P13	—	—	P13			
—		経過リッチテキスト Content-ID	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※5※14	4000	P35	—	P35	—	—	P35	P13	—	P13	—	—	P13			
	FROM※13	経過 FROM	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	TO※13	経過 TO	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	CC※13	経過 CC	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	4000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4			
	数値テキスト1※13	経過数値テキスト1	○■	×	○■	×	×	○■	数値※5※12	12	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			
	数値テキスト2※13	経過数値テキスト2	○■	×	○■	×	×	○■	数値※5※12	12	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2			

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否						指定形式	制限値	指定値											
			新規	更新	クローズ			追加 経過			未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				クローズ			追加	新規	更新	クローズ			追加		
											規新	新更	除解				規新	新更	除解			
	計算用数値テキスト1※13	経過計算用数値テキスト1	○■	×	○■	×	×	○■	数値※5※12	12	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	計算用数値テキスト2※13	経過計算用数値テキスト2	○■	×	○■	×	×	○■	数値※5※12	12	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	計算用数値テキスト3※13	経過計算用数値テキスト3	○■	×	○■	×	×	○■	数値※5※12	12	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	日付テキスト1※13	経過日付テキスト1	○■	×	○■	×	×	○■	日付※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	日付テキスト2※13	経過日付テキスト2	○■	×	○■	×	×	○■	日付※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	時刻テキスト1※13	経過時刻テキスト1	○■	×	○■	×	×	○■	時刻※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	時刻テキスト2※13	経過時刻テキスト2	○■	×	○■	×	×	○■	時刻※4※12	—	P2	—	P2	—	—	P2	P2	—	P2	—	—	P2
	添付ファイル※13	経過添付ファイル※2	○■	×	○■	×	×	○■	ファイル名※4※12	100	P2	—	P2	—	—	P2	P1	—	P1	—	—	P1
	日時テキスト日付1※13	経過日時テキスト日付1	○■	×	○■	×	×	○■	日付※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	日時テキスト時刻1※13	経過日時テキスト時刻1	○■	×	○■	×	×	○■	時刻※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類1-1※13	経過マルチ2連分類1-1	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類1-2A※13	経過マルチ2連分類1-2A	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類1-2B※13	経過マルチ2連分類1-2B	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類1-2C※13	経過マルチ2連分類1-2C	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類1-2D※13	経過マルチ2連分類1-2D	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類2-1※13	経過マルチ2連分類2-1	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類2-2A※13	経過マルチ2連分類2-2A	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類2-2B※13	経過マルチ2連分類2-2B	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類2-2C※13	経過マルチ2連分類2-2C	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マルチ2連分類2-2D※13	経過マルチ2連分類2-2D	○■	×	○■	×	×	○■	分類名※4※12	—	P31	—	P31	—	—	P31	P31	—	P31	—	—	P31
	マークダウン1※13	経過マークダウン1	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	128000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4
	マークダウン2※13	経過マークダウン2	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	128000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4
	マークダウン3※13	経過マークダウン3	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	128000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4
	マークダウン4※13	経過マークダウン4	○■	×	○■	×	×	○■	全半角3※4※12	128000	P2	—	P2	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4

ブロック名	画面項目名	フィールド名	モード指定可否					指定値														
			新規	更新	クローズ			追加 経過	指定形式	制限値	未指定					指定不正						
					新規	更新	解除				新規	※1 更新	追 経過	新規	※1 更新	クローズ	追 経過	新規	※1 更新	クローズ	追 経過	
	マークダウン 5※13	経過マークダウン 5	○■	×	○■	×	×	○■	全半角 3※4※12	128000	P2	—	—	—	—	P2	P4	—	P4	—	—	P4

 管理者メニューの制御情報の「コマンドからプロセス管理の申請中のレコードに対する更新操作の制御設定」項目によりデータ登録コマンドから「申請状況」が「申請中」のプロセスを更新できるか、更新できないかを設定できます。
仕様補足

 リッチテキスト項目について、「リッチテキスト」「リッチテキスト (テキストのみ)」を指定する方法と、「リッチテキスト HTML ファイル」「リッチテキスト HTMLCharset」「リッチテキスト挿入ファイル」「リッチテキストファイル名」「リッチテキスト Content-ID」を指定する方法がありますが、データ登録コマンドでは「リッチテキスト (テキストのみ)」「リッチテキスト」を指定する方法でしか登録できません。また、データ登録コマンドで「リッチテキスト (テキストのみ)」を登録する場合、テキストのファイルパスを指定します。「リッチテキスト」を登録する場合、HTML のファイルパスを指定します。
仕様補足

※1~16 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	登録モードを「新規登録処理」とした場合、以下の動作になります。 <ul style="list-style-type: none"> 「レコード ID」項目に指定されたデータが登録されていない場合、新規登録処理として新しく登録します。 「レコード ID」項目に指定されたデータが登録されている場合、レコード ID が重複するレコードを新しく登録します。 登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 <ul style="list-style-type: none"> 「レコード ID」項目に指定されたデータが登録されている場合、更新処理を行います。 「レコード ID」項目に指定されたデータが複数登録されている場合、更新処理は行われません。 「レコード ID」項目に指定されたデータが登録されていない場合、新規登録処理として新しく登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければデータは取り込まれません。
※2	添付ファイル 1~4 の登録最大件数は、管理者メニュー画面/制御情報/制御情報/共通/共通の制御情報の「添付ファイル添付可能最大件数(件)」に設定されている管理項目値に準拠します。 ※添付ファイルは登録最大件数まで登録され、それを超えるデータは登録されません。
※3	フィールド名に「経過」と付く項目にデータを複数した場合、指定数分経過が追加されます。また、経過の最大登録件数は 500 件です。
※4	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※5	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※6	関連項目を登録する際は、Senju Service Manager の Web 画面「[画面]-[画面定義]-[関連項目設定]」にて各項目に選択可能な画面を設定する必要があります。 例) プロセス管理 1 のデータに構成アイテム 2 と構成アイテム 3 のデータを関連構成 1 として登録したい場合 画面名上部…プロセス管理 1、画面名下部…プロセス 1、項目名…関連構成 1 を選択し、画面一覧を表示します。 そして表示された画面一覧の構成アイテム 2 と構成アイテム 3 にチェックをいれて設定してください。 ・設定しない画面の構成アイテムを選択する場合、値が登録しないで警告終了します。
※7	ユーザー編集画面で「要員管理画面表示」を設定する場合の動作について、

注意事項	説明
	<p>[制御情報]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]-[編集画面の選択ユーザーX 検索対象設定]の設定が、「SSM ユーザーを検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するまたは要員管理画面表示しないユーザーが登録できる。 「要員を検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するユーザーが登録できる、要員管理画面表示しないユーザーが登録できない。</p>
※8	<p>データ登録コマンドから、プロセスの経過情報の登録を行う場合、 「インバウンド/アウトバウンド」項目の値は固定で「インバウンド」で登録されます。</p>
※9	<p>データ登録コマンドで、プロセスのチケットをクローズ新規と更新する場合、ステータスに「クローズ」を指定することが必須です。</p>
※10	<p>データ登録コマンドで、プロセスのチケットをクローズ解除する場合、ステータスに「クローズ」以外を指定することが必須です。</p>
※11	<p>申請中に更新できません。</p>
※12	<p>指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。</p>
※13	<p>ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。</p>
※14	<p>該当の項目はデータ登録コマンドでは登録できません。イベント連携のみ登録可能です。</p>
※15	<p>SEN からのイベント連携機能でデータを登録/更新する場合、複数経過追加する際、経過リッチテキスト HTML ファイル項目を指定しないでください。 指定した場合、データを登録/更新することができません。</p>
※16	<p>この上限値は指定された情報をエスケープ処理した後のサイズとなります。記号等を含む場合には余裕を持って指定してください。 指定したファイルのサイズが上限を超えた場合、該当項目は登録及び更新されません。</p>

2. イベント管理

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
基本情報	—	データ種別 ID	○	データ種別 ID※2※7	—	P30	P1
	レコード ID※8	レコード ID	○	レコード ID※2※7	16	P2	P4
	システム※8	システム	○	システム名※3※7	—	P2	P2
	タイトル※8	タイトル	○	全半角 3※2※7	200	P2	P4
	発生日時※8	—	×	日時※6	—	—	—
	通知日時※8	—	×	日時※6	—	—	—
	種別※8	種別	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	備考※8	備考	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	起票日※8	起票日	○	日付※2※7	—	P11	P11
	起票時刻※8	起票時刻	○	時刻※2※7	—	P12	P12
	クローズ期限日※8	クローズ期限日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	クローズ期限時刻※8	クローズ期限時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	起票者※8	起票者	○	ユーザーID※2※7	—	P2	P2
	—	登録者	○	ユーザーID※2※7	—	P2	P2
	サブステータス※8	サブステータス	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	インパクト※8	インパクト	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	緊急度※8	緊急度	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	優先度※8	優先度	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	社員番号※8	社内申請者社員番号	○	半角※2※7	32	P2	P4
	氏名※8	社内申請者氏名	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	氏名カナ※8	社内申請者氏名カナ	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	会社名※8	社内申請者会社名	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	組織名※8	社内申請者組織名	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	役職※8	社内申請者役職	○	全半角 3※2※7	80	P2	P4
	内線番号※8	社内申請者内線番号	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	電話番号 1 ※8	社内申請者電話番号 1	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	電話番号 2 ※8	社内申請者電話番号 2	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	FAX※8	社内申請者 FAX 番号	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	携帯電話番号※8	社内申請者携帯番号	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	メールアドレス 1 ※8	社内申請者メールアドレス 1	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	メールアドレス 2 ※8	社内申請者メールアドレス 2	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	会社名※8	申請者会社名	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	組織名※8	申請者組織名	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
氏名※8	申請者氏名	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4	
氏名カナ※8	申請者氏名カナ	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4	
電話番号※8	申請者電話番号	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4	
メールアドレス※8	申請者メールアドレス	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4	

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボボックス 1※8	コンボボックス 1	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	コンボボックス 2	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	コンボボックス 3	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	コンボボックス 4	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	コンボボックス 5	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	コンボボックス 6	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	コンボボックス 7	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	コンボボックス 8	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	コンボボックス 9	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 10※8	コンボボックス 10	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	コンボボックス 11	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	コンボボックス 12	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	コンボボックス 13	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	コンボボックス 14	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	コンボボックス 15	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	コンボボックス 16	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	コンボボックス 17	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 18※8	コンボボックス 18	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	コンボボックス 19	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	コンボボックス 20	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 21※8	コンボボックス 21	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 22※8	コンボボックス 22	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 23※8	コンボボックス 23	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 24※8	コンボボックス 24	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 25※8	コンボボックス 25	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 26※8	コンボボックス 26	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 27※8	コンボボックス 27	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 28※8	コンボボックス 28	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 29※8	コンボボックス 29	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 30※8	コンボボックス 30	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 31※8	コンボボックス 31	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 32※8	コンボボックス 32	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 33※8	コンボボックス 33	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 34※8	コンボボックス 34	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 35※8	コンボボックス 35	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 36※8	コンボボックス 36	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 37※8	コンボボックス 37	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 38※8	コンボボックス 38	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 39※8	コンボボックス 39	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 40※8	コンボボックス 40	○	コード名※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボテキスト1-コンボボックス※8	コンボテキスト1-コンボボックス	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボテキスト1-テキスト※8	コンボテキスト1-テキスト	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	コンボテキスト2-コンボボックス※8	コンボテキスト2-コンボボックス	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボテキスト2-テキスト※8	コンボテキスト2-テキスト	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	ラジオボタン 1※8	ラジオボタン 1	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	ラジオボタン 2※8	ラジオボタン 2	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 1※8	チェックボックス 1	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 2※8	チェックボックス 2	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 3※8	チェックボックス 3	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 4※8	チェックボックス 4	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 5※8	チェックボックス 5	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 6※8	チェックボックス 6	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 7※8	チェックボックス 7	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 8※8	チェックボックス 8	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 9※8	チェックボックス 9	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 10※8	チェックボックス 10	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 11※8	チェックボックス 11	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 12※8	チェックボックス 12	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 13※8	チェックボックス 13	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 14※8	チェックボックス 14	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 15※8	チェックボックス 15	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 16※8	チェックボックス 16	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 17※8	チェックボックス 17	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 18※8	チェックボックス 18	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 19※8	チェックボックス 19	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 20※8	チェックボックス 20	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 21※8	チェックボックス 21	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 22※8	チェックボックス 22	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	チェックボックス 23※8	チェックボックス 23	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	テキスト 1※8	テキスト 1	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 2※8	テキスト 2	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 3※8	テキスト 3	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 4※8	テキスト 4	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 5※8	テキスト 5	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 6※8	テキスト 6	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 7※8	テキスト 7	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 8※8	テキスト 8	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 9※8	テキスト 9	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 10※8	テキスト 10	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 11※8	テキスト 11	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	テキスト 12※8	テキスト 12	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 13※8	テキスト 13	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 14※8	テキスト 14	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 15※8	テキスト 15	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 16※8	テキスト 16	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 17※8	テキスト 17	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 18※8	テキスト 18	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 19※8	テキスト 19	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 20※8	テキスト 20	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 21※8	テキスト 21	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 22※8	テキスト 22	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 23※8	テキスト 23	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 24※8	テキスト 24	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 25※8	テキスト 25	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 26※8	テキスト 26	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 27※8	テキスト 27	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 28※8	テキスト 28	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 29※8	テキスト 29	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 30※8	テキスト 30	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 31※8	テキスト 31	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 32※8	テキスト 32	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 33※8	テキスト 33	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 34※8	テキスト 34	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 35※8	テキスト 35	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 36※8	テキスト 36	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 37※8	テキスト 37	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 38※8	テキスト 38	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 39※8	テキスト 39	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 40※8	テキスト 40	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 41※8	テキスト 41	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 42※8	テキスト 42	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 43※8	テキスト 43	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 44※8	テキスト 44	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 45※8	テキスト 45	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 46※8	テキスト 46	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 47※8	テキスト 47	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 48※8	テキスト 48	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 49※8	テキスト 49	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 50※8	テキスト 50	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL1※8	参考 URL1	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	参考 URL2※8	参考 URL2	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL3※8	参考 URL3	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL4※8	参考 URL4	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL5※8	参考 URL5	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL6※8	参考 URL6	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	参考 URL7※8	参考 URL7	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	数値テキスト 1※8	数値テキスト 1	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 2※8	数値テキスト 2	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 3※8	数値テキスト 3	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 4※8	数値テキスト 4	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 5※8	数値テキスト 5	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 6※8	数値テキスト 6	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 7※8	数値テキスト 7	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 8※8	数値テキスト 8	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 9※8	数値テキスト 9	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 10※8	数値テキスト 10	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 11※8	数値テキスト 11	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 12※8	数値テキスト 12	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 13※8	数値テキスト 13	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 14※8	数値テキスト 14	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 15※8	数値テキスト 15	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 16※8	数値テキスト 16	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 17※8	数値テキスト 17	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 18※8	数値テキスト 18	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 19※8	数値テキスト 19	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 20※8	数値テキスト 20	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 21※8	数値テキスト 21	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 22※8	数値テキスト 22	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 23※8	数値テキスト 23	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 24※8	数値テキスト 24	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 25※8	数値テキスト 25	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 26※8	数値テキスト 26	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 27※8	数値テキスト 27	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 28※8	数値テキスト 28	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 29※8	数値テキスト 29	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 30※8	数値テキスト 30	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 31※8	数値テキスト 31	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 32※8	数値テキスト 32	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 33※8	数値テキスト 33	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 34※8	数値テキスト 34	○	数値※3※7	12	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	数値テキスト 35※8	数値テキスト 35	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 36※8	数値テキスト 36	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 37※8	数値テキスト 37	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 38※8	数値テキスト 38	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 39※8	数値テキスト 39	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 40※8	数値テキスト 40	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 41※8	数値テキスト 41	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 42※8	数値テキスト 42	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 43※8	数値テキスト 43	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 44※8	数値テキスト 44	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 45※8	数値テキスト 45	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 46※8	数値テキスト 46	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 47※8	数値テキスト 47	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 48※8	数値テキスト 48	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 49※8	数値テキスト 49	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 50※8	数値テキスト 50	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 51※8	数値テキスト 51	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 52※8	数値テキスト 52	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 53※8	数値テキスト 53	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 54※8	数値テキスト 54	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 55※8	数値テキスト 55	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 56※8	数値テキスト 56	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 57※8	数値テキスト 57	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 58※8	数値テキスト 58	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 59※8	数値テキスト 59	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 60※8	数値テキスト 60	○	数値※3※7	12	P2	P2
	ラージテキスト 1※8	ラージテキスト 1	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	ラージテキスト 2※8	ラージテキスト 2	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	ラージテキスト 3※8	ラージテキスト 3	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	ラージテキスト 4※8	ラージテキスト 4	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	リッチテキスト 1※8	リッチテキスト 1	○	全半角 3※2※7※9※10	10000000	P33	P4
	—	リッチテキスト 1 (テキストのみ)	○	全半角 3※3※7※9	4000	P2	P4
	—	リッチテキスト 1HTML ファイル	○	ファイル名※3※9	100	P33	P5
	—	リッチテキスト 1HTMLCharset	○	半角※2※9	—	P2	P4
	—	リッチテキスト 1 挿入ファイル	○	ファイル名※3※9	100	P35	P13
	—	リッチテキスト 1 ファイル名	○	全半角 3※3※9	4000	P35	P13
	—	リッチテキスト 1Content-ID	○	全半角 3※3※9	4000	P35	P13
	リッチテキスト 2※8	リッチテキスト 2	○	全半角 3※3※7※9※10	10000000	P33	P4
	—	リッチテキスト 2 (テキストのみ)	○	全半角 3※3※7※9	4000	P2	P4
	—	リッチテキスト 2HTML ファイル	○	ファイル名※3※9	100	P33	P5

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	—	リッチテキスト 2HTMLCharset	○	半角※2※9	—	P2	P4
	—	リッチテキスト 2 挿入ファイル	○	ファイル名※3※9	100	P35	P13
	—	リッチテキスト 2 ファイル名	○	全半角 3※3※9	4000	P35	P13
	—	リッチテキスト 2Content-ID	○	全半角 3※3※9	4000	P35	P13
	開始日※8	開始日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	開始時刻※8	開始時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	終了日 1※8	終了日 1	○	日付※2※7	—	P2	P2
	終了時刻 1※8	終了時刻 1	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	終了日 2※8	終了日 2	○	日付※2※7	—	P2	P2
	終了時刻 2※8	終了時刻 2	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	終了日 3※8	終了日 3	○	日付※2※7	—	P2	P2
	終了時刻 3※8	終了時刻 3	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	開始予定日※8	開始予定日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	開始予定時刻※8	開始予定時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	終了予定日※8	終了予定日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	終了予定時刻※8	終了予定時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応予定日 1※8	対応予定日 1	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応予定時刻 1※8	対応予定時刻 1	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応予定日 2※8	対応予定日 2	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応予定時刻 2※8	対応予定時刻 2	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応予定日 3※8	対応予定日 3	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応予定時刻 3※8	対応予定時刻 3	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応予定日 4※8	対応予定日 4	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応予定時刻 4※8	対応予定時刻 4	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応予定日 5※8	対応予定日 5	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応予定時刻 5※8	対応予定時刻 5	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応実績日 1※8	対応実績日 1	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応実績時刻 1※8	対応実績時刻 1	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応実績日 2※8	対応実績日 2	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応実績時刻 2※8	対応実績時刻 2	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応実績日 3※8	対応実績日 3	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応実績時刻 3※8	対応実績時刻 3	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応実績日 4※8	対応実績日 4	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応実績時刻 4※8	対応実績時刻 4	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	対応実績日 5※8	対応実績日 5	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応実績時刻 5※8	対応実績時刻 5	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	スケジュール設定開始日※8	スケジュール設定開始日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	スケジュール設定開始時刻※8	スケジュール設定開始時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	スケジュール設定終了日※8	スケジュール設定終了日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	スケジュール設定終了時刻※8	スケジュール設定終了時刻	○	時刻※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	スケジュール設定オプション※8-通し作業 ※8	スケジュール設定オプション-通し作業	○	固定値 5※7	—	P33	P4
	スケジュール設定オプション※8-非稼働日 ※8	スケジュール設定オプション-非稼働日	○	固定値 5※7	—	P33	P4
	日付テキスト 1※8	日付テキスト 1	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	日付テキスト 2	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	日付テキスト 3	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	日付テキスト 4	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	日付テキスト 5	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 6※8	日付テキスト 6	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 7※8	日付テキスト 7	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 8※8	日付テキスト 8	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 9※8	日付テキスト 9	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 10※8	日付テキスト 10	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 11※8	日付テキスト 11	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 12※8	日付テキスト 12	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 13※8	日付テキスト 13	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 14※8	日付テキスト 14	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 15※8	日付テキスト 15	○	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	時刻テキスト 1	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	時刻テキスト 2	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	時刻テキスト 3	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	時刻テキスト 4	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	時刻テキスト 5	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 6※8	時刻テキスト 6	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 7※8	時刻テキスト 7	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 8※8	時刻テキスト 8	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 9※8	時刻テキスト 9	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 10※8	時刻テキスト 10	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 11※8	時刻テキスト 11	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 12※8	時刻テキスト 12	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 13※8	時刻テキスト 13	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 14※8	時刻テキスト 14	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 15※8	時刻テキスト 15	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	大分類※8	大分類	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	中分類※8	中分類	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	小分類※8	小分類	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	2 連分類 1-1※8	2 連分類 1-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	2 連分類 1-2※8	2 連分類 1-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	2 連分類 2-1※8	2 連分類 2-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	2 連分類 2-2※8	2 連分類 2-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 1-1※8	3 連分類 1-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 1-2※8	3 連分類 1-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 1-3※8	3 連分類 1-3	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 2-1※8	3 連分類 2-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 2-2※8	3 連分類 2-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	3 連分類 2-3※8	3 連分類 2-3	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 1-1※8	5 連分類-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 1-2※8	5 連分類-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 1-3※8	5 連分類-3	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 1-4※8	5 連分類-4	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 1-5※8	5 連分類-5	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 2-1※8	5 連分類 2-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 2-2※8	5 連分類 2-2	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 2-3※8	5 連分類 2-3	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 2-4※8	5 連分類 2-4	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	5 連分類 2-5※8	5 連分類 2-5	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	選択ユーザー1※5※8	選択ユーザー1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー2※5※8	選択ユーザー2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー3※5※8	選択ユーザー3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー4※5※8	選択ユーザー4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー5※5※8	選択ユーザー5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー6※5※8	選択ユーザー6	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー7※5※8	選択ユーザー7	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー8※5※8	選択ユーザー8	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー9※5※8	選択ユーザー9	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー10※5※8	選択ユーザー10	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	添付ファイル 1※8	添付ファイル 1	○■	ファイル名※2※7	100	P2	P1
	添付ファイル 2※8	添付ファイル 2	○■	ファイル名※2※7	100	P2	P1
	添付ファイル 3※8	添付ファイル 3	○■	ファイル名※2※7	100	P2	P1
	添付ファイル 4※8	添付ファイル 4	○■	ファイル名※2※7	100	P2	P1
	関連構成アイテム 1※8	関連構成アイテム 1	○■	構成アイテム名※2※7	—	P2	P13
	—	関連構成アイテム 1 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
	関連構成アイテム 2※8	関連構成アイテム 2	○■	構成アイテム名※2※7	—	P2	P13
	—	関連構成アイテム 2 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
	関連構成アイテム 3※8	関連構成アイテム 3	○■	構成アイテム名※2※7	—	P2	P13
	—	関連構成アイテム 3 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
	関連アカウント※8	関連アカウント	○■	アカウント名※2※7	—	P2	P13
	—	関連アカウント (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
	関連構成 1※4※8	関連構成 1 (構成 ID)	○■	関連構成 ID※2※7	—	P2	P13

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
—	—	関連構成 1 (データ種別 ID)	○■	関連データ種別 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 1 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
—	関連構成 2※4※8	関連構成 2 (構成 ID)	○■	関連構成 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 2 (データ種別 ID)	○■	関連データ種別 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 2 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
—	関連構成 3※4※8	関連構成 3 (構成 ID)	○■	関連構成 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 3 (データ種別 ID)	○■	関連データ種別 ID※2※7	—	P2	P213
—	—	関連構成 3 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
—	関連構成 4※4※8	関連構成 4 (構成 ID)	○■	関連構成 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 4 (データ種別 ID)	○■	関連データ種別 ID※2※7	—	P2	P13
—	—	関連構成 4 (システム)	○■	システム名※3※7	—	P2	P13
送信者※8	送信元	送信元	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
送信者※8	送信元アドレス	送信元アドレス	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
承認フロー追加通知先※8	承認フロー追加通知先	承認フロー追加通知先	○	メールアドレス形式※2※7	4000	P2	P4
テキスト 1※8	表項目 1 テキスト 1	表項目 1 テキスト 1	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 2※8	表項目 1 テキスト 2	表項目 1 テキスト 2	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 3※8	表項目 1 テキスト 3	表項目 1 テキスト 3	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 4※8	表項目 1 テキスト 4	表項目 1 テキスト 4	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 5※8	表項目 1 テキスト 5	表項目 1 テキスト 5	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 6※8	表項目 1 テキスト 6	表項目 1 テキスト 6	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 7※8	表項目 1 テキスト 7	表項目 1 テキスト 7	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 8※8	表項目 1 テキスト 8	表項目 1 テキスト 8	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 9※8	表項目 1 テキスト 9	表項目 1 テキスト 9	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 10※8	表項目 1 テキスト 10	表項目 1 テキスト 10	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 11※8	表項目 1 テキスト 11	表項目 1 テキスト 11	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 12※8	表項目 1 テキスト 12	表項目 1 テキスト 12	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 13※8	表項目 1 テキスト 13	表項目 1 テキスト 13	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 14※8	表項目 1 テキスト 14	表項目 1 テキスト 14	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 15※8	表項目 1 テキスト 15	表項目 1 テキスト 15	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 16※8	表項目 1 テキスト 16	表項目 1 テキスト 16	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 17※8	表項目 1 テキスト 17	表項目 1 テキスト 17	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 18※8	表項目 1 テキスト 18	表項目 1 テキスト 18	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 19※8	表項目 1 テキスト 19	表項目 1 テキスト 19	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
テキスト 20※8	表項目 1 テキスト 20	表項目 1 テキスト 20	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
コンボボックス 1※8	表項目 1 コンボボックス 1	表項目 1 コンボボックス 1	○■	コード名※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボボックス 2※8	表項目 1 コンボボックス 2	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	表項目 1 コンボボックス 3	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	表項目 1 コンボボックス 4	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	表項目 1 コンボボックス 5	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	表項目 1 コンボボックス 6	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	表項目 1 コンボボックス 7	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	表項目 1 コンボボックス 8	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	表項目 1 コンボボックス 9	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 10※8	表項目 1 コンボボックス 10	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	表項目 1 コンボボックス 11	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	表項目 1 コンボボックス 12	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	表項目 1 コンボボックス 13	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	表項目 1 コンボボックス 14	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	表項目 1 コンボボックス 15	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	表項目 1 コンボボックス 16	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	表項目 1 コンボボックス 17	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 18※8	表項目 1 コンボボックス 18	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	表項目 1 コンボボックス 19	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	表項目 1 コンボボックス 20	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 1※8	表項目 1 日付テキスト 1	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	表項目 1 日付テキスト 2	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	表項目 1 日付テキスト 3	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	表項目 1 日付テキスト 4	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	表項目 1 日付テキスト 5	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	表項目 1 時刻テキスト 1	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	表項目 1 時刻テキスト 2	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	表項目 1 時刻テキスト 3	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	表項目 1 時刻テキスト 4	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	表項目 1 時刻テキスト 5	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	選択ユーザ—1※5※8	表項目 1 選択ユーザ—1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—2※5※8	表項目 1 選択ユーザ—2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—3※5※8	表項目 1 選択ユーザ—3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—4※5※8	表項目 1 選択ユーザ—4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—5※5※8	表項目 1 選択ユーザ—5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	問合せ元 ID※8	表項目 1 問合せ元 ID	○■	全半角 3※2※7	300	P2	P4
	テキスト 1※8	表項目 2 テキスト 1	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 2※8	表項目 2 テキスト 2	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 3※8	表項目 2 テキスト 3	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 4※8	表項目 2 テキスト 4	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 5※8	表項目 2 テキスト 5	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	テキスト 6※8	表項目 2 テキスト 6	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 7※8	表項目 2 テキスト 7	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 8※8	表項目 2 テキスト 8	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 9※8	表項目 2 テキスト 9	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 10※8	表項目 2 テキスト 10	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 11※8	表項目 2 テキスト 11	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 12※8	表項目 2 テキスト 12	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 13※8	表項目 2 テキスト 13	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 14※8	表項目 2 テキスト 14	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 15※8	表項目 2 テキスト 15	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 16※8	表項目 2 テキスト 16	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 17※8	表項目 2 テキスト 17	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 18※8	表項目 2 テキスト 18	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 19※8	表項目 2 テキスト 19	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 20※8	表項目 2 テキスト 20	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	コンボボックス 1※8	表項目 2 コンボボックス 1	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	表項目 2 コンボボックス 2	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	表項目 2 コンボボックス 3	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	表項目 2 コンボボックス 4	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	表項目 2 コンボボックス 5	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	表項目 2 コンボボックス 6	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	表項目 2 コンボボックス 7	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	表項目 2 コンボボックス 8	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	表項目 2 コンボボックス 9	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 10※8	表項目 2 コンボボックス 10	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	表項目 2 コンボボックス 11	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	表項目 2 コンボボックス 12	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	表項目 2 コンボボックス 13	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	表項目 2 コンボボックス 14	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	表項目 2 コンボボックス 15	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	表項目 2 コンボボックス 16	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	表項目 2 コンボボックス 17	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 18※8	表項目 2 コンボボックス 18	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	表項目 2 コンボボックス 19	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	表項目 2 コンボボックス 20	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 1※8	表項目 2 日付テキスト 1	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	表項目 2 日付テキスト 2	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	表項目 2 日付テキスト 3	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	表項目 2 日付テキスト 4	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	表項目 2 日付テキスト 5	○■	日付※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	時刻テキスト 1※8	表項目 2 時刻テキスト 1	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	表項目 2 時刻テキスト 2	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	表項目 2 時刻テキスト 3	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	表項目 2 時刻テキスト 4	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	表項目 2 時刻テキスト 5	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	選択ユーザー1※5※8	表項目 2 選択ユーザー1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー2※5※8	表項目 2 選択ユーザー2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー3※5※8	表項目 2 選択ユーザー3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー4※5※8	表項目 2 選択ユーザー4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー5※5※8	表項目 2 選択ユーザー5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	問合せ元 ID※8	表項目 2 問合せ元 ID	○■	全半角 3※2※7	300	P2	P4
	テキスト 1※8	表項目 3 テキスト 1	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 2※8	表項目 3 テキスト 2	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 3※8	表項目 3 テキスト 3	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 4※8	表項目 3 テキスト 4	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 5※8	表項目 3 テキスト 5	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 6※8	表項目 3 テキスト 6	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 7※8	表項目 3 テキスト 7	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 8※8	表項目 3 テキスト 8	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 9※8	表項目 3 テキスト 9	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 10※8	表項目 3 テキスト 10	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 11※8	表項目 3 テキスト 11	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 12※8	表項目 3 テキスト 12	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 13※8	表項目 3 テキスト 13	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 14※8	表項目 3 テキスト 14	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 15※8	表項目 3 テキスト 15	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 16※8	表項目 3 テキスト 16	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 17※8	表項目 3 テキスト 17	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 18※8	表項目 3 テキスト 18	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 19※8	表項目 3 テキスト 19	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 20※8	表項目 3 テキスト 20	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	コンボボックス 1※8	表項目 3 コンボボックス 1	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	表項目 3 コンボボックス 2	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	表項目 3 コンボボックス 3	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	表項目 3 コンボボックス 4	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	表項目 3 コンボボックス 5	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	表項目 3 コンボボックス 6	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	表項目 3 コンボボックス 7	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	表項目 3 コンボボックス 8	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	表項目 3 コンボボックス 9	○■	コード名※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボボックス 10※8	表項目 3 コンボボックス 10	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	表項目 3 コンボボックス 11	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	表項目 3 コンボボックス 12	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	表項目 3 コンボボックス 13	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	表項目 3 コンボボックス 14	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	表項目 3 コンボボックス 15	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	表項目 3 コンボボックス 16	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	表項目 3 コンボボックス 17	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 18※8	表項目 3 コンボボックス 18	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	表項目 3 コンボボックス 19	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	表項目 3 コンボボックス 20	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 1※8	表項目 3 日付テキスト 1	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	表項目 3 日付テキスト 2	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	表項目 3 日付テキスト 3	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	表項目 3 日付テキスト 4	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	表項目 3 日付テキスト 5	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	表項目 3 時刻テキスト 1	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	表項目 3 時刻テキスト 2	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	表項目 3 時刻テキスト 3	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	表項目 3 時刻テキスト 4	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	表項目 3 時刻テキスト 5	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	選択ユーザ—1※5※8	表項目 3 選択ユーザ—1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—2※5※8	表項目 3 選択ユーザ—2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—3※5※8	表項目 3 選択ユーザ—3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—4※5※8	表項目 3 選択ユーザ—4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—5※5※8	表項目 3 選択ユーザ—5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	問合せ元 ID※8	表項目 3 問合せ元 ID	○■	全半角 3※2※7	300	P2	P4
	テキスト 1※8	表項目 4 テキスト 1	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 2※8	表項目 4 テキスト 2	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 3※8	表項目 4 テキスト 3	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 4※8	表項目 4 テキスト 4	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 5※8	表項目 4 テキスト 5	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 6※8	表項目 4 テキスト 6	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 7※8	表項目 4 テキスト 7	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 8※8	表項目 4 テキスト 8	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 9※8	表項目 4 テキスト 9	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 10※8	表項目 4 テキスト 10	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 11※8	表項目 4 テキスト 11	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 12※8	表項目 4 テキスト 12	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 13※8	表項目 4 テキスト 13	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	テキスト 14※8	表項目 4 テキスト 14	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 15※8	表項目 4 テキスト 15	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 16※8	表項目 4 テキスト 16	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 17※8	表項目 4 テキスト 17	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 18※8	表項目 4 テキスト 18	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 19※8	表項目 4 テキスト 19	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 20※8	表項目 4 テキスト 20	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	コンボボックス 1※8	表項目 4 コンボボックス 1	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	表項目 4 コンボボックス 2	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	表項目 4 コンボボックス 3	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	表項目 4 コンボボックス 4	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	表項目 4 コンボボックス 5	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	表項目 4 コンボボックス 6	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	表項目 4 コンボボックス 7	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	表項目 4 コンボボックス 8	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	表項目 4 コンボボックス 9	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 10※8	表項目 4 コンボボックス 10	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	表項目 4 コンボボックス 11	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	表項目 4 コンボボックス 12	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	表項目 4 コンボボックス 13	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	表項目 4 コンボボックス 14	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	表項目 4 コンボボックス 15	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	表項目 4 コンボボックス 16	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	表項目 4 コンボボックス 17	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 18※8	表項目 4 コンボボックス 18	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	表項目 4 コンボボックス 19	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	表項目 4 コンボボックス 20	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 1※8	表項目 4 日付テキスト 1	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	表項目 4 日付テキスト 2	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	表項目 4 日付テキスト 3	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	表項目 4 日付テキスト 4	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	表項目 4 日付テキスト 5	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	表項目 4 時刻テキスト 1	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	表項目 4 時刻テキスト 2	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	表項目 4 時刻テキスト 3	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	表項目 4 時刻テキスト 4	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	表項目 4 時刻テキスト 5	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	選択ユーザ—1※5※8	表項目 4 選択ユーザ—1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—2※5※8	表項目 4 選択ユーザ—2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ—3※5※8	表項目 4 選択ユーザ—3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	選択ユーザ-4※5※8	表項目 4 選択ユーザ-4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザ-5※5※8	表項目 4 選択ユーザ-5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	問合せ元 ID※8	表項目 4 問合せ元 ID	○■	全半角 3※2※7	300	P2	P4
	テキスト 1※8	表項目 5 テキスト 1	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 2※8	表項目 5 テキスト 2	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 3※8	表項目 5 テキスト 3	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 4※8	表項目 5 テキスト 4	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 5※8	表項目 5 テキスト 5	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 6※8	表項目 5 テキスト 6	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 7※8	表項目 5 テキスト 7	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 8※8	表項目 5 テキスト 8	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 9※8	表項目 5 テキスト 9	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 10※8	表項目 5 テキスト 10	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 11※8	表項目 5 テキスト 11	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 12※8	表項目 5 テキスト 12	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 13※8	表項目 5 テキスト 13	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 14※8	表項目 5 テキスト 14	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 15※8	表項目 5 テキスト 15	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 16※8	表項目 5 テキスト 16	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 17※8	表項目 5 テキスト 17	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 18※8	表項目 5 テキスト 18	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 19※8	表項目 5 テキスト 19	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキスト 20※8	表項目 5 テキスト 20	○■	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	コンボボックス 1※8	表項目 5 コンボボックス 1	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	表項目 5 コンボボックス 2	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	表項目 5 コンボボックス 3	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 4※8	表項目 5 コンボボックス 4	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 5※8	表項目 5 コンボボックス 5	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 6※8	表項目 5 コンボボックス 6	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 7※8	表項目 5 コンボボックス 7	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 8※8	表項目 5 コンボボックス 8	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 9※8	表項目 5 コンボボックス 9	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 10※8	表項目 5 コンボボックス 10	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 11※8	表項目 5 コンボボックス 11	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 12※8	表項目 5 コンボボックス 12	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 13※8	表項目 5 コンボボックス 13	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 14※8	表項目 5 コンボボックス 14	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 15※8	表項目 5 コンボボックス 15	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 16※8	表項目 5 コンボボックス 16	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 17※8	表項目 5 コンボボックス 17	○■	コード名※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボボックス 18※8	表項目 5 コンボボックス 18	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 19※8	表項目 5 コンボボックス 19	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 20※8	表項目 5 コンボボックス 20	○■	コード名※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 1※8	表項目 5 日付テキスト 1	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	表項目 5 日付テキスト 2	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 3※8	表項目 5 日付テキスト 3	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 4※8	表項目 5 日付テキスト 4	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 5※8	表項目 5 日付テキスト 5	○■	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	表項目 5 時刻テキスト 1	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	表項目 5 時刻テキスト 2	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 3※8	表項目 5 時刻テキスト 3	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 4※8	表項目 5 時刻テキスト 4	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 5※8	表項目 5 時刻テキスト 5	○■	時刻※2※7	—	P2	P2
	選択ユーザー1※5※8	表項目 5 選択ユーザー1	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー2※5※8	表項目 5 選択ユーザー2	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー3※5※8	表項目 5 選択ユーザー3	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー4※5※8	表項目 5 選択ユーザー4	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	選択ユーザー5※5※8	表項目 5 選択ユーザー5	○■	社員番号※2※7	—	P2	P13
	問合せ元 ID※8	表項目 5 問合せ元 ID	○■	全半角 3※2※7	300	P2	P4
	マークダウン 1※8	マークダウン 1	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 2※8	マークダウン 2	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 3※8	マークダウン 3	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 4※8	マークダウン 4	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 5※8	マークダウン 5	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 6※8	マークダウン 6	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 7※8	マークダウン 7	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 8※8	マークダウン 8	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 9※8	マークダウン 9	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 10※8	マークダウン 10	○■	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
経過情報	タイトル※8	経過タイトル	○	全半角 3※2※7	1024	P2	P4
	対応日※8	経過対応日	○	日付※2※7	—	P2	P2
	対応時刻※8	経過対応時刻	○	ユーザーID※2※7	—	P2	P2
	対応者※8	経過対応者	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	チャンネル※8	経過チャンネル※1	○	固定値 13※2※7	—	P23	P23
	内容※8	経過内容	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	—	経過色	○	固定値※2※7	red	P2	P4
	対応先※8	経過対応先	○	全半角 3※2※7	60	P2	P4
	コンボボックス 1※8	経過コンボボックス 1	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 2※8	経過コンボボックス 2	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	コンボボックス 3※8	経過コンボボックス 3	○	コード名※2※7	—	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	コンボボックス 4※8	経過コンボボックス 4	○	コード名※2※7	—	P2	P2
	テキスト 1※8	経過テキスト 1	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	テキスト 2※8	経過テキスト 2	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	テキスト 3※8	経過テキスト 3	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	テキスト 4※8	経過テキスト 4	○	全半角 3※2※7	100	P2	P4
	テキストエリア 1※8	経過テキストエリア 1	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキストエリア 2※8	経過テキストエリア 2	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキストエリア 3※8	経過テキストエリア 3	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	テキストエリア 4※8	経過テキストエリア 4	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	経過内容 (リッチテキスト) ※8	経過リッチテキスト	○	全半角 3※2※7※9※10	10000000	P33	P4
	—	経過リッチテキスト (テキストのみ)	○	全半角 3※2※7※9	4000	P2	P4
	—	経過リッチテキスト HTML ファイル	○	ファイル名※5※9	100	P33	P5
	—	経過リッチテキスト HTMLCharset	○	半角※2※9	—	P2	P4
	—	経過リッチテキスト挿入ファイル	○■	ファイル名※5※9	100	P35	P13
	—	経過リッチテキストファイル名	○■	全半角 3※5※9	4000	P35	P13
	—	経過リッチテキスト Content-ID	○■	全半角 3※5※9	4000	P35	P13
	FROM※8	経過 FROM	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	TO※8	経過 TO	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	CC※8	経過 CC	○	全半角 3※2※7	4000	P2	P4
	数値テキスト 1※8	経過数値テキスト 1	○	数値※3※7	12	P2	P2
	数値テキスト 2※8	経過数値テキスト 2	○	数値※3※7	12	P2	P2
	計算用数値テキスト 1※8	経過計算用数値テキスト 1	○	数値※3※7	12	P2	P2
	計算用数値テキスト 2※8	経過計算用数値テキスト 2	○	数値※3※7	12	P2	P2
	計算用数値テキスト 3※8	経過計算用数値テキスト 3	○	数値※3※7	12	P2	P2
	日付テキスト 1※8	経過日付テキスト 1	○	日付※2※7	—	P2	P2
	日付テキスト 2※8	経過日付テキスト 2	○	日付※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	経過時刻テキスト 1	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	経過時刻テキスト 2	○	時刻※2※7	—	P2	P2
	添付ファイル※8	経過添付ファイル	○■	ファイル名※2※7	100	P2	P1
	日時テキスト日付 1※8	経過日時テキスト日付 1	○	日付※2※7	—	P31	P31
	日時テキスト時刻 1※8	経過日時テキスト時刻 1	○	時刻※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 1-1※8	経過マルチ 2 連分類 1-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 1-2A※8	経過マルチ 2 連分類 1-2A	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 1-2B※8	経過マルチ 2 連分類 1-2B	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 1-2C※8	経過マルチ 2 連分類 1-2C	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 1-2D※8	経過マルチ 2 連分類 1-2D	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 2-1※8	経過マルチ 2 連分類 2-1	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 2-2A※8	経過マルチ 2 連分類 2-2A	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 2-2B※8	経過マルチ 2 連分類 2-2B	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マルチ 2 連分類 2-2C※8	経過マルチ 2 連分類 2-2C	○	分類名※2※7	—	P31	P31

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否	指定値			
			新規	指定形式	制限値	未指定	指定不正
	マルチ 2 連分類 2-2D※8	経過マルチ 2 連分類 2-2D	○	分類名※2※7	—	P31	P31
	マークダウン 1※ 8	経過マークダウン 1	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 2※ 8	経過マークダウン 2	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 3※ 8	経過マークダウン 3	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 4※ 8	経過マークダウン 4	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4
	マークダウン 5※ 8	経過マークダウン 5	○	全半角 3※2※7	128000	P2	P4



仕様補足

データ登録コマンドを使用してイベント管理にレコードの新規登録を行なう場合、ステータスはデフォルト値「新規」で登録されます。

なお、プロセス1のステータスについてコード「新規」が削除されている場合、イベント管理のレコードでステータスの値は空で表示されます。

※1～10の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	「経過チャンネル」項目に「SSM」と指定した場合、イベント管理は取り込まれません。
※2	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	関連項目を登録する際は、Senju Service Manager の Web 画面「[画面]-[画面定義]-[関連項目設定]」にて各項目に選択可能な画面を設定する必要があります。 例) プロセス管理1のデータに構成アイテム2と構成アイテム3のデータを関連構成1として登録したい場合 画面名上部…プロセス管理1、画面名下部…プロセス1、項目名…関連構成1を選択し、画面一覧を表示します。 そして表示された画面一覧の構成アイテム2と構成アイテム3にチェックをいれて設定してください。 ・設定しない画面の構成アイテムを選択する場合、値が登録されないで警告終了します。
※5	ユーザー編集画面で「要員管理画面表示」を設定する場合の動作について、 [制御情報]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[プロセス管理]-[編集画面の選択ユーザーX 検索対象設定]の設定が、 「SSM ユーザーを検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するまたは要員管理画面表示しないユーザーが登録できる。 「要員を検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するユーザーが登録できる、 要員管理画面表示しないユーザーが登録できない。
※6	Oracle データベースに YYYYMMDDhhmm 形式のシステム時間を自動取得する。
※7	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。
※8	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※9	該当の項目はデータ登録コマンドでは登録ができません。イベント連携のみ登録可能です。
※10	この上限値は指定された情報をエスケープ処理した後のサイズとなります。記号等を含む場合には余裕を持って指定してください。 指定したファイルのサイズが上限を超えた場合、該当項目は登録及び更新されません。

3. 要員管理

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定		指定不正	
							新規	更新	新規	更新
要員情報	社員番号※7	社員番号	◎	●	半角※3※6	32	P1	P1	P4	※1
	氏名※7	氏名	◎	○☆	全半角 1※3※6	60	P1	P3	P4	P4
	氏名カナ※7	氏名カナ	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	会社名※7	会社名	○	○	会社名※3※6	—	P2	P3	P2	P3
	組織※7	組織	○	○	組織名※3※6	—	P2	P3	P2	P3
	役職※7	役職	○	○	全半角 2※3※6	80	P2	P3	P4	P4
	上長※7	上長	○	○	社員番号※3※6	—	P2	P3	P2	P3
	業務内容※7	業務内容	○	○	全半角 2※3※6	4000	P2	P3	P4	P4
	ステータス※7	ステータス	○	○☆	固定値 14※3※6	—	P24	P3	P24	P24
	内線番号※7	内線番号	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	電話番号 1※7	電話番号 1	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	電話番号 2※7	電話番号 2	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	FAX 番号※7	FAX 番号	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	携帯電話番号※7	携帯電話番号	○	○	全半角 2※3※6	60	P2	P3	P4	P4
	メールアドレス 1※7	メールアドレス 1	○	○	全半角 2※3※6	100	P2	P3	P4	P4
	メールアドレス 2※7	メールアドレス 2	○	○	全半角 2※3※6	100	P2	P3	P4	P4
備考※7	備考	○	○	全半角 2※3※6	4000	P2	P3	P4	P4	
表示順※7	表示順	○	○	全半角 2※3※6	8	P2	P3	P4	P4	
システム-職責選択	システム×職責※7	職責※5	◎■	○☆■	職責名※3※6	—	※2	※2	※2	※2
		システム名	◎■	○☆■	システム名※4※6	—	※2	※2	※2	※2
コメント入力	利用者※7	利用者	○■	○■	社員番号※3※6	—	P2	P3	P13	P14
	申請者※7	申請者	○■	○■	社員番号※3※6	—	P2	P3	P13	P14
	承認者※7	承認者	○■	○■	社員番号※3※6	—	P2	P3	P13	P14
	コメント※7	コメント	○	○	全半角 3※3※6	4000	P2	P3	P4	P4
—	—	登録者	○	○	ユーザーID※3※6	—	P2	P3	P2	P3



項目名「社員番号」はユニークとなるように値を設定してください。
ユニークとならない場合、要員を登録することはできません。

仕様補足



制限事項

2013.0.0.0 以前まで指定可能であった項目「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」は削除されました。
 「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」を指定した場合、レコードは登録されますが、
 項目に設定した値は登録されません。
 また、Web 画面からも項目が削除されています。

※1～7 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「社員番号」項目に指定されたデータが要員マスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「社員番号」項目に指定されたデータが要員マスタに登録されていない場合、 新規登録処理として新しく要員マスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければ要員を登録することはできません。
※2	「職責」と「システム名」はセットで指定してください。 どちらか一方のみ指定した場合、エラーとなり登録・更新されません。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※4	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※5	システム×職責項目について、 職責名に「Not Set」を指定すると、システム職責割当待ちの意味とする
※6	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。
※7	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

4. 構成管理

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定値								
			新規	変更 1 ※4	変更 2 ※17	削除	指定形式	制限値	未指定時			指定不正時			
									新規	変更	削除	新規	変更	削除	
基本情報	構成アイテム ID※15	構成アイテム ID	○	●	○☆	●	レコード ID※6※14	256	P10	P1	P1	P4	P4	P1	
	構成アイテム名※15	構成アイテム名	◎	○☆	○☆	×	全半角 1※6※13※14	256	P1	P3	—	P4	P4	—	
	システム※15	システム名	◎	●	×	●	システム名※7※14	—	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	構成変更日※15	構成変更日※5	○	○	○	○	日付※6※14	—	P11	P11	P11	P11	P11	P11	
	構成変更時刻※15	構成変更時刻	○	○	○	○	時刻※6※14	—	P25	P25	P25	P25	P25	P25	
	設置場所※15	設置場所	○	○	○	×	テキスト※6※14	60	P2	P3	—	P4	P4	—	
	設置日※15	設置日 (From)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P31	P3	—	P31	P32	—	
	設置終了日※15	設置日 (To)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P31	P3	—	P31	P32	—	
	管理責任者※15	管理責任者※8	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	使用者※15	使用者※8	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	使用日※15	使用日 (From)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P31	P3	—	P31	P32	—	
使用終了日※15	使用日 (To)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P31	P3	—	P31	P32	—		
—	データ種別 ID	◎	●	×	●	画面 ID※6※14	—	P1	P1	P1	P1	P1	P1		
保守連絡先情報	会社名※15	会社名	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	組織名※15	組織名	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	氏名※15	氏名	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	電話番号※15	電話番号	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メールアドレス※15	メールアドレス	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	保守契約番号※15	保守契約番号	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	保守日※15	保守日 (From)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	保守終了日※15	保守日 (To)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
添付ファイル※15	保守連絡先情報添付ファイル名	○■	○	○	×	ファイル名※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—		
分類情報	用途※15	用途	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P4	P4	—	
	区分※15	区分	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P4	P4	—	
	大分類※15	大分類	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P4	P4	—	
	中分類※15	中分類	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P4	P4	—	
	小分類※15	小分類	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P4	P4	—	
	キーワード※15	キーワード	○	○	○	×	全半角 2※6※14	4000	P2	P3	—	P4	P4	—	
情報機器	機種名※15	機種名	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メーカー※15	メーカー(機器)	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	型番※15	型番	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定値								
			新規	変更1 ※4	変更2 ※17	削除	指定形式	制限値	未指定時			指定不正時			
									新規	変更	削除	新規	変更	削除	
	CPU※15	CPU	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	ディスク容量※15	ディスク容量	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メモリ容量※15	メモリ容量	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P4	P4	—	
	IP アドレス※15	IP アドレス	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
ソフトウェア情報	バージョン※15	バージョン	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メーカー※15	メーカー(ソフトウェア)	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	シリアル番号※15	シリアル番号	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	媒体※15	媒体	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	媒体保管場所※15	媒体保管場所	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
情報付加	備考※15	備考	○	○	○	×	全半角 2※6※14	4000	P2	P3	—	P4	P4	—	
	添付ファイル 2※15	付加情報添付ファイル名	○■	○	○	×	ファイル名 ※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
日時情報	起票日※15	起票日	○	○	○	○	日付※6※14	—	P11	P11	P11	P11	P11	P11	
	起票時刻※15	起票時刻	○	○	○	○	時刻※6※14	—	P12	P12	P12	P12	P12	P12	
関連情報	関連構成 ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成(システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
	関連構成 2A ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成 2A(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2A(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2A(システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
	関連構成 2B ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成 2B(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2B(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2B(システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
	関連構成 2C ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成 2C(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2C(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2C(システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定値								
			新規	変更1 ※4	変更2 ※17	削除	指定形式	制限値	未指定時			指定不正時			
									新規	変更	削除	新規	変更	削除	
	関連構成 2D ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成 2D(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2D(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2D (システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
	関連構成 2E ※1、※2、※8、※12、※15	関連構成 2E(構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2E(データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
		関連構成 2E (システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—	
エクステンション情報	テキスト 1※15	テキスト 1	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキスト 2※15	テキスト 2	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキスト 3※15	テキスト 3	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキスト 4※15	テキスト 4	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メールアドレス 1※15	メールアドレス 1	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	メールアドレス 2※15	メールアドレス 2	○	○	○	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキストエリア 1※15	テキストエリア 1	○	○	○	×	全半角 2※6※14	4000	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキストエリア 2※15	テキストエリア 2	○	○	○	×	全半角 2※6※14	4000	P2	P3	—	P4	P4	—	
	テキストエリア 3※15	テキストエリア 3	○	○	○	×	全半角 2※6※14	4000	P2	P3	—	P4	P4	—	
	ラジオボタン 1※15	ラジオボタン 1	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	ラジオボタン 2※15	ラジオボタン 2	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 1※15	コンボボックス 1	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 2※15	コンボボックス 2	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 3※15	コンボボックス 3	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 4※15	コンボボックス 4	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 5※15	コンボボックス 5	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 6※15	コンボボックス 6	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 7※15	コンボボックス 7	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 8※15	コンボボックス 8	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
	コンボボックス 9※15	コンボボックス 9	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—	
コンボボックス 10※15	コンボボックス 10	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—		
2 連分類 1-1※15	2 連分類 1-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—		
2 連分類 1-2※15	2 連分類 1-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—		
2 連分類 2-1※15	2 連分類 2-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—		
2 連分類 2-2※15	2 連分類 2-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—		
2 連分類 3-1※15	2 連分類 3-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—		

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値					
			新規	変更1 ※4	変更2 ※17	削除			未指定時			指定不正時		
									新規	変更	削除	新規	変更	削除
	2 連分類 3-2※15	2 連分類 3-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	2 連分類 4-1※15	2 連分類 4-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	2 連分類 4-2※15	2 連分類 4-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	2 連分類 5-1※15	2 連分類 5-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	2 連分類 5-2※15	2 連分類 5-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 1-1※15	3 連分類 1-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 1-2※15	3 連分類 1-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 1-3※15	3 連分類 1-3	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 2-1※15	3 連分類 2-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 2-2※15	3 連分類 2-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 2-3※15	3 連分類 2-3	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 3-1※15	3 連分類 3-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 3-2※15	3 連分類 3-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 3-3※15	3 連分類 3-3	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 4-1※15	3 連分類 4-1	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 4-2※15	3 連分類 4-2	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	3 連分類 4-3※15	3 連分類 4-3	○	○	○	×	分類名※6※14	—	P31	P3	—	P31	P3	—
	コンボテキスト 1※15	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		コンボテキスト 1-テキスト	○▼	○▼	○▼	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—
	コンボテキスト 2※15	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		コンボテキスト 2-テキスト	○▼	○▼	○▼	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—
	コンボテキスト 3※15	コンボテキスト 3-コンボボックス	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		コンボテキスト 3-テキスト	○▼	○▼	○▼	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—
	コンボテキスト 4※15	コンボテキスト 4-コンボボックス	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		コンボテキスト 4-テキスト	○▼	○▼	○▼	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—
	コンボテキスト 5※15	コンボテキスト 5-コンボボックス	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		コンボテキスト 5-テキスト	○▼	○▼	○▼	×	全半角 2※6※14	100	P2	P3	—	P4	P4	—
	日付 1※15	日付 1 (From)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		日付 1 (To)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	日付 2※15	日付 2 (From)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
		日付 2 (To)	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	日付テキスト 1※15	日付 1	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	日付テキスト 2※15	日付 2	○	○	○	×	日付※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値					
			新規	変更 1 ※4	変更 2 ※17	削除			未指定時			指定不正時		
									新規	変更	削除	新規	変更	削除
	数値テキスト 1※15	数値 1	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P2	P3	—
	数値テキスト 2※15	数値 2	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P2	P3	—
	数値テキスト 3※15	数値 3	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P2	P3	—
	数値テキスト 4※15	数値 4	○	○	○	×	数値※7※14	12	P2	P3	—	P2	P3	—
関連機器 ※1※2※8※12※15	関連機器 (構成 ID)	関連機器 (構成 ID)	○	○	○	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	関連機器 (データ種別 ID)	関連機器 (データ種別 ID)	○	○	○	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	関連機器 (システム)	関連機器 (システム)	○	○	○	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
接続先機器 ※1※2※8※12※15	接続先機器 (構成 ID)	接続先機器 (構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 (データ種別 ID)	接続先機器 (データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 (使用アンペア)	接続先機器 (使用アンペア)	○■	○■	○■	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 (システム)	接続先機器 (システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
接続先機器 2 ※1※2※8※12※15	接続先機器 2 (構成 ID)	接続先機器 2 (構成 ID)	○■	○■	○■	×	関連構成 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 2 (データ種別 ID)	接続先機器 2 (データ種別 ID)	○■	○■	○■	×	関連画面 ID※6※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 2 (使用アンペア)	接続先機器 2 (使用アンペア)	○■	○■	○■	×	数値※7※14※10	11	P2	P3	—	P7	P8	—
	接続先機器 2 (システム)	接続先機器 2 (システム)	○■	○■	○■	×	システム名※7※14	—	P2	P3	—	P7	P8	—
使用可能アンペア 1※15	使用可能アンペア	○	○	○	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用アンペア 1※15	使用アンペア	○	○	○	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用可能口数 1※15	使用可能口数	○	○	○	×	整数値※7※14	8	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用口数 1※15	使用口数	○	○	○	×	整数値※7※14	8	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用可能アンペア 2※15	使用可能アンペア 2	○	○	○	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用アンペア 2※15	使用アンペア 2	○	○	○	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用可能口数 2※15	使用可能口数 2 ※8	○	○	○	×	整数値 (マイナス不可)※7※14	8	P2	P3	—	P4	P4	—	
使用口数 2※15	使用口数 2 ※8	○	○	○	×	整数値 (マイナス不可)※7※14	8	P2	P3	—	P4	P4	—	
電圧※15	電圧	○	○	○	×	数値※7※14	11	P2	P3	—	P4	P4	—	

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード指定可否				指定形式	制限値	指定値					
			新規	変更1 ※4	変更2 ※17	削除			未指定時			指定不正時		
									新規	変更	削除	新規	変更	削除
	コンセント形状※15	コンセント形状	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P4	P4	—
	プラグ形状※15	プラグ形状	○	○	○	×	コード名※6※14	—	P2	P3	—	P4	P4	—
	選択ユーザー1※15	選択ユーザー1※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー2※15	選択ユーザー2※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー3※15	選択ユーザー3※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー4※15	選択ユーザー4※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー5※15	選択ユーザー5※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー6※15	選択ユーザー6※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー7※15	選択ユーザー7※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー8※15	選択ユーザー8※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー9※15	選択ユーザー9※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	選択ユーザー10※15	選択ユーザー10※8※11	○	○	○	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—
	関連要員※15	関連要員※8	○■	○■	○■	×	社員番号※6※14	—	P2	P3	—	P13	P14	—
	参考 URL※15	参考 URL	○	○	○	×	全半角 2※6※14	500	P2	P3	—	P4	P4	—
	JSON テキスト 1※15	JSON テキスト 1	○	○	○	×	全半角 2※6※14	128000	P2	P3	—	P4	P4	—
	JSON テキスト 2※15	JSON テキスト 2	○	○	○	×	全半角 2※6※14	128000	P2	P3	—	P4	P4	—
	JSON テキスト 3※15	JSON テキスト 3	○	○	○	×	全半角 2※6※14	128000	P2	P3	—	P4	P4	—
	JSON テキスト 4※15	JSON テキスト 4	○	○	○	×	全半角 2※6※14	128000	P2	P3	—	P4	P4	—
	JSON テキスト 5※15	JSON テキスト 5	○	○	○	×	全半角 2※6※14	128000	P2	P3	—	P4	P4	—
—	—	予定起票	◎	◎☆	◎☆	◎	※3※6※14	—	※3	P1	P1	P4	P4	P1
—	—	検索キーワード	○	○	○	○	※16	—	—	—	—	—	—	—
—	—	登録者	○	○	○	○	ユーザー ID※6※14	—	P2	P3	—	P2	P3	—

 **管理者メニューの制御情報の補助設定**
 「コマンドからの構成アイテム登録/更新時の承認申請利用設定」を「承認申請を利用しない」に設定すると、承認申請を利用しない構成管理を登録できます。

 **操作説明**
 データ登録コマンド実行後に構成管理反映コマンドを実行するようになれば、構成アイテムの予定データの登録、および予定データの適用処理（本登録）が連続で行えます。但し、データ登録コマンドの終了コードが0以外の場合には登録処理が正常に行われていないため、構成管理反映コマンドの実行は行わないようにしてください。構成管理反映コマンドについては、「1.2.7 構成管理反映コマンド (sjSPB_ReflectCl.exe)」を参照してください。



補足説明

管理項目「構成管理－使用可能口数 1 による登録上限値チェック」の設定値が
「1：する」の場合、項目「使用可能口数」は「0」～「10000」の整数値しか指定できません。
「0：しない」の場合、項目「使用可能口数」は上記の表に記載されている内容となります。

管理項目「構成管理－使用可能口数 2 による登録上限値チェック」の設定値が
「1：する」の場合、項目「使用可能口数 2」は「0」～「10000」の整数値しか指定できません。
「0：しない」の場合、項目「使用可能口数 2」は上記の表に記載されている内容となります。



仕様補足

データ登録コマンドで構成アイテム (CI) の「システム」は更新することができません。

※1～17 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	以下項目に指定した構成アイテムの現在構成が「システム名」項目に指定したシステムで登録されていない場合、項目は取り込まれません。 ・接続先機器 1 ・接続先機器 2 ・関連機器 ・関連構成 ・関連構成 2A ・関連構成 2B ・関連構成 2C ・関連構成 2D ・関連構成 2E
※2	関連項目を登録する際は、Senju Service Manager の Web 画面「[画面]-[画面定義]-[関連項目設定]」にて各項目に選択可能な画面を設定する必要があります。 例) 構成アイテム 1 のデータに構成アイテム 2 と構成アイテム 3 のデータを接続先機器 1 として登録したい場合 画面名上部…構成管理、画面名下部…構成アイテム 1、項目名…接続先機器 1 を選択し、画面一覧を表示します。 そして表示された画面一覧の構成アイテム 2 と構成アイテム 3 にチェックをいれて設定してください。
※3	以下に予定起票の種類と指定パターンを記載します。 新規登録時、予定起票に値を指定しない場合“新規予定”として登録されます。 新規予定、変更予定、削除予定が登録されている場合、既存の予定起票を更新します。 適用済の状態ですべての予定起票に値を指定しないで登録すると、エラーになります。
	新規予定 新規に構成アイテムを登録する際に指定します。
	変更予定 登録済かつ本登録済の構成アイテムに対し変更予定を登録する際に指定します。
	削除予定 登録済かつ本登録済の構成アイテムに対し削除予定を登録する際に指定します。
	新規反映 新規に構成アイテムを登録かつ本登録まで完了させる際に指定します。
	変更反映 登録済かつ本登録済の構成アイテムに対し、変更予定を登録かつ本登録まで完了させる際に指定します。
	削除反映 登録済かつ本登録済の構成アイテムに対し、削除予定を登録かつ本登録まで完了させる際に指定します。 削除反映を実施した際は、現在の構成および最新の構成から構成アイテムが削除されます。
※4	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「構成アイテム ID」項目に指定されたデータが登録されている場合、更新処理を行います。

注意事項	説明
	<p>・「構成アイテム ID」項目に指定されたデータが登録されていない場合、新規登録処理として新しく登録します。その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければ登録することはできません。</p> <p>また[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]にある管理項目名「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」が「新規登録を行う」と設定されていなければなりません。</p>
※5	<p>予定起票が新規反映、変更反映、削除反映の場合は即時反映となるため、インポートファイルで構成変更日項目に過去日付（当日含む）しか指定できません。</p>
※6	<p>指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれませんが、</p>
※7	<p>指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。</p>
※8	<p>入力データに不正な値が含まれていた場合の動作について、 [管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]-[データ登録コマンドの不正入力データ処理]の設定が、</p> <p>「1:警告を出力して該当項目のみが特別処理を実施する」を設定した場合、 警告の出力及び不正データを指定したレコードの登録が行われますが、不正データが指定された項目のみが特別処理を実施します。 項目の特別処理については「指定不正時」列を参照してください。</p> <p>「2:エラーを出力してレコードを登録しない」を設定した場合、 エラー出力を行い、不正データを指定したレコードは登録されません。 該当レコード以降のレコードの登録を実行するか否かは「1.2.5.4 データ登録時の動作設定」に従います。</p>
※9	<p>予定起票が変更反映の場合、以下項目に新規予定の構成アイテムを指定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連構成 ・ 関連構成 2A ・ 関連構成 2B ・ 関連構成 2C ・ 関連構成 2D ・ 関連構成 2E ・ 接続先機器 1 ・ 接続先機器 2 <p>予定起票が新規反映の場合、以下項目に新規予定の構成アイテムを指定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続先機器 1 ・ 接続先機器 2
※10	<p>管理項目「データ登録コマンドの不正入力データ処理」の設定値によって、関連項目のデータを取り込むタイミングは異なります。</p> <p>「1:警告を出力して該当項目のみが特別処理を実施する」と設定している際、 インポートファイルのレコードが全て登録した後で取り込まれます。</p> <p>「2:エラーを出力してレコードを登録しない」と設定している際、 インポートファイルのレコードと同時に取り込まれます。</p> <p>なお、どちらの場合も入力データに不正な値が含まれていた時の動作は※8の記載に従います。</p>
※11	<p>ユーザー編集画面で「要員管理画面表示」を設定する場合の動作について、 [制御情報]-[制御情報]-[制御情報]-[利用者メニュー]-[構成管理]-[編集画面の選択ユーザーX 検索対象設定]の設定が、 「SSM ユーザーを検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するまたは要員管理画面表示しないユーザーが登録できる。</p> <p>「要員を検索対象とする」を設定した場合、 要員管理画面表示するユーザーが登録できる、 要員管理画面表示しないユーザーが登録できない。</p>

注意事項	説明
※12	項目複数指定する場合、ある関連構成の項目「関連項目（構成 ID）」、項目「関連項目（データ種別 ID）」を全半角スペースに指定する時、全半角スペース指定した関連構成以前の構成は登録されなく、以後の関連構成が登録されます。
※13	全半角スペースのみを指定して登録するとエラーになって、登録できません。
※14	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。
※15	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※16	該当項目に構成アイテム ID と構成アイテム名しか指定できません。 指定対象の項目値を検索キーワードとして、レコードを検索して、更新を行います。 検索キーワードのフォーマットについて、 単数指定の場合、項目名を指定します。例：構成アイテム ID 複数指定の場合、複数項目名を指定し、項目名の間に複数区切文字列を追加します。例：構成アイテム ID@\$@構成アイテム
※17	マッピングファイルに検索キーワード項目を指定しないかつインポートファイルにも指定しない場合、検索キーワード機能を無視します。 マッピングファイルに検索キーワード項目を指定するかつインポートファイルに検索キーワード項目の値を空指定または指定不正の場合、検索キーワード機能を無視します。

5. 構成アイテム管理

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定時		指定不正時	
							新規	更新	新規	更新
基本情報	構成アイテム ID※5	構成アイテム ID	◎	●	半角記号英数字 1※2 ※4	256	P1	P1	P4	※1
	構成アイテム名※5	構成アイテム名	◎	○☆	全半角 1※4	256	P1	P3	P4	P4
	ステータス※5	ステータス	○	○☆	固定値 14※2※4	—	P24	P24	P24	P24
	システム※5	システム名	◎	◎☆	システム名※3※4	—	P1	P1	P1	P1
	設置場所※5	設置場所	○	○	全半角 2※4	60	P2	P3	P4	P4
	設置日※5	設置日 (From)	○	○	日付※2※4	—	P31	P3	P31	P32
	設置終了日※5	設置日 (To)	○	○	日付※2※4	—	P31	P3	P31	P32
	管理責任者※5	管理責任者	○	○	社員番号※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	使用者※5	使用者	○	○	社員番号※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	使用日※5	使用日 (From)	○	○	日付※2※4	—	P31	P3	P31	P32
	使用終了日※5	使用日 (To)	○	○	日付※2※4	—	P31	P3	P31	P32
—	データ種別 ID	◎	●	画面 ID※2※4	—	P1	P1	P1	P1	
分類情報	用途※5	用途	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	区分※5	区分	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	大分類※5	大分類	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	中分類※5	中分類	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	小分類※5	小分類	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	キーワード※5	キーワード	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P4	P4
機器情報	機種名※5	機種名	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	メーカー※5	メーカー (機器)	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	型番※5	型番	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	CPU※5	CPU	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	ディスク容量※5	ディスク容量	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
	メモリ容量※5	メモリ容量	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
	IP アドレス※5	IP アドレス	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
ソフトウェア情報	バージョン※5	バージョン	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	メーカー※5	メーカー (ソフトウェア)	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	シリアル番号※5	シリアル番号	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	媒体※5	媒体	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	媒体保管場所※5	媒体保管場所	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
日時情報	起票日※5	起票日	○	×	日付※2※4	—	P11	P3	P11	P3
	起票時刻※5	起票時刻	○	×	時刻※2※4	—	P12	P3	P12	P3
保守連絡先情報	会社名※5	会社名	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	組織名※5	組織名	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード		指定値					
			指定可否		指定形式	制限値	未指定時		指定不正時	
			新規	更新			新規	更新	新規	更新
	氏名※5	氏名	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	電話番号※5	電話番号	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	メールアドレス※5	メールアドレス	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	保守契約番号※5	保守契約番号	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	保守日※5	保守日 (From)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	保守終了日※5	保守日 (To)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	添付ファイル 1※5	保守連絡先情報添付ファイル名	○■	○■	ファイル名※2※4	100	P2	P3	P1	P1
付加情報	備考※5	備考	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P4	P4
	添付ファイル 2※5	付加情報添付ファイル名	○■	○■	ファイル名※2※4	100	P2	P3	P1	P1
エクステンション情報	関連構成アイテム※5	関連構成アイテム	○■	○■	構成アイテム名※2※4	—	P2	P3	P13	P14
		関連構成アイテム(システム)	○■	○■	システム名※3※4	—	P2	P3	P13	P14
	関連アカウント※5	関連アカウント	○■	○■	アカウント名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		関連アカウント(システム)	○■	○■	システム名※3※4	—	P2	P3	P13	P14
	テキスト 1※5	テキスト 1	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	テキスト 2※5	テキスト 2	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	テキスト 3※5	テキスト 3	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	テキスト 4※5	テキスト 4	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	テキストエリア 1※5	テキストエリア 1	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P4	P4
	テキストエリア 2※5	テキストエリア 2	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P4	P4
	テキストエリア 3※5	テキストエリア 3	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P4	P4
	ラジオボタン 1※5	ラジオボタン 1	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	ラジオボタン 2※5	ラジオボタン 2	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 1※5	コンボボックス 1	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 2※5	コンボボックス 2	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 3※5	コンボボックス 3	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 4※5	コンボボックス 4	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 5※5	コンボボックス 5	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 6※5	コンボボックス 6	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 7※5	コンボボックス 7	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 8※5	コンボボックス 8	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 9※5	コンボボックス 9	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	コンボボックス 10※5	コンボボックス 10	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	2 連分類 1-1※5	2 連分類 1-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 1-2※5	2 連分類 1-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定時		指定不正時	
							新規	更新	新規	更新
	2 連分類 2-1※5	2 連分類 2-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 2-2※5	2 連分類 2-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 3-1※5	2 連分類 3-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 3-2※5	2 連分類 3-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 4-1※5	2 連分類 4-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 4-2※5	2 連分類 4-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 5-1※5	2 連分類 5-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	2 連分類 5-2※5	2 連分類 5-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 1-1※5	3 連分類 1-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 1-2※5	3 連分類 1-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 1-3※5	3 連分類 1-3	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 2-1※5	3 連分類 2-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 2-2※5	3 連分類 2-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 2-3※5	3 連分類 2-3	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 3-1※5	3 連分類 3-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 3-2※5	3 連分類 3-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 3-3※5	3 連分類 3-3	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 4-1※5	3 連分類 4-1	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 4-2※5	3 連分類 4-2	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	3 連分類 4-3※5	3 連分類 4-3	○	○	分類名※2※4	—	P31	P3	P31	P3
	コンボテキスト 1※5	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		コンボテキスト 1-テキスト	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	コンボテキスト 2※5	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		コンボテキスト 2-テキスト	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	コンボテキスト 3※5	コンボテキスト 3-コンボボックス	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		コンボテキスト 3-テキスト	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	コンボテキスト 4※5	コンボテキスト 4-コンボボックス	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		コンボテキスト 4-テキスト	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	コンボテキスト 5※5	コンボテキスト 5-コンボボックス	○	○	コード名※2※4	—	P2	P3	P2	P3

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新	指定形式	制限値	未指定時		指定不正時	
							新規	更新	新規	更新
		コンボテキスト 5-テキスト	○	○	全半角 2※4	100	P2	P3	P4	P4
	日付 1※5	日付 1 (From)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		日付 1 (To)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	日付 2※5	日付 2 (From)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
		日付 2 (To)	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	日付テキスト 1※5	日付 1	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	日付テキスト 2※5	日付 2	○	○	日付※2※4	—	P2	P3	P2	P3
	数値テキスト 1※5	数値 1	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
	数値テキスト 2※5	数値 2	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
	数値テキスト 3※5	数値 3	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
	数値テキスト 4※5	数値 4	○	○	数値※3※4	12	P2	P3	P2	P3
コメント入力	利用者※5	利用者	○■	○■	社員番号※2※4	—	P2	P3	P13	P14
	申請者※5	申請者	○■	○■	社員番号※2※4	—	P2	P3	P13	P14
	承認者※5	承認者	○■	○■	社員番号※2※4	—	P2	P3	P13	P14
	コメント※5	コメント	○	○	全半角 2※4	4000	P2	P3	P2	P3
—	—	登録者	○	○	ユーザーID※2※4	—	P2	P3	P2	P3



制限事項

2013.0.0.0 以前まで指定可能であった項目「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」は削除されました。
 「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」を指定した場合、レコードは登録されますが、
 項目に設定した値は登録されません。
 また、Web 画面からも項目が削除されています。

※1～5 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「構成アイテム ID」項目に指定されたデータが構成アイテムマスタに登録されている場合、更新処理を行います。 ・「構成アイテム ID」項目に指定されたデータが構成アイテムマスタに登録されていない場合、 新規登録処理として新しく構成アイテムマスタへ登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければ構成アイテムを登録することはできません。
※2	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※3	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※4	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。
※5	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

6. ユーザー管理

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否		指定値					
			新規	更新 ※4	指定形式	制限値	未指定時		指定不正時	
							新規	更新	新規	更新
アカウント情報	ユーザーID※11	ユーザーID	◎	●	半角※8※10	256	P1	P1	P4	P1
	認証方法※11	認証方法	◎	○☆	固定値 15※8※10	—	P1	P3	P4	P4
	初期パスワード※11	パスワード※1	◎	○☆	ユーザーパスワード※8※10	32	P1	P3	P4	P4
	認証設定名※11	認証設定名※1	◎	○☆	認証サーバー名※9※10	※2	P1	P3	P4	P4
	所属グループ※11	所属グループ	◎■	○☆■	グループ名※8※10	—	P1	P3	P4	P4
	ステータス※11	ステータス	○	○	固定値 14※8※10	—	P24	P3	P24	P24
	画面ポリシー※11	画面ポリシー	◎	○☆	画面ポリシー名※8※10	—	P1	P3	P4	P4
	アカウント区分※11	アカウント区分	◎	○☆	固定値 16※8※10	—	P1	P3	P4	P4
	代理承認者※11	代理承認者	○■	○■☆	ユーザーID※8※10	—	P2	P3	P4	P4
	チーム×役割 ※5※11	チーム	○■	○■	チーム名※8※10	—	P2	P3	P4	P4
		役割	○■	○■	役割名※8※10	—	P2	P3	P1	P1
	権限フィルタ※11	権限フィルタ	○	○☆	固定値 5※8※10	—	P27	P3	P4	P4
	メンテナンス権限 フィルタ (共通) ※11	メンテナンス権限(共通)	○■	○■	権限名※8※10	—	P2※6	P3※6	P4※6	P4※6
	メンテナンス権限 フィルタ (システム別) ※11	メンテナンス権限(システム別)	○■	○■	権限名※9※10	—	P2※6 ※7	P3※6 ※7	P4※6 ※7	P4※6※7
メンテナンス権限フィルタ(システム名)		○■	○■	システム名※9※10	—	P2※6 ※7	P3※6 ※7	P4※6 ※7	P4※6※7	
要員情報	※3									
	ステータス※11	ステータス	×	×	※3					
	要員管理画面表示※11	要員管理画面表示	○	○☆	固定値 17※8※10	—	P26	P26	P4	P4
—	—	登録者	○	○	ユーザーID※8※10	—	P2	P3	P2	P3


 項目名「ユーザーID」は全てのユーザーの中で、「社員番号」は全ての要員の中で、それぞれユニークとなるように値を設定してください。
 仕様補足 ユニークでない場合は、ユーザーを登録することはできません。



仕様補足

登録可能な有効ユーザー数の上限は、ライセンスに依存します。
 データ登録コマンドでは、インポートファイルに指定される全ての無効ユーザーの登録または無効ユーザーへの更新を実行後に有効ユーザーの登録を行います。
 したがって有効ユーザーの登録時にライセンスの上限を超える場合は、以降の有効ユーザーは登録されませんが、無効ユーザーはすべて登録された状態となります。



仕様補足

サービスデスクユーザー（固定）とサービスデスクユーザー（同時接続）のどちらか一方のライセンスしか保持していない場合は、アカウント区分にサービスデスクユーザーと指定した場合も登録されます。
 ただし、ログに警告ログが出力されます。



制限事項

パスワードの制限値は[管理者メニュー]-[制御情報]-[制御情報]-[共通]-[共通]の「パスワード最小桁数(桁)」の設定値を参照していません。

※1～11の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	「認証方法」項目に指定された値により、「パスワード」「認証設定名」項目に指定する値が異なります。 「認証方法」が「SSM 基本認証」を設定した場合、「パスワード」を指定してください。 「認証方法」が「SSM 基本認証」を設定しなかった場合、値は取り込まれません。 「認証方法」が「ActiveDirectory 認証」「OpenLDAP 認証」を設定した場合、「認証設定名」を指定してください。 「認証方法」が「SAML 認証」を設定した場合、「パスワード」と「認証設定名」の値は取り込まれません。
※2	Senju Service Manager の Web 画面にて「管理者メニュー>制御情報>認証サーバー」で登録した認証設定名を指定します。
※3	ユーザー管理の要員情報ブロックに指定する項目は、要員管理の基本情報ブロック/システム-職責選択ブロックに記載されている項目と以下項目を除き共通の項目です。 指定不可項目：ステータス →アカウント情報ブロックの「ステータス」項目と同じ値が設定されます。
※4	登録モードを「更新処理」とした場合、以下の動作になります。 ・「ユーザーID」と「社員番号」項目に指定されたデータが登録されている場合、更新処理を行います。 ・「ユーザーID」と「社員番号」項目に指定されたデータが登録されていない場合、新規登録処理として新しく登録します。 その際はモード指定可否の新規欄が「◎」である項目が指定されていなければ登録することはできません。
※5	「チーム」と「役割」はセットで指定してください。 不正な値を指定した場合、ユーザーは登録されません。
※6	権限フィルタが“ON”の場合、指定したメンテナンス権限(共通)とシステム-メンテナンス権限選択のみ登録/更新します。メンテナンス権限(共通)とシステム-メンテナンス権限選択が未指定すると、メンテナンス権限の更新処理を行いません。 権限フィルタが“OFF”の場合、メンテナンス権限(共通)とシステム-メンテナンス権限選択の指定値に関わらず、該当ユーザー指定した全ての管理権限を削除し、登録/更新処理を行いません。また、メンテナンス権限(共通)とシステム-メンテナンス権限選択の項目値を指定する時、ウォーニングとします。

注意事項	説明
※7	「メンテナンス権限(システム別)」と「権限システム名」はセットで指定してください。 どちらか一方のみ指定した場合、エラーとなり登録・更新されません。 「メンテナンス権限(システム別)」と「権限システム名」どちらか指定不正の場合、エラーとなり登録・更新されません。 ※同一のメンテナンス権限に対して、「権限システム名」が「ALL」指定する場合、他のシステムを削除し、「ALL」システムしか登録・更新されません。 同一のメンテナンス権限に対して、「権限システム名」が「全システム共通」指定する場合、一つのシステムとして「全システム共通」を登録・更新されます。
※8	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれません。
※9	指定した値の前後にスペースが含まれている場合、そのスペースは取り除かれます。
※10	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。
※11	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

1.3.7 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録

Senju Enterprise Navigator からのイベント連携機能で登録可能な案件種別名および指定可能なフィールドはデータ登録コマンドと同じです。Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録および更新については、「1.3.6 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)」をご参照ください。ここでは、Senju Enterprise Navigator 経由の登録モード「経過自動追加処理」における、指定可能なフィールドの一覧のみ以下に示します。各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

 Senju Enterprise Navigator からのイベント連携機能で指定可能なフィールドの指定値について、

- ・ 指定値に「”」を含む項目は登録できません。
- 仕様補足 ・ 指定値に「,」を含む項目は登録できます。

1. プロセス管理

ブロック名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
基本情報	—	経過追加条件※3	◎	◎	×	×	メール情報※4 ※7	—	※1	※1	—	—	※1	※1	—	—
	—	登録モード	◎	◎	◎	◎	固定値 18※7	—	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1
	—	経過追加対象画面 ID※3	×	○	×	×	画面 ID※7	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—
	—	データ種別 ID	◎	×	◎	◎	画面 ID※7	—	P1	—	※5	※5	P1	—	※5	※5
	レコード ID※8	レコード ID	●	×	●	●	レコード ID※7	16	P1	—	※5	※5	P1	—	※5	※5
	システム※8	システム	◎	×	●	●	システム名※7	—	P1	—	※5	※5	P1	—	※5	※5
	タイトル※8	タイトル	×	×	●	●	全半角 3※7	200	—	—	※5	※5	—	—	※5	※5
	ステータス※8	ステータス	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	種別※8	種別	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	備考※8	備考	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	起票日※8	起票日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	起票時刻※8	起票時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クローズ期限日※8	クローズ期限日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クローズ期限時刻※8	クローズ期限時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	起票者※8	起票者	×	×	×	○	ユーザーID※7	—	—	—	—	※5	—	—	—	※5
	—	登録者	○	○	○	○	ユーザーID※7	—	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3
	サブステータス※8	サブステータス	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	インパクト※8	インパクト	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	緊急度※8	緊急度	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	優先度※8	優先度	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社員番号※8	社内申請者社員番号	×	×	×	×	半角※7	32	—	—	—	—	—	—	—	—	

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	氏名※8	社内申請者氏名	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	氏名カナ※8	社内申請者氏名カナ	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	会社名※8	社内申請者会社名	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	組織名※8	社内申請者組織名	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	役職※8	社内申請者役職	×	×	×	×	全半角 3※7	80	—	—	—	—	—	—	—	—
	内線番号※8	社内申請者内線番号	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	電話番号 1※8	社内申請者電話番号 1	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	電話番号 2※8	社内申請者電話番号 2	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	FAX※8	社内申請者 FAX 番号	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	携帯電話番号※8	社内申請者携帯番号	×	×	×	×	全半角 3※7	60	—	—	—	—	—	—	—	—
	メールアドレス 1※8	社内申請者メールアドレス 1	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	メールアドレス 2※8	社内申請者メールアドレス 2	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	会社名※8	申請者会社名	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	組織名※8	申請者組織名	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	氏名※8	申請者氏名	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	氏名カナ※8	申請者氏名カナ	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	電話番号※8	申請者電話番号	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	メールアドレス※8	申請者メールアドレス	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 2※8	コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 10※8	コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 18※8	コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 19※8	コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 20※8	コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	コンボテキスト 1※8	コンボテキスト 1-コンボボックス	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	コンボテキスト 1-テキスト	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボテキスト 2※8	コンボテキスト 2-コンボボックス	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	コンボテキスト 2-テキスト	×	×	×	×	全半角 3※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラジオボタン 1※8	ラジオボタン 1	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラジオボタン 2※8	ラジオボタン 2	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 1※8	チェックボックス 1	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 2※8	チェックボックス 2	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 3※8	チェックボックス 3	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 4※8	チェックボックス 4	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 5※8	チェックボックス 5	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 6※8	チェックボックス 6	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 7※8	チェックボックス 7	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 8※8	チェックボックス 8	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 9※8	チェックボックス 9	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 10※8	チェックボックス 10	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 11※8	チェックボックス 11	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 12※8	チェックボックス 12	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 13※8	チェックボックス 13	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 14※8	チェックボックス 14	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 15※8	チェックボックス 15	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 16※8	チェックボックス 16	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	チェックボックス 17※8	チェックボックス 17	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 18※8	チェックボックス 18	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 19※8	チェックボックス 19	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 20※8	チェックボックス 20	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 21※8	チェックボックス 21	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 22※8	チェックボックス 22	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	チェックボックス 23※8	チェックボックス 23	×	×	×	×	名称※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 6※8	テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 14※8	テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 1※8	参考 URL 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 2※8	参考 URL 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 3※8	参考 URL 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 4※8	参考 URL 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 5※8	参考 URL 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 6※8	参考 URL 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	参考 URL 7※8	参考 URL 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定値									
			113	114	115	116	指定形式	制限値	未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	数値テキスト1※8	数値テキスト1	×	×	×	×	数値※7	12	—	—	—	—	—	—	—	—
	数値テキスト2※8	数値テキスト2	×	×	×	×	数値※7	12	—	—	—	—	—	—	—	—
	数値テキスト3※8	数値テキスト3	×	×	×	×	数値※7	12	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラージテキスト1※8	ラージテキスト1	×	×	×	×	全半角3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラージテキスト2※8	ラージテキスト2	×	×	×	×	全半角3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラージテキスト3※8	ラージテキスト3	×	×	×	×	全半角3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラージテキスト4※8	ラージテキスト4	×	×	×	×	全半角3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—
	リッチテキスト1※8	リッチテキスト1	×	×	×	×	全半角3※7※10	10000000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1 (テキストのみ)	×	×	×	×	全半角3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1HTML ファイル	×	×	×	×	ファイル名	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1HTMLCharset	×	×	×	×	半角	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1 挿入ファイル	×	×	×	×	ファイル名	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1 ファイル名	×	×	×	×	全半角3	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト1Content-ID	×	×	×	×	全半角3	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	リッチテキスト2※8	リッチテキスト2	×	×	×	×	全半角3※7※10	10000000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2 (テキストのみ)	×	×	×	×	全半角3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2HTML ファイル	×	×	×	×	ファイル名	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2HTMLCharset	×	×	×	×	半角	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2 挿入ファイル	×	×	×	×	ファイル名	100	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2 ファイル名	×	×	×	×	全半角3	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	リッチテキスト2Content-ID	×	×	×	×	全半角3	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	開始日※8	開始日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	開始時刻※8	開始時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了日1※8	終了日1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了時刻1※8	終了時刻1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了日2※8	終了日2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	終了時刻 2※8	終了時刻 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了日 3※8	終了日 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了時刻 3※8	終了時刻 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	開始予定日※8	開始予定日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	開始予定時刻※8	開始予定時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了予定日※8	終了予定日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	終了予定時刻※8	終了予定時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定日 1※8	対応予定日 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定時刻 1※8	対応予定時刻 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定日 2※8	対応予定日 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定時刻 2※8	対応予定時刻 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定日 3※8	対応予定日 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定時刻 3※8	対応予定時刻 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定日 4※8	対応予定日 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定時刻 4※8	対応予定時刻 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定日 5※8	対応予定日 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応予定時刻 5※8	対応予定時刻 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績日 1※8	対応実績日 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績時刻 1※8	対応実績時刻 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績日 2※8	対応実績日 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績時刻 2※8	対応実績時刻 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績日 3※8	対応実績日 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績時刻 3※8	対応実績時刻 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績日 4※8	対応実績日 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績時刻 4※8	対応実績時刻 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績日 5※8	対応実績日 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応実績時刻 5※8	対応実績時刻 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	スケジュール設定開始日※8	スケジュール設定開始日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	スケジュール設定開始時刻※8	スケジュール設定開始時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	スケジュール設定終了日※8	スケジュール設定終了日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	スケジュール設定終了時刻※8	スケジュール設定終了時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	スケジュール設定オプション※8-通し作業※8	スケジュール設定オプション-通し作業	×	×	×	×	固定値 5※7	—	—	—	—	—	P4	P4	P4	P4	

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	スケジュール設定オプション※8-非稼働日※8	スケジュール設定オプション-非稼働日	×	×	×	×	固定値 5※7	—	—	—	—	—	P4	P4	P4	P4
	日付テキスト 1※8	日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 2※8	日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 3※8	日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 4※8	日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 5※8	日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 6※8	日付テキスト 6	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 7※8	日付テキスト 7	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 8※8	日付テキスト 8	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 9※8	日付テキスト 9	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 10※8	日付テキスト 10	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 11※8	日付テキスト 11	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 12※8	日付テキスト 12	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 13※8	日付テキスト 13	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 14※8	日付テキスト 14	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 15※8	日付テキスト 15	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 1※8	時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 2※8	時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 3※8	時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 4※8	時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 5※8	時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 6※8	時刻テキスト 6	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 7※8	時刻テキスト 7	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 8※8	時刻テキスト 8	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 9※8	時刻テキスト 9	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 10※8	時刻テキスト 10	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 11※8	時刻テキスト 11	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 12※8	時刻テキスト 12	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 13※8	時刻テキスト 13	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 14※8	時刻テキスト 14	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 15※8	時刻テキスト 15	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大分類※8	大分類	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中分類※8	中分類	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小分類※8	小分類	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 連分類 1-1※8	2 連分類 1-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 連分類 1-2※8	2 連分類 1-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 連分類 2-1※8	2 連分類 2-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 連分類 2-2※8	2 連分類 2-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	3 連分類 1-1※8	3 連分類 1-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 連分類 1-2※8	3 連分類 1-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 連分類 1-3※8	3 連分類 1-3	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 連分類 2-1※8	3 連分類 2-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 連分類 2-2※8	3 連分類 2-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 連分類 2-3※8	3 連分類 2-3	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 1-1※8	5 連分類-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 1-2※8	5 連分類-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 1-3※8	5 連分類-3	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 1-4※8	5 連分類-4	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 1-5※8	5 連分類-5	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 2-1※8	5 連分類 2-1	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 2-2※8	5 連分類 2-2	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 2-3※8	5 連分類 2-3	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 2-4※8	5 連分類 2-4	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 連分類 2-5※8	5 連分類 2-5	×	×	×	×	分類名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー1※8	選択ユーザー1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー2※8	選択ユーザー2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	添付ファイル1※8	添付ファイル1	×	×	×	×	ファイル名※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	添付ファイル2※8	添付ファイル2	×	×	×	×	ファイル名※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	添付ファイル3※8	添付ファイル3	×	×	×	×	ファイル名※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	添付ファイル4※8	添付ファイル4	×	×	×	×	ファイル名※7	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成アイテム1※8	関連構成アイテム1	×	×	×	×	構成アイテム名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成アイテム2※8	関連構成アイテム2	×	×	×	×	構成アイテム名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成アイテム3※8	関連構成アイテム3	×	×	×	×	構成アイテム名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連アカウント※8	関連アカウント	×	×	×	×	アカウント名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成1※8	関連構成1 (構成 ID)	×	×	×	×	関連構成 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	関連構成1 (データ種別 ID)	×	×	×	×	関連画面 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成2※8	関連構成2 (構成 ID)	×	×	×	×	関連構成 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	関連構成2 (データ種別 ID)	×	×	×	×	関連画面 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成3※8	関連構成3 (構成 ID)	×	×	×	×	関連構成 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	関連構成3 (データ種別 ID)	×	×	×	×	関連画面 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	関連構成4※8	関連構成4 (構成 ID)	×	×	×	×	関連構成 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	関連構成4 (データ種別 ID)	×	×	×	×	関連画面 ID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	対応元※8	エスカレーション元	○ ※6	○ ※6	○ ※6	○ ※6	ユーザーID※7	—	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定値									
			113	114	115	116	指定形式	制限値	未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	コメント※8	エスカレーションコメント	○※6	○※6	○※6	○※6	全半角 1※7	4000	P3	P3	P3	P3	P4	P4	P4	P4
	対応先※8	エスカレーション先	☆■※6	☆■※6	☆■※6	☆■※6	ユーザーID※7	—	P3	P3	P3	P3※5	P3	P3	P3	P3※5
	クローズ日※8	クローズ日	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クローズ時刻※8	クローズ時刻	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クローズ者※8	クローズ者	×	×	×	×	ユーザーID※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クローズ種別※8	クローズ種別	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コメント※8	クローズ理由	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1ID※8	問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 1※8	問合せ元テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 2※8	問合せ元テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 3※8	問合せ元テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 4※8	問合せ元テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 5※8	問合せ元テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 6※8	問合せ元テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 7※8	問合せ元テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 8※8	問合せ元テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 9※8	問合せ元テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 10※8	問合せ元テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 11※8	問合せ元テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 12※8	問合せ元テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 13※8	問合せ元テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 14※8	問合せ元テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 1 テキスト 15※8	問合せ元テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	問合せ元 1 テキスト 16※8	問合せ元テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 1 テキスト 17※8	問合せ元テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 1 テキスト 18※8	問合せ元テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 1 テキストエ リア 1※8	問合せ元テキストエリア 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 1 日付 1※8	問合せ元日付 1	×	×	×	×	日付※7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2ID※8	問合せ元 2ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 1※8	問合せ元 2 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 2※8	問合せ元 2 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 3※8	問合せ元 2 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 4※8	問合せ元 2 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 5※8	問合せ元 2 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 6※8	問合せ元 2 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 7※8	問合せ元 2 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 8※8	問合せ元 2 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 9※8	問合せ元 2 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 10※8	問合せ元 2 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 11※8	問合せ元 2 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 12※8	問合せ元 2 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 13※8	問合せ元 2 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 14※8	問合せ元 2 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	問合せ元 2 テキスト 15※8	問合せ元 2 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	300	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	問合せ元 2 テキスト 16※8	問合せ元 2 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト 17※8	問合せ元 2 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト 18※8	問合せ元 2 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 2 テキスト エリア 1※8	問合せ元 2 テキスト エリア 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 2 日付 1※8	問合せ元 2 日付 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ブロック制御コンボボックス 1※8	ブロック制御コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ブロック制御コンボボックス 2※8	ブロック制御コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ブロック制御コンボボックス 3※8	ブロック制御コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	承認フロー追加通知先※8	承認フロー追加通知先	×	×	×	×	メールアドレス形式※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公開グループ※8	公開グループ	×	×	×	×	グループ名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	フォーム公開※8	フォーム公開	×	×	×	×	固定値 5※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	表項目 1 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	表項目 1 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	表項目 1 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	表項目 1 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	表項目 1 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 6※8	表項目 1 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	表項目 1 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	表項目 1 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	表項目 1 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	表項目 1 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	表項目 1 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	表項目 1 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	表項目 1 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 14※8	表項目 1 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	表項目 1 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	表項目 1 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	表項目 1 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	表項目 1 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	表項目 1 テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 20※8	表項目 1 テキスト 20	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	表項目 1 コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	コンボボックス 2※8	表項目 1 コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	表項目 1 コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	表項目 1 コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	表項目 1 コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	表項目 1 コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	表項目 1 コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	表項目 1 コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	表項目 1 コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 10※8	表項目 1 コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	表項目 1 コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	表項目 1 コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	表項目 1 コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	表項目 1 コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	表項目 1 コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	表項目 1 コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	表項目 1 コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 18※8	表項目 1 コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 19※8	表項目 1 コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 20※8	表項目 1 コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 1※8	表項目 1 日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 2※8	表項目 1 日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 3※8	表項目 1 日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 4※8	表項目 1 日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 5※8	表項目 1 日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 1※8	表項目 1 時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 2※8	表項目 1 時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 3※8	表項目 1 時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 4※8	表項目 1 時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 5※8	表項目 1 時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー1※8	表項目 1 選択ユーザー1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー2※8	表項目 1 選択ユーザー2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー3※8	表項目 1 選択ユーザー3	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー4※8	表項目 1 選択ユーザー4	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー5※8	表項目 1 選択ユーザー5	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 ID※8	表項目 1 問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	表項目 2 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	表項目 2 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	表項目 2 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	表項目 2 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	表項目 2 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	テキスト 6※8	表項目 2 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	表項目 2 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	表項目 2 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	表項目 2 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	表項目 2 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	表項目 2 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	表項目 2 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	表項目 2 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 14※8	表項目 2 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	表項目 2 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	表項目 2 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	表項目 2 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	表項目 2 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	表項目 2 テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 20※8	表項目 2 テキスト 20	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	表項目 2 コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 2※8	表項目 2 コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	表項目 2 コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	表項目 2 コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	表項目 2 コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	表項目 2 コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	表項目 2 コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	表項目 2 コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	表項目 2 コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 10※8	表項目 2 コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	表項目 2 コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	表項目 2 コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	表項目 2 コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	表項目 2 コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	表項目 2 コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	表項目 2 コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	表項目 2 コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 18※8	表項目 2 コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 19※8	表項目 2 コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 20※8	表項目 2 コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 1※8	表項目 2 日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 2※8	表項目 2 日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 3※8	表項目 2 日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 4※8	表項目 2 日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 5※8	表項目 2 日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	時刻テキスト 1※8	表項目 2 時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 2※8	表項目 2 時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 3※8	表項目 2 時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 4※8	表項目 2 時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 5※8	表項目 2 時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-1※8	表項目 2 選択ユーザ-1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-2※8	表項目 2 選択ユーザ-2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-3※8	表項目 2 選択ユーザ-3	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-4※8	表項目 2 選択ユーザ-4	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-5※8	表項目 2 選択ユーザ-5	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 ID※8	表項目 2 問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	表項目 3 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	表項目 3 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	表項目 3 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	表項目 3 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	表項目 3 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 6※8	表項目 3 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	表項目 3 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	表項目 3 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	表項目 3 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	表項目 3 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	表項目 3 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	表項目 3 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	表項目 3 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 14※8	表項目 3 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	表項目 3 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	表項目 3 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	表項目 3 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	表項目 3 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	表項目 3 テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 20※8	表項目 3 テキスト 20	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	表項目 3 コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 2※8	表項目 3 コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	表項目 3 コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	表項目 3 コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	表項目 3 コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	表項目 3 コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	表項目 3 コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	表項目 3 コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	表項目 3 コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	コンボボックス 10※8	表項目 3 コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	表項目 3 コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	表項目 3 コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	表項目 3 コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	表項目 3 コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	表項目 3 コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	表項目 3 コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	表項目 3 コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 18※8	表項目 3 コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 19※8	表項目 3 コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 20※8	表項目 3 コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 1※8	表項目 3 日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 2※8	表項目 3 日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 3※8	表項目 3 日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 4※8	表項目 3 日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 5※8	表項目 3 日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 1※8	表項目 3 時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 2※8	表項目 3 時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 3※8	表項目 3 時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 4※8	表項目 3 時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 5※8	表項目 3 時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー1※8	表項目 3 選択ユーザー1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー2※8	表項目 3 選択ユーザー2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー3※8	表項目 3 選択ユーザー3	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー4※8	表項目 3 選択ユーザー4	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザー5※8	表項目 3 選択ユーザー5	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 ID※8	表項目 3 問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	表項目 4 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	表項目 4 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	表項目 4 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	表項目 4 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	表項目 4 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 6※8	表項目 4 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	表項目 4 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	表項目 4 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	表項目 4 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	表項目 4 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	表項目 4 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	表項目 4 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	表項目 4 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値							
			113	114	115	116			未指定				指定不正			
									113	114	115	116	113	114	115	116
	テキスト 14※8	表項目 4 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	表項目 4 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	表項目 4 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	表項目 4 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	表項目 4 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	表項目 4 テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 20※8	表項目 4 テキスト 20	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	表項目 4 コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 2※8	表項目 4 コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	表項目 4 コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	表項目 4 コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	表項目 4 コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	表項目 4 コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	表項目 4 コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	表項目 4 コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	表項目 4 コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 10※8	表項目 4 コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	表項目 4 コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	表項目 4 コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	表項目 4 コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	表項目 4 コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	表項目 4 コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	表項目 4 コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	表項目 4 コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 18※8	表項目 4 コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 19※8	表項目 4 コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 20※8	表項目 4 コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 1※8	表項目 4 日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 2※8	表項目 4 日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 3※8	表項目 4 日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 4※8	表項目 4 日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日付テキスト 5※8	表項目 4 日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 1※8	表項目 4 時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 2※8	表項目 4 時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 3※8	表項目 4 時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 4※8	表項目 4 時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	時刻テキスト 5※8	表項目 4 時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ—1※8	表項目 4 選択ユーザ—1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ—2※8	表項目 4 選択ユーザ—2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ—3※8	表項目 4 選択ユーザ—3	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	選択ユーザ-4※8	表項目 4 選択ユーザ-4	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	選択ユーザ-5※8	表項目 4 選択ユーザ-5	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	問合せ元 ID※8	表項目 4 問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 1※8	表項目 5 テキスト 1	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 2※8	表項目 5 テキスト 2	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 3※8	表項目 5 テキスト 3	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 4※8	表項目 5 テキスト 4	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 5※8	表項目 5 テキスト 5	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 6※8	表項目 5 テキスト 6	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 7※8	表項目 5 テキスト 7	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 8※8	表項目 5 テキスト 8	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 9※8	表項目 5 テキスト 9	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 10※8	表項目 5 テキスト 10	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 11※8	表項目 5 テキスト 11	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 12※8	表項目 5 テキスト 12	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 13※8	表項目 5 テキスト 13	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 14※8	表項目 5 テキスト 14	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 15※8	表項目 5 テキスト 15	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 16※8	表項目 5 テキスト 16	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 17※8	表項目 5 テキスト 17	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 18※8	表項目 5 テキスト 18	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 19※8	表項目 5 テキスト 19	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テキスト 20※8	表項目 5 テキスト 20	×	×	×	×	全半角 3※7	4000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 1※8	表項目 5 コンボボックス 1	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 2※8	表項目 5 コンボボックス 2	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 3※8	表項目 5 コンボボックス 3	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 4※8	表項目 5 コンボボックス 4	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 5※8	表項目 5 コンボボックス 5	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 6※8	表項目 5 コンボボックス 6	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 7※8	表項目 5 コンボボックス 7	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 8※8	表項目 5 コンボボックス 8	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 9※8	表項目 5 コンボボックス 9	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 10※8	表項目 5 コンボボックス 10	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 11※8	表項目 5 コンボボックス 11	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 12※8	表項目 5 コンボボックス 12	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 13※8	表項目 5 コンボボックス 13	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 14※8	表項目 5 コンボボックス 14	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 15※8	表項目 5 コンボボックス 15	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 16※8	表項目 5 コンボボックス 16	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンボボックス 17※8	表項目 5 コンボボックス 17	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値									
			113	114	115	116			未指定				指定不正					
									113	114	115	116	113	114	115	116		
	コンボボックス 18※8	表項目 5 コンボボックス 18	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	コンボボックス 19※8	表項目 5 コンボボックス 19	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	コンボボックス 20※8	表項目 5 コンボボックス 20	×	×	×	×	コード名※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日付テキスト 1※8	表項目 5 日付テキスト 1	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日付テキスト 2※8	表項目 5 日付テキスト 2	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日付テキスト 3※8	表項目 5 日付テキスト 3	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日付テキスト 4※8	表項目 5 日付テキスト 4	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日付テキスト 5※8	表項目 5 日付テキスト 5	×	×	×	×	日付※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	時刻テキスト 1※8	表項目 5 時刻テキスト 1	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	時刻テキスト 2※8	表項目 5 時刻テキスト 2	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	時刻テキスト 3※8	表項目 5 時刻テキスト 3	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	時刻テキスト 4※8	表項目 5 時刻テキスト 4	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	時刻テキスト 5※8	表項目 5 時刻テキスト 5	×	×	×	×	時刻※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	選択ユーザ1※8	表項目 5 選択ユーザ1	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	選択ユーザ2※8	表項目 5 選択ユーザ2	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	選択ユーザ3※8	表項目 5 選択ユーザ3	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	選択ユーザ4※8	表項目 5 選択ユーザ4	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	選択ユーザ5※8	表項目 5 選択ユーザ5	×	×	×	×	社員番号※7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	問合せ元 ID※8	表項目 5 問合せ元 ID	×	×	×	×	全半角 3※7	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 1※8	マークダウン 1	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 2※8	マークダウン 2	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 3※8	マークダウン 3	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 4※8	マークダウン 4	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 5※8	マークダウン 5	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 6※8	マークダウン 6	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 7※8	マークダウン 7	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 8※8	マークダウン 8	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 9※8	マークダウン 9	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マークダウン 10※8	マークダウン 10	×	×	×	×	全半角 3※7	128000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
経過情 報	タイトル※8	経過タイトル	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	1024	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4		
	対応日※8	経過対応日	○■	○■	○■	○■	日付※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	対応時刻※8	経過対応時刻	○■	○■	○■	○■	時刻※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	対応者※8	経過対応者	○■	○■	○■	○■	ユーザID※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	チャンネル※8	経過チャンネル※3	○■	○■	○■	○■	固定値 13※7	—	P23	P23	P23	P23	P23	P23	P23	P23	P23	
	内容※8	経過内容	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4	
	—	経過色	○■	○■	○■	○■	固定値※7	—	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4	
	対応先※8	経過対応先	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	60	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4	
	コンボボックス 1※8	経過コンボボックス 1	○■	○■	○■	○■	コード名※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	コンボボックス 2※8	経過コンボボックス 2	○■	○■	○■	○■	コード名※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
コンボボックス 3※8	経過コンボボックス 3	○■	○■	○■	○■	コード名※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	

ブロッ ク 名 称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定値										
			113	114	115	116	指定形式	制限値	未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	コンボボックス 4※8	経過コンボボックス 4	○■	○■	○■	○■	コード名※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	テキスト 1※8	経過テキスト 1	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	100	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキスト 2※8	経過テキスト 2	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	100	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキスト 3※8	経過テキスト 3	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	100	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキスト 4※8	経過テキスト 4	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	100	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキストエリア 1※8	経過テキストエリア 1	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキストエリア 2※8	経過テキストエリア 2	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキストエリア 3※8	経過テキストエリア 3	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	テキストエリア 4※8	経過テキストエリア 4	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	経過内容 (リッチテキスト) ※8	経過リッチテキスト	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7※10	10000000	P33	P33	P33	P33	P4	P4	P4	P4	P4
	—	経過リッチテキスト (テキストのみ)	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	—	経過リッチテキスト HTML ファイル	○	○	○	○	ファイル名※9	100	P33	P33	P33	P33	P5	P5	P5	P5	P5
	—	経過リッチテキスト HTMLCharset	○	○	○	○	半角	—	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	—	経過リッチテキスト挿入ファイル	○■	○■	○■	○■	ファイル名	100	P35	P35	P35	P35	P13	P13	P13	P13	P13
	—	経過リッチテキストファイル名	○■	○■	○■	○■	全半角 3	4000	P35	P35	P35	P35	P13	P13	P13	P13	P13
	—	経過リッチテキスト Content-ID	○■	○■	○■	○■	全半角 3	4000	P35	P35	P35	P35	P13	P13	P13	P13	P13
	FROM※8	経過 FROM	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	TO※8	経過 TO	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	CC※8	経過 CC	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	4000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	数値テキスト 1※8	経過数値テキスト 1	○■	○■	○■	○■	数値※7	12	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	数値テキスト 2※8	経過数値テキスト 2	○■	○■	○■	○■	数値※7	12	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	計算用数値テキスト 1※8	経過計算用数値テキスト 1	○■	○■	○■	○■	数値※7	12	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	計算用数値テキスト 2※8	経過計算用数値テキスト 2	○■	○■	○■	○■	数値※7	12	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	計算用数値テキスト 3※8	経過計算用数値テキスト 3	○■	○■	○■	○■	数値※7	12	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	日付テキスト 1※8	経過日付テキスト 1	○■	○■	○■	○■	日付※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	日付テキスト 2※8	経過日付テキスト 2	○■	○■	○■	○■	日付※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	時刻テキスト 1※8	経過時刻テキスト 1	○■	○■	○■	○■	時刻※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	時刻テキスト 2※8	経過時刻テキスト 2	○■	○■	○■	○■	時刻※7	—	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2
	添付ファイル※8	経過添付ファイル	○■	○■	○■	○■	ファイル名※7	100	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2

ブロック 名称	画面項目名	フィールド名	モード 指定可否				指定形式	制限値	指定値								
			113	114	115	116			未指定				指定不正				
									113	114	115	116	113	114	115	116	
	日時テキスト日付 1※8	経過日時テキスト日付 1	○■	○■	○■	○■	日付※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	日時テキスト時刻 1※8	経過日時テキスト時刻 1	○■	○■	○■	○■	時刻※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類1-1※8	経過マルチ2連分類 1-1	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 1- 2A※8	経過マルチ2連分類 1-2A	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 1- 2B※8	経過マルチ2連分類 1-2B	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 1- 2C※8	経過マルチ2連分類 1-2C	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 1- 2D※8	経過マルチ2連分類 1-2D	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類2-1※8	経過マルチ2連分類 2-1	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 2- 2A※8	経過マルチ2連分類 2-2A	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 2- 2B※8	経過マルチ2連分類 2-2B	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 2- 2C※8	経過マルチ2連分類 2-2C	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マルチ2連分類 2- 2D※8	経過マルチ2連分類 2-2D	○■	○■	○■	○■	分類名※7	—	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31	P31
	マークダウン1※8	経過マークダウン 1	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	128000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	マークダウン2※8	経過マークダウン 2	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	128000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	マークダウン3※8	経過マークダウン 3	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	128000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	マークダウン4※8	経過マークダウン 4	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	128000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4
	マークダウン5※8	経過マークダウン 5	○■	○■	○■	○■	全半角 3※7	128000	P2	P2	P2	P2	P4	P4	P4	P4	P4

※1～10の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	レコードがイベント管理に登録されます。
※2	「経過追加対象画面 ID」項目が未指定の場合、全てのプロセスに対して経過追加することが可能です。不正の場合は経過は追加されません。レコードがイベント管理に登録されます。
※3	「経過追加対象画面 ID」と「経過追加条件」に指定された画面 ID が異なる場合、経過は追加されません。レコードがイベント管理に登録されます。
※4	<データ種別 (内部) . 該当レコードの内部登録番号 (insert_no) . 32 桁 GUID@SMTP サーバー名>のフォーマットで指定してください。
※5	詳細は「※10 自動経過追加機能(登録モードの指定値が「115」および「116」)」、「登録モード「115」」と「登録モード「116」」の説明を参照してください。
※6	管理者メニューの制御情報の「イベント連携(113、114、115、116 モード)経過追加時のエスカレーション情報更新設定」項目によりエスカレーション情報を更新できるか、更新できないかを設定できます。
※7	指定した値に外字が含まれている場合、その外字は空値に置換されて登録されます。

注意事項	説明
※8	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。
※9	SEN からのイベント連携機能でデータを登録/更新する場合、複数経過追加する際、経過リッチテキスト HTML ファイル項目を指定しないでください。 指定した場合、データを登録/更新することができません。
※10	この上限値は指定された情報をエスケープ処理した後のサイズとなります。記号等を含む場合には余裕を持って指定してください。 指定したファイルのサイズが上限を超えた場合、該当項目は登録及び更新されません。

1.3.8 データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe)

データ出力コマンドにおける、検索条件ファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

以下表の「複数指定可否」欄は、複数指定可能項目を「○」、複数指定不可項目を「×」で記載します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

1. プロセス管理

項番	検索条件名	複数指定可否	検索値
1	システム	○	システム名を指定します。
2	ステータス	○	ステータスを指定します。
3	ステータス条件	×	「以外」のみ指定可能です。それ以外の文字列や空文字列は指定していないものとします。ステータスが指定されていない場合も同様です。
4	問合せ状況	○	問合せ状況指定します。
5	問合せ状況条件	×	「以外」のみ指定可能です。それ以外の文字列や空文字列は指定していないものとします。ステータスが指定されていない場合も同様です。
6	サブステータス	○	サブステータス指定します。
7	サブステータス条件	×	「以外」のみ指定可能です。それ以外の文字列や空文字列は指定していないものとします。ステータスが指定されていない場合も同様です。
8	起票日時 (From)	×	起票日時 (From) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
9	起票日時 (To)	×	起票日時 (To) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
10	クローズ日時 (From)	×	クローズ日時 (From) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
11	クローズ日時 (To)	×	クローズ日時 (To) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
12	最終更新日時 (From)	×	最終更新日時 (From) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
13	最終更新日時 (To)	×	最終更新日時 (To) を YYYYMMDDhhmmss 形式で指定します。
14	種別	○	種別を指定します。
15	インパクト	○	インパクトを指定します。
16	緊急度	○	緊急度を指定します。
17	優先度	○	優先度を指定します。
18	ラジオボタン 1	○	ラジオボタン 1 の項目を指定します。
19	ラジオボタン 2	○	ラジオボタン 2 の項目を指定します。
20	コンボボックス 1	○	コンボボックス 1 の項目を指定します。
21	コンボボックス 2	○	コンボボックス 2 の項目を指定します。
22	コンボボックス 3	○	コンボボックス 3 の項目を指定します。
23	コンボボックス 4	○	コンボボックス 4 の項目を指定します。
24	コンボボックス 5	○	コンボボックス 5 の項目を指定します。
25	コンボボックス 6	○	コンボボックス 6 の項目を指定します。

項番	検索条件名	複数指定可否	検索値
26	コンボボックス 7	○	コンボボックス 7 の項目を指定します。
27	コンボボックス 8	○	コンボボックス 8 の項目を指定します。
28	コンボボックス 9	○	コンボボックス 9 の項目を指定します。
29	コンボボックス 10	○	コンボボックス 10 の項目を指定します。
30	コンボボックス 11	○	コンボボックス 11 の項目を指定します。
31	コンボボックス 12	○	コンボボックス 12 の項目を指定します。
32	コンボボックス 13	○	コンボボックス 13 の項目を指定します。
33	コンボボックス 14	○	コンボボックス 14 の項目を指定します。
34	コンボボックス 15	○	コンボボックス 15 の項目を指定します。
35	コンボボックス 16	○	コンボボックス 16 の項目を指定します。
36	コンボボックス 17	○	コンボボックス 17 の項目を指定します。
37	コンボボックス 18	○	コンボボックス 18 の項目を指定します。
38	コンボボックス 19	○	コンボボックス 19 の項目を指定します。
39	コンボボックス 20	○	コンボボックス 20 の項目を指定します。
40	コンボボックス 21	○	コンボボックス 21 の項目を指定します。
41	コンボボックス 22	○	コンボボックス 22 の項目を指定します。
42	コンボボックス 23	○	コンボボックス 23 の項目を指定します。
43	コンボボックス 24	○	コンボボックス 24 の項目を指定します。
44	コンボボックス 25	○	コンボボックス 25 の項目を指定します。
45	コンボボックス 26	○	コンボボックス 26 の項目を指定します。
46	コンボボックス 27	○	コンボボックス 27 の項目を指定します。
47	コンボボックス 28	○	コンボボックス 28 の項目を指定します。
48	コンボボックス 29	○	コンボボックス 29 の項目を指定します。
49	コンボボックス 30	○	コンボボックス 30 の項目を指定します。
50	コンボボックス 31	○	コンボボックス 31 の項目を指定します。
51	コンボボックス 32	○	コンボボックス 32 の項目を指定します。
52	コンボボックス 33	○	コンボボックス 33 の項目を指定します。
53	コンボボックス 34	○	コンボボックス 34 の項目を指定します。
54	コンボボックス 35	○	コンボボックス 35 の項目を指定します。
55	コンボボックス 36	○	コンボボックス 36 の項目を指定します。
56	コンボボックス 37	○	コンボボックス 37 の項目を指定します。
57	コンボボックス 38	○	コンボボックス 38 の項目を指定します。
58	コンボボックス 39	○	コンボボックス 39 の項目を指定します。
59	コンボボックス 40	○	コンボボックス 40 の項目を指定します。
60	コンボテキスト 1	○	コンボテキスト 1 の項目を指定します。
61	コンボテキスト 2	○	コンボテキスト 2 の項目を指定します。
62	大分類	○	大分類を指定します。
63	中分類	○	中分類を指定します。
64	小分類	○	小分類を指定します。
65	2 連分類 1-1	○	2 連分類 1-1 を指定します。

項番	検索条件名	複数指定可否	検索値
66	2 連分類 1-2	○	2 連分類 1-2 を指定します。
67	2 連分類 2-1	○	2 連分類 2-1 を指定します。
68	2 連分類 2-2	○	2 連分類 2-2 を指定します。
69	3 連分類 1-1	○	3 連分類 1-1 を指定します。
70	3 連分類 1-2	○	3 連分類 1-2 を指定します。
71	3 連分類 1-3	○	3 連分類 1-3 を指定します。
72	3 連分類 2-1	○	3 連分類 2-1 を指定します。
73	3 連分類 2-2	○	3 連分類 2-2 を指定します。
74	3 連分類 2-3	○	3 連分類 2-3 を指定します。
75	5 連分類 1-1	○	5 連分類 1-1 を指定します。
76	5 連分類 1-2	○	5 連分類 1-2 を指定します。
77	5 連分類 1-3	○	5 連分類 1-3 を指定します。
78	5 連分類 1-4	○	5 連分類 1-4 を指定します。
79	5 連分類 1-5	○	5 連分類 1-5 を指定します。
80	5 連分類 2-1	○	5 連分類 2-1 を指定します。
81	5 連分類 2-2	○	5 連分類 2-2 を指定します。
82	5 連分類 2-3	○	5 連分類 2-3 を指定します。
83	5 連分類 2-4	○	5 連分類 2-4 を指定します。
84	5 連分類 2-5	○	5 連分類 2-5 を指定します。
85	運用日付 (From)	×	運用日付 (From) を YYYYMMDD 形式で指定します。
86	運用日付 (To)	×	運用日付 (To) を YYYYMMDD 形式で指定します。



分類項目を検索条件に指定する場合、最上位の分類から指定する必要があります。

仕様補足

最上位から指定されていない場合、検索条件の対象外になります。



検索条件名に同名の「条件」がつくもの（例えば「ステータス」と「ステータス条件」）は対になっています。

仕様補足

条件側には「以外」を設定すれば対になる検索条件名に設定した検索値以外のデータを検索します。



検索条件は Web 画面のラベル項目に連動していますが、「条件」「(From)」「(To)」は固定名称となるため、変更することはできません。

仕様補足



検索条件名のみ記述してあり、検索値が記述していない項目は検索条件から無視されます。

仕様補足



仕様補足

指定可能フィールド以外の検索条件名を指定した場合には無視されます。



仕様補足

コード項目、分類項目に指定された値がデータベースのデータに存在しない場合には、データが存在しない旨が出力され無視されます。



仕様補足

運用日付 (From)、運用日付 (To) が以下条件の場合、無視されます。

- ・ “-e” オプションを指定しない場合
- ・ “-T” オプション指定時、マッピングアイテムファイル内に SSA 情報が指定されていない場合



仕様補足

検索条件の「システム」項目が指定されていない場合、
検索条件の「コード」項目及び「分類」項目では
「全システム共通」に所属している値のみ指定可能となります。

1.3.9 マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteMst.exe)

マスタ削除コマンドにおける、削除対象ファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否 削除	指定値			
				指定形式	制限値	未指定 削除	指定不正 削除
システム※1	システム名	1	◎	全システム名	—	P1	P1
組織※1	組織名	2	◎	組織名	—	P1	P1
チーム※1	チーム名	3	◎	チーム名	—	P1	P1
グループ※1	グループ名	4	◎	グループ名	—	P1	P1

※1の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」が画面項目名となります。

1.3.10 分類マスタ削除コマンド (sjSPU_DeleteCat.exe)

分類マスタ削除コマンドにおける、削除対象ファイルに指定可能なフィールドの一覧を以下に示します。

各記号の意味については「1.3.1 凡例」をご参照ください。

画面項目名	フィールド名	指定 順序	モード 指定可否 削除	指定値			
				指定形式	制限値	未指定 削除	指定不正 削除
画面名※4	画面 ID	1	◎	画面 ID	※1	P1	P1
分類種別※4	分類種別名	2	◎	分類種別名	※1	P1	P1
システム※4	システム名	3	◎	全システム名	—	P1	P1
(分類-1)分類名	分類-1 の名称	4	○	分類名	—	※2	P1
(分類-2)分類名	分類-2 の名称	5	○	分類名	—	※3	P1
(分類-3)分類名	分類-3 の名称	6	○	分類名	—	※3	P1
(分類-4)分類名	分類-4 の名称	7	○	分類名	—	※3	P1
(分類-5)分類名	分類-5 の名称	8	○	分類名	—	※3	P1



仕様補足

以前のバージョンの削除対象ファイルを読み込んだ場合は自動的にファイルフォーマットの変換処理が行われます。
出力されたファイルの内容を確認して問題が無ければ、出力ファイルを使用して再実行してください。

※1～4 の詳細は以下一覧を参照してください。

注意事項	説明
※1	指定可能な画面 ID は分類マスタ登録コマンドと同一です。 詳細は分類マスタ登録コマンドの「1.2.4.5 指定可能フィールド」を参照してください。
※2	「分類-1 の名称」を未指定とした場合、 「分類種別名」に紐づく全ての分類が削除されます。 詳細は分類マスタ登録コマンドの「1.2.18.3 ファイルの説明」を参照してください。
※3	「分類-2 の名称」～「分類-5 の名称」を未指定とした場合、 未指定とした分類と、未指定として分類に紐づく分類全てが削除されます。 詳細は分類マスタ登録コマンドの「1.2.18.3 ファイルの説明」を参照してください。
※4	ラベル初期値です。 ※ラベルを変更した場合、ラベルマスタ管理画面で、現在項目名を「現在ラベル値」として検索し、検索結果の「初期値」

注意事項	説明
	が画面項目名となります。

1.4 旧コマンドリファレンス

本システムでは、Senju Service Manager に対してコマンドを発行することで、システムを制御することが可能です。



仕様補足

本章では Senju Service Manager バージョン 2013.0.0 以前のインシデント管理/サービス要求/問題管理/変更管理およびインシデント候補に対応したコマンドについて記載します。

プロセス管理/イベント管理に対応したコマンドについては「1.2 標準コマンドリファレンス」を参照してください。



仕様補足

本章に記載されている旧コマンドは従来との互換性のために残されており、将来廃止される可能性があります。

代わりに「1.2 標準コマンドリファレンス」に記載されているコマンドを使用してください。

1.4.1 イベント送信コマンド (sjSPX_SendEvent.exe)

イベント送信コマンドは、SSM DB サーバーへインシデント管理/インシデント候補の各レコードをイベントとして送信して登録を実施します。イベント送信コマンドを使用して、インシデント管理/インシデント候補の各レコードを登録する場合は、SSMDB サーバーコンフィグレータで「イベント連携」の設定が行われている必要があります。



注意事項

イベント送信コマンド (sjSPU_sendEvent) は将来廃止される可能性があります。プロセスやイベントなどのデータを登録する場合は、データ登録コマンド (sjSPU_ImportData) または Senju Enterprise Navigator をご利用いただくことを強く推奨します。

1.4.1.1 使用方法

動作環境

本コマンドは SS MDB サーバーまたは SSM サテライトで実行します。
コマンドモジュールは以下に格納されています。
SSMDB サーバーで実行する場合 : %CCFSPDBHOME%bin¥
SSM サテライトを利用して実行する場合 : %SSMSTHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

イベント送信モード

sjSPX_SendEvent.exe△-E△-s△SSM DB サーバー名△-f△フォルダ名△-c△クラス名△
-v△フィールド名フィールド値… [-help]

ファイルモード

sjSPX_SendEvent△-F△ファイル名△-s SSM DB サーバー名△-f△フォルダ名△
[-r 送信種別]△[-help]

オプション

- **-E | -F** ファイル名
送信モードを設定します。
-E を指定するとコマンドシーケンスに記述された 1 つのイベントを送信するイベント送信モード(以下イベント送信モード)に、-F を指定

するとファイルに記述された複数のイベントを一括して送信する一括送信モード(以下ファイルモード)になります。第1引数にはいずれかを指定してください。省略した場合は **Usage** が表示されます。

ファイルモードの場合 **-F** オプションの後に読み込み対象ファイル名(以下コマンドシーケンス定義ファイル)をフルパスで指定してください。コマンドシーケンス定義ファイルとは、イベント送信モードのコマンドシーケンスが1行毎に記載されているテキスト形式のファイルです。以下、コマンドシーケンス定義ファイルの例を示します。

(例) コマンドシーケンス定義ファイル

```
sjSPX_SendEvent -E -c インシデント候補 -v "システム名" "NRI" ...
sjSPX_SendEvent -E -c インシデント候補 -v "タイトル" "問合せ(営業)" ...
sjSPX_SendEvent -E -c インシデント -v "タイトル" "問合せ(技術)" ...
```

※ コマンドシーケンス定義ファイル内に記述するコマンドシーケンスには、**-f**、**-s**、**-r** オプションの指定は不要です。

※ ファイルモードの場合、インシデントとインシデント候補を、同一ファイル内に記述することが可能です。

- **SSM DB サーバー名**

SSM DB サーバーのホスト名または IP アドレスを指定します。

省略できません。

- **フォルダ名**

クラス定義ファイルが格納されたフォルダをフルパスで指定します。

省略できません。

- **クラス名(イベント送信モードのみ)**

イベントクラス名を指定します。

※指定できるクラス名は、「インシデント」、「インシデント候補」です。

ファイルモードの場合には、コマンドシーケンス定義ファイル内の各コマンドシーケンスに指定してください。

- **フィールド名・フィールド値(イベント送信モードのみ)**

イベントのフィールド名と値を指定します。フィールド名とフィールド値は必ず対で指定します。省略したフィールドは、フィールドの型が文字列型ならば空文字列が、数値型ならば **0** が設定されます。

イベントにファイルを添付して送信する場合は、以下を指定します。

(例) **-v** "添付ファイル名" "c:¥app¥app.log"

※添付ファイルはフルパスで指定してください。

ファイルモードの場合には、コマンドシーケンス定義ファイル内の各コマンドシーケンスに指定してください。

- **送信種別 (ファイルモードのみ)**
ファイルモードにて一括送信する際に、送信するコマンドシーケンス群の一部にエラーがあった場合の動作を指定します。interrupt と continue が指定でき、interrupt はエラーのコマンドシーケンスを含め残りすべてをエラーとします。continue はエラーのコマンドシーケンスのみをエラーとし、他のコマンドシーケンスは実行されます。
- **--help**
Usage を表示します。



仕様補足

イベント送信コマンドで指定可能なフィールドについては、「1.4.1.3 指定可能フィールド情報」を参照してください。



仕様補足

イベント送信コマンドに指定する引数には、タブ文字・改行コードは使用できません。



仕様補足

イベント送信コマンドで、-v オプションに同じフィールド名を 2 つ以上指定した場合は最後に指定した値が有効となります。



仕様補足

イベント送信コマンドで送信可能な添付ファイル数は 1 つ、添付ファイル上限値は 5MB です。



仕様補足

イベント送信コマンドは、全体の文字列(コマンド名も含めて)が 2047Byte までサポートしています。



操作説明

SSM DB サーバー以外のノードからイベント送信コマンドを実行する手順については、ユーザーズガイド「運用ガイド」を参照してください。



補助設定

SSMDB サーバーの場合、
クラス定義ファイルは「%CCFSPDBHOME%dat¥class」に格納されています。
SSM サテライトの場合、
クラス定義ファイルは「%SSMSTHOME%dat¥class」に格納されています。

1.4.1.2 実行結果の確認

イベント送信コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

(例) イベント送信モード

```
C:¥TEMP>sjSPX_SendEvent -E -s ServerName -f "C:¥TEMP" -c インシデント候補  
-v "システム名" "NRI" -v "タイトル" "問合せ(技術)"  
送信に成功しました。(sjSPX_SendEvent -E -s ServerName -f "C:¥TEMP" -c イン  
シデント候補 -v "システム名" "NRI" -v "タイトル" "問合せ(技術)")  
C:¥TEMP>
```

(例) ファイルモード

以下ファイルモードの実行結果例は、オプションの項で示したコマンドシーケンス定義ファイルを指定しています。

```
C:¥TEMP>sjSPX_SendEvent -F .¥CommandSequenceDefine.txt -s ServerName -f "."  
-r interrupt  
送信に成功しました。(sjSPX_SendEvent -E -s ServerName -f "." -c インシデント候補  
-v "システム名" "NRI")  
送信に成功しました。(sjSPX_SendEvent -E -s ServerName -f "." -c インシデント候補  
-v "タイトル" "問合せ(営業)")  
送信に成功しました。(sjSPX_SendEvent -E -s ServerName -f "." -c インシデント候補  
-v "タイトル" "問合せ(技術)")  
C:¥TEMP>
```

イベント送信コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	出力	内容
0	送信に成功しました。	イベントが送信完了し、処理を終了しました。
	コマンドオプションの指定に誤りがあります。 (ユーザー指定値)	不正なコマンドオプションが指定されました。
	イベント連携デーモンが指定されていません。	イベント連携デーモンが指定されていません。
	イベント連携デーモン名は 31 文字以内で指定してください。 (ユーザー指定値)	指定されたイベント連携デーモン名が長過ぎます。
	イベント連携デーモンが見つかりません。 (ユーザー指定値)	指定したイベント連携デーモンが見つかりません。
	イベント連携デーモンに接続できません。[追加情報] (ユーザー指定値)	指定した送信待ち時間内に送信処理が完了しませんでした。 CCFSP Process Manager が起動していない、または送信元のソケット資源を使い切っている可能性があります。
	クラス定義ファイルのフォルダ名が指定されていません。	クラス定義ファイルのフォルダ名が指定されていません。
	クラス名が指定されていません。	送信するイベントのクラス名が指定されていません。
	フィールド「ユーザー指定値」はクラス「ユーザー指定値」のメンバではありません。	指定したフィールド名が指定したクラスのフィールドではありません。
	フィールド「ユーザー指定値」の定義がディレクトリ「ユーザー指定値」からみつきませんでした。	指定したフィールドの定義が指定したディレクトリ内に見つきません。
	クラス「ユーザー指定値」の定義がディレクトリ「ユーザー指定値」からみつきませんでした。	指定したクラスの定義が指定したディレクトリ内に見つきません。
コマンドシーケンス定義ファイルの読込に失敗しました。	指定したコマンドシーケンス定義ファイルが不正です。	

イベント送信コマンドの実行するストアードプロシージャの戻り値は以下になります。
 ストアードプロシージャの処理結果は以下のファイルに出力されます。

%CCFSPDBHOME%log¥sjSPX_EventRcvd_raw_U*.log *はローテーション番号

戻り値	ステータス
0	正常終了
1	警告終了:存在しないイベント連携データ (取込対象データが存在しないため取り込まれませんでした)
2	データ変換に失敗したデータあり (一部不正な項目を自動修正して、取り込みました)
-1~-99999	データベースエラー(ORACLE エラーコードが設定されます)
-100001	パラメータエラー
-100002	必須項目未取得(変換失敗)エラー
-100003	イベント連携データ不正エラー

1.4.1.3 指定可能フィールド情報

イベント送信コマンドで指定可能なフィールドの情報を示します。

イベント送信コマンドのフィールド名には、「フィールド名」を指定します。

「連携指定可否」欄は、「○」指定可、「×」指定不可、「◎」必須指定で表記します。

1. インシデント管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
基本情報	インシデント ID	○	インシデント ID	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。
	ステータス	○	ステータス	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"新規"で登録されます。
	サブステータス	○	サブステータス	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	◎ 必須	システム名	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、インシデントは取り込まれません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	タイトル	○	タイトル	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。 また、未設定の場合は、"(no name)"と設定されます。
	クローズ期限日	○	対応期限日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ期限時刻	○	対応期限時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (エスカレーション履歴)	①起票者	◎	起票者	ユーザー管理のユーザーID を指定します。値を指定しない、または存在しない 値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。
	②対応先	必須		
エスカレーション情報 (エスカレーション履歴)	①エスカレーション	◎	エスカレーション先名	ユーザー管理のユーザーID を指定します。1件も値を指定しない場合、または 存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。
	②対応先	必須		
エスカレーション情報 (エスカレーション履歴)	対応元	○	エスカレーション元名	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない名称を指定した場合、未 設定で登録されます。
	コメント	○	エスカレーションコメント	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
分類情報	種別	○	種別	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	インパクト	○	インパクト	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	緊急度	○	緊急度	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	優先度	○	優先度	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	大分類	○	大分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	中分類	○	中分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	小分類	○	小分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
詳細情報	キーワード	○	キーワード	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	インシデント内容	○	インシデント内容	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	影響範囲	○	影響範囲	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	原因	○	原因	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ワークアラウンド及び結果	○	ワークアラウンド及び結果	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	対応及び結果	○	対応及び結果	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	起票日	○	起票日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	○	起票時刻	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	発生日	○	発生日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	発生時刻	○	発生時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付日	○	受付日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	○	受付時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報日	○	速報日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報時刻	○	速報時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
復旧日	○	復旧日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	復旧時刻	○	復旧時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ日	○	クローズ日	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	クローズ時刻	○	クローズ時刻	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、hhmm 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者 ②クローズ者	○	クローズ者	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。
(クローズ)	クローズ種別	○	クローズ種別	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、存在しない名称を指定した場合、インシデントは取り込まれません。
	クローズ理由	○	クローズ理由	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
社外申請者情報	会社名	○	申請者会社名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	○	申請者組織名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	○	申請者氏名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	○	申請者氏名カナ	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	○	申請者電話番号	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	○	申請者メールアドレス	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報	備考	○	備考	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	参考 URL	○	参考 URL	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	○	付加情報添付ファイル名	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。
社内申請者情報	社員番号	○	社内申請者社員番号	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	○	社内申請者氏名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	○	社内申請者氏名カナ	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	○	社内申請者会社名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	○	社内申請者組織名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	○	社内申請者役職	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	○	社内申請者内線番号	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号 1	○	社内申請者電話番号 1	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号 2	○	社内申請者電話番号 2	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	○	社内申請者 FAX	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	○	社内申請者携帯電話番号	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 1	○	社内申請者メールアドレス 1	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 2	○	社内申請者メールアドレス 2	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
エクステンション情報	選択ユーザー1	○	選択ユーザー1	社員番号を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	選択ユーザー2	○	選択ユーザー2	社員番号を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録され ます。
	関連構成アイテム	○	関連構成アイテム	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	関連アカウント	○	関連アカウント	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	テキスト1	○	テキスト1	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト2	○	テキスト2	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト3	○	テキスト3	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト4	○	テキスト4	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア1	○	テキストエリア1	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア2	○	テキストエリア2	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア3	○	テキストエリア3	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア4	○	テキストエリア4	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン1	○	ラジオボタン1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン2	○	ラジオボタン2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス1	○	コンボボックス1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス2	○	コンボボックス2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス3	○	コンボボックス3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス4	○	コンボボックス4	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-1	○	2 連分類 1-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-2	○	2 連分類 1-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-1	○	2 連分類 2-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	○	2 連分類 2-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	○	3 連分類 1-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	○	3 連分類 1-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	○	3 連分類 1-3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	○	3 連分類 2-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	○	3 連分類 2-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	○	3 連分類 2-3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト1-コンボボックス	○	コンボテキスト1-コンボボックス	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト1-テキスト	○	コンボテキスト1-テキスト	「コンボテキスト1-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録され ます。 「コンボテキスト1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字 は切り捨てられます。
	コンボテキスト2-コンボボックス	○	コンボテキスト2-コンボボックス	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト2-テキスト	○	コンボテキスト2-テキスト	「コンボテキスト2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録され ます。 「コンボテキスト2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は 切り捨てられます。
	日付テキスト1	○	日付1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト2	○	日付2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	時刻テキスト 1	○	時刻 1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 2	○	時刻 2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	○	数値 1	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	○	数値 2	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 1	○	対応予定日 1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 1	○	対応予定時刻 1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 2	○	対応予定日 2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 2	○	対応予定時刻 2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 3	○	対応予定日 3	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 3	○	対応予定時刻 3	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 4	○	対応予定日 4	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 4	○	対応予定時刻 4	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 5	○	対応予定日 5	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 5	○	対応予定時刻 5	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 1	○	対応実績日 1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 1	○	対応実績時刻 1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 2	○	対応実績日 2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 2	○	対応実績時刻 2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 3	○	対応実績日 3	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 3	○	対応実績時刻 3	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 4	○	対応実績日 4	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 4	○	対応実績時刻 4	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
対応実績日 5	○	対応実績日 5	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
対応実績時刻 5	○	対応実績時刻 5	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	ラージテキスト 1	×	ラージテキスト 1	ラージテキスト 1 は登録できません。
経過情報	タイトル	○	経過タイトル	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応日付	○	経過対応日付	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応時刻	○	経過対応時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応者	○	経過対応者	ユーザーマスタ管理のユーザーID を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	対応先	○	経過対応先	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	チャンネル	○	経過チャンネル	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合、インシデントは取り込まれません。指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	○	経過内容	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	経過色(チェック)	○	経過色	経過のチェックを付けたい場合は引数に"red"を指定します。
経過エクステンション情報	添付ファイル名	○	経過添付ファイル名	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。
	テキスト 1	○	経過テキスト 1	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	テキスト 2	○	経過テキスト 2	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	○	経過テキスト 3	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	○	経過テキスト 4	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	○	経過テキストエリア 1	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	○	経過テキストエリア 2	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	○	経過テキストエリア 3	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	○	経過テキストエリア 4	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボボックス 1	○	経過コンボボックス 1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	○	経過コンボボックス 2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	○	経過コンボボックス 3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	○	経過コンボボックス 4	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 1	○	経過日付 1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 2	○	経過日付 2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 1	○	経過時刻 1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 2	○	経過時刻 2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	○	経過数値 1	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	○	経過数値 2	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
—	—	○	登録者	ユーザー管理のユーザーID を指定します。インシデントを登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
(インシデント候補振分)	送信者<上段>	×	送信者名	送信者名は登録できません。
	送信者<下段>	×	送信者アドレス	送信者アドレスは登録できません。

2. インシデント候補

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指 定可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
基本情報	インシデント ID	○	インシデント ID	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。
	ステータス	×	ステータス	ステータスは登録できません。
	サブステータス	○	サブステータス	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	○	システム名	存在しないシステム名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	タイトル	○	タイトル	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。 また、未設定の場合は、"(no name)"と設定されます。
	クローズ期限日	○	対応期限日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ期限時刻	○	対応期限時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (エスカレーション履歴)	①起票者	○	起票者	ユーザー管理のユーザーID を指定します。値を指定しない、または存在しない 値を指定した場合、未設定で登録されます。
	①エスカレーション ②対応先	×	エスカレーション先名	エスカレーション先名は登録できません。
エスカレーション情報 (エスカレーション履歴)	対応元	×	エスカレーション元名	エスカレーション元名は登録できません。
	コメント	×	エスカレーションコメント	エスカレーションコメントは登録できません。
分類情報	種別	○	種別	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	インパクト	○	インパクト	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	緊急度	○	緊急度	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	優先度	○	優先度	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	大分類	○	大分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	中分類	○	中分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	小分類	○	小分類	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	キーワード	○	キーワード	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
詳細情報	インシデント内容	○	インシデント内容	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	影響範囲	○	影響範囲	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	原因	○	原因	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ワークアラウンド及び結果	○	ワークアラウンド及び結果	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応及び結果	○	対応及び結果	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	起票日	○	起票日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	○	起票時刻	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	発生日	○	発生日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指 定可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	発生時刻	○	発生時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付日	○	受付日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	○	受付時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報日	○	速報日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報時刻	○	速報時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	復旧日	○	復旧日	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	復旧時刻	○	復旧時刻	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ日	×	クローズ日	クローズ日は登録できません。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	クローズ時刻	×	クローズ時刻	クローズ時刻は登録できません。
	①クローズ者 ②クローズ者	×	クローズ者	クローズ者は登録できません。
(クローズ)	クローズ種別	×	クローズ種別	クローズ種別は登録できません。
	クローズ理由	×	クローズ理由	クローズ理由は登録できません。
社外申請者情報	会社名	○	申請者会社名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	○	申請者組織名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	○	申請者氏名	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	○	申請者氏名カナ	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	○	申請者電話番号	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	○	申請者メールアドレス	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報	備考	○	備考	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	参考 URL	○	参考 URL	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	○	付加情報添付ファイル名	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。
社内申請者情報	社員番号	○	社内申請者社員番号	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	○	社内申請者氏名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	○	社内申請者氏名カナ	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	○	社内申請者会社名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	○	社内申請者組織名	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	○	社内申請者役職	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	○	社内申請者内線番号	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号 1	○	社内申請者電話番号 1	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号 2	○	社内申請者電話番号 2	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	○	社内申請者 FAX	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	○	社内申請者携帯電話番号	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 1	○	社内申請者メールアドレス 1	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 2	○	社内申請者メールアドレス 2	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
エクステンション情報	選択ユーザー1	○	選択ユーザー1	社員番号を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。
	選択ユーザー2	○	選択ユーザー2	社員番号を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されま す。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指 定可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	関連構成アイテム	○	関連構成アイテム	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	関連アカウント	○	関連アカウント	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	テキスト1	○	テキスト1	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト2	○	テキスト2	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト3	○	テキスト3	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト4	○	テキスト4	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア1	○	テキストエリア1	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア2	○	テキストエリア2	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア3	○	テキストエリア3	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア4	○	テキストエリア4	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン1	○	ラジオボタン1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン2	○	ラジオボタン2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス1	○	コンボボックス1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス2	○	コンボボックス2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス3	○	コンボボックス3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス4	○	コンボボックス4	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-1	○	2 連分類 1-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-2	○	2 連分類 1-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-1	○	2 連分類 2-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	○	2 連分類 2-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	○	3 連分類 1-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	○	3 連分類 1-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	○	3 連分類 1-3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	○	3 連分類 2-1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	○	3 連分類 2-2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	○	3 連分類 2-3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト1-コンボボックス	○	コンボテキスト1-コンボボックス	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト1-テキスト	○	コンボテキスト1-テキスト	「コンボテキスト1-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されま す。 「コンボテキスト1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字 は切り捨てられます。
	コンボテキスト2-コンボボックス	○	コンボテキスト2-コンボボックス	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト2-テキスト	○	コンボテキスト2-テキスト	「コンボテキスト2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されま す。 「コンボテキスト2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字 は切り捨てられます。
	日付テキスト1	○	日付1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト2	○	日付2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト1	○	時刻1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト2	○	時刻2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指 定可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	数値テキスト1	○	数値1	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト2	○	数値2	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日1	○	対応予定日1	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻1	○	対応予定時刻1	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日2	○	対応予定日2	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻2	○	対応予定時刻2	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日3	○	対応予定日3	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻3	○	対応予定時刻3	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日4	○	対応予定日4	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻4	○	対応予定時刻4	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日5	○	対応予定日5	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻5	○	対応予定時刻5	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日1	○	対応実績日1	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻1	○	対応実績時刻1	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日2	○	対応実績日2	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻2	○	対応実績時刻2	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日3	○	対応実績日3	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻3	○	対応実績時刻3	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日4	○	対応実績日4	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻4	○	対応実績時刻4	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
対応実績日5	○	対応実績日5	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
対応実績時刻5	○	対応実績時刻5	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
ラージテキスト1	×	ラージテキスト1	ラージテキスト1は登録できません。	
経過情報	タイトル	○	経過タイトル	半角81桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応日付	○	経過対応日付	YYYYMMDD以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応時刻	○	経過対応時刻	hhmmもしくはhhmmss以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応者	○	経過対応者	ユーザーマスタ管理のユーザーIDを指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	対応先	○	経過対応先	半角61桁以上の文字は切り捨てられます。
	チャンネル	○	経過チャンネル	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合、インシデント候補は取り込まれません。指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	○	経過内容	半角4001桁以上の文字は切り捨てられます。
	経過色(チェック)	○	経過色	経過のチェックを付けたい場合は引数に"red"を指定します。
添付ファイル名	○	経過添付ファイル名	添付ファイルのサイズが0バイトの場合、取り込まれません。	
経過エクステンション情報	テキスト1	○	経過テキスト1	半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト2	○	経過テキスト2	半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト3	○	経過テキスト3	半角101桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指 定可否	連携指定 項目名	値設定時の制限事項
	テキスト 4	○	経過テキスト 4	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	○	経過テキストエリア 1	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	○	経過テキストエリア 2	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	○	経過テキストエリア 3	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	○	経過テキストエリア 4	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボボックス 1	○	経過コンボボックス 1	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	○	経過コンボボックス 2	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	○	経過コンボボックス 3	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	○	経過コンボボックス 4	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 1	○	経過日付 1	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 2	○	経過日付 2	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 1	○	経過時刻 1	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 2	○	経過時刻 2	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	○	経過数値 1	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	○	経過数値 2	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
—	—	○	登録者	ユーザー管理のユーザーID を指定します。インシデント候補を登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
(インシデント候補振分)	送信者<上段>	○	送信者名	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	送信者<下段>	○	送信者アドレス	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。



イベント送信コマンドでは、登録可能な経過の件数は 1 件です。

仕様補足



コード・分類の登録において同一名称のコード・分類が複数登録されている場合は、先に登録されている（登録日時の古い）データが登録されます。

仕様補足

1.4.2 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)

データ登録コマンドは、指定した案件種別のデータを Oracle Database / PostgreSQL Database サーバーへ一括して登録する場合に使用します。



仕様補足

要員管理/構成アイテム管理/アカウント管理/ユーザー管理の登録方法については、「1.2.5 データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe)」を参照してください。

1.4.2.1 使用方法

動作環境

本コマンドは SSMDB サーバーで実行します。
 コマンドモジュールは以下に格納されています。
 %CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_ImportData.exe△-c△案件種別名△-M△登録モード△-f△インポートファイル名△
 -T△定義ファイルフォルダ名△[-m△インポートファイル形式]△[--help]

オプション

- ・ **案件種別名**

登録する案件種別を指定します。コマンドの引数には「設定値」を指定してください。
 省略できません。
 指定できる案件種別名を以下に記載します。

案件種別名	設定値	サポート対象
インシデント管理	インシデント	○
インシデント候補	インシデント候補	○
サービス要求	サービス要求	○
問題管理	問題	○
変更管理	変更	○
構成管理	構成	○

 複数のサービス要求のレコード登録では、画面 ID によりどの画面にデータを登録するかを指定できません。登録する画面は、マッピングアイテムファイルに指定可能な「画面 ID」で指定します。「画面 ID」の設定値は、「1.1.2 画面 ID」を参照してください。

登録モード

指定した案件種別のデータをどのように一括登録するかを指定します。

コマンドの引数には「設定値」を指定してください。

以下に登録モードの動作内容とその設定値を記載します。

登録モード	動作内容	設定値
新規登録処理	指定した案件種別のレコードを全て新規登録します。	001
更新処理(追加)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目に追加登録されます。	101
更新処理(置換)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目が、指定した値で全て置き換えて登録されます。	102
経過情報追加登録処理 (データ重複可)	各レコードを特定するキー項目に従い、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.4.2.4 データ登録時の動作設定」を参照してください。	111
経過情報追加登録処理 (データ重複不可)	各レコードを特定するキー項目のうち、案件 ID のみをキー項目として、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合、またはキー項目にて重複するレコードが存在する場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.4.2.4 データ登録時の動作設定」を参照してください。	112

案件種別ごとに利用できる登録モードは異なります。

以下に各案件種別で指定可能な登録モードと、「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」を行う場合に対象のレコードを特定するための

キー項目、補足事項について記載します。

案件種別名	新規登録処理	更新処理 ※1		経過情報追加登録処理 ※1		対象案件を特定するためのキー項目		
		追加	置換	重複可	重複不可			
インシデント管理	○	×	×	○	×	インシデント ID	システム名	—
インシデント候補	○	×	×	×	×	—	—	—
サービス要求	○	×	○ ※2	○	×	サービス要求 ID	システム名	—
問題管理	○	×	×	○	×	問題 ID	システム名	—
変更管理	○	×	×	○	○ ※3	変更 ID	システム名	

【補足事項】

- ・ ※1 同一のキーとなるレコードが複数存在する場合は、全てのレコードが「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」の対象となります。
- ・ ※2 サービス要求の「更新処理」において対象レコードを特定するためのキー項目は「サービス要求 ID」のみになります。経過情報は更新できません。更新対象となるレコードが複数存在する場合には更新処理は行われません。更新対象となるレコードが存在しない場合には新規登録されます。但し、新規登録時の必須項目を指定する必要があります。
- ・ ※3 変更管理の「経過情報追加登録処理(重複不可)」において、対象レコードを特定するためのキー項目は「変更 ID」のみになります。追加登録対象となるレコードが複数存在する場合には経過情報追加登録処理は行われません。

・ インポートファイル名

インポートファイル名はインポート対象となるレコードが記述されたファイルのフルパスを指定します。

省略することはできません。

一度に指定できるファイルは1ファイルです。

例) インポートファイル

```
"Configuration1","構成アイテム 1","SSM 初期システム","有効",". . . . .
"Configuration2","構成アイテム 2","SSM 初期システム","無効",". . . . .
"Configuration3","構成アイテム 3","テストシステム","有効",". . . . .
"Configuration4","構成アイテム 4","SSM 初期システム","有効",". . . . .
"Configuration5","構成アイテム 5","テストシステム","有効",". . . . .
```

インポートファイルの詳細については、「**1.4.2.3 ファイルの説明**」を参照してください。

- **定義ファイルフォルダ名**

マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルが格納されているフォルダ名のパスを指定します。

マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルは、「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata」フォルダ下の同一フォルダに格納してください。

コマンドで指定する定義ファイルフォルダは、「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata」からの相対パスとなります。

マッピングアイテムファイルとマッピングルールファイルの詳細については、「**1.4.2.3 ファイルの説明**」を参照してください。

例) 定義ファイル格納フォルダを「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥def1」とした場合のオプション。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c "インシデント" -M 001 -f
"C:¥tool1ImpData.txt" -T "def1"
```

- **インポートファイル形式**

インポートファイルに記載するデータのフォーマットを指定します。

項目がダブルクォートで囲われた CSV ファイルの場合は 0 を指定してください。

項目がダブルクォートで囲われていない CSV ファイルの場合は 1 を指定してください。

この引数は省略可能です。省略された場合は「0:ダブルクォートあり」として動作します。「1:ダブルクォートなし」が指定された場合は項目に指定するデータに区切り文字に指定される文字（カンマまたはタブ）を含めることはできません。

- **--help**

Usage を表示します。



引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。

操作説明



データ登録コマンドから、「新規登録処理」及び「経過情報追加処理」で登録できる経過添付ファイル数は、1 経過情報につき 1 ファイルとなります。

仕様補足



インシデント候補を登録する場合は、経過情報を複数件登録することはできません。

仕様補足

1.4.2.2 実行結果

データ登録コマンドを実行すると、以下の様にコマンドの実行結果が表示されます。

例)

```
C:¥TEMP> sjSPU_ImportData.exe -c "インシデント" -M 001 -f "C:¥ImpData.txt" -T "def1"
処理が正常に終了しました。
C:¥TEMP>
```

データ登録コマンドは、処理結果により以下の終了コードを出力します。

終了コード	説明	状況
0	正常終了	・インポートファイル内の全てのレコードが取り込めた場合
1	異常終了	・引数や定義ファイルの内容、またはデータベースへの接続に異常がある場合 ・別のデータ登録コマンドで取り込み処理を実施している最中のインポートファイルを取り込み対象として指定した場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれません。
2	異常終了	・インポートファイル内のレコードに不備があり、取り込みに失敗した場合 この場合、不備のあったレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。詳細は「1.4.2.4 データ登録時の動作設定」を参照してください。
3	警告終了	・インポートファイル内の全てのレコードの取り込みを完了したが、一部データについて補完して取り込みを行った場合 ・Senju Service Manager 画面内で予め決められた値を選択する項目（プルダウン形式の項目等）は、その選択肢に存在しない値が指定された場合 この場合、インポートファイル内の全てのレコードが取り込まれますが、ログに警告を出力します。例えば、プルダウンの選択肢に存在しない設定値が指定されたために、デフォルト値が採用されて登録された案件が存在する場合は、警告終了となります。

終了 コード	説明	状況
		各項目のデフォルト値設定の詳細については、「1.4.2.8 指定可能フィールド情報」を参照してください。



仕様補足

正常終了・警告終了の場合は、インポート対象のレコードは全て取り込まれます。
 異常終了の場合は、インポート対象のレコードの一部または全てが取り込まれていない状態となります。
 インポートファイルの内容に不備があるために登録できなかったデータは、全件再登録対象ファイルへ出力されます。再登録対象ファイルについては、「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
 登録できなかったレコードを再登録する方法については、「1.4.2.5 再登録方法」を参照してください。

終了コードに対応した標準エラー出力メッセージを以下に記載します。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
0	処理が正常に終了しました。	データ登録コマンドが正常終了しました。	特にありません。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値またはエラー詳細)	不正なコマンドオプションが指定されました。	コマンドオプションの確認をしてください。 コマンドオプションの詳細については、「1.4.2.1 使用方法」を参照してください。
	DBとの接続に失敗しました。	DBとの接続に失敗しました。	データベースが起動しているか、データベースに接続できるかを確認してください。
	設定されたパスワードが規定桁数に達していません。	設定したユーザーのパスワード値が規定桁数に達していません。	インポートファイルのパスワード値を確認し、規定桁数に達するように変更をしてください。
	インポートファイルの読み込みに失敗しました。	インポート対象として設定されたファイルの読み込みに失敗しました。	インポートファイルの中身を確認してください。 インポートファイルについては、「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	インポートファイルに情報が存在しません。	インポート対象として指定されたファイルにデータが記述されていません。	引数で指定したインポートファイルの中身を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。 インポートファイルについては、「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	インポートファイルが存在しません。	インポート対象として指定されたファイルが存在しません。	引数で指定したインポートファイルの存在を確認してください。 引数で指定したインポートファイルのパスに誤りがないかを確認してください。 インポートファイルについては、「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルの読み込みに失敗しました。	マッピングアイテムファイルに設定されたフィールド名が不正なため読み込みに失敗し	引数で指定した定義ファイルフォルダ内のマッピングアイテムファイルの中身を確認してください。

終了コード	出力メッセージ	内容	対応
		ました。	マッピングアイテムファイルについて「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルに情報が存在しません。	マッピングアイテムファイル情報が存在しません。	引数で指定した定義ファイルフォルダ内のマッピングアイテムファイルの中身を確認してください。 マッピングアイテムファイルについて「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	マッピングアイテムファイルが存在しません。	マッピングアイテムファイルが存在しません。	引数で指定した定義ファイルフォルダの中身を確認してください。 引数で指定した定義ファイルフォルダのパスに誤りがないかを確認してください。 マッピングアイテムファイルについて「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
	クラス定義ファイルの読み込みに失敗しました。	クラス定義ファイルが存在しません。	「%CCFSPDBHOME%dat¥class¥」フォルダ下に「sj～」で始まる XML ファイルが存在するかを確認してください。
	指定されたインポートファイルは処理を実行中です。	指定されたインポートファイルは現在データ登録コマンドによって登録処理を実行中なので実行せずに終了しました。	特にありません。
2	データの登録に失敗しました。	インポート対象データ(指定した案件情報)のデータ登録に失敗しました。	データベースが正常に稼動しているかを確認してください。 インポート対象のデータが記述されているファイルの内容に誤りが無いか確認してください。 インポートファイルについては、「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。
3	インポート対象のデータ登録が終了しましたが、一部のデータを補完し登録を行いました。	インポートファイルに一部不正な情報が存在したため、その項目をデフォルト値として登録しました。	ログに出力されたフィールド名を確認し、対応するインポートファイルの値を確認してください。

1.4.2.3 ファイルの説明

データ登録コマンドの実行に必要なファイルと、実行時に出力される各種ファイルについての説明を記載します。

以下の表に各ファイルの役割を記載します。

項番	ファイル名称	ファイル名	役割
1	インポートファイル	任意のファイル名	インポート対象のレコードを記述するファイルです。 コマンドオプションの「インポートファイル名」で指定します。
2	マッピングアイテムファイル	MappingItem.txt	インポート対象のレコードの各値に紐付くフィールド名を記述するファイルです。 フィールド名とは各案件種別の管理画面で確認できる各項目に対応した名前です。各項目に対するフィールド名は「1.4.2.8 指定可能フィールド情報」を参照してください。 ファイル名は固定で、コマンドオプションで指定した「定義ファイルフォルダ名」に格納されている必要があります。
3	マッピングルールファイル	MappingRule.xml	データ登録コマンドがインポート対象のレコードを解析するためのルールを記述するファイルです。 ファイル名は固定で、コマンドオプションで指定した「定義ファイルフォルダ名」に格納されている必要があります。
4	ログファイル	sjSPU_ImportData.log	データ登録コマンドから出力されるログ情報が格納されるファイルです。 「%CCFSPDBHOME%log」フォルダ下に出力されます。
5	再登録対象ファイル	ID_[YYYYMMDD]_[インポートファイル名]	データ登録コマンドを実行した結果、登録されなかったレコードがこのファイルに出力されます。全てのレコードが登録された場合はこのファイルは出力されません。

1. インポートファイル

本ファイルにはインポート対象のレコードを記述します。

登録するレコードを1行1レコードで指定します。

複数の案件を登録する場合は、その個数行記述します。

1行には各案件種別に対応する項目の値をカンマ区切りで列挙します。

列挙する値は、必ず1つずつダブルクォートで囲んで記述してください。

上述したように通常区切り文字にはカンマを使用しますが、タブに変更する事も可能です。このような記述ルールの変更を行なう場合は、マッピングルールファイルの設定を変更してください。

以下は構成アイテム管理に複数の構成アイテムを登録する場合の、インポートファイルの記述例です。

```
"Configuration1","構成アイテム 1","SSM 初期システム","有効",". . . . ."  
"Configuration2","構成アイテム 2","SSM 初期システム","無効",". . . . ."  
"Configuration3","構成アイテム 3","テストシステム","有効",". . . . ."  
"Configuration4","構成アイテム 4","SSM 初期システム","有効",". . . . ."  
"Configuration5","構成アイテム 5","テストシステム","有効",". . . . ."
```

インポートファイルに空文字("")を記述することで、インポートファイルに記述されている該当のフィールドを登録または更新の対象から外すことができます。

インポートファイルに半角スペースを記述することで、インポートファイルに記述されている該当のフィールドをクリアできます。



仕様補足

複数指定が可能な項目に半角スペースと値（半角スペース、空以外）を指定した場合は、該当のフィールドに登録されるデータを全てクリアした後に、指定された値が登録されます。

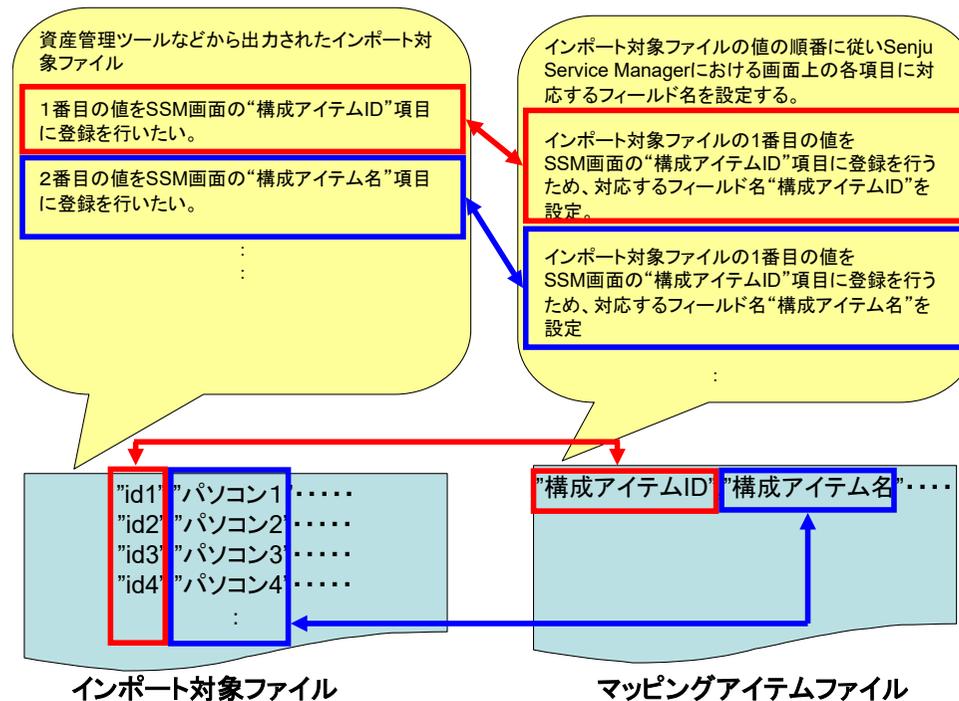


仕様補足

引数に指定されるインポートファイル形式が「1:ダブルクォートなし」の場合は例および説明に記載されるダブルクォートは必要ありません。

2. マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

本ファイルはインポートファイルに記述された各項目を、各案件種別のどの項目に対応させるかの対応を記述したファイルです。インポートファイルの各項目の並びにあわせて、各項目に対応させるフィールド名を記述します。各フィールドは1つずつダブルクォートで囲い、カンマ区切りで列挙します。以下にある資産管理ツールから出力されたデータを構成アイテムとして登録する例を用い、インポートファイルとマッピングアイテムファイルの記述方法を説明します。



マッピングアイテムファイルに空("")を記述することで、インポートファイルに記述されている該当のフィールドを登録対象から外すことができます。

以下の例は、マッピングアイテムファイルの1番目と3番目の値に空を記述した例です。この設定によりインポートファイルに記述された1番目と3番目の値が登録対象から外れます。

例) 1番目と3番目を登録対象外に設定したマッピングアイテムファイル

```
","インシデントID","","システム名".....
```

例) 結果インポートファイルの^{” ***** ”}項目は登録対象外となる

```
*****,"0000000000000001",*****,"SSM 初期システム".....  
*****,"0000000000000002",*****,"SSM 初期システム".....  
*****,"0000000000000003",*****,"SSM 初期システム".....
```

複数の値を設定できるフィールドについては、以下の2種類の方法で記述できます。
以下に関連アカウントを2件設定する例で説明します。

(a) 同じフィールド名をマッピングアイテムファイルに複数回記述する

例) マッピングアイテムファイル(関連アカウントのフィールドを二回記述)

```
.....,"関連アカウント","関連アカウント",.....
```

例) インポートファイル(関連アカウントの項目を二回記述)

```
.....,"SSM1","SSM2",.....  
.....,"SSM3","SSM4",.....  
.....,"SSM5","SSM6",.....  
:
```

(b) インポートファイルの値に複数の値を設定する

例) マッピングアイテムファイル(関連アカウントのフィールドを一回記述)

```
.....;"関連アカウント";.....
```

例) インポートファイル(関連アカウントの項目を区切り文字で結合)

```
.....;"SSM1";.....  
.....;"SSM2@$@SSM3";.....  
.....;"SSM4@$@SSM5@$@SSM6";.....  
.....;"SSM7@$@SSM8@$@SSM9@$@SSM10";.....  
.....  
.....;"SSM11@$@SSM12@$@SSM13@$@SSM14@$@SSM15"
```

この記述方法では、一つのフィールドに対する項目を、区切り文字「@\$@」により結合し設定します。
なお、区切り文字には任意の文字列を設定できます。変更する場合は、マッピングルールファイル内の設定を変更してください。

3. マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

本ファイルは、データ登録コマンドがインポートファイルに記述されているデータを解析するためのルール及びインポートファイルに記述がないフィールドに対するデフォルト値の設定を記述します。

本ファイルは「%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥sample」にサンプルファイルがインストールされますので、コピーして使用してください。なおインストール直後は、下図の赤枠の情報のみが記述されています。

以下にマッピングルールファイルの標準的な記述内容を記載します。マッピングルールファイルの記述内容は、「マッピングルール」（赤枠部分）と「各案件のデフォルト値」（青枠部分）に分かれます。

例) マッピングルールファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<sp:sp.xml:lang="ja-JP" xmlns:sp="http://www.nri.co.jp/senju/schemas/ccfsp1.0">
  <sp:mappingRule
    commentCharacters="#"
    dataLinFeed="@@$@"
    linFeed="CR/LF"
    delimiter="Comma"
    multiDelimiter="@$@"
    comment="Test"
    lastUpdate="2007-09-05 16:18:16">
  </sp:mappingRule>

  <sp:classes>
    <sp:classFields className="構成アイテム">
      <sp:field name="システム名">SSM 初期システム</sp:field>
      <sp:field name="登録者">SSM</sp:field>
      <sp:field name="コメント">データ登録コマンド</sp:field>
    </sp:classFields>

    <sp:classFields className="プロセス管理">
      <sp:field name="システム">SSM 初期システム</sp:field>
      <sp:field name="登録者">SSM</sp:field>
    </sp:classFields>
  </sp:classes>
</sp:sp.xml:lang>
```

(f) マッピングルール

インポートファイルに記述されているデータを解析するためのルールを設定します。

各タグの設定内容は以下となります。

設定項目	デフォルト値	範囲	説明
commentCharacters	#	128 byte	コメント文字。 ここで設定した文字列を、インポートファイル内の任意の行の先頭に記述することによって、その行をコメントとして扱うことができます。 コメントとなった行は登録対象として解析されません。
dataLinFeed	@@\$	128 byte	データ改行コード。 「備考」などのテキストエリア形式の項目でデータに改行を挿入したい場合に利用します。
linFeed	CR/LF	CR/LF LF	改行コード。 案件1件分のデータの終端を表す改行コードを指定します。 インポートファイルを生成した環境によっては本設定の変更が必要となります。(UNIX系のOSで生成された場合はLFと指定する。)
delimiter	Comma	Comma Tab	区切り文字。 インポートファイルの各値を区切る文字列です。 区切り文字は、「カンマ」と「タブ」が選択できます。
multiDelimiter	@\$@	128 byte	マルチ区切り文字。 インポートファイルの各値の中に複数の値を指定する場合に使用します。
comment	なし	256 byte	コメント。 任意の内容を記載します。
lastUpdate	なし	256 byte	最終更新日時。 本ファイルを更新した最後の日付を記載します。

(g) 各案件のデフォルト値

インポートファイルまたは、マッピングアイテムファイルに記述のないフィールドに関して、一括登録する際に自動で補完するデフォルト値を設定します。

対象となるフィールドは、マッピングアイテムファイルでフィールド名が指定され、かつインポートファイルに対応する値が空で設定されているフィールド、またはマッピングアイテムファイルにフィールド名が設定されていないフィールドです。

なお、フィールドが複数登録可能なフィールドで、インポートファイルに値と空の値が存在する場合は、インポートファイルの値と空の値にはデフォルト値の両方が登録されます。

設定項目名称	範囲	説明
sp:classFields className="案件種別名"	インシデント インシデント候補 サービス要求 問題 変更	デフォルト値を設定する案件種別名を設定します。 このタグは案件種別数分記述でき、デフォルト値を設定したいフィールドとデフォルト値のペアは、このタグの中に入れ子で記述します。
<sp:field name="フィールド名">値</sp:field>	4000 byte	対象となるフィールド名とデフォルト値を設定します。 このタグの内容は各案件種別のフィールド数分記述できます。

4. 再登録対象ファイル

データ登録コマンドを実行した結果、登録されなかったレコードがこのファイルに出力されます。全てのレコードが登録された場合はこのファイルは出力されません。出力フォルダおよびファイル名は以下になります。

出力フォルダ

コマンド実行時に引数に指定されたインポートファイルと同じフォルダ

出力ファイル名

ID_[YYYYMMDD]_[インポートファイル名]

ID_ : 固定出力

[YYYYMMDD] : コマンドを実行した日付

[インポートファイル名] : コマンド実行時に引数に指定されたインポートファイル名

例) インポートファイル名が「IncidentImportFile.csv」の場合

ID_20090401_IncidentImportFile.csv

1.4.2.4 データ登録時の動作設定

データ登録コマンドでは以下の2つの動作設定値により、指定されたレコードの登録を制御します。初期設定では「interrupt」に設定されています。

動作設定値	動作内容
interrupt (初期設定値)	インポートファイルに指定されるレコードを1行目から順に登録します。 あるレコードにおいて登録ができなかった場合は、そのレコードとそれ以降に記載されているレコードの登録を行わずにコマンドが終了します。 登録のできなかったレコードよりも前に指定されるレコードは全て登録されます。 登録の行われなかった全てのレコードがファイルに出力されます。
continue	インポートファイルに指定されるレコードを1行目から順に登録します。 あるレコードにおいて登録ができなかった場合は、そのレコードをファイルに出力して、以降のレコード

動作設定値	動作内容
	の登録を実行します。 登録の行われなかった全ての案件データがファイルに出力されます。

動作設定値は以下のファイルに記載される設定値を編集することで変更できます。

ファイル名

%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥sjSPU_ImportData.xml

変更対象となる設定項目

transmissionType

例) 動作設定値を「continue」へ変更

```
transmissionType="interrupt"
↓↓↓
transmissionType="continue"
```

1.4.2.5 再登録方法

インポートファイルに記載されるレコードの登録に失敗した場合に、失敗したレコードを再登録する為の手順を説明します。

再登録の手順は、指定した案件種別名と登録モードにより異なります。

以下の表を参照して、適切に再登録を実施してください。

案件種別名	新規登録処理	更新処理		経過情報追加登録処理
		追加	置換	
インシデント管理	1	—	—	1
インシデント候補	1	—	—	—
サービス要求	1	—	1	1
問題管理	1	—	—	1
変更管理	1	—	—	1

「1」の場合 : 「再登録手順1」を参照して、再登録を実施してください。

1. 再登録手順 1

登録に失敗したレコード及び未登録のレコードはコマンド終了時に再登録対象ファイルに出力されます。再登録対象ファイルについては「1.4.2.3 ファイルの説明」を参照してください。

手順 1

再登録対象ファイルを開き、ファイル内容を適切なデータに編集します。
編集が完了したらファイルを保存して閉じます。

手順 2

編集した再登録対象ファイルを使用してデータ登録コマンドを再度実行します。
指定する登録モードは、前回実行時と同じ登録モードを指定します。

1.4.2.6 設定ケーススタディ

ここでは以下の 2 つのケーススタディで具体的な手順を示します。

1. プロセス管理の「新規登録処理」
2. ユーザー管理の「更新処理」

1. プロセス管理の「新規登録処理」

前提条件：

指定する案件種別は「プロセス管理」、登録モードは「001」（新規登録処理）、インポートファイルは「C:\¥tool1ImpData.txt」、定義ファイルフォルダは「incidentMapFile¥¥tool1」とします。

新規登録する情報：

以下に新規登録するプロセス情報を記載します。

基本情報

(項目名)	(値)
レコード ID	0000000000000001
データ種別 ID	01000001
ステータス	新規
システム	SSM 初期システム
タイトル	データ登録コマンド新規登録
エスカレーション情報	
(項目名)	(値)
エスカレーション先	SSM
起票者	SSM1
経過情報	
(項目名)	(値)
経過(1件目)	
タイトル	サンプルタイトル1
対応日付	20081008
対応時刻	1200
内容	(なし)
添付ファイル	C:\¥sample1.txt
経過(2件目)	
タイトル	サンプルタイトル 2
対応日付	(なし)
対応時刻	1300
内容	ケーススタディ1に経過を追加登録しました。(2008/10/08 13:00)
添付ファイル	C:\¥sample2.txt
経過(3件目)	
タイトル	サンプルタイトル 3
対応日付	20081009
対応時刻	1400
内容	ケーススタディ1に経過を追加登録しました。(2008/10/09 14:00)
添付ファイル	(なし)

なお、上記項目の「データ種別 ID」、「システム」、「エスカレーション先」、

「起票者」は、プロセス管理を「新規登録処理」を実行する場合、必須情報となります。
また、項目名に対応するフィールド名・指定可否情報については「**1.4.2.8 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

各ファイルの具体的な記述内容：

以降に「新規登録する情報」で示したプロセス情報を新規登録するための、各ファイルの記述内容を記載します。

・インポートファイル (C:\¥tool1ImpData.txt)

```
"000000000000001","01000001","新規","データ登録コマンド新規登録","SSM","SSM1","サンプルタ  
イトル1","サンプルタイトル2","サンプルタイトル3  
","20081008","","20081009","1200","1300","1400","",""ケーススタディ1に経過を追加登録しました。  
(2008/10/0813:00)","ケーススタディ1に経過を追加登録しました。  
(2009/10/0814:00)","C:¥sample1.txt","C:¥sample2.txt",,""
```

- マッピングアイテムファイル (MappingItem.txt)

```
"レコード ID","データ種別 ID","ステータス","タイトル","エスカレーション先","起票者","経過タイトル","経過  
経過タイトル","経過タイトル","経過対応日付","経過対応日付","経過対応日付","経過対応時刻","経過対  
経過時刻","経過時刻","経過内容","経過内容","経過内容","経過添付ファイル","経過添付ファイル","  
経過添付ファイル"
```

上記マッピングアイテムファイルには、追加したい情報の項目に対応するフィールド名を記述します。フィールド名については「**1.4.2.8 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

- マッピングルールファイル (MappingRule.xml)

```
<sp:classes>  
    <sp:classFields className="プロセス管理">  
        <sp:field name="システム">SSM 初期システム</sp:field>  
    </sp:classFields>  
</sp:classes>
```

上記内容はマッピングルールファイルに追記する内容となっています。ファイル内における記述ルールの詳細については「**1.4.2.8 指定可能フィールド情報**」を参照してください。

実施する処理：

プロセス管理にプロセスのレコードを新規登録するために、コマンドプロンプトから以下のコマンドシーケンスを実行します。

```
C:¥TEMP>sjSPU_ImportData.exe -c "プロセス管理" -M 001 -f  
"C:¥tool1ImpData.txt" -T "incidentMapFile¥¥tool1"
```

実施後の処理結果：

「新規登録する情報」で示した内容のプロセスのレコードが新規登録されます。

1.4.2.7 クローズ解除

クローズされているレコードに対して、登録モード「更新(102)」を指定し本コマンドが実行された場合、クローズ解除として更新処理が実施されます。

クローズ解除での更新処理は通常の更新処理と更新可能なフィールドが異なります。
クローズ解除はプロセス管理とサービス要求のみ実施することが可能です。

また、クローズ解除の際に指定可能なフィールドを以下に記載します。

1. サービス要求

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	クローズ解除特有の処理
基本情報	—	データ種別 ID	○	通常の更新処理と同一の処理が行われます。
	サービス要求 ID	サービス要求 ID	◎	通常の更新処理と同一の処理が行われます。
	ステータス	ステータス	○	存在しない名称を指定した場合、サービス要求は更新されません。 上記以外は通常の更新処理と同一の処理が行われます。
	—	登録者	○	通常の更新処理と同一の処理が行われます。
エスカレーション情報	対応元	エスカレーション元名	○	値を指定しない場合、クローズ前の対応元(エスカレーション元)のユーザーが設定されます。クローズ前の対応元(エスカレーション元)のユーザーが削除されている場合、"(no name)"として表示されます。 上記以外は通常の更新処理と同一の処理が行われます。
	コメント	エスカレーションコメント	○	通常の更新処理と同一の処理が行われます。
	対応先	エスカレーション先名	○	クローズ前の対応先(エスカレーション先)のユーザーが設定されます。クローズ前の対応先(エスカレーション先)のユーザーが削除されている場合、"(no name)"として表示されます。 上記以外は通常の更新処理と同一の処理が行われます。



仕様補足

「通常の更新処理と同一の処理が行われます」と記載されている内容の詳細については「1.4.2.8 指定可能フィールド情報」を参照してください。

1.4.2.8 指定可能フィールド情報

データ登録コマンドで登録可能な案件種別名ごとに指定可能なフィールドの情報を示します。

以下に記載する表の「指定可否」欄は、必須項目を「◎」、指定可能項目「○」、指定不可項目「×」

で記載します。また、複数指定可能な場合は「複数可」と記載します。



操作説明

下記表のフィールド名通りにマッピングアイテムファイルを設定してください。正しく設定されていない場合、インポート対象データを取り込むことができません。



仕様補足

Senju Enterprise Navigator（以下、SEN）からイベント連携機能を使用して Senju Service Manager にデータを登録する場合も、本章に記載される「フィールド名」を指定して登録できます。

SEN からイベント送信機能を使用してデータを登録する場合は、データ登録コマンドにおける登録モード「新規登録」「更新処理(追加)」「経過情報追加登録」が利用できます。SEN から登録モードを指定する際は、「登録モード」というフィールド名に対して、コマンドと同様の設定値を指定します。

ただし、SEN から複数件の経過情報を登録する場合、「経過添付ファイル」を登録できるのは、登録する複数件のうちの最初の経過情報のみです。



仕様補足

コード・分類の登録において同一名称のコード・分類が複数登録されている場合は、先に登録されている（登録日時の古い）データが登録されます。



仕様補足

関連構成といった関連情報は、インポートファイルで指定したシステムに登録されているデータのみ登録できます。



仕様補足

Senju Service Manager バージョン V12.0.0 以前の指定方法、インシデント管理、インシデント候補、サービス要求、問題管理、変更管理については、対応項目の拡張は行われません。

Senju Service Manager バージョン 2013.0.0 から新規に追加された項目を使用する場合には、プロセス管理、イベント管理を指定してご使用ください。

1. インシデント管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
基本情報	インシデント ID	インシデント ID	○	×	◎	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、インシデント ID 自体の更新はできません。使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	ステータス	ステータス	○	×	×	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"新規"で登録されます。
	サブステータス	サブステータス	○	×	×	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	システム名	◎	×	◎	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、インシデントは取り込まれません。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、システム名自体の更新はできません。
	タイトル	タイトル	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	クローズ期限日	対応期限日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	—	データ種別 ID	○	×	○	「データ種別 ID」の設定値は、"00000001"を指定します。値を指定しない場合、"00000001"で登録されます。存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、データ種別 ID 自体の更新はできません。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (対応履歴)	①起票者	起票者	◎	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。
	①エスカレーション ②対応先	エスカレーション先名	◎ 複数可	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。1件も値を指定しない場合、または存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
エスカレーション情報 (対応履歴)	対応元	エスカレーション元名	○	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	コメント	エスカレーションコメント	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
分類情報	種別	種別	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	インパクト	インパクト	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	緊急度	緊急度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	優先度	優先度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	大分類	大分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	中分類	中分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	小分類	小分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	キーワード	キーワード	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
詳細情報	インシデント内容	インシデント内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	影響範囲	影響範囲	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	原因	原因	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ワークアラウンド及び結果	ワークアラウンド及び結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応及び結果	対応及び結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	起票日	起票日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	起票時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	発生日	発生日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	発生時刻	発生時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付日	受付日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	受付時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報日	速報日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報時刻	速報時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	復旧日	復旧日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	復旧時刻	復旧時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	クローズ日	クローズ日	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録され ます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、YYYYMMDD 以外の書 式の場合、現在日付で登録されます。
	クローズ時刻	クローズ時刻	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録され ます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者 ②クローズ者	クローズ者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。「ステータス」が"ク ローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない値を指定した場 合、インシデントは取り込まれません。
(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録され ます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない名称を指定した 場合、インシデントは取り込まれません。
	クローズ理由	クローズ理由	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録され ます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、半角 4001 桁以上の文字 は切り捨てられます。
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	申請者組織名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	申請者氏名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	申請者氏名カナ	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	申請者電話番号	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	申請者メールアドレス	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	○	×	×	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	社内申請者氏名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	社内申請者会社名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	社内申請者組織名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	社内申請者役職	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	社内申請者内線番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号1	社内申請者電話番号 1	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号2	社内申請者電話番号 2	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	社内申請者 FAX	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報	備考	備考	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	参考 URL	参考 URL	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合は、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
チェックリスト	チェックリスト	—	×	×	×	指定することはできません。
簡易チェックリスト	簡易チェックリスト	—	×	×	×	指定することはできません。
エクステンション情報	選択ユーザー1	選択ユーザー1	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成アイテム	関連構成アイテム	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連アカウント	関連アカウント	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成	関連構成(構成 ID)	○ 複数可	×	×	「関連構成(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	関連構成(データ種別 ID)	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、"00000001"～"00000010"までの値を指定します。 「関連構成(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	テキスト1	テキスト1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
テキスト2	テキスト2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	
テキスト3	テキスト3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	テキスト 4	テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	テキストエリア 4	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-1	5 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-2	5 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-3	5 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-4	5 連分類 1-4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-5	5 連分類 1-5	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	日付テキスト 1	日付 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	日付テキスト 2	日付 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 1	時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 2	時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	数値 1	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	数値 2	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 1	対応予定日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 2	対応予定日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 3	対応予定日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 4	対応予定日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 5	対応予定日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 1	対応実績日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 2	対応実績日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 3	対応実績日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 4	対応実績日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 5	対応実績日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	問合せ元 ID	問合せ元 ID	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 1	問合せ元テキスト 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 2	問合せ元テキスト 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 3	問合せ元テキスト 3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 4	問合せ元テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 5	問合せ元テキスト 5	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 6	問合せ元テキスト 6	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 7	問合せ元テキスト 7	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 8	問合せ元テキスト 8	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 9	問合せ元テキスト 9	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 10	問合せ元テキスト 10	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 11	問合せ元テキスト 11	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 12	問合せ元テキスト 12	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 13	問合せ元テキスト 13	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 14	問合せ元テキスト 14	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 15	問合せ元テキスト 15	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 16	問合せ元テキスト 16	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 17	問合せ元テキスト 17	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキスト 18	問合せ元テキスト 18	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問合せ元テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
経過情報	タイトル	経過タイトル	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応日付	経過対応日付	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応時刻	経過対応時刻	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応者	経過対応者	○ 複数可	×	○ 複数可	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない値を指定した場合は、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	対応先	経過対応先	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	チャンネル	経過チャンネル	○ 複数可	×	○ 複数可	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、 "SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合は、インシデント は取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	経過内容	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	経過色(チェック)	経過色	○ 複数可	×	○ 複数可	対象経過をチェック状態にする場合は"red"を指定します。(チェ ック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。) 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○ 複数可	×	○ 複数可	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。 1 経過に 1 ファイルのみ登録できます。
経過エクステンション情 報	テキスト 1	経過テキスト 1	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	テキスト 2	経過テキスト 2	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	テキスト 3	経過テキスト 3	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	テキスト 4	経過テキスト 4	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録 されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	数値テキスト 1	経過数値 1	○ 複数可	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	数値テキスト2	経過数値2	○ 複数可	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
	FROM	経過 FROM	○ 複数可	×	○ 複数可	半角4001桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
	TO	経過 TO	○ 複数可	×	○ 複数可	半角4001桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
	CC	経過 CC	○ 複数可	×	○ 複数可	半角4001桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
—	—	登録者	○	×	○	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。インシデントを登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。



制限事項

チェックリスト、簡易チェックリストは Senju Service Manager の管理者メニュー > 機能別 > チェックリストにて設定した情報を元に適用判定が行われます。適用判定を行うかどうかの設定は管理者メニューの制御情報の「チェックリスト利用設定」、「簡易チェックリスト利用設定」で行います。

2. インシデント候補

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
基本情報	インシデント ID	インシデント ID	○	×	×	半角17桁以上の文字は切り捨てられます。 使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	ステータス	ステータス	×	×	×	指定することは出来ません。
	サブステータス	サブステータス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	システム名	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	タイトル	タイトル	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	クローズ期限日	対応期限日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録され ます。
	—	データ種別 ID	○	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、「00000001」を指定します。 値を指定しない場合、「00000001」で登録されます。 存在しない値を指定した場合、インシデント候補は取り込まれま せん。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (対応履歴)	①起票者	起票者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。値を指定しない、ま たは存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	②対応先					
	①エスカレーション	エスカレーション先名	×	×	×	指定することは出来ません。
	②対応先					
エスカレーション情報 (対応履歴)	対応元	エスカレーション元名	×	×	×	指定することは出来ません。
	コメント	エスカレーションコメント	×	×	×	指定することは出来ません。
分類情報	種別	種別	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	インパクト	インパクト	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	緊急度	緊急度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	優先度	優先度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	大分類	大分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	中分類	中分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	小分類	小分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設 定で登録されます。
	キーワード	キーワード	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
詳細情報	インシデント内容	インシデント内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	影響範囲	影響範囲	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	原因	原因	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ワークアラウンド及び結果	ワークアラウンド及び結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応及び結果	対応及び結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	起票日	起票日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	起票時刻	起票時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	発生日	発生日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	発生時刻	発生時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録され ません。
	受付日	受付日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	受付時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録され ません。
	速報日	速報日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	速報時刻	速報時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録され ません。
	復旧日	復旧日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	復旧時刻	復旧時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録され ません。
	クローズ日	クローズ日	×	×	×	指定することはできません。
クローズ時刻	クローズ時刻	×	×	×	指定することはできません。	
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者	クローズ者	×	×	×	指定することはできません。
	②クローズ者					
(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	×	×	×	指定することはできません。
	クローズ理由	クローズ理由	×	×	×	指定することはできません。
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	申請者組織名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	申請者氏名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	申請者氏名カナ	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	申請者電話番号	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	申請者メールアドレス	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	○	×	×	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	社内申請者氏名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	社内申請者会社名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	社内申請者組織名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	社内申請者役職	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	社内申請者内線番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号1	社内申請者電話番号 1	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号2	社内申請者電話番号 2	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	社内申請者 FAX	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報	備考	備考	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	参考 URL	参考 URL	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エクステンション情報	選択ユーザー1	選択ユーザー1	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成アイテム	関連構成アイテム	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連アカウント	関連アカウント	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成	関連構成(構成 ID)	○ 複数可	×	×	「関連構成(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	関連構成(データ種別 ID)	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	テキスト 1	テキスト 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
テキスト 2	テキスト 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	
テキスト 3	テキスト 3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	テキスト 4	テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	テキストエリア 4	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類 1	5 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類 2	5 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類 3	5 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類 4	5 連分類 1-4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類 5	5 連分類 1-5	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が「その他」以外の場合は未設定で登録されます。「コンボテキスト 1-コンボボックス」が「その他」の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が「その他」以外の場合は未設定で登録されます。「コンボテキスト 2-コンボボックス」が「その他」の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	日付テキスト 1	日付 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 2	日付 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	時刻テキスト 1	時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	時刻テキスト 2	時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	数値テキスト 1	数値 1	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されません。
	数値テキスト 2	数値 2	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されません。
	対応予定日 1	対応予定日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定日 2	対応予定日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定日 3	対応予定日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定日 4	対応予定日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定日 5	対応予定日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績日 1	対応実績日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績日 2	対応実績日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績日 3	対応実績日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績日 4	対応実績日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応実績日 5	対応実績日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
経過情報	タイトル	経過タイトル	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応日付	経過対応日付	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応時刻	経過対応時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	対応者	経過対応者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	対応先	経過対応先	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	チャンネル	経過チャンネル	○	×	×	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合、インシデント候補は取り込まれません。 指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	経過内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	経過色(チェック)	経過色	○	×	×	対象経過をチェック状態にする場合は"red"を指定します。(チェック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。)
経過エクステンション情報	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。
	テキスト 1	経過テキスト 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 2	経過テキスト 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	経過テキスト 3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	経過テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	連携指定 項目名 (フィールド名)	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	経過情 報 追加登 録	
	数値テキスト 1	経過数値 1	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録 されます。
	数値テキスト 2	経過数値 2	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録 されます。
	FROM	経過 FROM	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	TO	経過 TO	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	CC	経過 CC	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
—	—	登録者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。インシデント候補を 登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在し ない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
(インシデント候補振分)	送信者<上段>	送信者名	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	送信者<下段>	送信者アドレス	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。

3. サービス要求



仕様補足

サービス要求の登録では、データ種別により決定されるどの画面にデータを登録するかを指定できます。登録するデータ種別は、「データ種別 ID」で指定します。「データ種別 ID」の設定値は、“00000001” ~ “00000100” までの値を指定して下さい。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				値設定時の制限事項
			新規登録	更新	更新 クローズ 解除	経過情報 追加登録	
基本情報	サービス要求 ID	サービス要求 ID	○	◎	◎	◎	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。 更新、経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。サービス要求 ID 自体の更新はできません。 使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	申請状況	—	×	×	×	×	指定することはできません。
	ステータス	ステータス	○	○	◎	×	登録モードが「更新(102)」の場合に更新対象ステータスが「クローズ」だった場合、「クローズ解除」として登録処理が実行されます。値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、「新規」で登録されます。
	サブステータス	サブステータス	○	○	×	×	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されません。
	システム名	システム名	◎	○	×	◎	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。更新を行う際、存在しない値を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。 更新、経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、システム名自体の更新はできません。
	タイトル	タイトル	○	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	クローズ期限日	対応期限日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
—	データ種別 ID	○	○	○	○	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001” ~ “00000100” までの値を指定します。 値を指定しない場合、“00000001”で登録されます。 存在しない値を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。 更新、経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。データ種別 ID 自体の更新はできません。	
①エスカレーション情報	①起票者 ②対応先	起票者	◎	○	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				経過情報 追加登録	値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	更新 クローズ 解除			
②エスカレーション情報 (対応履歴)	①エスカレーション ②対応先	エスカレーション先名	◎ 複数可	○ 複数可	○	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。 1件も値を指定しない場合、または存在しない値を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。 更新を行う際に指定された場合、 既存の情報を更新するのではなく、指定した値がエスカレーション情報に追加されます。	
エスカレーション 情報 (対応履歴)	対応元	エスカレーション元名	○	○	○	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。 存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 更新を行う際に指定された場合、 既存の情報を更新するのではなく、指定した値がエスカレーション情報に追加されます。 但し、エスカレーション先名が指定されていない場合は、指定された値は取り込まれません。	
	コメント	エスカレーションコメント	○	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 更新を行う際に指定された場合、 既存の情報を更新するのではなく、指定した値がエスカレーション情報に追加されます。 但し、エスカレーション先名が指定されていない場合は、指定された値は取り込まれません。	
分類情報	種別	種別	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	インパクト	インパクト	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	緊急度	緊急度	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	優先度	優先度	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	大分類	大分類	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	中分類	中分類	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	小分類	小分類	○	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
詳細情報	キーワード	キーワード	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	サービス要求内容	サービス要求内容	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	区分1	区分1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	区分2	区分2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				値設定時の制限事項
			新規登録	更新	更新クローズ解除	経過情報追加登録	
	区分3	区分 3	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	サービス要求理由	サービス要求理由	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	開始予定日	開始予定日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	開始予定時刻	開始予定時刻	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	終了予定日	終了予定日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	終了予定時刻	終了予定時刻	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	予定時間	予定時間	○	○	×	×	数値型に変換できない場合、未設定で登録されます。
	利用責任者	利用責任者	○ 複数可	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	利用者	利用者	○ 複数可	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	添付ファイル	詳細情報添付ファイル名	○ 複数可	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	サービス要求を却下した場合の影響	サービス要求を却下した場合の影響	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	サービス要求に要するリソース	サービス要求に要するリソース	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	起票日	起票日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	起票時刻	○	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	受付日	受付日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	受付時刻	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	承認日	—	×	×	×	×	指定することはできません。
	承認時刻	—	×	×	×	×	指定することはできません。
	実施完了日	実施完了日	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	実施完了時刻	実施完了時刻	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ日	クローズ日	○	○	×	×	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	クローズ時刻	クローズ時刻	○	○	×	×	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者	クローズ者	○	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。 「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。
	②クローズ者						「ステータス」が「クローズ」の場合は、存在しない値を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				値設定時の制限事項
			新規登録	更新	更新クローズ解除	経過情報追加登録	
(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	○	○	×	×	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、存在しない名称を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。
	クローズ理由	クローズ理由	○	○	×	×	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	申請者組織名	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	申請者氏名	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	申請者氏名カナ	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	申請者電話番号	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	申請者メールアドレス	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	○	○	×	×	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	社内申請者氏名	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	社内申請者会社名	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	社内申請者組織名	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	社内申請者役職	○	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	社内申請者内線番号	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号1	社内申請者電話番号 1	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号2	社内申請者電話番号 2	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	社内申請者 FAX	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	○	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス 1	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス 2	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報	備考	備考	○	○	×	×
参考 URL		参考 URL	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報添付ファイル名		付加情報添付ファイル名	○ 複数可	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エクステンション情報	関連構成アイテム	関連構成アイテム	○ 複数可	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連アカウント	関連アカウント	○ 複数可	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成 1	関連構成 1(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「関連構成 1(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				値設定時の制限事項
			新規登録	更新	更新クローズ解除	経過情報追加登録	
—	—	関連構成 1(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成 1(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	関連構成 2	関連構成 2(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「関連構成 2(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	—	関連構成 2(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成 2(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	関連構成 3	関連構成 3(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「関連構成 3(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	—	関連構成 3(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成 3(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	関連構成 4	関連構成 4(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「関連構成 4(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	—	関連構成 4(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成 4(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
—	テキスト 1	テキスト 1	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
—	テキスト 2	テキスト 2	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				経過情報 追加登録	値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	更新 クローズ 解除			
	テキスト 3	テキスト 3	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	テキスト 4	テキスト 4	○	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	テキストエリア 4	テキストエリア 4	○	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	5 連分類-1	5 連分類 1-1	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	5 連分類-2	5 連分類 1-2	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	5 連分類-3	5 連分類 1-3	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	5 連分類-4	5 連分類 1-4	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	5 連分類-5	5 連分類 1-5	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	○	×	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	○	×	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				経過情報 追加登録	値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	更新 クローズ 解除	経過情報 追加登録		
	日付テキスト1	日付1	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	日付テキスト2	日付2	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	時刻テキスト1	時刻1	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	時刻テキスト2	時刻2	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	数値テキスト1	数値1	○	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録され ます。	
	数値テキスト2	数値2	○	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録され ます。	
	対応予定日1	対応予定日1	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定時刻1	対応予定時刻1	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定日2	対応予定日2	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定時刻2	対応予定時刻2	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定日3	対応予定日3	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定時刻3	対応予定時刻3	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定日4	対応予定日4	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定時刻4	対応予定時刻4	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定日5	対応予定日5	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応予定時刻5	対応予定時刻5	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績日1	対応実績日1	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績時刻1	対応実績時刻1	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績日2	対応実績日2	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績時刻2	対応実績時刻2	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績日3	対応実績日3	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績時刻3	対応実績時刻3	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績日4	対応実績日4	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績時刻4	対応実績時刻4	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績日5	対応実績日5	○	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
	対応実績時刻5	対応実績時刻5	○	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。	
経過情報	タイトル	経過タイトル	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角81桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	対応日付	経過対応日付	○ 複数可	×	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	対応時刻	経過対応時刻	○ 複数可	×	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	対応者	経過対応者	○ 複数可	×	×	○ 複数可	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。存在しない名称を指定した 場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				経過情報 追加登録	値設定時の制限事項
			新規 登録	更新	更新 クローズ 解除			
	対応先	経過対応先	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	チャンネル	経過チャンネル	○ 複数可	×	×	○ 複数可	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、“SEN”で登録されます。“SSM”を指定した場合、サービス要求は取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。 指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ	
	内容	経過内容	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	経過色(チェック)	経過色	○ 複数可	×	×	○ 複数可	対象経過をチェック状態にする場合は“red”を指定します。(チェック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。) 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○ 複数可	×	×	○ 複数可	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。 1 経過に 1 ファイルのみ登録できます。	
経過エクステンション情報	テキスト 1	経過テキスト 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキスト 2	経過テキスト 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキスト 3	経過テキスト 3	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキスト 4	経過テキスト 4	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○ 複数可	×	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○ 複数可	×	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否				値設定時の制限事項
			新規登録	更新	更新 クローズ 解除	経過情報 追加登録	
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○ 複数可	×	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	数値テキスト 1	経過数値 1	○ 複数可	×	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されま す。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	数値テキスト 2	経過数値 2	○ 複数可	×	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されま す。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
—	—	登録者	○	×	○	○	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。サービス要求を登録したユ ーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない名称を指定した 場合、未設定で登録されます。



サービス要求の更新を行う際、「申請状況」が「申請中」のサービス要求の更新は行えません。

仕様補足

4. 問題管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
基本情報	問題 ID	問題 ID	○	×	◎	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。問題 ID 自体の更新はできません。使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	ステータス	ステータス	○	×	×	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"新規"で登録されます。
	サブステータス	サブステータス	○	×	×	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	システム名	◎	×	◎	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、問題は取り込まれません。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。システム名自体の更新はできません。
	タイトル	タイトル	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	クローズ期限日	対応期限日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	—	データ種別 ID	○	×	○	「データ種別 ID」の設定値は、"00000001"を指定します。値を指定しない場合、"00000001"で登録されます。存在しない値を指定した場合、問題は取り込まれません。経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。データ種別 ID 自体の更新はできません。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (対応履歴)	①起票者	起票者	◎	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、問題は取り込まれません。
	①エスカレーション ②対応先	エスカレーション先名	◎ 複数可	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。1件も値を指定しない場合、または存在しない値を指定した場合、問題は取り込まれません。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エスカレーション情報 (対応履歴)	対応元	エスカレーション元名	○	×	×	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
分類情報	コメント	エスカレーションコメント	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	種別	種別	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	インパクト	インパクト	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	緊急度	緊急度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	優先度	優先度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	大分類	大分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	中分類	中分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	小分類	小分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
詳細情報	キーワード	キーワード	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	問題内容	問題内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	影響範囲	影響範囲	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	原因	原因	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ワークアラウンド	ワークアラウンド	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	解決策	解決策	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応及び結果	対応及び結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
日時情報	起票日	起票日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	起票時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	発生日	発生日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	発生時刻	発生時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付日	受付日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	受付時刻	受付時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	既知エラー登録日	既知エラー登録日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	既知エラー登録時刻	既知エラー登録時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	解決日	解決日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	解決時刻	解決時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	クローズ日	クローズ日	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	クローズ時刻	クローズ時刻	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者 ②クローズ者	クローズ者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない値を指定した場合、問題は取り込まれません。
(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない名称を指定した場合、問題は取り込まれません。
	クローズ理由	クローズ理由	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	申請者組織名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	申請者氏名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	申請者氏名カナ	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	申請者電話番号	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	申請者メールアドレス	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	○	×	×	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	社内申請者氏名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	社内申請者会社名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	社内申請者組織名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	社内申請者役職	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	社内申請者内線番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号1	社内申請者電話番号 1	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号2	社内申請者電話番号 2	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	社内申請者 FAX	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
付加情報	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	備考	備考	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	参考 URL	参考 URL	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エクステンション情報	選択ユーザー1	選択ユーザー1	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成アイテム	関連構成アイテム	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連アカウント	関連アカウント	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成	関連構成(構成 ID)	○ 複数可	×	×	「関連構成(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「現在の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	関連構成(データ種別 ID)	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	テキスト 1	テキスト 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 2	テキスト 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	テキスト 3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	テキストエリア 4	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-1	5 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-2	5 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-3	5 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-4	5 連分類 1-4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-5	5 連分類 1-5	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"以外の場合 は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"の場合、半 角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"以外の場合 は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"の場合、半 角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	日付テキスト 1	日付 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	日付テキスト 2	日付 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	時刻テキスト 1	時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	時刻テキスト 2	時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	数値 1	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	数値 2	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 1	対応予定日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 2	対応予定日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 3	対応予定日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 4	対応予定日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定日 5	対応予定日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 1	対応実績日 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 2	対応実績日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 3	対応実績日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 4	対応実績日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応実績日 5	対応実績日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
経過情報	タイトル	経過タイトル	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応日付	経過対応日付	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま
	対応時刻	経過対応時刻	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応者	経過対応者	○ 複数可	×	○ 複数可	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応先	経過対応先	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	チャンネル	経過チャンネル	○ 複数可	×	○ 複数可	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合、問題は取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	経過内容	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	経過色(チェック)	経過色	○ 複数可	×	○ 複数可	対象経過をチェック状態にする場合は"red"を指定します。(チェック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。) 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○ 複数可	×	○ 複数可	添付ファイルのサイズが0バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。 1経過に1ファイルのみ登録できます。
経過エクステンション情報	テキスト 1	経過テキスト 1	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 2	経過テキスト 2	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 3	経過テキスト 3	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 4	経過テキスト 4	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○ 複数可	×	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○ 複数可	×	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○ 複数可	×	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○ 複数可	×	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	数値テキスト 1	経過数値 1	○ 複数可	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	数値テキスト 2	経過数値 2	○ 複数可	×	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
—	—	登録者	○	×	○	ユーザーマスタ管理のユーザーID を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。

5. 変更管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
基本情報	変更 ID	変更 ID	○	◎	◎	値を指定しない場合、自動採番して登録されます。 経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。変更 ID 自体の更新はできません。 使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	申請状況	—	×	×	×	指定することはできません。
	ステータス	ステータス	○	×	×	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、「新規」で登録されます。
	サブステータス	サブステータス	○	×	×	存在しないサブステータス名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	システム名	システム名	◎	◎	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、変更は取り込まれません。 経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。システム名自体の更新はできません。
	タイトル	タイトル	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	クローズ期限日	対応期限日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	—	データ種別 ID	○	○	○	「データ種別 ID」の設定値は、「00000001」を指定します。 値を指定しない場合、「00000001」で登録されます。 存在しない値を指定した場合、変更は取り込まれません。 経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。データ種別 ID 自体の更新はできません。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (対応履歴)	①起票者	起票者	◎	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、変更は取り込まれません。
	①エスカレーション ②対応先	エスカレーション先名	◎ 複数可	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。1件も値を指定しない場合、または存在しない値を指定した場合、変更は取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
エスカレーション情報 (対応履歴)	対応元	エスカレーション元名	○	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	コメント	エスカレーションコメント	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
分類情報	種別	種別	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	インパクト	インパクト	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	緊急度	緊急度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	優先度	優先度	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	大分類	大分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	中分類	中分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	小分類	小分類	○	×	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	キーワード	キーワード	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
変更情報	変更内容	変更内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	変更理由	変更理由	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	変更しない場合の影響	変更しない場合の影響	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	変更に要するリソース	変更に要するリソース	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	変更計画	変更計画	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	添付ファイル	変更情報添付ファイル名	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	変更希望日	変更希望日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	変更希望時刻	変更希望時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
実施情報	実施予定日	実施予定日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	実施予定時刻	実施予定時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	実施予定者	実施予定者	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	実施内容	実施内容	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	切戻し計画	切戻し計画	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	添付ファイル	実施情報添付ファイル名 1	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	実施日	実施日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	実施時刻	実施時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	実施者	実施者	○ 複数可	×	×	社員番号を指定します。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	レビュー日	レビュー日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	レビュー時刻	レビュー時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	レビュー結果	レビュー結果	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	添付ファイル	実施情報添付ファイル名 2	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
日時情報	起票日	起票日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	起票時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
	受付日	受付日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	受付時刻	受付時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	承認日	—	×	×	×	指定することはできません。
	承認時刻	—	×	×	×	指定することはできません。
	実施完了日	実施完了日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	実施完了時刻	実施完了時刻	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	クローズ日	クローズ日	○	×	×	「ステータス」が「クローズ」以外の場合は、未設定で登録 されます。 「ステータス」が「クローズ」の場合は、YYYYMMDD 以外 の書式の場合、現在日付で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	クローズ時刻	クローズ時刻	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録 されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者 ②クローズ者	クローズ者	○	×	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。「ステータス」 が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない値を指定 した場合、変更は取り込まれません。
(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録 されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、存在しない名称を指 定した場合、変更は取り込まれません。
	クローズ理由	クローズ理由	○	×	×	「ステータス」が"クローズ"以外の場合は、未設定で登録 されます。 「ステータス」が"クローズ"の場合は、半角 4001 桁以上 の文字は切り捨てられます。
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	申請者組織名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	申請者氏名	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	申請者氏名カナ	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	申請者電話番号	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	申請者メールアドレス	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	○	×	×	半角 33 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	社内申請者氏名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	会社名	社内申請者会社名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	組織名	社内申請者組織名	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	役職	社内申請者役職	○	×	×	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	内線番号	社内申請者内線番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号1	社内申請者電話番号1	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号2	社内申請者電話番号2	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	FAX	社内申請者 FAX	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	○	×	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報	備考	備考	○	×	×
参考 URL		参考 URL	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	○ 複数可	×	×	添付ファイルのサイズが0バイトの場合、取り込まれません。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エクステンション情報	関連構成アイテム	関連構成アイテム	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連アカウント	関連アカウント	○ 複数可	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	関連構成	関連構成(構成 ID)	○ 複数可	×	×	「関連構成(データ種別 ID)」とセットで指定してください。「現在の構成」にあるデータが対象となります。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	関連構成(データ種別 ID)	○ 複数可	×	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。「関連構成(構成 ID)」とセットで指定してください。値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	テキスト 1	テキスト 1	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 2	テキスト 2	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	テキスト 3	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	テキスト 4	○	×	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	テキストエリア 4	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 5	変更対象 CI	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 6	影響 CI	○	×	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	
2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-1	5 連分類 1-1	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-2	5 連分類 1-2	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-3	5 連分類 1-3	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-4	5 連分類 1-4	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	5 連分類-5	5 連分類 1-5	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	×	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	×	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	日付テキスト 1	日付 1	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	日付テキスト 2	日付 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	時刻テキスト 1	時刻 1	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	時刻テキスト 2	時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	数値テキスト 1	数値 1	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定 で登録されます。
	数値テキスト 2	数値 2	○	×	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定 で登録されます。
	対応予定日 2	対応予定日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	対応予定日 3	対応予定日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録され ます。
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応予定日 4	対応予定日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応予定日 5	対応予定日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応実績日 2	対応実績日 2	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応実績日 3	対応実績日 3	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応実績日 4	対応実績日 4	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
	対応実績日 5	対応実績日 5	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	○	×	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。
経過情報	タイトル	経過タイトル	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ 登録されます。
	対応日付	経過対応日付	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ 登録されます。
	対応時刻	経過対応時刻	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ 登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	対応者	経過対応者	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	対応先	経過対応先	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	チャンネル	経過チャンネル	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、“SEN”で登録されます。“SSM”を指定した場合、変更は取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。指定可能な値は以下になります。 電話/メール/SEN/FAX/郵便/訪問/打ち合わせ
	内容	経過内容	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	経過色(チェック)	経過色	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	対象経過をチェック状態にする場合は“red”を指定します。(チェック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。) 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。 1 経過に 1 ファイルのみ登録できます。
経過エクステンション情報	テキスト 1	経過テキスト 1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 2	経過テキスト 2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 3	経過テキスト 3	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキスト 4	経過テキスト 4	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されま す。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で 登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過 1][経過 2]…へ登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規 登録	経過情報追加登録		
				重複可	重複不可	
	数値テキスト1	経過数値1	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
	数値テキスト2	経過数値2	○ 複数可	○ 複数可	○ 複数可	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、指定した順に[経過1][経過2]…へ登録されます。
—	—	登録者	○	○	○	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。変更を登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。

6. 構成管理

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
基本情報	構成アイテム ID	構成アイテム ID	○	●	×	半角 257 桁以上の文字は切り捨てられます。 更新の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。構成アイテム ID 自体の更新はできません。 使用可能文字は、半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)となります。
	構成アイテム名	構成アイテム名	◎	○	×	半角 257 桁以上の文字は切り捨てられます。
	システム名	システム名	◎	◎	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、構成アイテムは取り込まれません。 更新の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。システム名自体の更新はできません。
	構成変更日	構成変更日	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 値を指定しない場合、コマンドを実行した日付で登録されます。
	構成変更時刻	構成変更時刻	○	○	×	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。 値を指定しない場合、「00:00」の値で登録されます。
	設置場所	設置場所	○	○	×	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	設置日(From)	設置日(From)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	設置日(To)	設置日(To)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	管理責任者	管理責任者	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	使用者	使用者	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	使用日(From)	使用日(From)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	使用日(To)	使用日(To)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	—	データ種別 ID	◎	◎	×	「データ種別 ID」の設定値は、「00000001」～「00000010」までの値を指定します。 更新の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。データ種別 ID 自体の更新はできません。
保守連絡先情報	会社名	会社名	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	組織名	組織名	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	氏名	氏名	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	電話番号	電話番号	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス	メールアドレス	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	保守契約番号	保守契約番号	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	保守日(From)	保守日(From)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	保守日(To)	保守日(To)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	添付ファイル	保守連絡先情報添付ファイル名	○ 複数可	○ 複数可	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
分類情報	用途	用途	○	○	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	区分	区分	○	○	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	大分類	大分類	○	○	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	中分類	中分類	○	○	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	小分類	小分類	○	○	×	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	キーワード	キーワード	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
機器情報	機種名	機種名	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メーカー	メーカー(機器)	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	型番	型番	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	CPU	CPU	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ディスク容量	ディスク容量	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	メモリ容量	メモリ容量	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	IP アドレス	IP アドレス	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
ソフトウェア情報	バージョン	バージョン	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メーカー	メーカー(ソフトウェア)	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	シリアル番号	シリアル番号	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	媒体	媒体	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	媒体保管場所	媒体保管場所	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
付加情報	備考	備考	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	○ 複数可	○ 複数可	×	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
日時情報	起票日	起票日	○	×	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、現在日付で登録されます。
	起票時刻	起票時刻	○	×	×	hhmmss 以外の書式の場合、現在時刻で登録されます。
関連 CI 情報	関連構成	関連構成(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	「関連構成(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「最新の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	関連構成(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連構成(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
エクステンション情報	テキスト 1	テキスト 1	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 2	テキスト 2	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	テキスト 3	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	テキスト 4	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 1	メールアドレス 1	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	メールアドレス 2	メールアドレス 2	○	○	×	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	テキストエリア 1	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	テキストエリア 2	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	テキストエリア 3	○	○	×	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	ラジオボタン 1	ラジオボタン 1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	ラジオボタン 2	ラジオボタン 2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 1	コンボボックス 1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	コンボボックス 2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	コンボボックス 3	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
コンボボックス 4	コンボボックス 4	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	コンボボックス 5	コンボボックス 5	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 6	コンボボックス 6	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 7	コンボボックス 7	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 8	コンボボックス 8	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 9	コンボボックス 9	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 10	コンボボックス 10	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 1-1	2連分類 1-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 1-2	2連分類 1-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 2-1	2連分類 2-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 2-2	2連分類 2-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 3-1	2連分類 3-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 3-2	2連分類 3-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 4-1	2連分類 4-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 4-2	2連分類 4-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 5-1	2連分類 5-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	2連分類 5-2	2連分類 5-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 1-1	3連分類 1-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 1-2	3連分類 1-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 1-3	3連分類 1-3	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 2-1	3連分類 2-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 2-2	3連分類 2-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 2-3	3連分類 2-3	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 3-1	3連分類 3-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 3-2	3連分類 3-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 3-3	3連分類 3-3	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 4-1	3連分類 4-1	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 4-2	3連分類 4-2	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	3連分類 4-3	3連分類 4-3	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	○	○	×	「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"以外の場合 は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 1-コンボボックス」が"その他"の場合、半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	○	○	×	「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 2-コンボボックス」が"その他"の場合、半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 3-コンボボックス	コンボテキスト 3-コンボボックス	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 3-テキスト	コンボテキスト 3-テキスト	○	○	×	「コンボテキスト 3-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 3-コンボボックス」が"その他"の場合、半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 4-コンボボックス	コンボテキスト 4-コンボボックス	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 4-テキスト	コンボテキスト 4-テキスト	○	○	×	「コンボテキスト 4-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 4-コンボボックス」が"その他"の場合、半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボテキスト 5-コンボボックス	コンボテキスト 5-コンボボックス	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボテキスト 5-テキスト	コンボテキスト 5-テキスト	○	○	×	「コンボテキスト 5-コンボボックス」が"その他"以外の場合は未設定で登録されます。 「コンボテキスト 5-コンボボックス」が"その他"の場合、半角101桁以上の文字は切り捨てられます。
	日付テキスト 1(From)	日付 1(From)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	日付テキスト 1(To)	日付 1(To)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	日付テキスト 2(From)	日付 2(From)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	日付テキスト 2(To)	日付 2(To)	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	日付テキスト 1	日付 1	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	日付テキスト 2	日付 2	○	○	×	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されません。
	数値テキスト 1	数値 1	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されません。
	数値テキスト 2	数値 2	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されません。
	数値テキスト 3	数値 3	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び13桁以上の場合、未設定で登録されません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	数値テキスト 4	数値 4	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	関連機器	関連機器(構成 ID)	○	○	×	「関連機器(データ種別 ID)」とセットで指定してください。 「最新の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	—	関連機器(データ種別 ID)	○	○	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「関連機器(構成 ID)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	接続先機器	接続先機器(構成 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	「接続先機器(データ種別 ID)」、「接続先機器(使用アンペア)」とセットで指定してください。 「最新の構成」にあるデータが対象となります。 存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	接続先機器(データ種別 ID)	○ 複数可	○ 複数可	×	「データ種別 ID」の設定値は、“00000001”～“00000010”までの値を指定します。 「接続先機器(構成 ID)」、「接続先機器(使用アンペア)」とセットで指定してください。 値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。 複数指定した場合は、正しく指定されたデータのみ取り込まれます。
	—	接続先機器(使用アンペア)	○ 複数可	○ 複数可	×	「接続先機器(データ種別 ID)」、「接続先機器(使用アンペア)」とセットで指定してください。 「最新の構成」にあるデータが対象となります。 数値(整数、小数)以外、及び 12 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	接続機器	—	×	×	×	指定することはできません。
	使用可能アンペア	使用可能アンペア	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び 12 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	使用アンペア	使用アンペア	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び 12 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	使用済アンペア	—	×	×	×	指定することはできません。
	使用可能口数	使用可能口数	○	○	×	数値(整数)以外、及び 9 桁以上の場合、未設定で登録されます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
	使用口数	使用口数	○	○	×	数値(整数)以外、及び9桁以上の場合、未設定で登録されます。
	使用済口数	—	×	×	×	指定することはできません。
	電圧	電圧	○	○	×	数値(整数、小数)以外、及び12桁以上の場合、未設定で登録されます。
	コンセント形状	コンセント形状	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	プラグ形状	プラグ形状	○	○	×	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー1	選択ユーザー1	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー3	選択ユーザー3	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー4	選択ユーザー4	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー5	選択ユーザー5	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー6	選択ユーザー6	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー7	選択ユーザー7	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー8	選択ユーザー8	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー9	選択ユーザー9	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	選択ユーザー10	選択ユーザー10	○	○	×	社員番号を指定します。値を指定しない、または存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	参考 URL	参考 URL	○	○	×	半角 501 桁以上の文字は切り捨てられます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否			値設定時の制限事項
			新規登録	更新	経過情報追加登録	
-	-	予定起票	◎	◎	×	新規登録の場合には「新規予定」、更新の場合には「新規予定」、「変更予定」、「削除予定」のいずれかを指定します。「新規予定」は予定を新規に登録します。「変更予定」は変更の予定を登録、または更新します。「削除予定」は削除の予定を登録、または更新します。「新規予定」の場合に、更新対象となるデータが存在しない場合は、新規登録されます。「変更予定」の場合に、更新対象となるデータが存在しない場合は、管理者メニューの制御情報「コマンドから存在しない構成アイテムの変更予定を新規登録する際の動作設定」の設定により、新規登録するかを決定します。「削除予定」の場合に、更新対象となるデータが存在しない場合は、新規登録されません。更新対象となるデータが存在する場合には更新されます。
	-	登録者	○	○	×	ユーザー管理のユーザーIDを指定します。構成アイテムに登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。

1.4.3 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録

Senju Enterprise Navigator(以下 SEN)からのイベント連携機能を使用することで、データ登録を行うことができます。

1.4.3.1 使用方法

SEN からのイベント連携機能で実行可能な内容を示します。



補助設定

SEN の詳しい設定方法については、SEN のマニュアルを参照してください。

・ 案件種別名

SEN からのイベント連携機能では以下の案件種別が登録できます。

案件種別名	設定値	サポート対象
インシデント管理	インシデント	○
インシデント候補	インシデント候補	○
サービス要求	サービス要求	○
問題管理	問題	○
変更管理	変更	○
構成管理	構成	○



仕様補足

複数画面を持つサービス要求の登録では、画面 ID によりどの画面にレコードを登録するかを指定できます。登録する画面は、マッピングアイテムファイルに指定可能な「画面 ID」で指定します。「画面 ID」の設定値は、「1.1.2 画面 ID」を参照してください。



仕様補足

構成管理は、メニュー：構成管理>構成管理>構成アイテムを指します。

- 登録モード

指定した案件種別のデータをどのように一括登録するかを指定します。
 案件種別名に「構成」を指定した場合を除き、省略することはできません。
 案件種別名に「構成」を指定した場合、指定する必要はありません。
 SEN からのイベント連携機能では以下の登録モードが登録できます。

登録モード	動作内容	設定値
新規登録処理	指定した案件種別のレコードを全て新規登録します。	001
更新処理(追加)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目に追加登録されます。	101
更新処理(置換)	各レコードを特定するキー項目に従って、以下のように新規登録と更新を実行します。 ・キー項目に一致するレコードを更新します。 ・キー項目に一致しないレコードを新規登録します。 複数指定可能な項目に指定された値は、該当の項目が、指定した値で全て置き換えて登録されます。	102
経過情報追加登録処理 (データ重複可)	各レコードを特定するキー項目に従い、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。	111
経過情報追加登録処理 (データ重複不可)	各レコードを特定するキー項目のうち、案件 ID のみをキー項目として、登録済みのレコードに経過情報を追加登録します。 キー項目に一致する登録済みレコードが存在しない場合、またはキー項目にて重複するデータが存在する場合は、該当のレコードは登録されません。このときに登録されるレコードは、データ登録時の動作設定値により異なります。	112
経過自動追加処理	「1.4.3.2 経過自動追加機能について」を参照してください。	113

案件種別ごとに利用できる登録モードは異なります。

以下に各案件種別で指定可能な登録モードと、「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」を行う場合に対象のレコードを特定するためのキー項目、補足事項について記載します。

案件種別名	新規登録処理	更新処理 ※1		経過情報追加登録処理 ※1			対象案件を特定するためのキー項目		
		追加	置換	重複可	重複不可	自動追加			
インシデント管理	○	×	×	○	×	○	インシデント ID	システム名	—
インシデント候補	○	×	×	×	×	×	—	—	—
サービス要求	○	×	○	○ ※3	×	○	サービス要求 ID	システム名	—
問題管理	○	×	×	○	×	○	問題 ID	システム名	—
変更管理	○	×	×	○	○※4	○	変更 ID	システム名	—
構成管理	○	×	○ ※2	×	×	×	構成アイテム ID	システム名	データ種別 ID

【補足事項】

- ・ ※1 同一のキーとなるレコードが複数存在する場合は、全てのレコードが「更新処理」及び「経過情報追加登録処理」の対象となります。
- ・ ※2 構成管理、構成アイテム管理の「更新処理」において更新対象となる登録済みレコードが存在しない場合は、「新規登録処理」としてレコードの追加が行われます。
- ・ ※3 サービス要求の「更新処理」において対象レコードを特定するためのキー項目は「サービス要求 ID」のみになります。経過情報は更新できません。更新対象となるレコードが複数存在する場合には更新処理は行われません。更新対象となるレコードが存在しない場合には新規登録されます。但し、新規登録時の必須項目を指定する必要があります。
- ・ ※4 変更管理の「経過情報追加登録処理(重複不可)」において、対象レコードを特定するためのキー項目は「変更 ID」のみになります。追加登録対象となるレコードが複数存在する場合には経過情報追加登録処理は行われません。



「新規登録処理」及び「経過情報追加処理」で登録できる経過添付ファイル数は、1 経過情報につき 1 ファイルとなります。

仕様補足



インシデント候補を登録する場合は、経過情報を複数件登録することはできません。

仕様補足



仕様補足

インシデント管理、インシデント候補、サービス要求、問題管理、変更管理については、今後の項目のメンテナンスは行われません。
新規の項目を使用する場合には、プロセス管理、イベント管理を指定してご使用ください。

1.4.3.2 経過自動追加機能について

当機能は Senju Enterprise Navigator と Senju Service Manager との連携機能です。

Senju Service Manager では、Senju Enterprise Navigator より連携された情報を基に該当プロセスが存在するかを検索します。

存在する場合、該当プロセスの経過に追加されます。

存在しない場合、イベント管理に新規登録されます。

プロセス管理の詳細画面にある「メール送信機能」を利用したメールに対し、

Senju Enterprise Navigator に登録されたアドレスを宛先に指定し返信を行うことで、利用できる機能となります。Senju Enterprise Navigator にて、Senju Service Manager へイベント連携を行うルール登録が必要となります。Senju Enterprise Navigator で受信したメールの内容を各項目に振り分け Senju Service Manager へイベント連携します。

振り分け項目については、「1.4.3.3 指定可能フィールド情報」を参照してください。



補助設定

Senju Enterprise Navigator のルールにて、受信したメールの内容を登録したい項目に振り分けるルールが必要です。
ルールの詳細につきましては、Senju Enterprise Navigator のマニュアルを参照してください

1.4.3.3 指定可能フィールド情報

SEN からのイベント連携機能で登録可能な案件種別名および指定可能なフィールドはデータ登録コマンドと同じです。

SEN からのイベント連携機能のみ指定可能な登録モード「経過自動追加処理」の指定可能フィールド情報は以下の表を参照してください。

以下に記載する表の「指定可否」欄は、必須項目を「◎」、指定可能項目「○」、指定不可項目「×」で記載します。また、複数指定可能な場合は「複数可」と記載します。



仕様補足

SEN ルールを使用して構成管理を登録する場合、接続先機器、関連機器、関連構成の登録はできません。



仕様補足

指定可能フィールド情報の詳細はデータ登録コマンドの説明に記載されている「1.4.2.8 指定可能フィールド情報」を参照してください。



仕様補足

経過自動追加機能の対象となる案件種別はインシデント管理となります。



仕様補足

通常のメール、エスカレーションメールに対する返信は、当機能の対象外となるためイベント管理に登録されます。



仕様補足

下記表のフィールド名通りに SEN のルールに設定してください。
正しく設定されていない場合、インポート対象データを取り込むことができません。



仕様補足

SEN からイベント送信機能を使用してデータを登録する場合は、「登録モード」というフィールド名に対して、コマンドと同様の設定値を指定します。
ただし、SEN から複数件の経過情報を登録する場合、「経過添付ファイル」を登録できるのは、登録する複数件のうちの最初の経過情報のみです。



仕様補足

コード・分類の登録において同一名称のコード・分類が複数登録されている場合は、先に登録されている（登録日時の古い）データが登録されます。



関連構成といった関連情報は、指定したシステムに登録されているデータのみ登録できます。

仕様補足



インシデント管理については、今後の対応項目拡張は行われません。
新規の項目を使用する場合には、プロセス管理を指定してご使用ください。

仕様補足

1. インシデント管理



制限事項

チェックリスト、簡易チェックリストは Senju Service Manager の管理者メニュー > 機能別 > チェックリストにて設定した情報を元に適用判定が行われます。適用判定を行うかどうかの設定は管理者メニューの制御情報の「チェックリスト利用設定」、「簡易チェックリスト利用設定」で行います。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項
			経過情報 追加登録	
基本情報	インシデント ID	インシデント ID	◎	経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、インシデント ID 自体の更新はできません。
	ステータス	ステータス	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	サブステータス	サブステータス	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	システム名	システム名	◎	値を指定しない、または存在しない名称を指定した場合、インシデントは取り込まれません。 経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、システム名自体の更新はできません。
	タイトル	タイトル	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	クローズ期限日	対応期限日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	クローズ期限時刻	対応期限時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	—	データ種別 ID	○	「データ種別 ID」の設定値は、「00000001」を指定します。 値を指定しない場合、「00000001」で登録されます。 存在しない値を指定した場合、インシデントは取り込まれません。 経過情報追加登録の場合、対象案件を特定するためのキー項目として使用します。また、データ種別 ID 自体の更新はできません。
①エスカレーション情報 ②エスカレーション情報 (対応履歴)	①起票者	起票者	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	①エスカレーション ②対応先	エスカレーション先名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
エスカレーション情報	対応元	エスカレーション元名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項	
			経過情報 追加登録		
(対応履歴)	コメント	エスカレーションコメント	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
分類情報	種別	種別	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	インパクト	インパクト	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	緊急度	緊急度	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	優先度	優先度	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	大分類	大分類	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	中分類	中分類	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	小分類	小分類	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	キーワード	キーワード	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
詳細情報	インシデント内容	インシデント内容	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	影響範囲	影響範囲	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	原因	原因	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	ワークアラウンド及び結果	ワークアラウンド及び結果	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	対応及び結果	対応及び結果	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
日時情報	起票日	起票日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	起票時刻	起票時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	発生日	発生日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	発生時刻	発生時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	受付日	受付日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	受付時刻	受付時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	速報日	速報日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	速報時刻	速報時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	復旧日	復旧日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	復旧時刻	復旧時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	クローズ日	クローズ日	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	クローズ時刻	クローズ時刻	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	①エスカレーション情報 ②(クローズ)	①クローズ者 ②クローズ者	クローズ者	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	(クローズ)	クローズ種別	クローズ種別	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
クローズ理由		クローズ理由	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
社外申請者情報	会社名	申請者会社名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	組織名	申請者組織名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	氏名	申請者氏名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	氏名カナ	申請者氏名カナ	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	電話番号	申請者電話番号	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	メールアドレス	申請者メールアドレス	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
社内申請者情報	社員番号	社内申請者社員番号	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	
	氏名	社内申請者氏名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。	

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項
			経過情報 追加登録	
	氏名カナ	社内申請者氏名カナ	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	会社名	社内申請者会社名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	組織名	社内申請者組織名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	役職	社内申請者役職	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	内線番号	社内申請者内線番号	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	電話番号1	社内申請者電話番号1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	電話番号2	社内申請者電話番号2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	FAX	社内申請者 FAX	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	携帯電話番号	社内申請者携帯電話番号	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	メールアドレス1	社内申請者メールアドレス1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	メールアドレス2	社内申請者メールアドレス2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
付加情報	備考	備考	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	参考 URL	参考 URL	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	付加情報添付ファイル名	付加情報添付ファイル名	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
チェックリスト	チェックリスト	—	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
簡易チェックリスト	簡易チェックリスト	—	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
エクステンション情報	選択ユーザー1	選択ユーザー1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	選択ユーザー2	選択ユーザー2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	関連構成アイテム	関連構成アイテム	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	関連アカウント	関連アカウント	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	関連構成	関連構成(構成 ID)	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	—	関連構成(データ種別 ID)	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキスト1	テキスト1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキスト2	テキスト2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキスト3	テキスト3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキスト4	テキスト4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキストエリア1	テキストエリア1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキストエリア2	テキストエリア2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキストエリア3	テキストエリア3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	テキストエリア4	テキストエリア4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	ラジオボタン1	ラジオボタン1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	ラジオボタン2	ラジオボタン2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボボックス1	コンボボックス1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボボックス2	コンボボックス2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボボックス3	コンボボックス3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボボックス4	コンボボックス4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	2 連分類 1-1	2 連分類 1-1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	2 連分類 1-2	2 連分類 1-2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項
			経過情報 追加登録	
	2 連分類 2-1	2 連分類 2-1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	2 連分類 2-2	2 連分類 2-2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 1-1	3 連分類 1-1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 1-2	3 連分類 1-2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 1-3	3 連分類 1-3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 2-1	3 連分類 2-1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 2-2	3 連分類 2-2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	3 連分類 2-3	3 連分類 2-3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	5 連分類-1	5 連分類 1-1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	5 連分類-2	5 連分類 1-2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	5 連分類-3	5 連分類 1-3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	5 連分類-4	5 連分類 1-4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	5 連分類-5	5 連分類 1-5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボテキスト 1-コンボボックス	コンボテキスト 1-コンボボックス	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボテキスト 2-コンボボックス	コンボテキスト 2-コンボボックス	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	日付テキスト 1	日付 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	日付テキスト 2	日付 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	時刻テキスト 1	時刻 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	時刻テキスト 2	時刻 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	数値テキスト 1	数値 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	数値テキスト 2	数値 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定日 1	対応予定日 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定時刻 1	対応予定時刻 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定日 2	対応予定日 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定時刻 2	対応予定時刻 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定日 3	対応予定日 3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定時刻 3	対応予定時刻 3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定日 4	対応予定日 4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定時刻 4	対応予定時刻 4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定日 5	対応予定日 5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応予定時刻 5	対応予定時刻 5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績日 1	対応実績日 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績時刻 1	対応実績時刻 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績日 2	対応実績日 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績時刻 2	対応実績時刻 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績日 3	対応実績日 3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項
			経過情報 追加登録	
	対応実績時刻 3	対応実績時刻 3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績日 4	対応実績日 4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績時刻 4	対応実績時刻 4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績日 5	対応実績日 5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	対応実績時刻 5	対応実績時刻 5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元 ID	問合せ元 ID	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 1	問合せ元テキスト 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 2	問合せ元テキスト 2	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 3	問合せ元テキスト 3	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 4	問合せ元テキスト 4	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 5	問合せ元テキスト 5	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 6	問合せ元テキスト 6	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 7	問合せ元テキスト 7	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 8	問合せ元テキスト 8	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 9	問合せ元テキスト 9	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 10	問合せ元テキスト 10	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 11	問合せ元テキスト 11	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 12	問合せ元テキスト 12	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 13	問合せ元テキスト 13	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 14	問合せ元テキスト 14	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 15	問合せ元テキスト 15	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 16	問合せ元テキスト 16	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 17	問合せ元テキスト 17	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキスト 18	問合せ元テキスト 18	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
	問合せ元テキストエリア 1	問合せ元テキストエリア 1	×	経過自動追加では指定することは出来ません。
経過情報	タイトル	経過タイトル	○	半角 81 桁以上の文字は切り捨てられます。
	対応日付	経過対応日付	○	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応時刻	経過対応時刻	○	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	対応者	経過対応者	○	ユーザー管理のユーザーID を指定します。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。
	対応先	経過対応先	○	半角 61 桁以上の文字は切り捨てられます。
	チャンネル	経過チャンネル	○	値を指定しない場合、または存在しない名称を指定した場合、"SEN"で登録されます。"SSM"を指定した場合は、インシデントは取り込まれません。
	内容	経過内容	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	経過色(チェック)	経過色	○	対象経過をチェック状態にする場合は"red"を指定します。(チェック状態にすると、経過一覧で背景色が赤で表示されます。)
	添付ファイル名	経過添付ファイル名	○	添付ファイルのサイズが 0 バイトの場合、取り込まれません。1 経過に 1 ファイルのみ登録できます。

ブロック名 (画面名)	画面項目名	フィールド名	指定可否	値設定時の制限事項
			経過情報 追加登録	
経過エクステンション情報	テキスト 1	経過テキスト 1	○	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 2	経過テキスト 2	○	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 3	経過テキスト 3	○	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキスト 4	経過テキスト 4	○	半角 101 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 1	経過テキストエリア 1	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 2	経過テキストエリア 2	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 3	経過テキストエリア 3	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	テキストエリア 4	経過テキストエリア 4	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	コンボボックス 1	経過コンボボックス 1	○	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 2	経過コンボボックス 2	○	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 3	経過コンボボックス 3	○	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	コンボボックス 4	経過コンボボックス 4	○	存在しない名称を指定した場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 1	経過日付 1	○	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	日付テキスト 2	経過日付 2	○	YYYYMMDD 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 1	経過時刻 1	○	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	時刻テキスト 2	経過時刻 2	○	hhmm もしくは hhmmss 以外の書式の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 1	経過数値 1	○	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	数値テキスト 2	経過数値 2	○	数値(整数、小数)以外、及び 13 桁以上の場合、未設定で登録されます。
	FROM	経過 FROM	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
	TO	経過 TO	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。
CC	経過 CC	○	半角 4001 桁以上の文字は切り捨てられます。	
—	—	登録者	○	ユーザー管理のユーザーID を指定します。インシデントを登録したユーザーとして、システム内部に保持されます。存在しない値を指定した場合、未設定で登録されます。

1.4.4 過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe)

過去データ削除コマンド (sjSPU_DeleteData.exe) は、指定した画面の過去データについて、オプションで指定した条件により一括削除します。

1.4.4.1 使用方法

動作環境

本コマンドは SSMDB サーバーで実行します。
コマンドモジュールは以下に格納されています。
%CCFSPDBHOME%bin¥

指定形式 (“△”は半角スペースを示します。)

sjSPU_DeleteData.exe△[-M△処理モード]△-I△案件区分△[-i△画面 ID]△-T△削除条件対象項目△
-f△削除対象開始日△-t△削除対象終了日△[-m△取込済イベント削除モード]△[--help]

オプション

- ・ 処理モード
過去データ削除コマンドの処理モードを指定します。
処理モードには、REF と DEL のいずれか一つを指定可能です。

REF：参照モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する削除対象の ID とタイトルを実行ログへ出力します。データの削除処理は行いません。

DEL：削除モード

コマンドオプションで指定された条件に一致する削除対象の ID とタイトルを実行ログへ出力し、その後、対象データの削除処理を行います。

引数が省略された場合は、REF モードで動作します。



制限事項

一度 DEL モードでデータを削除した後はキャンセルできません。
削除モードで実行する際は削除条件に注意して実行してください。

- 案件区分
削除対象となる案件区分を指定します。
案件区分には、CND、ICD、SVC、PRB、CHG のいずれか一つを指定可能です。

CND: インシデント候補
ICD: インシデント管理
SVC: サービス要求
PRB: 問題管理
CHG: 変更管理
 - 画面 ID
処理対象プロセスの画面 ID を指定します。
インシデント候補(CND)、インシデント管理(ICD)、問題管理(PRB)、変更管理(CHG)の場合は「00000001」を指定します。
サービス要求(SVC)の場合は「00000001」～「00000100」のいずれかを指定します。
この引数は省略可能です。
指定しない場合は、すべての画面が対象になります。

画面 ID : 処理対象プロセスの 1 つのデータ種別
 - 削除条件対象項目
削除処理の抽出対象となる日付項目を指定します。
削除条件対象項目には、CREATE、UPDATE、CLOSE のいずれか一つを指定可能です。
 - CREATE : 起票日を処理条件とする。
 - UPDATE : 最終更新日を処理条件とする。
 - CLOSE : クローズ日を処理条件とする。
-  **仕様補足** 案件区分にイベント管理、インシデント候補を指定した場合は、CLOSE は指定できません。
- 削除対象開始日
削除条件対象項目オプションで指定された項目に対する、削除対象開始日を”YYYY-MM-DD”形式で指定します。
削除対象開始日には“1970-01-01”以降の日付を指定可能です。
 - 削除対象終了日

削除条件対象項目オプションで指定された項目に対する、削除対象終了日を”YYYY-MM-DD”形式で指定します。
削除対象終了日には“2100-12-31”以前の日付を指定可能です。

- 取込済イベント削除モード
取込済イベントを削除対象とするかを指定します。
イベント取込を行ったイベントを削除対象としない場合、「0」を指定します。
イベント取込を行ったイベントを削除対象とする場合、「1」を指定します。
省略した場合、指定値を「0」と判断し取込済イベントを削除しない。
案件区分(-I 指定項目)が「CND」の場合、指定可能です。
案件区分が「CND」以外の時には指定できません。



仕様補足

取込済イベント削除モードに「1」を指定した場合、イベント取込によって登録されたプロセスおよびプロセスの経過から「イベント戻し」を行うことができません。

- --help
Usage を表示します。



操作説明

引数を全て省略した場合は Usage が表示されます。



制限事項

過去データ削除コマンドにてデータを削除した場合、
DB 再構築コマンドにてインデックスの再構築等を実施することを推奨します。
DB 再構築コマンドの使用方法につきましては
「1.2.20 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (Oracle 用) と 1.2.21 DB 再構築コマンド (sjSPB_ReconstructDB.exe) (PostgreSQL 用)」を参照してください。

実行ログファイル

過去データ削除コマンドを実行すると、実行ログファイルに削除対象のデータが出力されます。実行ログファイルは、%CCFSPDBHOME%log フォルダの下に出力されます。

実行ログファイルのファイル名は以下のようになります。

[モジュール名]_[処理モード]_[案件区分]_YYYYMMDDhhmmss.log

出力される実行ログファイル名が重複した場合、ファイル名は以下のようになります。

[モジュール名]_[処理モード]_[案件区分]_YYYYMMDDhhmmss_[連番].log

[モジュール名] : sjSPU_DeleteData

[処理モード] : 指定した処理モードです。DEL/REF となります

[案件区分] : 指定した案件区分です。EVT/PRC/CND/ICD/SVC/PRB/CHG となります。

[YYYYMMDD] : コマンドの実行日です。

[hhmmss] : コマンドの実行時間です。(24時間表記)

[連番] : ファイルが重複していた場合「001」～「999」の連番が付与されます。

例)

sjSPU_DeleteData_REF_PRC_20080124202122.log

```
処理モード: REF
案件種別: PRC
削除条件対象項目: CREATE
削除対象の開始日: 2011-03-26
削除対象の終了日: 2012-03-26
削除対象: プロセス管理情報
画面 ID: 01000001
0000000000000001: サーバートラブル
:
削除対象件数: 100
```

実行結果

```
C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\bin>sjSPU_DeleteData -M DEL -I PRC -T CREATE -f 1970-01-01 -
t 2005-12-31
処理対象件数: 100000 件
削除対象一覧が以下のファイルに出力されました。
C:\Program Files\CCFSP\CCFSPDB\log\sjSPU_DeleteData_DEL_PRC_20080101235959.log
処理が正常に終了しました。
sjSPU_DeleteData -M DEL -I PRC -T CREATE -f 1970-01-01 -t 2005-12-31
```

例えばインシデント管理を削除した場合は、そのインシデント管理に登録される全ての情報(添付ファイルやエスカレーションの情報)が削除されます。以下に案件種別毎に削除される情報を記載します。

案件区分	削除データ
インシデント管理	関連情報(関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成)
	エスカレーション情報
	登録元となったインシデント候補の情報
	添付ファイル情報
	確認情報
	経過情報
	チェックリスト
インシデント候補	関連情報(関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成)
	添付ファイル情報
	経過情報
サービス要求	関連情報(関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント)
	エスカレーション情報
	添付ファイル情報
	確認情報
	経過情報
問題管理	関連情報(関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成)
	エスカレーション情報
	添付ファイル情報

案件区分	削除データ
変更管理	確認情報
	経過情報
	関連情報(関連プロセス/関連ナレッジ/関連構成アイテム/関連アカウント/関連構成)
	エスカレーション情報
	添付ファイル情報
	確認情報
	経過情報



仕様補足

関連情報の削除は、関連先のチケットが削除対象でない場合は関連の紐づけだけが削除され、関連先のチケット自体は削除されません。

標準エラー出力

終了コードに即したメッセージを出力します。

終了コード

終了コードを以下に示します。

終了コード	出力	内容
0	処理が正常に終了しました。	ログ出力が完了し、処理が終了しました。
1	コマンドオプションの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定されたコマンドオプションに不正なものが含まれています。
2	DBとの接続に失敗しました。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定した DSN で SSM DB サーバーに接続できません。
3	データソース名が指定されていません。	データソース名が指定されていません。
4	データソース名の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定したデータソース名が不正です。
5	ユーザーID が指定されていません。	ユーザーID が指定されていません。
6	ユーザーID の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	指定したユーザーID が不正です。
7	パスワードが指定されていません。	パスワードが指定されていません。
8	パスワードの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値)	指定したパスワードが不正です。

終了コード	出力	内容
	及びエラー詳細)	
9	sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml に DB 情報が設定されていません。 SSM DB サーバコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
10	sjSPB_DBConf.xml が存在しません。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml が存在しません。 SSM DB サーバコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
11	sjSPB_DBConf.xml からの DB 情報の取得に失敗しました。(エラー詳細)	%CCFSPDBHOME%dat¥spb¥sjSPB_DBConf.xml に DB 情報の取得に失敗しました。 SSM DB サーバコンフィグレータにて DB 接続設定を確認してください。
13	パラメータエラー: 処理モードの指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	処理モードの指定に誤りがあります。
14	パラメータエラー: 案件種別が指定されていません。	案件種別が指定されていません。
15	パラメータエラー: 案件種別の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	案件種別の指定に誤りがあります。
16	パラメータエラー: 削除条件対象項目が設定されていません。	削除条件対象項目が設定されていません。
17	パラメータエラー: 削除条件対象項目の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	削除条件対象項目の指定に誤りがあります。
18	パラメータエラー: 削除対象開始日が設定されていません。	削除対象開始日が設定されていません。
19	パラメータエラー: 削除対象開始日の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	削除対象開始日の指定に誤りがあります。
20	パラメータエラー: 削除対象終了日が設定されていません。	削除対象終了日が設定されていません。
21	パラメータエラー: 削除対象終了日の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)	削除対象終了日の指定に誤りがあります。
22	パラメータエラー: 削除対象終了日は削除対象開始日以降の日付を指定してください。(開始日: 削除対象開	削除対象開始日と削除対象終了日の関係が不正です。(削除対象開始日 > 削除対象終了日)

終了コード	出力	内容
	始日 > 終了日 : 削除対象終了日)	
23	実行ログファイルの作成に失敗しました。(エラー詳細)	実行ログファイルの作成に失敗しました。
24	実行ログファイルへの出力に失敗しました。(エラー詳細)	実行ログファイルへの出力に失敗しました。
25	「パラメータエラー: 画面 ID の指定に誤りがあります。(ユーザー指定値及びエラー詳細)」	画面 ID の指定に誤りがあります。
29	「-m」オプションは「EVT」「CND」の時以外指定できません。	案件種別「EVT」、「CND」以外の時に-m オプションに対して「1」が指定されました。
99	処理に失敗しました。	上記以外のエラーです。